

小金井市

第8期介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画  
策定のためのアンケート調査  
報告書

令和2年3月  
小金井市



## 目 次

第1章 調査の概要.....	3
1. 調査目的.....	4
2. 調査期間.....	4
3. 調査方法・調査対象・回収状況.....	4
4. 小金井市の日常生活圏域.....	5
第2章 調査の結果.....	7
1. 分析結果概要.....	8
2. クロス集計結果.....	11
(1) 地域間比較.....	11
① 基本情報.....	12
② 介護予防.....	13
③ 社会参加と健康感・幸福感.....	19
④ 認知症について.....	24
⑤ 住まい.....	27
(2) 要介護度別比較.....	30
3. 前回調査との結果比較.....	34
① 社会参加.....	34
② 健康感や幸福感.....	37
③ 住まい.....	38
④ その他.....	38
4. 単純集計.....	40
(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査.....	40
(2) 在宅介護実態調査.....	85
(3) 介護保険サービス利用意向調査.....	97
(4) 施設サービス利用者調査.....	135
(5) 事業者調査.....	157
(6) ケアマネジャー調査.....	196
第3章 参考資料.....	247



# 第 1 章 調査の概要

## 1. 調査目的

本調査は、アンケート調査により高齢者の生活実態や介護保険サービスに関する意識などを把握し、高齢者の方が健康で住み慣れた地域で安心して住み続けることができる仕組みづくりをめざす指針となる「第 8 期小金井市介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画」（以下「事業計画」という。）策定のための基礎資料とすることを目的としています。

## 2. 調査期間

令和元年 11 月 29 日（金）～令和元年 12 月 25 日（水）

（事業者調査のみ、令和 2 年 1 月末まで回収を実施）

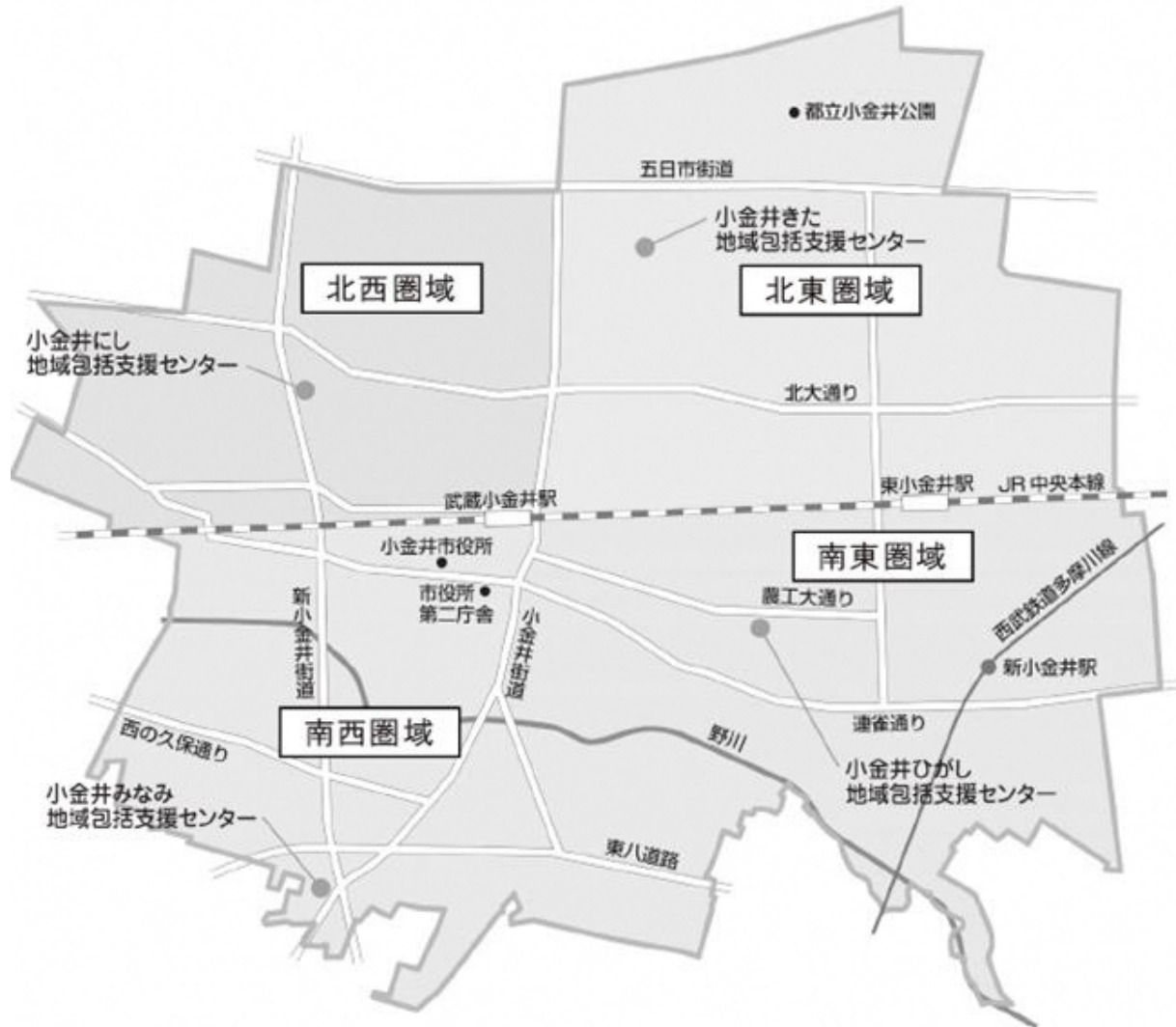
## 3. 調査方法・調査対象・回収状況

原則、郵送配布・郵送回収にて実施しています。なお、在宅介護実態調査の一部は聞き取りにて実施し、事業者調査は回答を電子データにより返送する形式としています。

それぞれ、礼状兼督促状を 1 回送付しています。

調査名	対象	配布数	有効回収数	有効回収率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	自立・要支援認定者	1,800	1,198	66.6%
在宅介護実態調査	要支援・要介護認定の更新申請・区分変更申請者	1,000	693	69.3%
介護保険サービス利用意向調査	要介護認定者	1,000	448	44.8%
施設サービス利用者調査	介護保険施設サービスを利用する第 1 号被保険者	200	85	42.5%
事業者調査	居宅介護支援、居宅介護・介護予防事業者、施設サービス事業者	153	91	59.5%
ケアマネジャー調査	居宅介護支援事業所に在籍するケアマネジャー	100	67	67.0%

4. 小金井市の日常生活圏域



圏域	住所
北東圏域	梶野町、関野町、緑町、本町2丁目、本町3丁目、桜町1丁目、桜町3丁目
南東圏域	東町、中町、本町1丁目
南西圏域	前原町、本町6丁目、貫井南町
北西圏域	本町4丁目、本町5丁目、桜町2丁目、貫井北町





## 第2章 調査の結果

### <図表のみかた>

1. 回答は、それぞれの質問の回答者数nを基数とした百分率（%）で示しています。
2. %は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しています。従って、回答の合計が必ずしも100.0%にならない場合があります。
3. 回答者が2つ以上回答のできる質問（複数回答）については%の合計は100%にならないことがあります。
4. 本文及びグラフ中の設問文並びに選択肢の表現は一部省略されています。
5. 設問文の文末に表示している（SA）は単回答の設問、（MA）は複数回答の設問、（N）は数値で答える設問、（SA マトリクス）は単回答を複数まとめた設問、（数値 マトリクス）は数値で答える設問を複数まとめた設問であることを示しています。

### 1. 分析結果概要

本調査では、データ分析に基づいた事業計画の策定を行うため、要支援・要介護認定者や介護サービス利用者を含む高齢者の方向けに、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査、介護保険サービス利用意向調査、施設サービス利用者調査を実施し、介護サービス事業者向けに事業者調査、ケアマネジャー向けにケアマネジャー調査を実施することによって、介護保険に関係する主要な利害関係者から広くかつ網羅的に意見を収集し、相互に分析しました。

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査では、一般高齢者（総合事業対象者、要支援 1, 2 を含む）の生活状況を把握し、介護・福祉の視点で、より幸福感の高い生活を営むために必要な情報を分析しています。

リスク該当者について、圏域別でみると、突出した差は見られないものの、南東圏域で特に介護予防が必要なリスク該当者が比較的多い傾向にあります（P.11 図表 1）。南東圏域は社会参加の頻度は比較的高いため（P.19 図表 15）、地域の集まりなど機会を捉えたアプローチを行うことで、介護予防の取組を推進できると考えられます。

社会参加について、圏域別でみると、北西圏域で頻度が少ない傾向にあるものの（P.19 図表 15）、地域のグループへの参加意欲は高いため（P.19 図表 16）、地域で社会参加の場を適切に提供することが重要になります。社会参加の頻度が上がれば、社会参加頻度と関連性が見られる主観的幸福感（P.22 図表 21）や主観的健康感（P.22 図表 22）の向上にも繋がっていくものと考えられます。

認知症について、認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人の割合は、市全体で 10.4%であり、圏域間での差は見られませんでした（P.24 図表 25）。認知症への関心度も北東・北西圏域でわずかに低い傾向にある点以外は、大きな差は見受けられませんでした。南東・南西圏域で、「とても関心がある」割合が高い傾向にありますが（P.24 図表 26）、南東・南西圏域は後期高齢者の割合が高く（P.12 図表 2）、認知症を自身の事と考えている人の割合が高いことが影響していると考えられます。

現在の住まいについて、市全体では、「持家（一戸建て）」が 68.9%と最も高く、次いで「持家（集合住宅）」が 15.4%と続きます。北西圏域では、「公的賃貸住宅」の割合が 8.7%と他の圏域より高い傾向にあることが特徴的です（P.27 図表 31）。

今後暮らす場所の希望としては、市全体では、「現在の自宅」が 76.7%と大半を占めていますが、北西圏域では「現在の自宅」の割合が 71.3%と低い傾向にあり、住み替えや介護サービス利用の意向が強いことがうかがえます（P.27 図表 32）。この傾向は、北西圏域が「公的賃貸住宅」、「民間賃貸住宅」の割合が高いことが要因と考えられ、持家と比べて住み替えへの制約が少ないことが影響していると考えられますが、同様に「公的賃貸住宅」、「民間賃貸住宅」の割合が高い南東圏域では、「現在の自宅」の割合が 77.7%と高いため、経済状況等も併せて検討する必要があります。

在宅介護実態調査では、過去1年の間に介護者で仕事を辞めた方が5%程度おり、割合としては高くはないものの対策が必要となります（P.88 問7）。今後も在宅での介護を続けるために必要と挙げられたサービスは、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」であり、日常生活の移動を必要とする傾向が見受けられます（P.89 問9）。

現状では、施設等への「入所・入居は検討していない」が6割程度と半数以上を占めているため（P.90 問10）、体制を充実して在宅生活を維持していくことが重要です。

介護保険サービス利用意向調査では、かかりつけ医がいる割合が9割近くおり、体制は充実していることがうかがえます（P.100 問2）。また、施設系・居住系のサービス利用を申請して待機の状態である方は、1割未満と少ない傾向にあり、施設数が極端に不足しているという状況ではないことがうかがえます。地域密着型のサービスについては、認知度が3～5割程度とその他のサービスの5～7割程度と比較すると低い状況にあり、3割程度の低い利用意向を上昇させるためにも、まずは広報等で認知度を上げていくことが重要です（P.105～111 問7-1～9-2）。

介護で不安なことについて、要介護度別で差が顕著となっている回答が、「食事づくり、家事全般」（軽度27.1%、重度17.5%）、「寝たきり、または今より状態が悪化した時の介護のこと」（軽度52.5%、重度41.9%）となっています。どちらも、現在は自身で実施できることが、できなくなってしまうことを不安に感じていると考えられます（P.32 図表40）。

施設サービス利用者調査では、現状では申請から施設入所までの期間は、「6か月未満」が最も多く、次いで「6か月以上1年未満」であり、決して短いとは言えないものの、極端に長い方は少なく、施設数が不足している状況ではないことがうかがえます（P.140 問4）。

施設サービスの利用により、状態の維持・改善に「役に立っている」と回答した割合は約8割と高く（P.142 問11）、また、現在の施設に入所したことにより、「十分な介護が受けられるようになった」と回答した割合も8割程度と高くなっています（P.143 問13）。

サービス内容別の満足度としては、「機能訓練」「相談・助言」の満足度が他と比べると低い傾向にありますが、総じて満足度は高いです（P.144 問14）。

事業者調査では、運営上の課題として挙げられたのは、「今の介護報酬では、人材確保・定着のために十分な賃金を払えない」が最も多く、次いで「指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われる」、「教育・研修の時間が十分に取れない」が挙げられています（P.183 問32）。人材確保が困難であることに起因するものが多く、今後更なる取り組みが必要になります。

人材確保の一つの手段である、外国人材活用について、活用を検討しているのは10%前後であり、半数以上の事業所は検討していない状況です（P.169 問9）。

同じく人材確保の手段である、認定サブスタッフ・生活支援ヘルパー・介護支援ボランティアポイント事業への元気高齢者の参加については、44.0%の事業者が積極的に活用したいと考えており（P.170 問10）、人材確保の手段として強化・推進されることが望まれます。

ケアマネジャー調査では、医療・介護連携は、「十分連携している」、「ある程度連携して

いる」で 70.2%、まだ「連携が不十分である」で 23.9%となっており（P.226 問 34）、今後も連携を進めていく必要があります。なお、連携を進める上で必要な取組としては、「他職種との顔の見える関係づくり、交流を進める」ことが重要と考えている傾向にあり（P.226 問 35（1））、また事業者調査でも同様に「他職種との顔の見える関係づくり、交流を進める」ことが重要とされており（P.184 問 34（1））、研修等の機会を充実していくことが必要になります。

2. クロス集計結果

(1) 地域間比較

日常生活圏域別を主軸として主要な調査項目のクロス集計（注）を行い、地域で取り組むべき課題等を明らかにしていきます。分析の中では、圏域以外にも必要な視点（家族構成等）に関して適宜追加して分析を行っています。主要な調査項目の圏域別の集計結果は図表1のとおりです。

図表1 圏域別該当状況一覧

項目	全域	北東圏域	南東圏域	南西圏域	北西圏域	不明・無回答
運動器の機能低下 該当者割合〔順位〕	10.0% 1	7.9% 1	11.0% 4	10.4% 3	10.3% 2	14.3%
転倒リスク 該当者割合〔順位〕	26.4% 1	24.9% 1	28.2% 4	25.8% 3	25.6% 2	33.3%
閉じこもり傾向 該当者割合〔順位〕	9.6% 1	11.6% 4	9.6% 3	7.7% 1	8.2% 2	14.3%
低栄養状態 該当者割合〔順位〕	1.1% 1	0.6% 2	1.3% 4	0.3% 1	1.0% 3	9.5%
口腔機能の低下 該当者割合〔順位〕	22.0% 1	18.8% 1	23.9% 4	23.6% 3	20.0% 2	28.6%
認知機能の低下 該当者割合〔順位〕	43.1% 1	44.4% 4	41.5% 2	42.9% 3	39.0% 1	64.3%
うつ傾向 該当者割合〔順位〕	39.7% 1	35.0% 1	42.5% 4	41.1% 3	39.5% 2	47.6%
社会参加（週1回以上） 該当者割合〔順位〕	53.8% 1	55.1% 1	54.1% 2	53.7% 3	52.3% 4	50.0%
参加意欲（参加者） 該当者割合*〔順位〕	68.2% 1	64.2% 4	69.1% 2	68.4% 3	75.0% 1	61.9%
参加意欲（企画・運営） 該当者割合*〔順位〕	41.2% 1	37.6% 4	42.5% 2	43.5% 1	42.0% 3	35.7%
地域包括支援センター 認知度〔順位〕	58.1% 1	56.8% 4	57.8% 3	58.9% 2	60.5% 1	52.4%

\*：既に参加している、是非参加したい、参加してもよいの合計

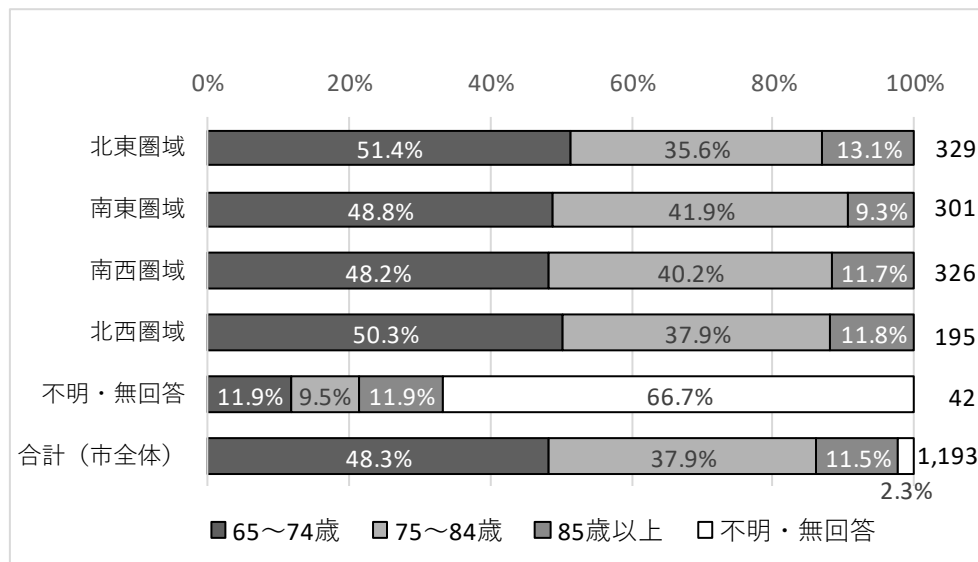
（注）圏域別など各回答の属性に分けて比較するための集計方法

① 基本情報

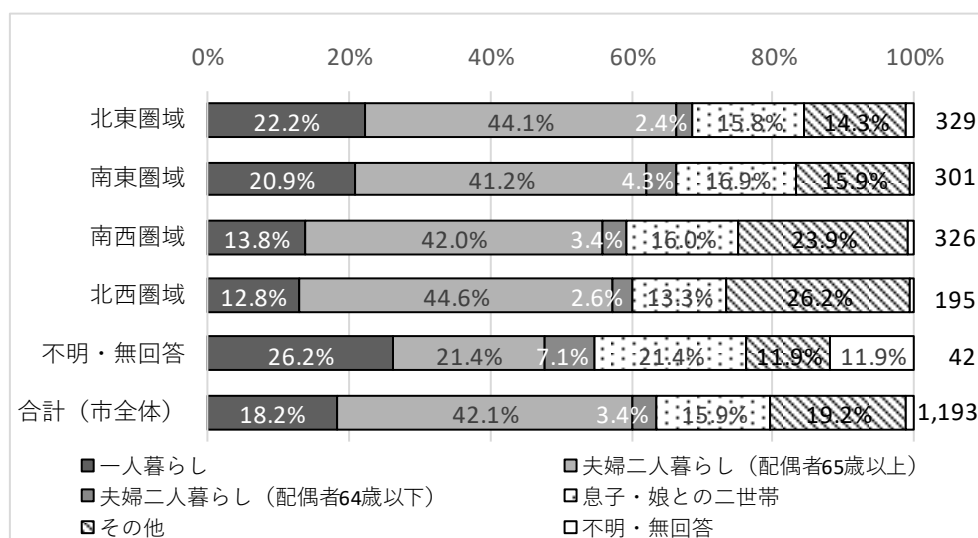
年齢構成については、市全体では74歳以下の前期高齢者が48.3%、75歳以上の後期高齢者が49.4%となっており、北東・北西圏域で前期高齢者が51.4%・50.3%と僅かに高い傾向にあります。

また、家族構成については、市全体では夫婦二人暮らしが45.5%と最も多く、次いで一人暮らしが18.2%、息子・娘との二世帯が15.9%となっています。圏域別では、北東・南東圏域で一人暮らし高齢者の割合が22.2%・20.9%と高い傾向にあります。

図表 2 圏域別年齢構成（ニーズ調査）



図表 3 圏域別家族構成（ニーズ調査）



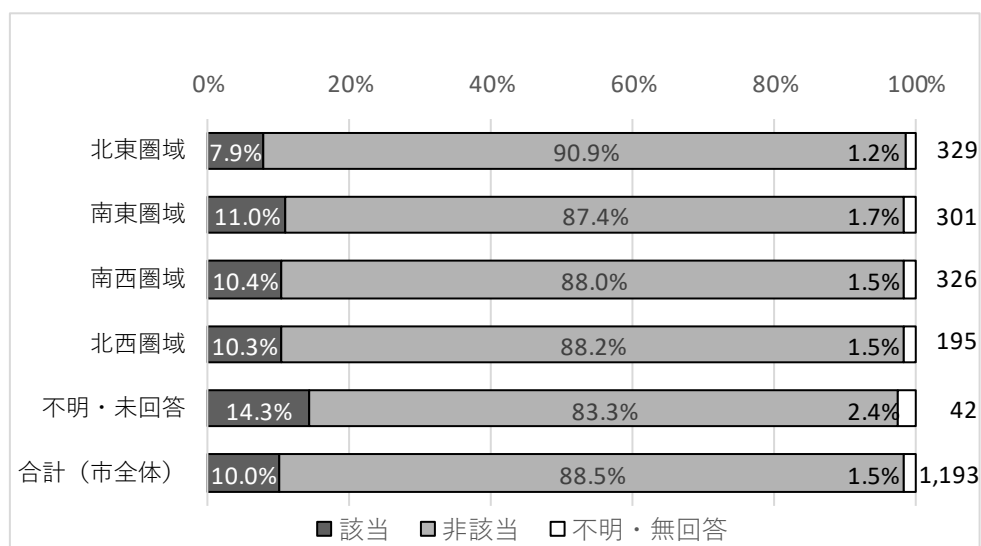
② 介護予防

介護予防事業を実施する上で参考となる各リスク該当者(注)について、分析を行っています。

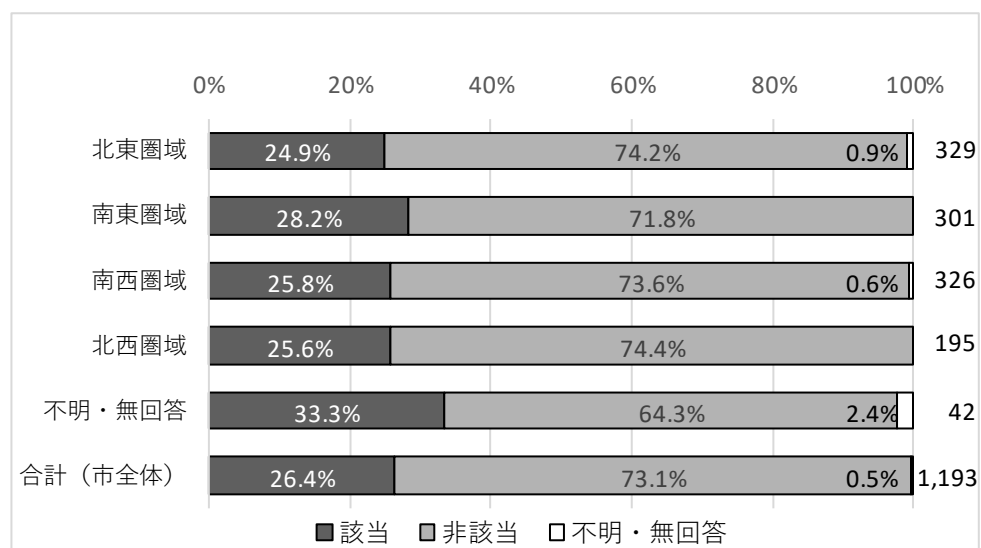
運動器の機能低下については、市全体では該当者が10.0%であるのに対して、北東圏域では7.9%と低く、他3圏域はほぼ横並びの結果となっています。北東圏域は前期高齢者の割合が高いことも起因していると思われませんが(P.12 図表2)、同様に前期高齢者の割合が高い北西圏域よりも運動器の機能低下の割合が低いことから、北東圏域では運動機能を維持できていることがうかがえます。

また、転倒リスクについては、市全体で該当者が26.4%であるのに対して、南東圏域では28.2%と高い傾向にあり、運動器の機能低下と同様の傾向となりました。

図表 4 圏域別運動器の機能低下該当割合 (ニーズ調査)



図表 05 圏域別転倒リスク該当割合 (ニーズ調査)

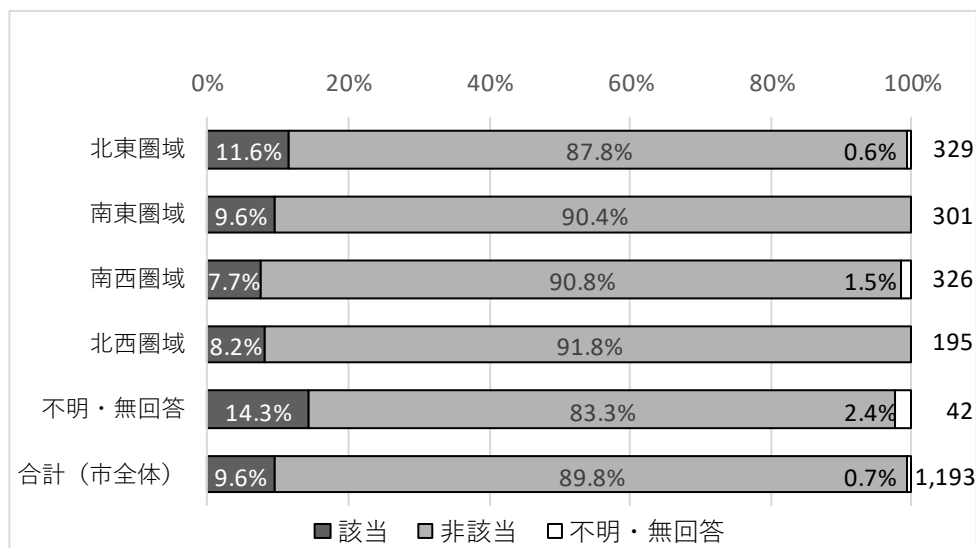


(注)それぞれ該当の設問にいくつ該当したかにより判定。詳細は参考資料(P.295)の一覧を参照

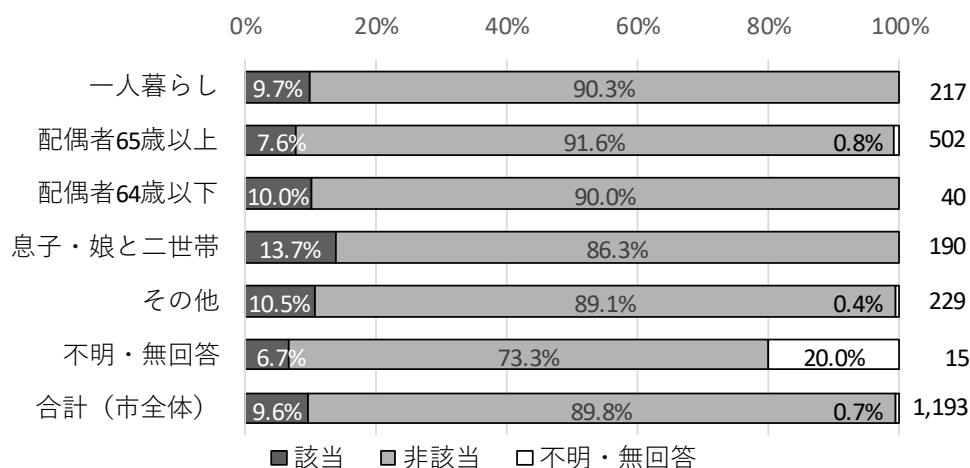
## 第2章 調査の結果 2. クロス集計結果

閉じこもり傾向については、市全体では該当が9.6%であるのに対して、北東圏域が11.6%と高い結果となりました。また、家族構成別に分析すると、一人暮らしよりも息子・娘と二世帯の方が閉じこもり傾向のリスクが高いことがうかがえます。息子・娘と二世帯の方は、必要に駆られての外出が少なく、閉じこもり傾向のリスクが高い可能性があります。

図表 6 圏域別閉じこもり傾向該当割合（ニーズ調査）



図表 7 家族構成別閉じこもり傾向該当割合（ニーズ調査）



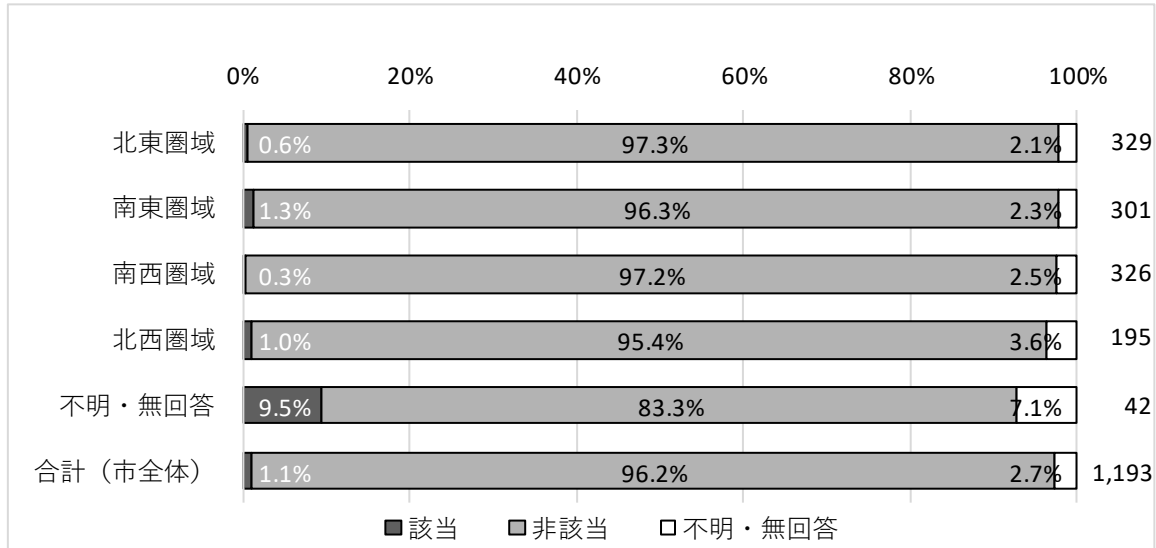


## 第2章 調査の結果 2. クロス集計結果

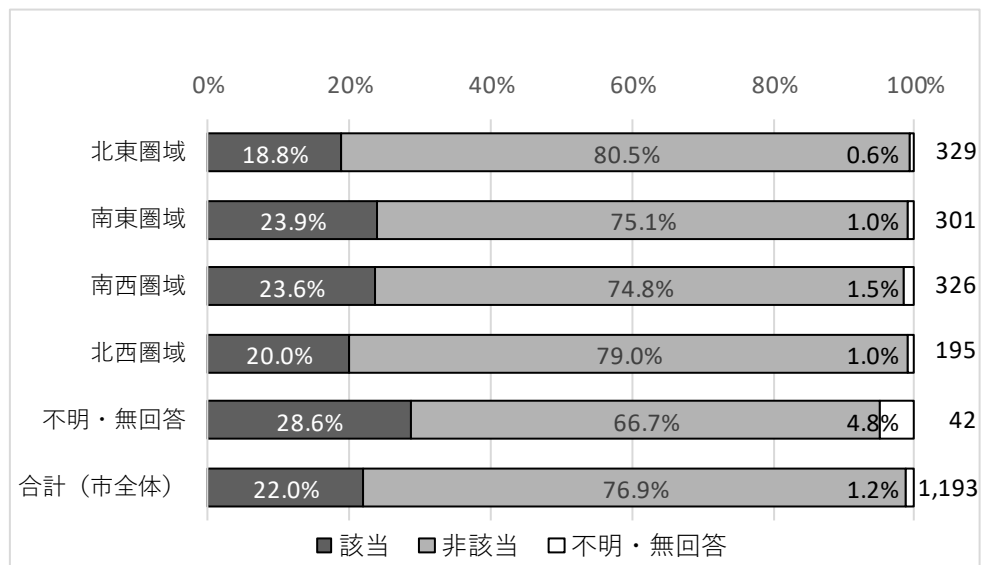
低栄養状態については、市全体で該当割合が1.1%と非常に低く、圏域差も特に見受けられません。

また、口腔機能の低下については、市全体で22.0%であるのに対して、南東圏域で23.9%、南西圏域で23.6%と高い傾向にあり、後期高齢者の割合が高い圏域で該当者の割合が高くなっています。

図表 8 圏域別低栄養状態該当割合（ニーズ調査）



図表 9 圏域別口腔機能低下該当割合（ニーズ調査）

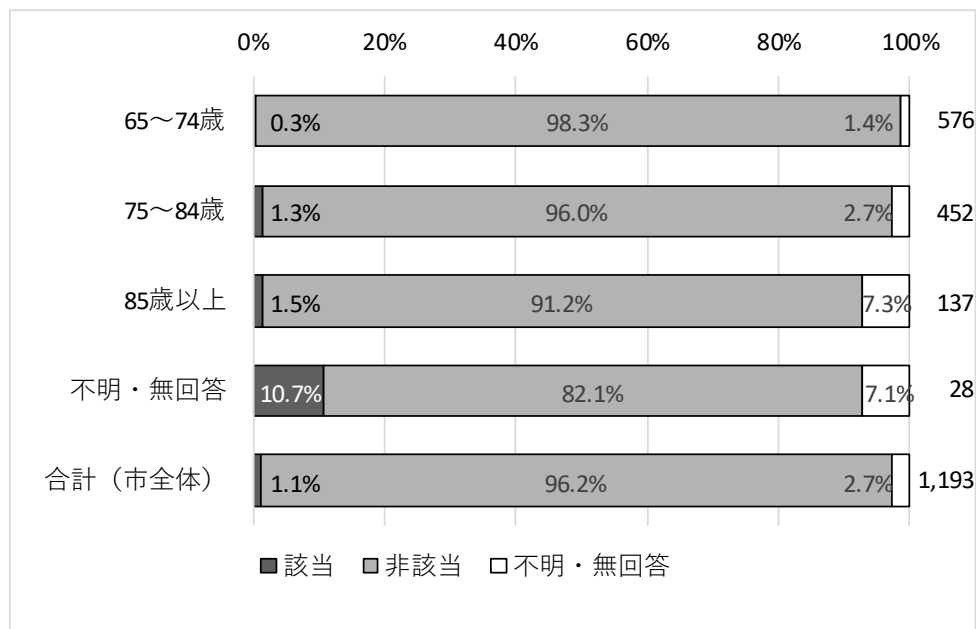


## 第2章 調査の結果 2. クロス集計結果

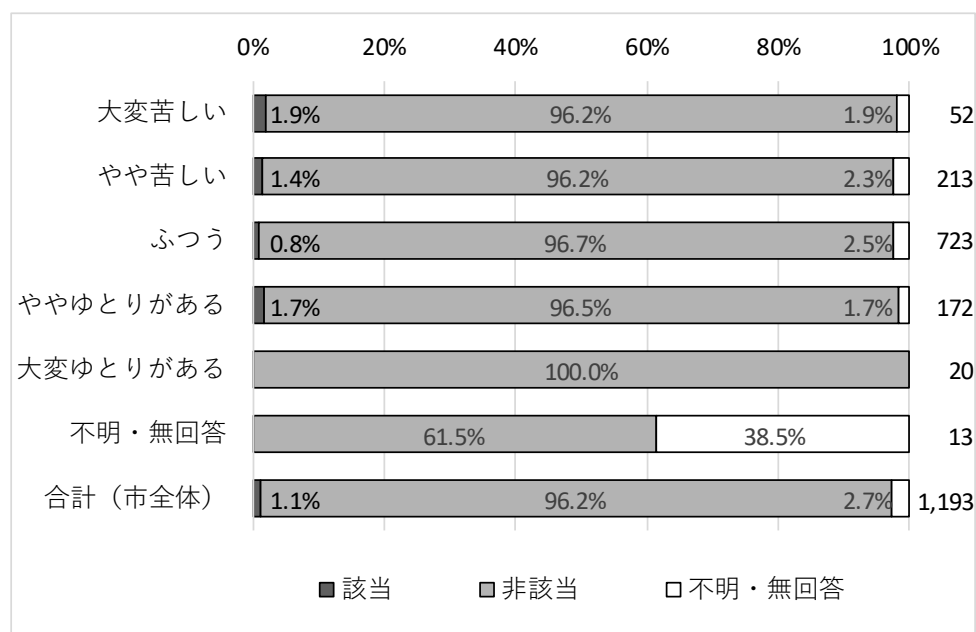
また、年齢階級別に低栄養状態の該当割合を見ると、僅かではありますが年齢が高いほど割合が高くなる傾向が見受けられます。

経済状況別に関しては、低栄養状態の該当割合に大きな差は見られませんが、口腔機能の低下については、経済状況が苦しいと感じている方で該当割合が高い傾向が見受けられます。

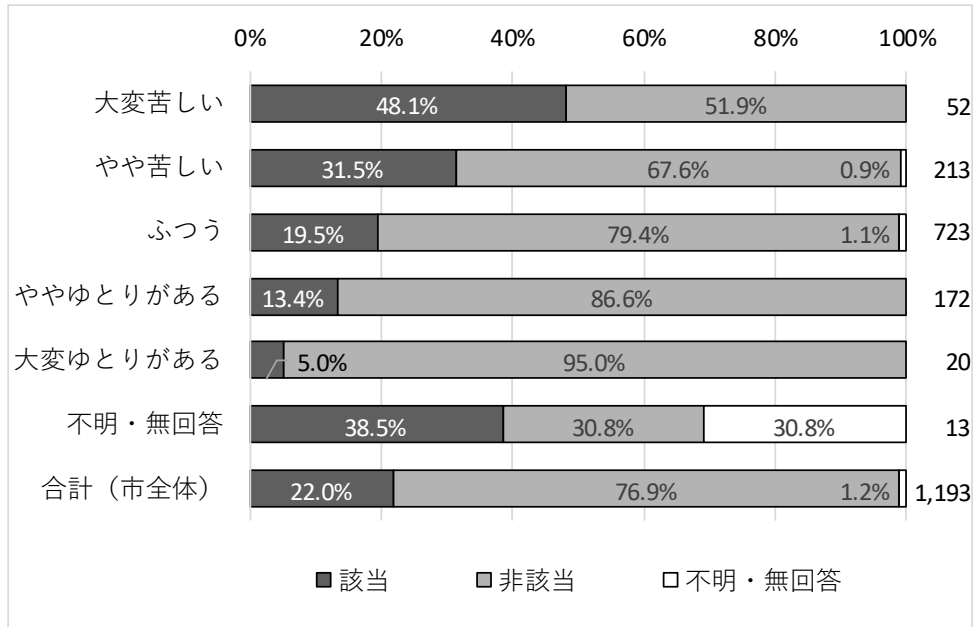
図表 10 年齢階級別低栄養状態該当割合（ニーズ調査）



図表 11 経済状況別低栄養状態該当割合（ニーズ調査）



図表 12 経済状況別口腔機能低下該当割合（ニーズ調査）

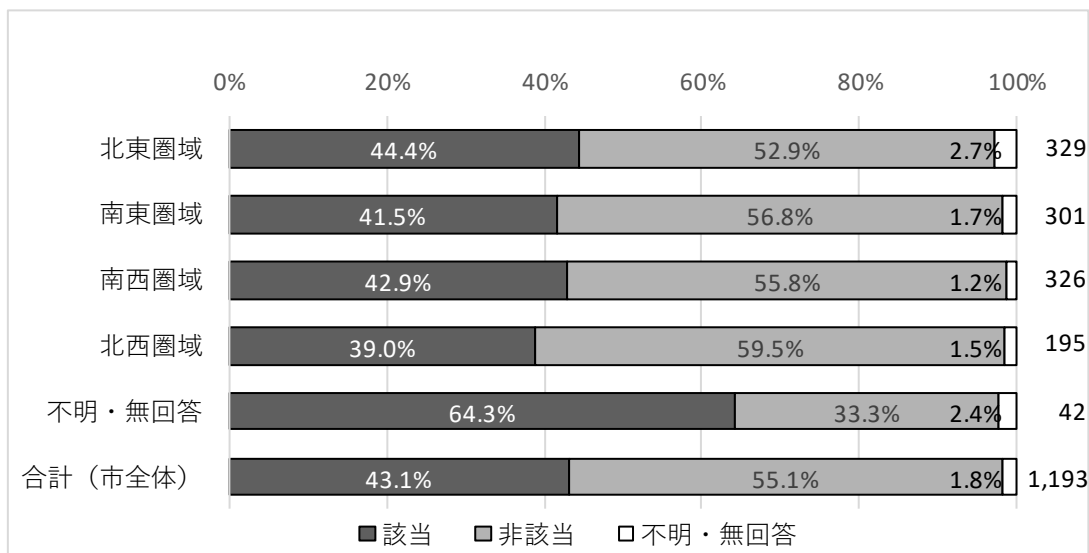


## 第2章 調査の結果 2. クロス集計結果

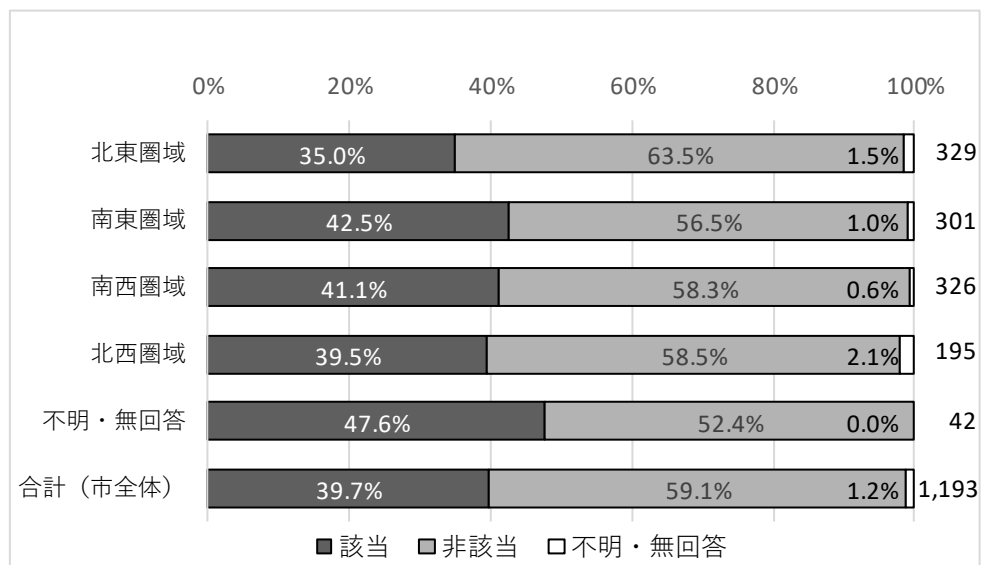
認知機能の低下については、市全体で該当の割合が43.1%であるのに対して、北東圏域が44.4%と高い傾向にあります。また、回答者が自身の住所を正確に選べていない「不明・無回答」で非常に該当者が多いことも特徴です。

うつ傾向については、市全体で該当者が39.7%であるのに対して、北東圏域では35.0%と低く、他3圏域が同程度となっており、運動器の機能低下（P.13 図表4）と同様の傾向を示しています。

図表 013 圏域別認知機能低下該当割合（ニーズ調査）



図表 014 圏域別うつ傾向該当割合（ニーズ調査）

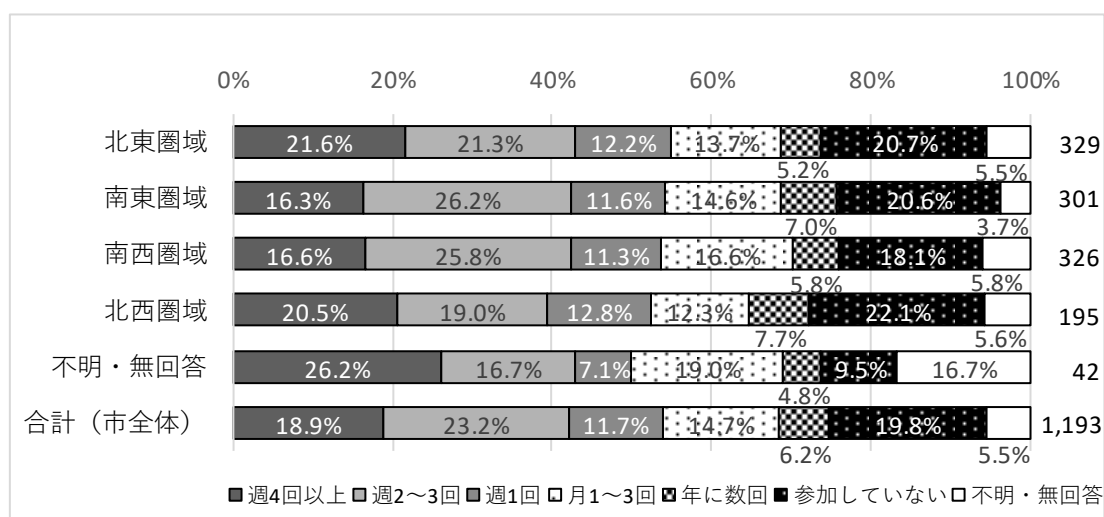


③ 社会参加と健康感・幸福感

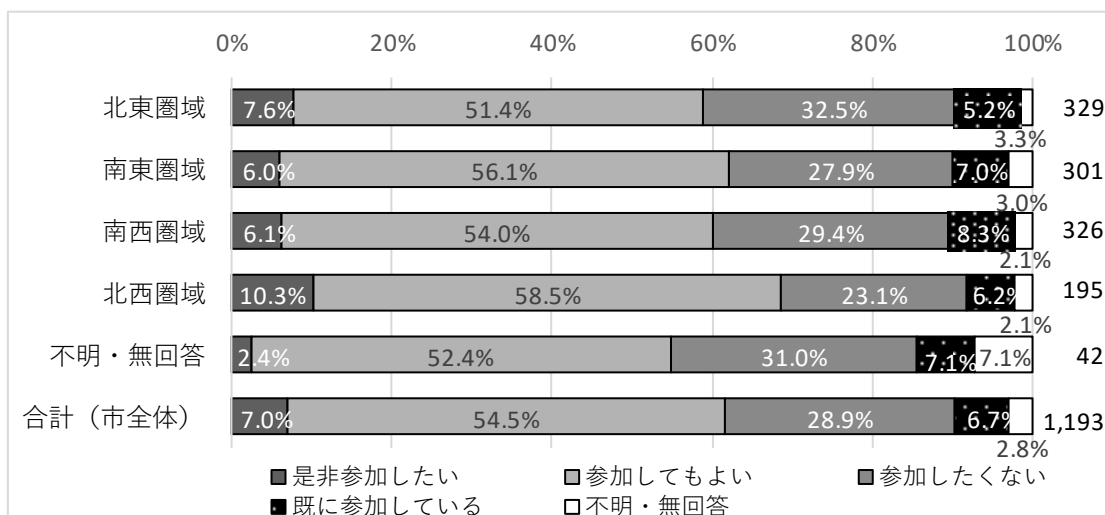
圏域の社会参加の状況については、市全体では、「週2～3回」の割合が23.2%と最も高く、次いで「参加していない」が19.8%、「週4回以上」が18.9%でした。北東・北西圏域で「週4回以上」の割合が高く、南東・南西圏域で「週2～3回」の割合が高いといった回数差は見られるものの、一般的な社会参加の水準とされる「週1回以上」までを含めると、圏域間での大きな差は見られません。しかし、北西圏域では「年に数回」が7.7%、「参加していない」が22.1%とこれらの割合がわずかに高い傾向があり、現状での社会参加の割合が低い圏域であることがうかがえます。

一方で、参加意欲については、市全体で「是非参加したい」「参加してもよい」の割合の合計が61.5%であるのに対して、北西圏域では「是非参加したい」「参加してもよい」の割合の合計が68.8%と高い傾向にあり、企画・運営としての参加も「参加したくない」の割合が低く、社会参加に資する取組を推進することで改善する可能性のある圏域と考えられます。

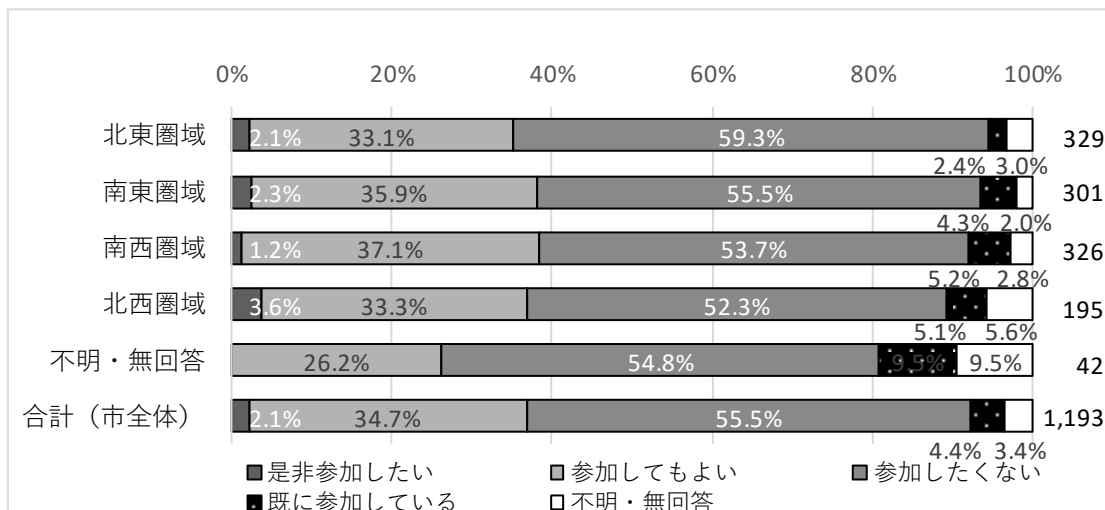
図表 015 圏域別社会参加頻度（ニーズ調査）



図表 016 圏域別社会参加意欲（参加者）（ニーズ調査）

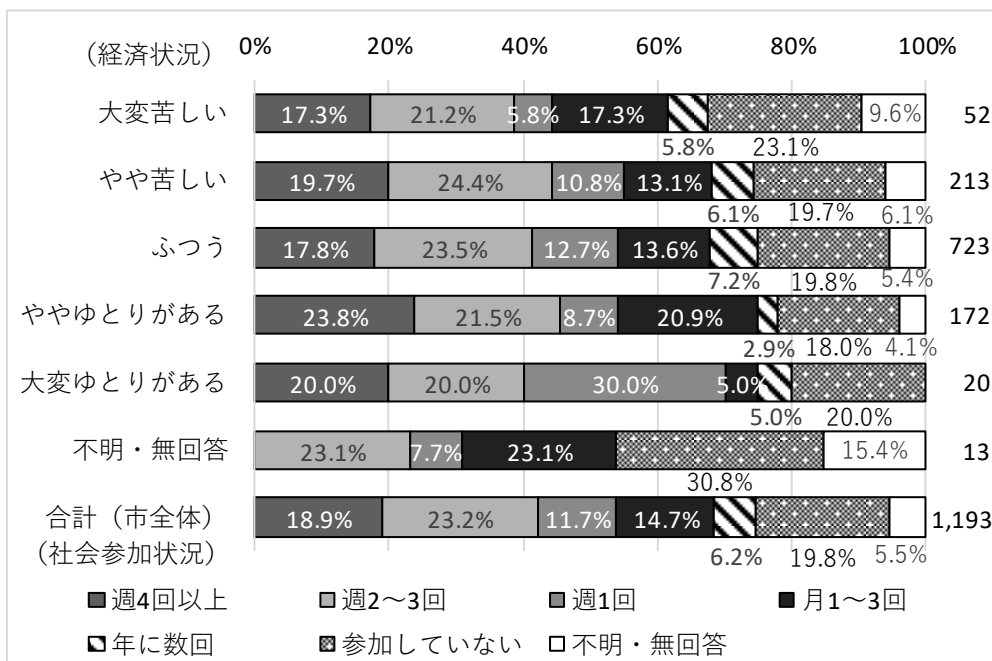


図表 017 圏域別社会参加意欲（企画・運営）（ニーズ調査）



社会参加の状況を経済状況別に確認すると、「大変苦しい」方で「月1～3回」～「参加していない」までの参加頻度が低い回答の割合が46.2%と高く、「大変ゆとりがある」方は、30.0%と低い傾向にあります。「やや苦しい」～「ややゆとりがある」方々は、ほぼ横ばいで40.0%前後となっており、経済状況が「大変苦しい」方の社会参加が制限されている現状がうかがえます。

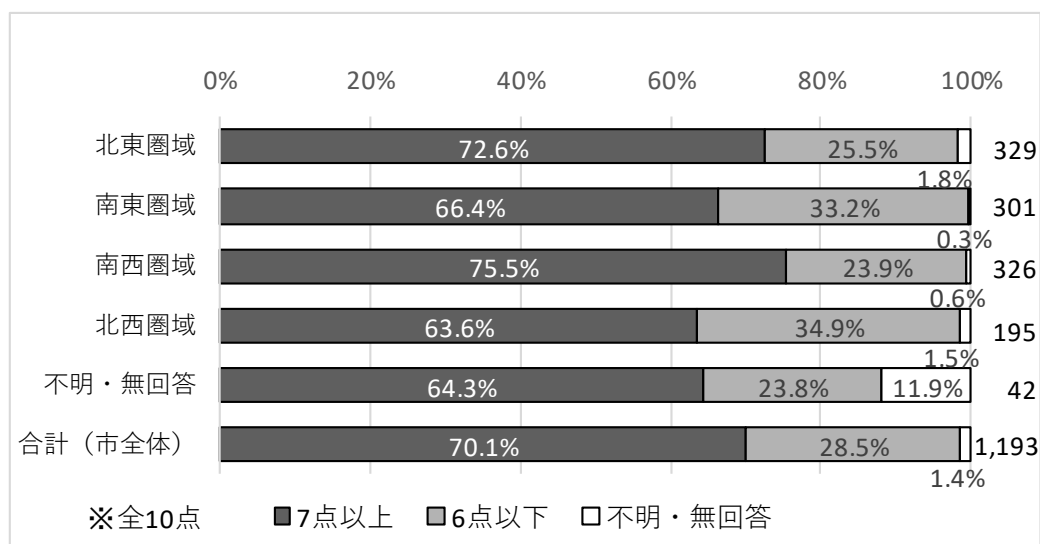
図表 018 経済状況別社会参加頻度（ニーズ調査）



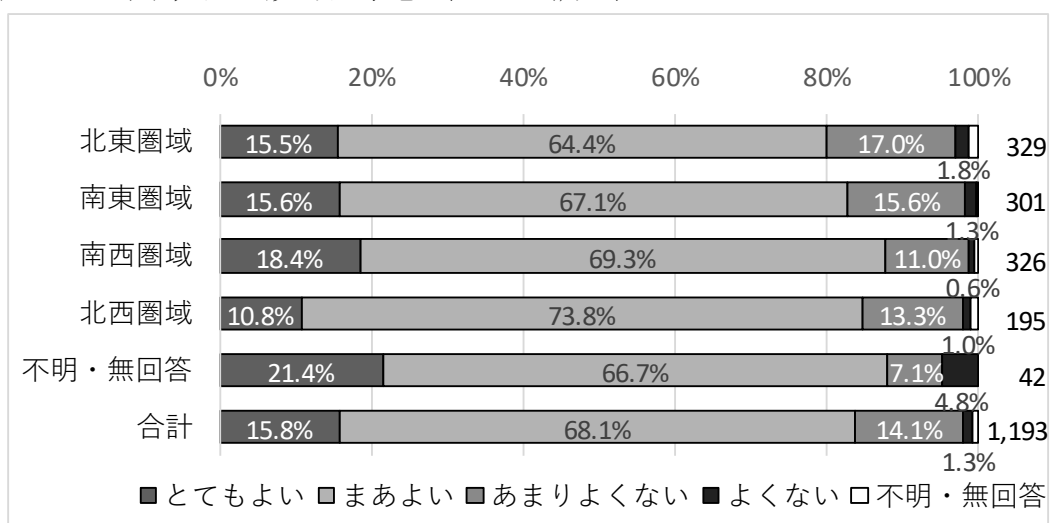
## 第2章 調査の結果 2. クロス集計結果

主観的幸福感については、市全体で10点中7点以上が70.1%、主観的健康感については、市全体で「とてもよい」と「まあよい」の割合の合計が83.9%となっています。圏域別では、南西圏域において主観的幸福感が75.5%、主観的健康感が87.7%とともに4圏域中最も高くなっています。主観的幸福感については、北東圏域でも南西圏域に次いで72.6%と高い傾向にあります。主観的健康感については、北西圏域で「とてもよい」とする割合が10.8%と低い一方で、「まあよい」の割合が73.8%と高いために、全体としては84.6%と良好な割合が高くなっています。また、北東圏域は「あまりよくない」割合が4圏域中最も高く、幸福感における得点とは対照的となっています。

図表 019 圏域別主観的幸福感（ニーズ調査）



図表 020 圏域別主観的健康感（ニーズ調査）

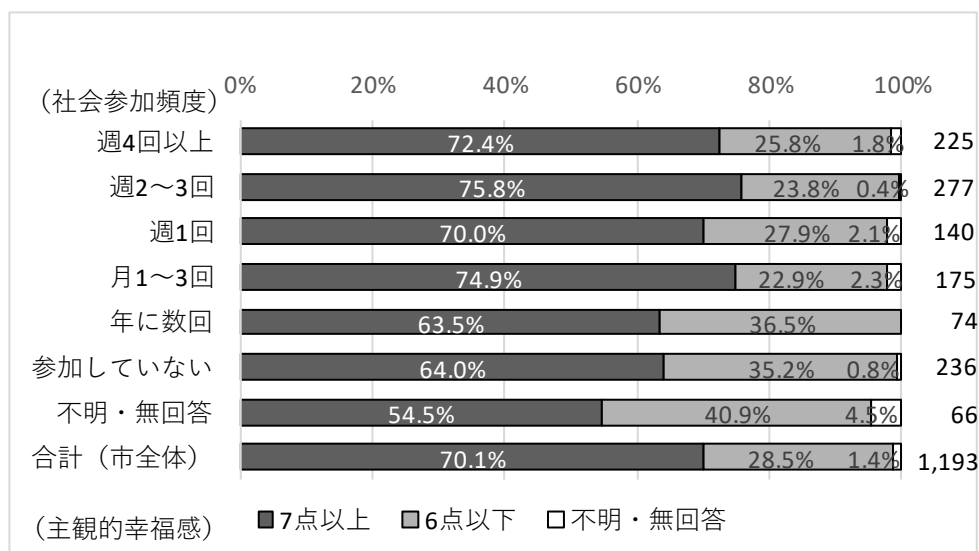


## 第2章 調査の結果 2. クロス集計結果

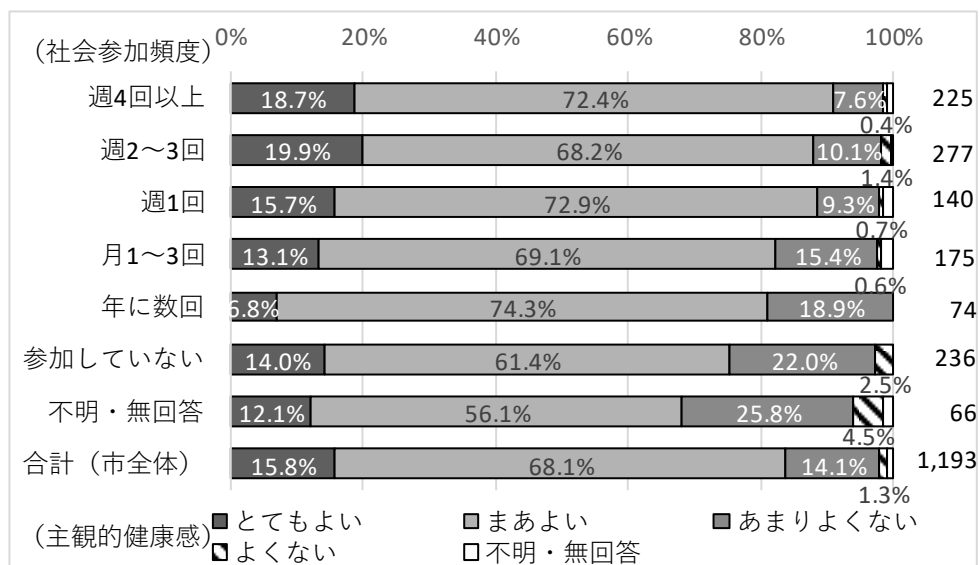
主観的幸福感や主観的健康感は、社会参加頻度と関係があることが見受けられます。主観的幸福感では、社会参加頻度が「年に数回」又は「参加していない」方で10点中7点以上の割合がそれぞれ63.5%と64.0%と低い傾向にあります。また、主観的健康感も同様の傾向が見られ、社会参加頻度が低下するにつれて、「あまりよくない」割合が高くなります。

南西圏域は、社会参加の頻度が「年に数回」又は「参加していない」の割合が23.9%と他圏域と比較して低いため(P.19 図表15)、主観的幸福感や主観的健康感が高いと考えられます。

図表 021 社会参加頻度別主観的幸福感（ニーズ調査）



図表 022 社会参加頻度別主観的健康感（ニーズ調査）

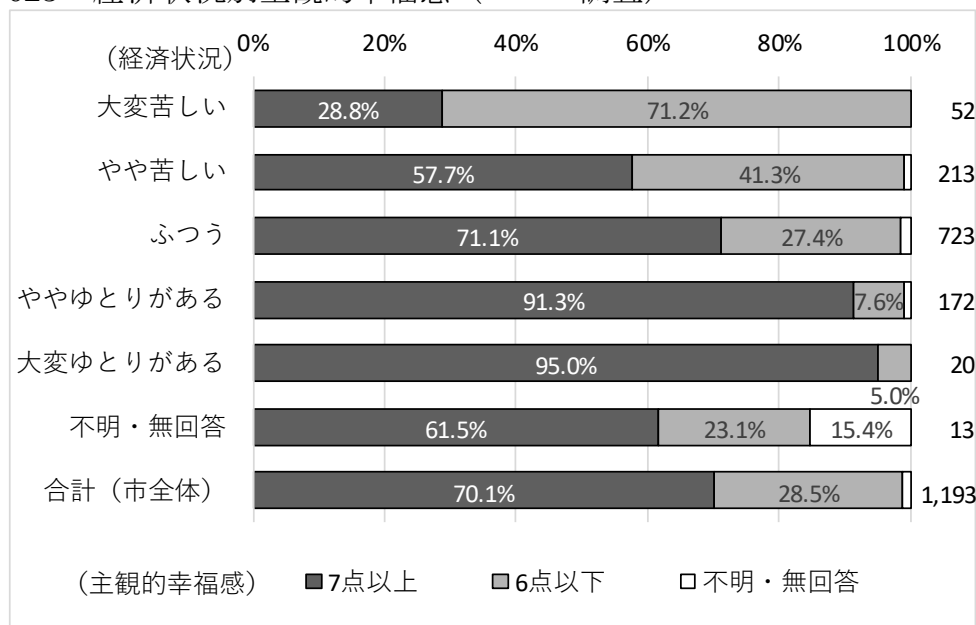




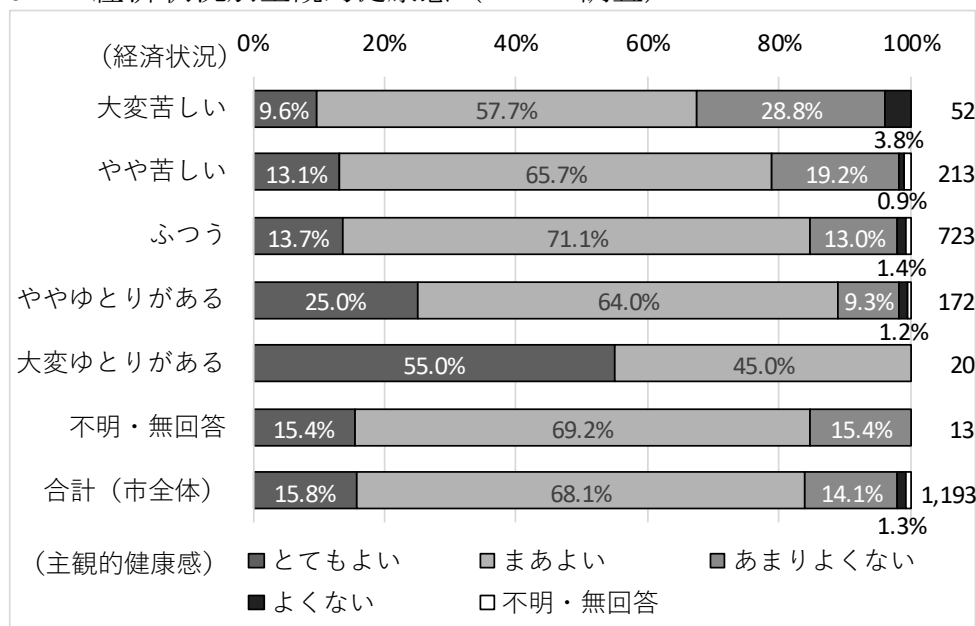
主観的幸福感や主観的健康感を経済状況別に分析しても、社会参加頻度と類似の結果を示しており、経済的に苦しくなるほど、主観的健康感や幸福感は低下する傾向にあります。例えば、主観的幸福感が10点中7点以上の割合は、経済状況が「大変苦しい」方で28.8%、「ふつう」の方で71.1%、「大変ゆとりがある」方で95.0%となっています。

また、主観的健康感では、「あまりよくない」との回答割合は、経済状況が「大変くるしい」方で28.8%、「ふつう」の方で13.0%、「大変ゆとりがある」方では0.0%となっています。

図表 023 経済状況別主観的幸福感（ニーズ調査）



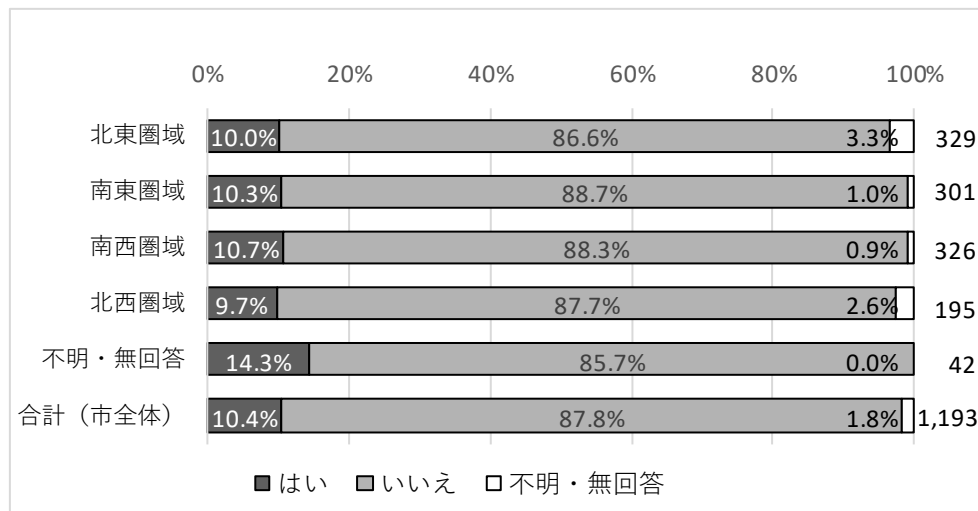
図表 024 経済状況別主観的健康感（ニーズ調査）



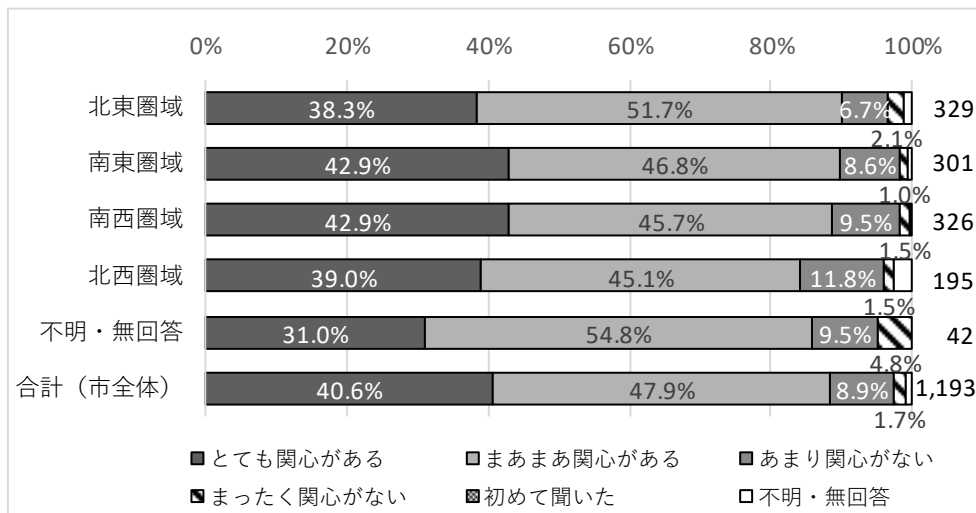
④ 認知症について

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人の割合は、市全体では 10.4%であり、各圏域での差は見られませんでした。また、認知症への関心度は、市全体では「とても関心がある」、「まあまあ関心がある」の合計が 88.5%であり、北西圏域で 84.1%とわずかに低くなっている点以外は、大きな差は見られませんでした。南東・南西圏域で、「とても関心がある」割合が 42.9%と高い傾向にありますが、同圏域は後期高齢者の割合が高く、認知症を自身の事と考えている人の割合が高いことが影響していると考えられます。

図表 025 圏域別認知症状の有無（ニーズ調査）



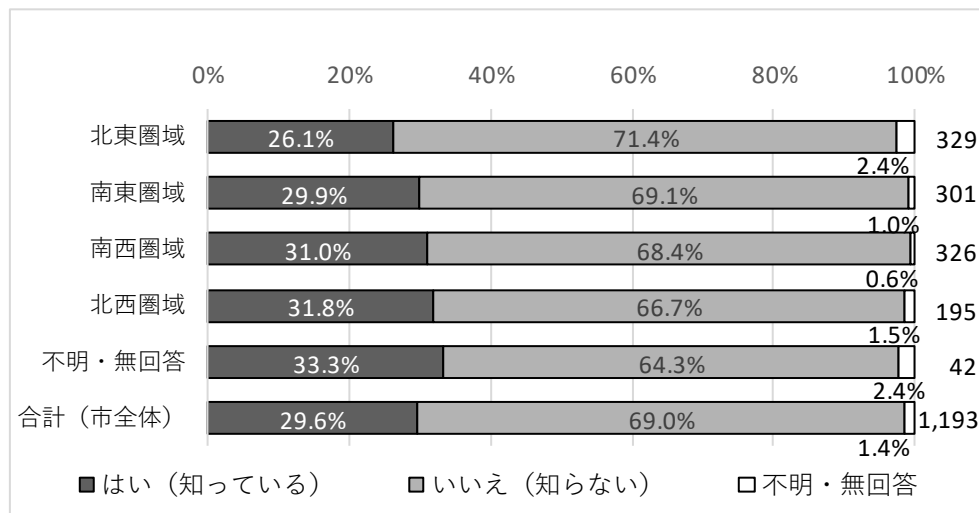
図表 026 圏域別認知症への関心度（ニーズ調査）



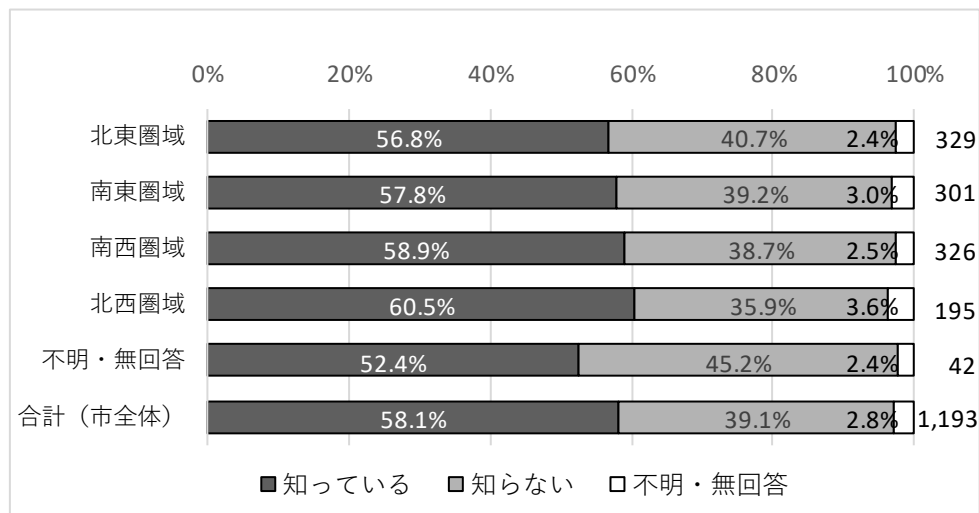
## 第2章 調査の結果 2. クロス集計結果

認知症に関する相談窓口の認知度については、市全体では29.6%であり、特に北東圏域で26.1%と低い傾向にあります。地域包括支援センターの認知度と同様に北東圏域で低く、北西圏域で高くなっており、地域包括支援センターが市民に更に認知されることが、認知症に関する相談窓口の認知度を上げる上で重要になると考えられます。

図表 027 圏域別認知症相談窓口の認知度（ニーズ調査）



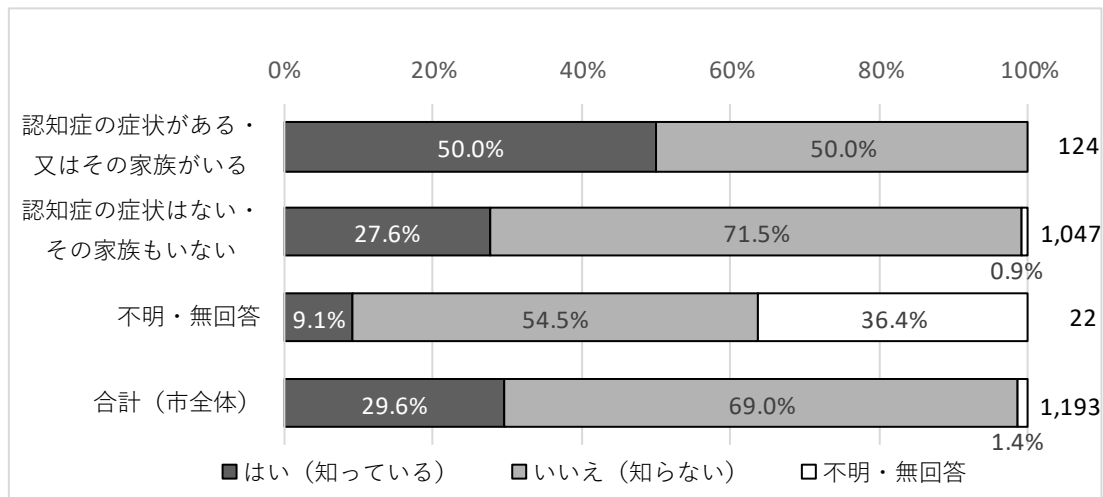
図表 028 圏域別地域包括支援センターの認知度（ニーズ調査）



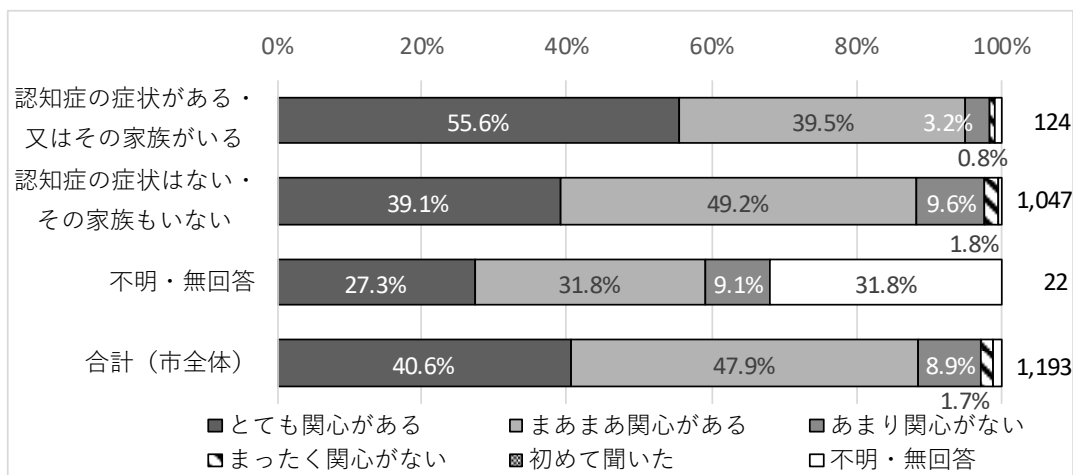
## 第2章 調査の結果 2. クロス集計結果

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人でも、相談窓口を知っている人は50.0%と半数しかおらず、更なる周知が必要です。また、自身に症状がなく、家族にも認知症の症状がない方の中には、認知症について「あまり関心がない」層が9.6%と一定数おり、認知症について意識していないことがうかがえます。認知症サポーター養成講座等の多様な場で市民の理解を深める取組を進める必要があります。

図表 029 認知症状の有無別認知症相談窓口の認知度（ニーズ調査）



図表 030 認知症状の有無別認知症への関心度（ニーズ調査）

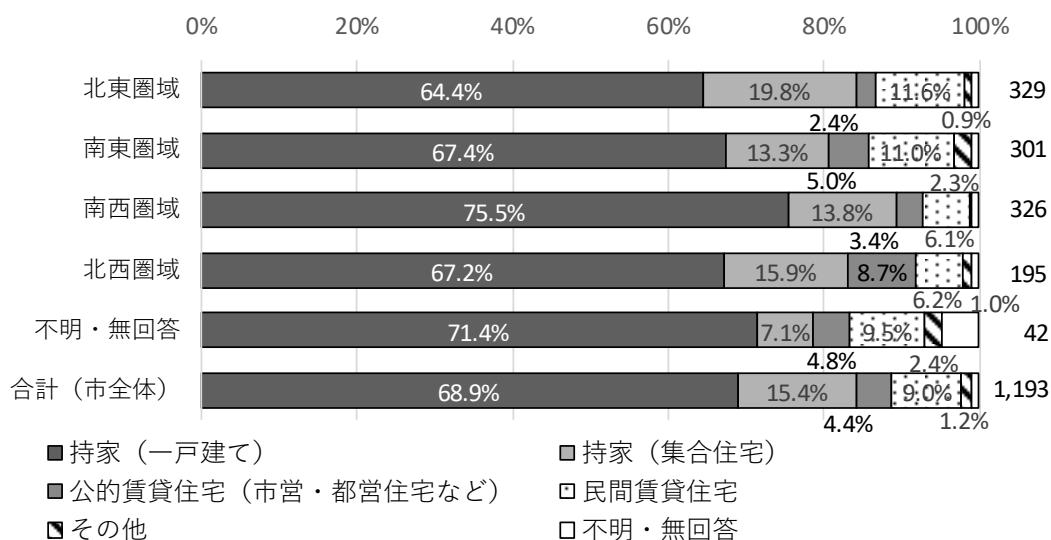


⑤ 住まい

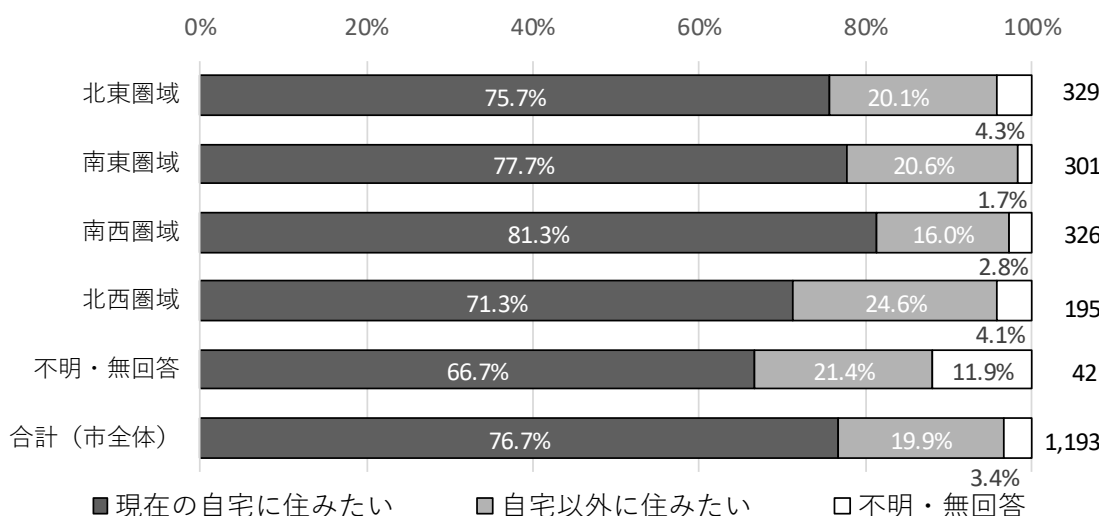
現在の住まいについては、市全体では、「持家（一戸建て）」が68.9%と最も高く、次いで「持家（集合住宅）」が15.4%と続きます。南西圏域では「持家（一戸建て）」の割合が75.5%と高く、北東圏域では「持家（集合住宅）」の割合が19.8%と高い傾向にあります。また、北西圏域では、「公的賃貸住宅」の割合が8.7%と高い傾向にあることが特徴的です。

今後暮らす場所の希望としては、市全体では、現在の自宅が76.7%と大半を占めていますが、北西圏域では現在の自宅の割合が71.3%と低い傾向にあり、住み替えや介護サービス利用の意向が強いことがうかがえます。

図表 031 圏域別現在の住まい（ニーズ調査）



図表 032 圏域別今後の住まいの希望（ニーズ調査）

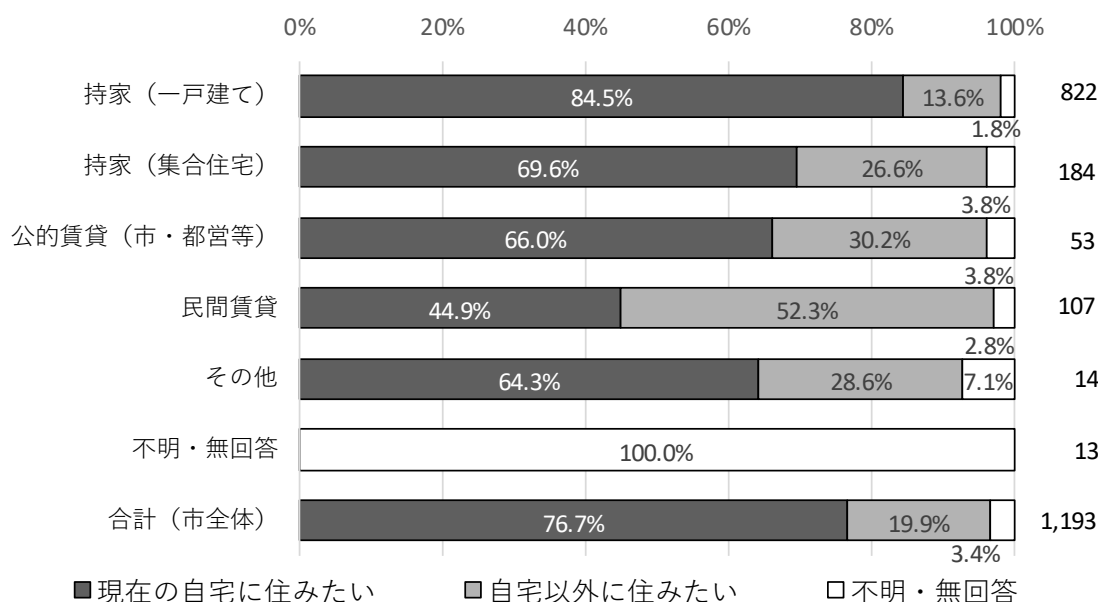


## 第2章 調査の結果 2. クロス集計結果

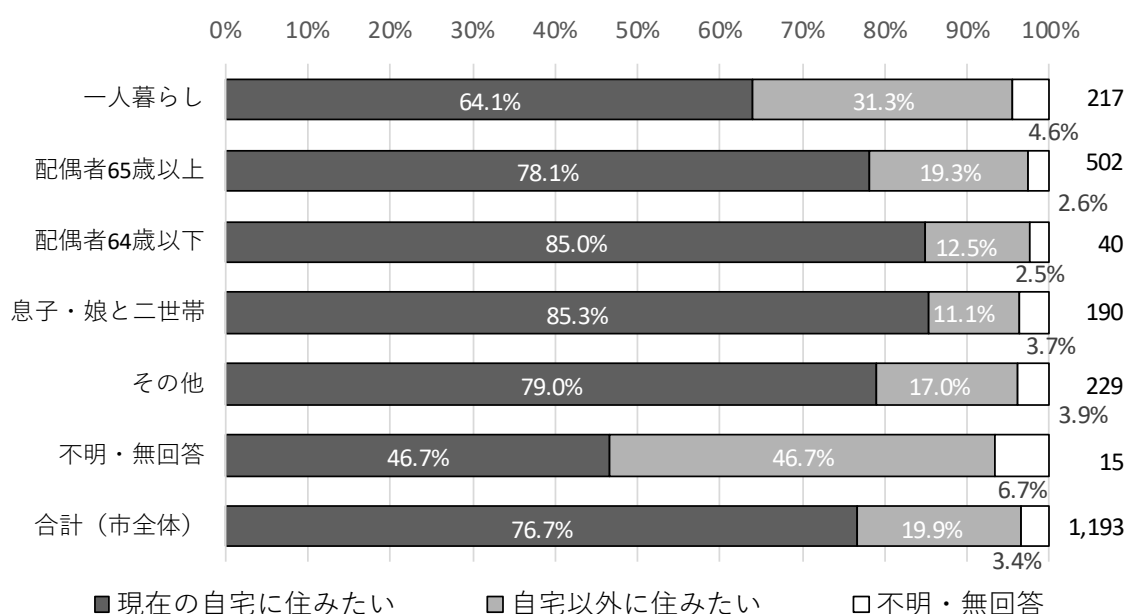
また、今後暮らす場所に影響を与えている要因として、現在の住まいの状況が挙げられ、民間賃貸住宅に現時点において住まわれている方は、自宅以外に住みたいとの回答が52.3%と非常に高い傾向にあり、次いで公的賃貸住宅に住まわれている方が、自宅以外に住みたいとの回答が30.2%となっています。

家族構成別では、一人暮らしの方は自宅以外に住みたいとの回答が31.3%、次いで配偶者65歳以上の方が自宅以外に住みたいとの回答が19.3%となっています。

図表 033 現在の住まい別今後の住まいの希望（ニーズ調査）



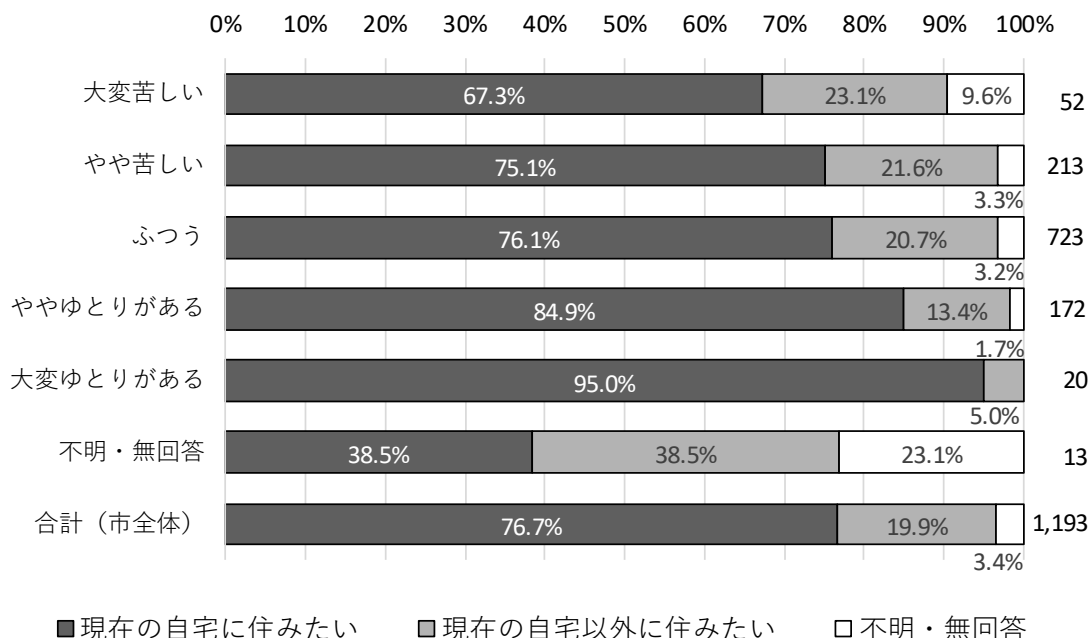
図表 034 家族構成別今後の住まいの希望（ニーズ調査）



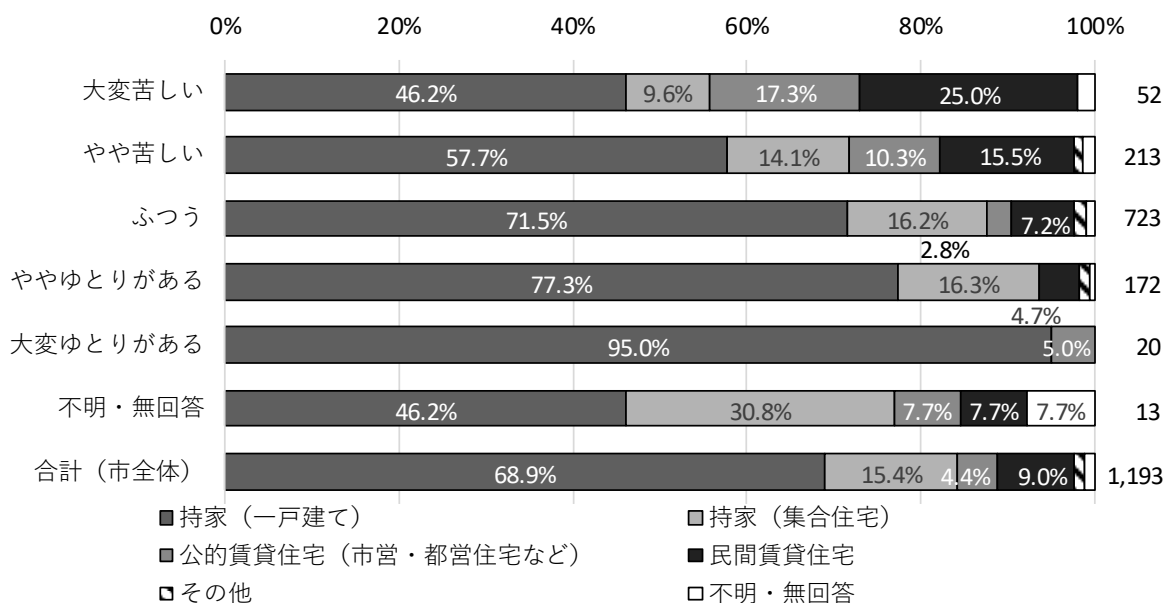
## 第2章 調査の結果 2. クロス集計結果

同様に、経済状況も今後暮らす場所に影響を与えている要因として挙げられます。経済状況が「大変苦しい」方で「現在の自宅に住みたい」との回答は67.3%と低い傾向にあります。これは、現在の住まいの状況の影響も考えられ、経済状況が「大変苦しい」方は持家（一戸建て）が46.2%と低く、公的賃貸住宅が17.3%、民間賃貸住宅が25.0%と高い傾向にあり、住み替えなどがしやすい環境であることが影響しているものと考えられます。

図表 035 経済状況別今後の住まいの希望（ニーズ調査）



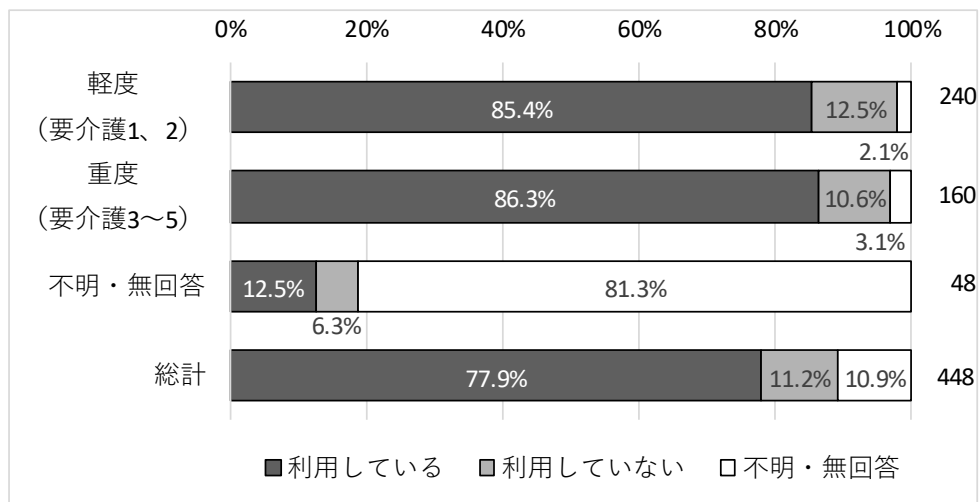
図表 036 経済状況別現在の住まい（ニーズ調査）



(2) 要介護度別比較

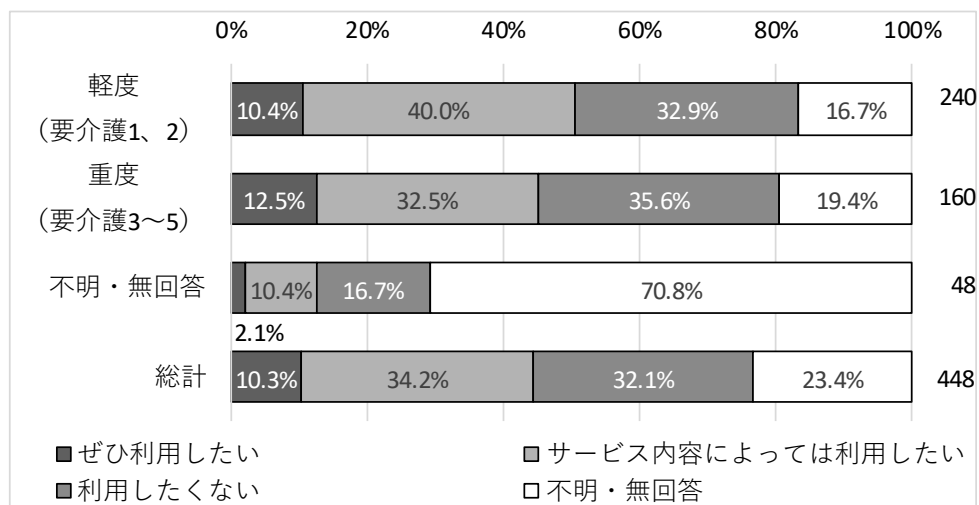
要介護認定を受けている人で、介護サービスを利用していない割合が、市全体で 11.2% となっていますが、軽度（要介護 1、2）で 12.5% と高い傾向にあります。

図表 037 要介護度別介護サービス利用状況（利用意向調査）



元気高齢者等がサービスの担い手となる生活支援サービスの利用意向については、市全体で「ぜひ利用したい」、「サービス内容によっては利用したい」の割合が 44.5% となっていますが、軽度（要介護 1、2）で 50.4% と高い傾向にあります。特に「サービス内容によっては利用したい」の回答割合が 40.0% と高く、自身の状況により、利用を進めていきたい意向がうかがえます。

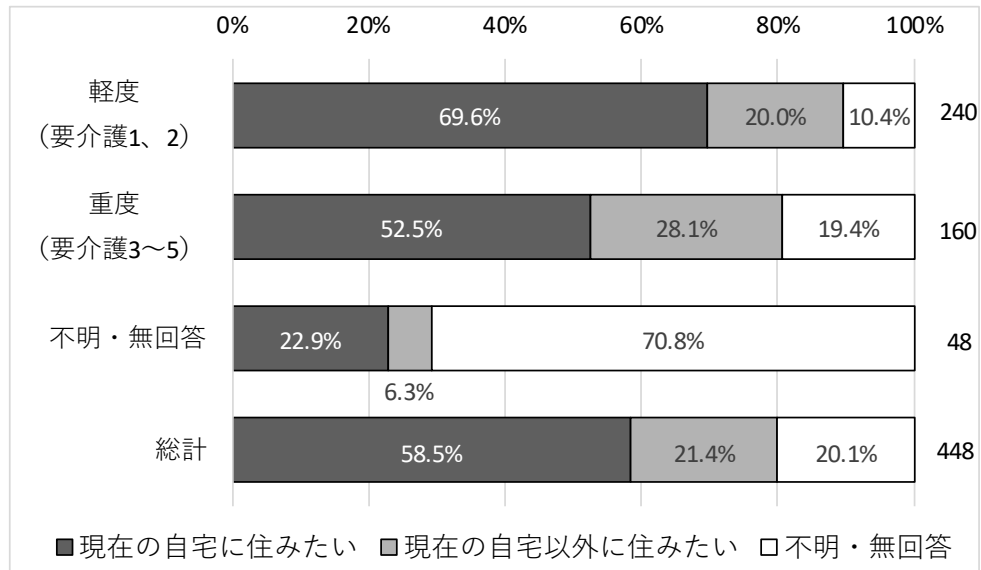
図表 038 要介護度別住民主体サービス利用意向（利用意向調査）





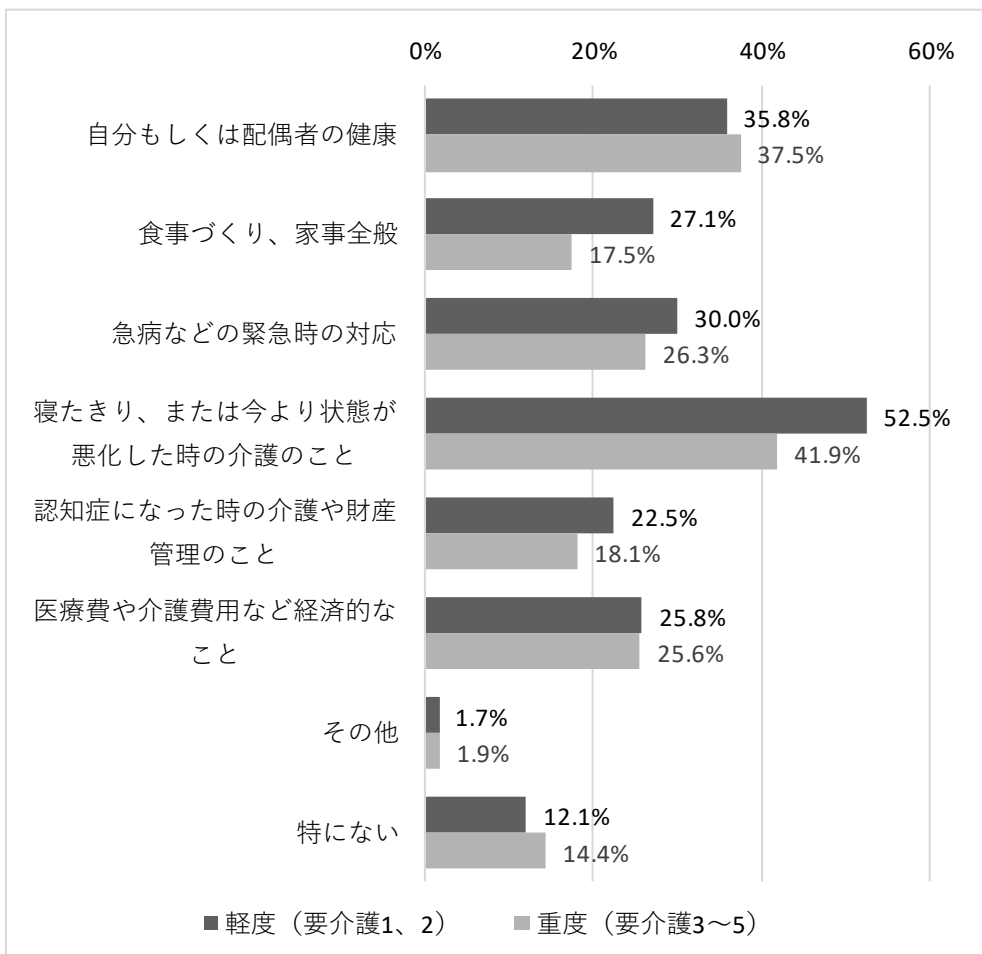
今後の住まいの希望については、市全体では「現在の自宅に住みたい」が58.5%と半数以上を占めていますが、重度（要介護3～5）では52.5%と低い傾向にあり、自宅での介護に負担を感じて施設利用等を希望している割合が高くなっていることがうかがえます。

図表 039 要介護度別今後の住まいの希望（利用意向調査）



介護で不安なことについて、要介護度別で差が顕著となっている回答が、「食事づくり、家事全般」(軽度 27.1%、重度 17.5%)、「寝たきり、または今より状態が悪化した時の介護のこと」(軽度 52.5%、重度 41.9%) となっています。どちらも、現在は自身で実施できることが、できなくなってしまうことを不安に感じていることがうかがえます。

図表 040 要介護度別介護で不安なこと (利用意向調査)

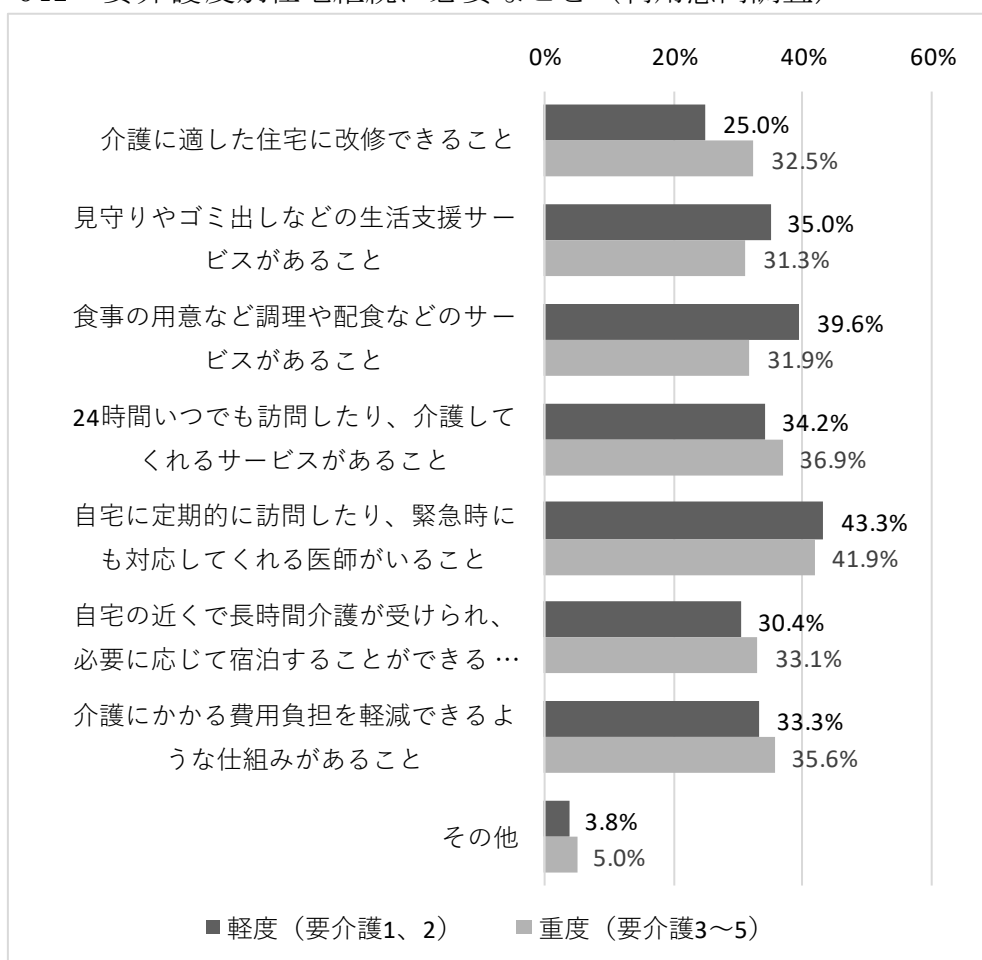


在宅介護の継続に必要なことについては、共通して「自宅に定期的に訪問したり、緊急時にも対応してくれる医師がいること」が高い傾向（軽度 43.3%、重度 41.9%）にあり、急変時の対応ができる状態であることを求めていることがうかがえます。

また、軽度の方では、「食事の用意など調理や配食などのサービスがあること」が 39.6% 「見守りやゴミ出しなどの生活支援サービスがあること」が 35.0% と高く、家事の負担を軽減することが、在宅生活の継続に繋がると考えられます。

重度の方では、「24時間いつでも訪問したり、介護してくれるサービスがあること」が 36.9% と高く、夜間や定期的な介護負担の軽減が、在宅生活の継続に必要であると感じていることがうかがえます。

図表 041 要介護度別在宅継続に必要なこと（利用意向調査）

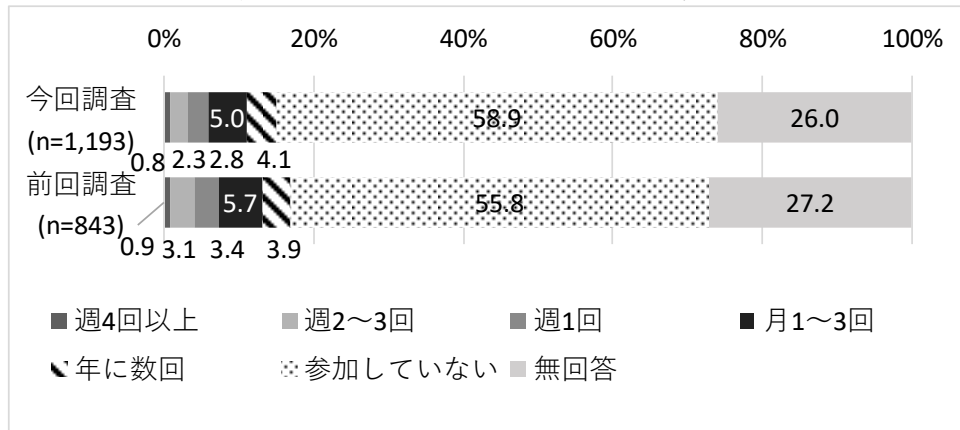


3. 前回調査との結果比較

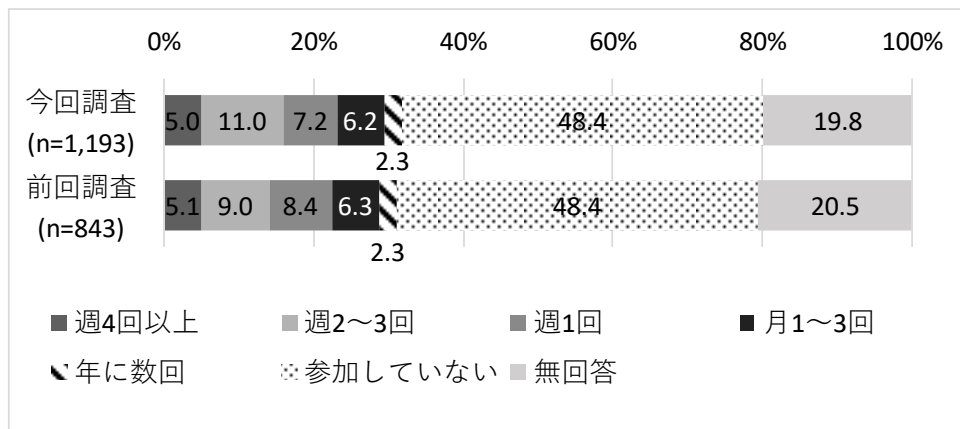
① 社会参加

社会参加の頻度は、『スポーツ関係のグループやクラブ』、『趣味関係のグループ』は僅かに増加傾向にあり、『ボランティアのグループ』、『学習・教養サークル』は僅かに減少傾向にあります。健康志向の高まりや、生活スタイルが多様化している背景が見受けられます。

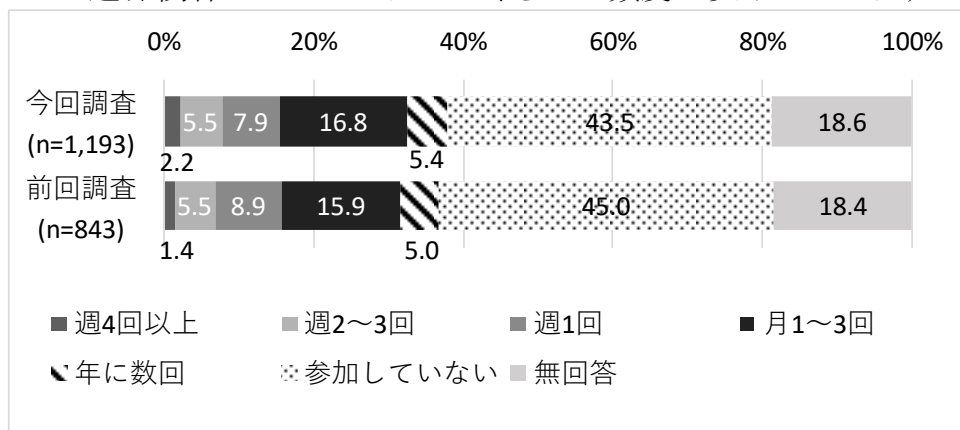
図表 042 ボランティアのグループにどのくらいの頻度で参加していますか。



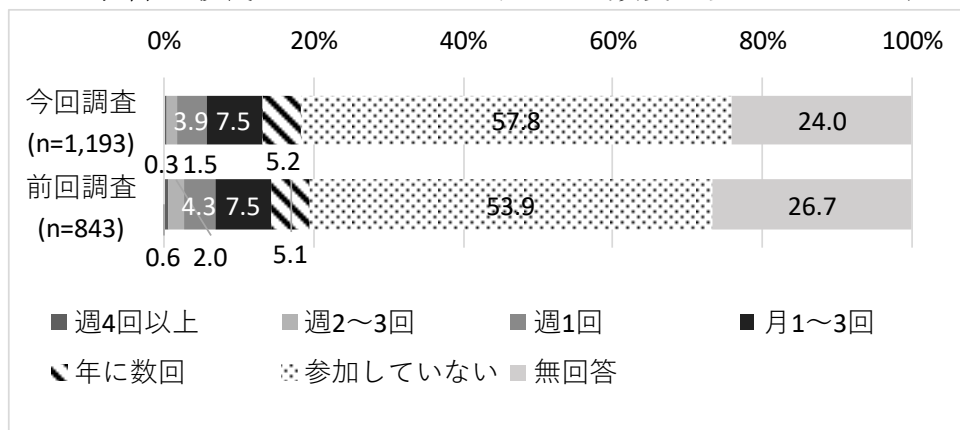
図表 043 スポーツ関係のグループやクラブにどのくらいの頻度で参加していますか。



図表 044 趣味関係のグループにどのくらいの頻度で参加していますか。

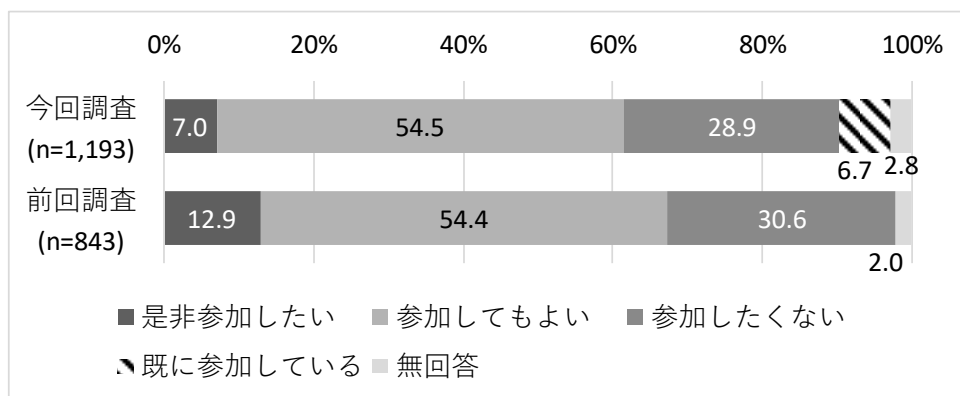


図表 045 学習・教養サークルにどのくらいの頻度で参加していますか。

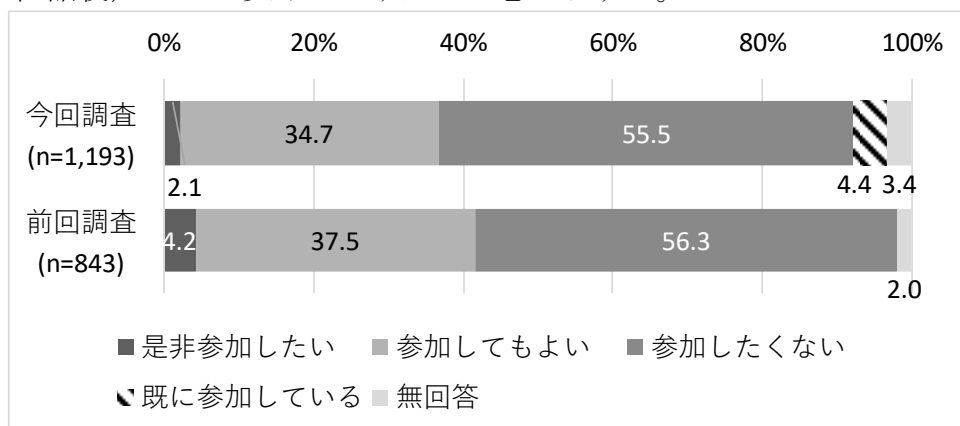


また、地域住民でのグループ活動への参加意欲については、『是非参加したい』が減少しているように見受けられますが、今回の調査より『既に参加している』との回答が新設された影響によるもので、『参加したくない』と回答した割合は減少傾向にあります。この傾向は『参加者として』、『企画・運営（お世話役）として』ともに同様の傾向にあり、地域活動への参加意欲が向上していることがうかがえます。

図表 046 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

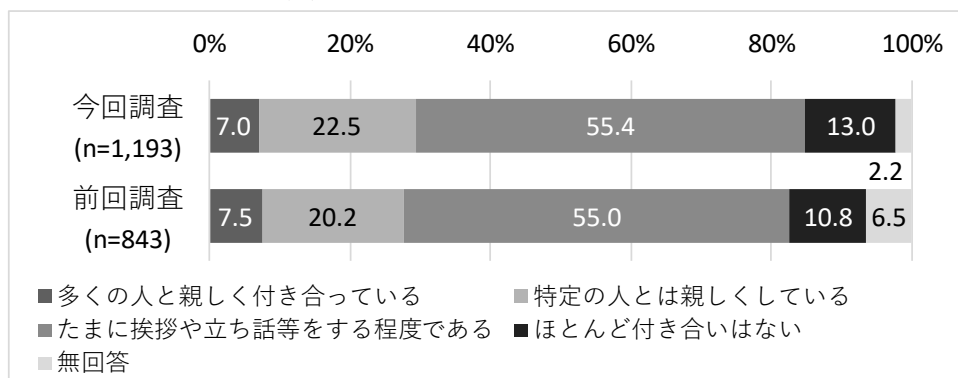


図表 047 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。

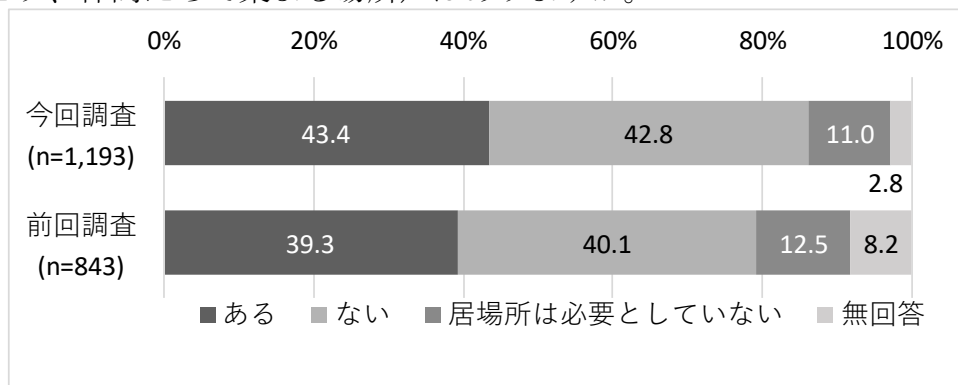


近隣での人付き合いに関しては、『ほとんど付き合いはない』との回答が増加傾向にあり、一部で近隣との関係性が希薄になっていることがうかがえます。一方で、自宅以外の居場所があると回答する方が増加傾向にあり、近隣にとらわれない地域内交流を図っている傾向があります。

図表 048 あなたは隣近所の人とはどの程度お付き合いをしていますか。

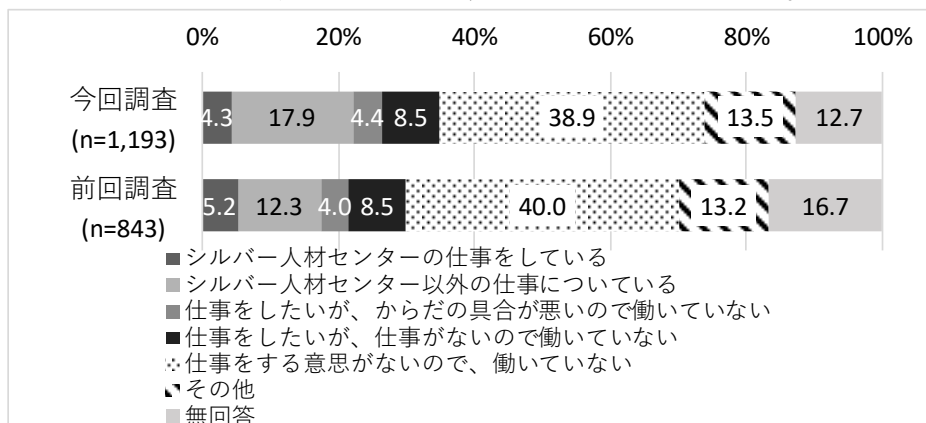


図表 049 あなたは、お住まいの地域の中で、自宅以外の居場所（定期的に顔を出したり、仲間たちで集まる場所）はありますか。



収入のある仕事については、前回調査よりも『シルバー人材センター以外の仕事についている』人が増加しており、『シルバー人材センターの仕事をしている』人は、減少傾向にあります。また、『仕事をしたいが、仕事がないので働いていない』人は横ばいの状況です。働く意欲のある高齢者と労働力の社会的需要のマッチングをどう図るかが課題となっています。

図表 050 あなたは現在、収入のある仕事についていますか。

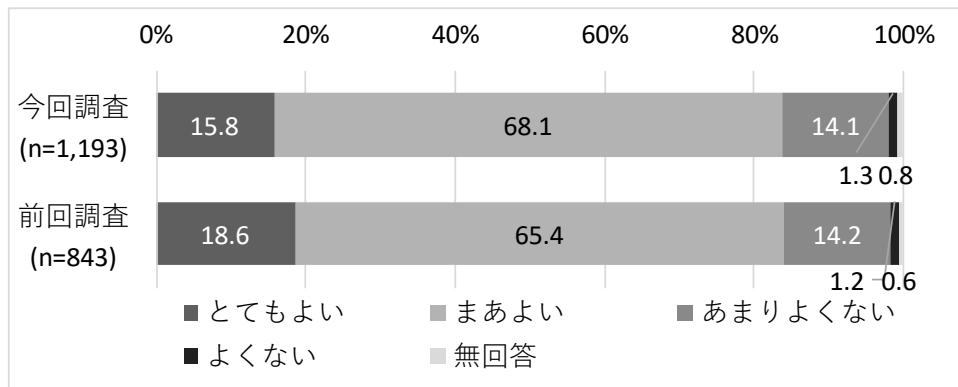


※シルバー人材センターは臨時的かつ短期的又は軽易な業務について、会員の能力に応じて請負や派遣等を行うことで、就業の機会確保及び社会参加を促す団体です。

② 健康感や幸福感

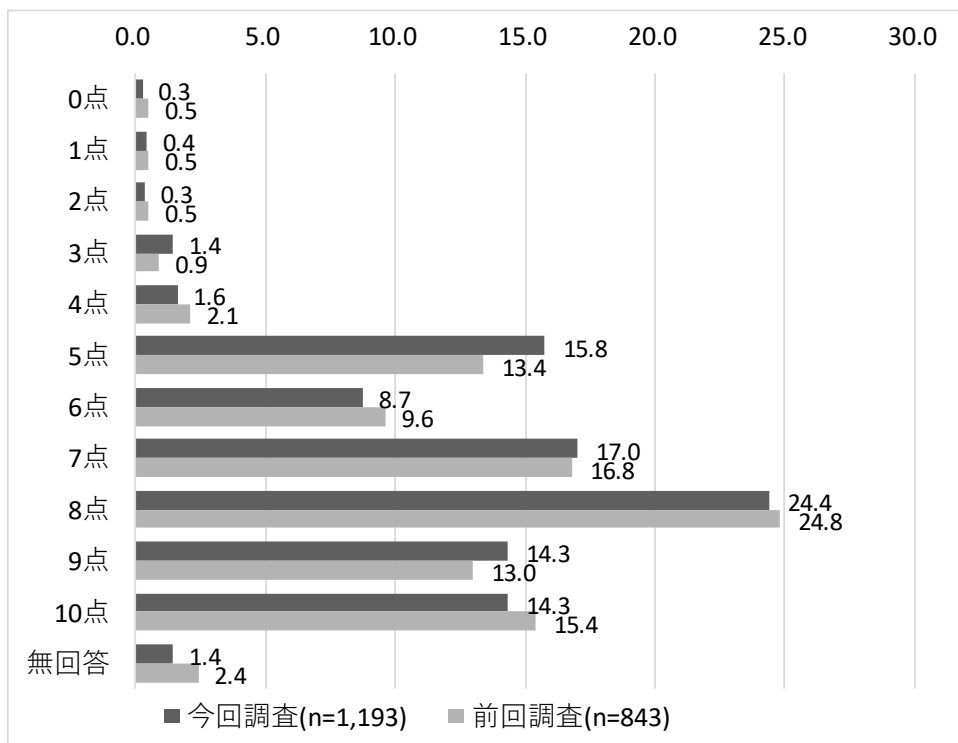
主観的健康感については、『とてもよい』の回答は減少傾向にあります。『まあよい』を含めた回答の割合はほぼ横ばいとなっています。地域住民の健康状態が悪化していないという意味では、前向きにとらえることができますが、今後の傾向の変化に注意が必要です。

図表 051 現在のあなたの健康状態はいかがですか。



主観的幸福感についても、点数ごとにばらつきはあるものの、『10点中7点以上』の割合は横ばいであり、大きな変化は見受けられません。中央値については、どちらも「8点」と変化はありませんが、平均値では7.35点から7.40点へとわずかに上昇しています。一方で、不幸でも幸福でもどちらでもないと感じている中間的な層である『5点』の割合が増加して、今後の動きを注視する必要があります。

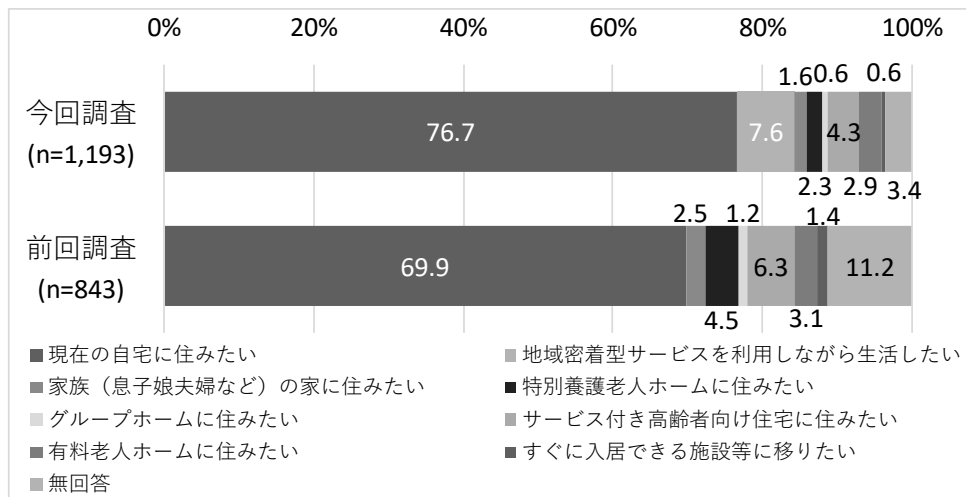
図表 052 あなたは、現在どの程度幸せですか。



③ 住まい

今後の住まいについて、『現在の自宅に住みたい』との回答割合が増加しており、在宅を希望する傾向が強くなっています。施設等を利用したいと考えている方は減少傾向にあり、在宅での生活をサポートする取組を今後一層強化していくことが求められます。

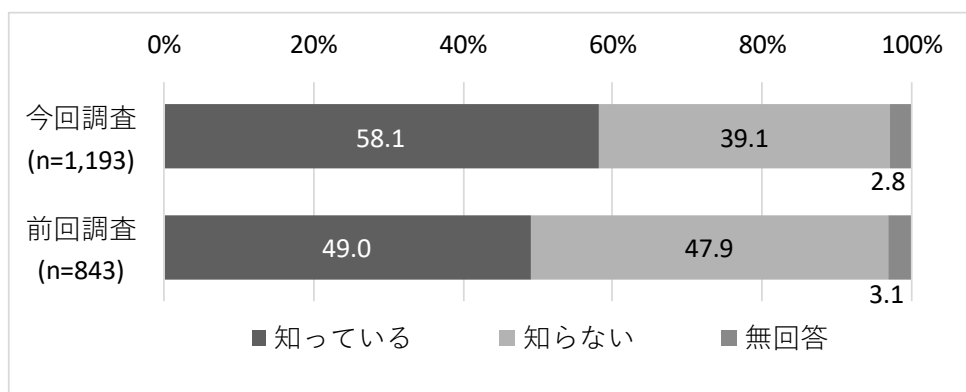
図表 053 今後、暮らす場所として希望している住まいはどこですか。



④ その他

地域包括支援センターは、前回調査よりも認知度が上昇しており、役割を担うための土台は構築できつつあることがうかがえます。

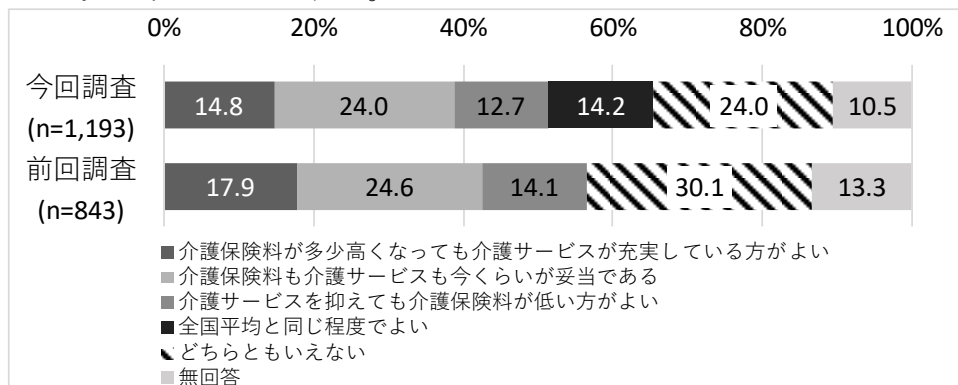
図表 054 あなたは、小金井市の地域包括支援センターを知っていますか。





介護保険料と介護サービスのバランスについて、『保険料が多少高くなっても介護サービスが充実している』ことを求める方は減少傾向にあり、また『介護サービスを抑えても介護保険料が低い方がよい』方も減少傾向にあります。今回より、『全国平均と同じ程度でよい』との回答を新設しており、その項目に回答が集まっている傾向も見受けられ、それぞれの回答割合の減少もその影響を受けていると考えられます。

図表 055 今後の介護保険サービスと介護保険料について、あなたの考えに最も近いものは次のうちどれですか。



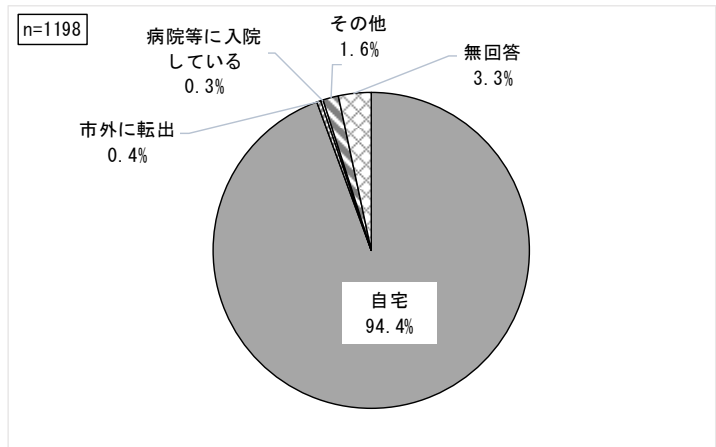
4. 単純集計

(1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

S1：あなたは現在どちらにいらっしゃいますか。(SA)

「自宅」が最も多いです。

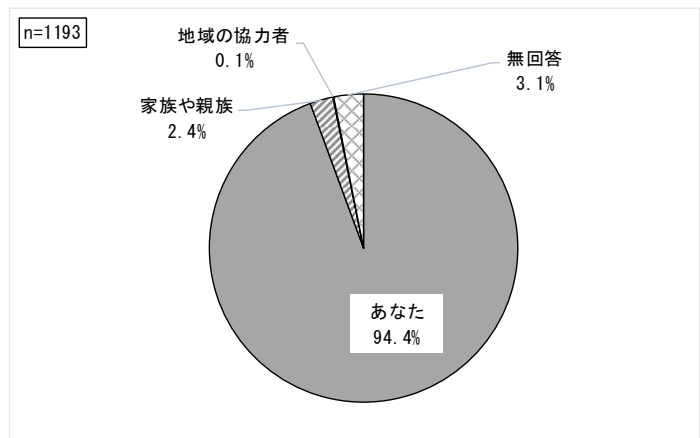
	回答数	%
全体	1,198	100.0
1 自宅	1,131	94.4
2 市外に転出	5	0.4
3 病院等に入院している	3	0.3
4 その他	19	1.6
- 無回答	40	3.3



S2：この調査票はどなたがご記入されますか。(SA)

「あなた」(ご本人)が最も多いです。

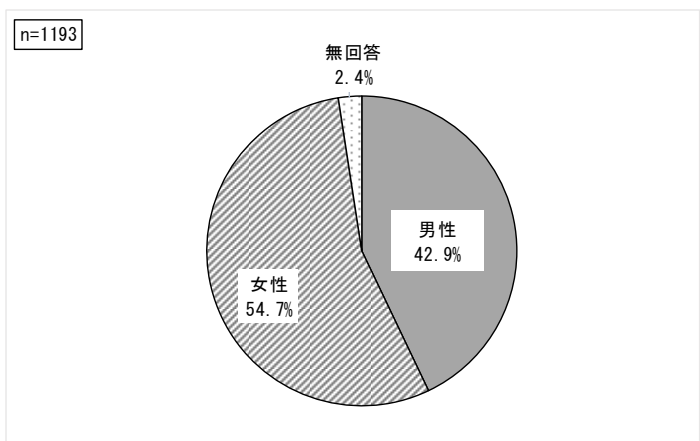
	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 あなた	1,126	94.4
2 家族や親族	29	2.4
3 地域の協力者	1	0.1
4 その他	0	0.0
- 無回答	37	3.1



F1：あなたの性別はどちらですか。(SA)

「女性」が最も多いです。

	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 男性	512	42.9
2 女性	652	54.7
- 無回答	29	2.4

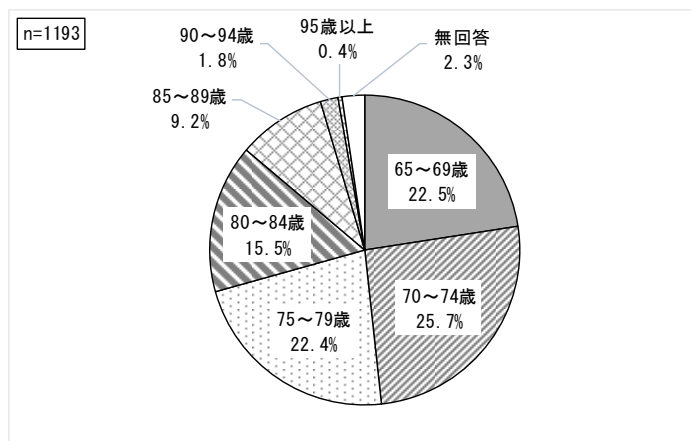


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

F2：あなたの年齢は次のどれですか。 ※令和元年12月1日現在の年齢でお答えください。  
(SA)

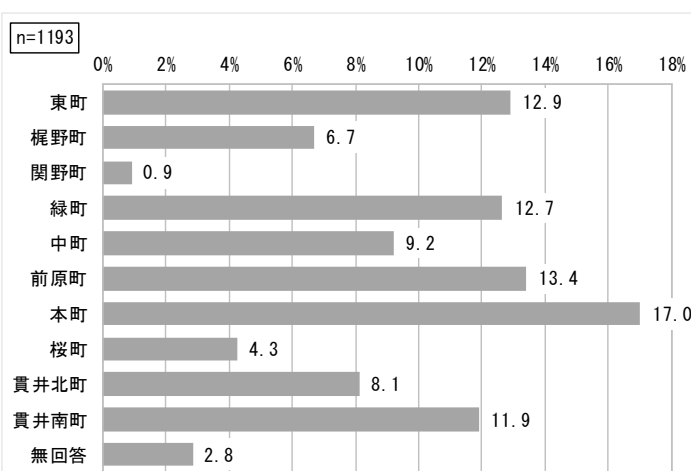
65～74歳の前期高齢者で約半数を占めています。

	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 65～69歳	269	22.5
2 70～74歳	307	25.7
3 75～79歳	267	22.4
4 80～84歳	185	15.5
5 85～89歳	110	9.2
6 90～94歳	22	1.8
7 95歳以上	5	0.4
- 無回答	28	2.3



F3：あなたはどちらにお住まいですか。また、丁目をご記入ください。 / 町 (SA)

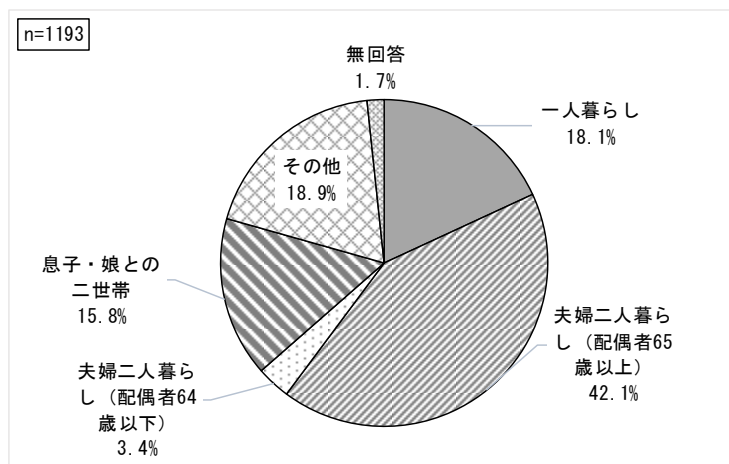
	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 東町	154	12.9
2 梶野町	80	6.7
3 関野町	11	0.9
4 緑町	151	12.7
5 中町	110	9.2
6 前原町	160	13.4
7 本町	203	17.0
8 桜町	51	4.3
9 貫井北町	97	8.1
10 貫井南町	142	11.9
- 無回答	34	2.8



問1 (1)：あなたの家族構成をお教えてください。 (SA)

「夫婦二人暮らし (配偶者65歳以上)」が最も多いです。

	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 一人暮らし	216	18.1
2 夫婦二人暮らし (配偶者65歳以上)	502	42.1
3 夫婦二人暮らし (配偶者64歳以下)	40	3.4
4 息子・娘との二世帯	189	15.8
5 その他	226	18.9
- 無回答	20	1.7

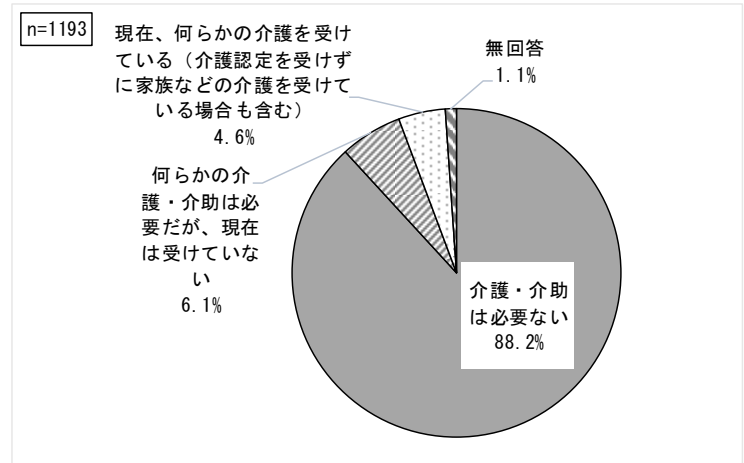


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

問1 (2) : あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。 (SA)

「介護・介助は必要ない」が最も多いものの、介護が必要な状態の方も1割程度います。

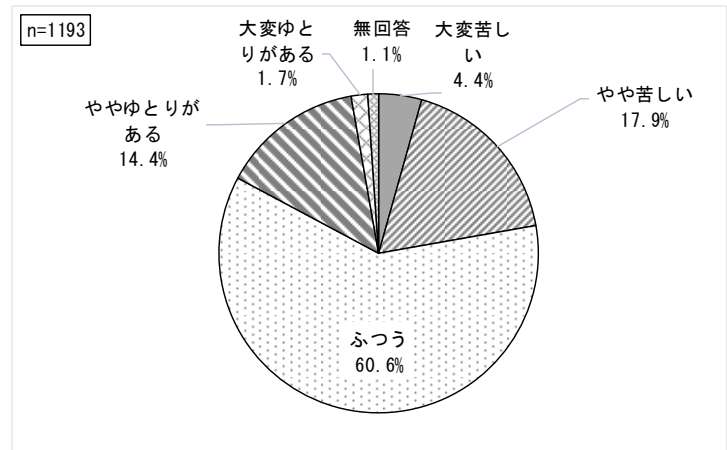
	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 介護・介助は必要ない	1,052	88.2
2 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	73	6.1
3 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)	55	4.6
- 無回答	13	1.1



問1 (3) : 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。 (SA)

「ふつう」が最も多く、次いで「やや苦しい」です。

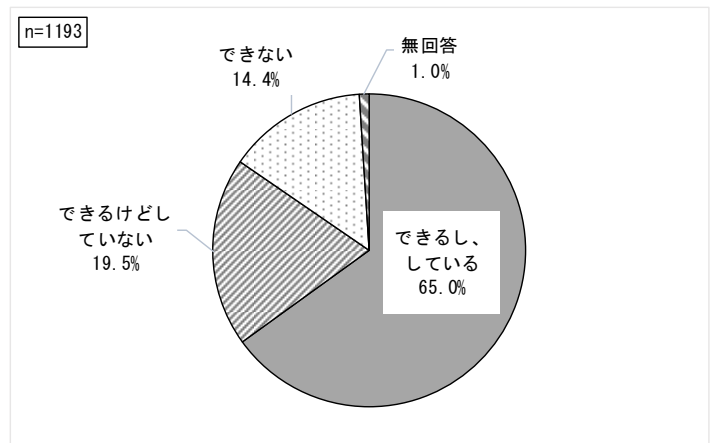
	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 大変苦しい	52	4.4
2 やや苦しい	213	17.9
3 ふつう	723	60.6
4 ややゆとりがある	172	14.4
5 大変ゆとりがある	20	1.7
- 無回答	13	1.1



問2 (1) : 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。 (SA)

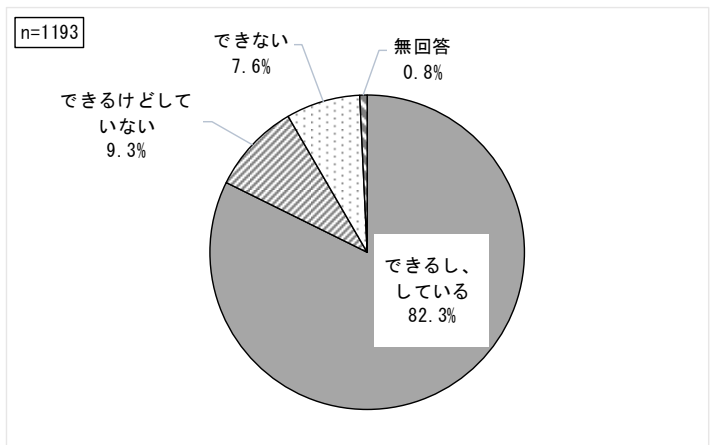
問2 (1~3) で「できない」、問2 (4) で「1度ある」、「何度もある」問2 (5) で「やや不安である」、「とても不安である」と3つ以上回答した人は運動器の機能低下リスクがあります。

	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 できるし、している	776	65.0
2 できるけどしていない	233	19.5
3 できない	172	14.4
- 無回答	12	1.0



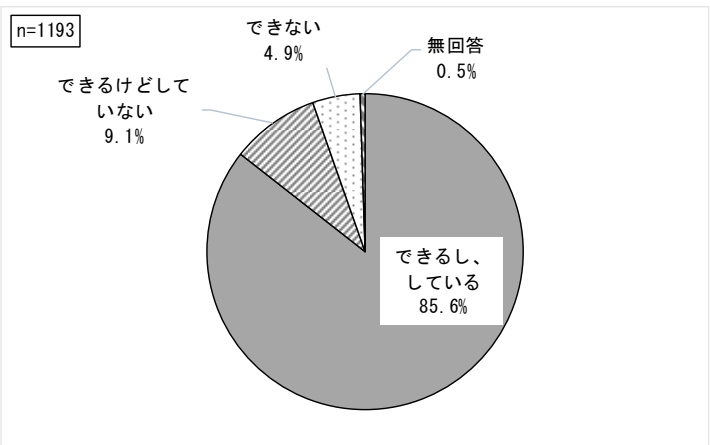
問2 (2) : 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。 (SA)

	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 できるし、している	982	82.3
2 できるけどしていない	111	9.3
3 できない	91	7.6
- 無回答	9	0.8



問2 (3) : 15分位続けて歩いていますか。 (SA)

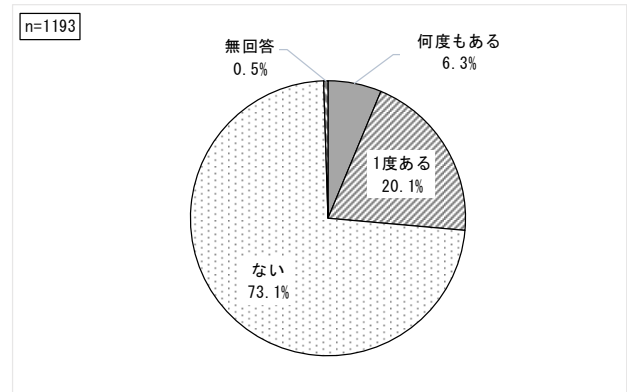
	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 できるし、している	1,021	85.6
2 できるけどしていない	108	9.1
3 できない	58	4.9
- 無回答	6	0.5



## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

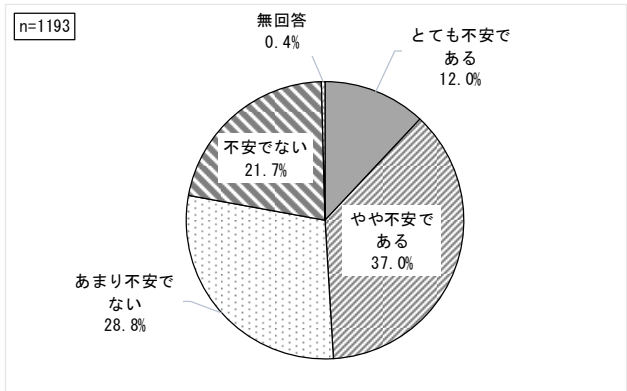
問2 (4) : 過去1年間に転んだ経験がありますか。 (SA)

	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 何度もある	75	6.3
2 1度ある	240	20.1
3 ない	872	73.1
- 無回答	6	0.5



問2 (5) : 転倒に対する不安は大きいですか。 (SA)

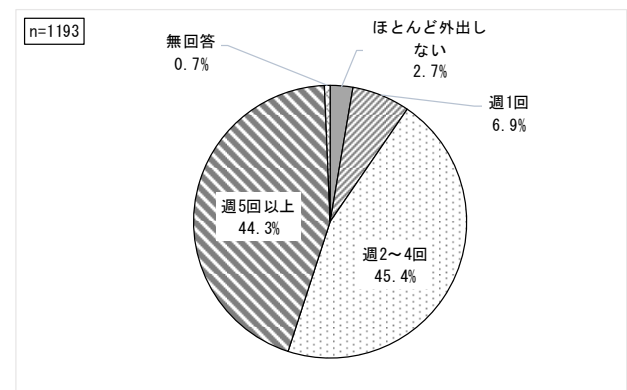
	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 とても不安である	143	12.0
2 やや不安である	442	37.0
3 あまり不安でない	344	28.8
4 不安でない	259	21.7
- 無回答	5	0.4



問2 (6) : 週に1回以上は外出していますか。 (SA)

「週1回」、「ほとんど外出しない」と回答した人は閉じこもり傾向リスクがあります。

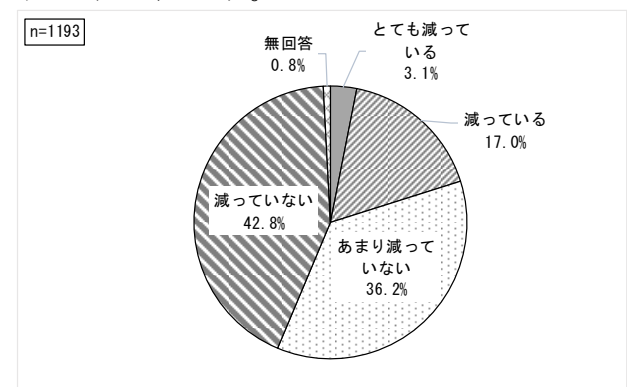
	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 ほとんど外出しない	32	2.7
2 週1回	82	6.9
3 週2~4回	542	45.4
4 週5回以上	529	44.3
- 無回答	8	0.7



問2 (7) : 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。 (SA)

「減っている」「とても減っている」と回答した人が約2割です。

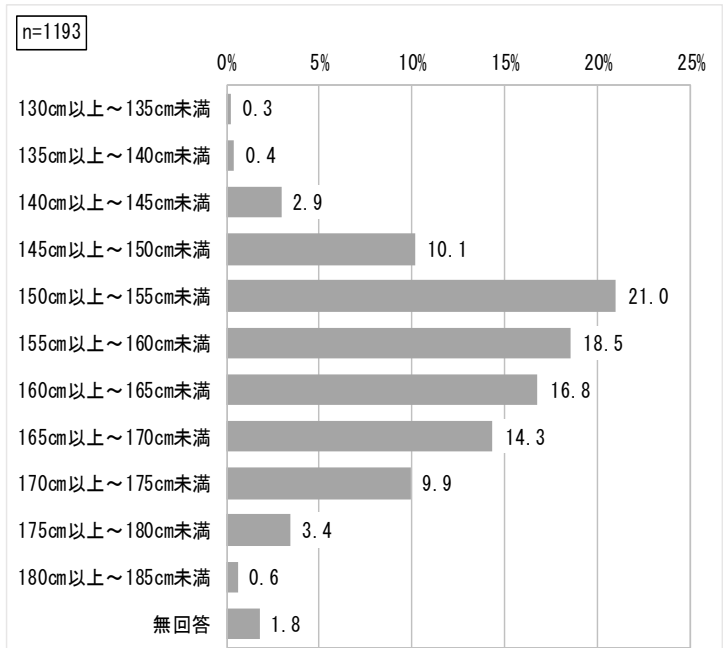
	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 とても減っている	37	3.1
2 減っている	203	17.0
3 あまり減っていない	432	36.2
4 減っていない	511	42.8
- 無回答	10	0.8



第2章 調査の結果 4 単純集計 (1) 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

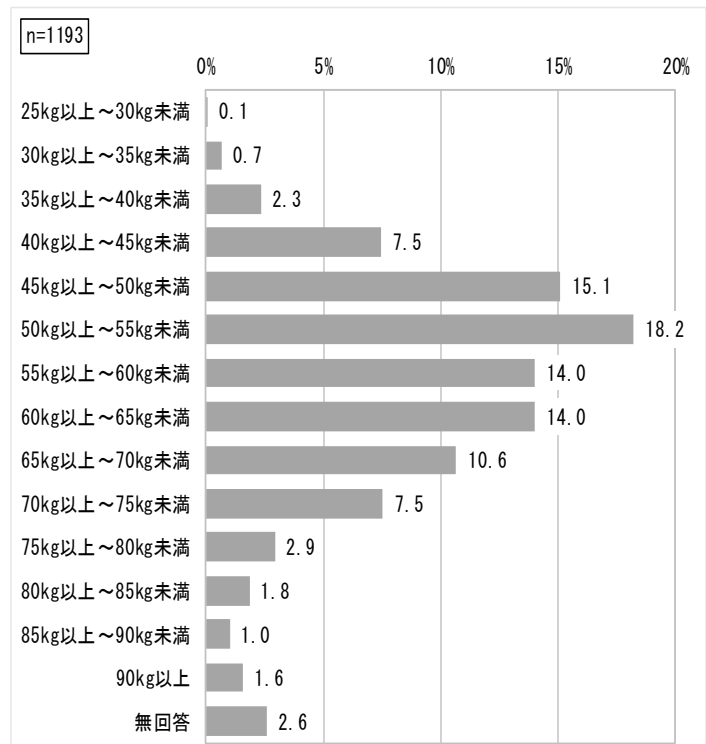
問3 (1) -1: 身長 [\_\_cm] (N)

		回答数	%
全体		1,193	100.0
130	130cm以上～135cm未満	3	0.3
135	135cm以上～140cm未満	5	0.4
140	140cm以上～145cm未満	35	2.9
145	145cm以上～150cm未満	121	10.1
150	150cm以上～155cm未満	250	21.0
155	155cm以上～160cm未満	221	18.5
160	160cm以上～165cm未満	200	16.8
165	165cm以上～170cm未満	171	14.3
170	170cm以上～175cm未満	118	9.9
175	175cm以上～180cm未満	41	3.4
180	180cm以上～185cm未満	7	0.6
-	無回答	21	1.8
- 平均値		158.83	
- 標準偏差		8.95	
- 最小値		133.00	
- 最大値		184.00	



問3 (1) -2: 体重 [\_\_kg] (N)

		回答数	%
全体		1,193	100.0
25	25kg以上～30kg未満	1	0.1
30	30kg以上～35kg未満	8	0.7
35	35kg以上～40kg未満	28	2.3
40	40kg以上～45kg未満	89	7.5
45	45kg以上～50kg未満	180	15.1
50	50kg以上～55kg未満	217	18.2
55	55kg以上～60kg未満	167	14.0
60	60kg以上～65kg未満	167	14.0
65	65kg以上～70kg未満	127	10.6
70	70kg以上～75kg未満	90	7.5
75	75kg以上～80kg未満	35	2.9
80	80kg以上～85kg未満	22	1.8
85	85kg以上～90kg未満	12	1.0
90	90kg以上	19	1.6
-	無回答	31	2.6
- 平均値		61.69	
- 標準偏差		47.18	
- 最小値		28.50	
- 最大値		625.00	

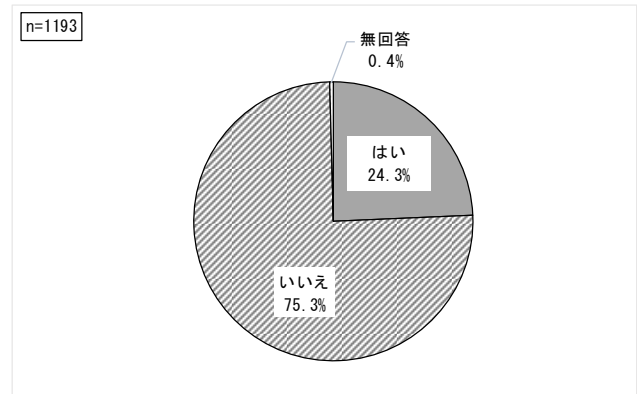


第2章 調査の結果 4 単純集計 (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

問3 (2) : 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。 (SA)

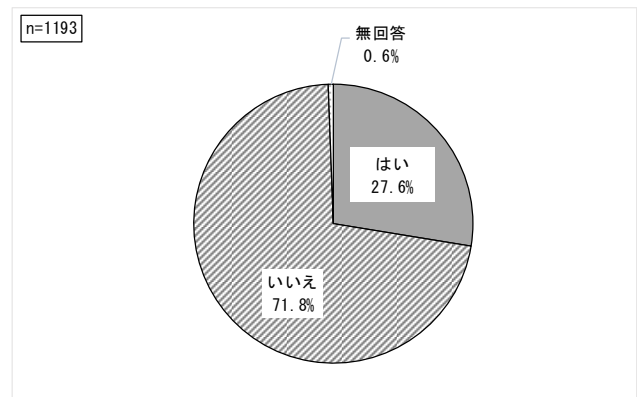
問3 (2~4) の3問のうち、「はい」と2つ以上回答した人は口腔機能の低下リスクがあります。

	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 はい	290	24.3
2 いいえ	898	75.3
- 無回答	5	0.4



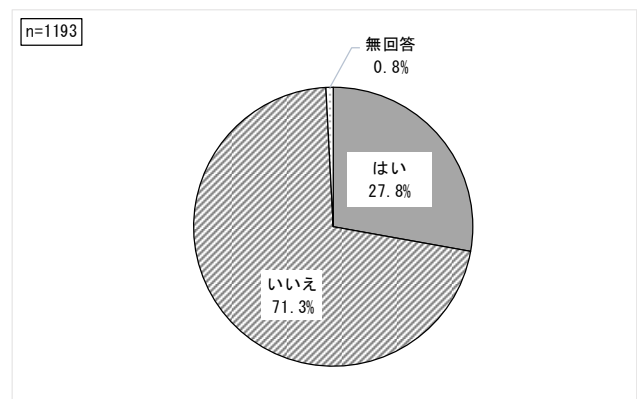
問3 (3) : お茶や汁物等でむせることがありますか。 (SA)

	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 はい	329	27.6
2 いいえ	857	71.8
- 無回答	7	0.6



問3 (4) : 口の渇きが気になりますか。 (SA)

	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 はい	332	27.8
2 いいえ	851	71.3
- 無回答	10	0.8

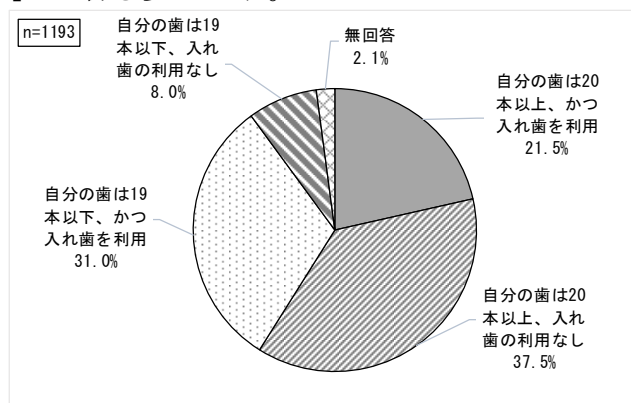




問3 (5) : 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。 (SA)

「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が最も多いです。

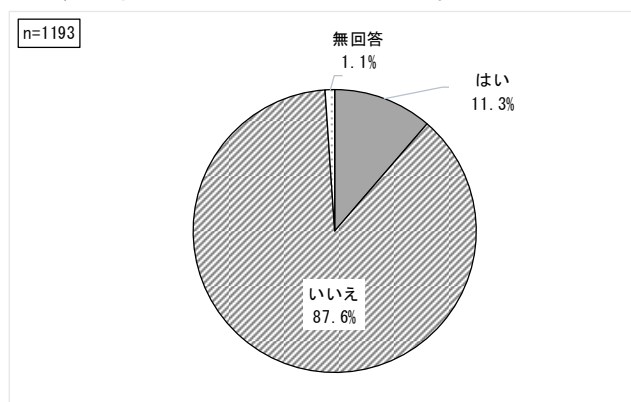
		回答数	%
全体		1,193	100.0
1	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	256	21.5
2	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	447	37.5
3	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	370	31.0
4	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	95	8.0
-	無回答	25	2.1



問3 (6) : この半年間で2~3kg以上の体重減少はありましたか。 (SA)

BMIが18.5以下で「はい」と回答した人は低栄養状態リスクがあります。

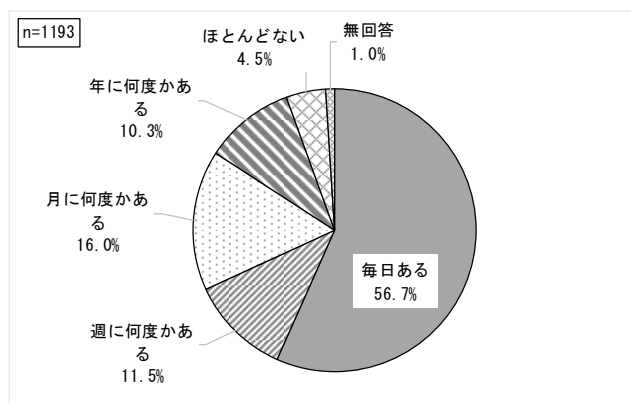
		回答数	%
全体		1,193	100.0
1	はい	135	11.3
2	いいえ	1,045	87.6
-	無回答	13	1.1



問3 (7) : どなたかと食事をとにもする機会がありますか。 (SA)

「毎日ある」が最も多いです。

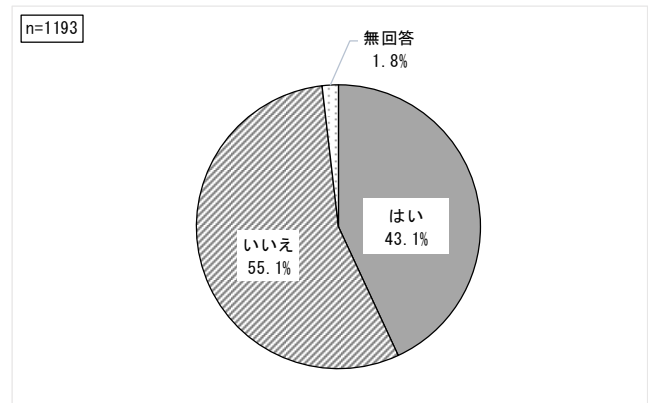
		回答数	%
全体		1,193	100.0
1	毎日ある	676	56.7
2	週に何度かある	137	11.5
3	月に何度かある	191	16.0
4	年に何度かある	123	10.3
5	ほとんどない	54	4.5
-	無回答	12	1.0



問4 (1) : 物忘れが多いと感じますか。 (SA)

「はい」と回答した人は認知機能の低下リスクがあります。

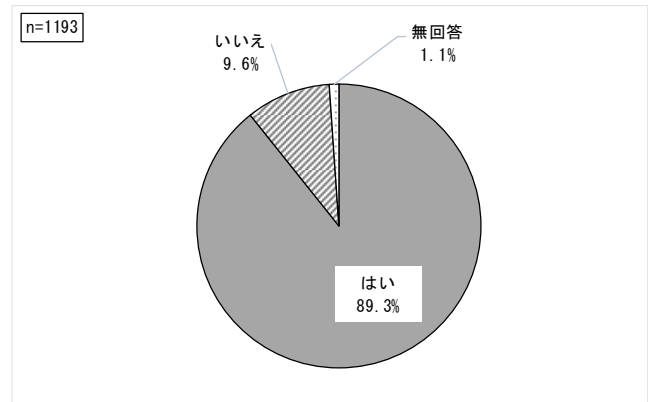
		回答数	%
全体		1,193	100.0
1	はい	514	43.1
2	いいえ	657	55.1
-	無回答	22	1.8



問4 (2) : 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。 (SA)

「いいえ」と回答した人が約1割です。

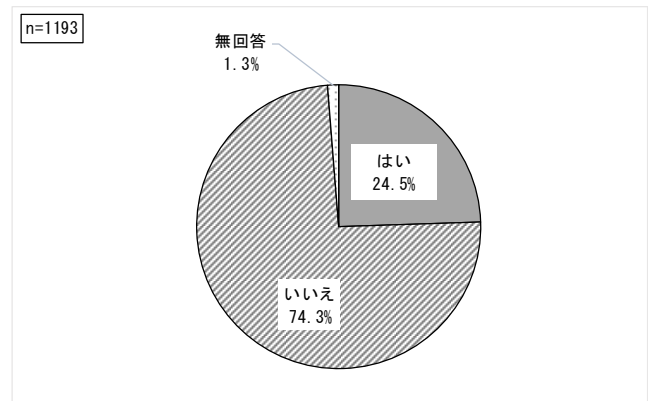
		回答数	%
全体		1,193	100.0
1	はい	1,065	89.3
2	いいえ	115	9.6
-	無回答	13	1.1



問4 (3) : 今日が何月何日かわからない時がありますか。 (SA)

「はい」と回答した人が2割程度います。

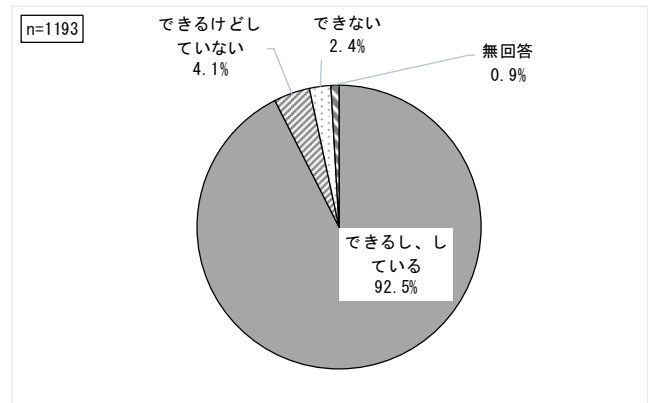
		回答数	%
全体		1,193	100.0
1	はい	292	24.5
2	いいえ	886	74.3
-	無回答	15	1.3



問4 (4) : バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)。 (SA)

「できるし、している」が最も多いです。

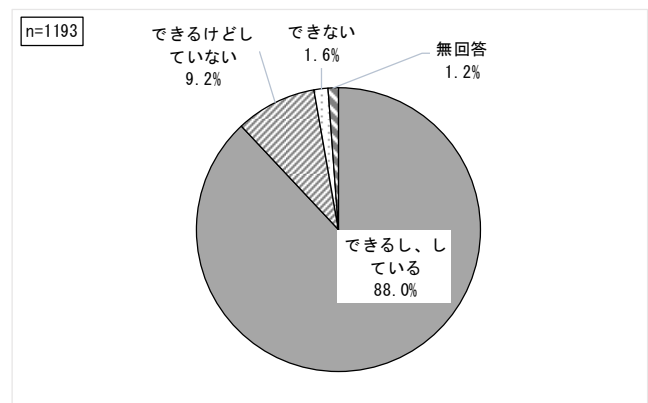
	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 できるし、している	1,104	92.5
2 できるけどしていない	49	4.1
3 できない	29	2.4
- 無回答	11	0.9



問4 (5) : 自分で食品・日用品の買物をしていますか。 (SA)

「できるし、している」が最も多いです。

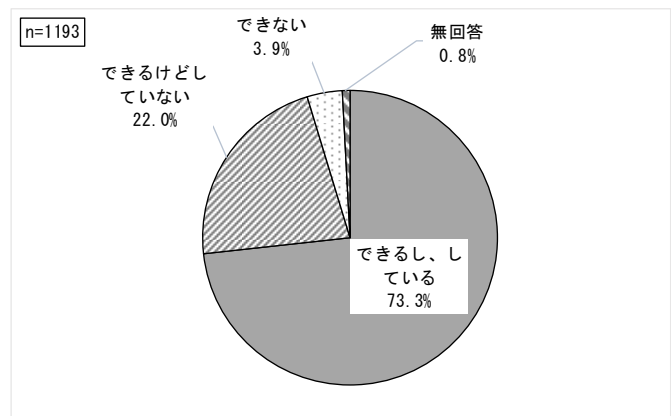
	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 できるし、している	1,050	88.0
2 できるけどしていない	110	9.2
3 できない	19	1.6
- 無回答	14	1.2



問4 (6) : 自分で食事の用意をしていますか。 (SA)

「できるし、している」が最も多いものの、「できるけどしていない」の割合が他の日常生活動作よりも多いです。

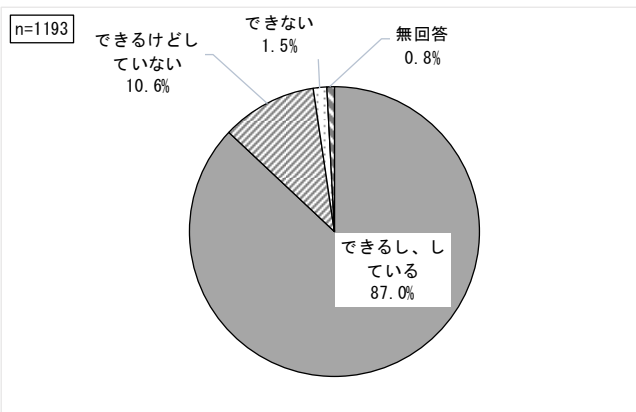
	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 できるし、している	874	73.3
2 できるけどしていない	263	22.0
3 できない	46	3.9
- 無回答	10	0.8



問4 (7) : 自分で請求書の支払いをしていますか。 (SA)

「できるし、している」が最も多いです。

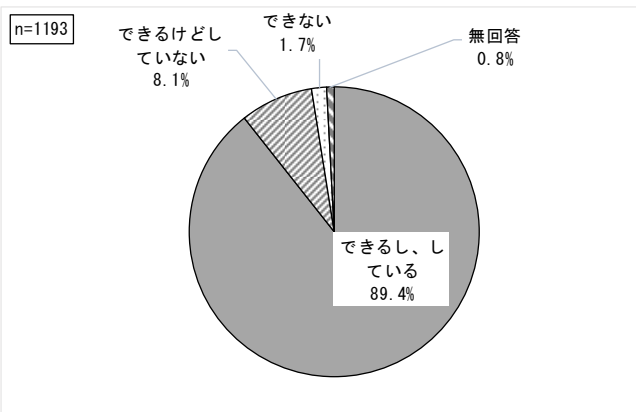
	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 できるし、している	1,038	87.0
2 できるけどしていない	127	10.6
3 できない	18	1.5
- 無回答	10	0.8



問4 (8) : 自分で預貯金の出し入れをしていますか。 (SA)

「できるし、している」が最も多いです。

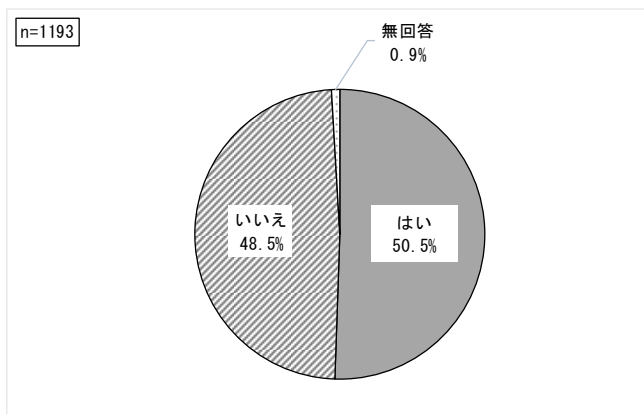
	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 できるし、している	1,066	89.4
2 できるけどしていない	97	8.1
3 できない	20	1.7
- 無回答	10	0.8



問4 (9) : 友人の家を訪ねていますか。 (SA)

「いいえ」の回答が半数近くあり、友人と会っていても友人の家を訪ねるまでの方は多くないと想定されます。

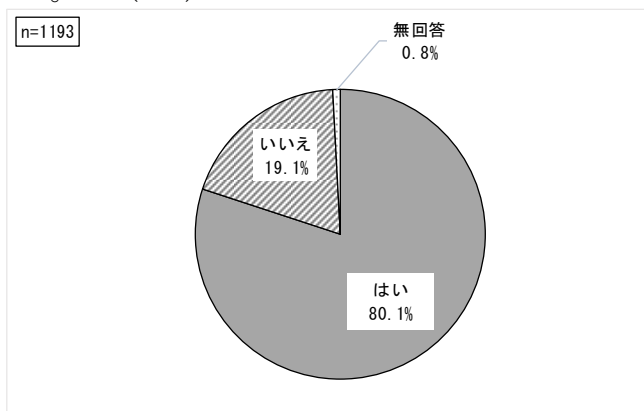
	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 はい	603	50.5
2 いいえ	579	48.5
- 無回答	11	0.9



問4 (10) : 家族や友人の相談にのっていますか。 (SA)

「いいえ」の方は2割程度です。

	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 はい	955	80.1
2 いいえ	228	19.1
- 無回答	10	0.8

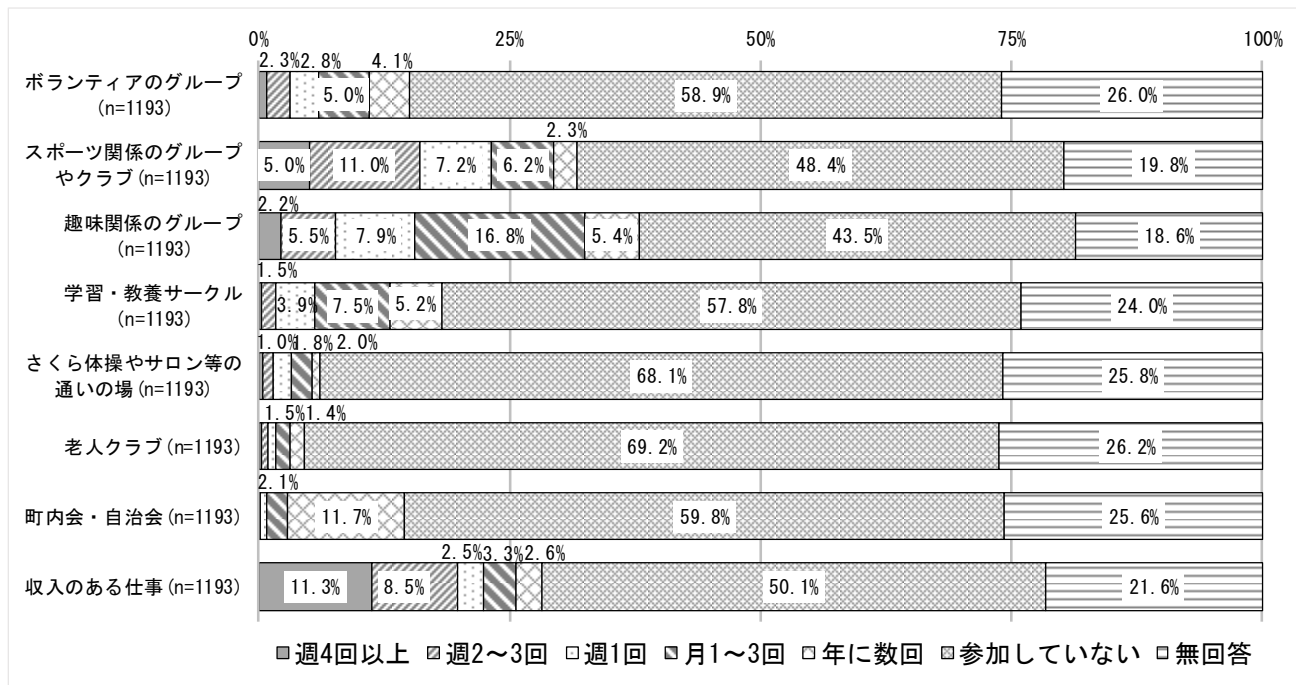


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

問5 (1) : 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

(SA)

「参加していない」の回答がそれぞれ最も多くなっています。週1回以上の参加が多いのは、「スポーツ関係のグループやクラブ」、「収入のある仕事」でそれぞれ2割程度います。月1回程度までであれば「趣味関係のグループ」が4割近くいます。

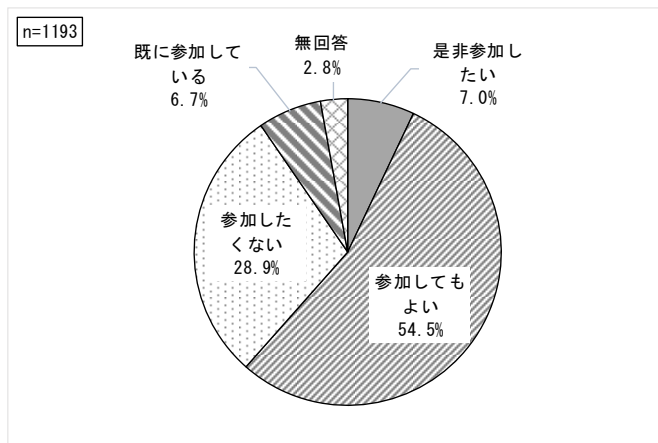


			全体	1	2	3	4	5	6	-
				週4回以上	週2~3回	週1回	月1~3回	年に数回	参加していない	無回答
問5 (1) .1	ボランティアのグループ	回答数	1,193	10	27	34	60	49	703	310
		%	100.0	0.8	2.3	2.8	5.0	4.1	58.9	26.0
問5 (1) .2	スポーツ関係のグループやクラブ	回答数	1,193	60	131	86	74	28	578	236
		%	100.0	5.0	11.0	7.2	6.2	2.3	48.4	19.8
問5 (1) .3	趣味関係のグループ	回答数	1,193	26	66	94	201	65	519	222
		%	100.0	2.2	5.5	7.9	16.8	5.4	43.5	18.6
問5 (1) .4	学習・教養サークル	回答数	1,193	3	18	46	89	62	689	286
		%	100.0	0.3	1.5	3.9	7.5	5.2	57.8	24.0
問5 (1) .5	さくら体操やサロン等の通いの場	回答数	1,193	5	12	22	24	10	812	308
		%	100.0	0.4	1.0	1.8	2.0	0.8	68.1	25.8
問5 (1) .6	老人クラブ	回答数	1,193	3	8	9	18	17	825	313
		%	100.0	0.3	0.7	0.8	1.5	1.4	69.2	26.2
問5 (1) .7	町内会・自治会	回答数	1,193	2	0	8	25	139	713	306
		%	100.0	0.2	0.0	0.7	2.1	11.7	59.8	25.6
問5 (1) .8	収入のある仕事	回答数	1,193	135	102	30	39	31	598	258
		%	100.0	11.3	8.5	2.5	3.3	2.6	50.1	21.6

問5 (2) : 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。 (SA)

半数以上が「参加してもよい」と回答しています。

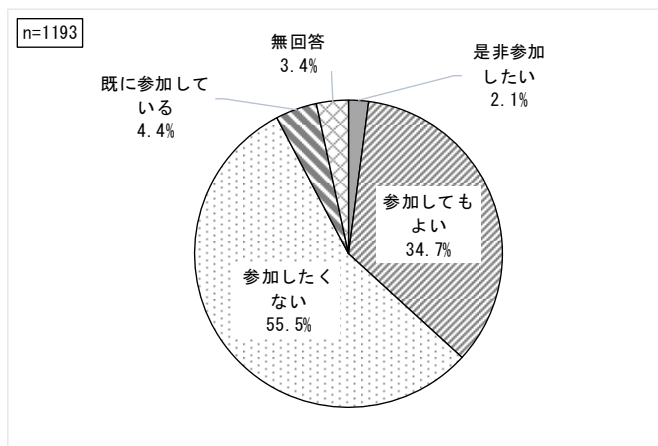
	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 是非参加したい	84	7.0
2 参加してもよい	650	54.5
3 参加したくない	345	28.9
4 既に参加している	80	6.7
- 無回答	34	2.8



問5 (3) : 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営 (お世話役)として参加してみたいと思いますか。 (SA)

半数以上が「参加したくない」と回答しています。

	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 是非参加したい	25	2.1
2 参加してもよい	414	34.7
3 参加したくない	662	55.5
4 既に参加している	52	4.4
- 無回答	40	3.4

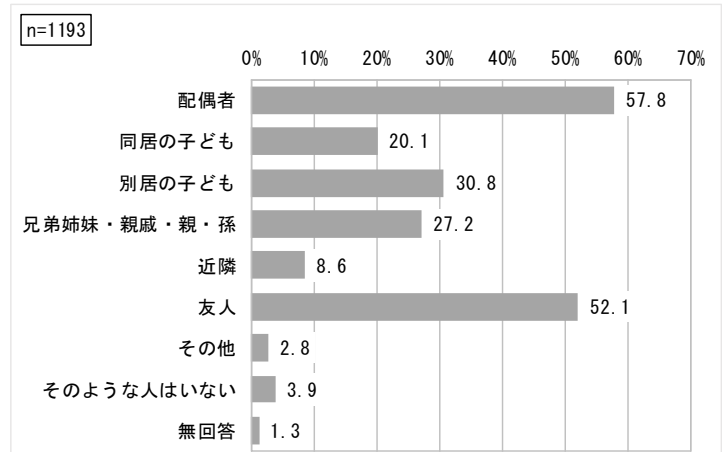


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

問6 (1) : あなたの心配事や愚痴 (ぐち) を聞いてくれる人はどなたですか。 (MA)

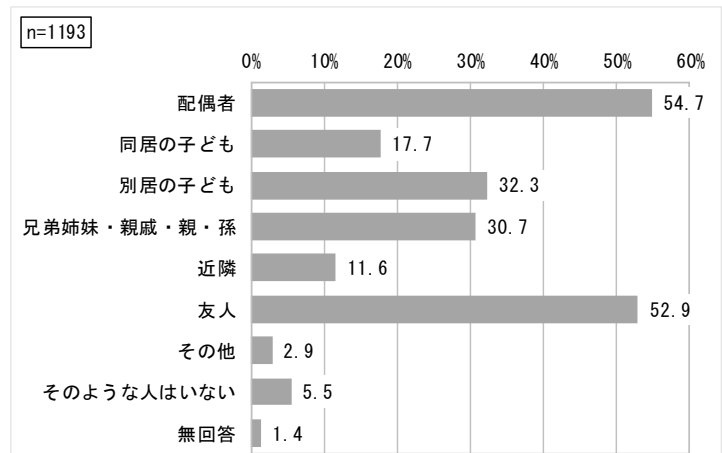
「配偶者」が最も多く、次いで「友人」であり、心配事や愚痴 (ぐち) を話す (聞く) 相手は、家族に限らず友人でも対応できている傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 配偶者	690	57.8
2 同居の子ども	240	20.1
3 別居の子ども	367	30.8
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫	324	27.2
5 近隣	103	8.6
6 友人	622	52.1
7 その他	34	2.8
8 そのような人はいない	47	3.9
- 無回答	15	1.3



問6 (2) : 反対に、あなたが心配事や愚痴 (ぐち) を聞いてあげる人はどなたですか。 (MA)

	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 配偶者	653	54.7
2 同居の子ども	211	17.7
3 別居の子ども	385	32.3
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫	366	30.7
5 近隣	138	11.6
6 友人	631	52.9
7 その他	35	2.9
8 そのような人はいない	66	5.5
- 無回答	17	1.4

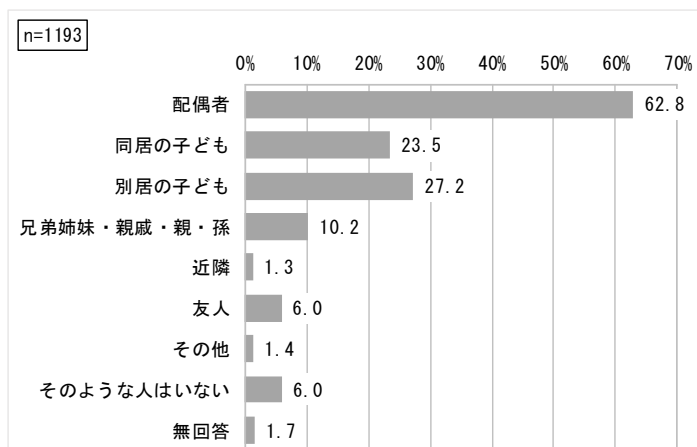


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

問6 (3) : あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。 (MA)

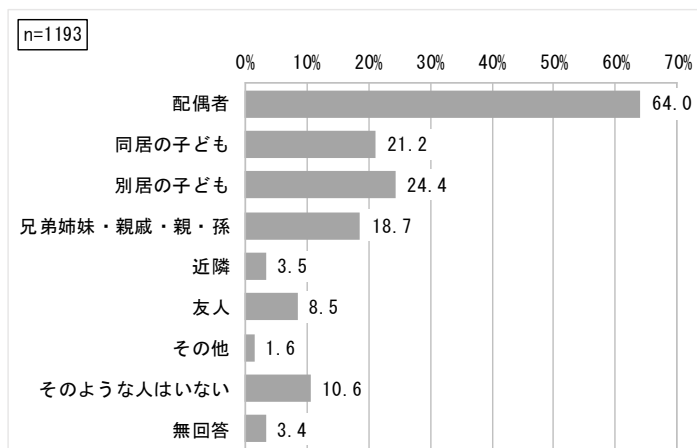
「配偶者」が最も多く、次いで「別居の子ども」であり、看病や世話をする(してもら)う相手は家族が中心で、「友人」等では対応できていない傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 配偶者	749	62.8
2 同居の子ども	280	23.5
3 別居の子ども	325	27.2
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫	122	10.2
5 近隣	16	1.3
6 友人	71	6.0
7 その他	17	1.4
8 そのような人はいない	72	6.0
- 無回答	20	1.7



問6 (4) : 反対に、看病や世話をしつてあげる人はどなたですか。 (MA)

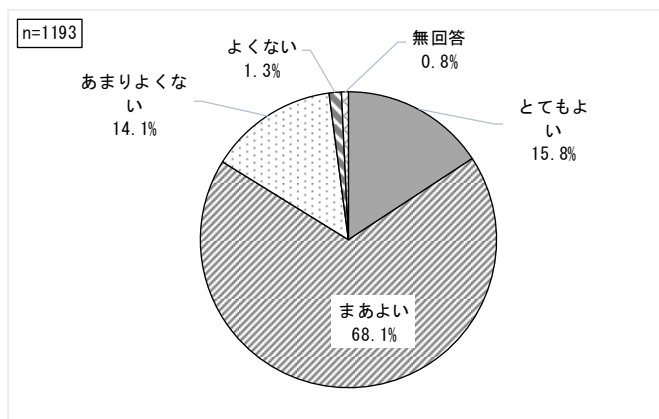
	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 配偶者	763	64.0
2 同居の子ども	253	21.2
3 別居の子ども	291	24.4
4 兄弟姉妹・親戚・親・孫	223	18.7
5 近隣	42	3.5
6 友人	102	8.5
7 その他	19	1.6
8 そのような人はいない	127	10.6
- 無回答	41	3.4



問7 (1) : 現在のあなたの健康状態はいかがですか。 (SA)

「まあよい」が最も多く、次いで「とてもよい」であり、健康状態はよい傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 とてもよい	188	15.8
2 まあよい	812	68.1
3 あまりよくない	168	14.1
4 よくない	16	1.3
- 無回答	9	0.8

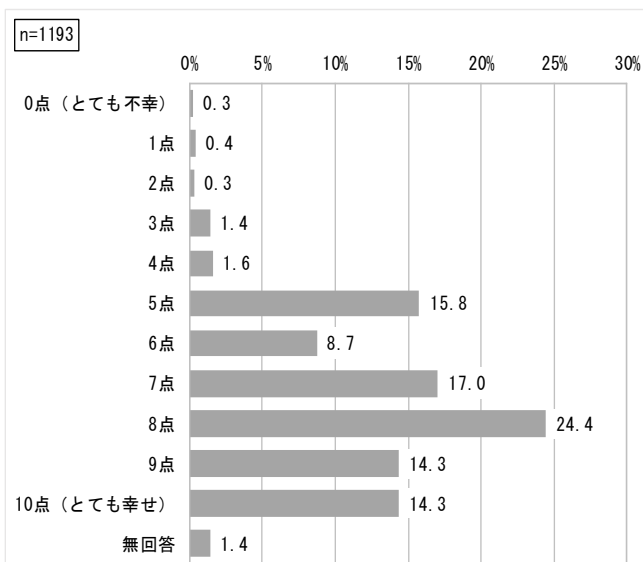




問7 (2) : あなたは、現在どの程度幸せですか。 (SA)

「8点」が最も多く、次いで「7点」であり、幸福度は高い傾向にあります。

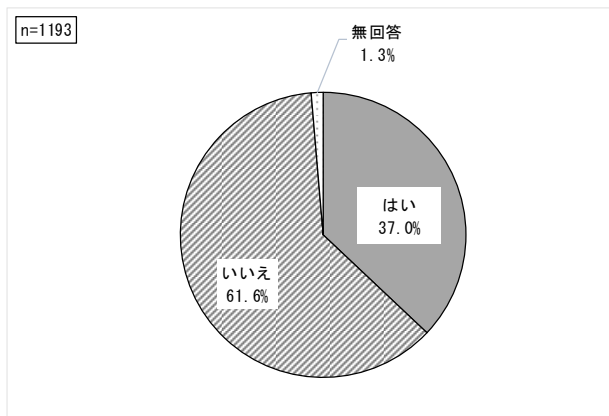
		(加重値)	回答数	%
全体			1,193	100.0
0	0点 (とても不幸)	(0)	3	0.3
1	1点	(1)	5	0.4
2	2点	(2)	4	0.3
3	3点	(3)	17	1.4
4	4点	(4)	19	1.6
5	5点	(5)	188	15.8
6	6点	(6)	104	8.7
7	7点	(7)	203	17.0
8	8点	(8)	291	24.4
9	9点	(9)	171	14.3
10	10点 (とても幸せ)	(10)	171	14.3
-	無回答	-	17	1.4
- 平均値				7.40
- 標準偏差				1.86



問7 (3) : この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。 (SA)

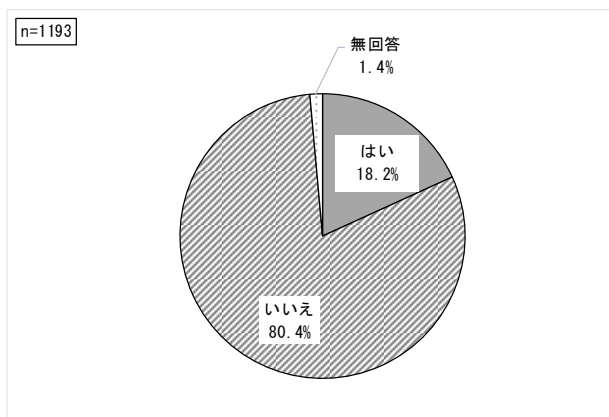
問7 (3~4) のうち1つ以上「はい」と回答した人はうつ傾向リスクがあります。

		回答数	%
全体		1,193	100.0
1	はい	442	37.0
2	いいえ	735	61.6
-	無回答	16	1.3



問7 (4) : この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。 (SA)

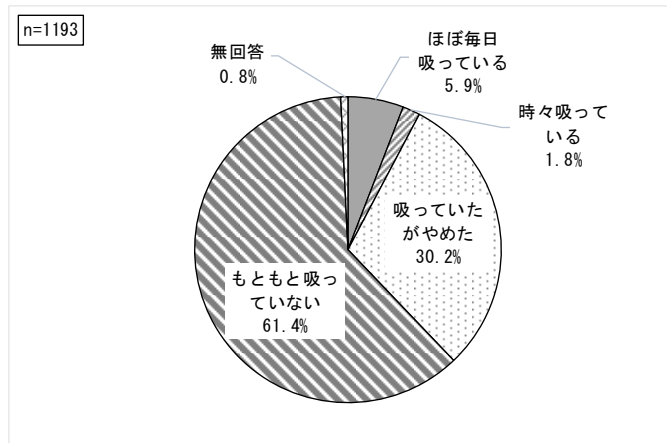
		回答数	%
全体		1,193	100.0
1	はい	217	18.2
2	いいえ	959	80.4
-	無回答	17	1.4



問7 (5) : タバコは吸っていますか。 (SA)

「もともと吸っていない」が最も多く、次いで「吸っていたがやめた」であり、喫煙なしの傾向が見受けられます。

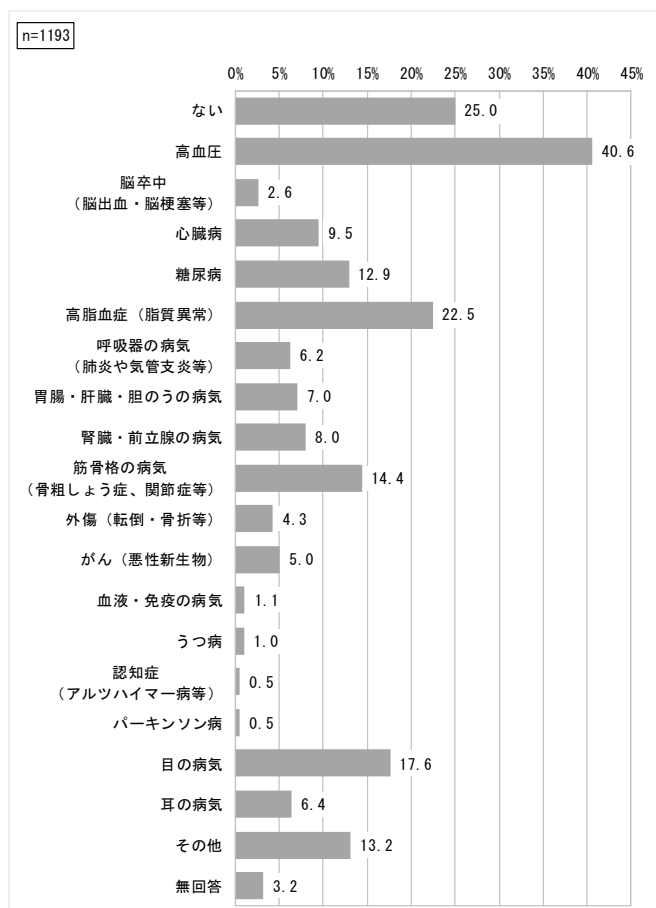
	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 ほぼ毎日吸っている	70	5.9
2 時々吸っている	22	1.8
3 吸っていたがやめた	360	30.2
4 もともと吸っていない	732	61.4
- 無回答	9	0.8



問7 (6) : 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。 (MA)

「高血圧」が最も多く、次いで「高脂血症 (脂質異常)」が多くなっています。

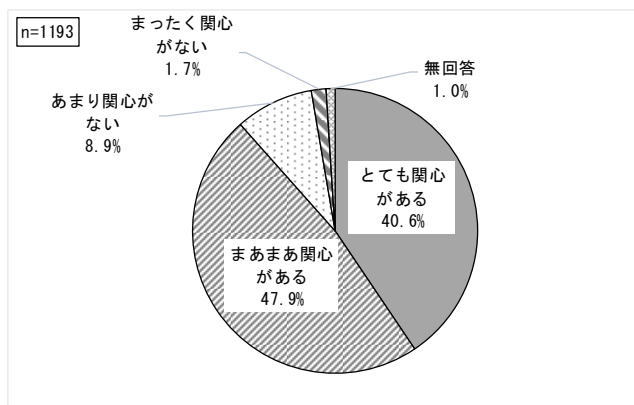
	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 ない	298	25.0
2 高血圧	484	40.6
3 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	31	2.6
4 心臓病	113	9.5
5 糖尿病	154	12.9
6 高脂血症 (脂質異常)	268	22.5
7 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	74	6.2
8 胃腸・肝臓・胆のうの病気	84	7.0
9 腎臓・前立腺の病気	95	8.0
10 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)	172	14.4
11 外傷 (転倒・骨折等)	51	4.3
12 がん (悪性新生物)	60	5.0
13 血液・免疫の病気	13	1.1
14 うつ病	12	1.0
15 認知症 (アルツハイマー病等)	6	0.5
16 パーキンソン病	6	0.5
17 目の病気	210	17.6
18 耳の病気	76	6.4
19 その他	157	13.2
- 無回答	38	3.2



問 8 (1) : あなたは、「認知症」にどの程度関心がありますか。 (SA)

「まあまあ関心がある」が最も多く、次いで「とても関心がある」であり、認知症に関心がある傾向が見受けられます。

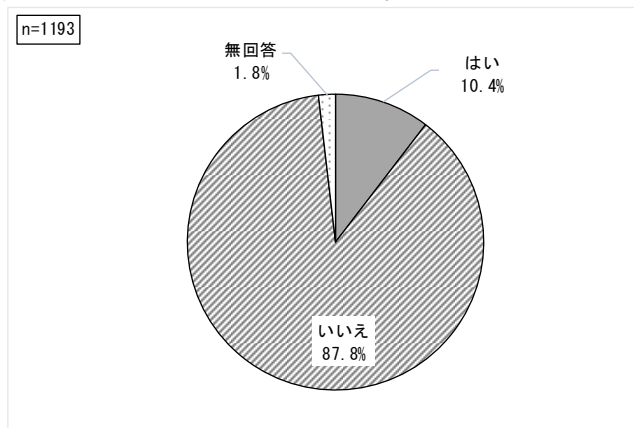
	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 とても関心がある	484	40.6
2 まあまあ関心がある	571	47.9
3 あまり関心がない	106	8.9
4 まったく関心がない	20	1.7
5 初めて聞いた	0	0.0
- 無回答	12	1.0



問 8 (2) : 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。 (SA)

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人は 1 割程度です。

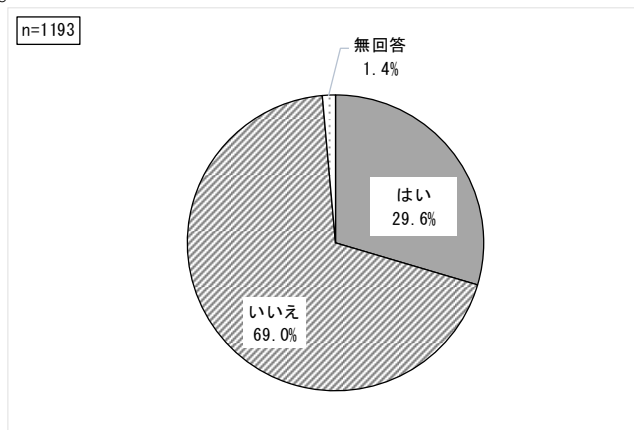
	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 はい	124	10.4
2 いいえ	1,047	87.8
- 無回答	22	1.8



問 8 (3) : 認知症に関する相談窓口を知っていますか。 (SA)

認知症の相談窓口の認知度は 3 割程度です。

	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 はい	353	29.6
2 いいえ	823	69.0
- 無回答	17	1.4

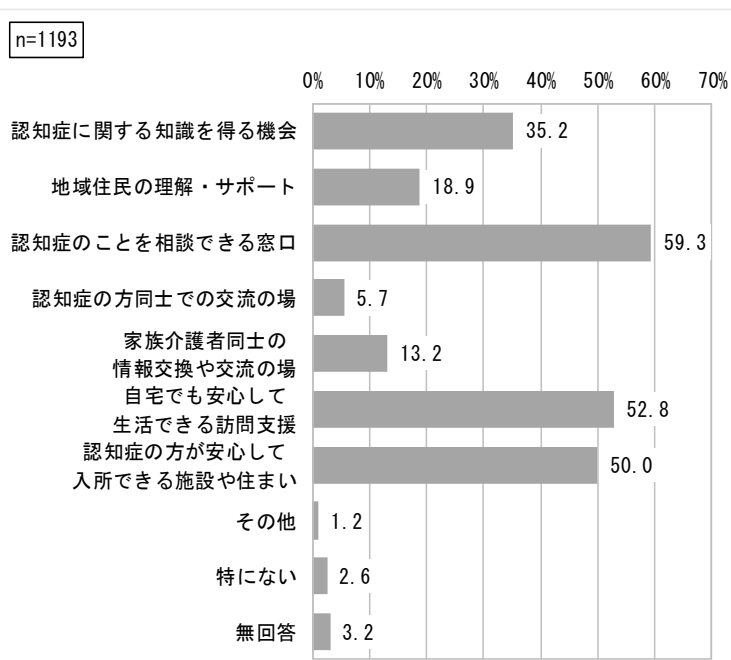


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

問 8 (4) : もし、自分が認知症になったときに、認知症の対策として必要だと思うことはなんですか。(3つまで選択) (MA)

「認知症のことを相談できる窓口」が最も多く、次いで「自宅でも安心して生活できる訪問支援」、「認知症の方が安心して入所できる施設や住まい」であり、地域で見守るよりも介護サービスの充実を期待している傾向が見受けられます。

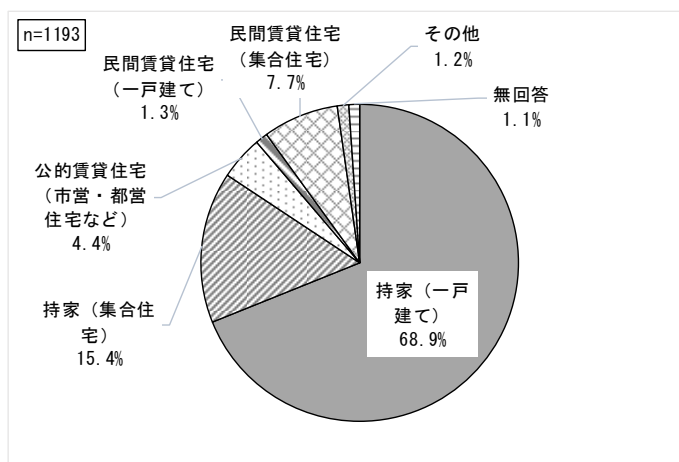
	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 認知症に関する知識を得る機会	420	35.2
2 地域住民の理解・サポート	225	18.9
3 認知症のことを相談できる窓口	708	59.3
4 認知症の方同士での交流の場	68	5.7
5 家族介護者同士の情報交換や交流の場	157	13.2
6 自宅でも安心して生活できる訪問支援	630	52.8
7 認知症の方が安心して入所できる施設や住まい	596	50.0
8 その他	14	1.2
9 特にない	31	2.6
- 無回答	38	3.2



問 9 (1) : あなたのお住まいは次のうちどれですか。(SA)

「持家（一戸建て）」が最も多く、次いで「持家（集合住宅）」であり、持家の方が多い傾向が見受けられます。

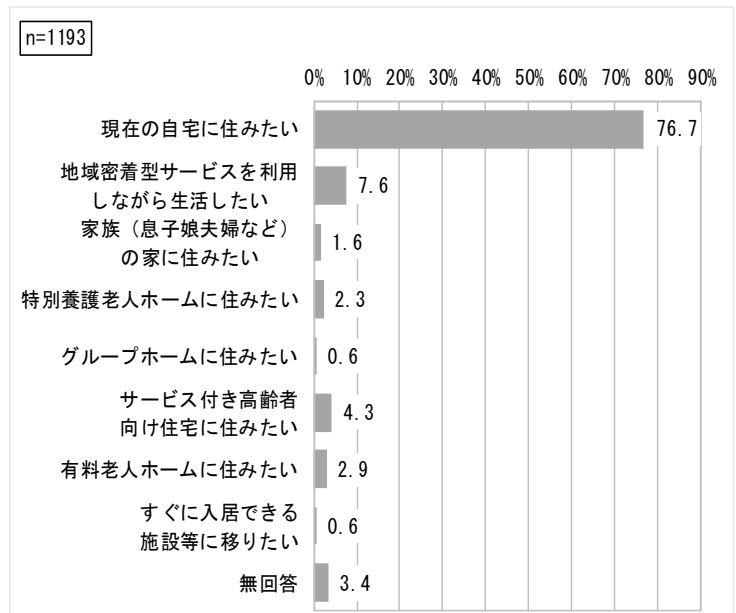
	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 持家（一戸建て）	822	68.9
2 持家（集合住宅）	184	15.4
3 公的賃貸住宅（市営・都営住宅など）	53	4.4
4 民間賃貸住宅（一戸建て）	15	1.3
5 民間賃貸住宅（集合住宅）	92	7.7
6 その他	14	1.2
- 無回答	13	1.1



問9 (2) : 今後、暮らす場所として希望している住まいはどこですか。 (SA)

「現在の自宅に住みたい」が最も多く、「サービス付き高齢者向け住宅に住みたい」や「有料老人ホームに住みたい」等の住み替えの希望は合計でも1割程度です。

	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 現在の自宅に住みたい	915	76.7
2 地域密着型サービスを利用しながら生活したい	91	7.6
3 家族（息子娘夫婦など）の家に住みたい	19	1.6
4 特別養護老人ホームに住みたい	27	2.3
5 グループホームに住みたい	7	0.6
6 サービス付き高齢者向け住宅に住みたい	51	4.3
7 有料老人ホームに住みたい	35	2.9
8 すぐに入居できる施設等に移りたい	7	0.6
- 無回答	41	3.4

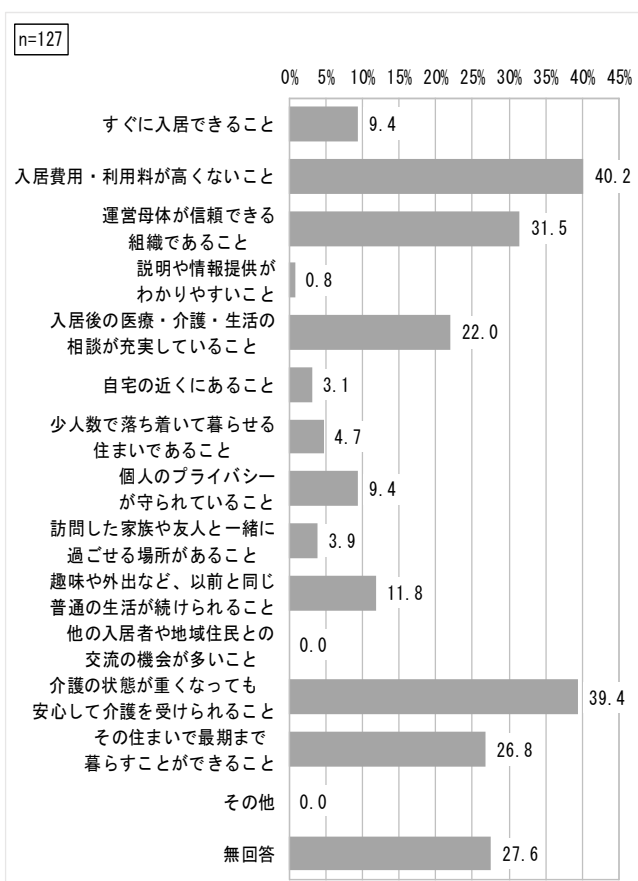


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

問9 (3) : 【問9 (2) で「4.特別養護老人ホームに住みたい」～「8.すぐに入居できる施設等に移りたい」と回答の方】希望した住まい等についてどのような条件を重視したいですか。(3つまで選択) (MA)

「入居費用・利用料が高くないこと」が最も多く、次いで「介護の状態が重くなっても安心して介護を受けられること」であり、費用や長く利用できるかを重視している傾向が見受けられます。

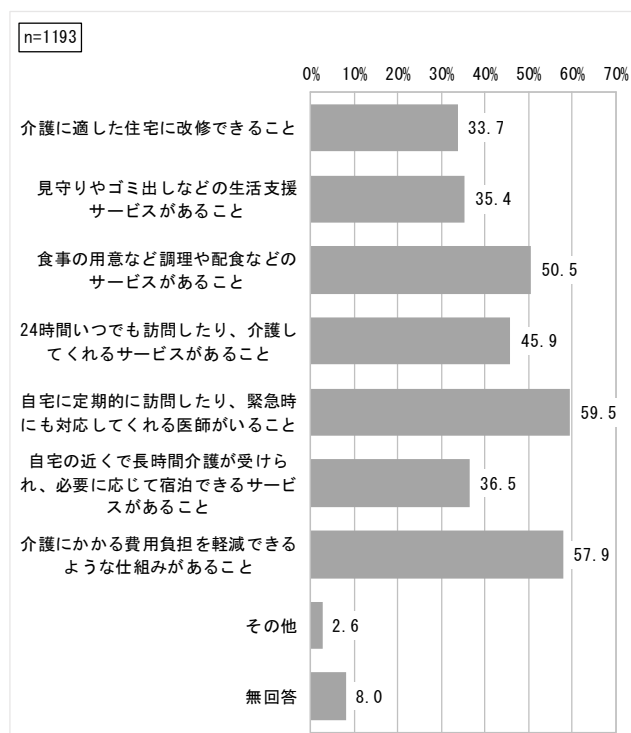
		回答数	%
全体		127	100.0
1	すぐに入居できること	12	9.4
2	入居費用・利用料が高くないこと	51	40.2
3	運営母体が信頼できる組織であること	40	31.5
4	説明や情報提供がわかりやすいこと	1	0.8
5	入居後の医療・介護・生活の相談が充実していること	28	22.0
6	自宅の近くにあること	4	3.1
7	少人数で落ち着いて暮らせる住まいであること	6	4.7
8	個人のプライバシーが守られていること	12	9.4
9	訪問した家族や友人と一緒に過ごせる場所があること	5	3.9
10	趣味や外出など、以前と同じ普通の生活が続けられること	15	11.8
11	他の入居者や地域住民との交流の機会が多いこと	0	0.0
12	介護の状態が重くなっても安心して介護を受けられること	50	39.4
13	その住まいで最期まで暮らすことができること	34	26.8
14	その他	0	0.0
-	無回答	35	27.6



問9 (4) : 在宅生活を続けるためにはどのような条件があればよいと思いますか。 (MA)

「自宅に定期的に訪問したり、緊急時にも対応してくれる医師がいること」が最も多く、次いで「介護にかかる費用負担を軽減できるような仕組みがあること」であり、相談体制の充実や金銭面の負担軽減を条件とする傾向が見受けられます。

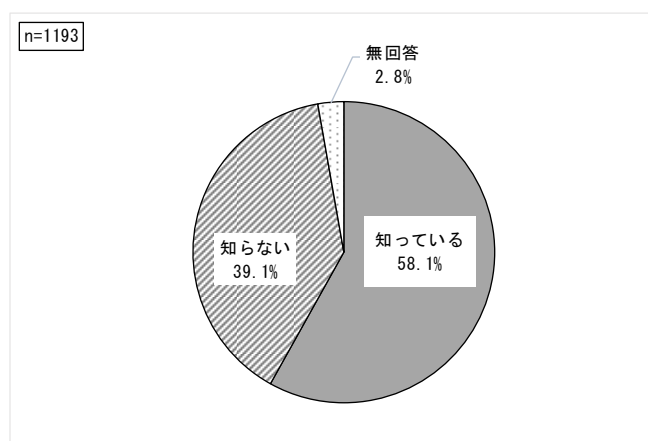
	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 介護に適した住宅に改修できること	402	33.7
2 見守りやゴミ出しなどの生活支援サービスがあること	422	35.4
3 食事の用意など調理や配食などのサービスがあること	603	50.5
4 24時間いつでも訪問したり、介護してくれるサービスがあること	547	45.9
5 自宅に定期的に訪問したり、緊急時にも対応してくれる医師がいること	710	59.5
6 自宅の近くで長時間介護が受けられ、必要に応じて宿泊できるサービスがあること	435	36.5
7 介護にかかる費用負担を軽減できるような仕組みがあること	691	57.9
8 その他	31	2.6
- 無回答	95	8.0



問10 (1) : あなたは、小金井市の地域包括支援センターを知っていますか。 (SA)

地域包括支援センターを知らない方が4割程度います。

	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 知っている	693	58.1
2 知らない	467	39.1
- 無回答	33	2.8

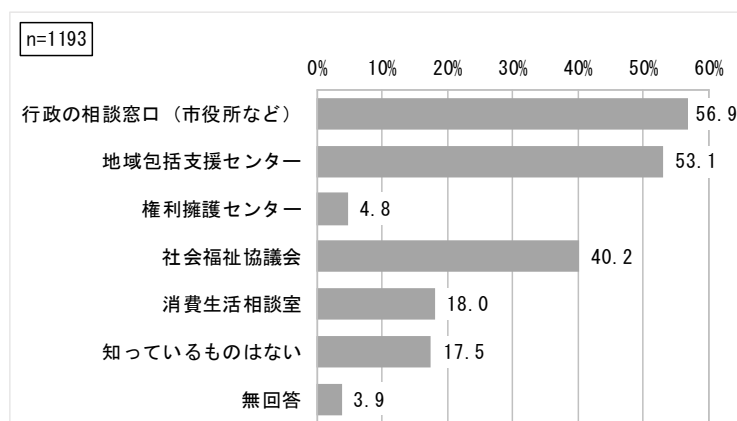


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

問 11 (1) : 高齢者の権利や生活を守るための相談窓口として以下のようなものがありますが、あなたの知っているものはありますか。 (MA)

「行政の相談窓口 (市役所など)」が最も多く、次いで「地域包括支援センター」であり、相談窓口の周知度は高い傾向が見受けられます。

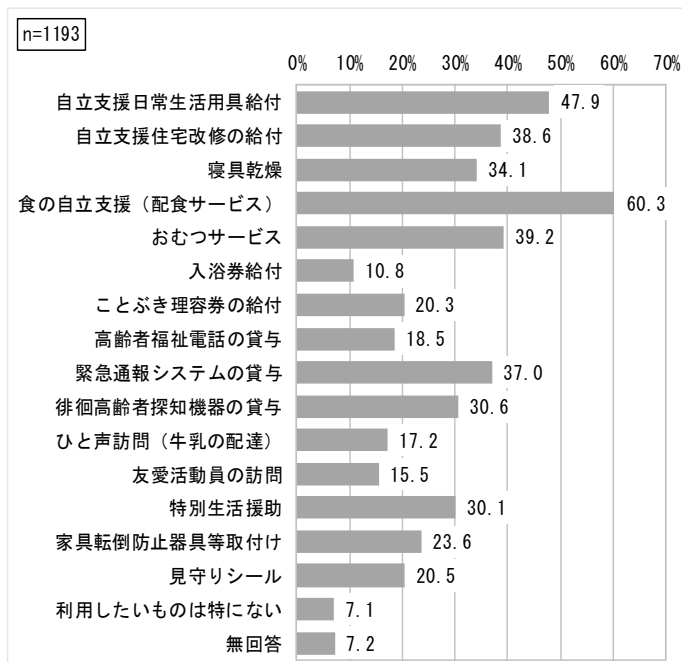
	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 行政の相談窓口 (市役所など)	679	56.9
2 地域包括支援センター	633	53.1
3 権利擁護センター	57	4.8
4 社会福祉協議会	479	40.2
5 消費生活相談室	215	18.0
6 知っているものはない	209	17.5
- 無回答	46	3.9



問 12 (1) : 市では、介護保険以外にも、様々な高齢者保健福祉サービスを行っています。今後、介護が必要となったとき、以下のようなサービスを利用したいと思いますか。 (MA)

「食の自立支援 (配食サービス)」が最も多く、次いで「自立支援日常生活用具給付」であり、自立支援に関するサービスを利用したい方が多い傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 自立支援日常生活用具給付	571	47.9
2 自立支援住宅改修の給付	461	38.6
3 寝具乾燥	407	34.1
4 食の自立支援 (配食サービス)	719	60.3
5 おむつサービス	468	39.2
6 入浴券給付	129	10.8
7 ことぶき理容券の給付	242	20.3
8 高齢者福祉電話の貸与	221	18.5
9 緊急通報システムの貸与	441	37.0
10 徘徊高齢者探知機器の貸与	365	30.6
11 ひと声訪問 (牛乳の配達)	205	17.2
12 友愛活動員の訪問	185	15.5
13 特別生活援助	359	30.1
14 家具転倒防止器具等取付け	281	23.6
15 見守りシール	244	20.5
16 利用したいものは特にない	85	7.1
- 無回答	86	7.2

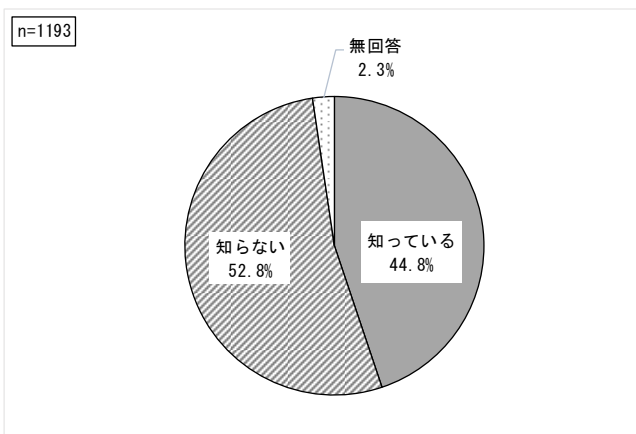




問 12 (2) : 自立支援住宅改修の制度を知っていますか。 (SA)

「知らない」が最も多いです。

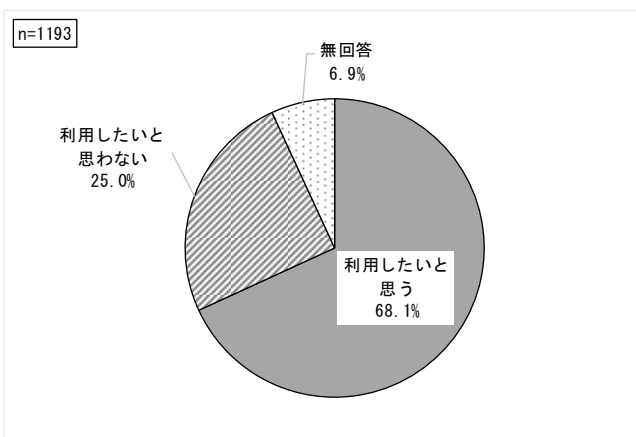
	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 知っている	535	44.8
2 知らない	630	52.8
- 無回答	28	2.3



問 12 (3) : 今後、必要に応じて自立支援住宅改修の制度を利用したいと思いますか。 (SA)

「利用したいと思います」が最も多いです。

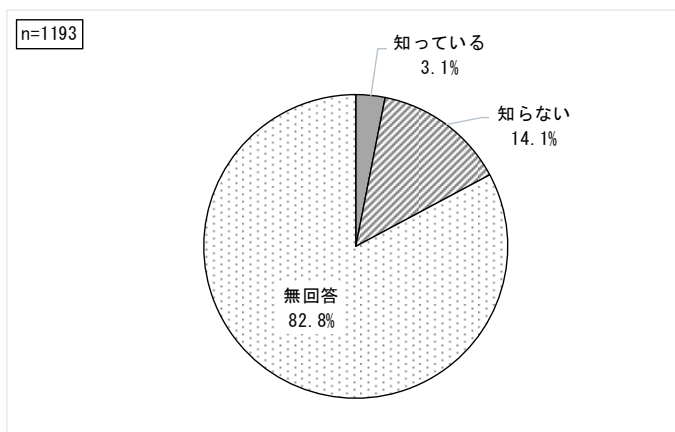
	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 利用したいと思います	813	68.1
2 利用したいと思わない	298	25.0
- 無回答	82	6.9



問 12 (4) : 要支援 1・2 の認定を受けている方におたずねします。総合事業（訪問型サービス・通所型サービス）は、更新の際に要支援認定を受けなくてもチェックリストを受けるだけで利用できますが知っていますか。 (SA)

「知らない」が最も多いです。

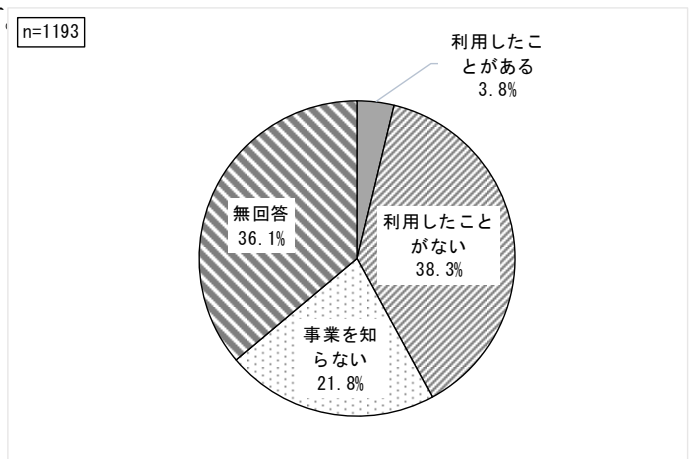
	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 知っている	37	3.1
2 知らない	168	14.1
- 無回答	988	82.8



問 12 (5)-1 : 総合事業を利用したことがありますか。 (SA)

「利用したことがない」が最も多いです。

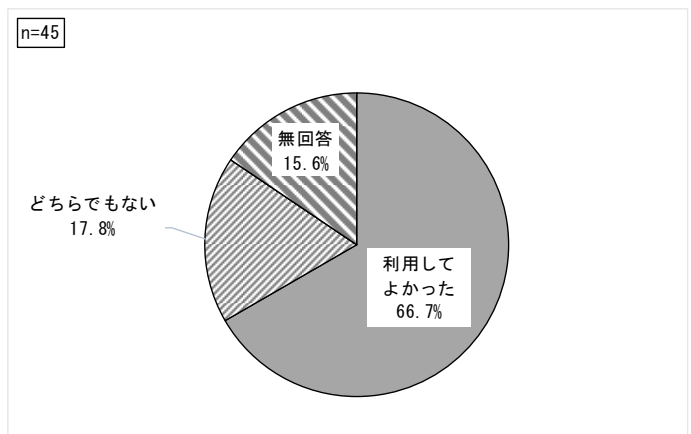
		回答数	%
全体		1,193	100.0
1	利用したことがある	45	3.8
2	利用したことがない	457	38.3
3	事業を知らない	260	21.8
-	無回答	431	36.1



問 12 (5) -2 : 【問 12 (5) -1 で「1.利用したことがある」と回答の方】 事業の満足度はいかがでしたか。 (SA)

「利用してよかった」が最も多いです。

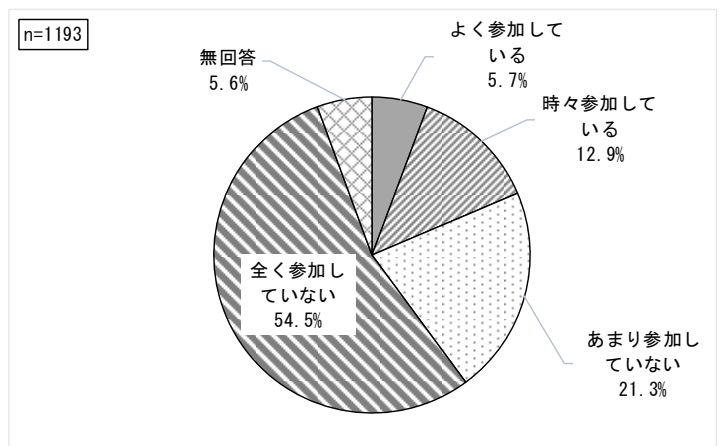
		回答数	%
全体		45	100.0
1	利用してよかった	30	66.7
2	どちらでもない	8	17.8
3	利用しない方がよかった	0	0.0
-	無回答	7	15.6



問 13 (1) : あなたは、地域活動やボランティア活動、お住まいの地域の行事にどの程度参加していますか。 (SA)

「全く参加していない」が最も多く、次いで「あまり参加していない」であり、参加頻度が低い傾向が見受けられます。

		回答数	%
全体		1,193	100.0
1	よく参加している	68	5.7
2	時々参加している	154	12.9
3	あまり参加していない	254	21.3
4	全く参加していない	650	54.5
-	無回答	67	5.6

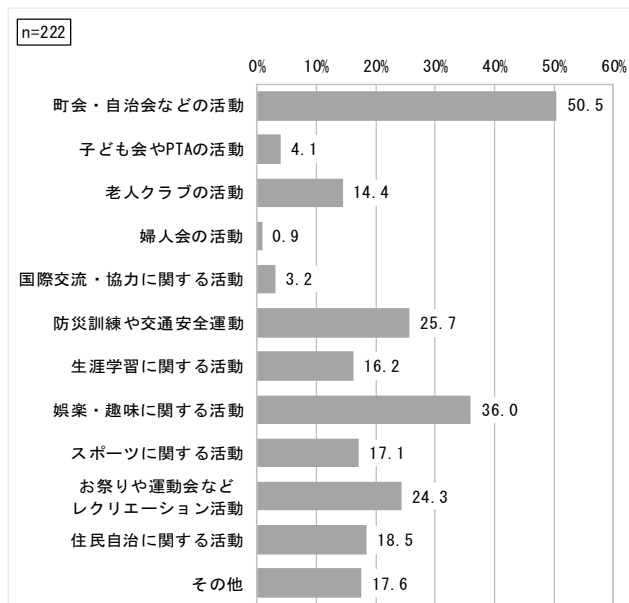


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

問 13 (2) : 【問 13 (1) で「1.よく参加している」、「2.時々参加している」と回答の方】どのような活動や行事に参加していますか。 (MA)

「町会・自治会などの活動」が最も多く、次いで「娯楽・趣味に関する活動」であり、地域活動や生きがいの活動における参加頻度が高い傾向が見受けられます。

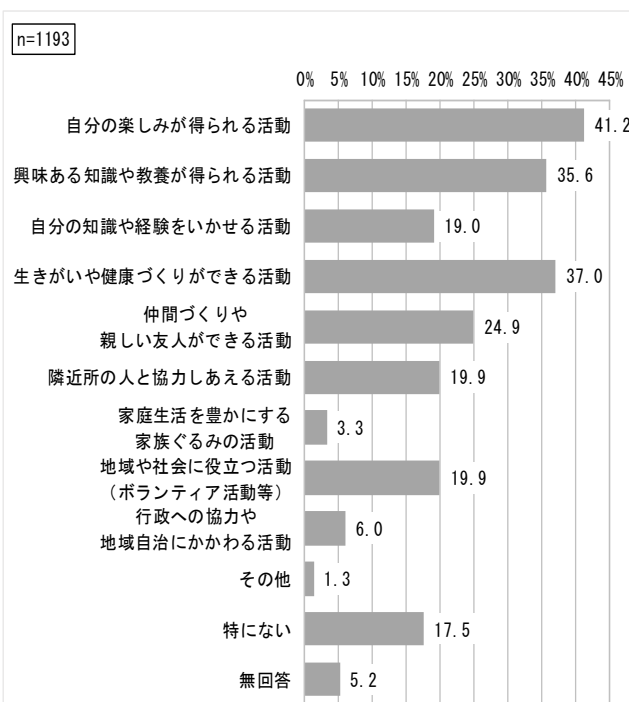
		回答数	%
全体		222	100.0
1	町会・自治会などの活動	112	50.5
2	子ども会やPTAの活動	9	4.1
3	老人クラブの活動	32	14.4
4	婦人会の活動	2	0.9
5	国際交流・協力に関する活動	7	3.2
6	防災訓練や交通安全運動	57	25.7
7	生涯学習に関する活動	36	16.2
8	娯楽・趣味に関する活動	80	36.0
9	スポーツに関する活動	38	17.1
10	お祭りや運動会などレクリエーション活動	54	24.3
11	住民自治に関する活動	41	18.5
12	その他	39	17.6



問 13 (3) : あなたが今後、お住まいの地域で活動する場合、どのような活動に参加したいと思いますか。 (MA)

「自分の楽しみが得られる活動」が最も多く、次いで「生きがいや健康づくりができる活動」であり、生きがいに関する活動の参加意欲が高い傾向が見受けられます。

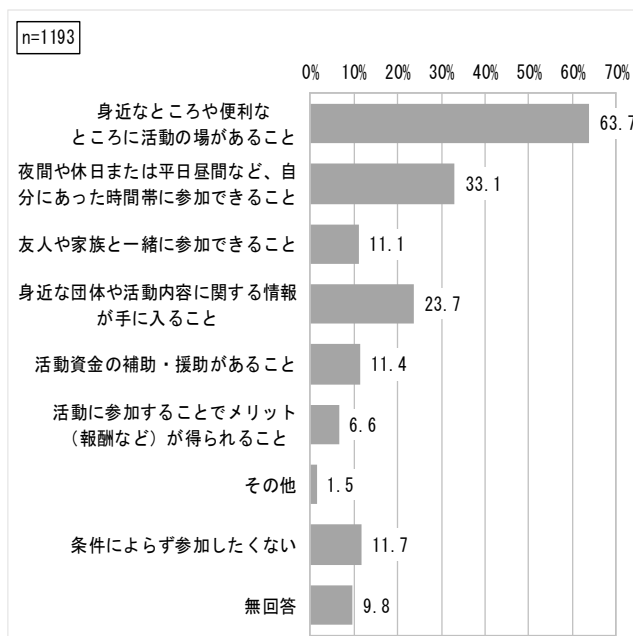
		回答数	%
全体		1,193	100.0
1	自分の楽しみが得られる活動	491	41.2
2	興味ある知識や教養が得られる活動	425	35.6
3	自分の知識や経験をいかせる活動	227	19.0
4	生きがいや健康づくりができる活動	441	37.0
5	仲間づくりや親しい友人ができる活動	297	24.9
6	隣近所の人と協力しあえる活動	237	19.9
7	家庭生活を豊かにする家族ぐるみの活動	39	3.3
8	地域や社会に役立つ活動 (ボランティア活動等)	238	19.9
9	行政への協力や地域自治にかかわる活動	72	6.0
10	その他	16	1.3
11	特にない	209	17.5
-	無回答	62	5.2



問 13 (4) : あなたは、お住まいの地域で活動する場合、どのような環境や条件が必要だと思いますか。(3 つまで選択) (MA)

「身近なところや便利なところに活動の場があること」が最も多く、次いで「夜間や休日または平日昼間など、自分にあった時間帯に参加できること」であり、利便性のよさを必要とする傾向が見受けられます。

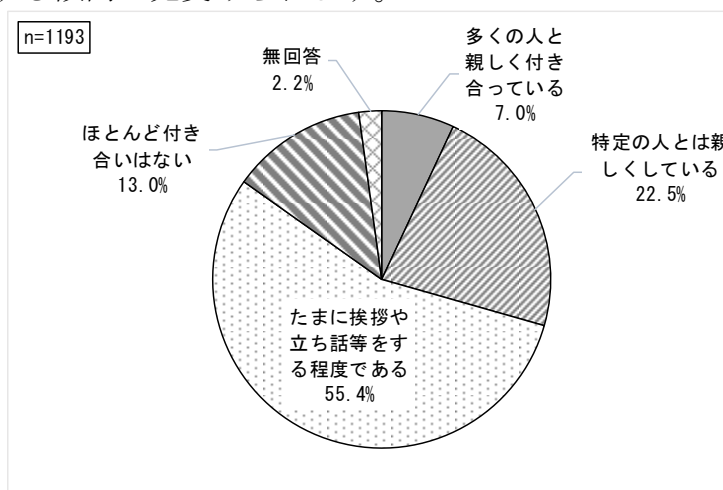
	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 身近なところや便利なところに活動の場があること	760	63.7
2 夜間や休日または平日昼間など、自分にあった時間帯に参加できること	395	33.1
3 友人や家族と一緒に参加できること	132	11.1
4 身近な団体や活動内容に関する情報が手に入ること	283	23.7
5 活動資金の補助・援助があること	136	11.4
6 活動に参加することでメリット(報酬など)が得られること	79	6.6
7 その他	18	1.5
8 条件によらず参加したくない	140	11.7
- 無回答	117	9.8



問 13 (5) : あなたは隣近所の人とはどの程度お付き合いをしていますか。 (SA)

「たまに挨拶や立ち話等をする程度である」が最も多く、次いで「特定の人とは親しくしている」であり、一定の付き合いをする傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 多くの人と親しく付き合っている	83	7.0
2 特定の人とは親しくしている	268	22.5
3 たまに挨拶や立ち話等をする程度である	661	55.4
4 ほとんど付き合いはない	155	13.0
- 無回答	26	2.2

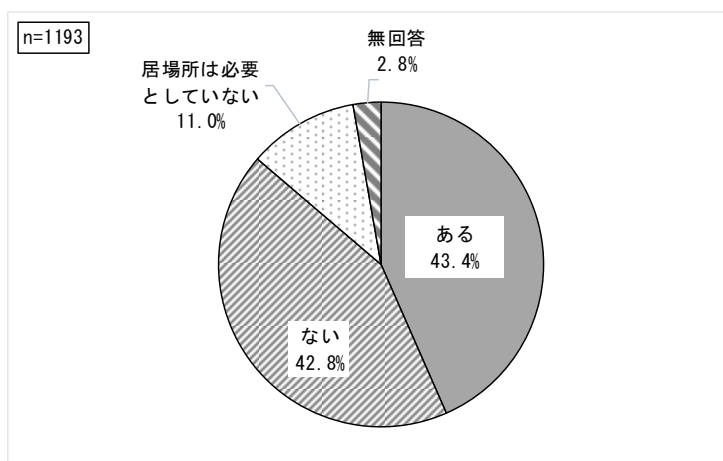


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

問 13 (6) : あなたは、お住まいの地域の中で、自宅以外の居場所（定期的に顔を出したり、仲間たちで集まる場所）はありますか。 (SA)

「ある」と「ない」が同程度で、「居場所は必要としていない」と回答した方が1割程度います。

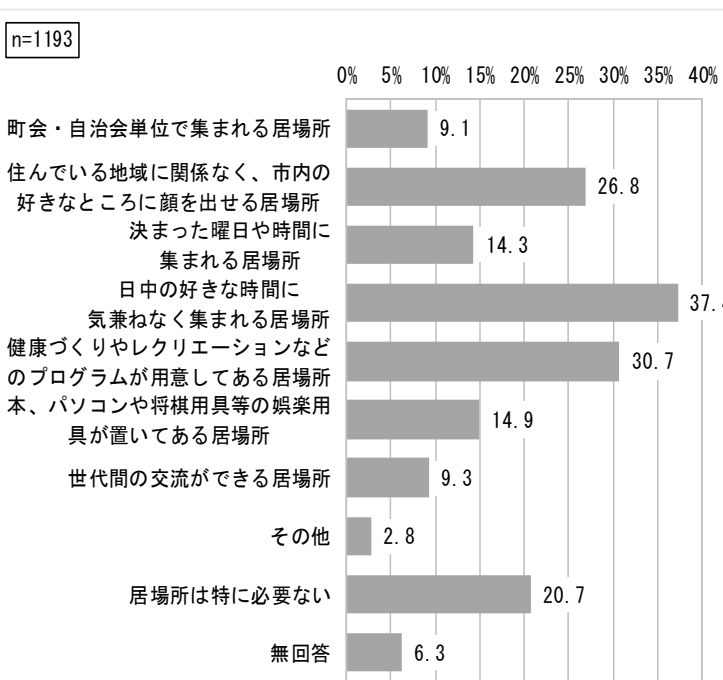
		回答数	%
全体		1,193	100.0
1	ある	518	43.4
2	ない	511	42.8
3	居場所は必要としていない	131	11.0
-	無回答	33	2.8



問 13 (7) : 地域の中でどのような居場所があれば利用したいと思いますか。 (MA)

「日中の好きな時間に気兼ねなく集まれる居場所」が最も多く、次いで「健康づくりやレクリエーションなどのプログラムが用意してある居場所」であり、利用しやすさや健康意識が高い傾向が見受けられます。

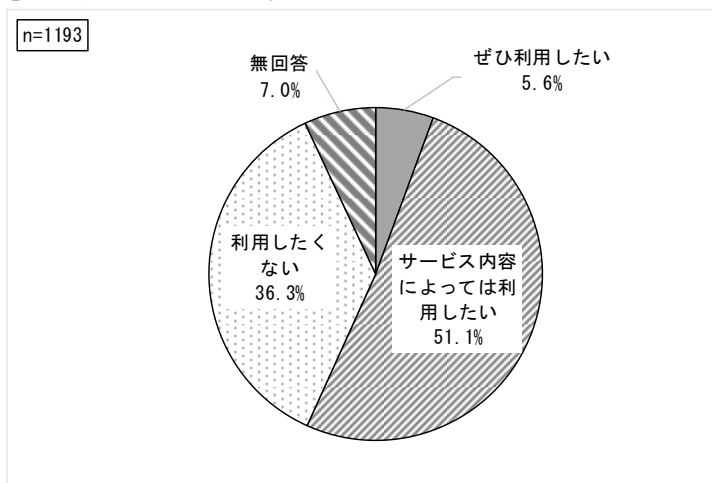
		回答数	%
全体		1,193	100.0
1	町会・自治会単位で集まれる居場所	109	9.1
2	住んでいる地域に関係なく、市内の好きなところに顔を出せる居場所	320	26.8
3	決まった曜日や時間に集まれる居場所	171	14.3
4	日中の好きな時間に気兼ねなく集まれる居場所	446	37.4
5	健康づくりやレクリエーションなどのプログラムが用意してある居場所	366	30.7
6	本、パソコンや将棋用具等の娯楽用具が置いてある居場所	178	14.9
7	世代間の交流ができる居場所	111	9.3
8	その他	34	2.8
9	居場所は特に必要ない	247	20.7
-	無回答	75	6.3



問 13 (8) : 元気高齢者の方等がサービス提供の担い手となる生活支援サービスがあった場合、利用したいと思いますか。 (SA)

「サービス内容によっては利用したい」が最も多いです。

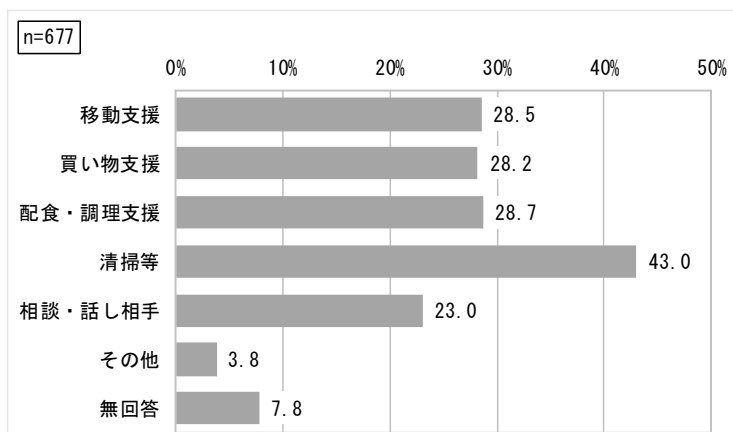
	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 ぜひ利用したい	67	5.6
2 サービス内容によっては利用したい	610	51.1
3 利用したくない	433	36.3
- 無回答	83	7.0



問 13 (9) : 【問 13 (8) で「1.ぜひ利用したい」、「2.サービス内容によっては利用したい」と回答の方】どのようなサービスであれば、利用したいですか。 (MA)

日常生活に関する支援サービスの中でも「清掃等」が最も多く、日常生活に関する支援サービスを利用したい方が多い傾向が見受けられます。

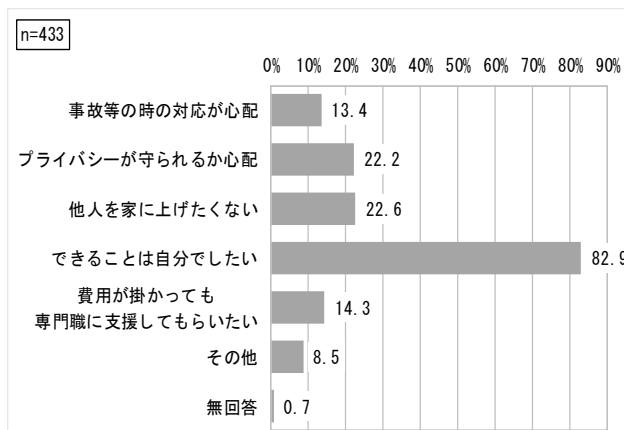
	回答数	%
全体	677	100.0
1 移動支援	193	28.5
2 買い物支援	191	28.2
3 配食・調理支援	194	28.7
4 清掃等	291	43.0
5 相談・話し相手	156	23.0
6 その他	26	3.8
- 無回答	53	7.8



問 13 (10) : 【問 13 (8) で「3.利用したくない」と回答の方】 利用したくない理由はなんですか。 (MA)

「できることは自分でしたい」が最も多く、次いで「他人を家に上げたくない」であり、自立意識が高い傾向が見受けられます。

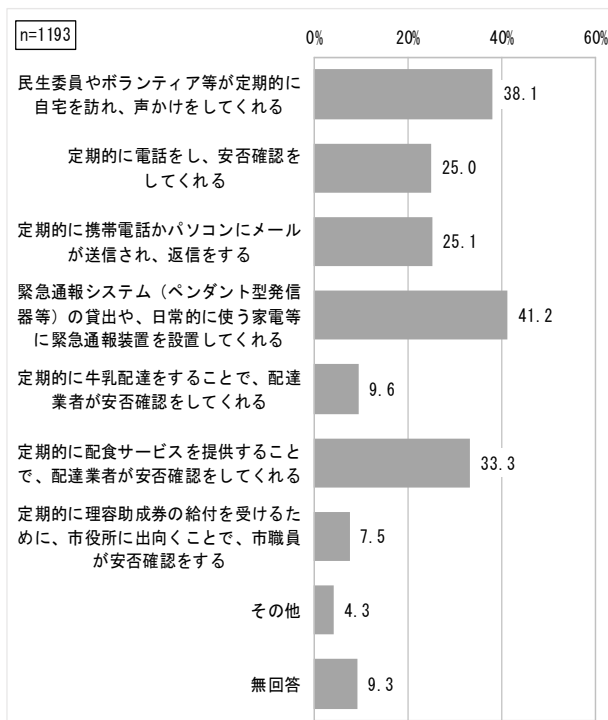
	回答数	%
全体	433	100.0
1 事故等の時の対応が心配	58	13.4
2 プライバシーが守られるか心配	96	22.2
3 他人を家に上げたくない	98	22.6
4 できることは自分でしたい	359	82.9
5 費用が掛かって専門職に支援してもらいたい	62	14.3
6 その他	37	8.5
- 無回答	3	0.7



問 13 (11) : もし、あなたがひとり暮らしになった場合 (現在ひとり暮らしの方は現時点での意向として)、どのような「見守り支援」を利用したいと思いますか。 (MA)

「緊急通報システム (ペンダント型発信器等) の貸出や、日常的に使う家電等に緊急通報装置を設置してくれる」が最も多く、次いで「民生委員やボランティア等が定期的に自宅を訪れ、声かけをしてくれる」であり、安心できる見守り支援を利用したい方が多い傾向が見受けられます。

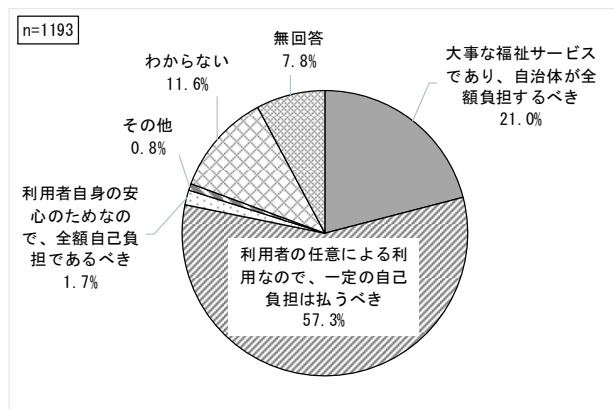
	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 民生委員やボランティア等が定期的に自宅を訪れ、声かけをしてくれる	455	38.1
2 定期的に電話をし、安否確認をしてくれる	298	25.0
3 定期的に携帯電話かパソコンにメールが送信され、返信をする	300	25.1
4 緊急通報システム (ペンダント型発信器等) の貸出や、日常的に使う家電等に緊急通報装置を設置してくれる	492	41.2
5 定期的に牛乳配達をすることで、配達業者が安否確認をしてくれる	114	9.6
6 定期的に配食サービスを提供することで、配達業者が安否確認をしてくれる	397	33.3
7 定期的に理容助成券の給付を受けるために、市役所に出向くことで、市職員が安否確認をする	90	7.5
8 その他	51	4.3
- 無回答	111	9.3



問 13 (12) : ひとり暮らしの高齢者を対象とする「見守り支援」について、利用と負担の関係はどうあるべきだと思いますか。 (SA)

「利用者の任意による利用なので、一定の自己負担は払うべき」が最も多いです。

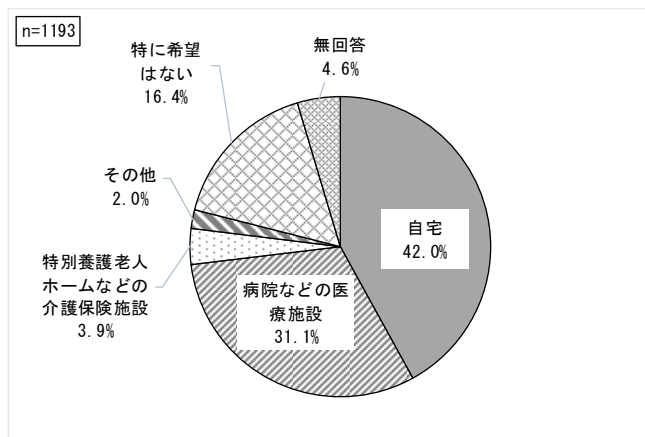
	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 大きな福祉サービスであり、自治体が全額負担するべき	250	21.0
2 利用者の任意による利用なので、一定の自己負担は払うべき	683	57.3
3 利用者自身の安心のためなので、全額自己負担であるべき	20	1.7
4 その他	9	0.8
5 わからない	138	11.6
- 無回答	93	7.8



問 13 (13) : ご自身が病気などで最期を迎えるとしたらどこで迎えたいですか。 (SA)

「自宅」が最も多いです。

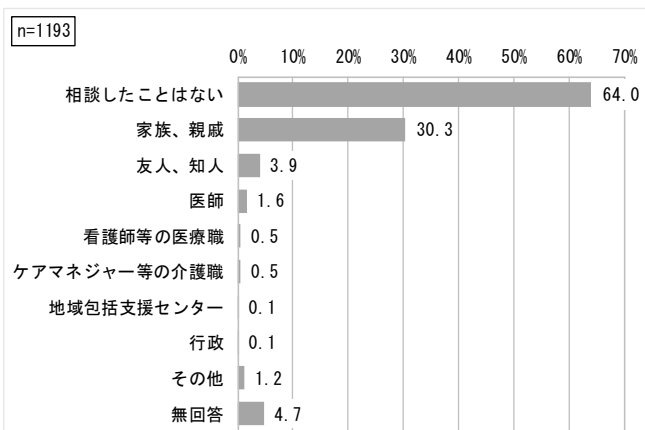
	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 自宅	501	42.0
2 病院などの医療施設	371	31.1
3 特別養護老人ホームなどの介護保険施設	46	3.9
4 その他	24	2.0
5 特に希望はない	196	16.4
- 無回答	55	4.6



問 13 (14) : ご自身の看取りについて、誰かに相談したことはありますか。 (MA)

「相談したことはない」が最も多く、次いで「家族、親戚」であり、相談相手は身内である傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 相談したことはない	764	64.0
2 家族、親戚	362	30.3
3 友人、知人	47	3.9
4 医師	19	1.6
5 看護師等の医療職	6	0.5
6 ケアマネジャー等の介護職	6	0.5
7 地域包括支援センター	1	0.1
8 行政	1	0.1
9 その他	14	1.2
- 無回答	56	4.7



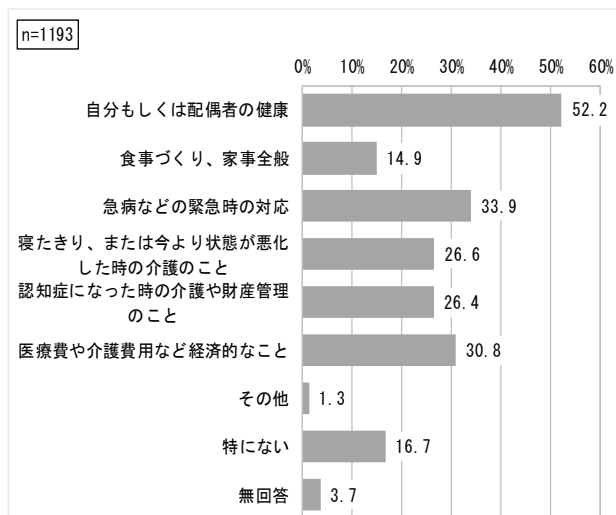


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

問 13 (15) : あなたは、自分や家族のことについて現在不安に感じることはありますか。 (MA)

「自分もしくは配偶者の健康」が最も多く、次いで「急病などの緊急時の対応」であり、健康に関する不安が高い傾向が見受けられます。

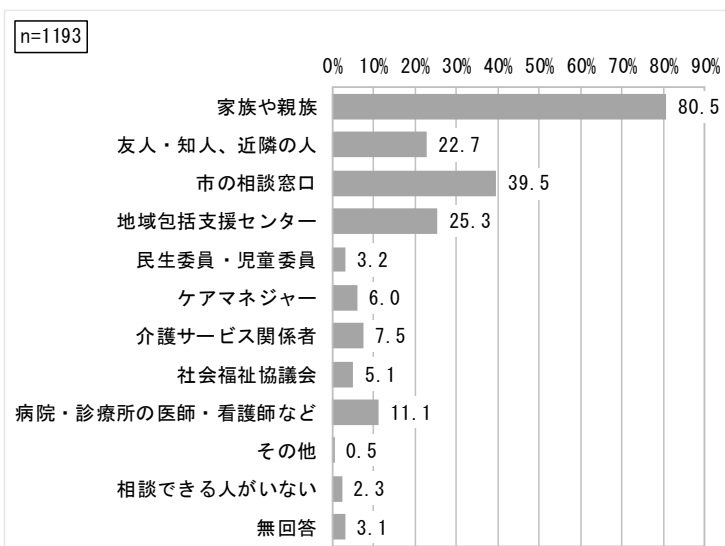
	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 自分もしくは配偶者の健康	623	52.2
2 食事づくり、家事全般	178	14.9
3 急病などの緊急時の対応	405	33.9
4 寝たきり、または今より状態が悪化した時の介護のこと	317	26.6
5 認知症になった時の介護や財産管理のこと	315	26.4
6 医療費や介護費用など経済的なこと	368	30.8
7 その他	16	1.3
8 特にない	199	16.7
- 無回答	44	3.7



問 13 (16) : あなたは、暮らしの問題や福祉について困りごとがあったとき、どこに (誰に) 相談しますか。 (MA)

「家族や親族」が最も多いです。

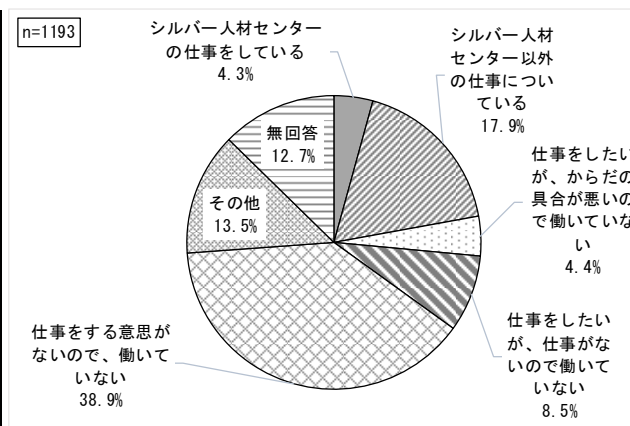
	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 家族や親族	960	80.5
2 友人・知人、近隣の人	271	22.7
3 市の相談窓口	471	39.5
4 地域包括支援センター	302	25.3
5 民生委員・児童委員	38	3.2
6 ケアマネジャー	72	6.0
7 介護サービス関係者	89	7.5
8 社会福祉協議会	61	5.1
9 病院・診療所の医師・看護師など	132	11.1
10 その他	6	0.5
11 相談できる人がいない	28	2.3
- 無回答	37	3.1



問 14 (1) : あなたは現在、収入のある仕事についていますか。 (SA)

「働いていない」との回答が5割以上であるが、そのうち1割近くは働く意思はあるものの、健康面や条件に合った仕事がないため働いていない傾向が見受けられます。

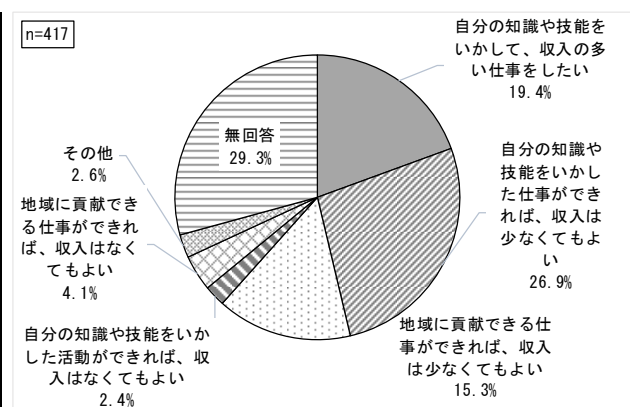
		回答数	%
全体		1,193	100.0
1	シルバー人材センターの仕事をしている	51	4.3
2	シルバー人材センター以外の仕事についている	213	17.9
3	仕事をしたいが、からだの具合が悪いので働いていない	52	4.4
4	仕事をしたいが、仕事がないので働いていない	101	8.5
5	仕事をする意思がないので、働いていない	464	38.9
6	その他	161	13.5
-	無回答	151	12.7



問 14 (2) : 【問 14 (1) で「1.シルバー人材センターの仕事をしている」～「4.仕事をしたいが、仕事がないので働いていない」と回答の方】あなたは今後、どのようなかたちで働きたいと考えていますか。 (SA)

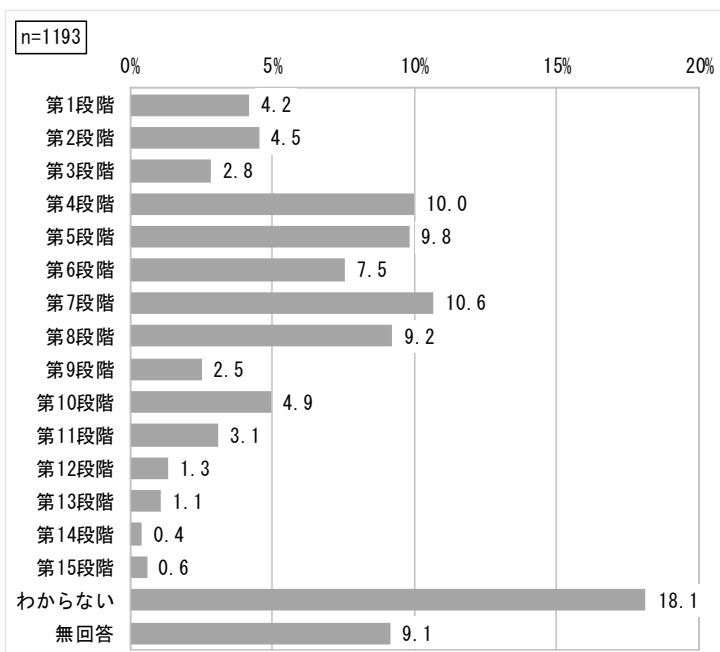
「自分の知識や技能をいかした仕事できれば、収入は少なくてもよい」が最も多いです。

		回答数	%
全体		417	100.0
1	自分の知識や技能をいかして、収入の多い仕事をしたい	81	19.4
2	自分の知識や技能をいかした仕事できれば、収入は少なくてもよい	112	26.9
3	地域に貢献できる仕事できれば、収入は少なくてもよい	64	15.3
4	自分の知識や技能をいかした活動できれば、収入は少なくてもよい	10	2.4
5	地域に貢献できる仕事できれば、収入は少なくてもよい	17	4.1
6	その他	11	2.6
-	無回答	122	29.3



問 15 (1) : あなたの介護保険料の保険段階は次の 1~16 のうちどれですか。 (SA)

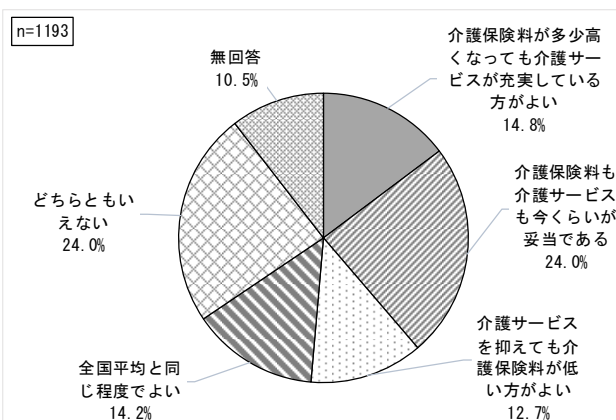
		回答数	%
全体		1,193	100.0
1	第1段階	50	4.2
2	第2段階	54	4.5
3	第3段階	34	2.8
4	第4段階	119	10.0
5	第5段階	117	9.8
6	第6段階	90	7.5
7	第7段階	127	10.6
8	第8段階	110	9.2
9	第9段階	30	2.5
10	第10段階	59	4.9
11	第11段階	37	3.1
12	第12段階	16	1.3
13	第13段階	13	1.1
14	第14段階	5	0.4
15	第15段階	7	0.6
16	わからない	216	18.1
-	無回答	109	9.1



問 15 (2) : 今後の介護保険サービスと介護保険料について、あなたの考えに最も近いものは次のうちどれですか。 (SA)

「介護保険料も介護サービスも今くらいが妥当である」「どちらともいえない」が最も多く、特に不満はない傾向が見受けられます。

		回答数	%
全体		1,193	100.0
1	介護保険料が多少高くなっても介護サービスが充実している方がよい	176	14.8
2	介護保険料も介護サービスも今くらいが妥当である	286	24.0
3	介護サービスを抑えても介護保険料が低い方がよい	151	12.7
4	全国平均と同じ程度でよい	169	14.2
5	どちらともいえない	286	24.0
-	無回答	125	10.5

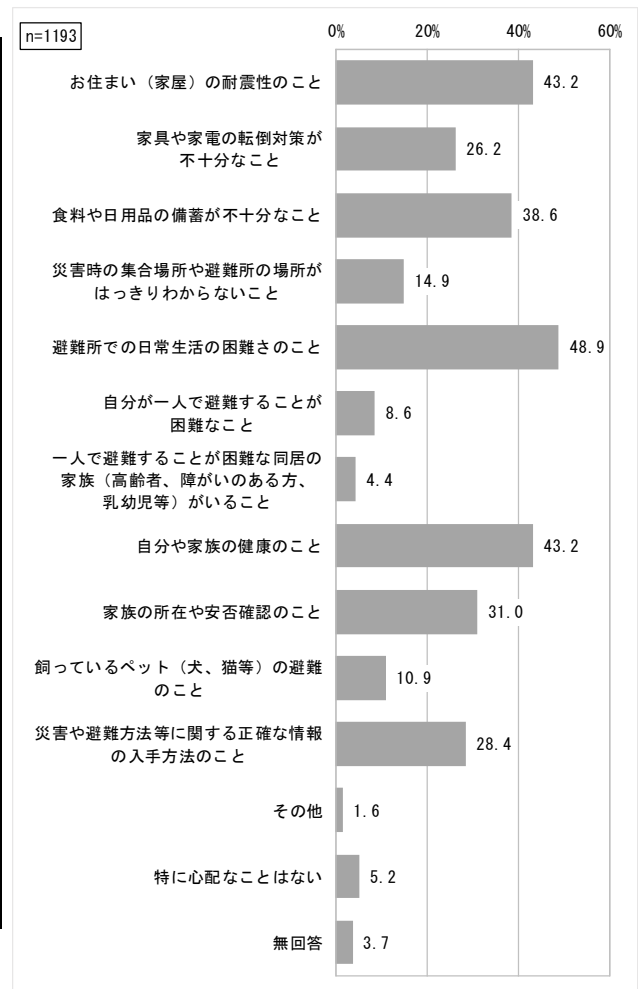


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

問 16 (1) : あなたは、災害などの発生を考えた時、どのような不安や心配ごとがありますか。 (MA)

「避難所での日常生活の困難さのこと」が最も多いです。

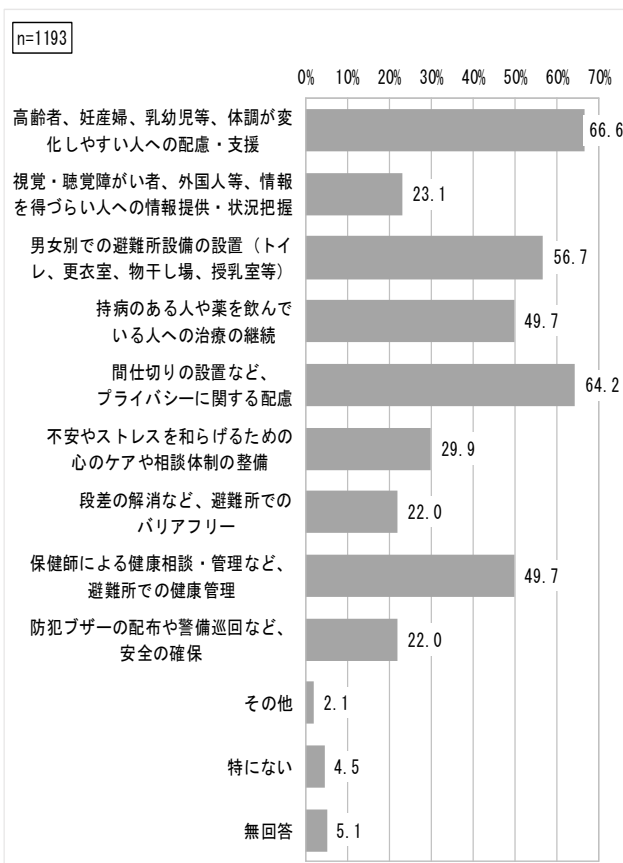
	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 お住まい(家屋)の耐震性のこと	515	43.2
2 家具や家電の転倒対策が不十分なこと	313	26.2
3 食料や日用品の備蓄が不十分なこと	460	38.6
4 災害時の集合場所や避難所の場所がはっきりわからないこと	178	14.9
5 避難所での日常生活の困難さのこと	583	48.9
6 自分が一人で避難することが困難なこと	103	8.6
7 一人で避難することが困難な同居の家族(高齢者、障がいのある方、乳幼児等)がいること	53	4.4
8 自分や家族の健康のこと	515	43.2
9 家族の所在や安否確認のこと	370	31.0
10 飼っているペット(犬、猫等)の避難のこと	130	10.9
11 災害や避難方法等に関する正確な情報の入手方法のこと	339	28.4
12 その他	19	1.6
13 特に心配なことはない	62	5.2
- 無回答	44	3.7



問 16 (2) : 災害が起きた時、避難所で配慮してほしいことは何ですか。 (MA)

「高齢者、妊産婦、乳幼児等、体調が変化しやすい人への配慮・支援」が最も多く、次いで「間仕切りの設置など、プライバシーに関する配慮」であり、健康や環境に対する意識が高い傾向が見受けられます。

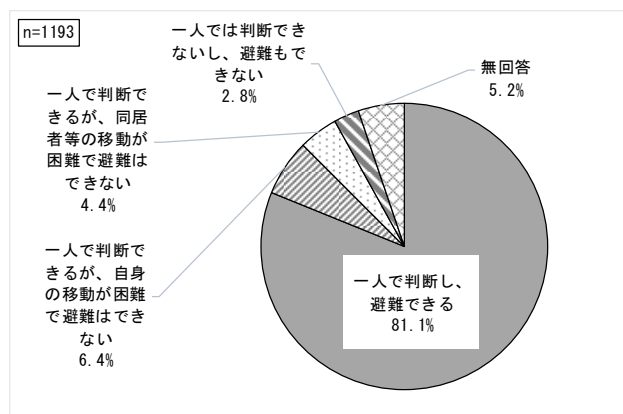
		回答数	%
全体		1,193	100.0
1	高齢者、妊産婦、乳幼児等、体調が変化しやすい人への配慮・支援	795	66.6
2	視覚・聴覚障がい者、外国人等、情報を得づらい人への情報提供・状況把握	276	23.1
3	男女別での避難所設備の設置 (トイレ、更衣室、物干し場、授乳室等)	676	56.7
4	持病のある人や薬を飲んでいる人への治療の継続	593	49.7
5	間仕切りの設置など、プライバシーに関する配慮	766	64.2
6	不安やストレスを和らげるための心のケアや相談体制の整備	357	29.9
7	段差の解消など、避難所でのバリアフリー	262	22.0
8	保健師による健康相談・管理など、避難所での健康管理	593	49.7
9	防犯ブザーの配布や警備巡回など、安全の確保	262	22.0
10	その他	25	2.1
11	特にない	54	4.5
-	無回答	61	5.1



問 16 (3) : 災害時に一人で避難できますか。 (SA)

「一人で判断し、避難できる」が最も多いです。

		回答数	%
全体		1,193	100.0
1	一人で判断し、避難できる	968	81.1
2	一人で判断できるが、自身の移動が困難で避難はできない	76	6.4
3	一人で判断できるが、同居者等の移動が困難で避難はできない	53	4.4
4	一人では判断できないし、避難もできない	34	2.8
-	無回答	62	5.2

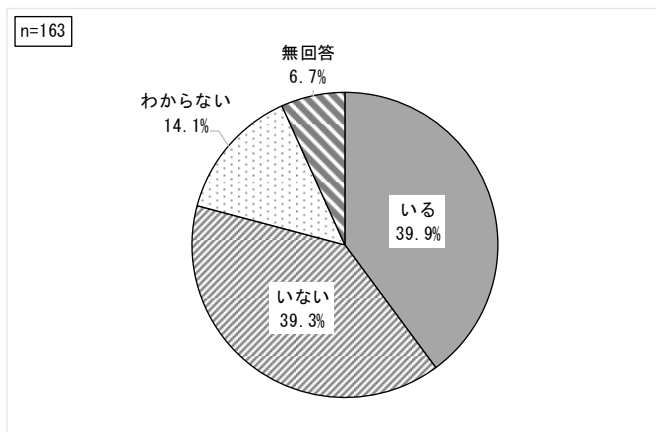


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

問 16 (4) : 【問 16 (3) で「2.一人で判断できるが、自身の移動が困難で避難はできない」～「4.一人では判断できないし、避難もできない」と回答の方】災害時に避難する際に、手助けを頼める人はいますか。 (SA)

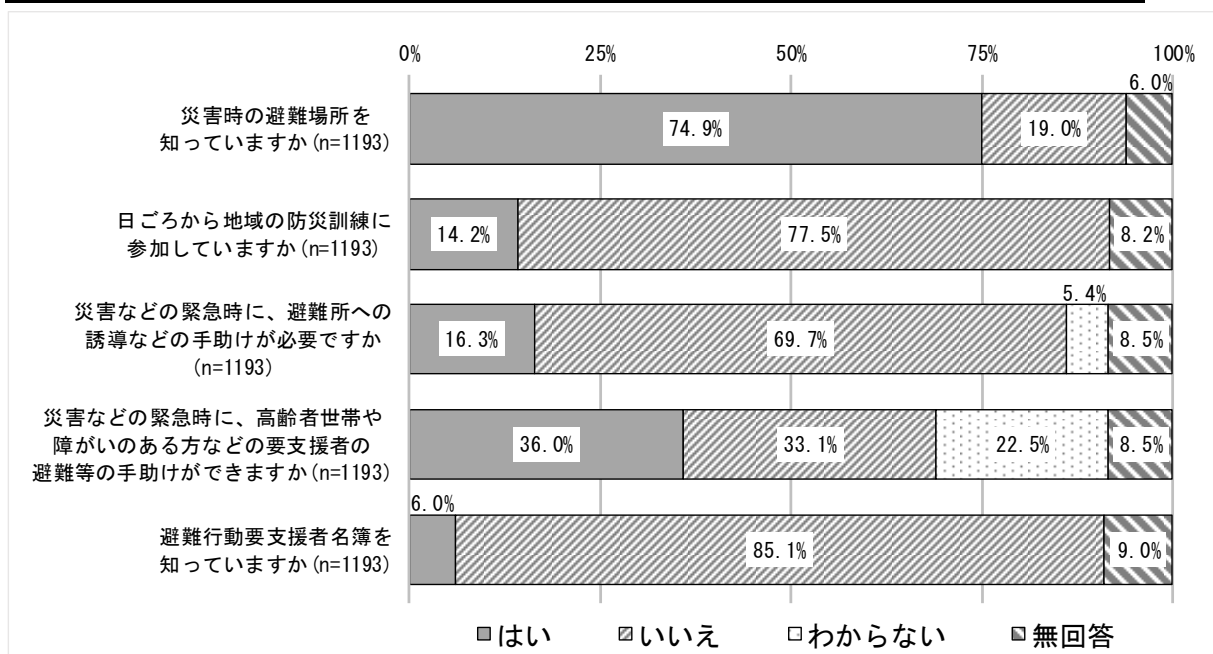
「いる」と「いない」が同程度で、「わからない」も含めると半数近くが手助けを頼めない傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	163	100.0
1 いる	65	39.9
2 いない	64	39.3
3 わからない	23	14.1
- 無回答	11	6.7



問 16 (5) : 防災や災害時への取組みについてうかがいます。 (SA マトリクス)

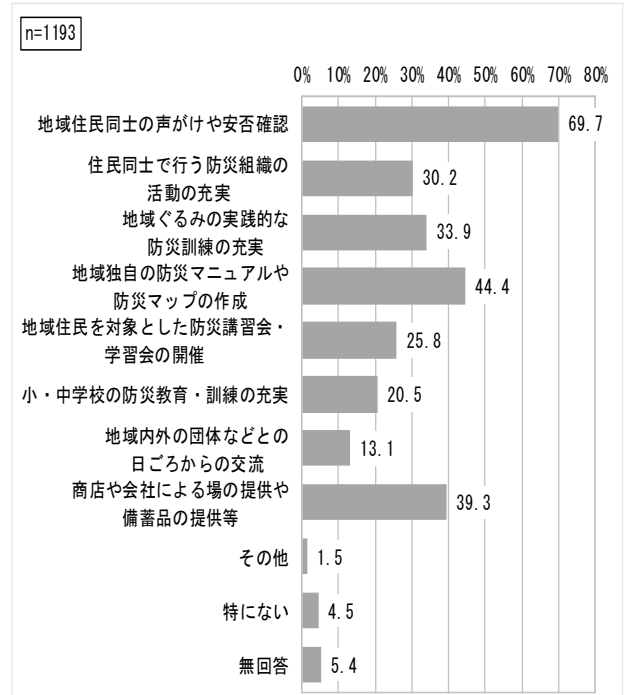
		全体	1	2	3	-
			はい	いいえ	わからない	無回答
1	災害時の避難場所を知っていますか	回答数 1,193 %	894 74.9	227 19.0	0 0.0	72 6.0
2	日ごろから地域の防災訓練に参加していますか	回答数 1,193 %	170 14.2	925 77.5	0 0.0	98 8.2
3	災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要ですか	回答数 1,193 %	195 16.3	832 69.7	65 5.4	101 8.5
4	災害などの緊急時に、高齢者世帯や障がいのある方などの要支援者の避難等の手助けができますか	回答数 1,193 %	429 36.0	395 33.1	268 22.5	101 8.5
5	避難行動要支援者名簿を知っていますか	回答数 1,193 %	71 6.0	1015 85.1	0 0.0	107 9.0



問 16 (6) : 災害に備えて、市民や企業等が協働して取り組むと良いものはどれですか。  
(MA)

「地域住民同士の声かけや安否確認」が最も多く、次いで「地域独自の防災マニュアルや防災マップの作成」であり、災害に対する安全を意識する傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 地域住民同士の声かけや安否確認	832	69.7
2 住民同士で行う防災組織の活動の充実	360	30.2
3 地域ぐるみの実践的な防災訓練の充実	405	33.9
4 地域独自の防災マニュアルや防災マップの作成	530	44.4
5 地域住民を対象とした防災講習会・学習会の開催	308	25.8
6 小・中学校の防災教育・訓練の充実	245	20.5
7 地域内外の団体などとの日ごろからの交流	156	13.1
8 商店や会社による場の提供や備蓄品の提供等	469	39.3
9 その他	18	1.5
10 特にない	54	4.5
- 無回答	64	5.4

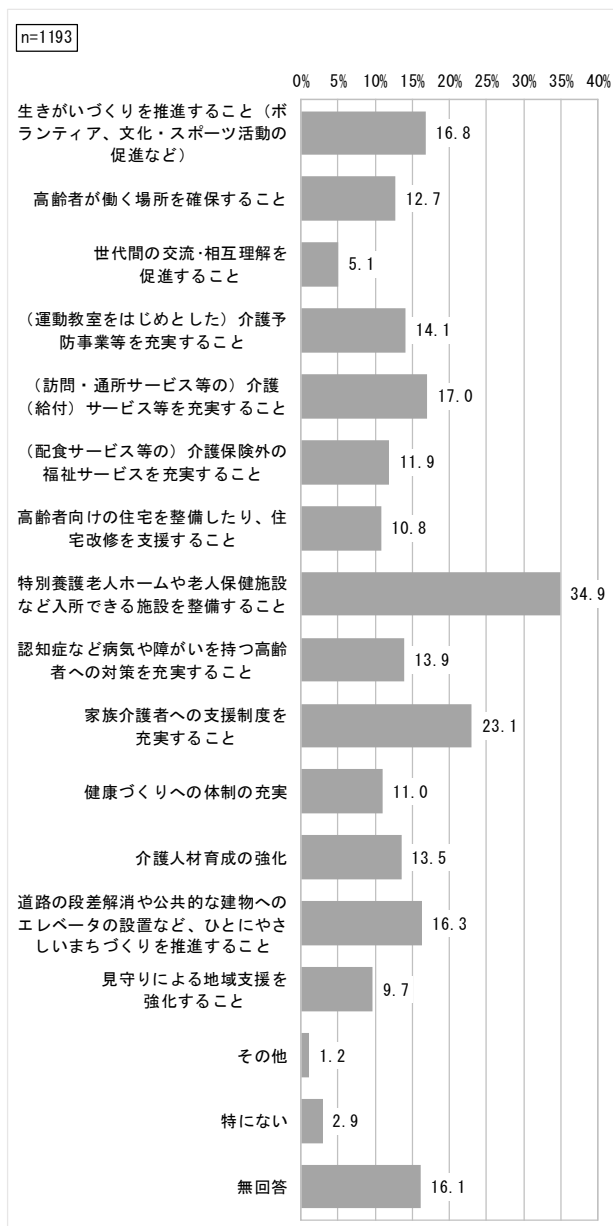


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

問 17 (1) : 今後、市が取り組む保健福祉サービスとして、次のうちどれを優先して充実すべきだとお考えですか。(3つまで選択) (MA)

「特別養護老人ホームや老人保健施設など入所できる施設を整備すること」が最も多く、次いで「家族介護者への支援制度を充実すること」であり、設備や支援の充実を意識する傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 生きがいを推進すること (ボランティア、文化・スポーツ活動の促進など)	200	16.8
2 高齢者が働く場所を確保すること	152	12.7
3 世代間の交流・相互理解を促進すること	61	5.1
4 (運動教室をはじめとした) 介護予防事業等を充実すること	168	14.1
5 (訪問・通所サービス等の) 介護(給付) サービス等を充実すること	203	17.0
6 (配食サービス等の) 介護保険外の福祉サービスを充実すること	142	11.9
7 高齢者向けの住宅を整備したり、住宅改修を支援すること	129	10.8
8 特別養護老人ホームや老人保健施設など入所できる施設を整備すること	416	34.9
9 認知症など病気や障がいを持つ高齢者への対策を充実すること	166	13.9
10 家族介護者への支援制度を充実すること	275	23.1
11 健康づくりへの体制の充実	131	11.0
12 介護人材育成の強化	161	13.5
13 道路の段差解消や公共的な建物へのエレベータの設置など、ひとにやさしいまちづくりを推進すること	194	16.3
14 見守りによる地域支援を強化すること	116	9.7
15 その他	14	1.2
16 特にない	35	2.9
- 無回答	192	16.1



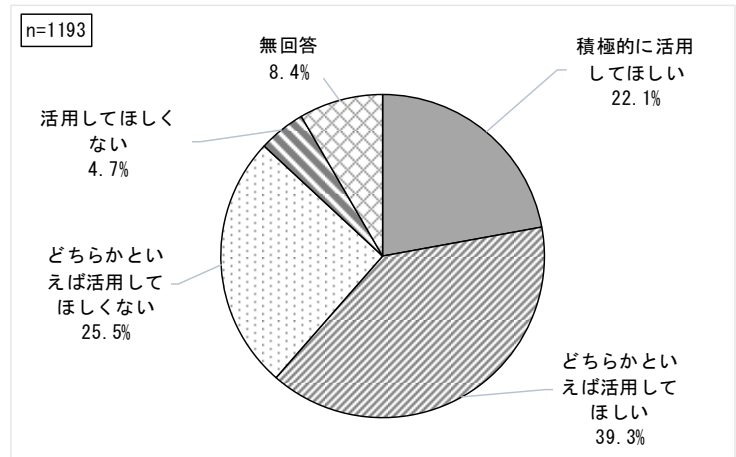


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

問 17 (2) : 介護保険サービスで外国人材の活用が検討されていますが、あなたはどのようにお考えでしょうか。 (SA)

「どちらかといえば活用してほしい」が最も多く、半数以上は活用を容認しています。

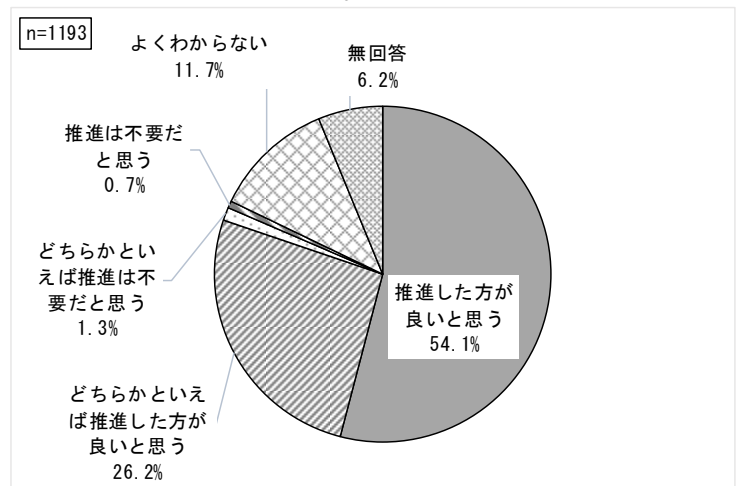
	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 積極的に活用してほしい	264	22.1
2 どちらかといえば活用してほしい	469	39.3
3 どちらかといえば活用してほしくない	304	25.5
4 活用してほしくない	56	4.7
- 無回答	100	8.4



問 17 (3) : 自立支援・介護予防・重度化防止の取り組みの推進がうたわれていますが、あなたはどのように思いますか。 (SA)

「推進した方が良いと思う」が最も多く、次いで「どちらかといえば推進した方が良いと思う」であり、推進を希望する方が多い傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 推進した方が良いと思う	645	54.1
2 どちらかといえば推進した方が良いと思う	312	26.2
3 どちらかといえば推進は不要だと思う	15	1.3
4 推進は不要だと思う	8	0.7
5 よくわからない	139	11.7
- 無回答	74	6.2

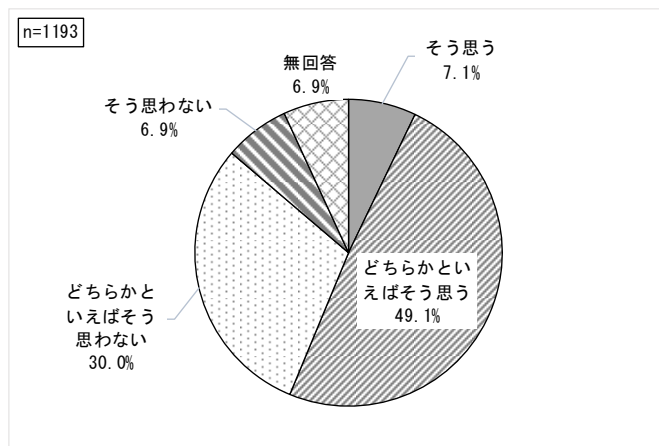


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

問 17 (4) : 小金井市では、「誰もが安心して暮らせる思いやりのあるまち」の実現をめざしています。あなたは、小金井市は「誰もが安心して暮らせる思いやりのあるまち」だと思えますか。 (SA)

「どちらかといえばそう思う」が最も多いです。

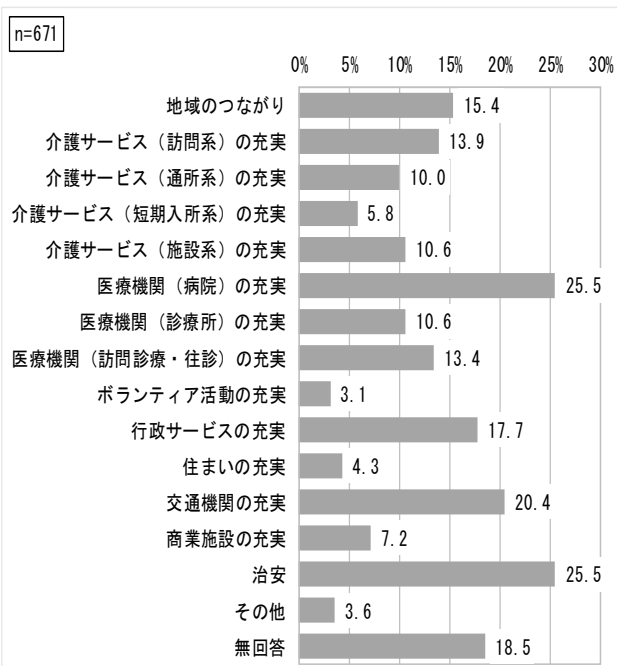
		回答数	%
全体		1,193	100.0
1	そう思う	85	7.1
2	どちらかといえばそう思う	586	49.1
3	どちらかといえばそう思わない	358	30.0
4	そう思わない	82	6.9
-	無回答	82	6.9



問 17 (5) -1 : 【問 17 (4) で「1.そう思う」、「2.どちらかといえばそう思う」と回答の方】その理由は何ですか。(3つまで選択) (MA)

「医療機関（病院）の充実」「治安」が最も多く、設備の充実と安全を意識する傾向が見受けられます。

		回答数	%
全体		671	100.0
1	地域のつながり	103	15.4
2	介護サービス（訪問系）の充実	93	13.9
3	介護サービス（通所系）の充実	67	10.0
4	介護サービス（短期入所系）の充実	39	5.8
5	介護サービス（施設系）の充実	71	10.6
6	医療機関（病院）の充実	171	25.5
7	医療機関（診療所）の充実	71	10.6
8	医療機関（訪問診療・往診）の充実	90	13.4
9	ボランティア活動の充実	21	3.1
10	行政サービスの充実	119	17.7
11	住まいの充実	29	4.3
12	交通機関の充実	137	20.4
13	商業施設の充実	48	7.2
14	治安	171	25.5
15	その他	24	3.6
-	無回答	124	18.5

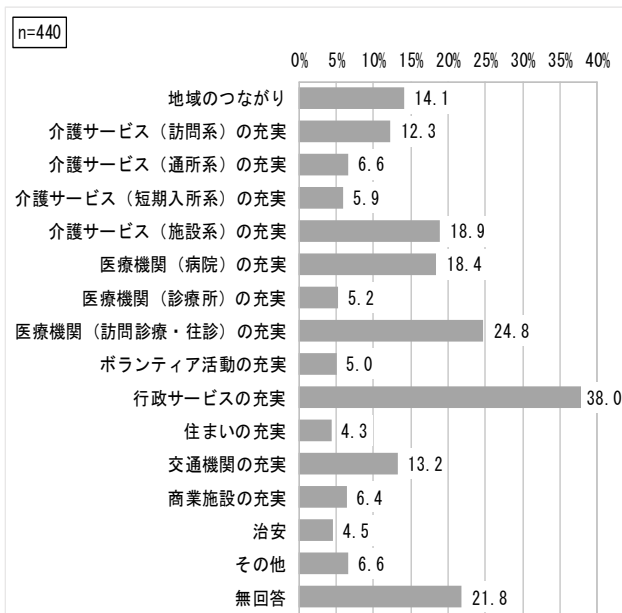


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

問 17 (5) -2: 【問 17 (4) で「3.どちらかといえばそう思わない」、「4.そう思わない」と回答の方】どの項目が改善したら、「そう思う」ようになりますか。(3つまで選択)  
(MA)

「行政サービスの充実」が最も多く、次いで「医療機関（訪問診療・往診）の充実」であり、行政や医療機関の改善を希望する方が多い傾向が見受けられます。

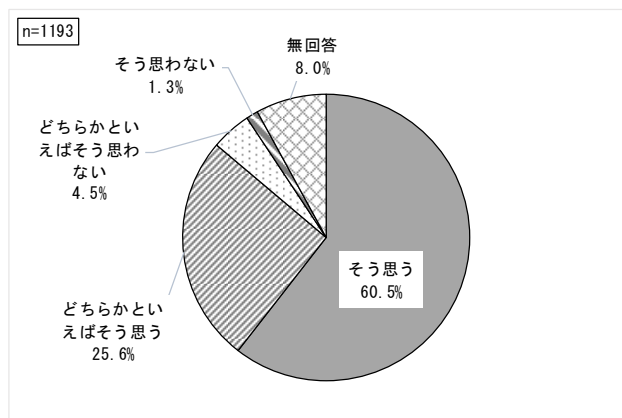
	回答数	%
全体	440	100.0
1 地域のつながり	62	14.1
2 介護サービス（訪問系）の充実	54	12.3
3 介護サービス（通所系）の充実	29	6.6
4 介護サービス（短期入所系）の充実	26	5.9
5 介護サービス（施設系）の充実	83	18.9
6 医療機関（病院）の充実	81	18.4
7 医療機関（診療所）の充実	23	5.2
8 医療機関（訪問診療・往診）の充実	109	24.8
9 ボランティア活動の充実	22	5.0
10 行政サービスの充実	167	38.0
11 住まいの充実	19	4.3
12 交通機関の充実	58	13.2
13 商業施設の充実	28	6.4
14 治安	20	4.5
15 その他	29	6.6
- 無回答	96	21.8



問 17 (6) : あなたは、今後も小金井市に住み続けたいと思いますか。 (SA)

「そう思う」が最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」であり、住み続けたい傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 そう思う	722	60.5
2 どちらかといえばそう思う	306	25.6
3 どちらかといえばそう思わない	54	4.5
4 そう思わない	16	1.3
- 無回答	95	8.0

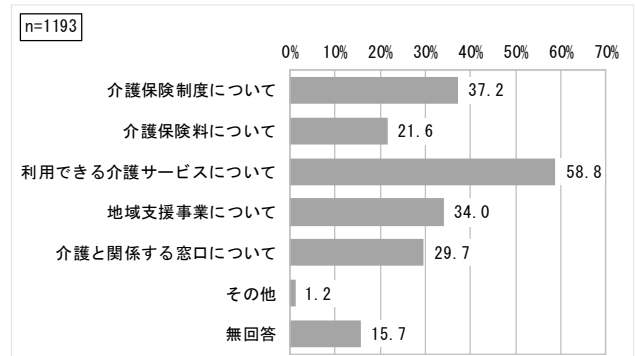


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

問 17 (7) : 高齢者保健福祉施策や介護保険制度について、知りたい情報や制度はどのようなものですか。 (MA)

「利用できる介護サービスについて」が最も多く、次いで「介護保険制度について」であり、サービスや制度を知りたい傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	1,193	100.0
1 介護保険制度について	444	37.2
2 介護保険料について	258	21.6
3 利用できる介護サービスについて	702	58.8
4 地域支援事業について	406	34.0
5 介護と関係する窓口について	354	29.7
6 その他	14	1.2
- 無回答	187	15.7



問 17 (8) : 高齢者支援施策について、小金井市へのご意見・ご要望や知りたい情報がありましたら、ご自由にお書きください。(注)

- 小金井は都営住宅が少ない。まして単身者用がない。小金井に住みつづけたくてもやむなく他の市に申し込む事になってしまいます。
- まだ実際に支援を受けたことがないので良くわかりませんが、一人暮らしのため病気になった時、支援が必要になった時に、どのような支援やサービスが受けられるのか、又、どんなルートで手続きをしたら良いのか、わからないことだらけでとても不安です。日常生活に支障なく、支援も受けていない高齢者に対しても一定の年齢に達した人（希望者でも良い）には、現状の把握と何か困っていることは無いか等、一回は声かけをして頂けると安心して生活することができるのではないかと思います。老後は一人暮らしでも、安心して住むことができる小金井市であってほしい。
- 高齢者がいつまでも働くことができる町をつくりたい。
- どの介護施設もいつも職員を募集しているよう。職員の待遇を改善しなければ、介護を受ける人へのサービスもよくなると思わないと思う。
- 高齢者が年々増えているので、受益者負担の割合を一考する時期になったのではと思う時がある。・市役所全体で高齢者を気遣っていることが分かり有難く思う。
- 運賃が上がってもよいのでココバスのサービスダウンは止めてほしい。
- 自宅復帰が出来ない身体になってしまったら、終身迄お願い出来る施設を多く造って下さい。(病院に移転させないで住みなれた施設で最後を迎えたいです。)
- 行政としてやれることはやっているように思われるが、でも、まだまだ何か不満、不安あり。
- 持ち家があっても高齢になった時に公的な安い住宅に入る事が出来る。入居にあたって持ち家を手渡す事を条件に公的な介護付き老人向けの住宅や施設に入居できるシステムがあると良い。
- 健康状態は良く、仕事があり、今は充実しているが、時々先のことを考えると不安になることがある。今は、賃貸住宅住まいなので、今後は都営住宅等、安い家賃の提供を希望したい。
- 入所施設が、もっと数多くあったらと思う。
- 高齢者自身が努力すべき事も多い。安易に支援を要求する者も多く、予算の増大の因となっているのではないかと

(注) 主な意見として回答を抜粋し、原文のまま掲載しています。

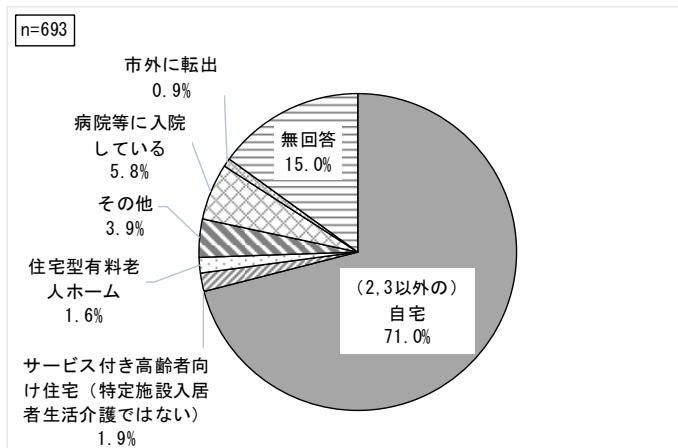
- 健康であることは有難いが、人生90年ともなれば全体に身体にガタが来る。一定年齢に達した老人には、要請があれば支援の手を少し差し伸べてくれたらと思う。
- まだ実感出来なくて。自分自身がしっかりと生きていけるよう注意を怠ることないように努めたい。認知症、骨密度のチェックを定期的に受けられたらいい。良心的な医療機関を提供してほしい。
- 現在健康なので支援施策について無関心なため、知らないことが多い。いざという時のため「支援手帳」なようなものを高齢者向けに配布して欲しい。
- 高齢者を信じ、活用されたし。守るだけではダメ！！
- せっかくシルバーパスがあるのにバスの便が悪く、ココバス利用になります。パスを使ってならもっと外出の機会も多くなるのに。
- ある程度の知識をもった人で、個々の身体状態にあった支援してくれる介護人の育成。
- 今のところ介護の必要はありませんが、寝たきり、認知症については自分で将来どうなるか分からないことが不安の第一です。そうならないための予防方法について、現在最も感心があります。「さくら体操」以上のスポーツ、文化活動など、安価で気軽に参加できる事業を市として推進してほしいです。
- 現在「高齢者無料市民農園」を利用していますが、もっと多くの市民農園をつくっていただきたい。健康づくりに役立っていると思えますが？
- 税金制度が他市に比べ高い負担になっているが、市民への恩恵が貧弱で、若い世代が府中市などへ流れている。住みにくい、メリットがないなど20代の子供をもつ世代が離れていっているという相談を数件受けている。魅力のない、子育てに不利な街という印象が強い。改善の目標にして欲しい。
- 「高齢者」はどのくらいの年齢の方でしょうか。90歳から100歳まで元気な方も多くなりました。60～70歳の元気な方々が福祉活動に参加できますように、「活動の芽」がありましたら育てて下さい。特に男性の方々の参加の「芽」をお願い致します。
- 私は高齢ですが、なくなると介護の世話になるのを遅くなる様に体操、歩く、出かけるなど努力しています。今の所趣味も持ち、特別要望も今はありません。
- 年々、要支援の度数が上っているので、いざ私達が支援してもらいたくても出来なくなるのではと心配です。介護保険料は上っていくばかりなのに、介護してもらえないのは悲しいです。

(2) 在宅介護実態調査

S1：あなたは現在どちらにいらっしゃいますか。 (SA)

「自宅」が7割程度です。

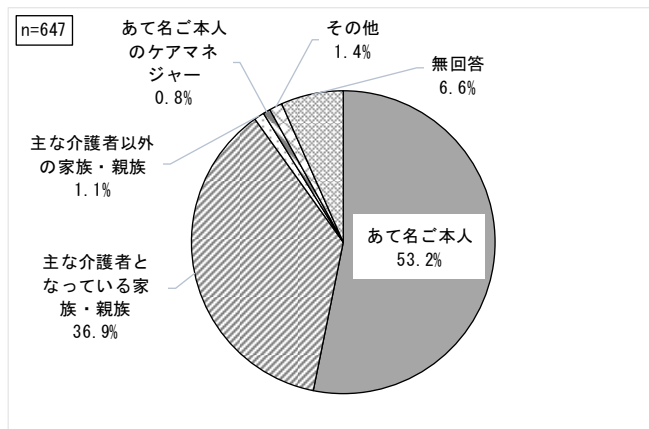
		回答数	%
全体		693	100.0
1	(2,3以外の) 自宅	492	71.0
2	サービス付き高齢者向け住宅 (特定施設入居者生活介護ではない)	13	1.9
3	住宅型有料老人ホーム	11	1.6
4	その他	27	3.9
5	病院等に入院している	40	5.8
6	市外に転出	6	0.9
-	無回答	104	15.0



S2：この調査票はどなたがご記入されますか。 (SA)

「あて名ご本人」が半数程度であり、「主な介護者となっている家族・親族」など、ご本人の代理として記載している方が4割程度です。

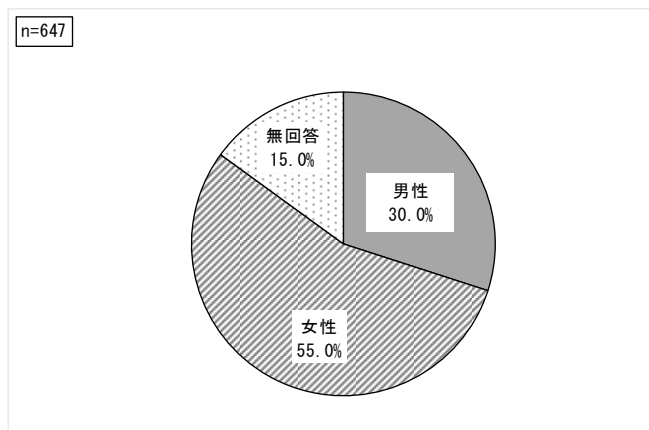
		回答数	%
全体		647	100.0
1	あて名ご本人	344	53.2
2	主な介護者となっている家族・親族	239	36.9
3	主な介護者以外の家族・親族	7	1.1
4	あて名ご本人のケアマネジャー	5	0.8
5	その他	9	1.4
-	無回答	43	6.6



F1：あなたの性別はどちらですか。 (SA)

「女性」が約半数です。

		回答数	%
全体		647	100.0
1	男性	194	30.0
2	女性	356	55.0
-	無回答	97	15.0

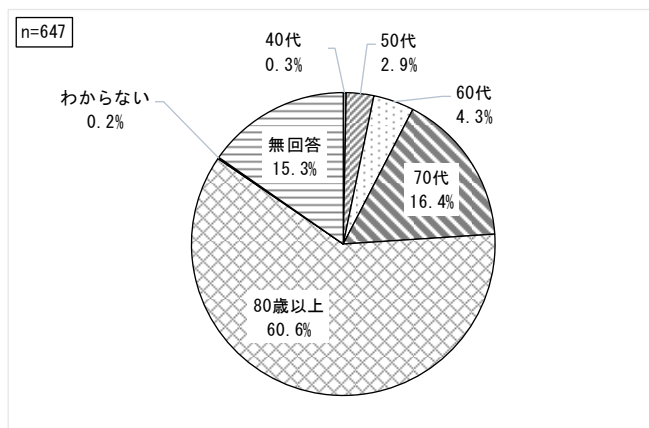


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (2) 在宅介護実態調査

F2：あなたの年齢は次のどれですか。 ※令和元年12月1日現在の年齢でお答えください。  
(SA)

「80歳以上」が最も多く、次いで「70代」であり、後期高齢者の方が多い傾向が見受けられます。

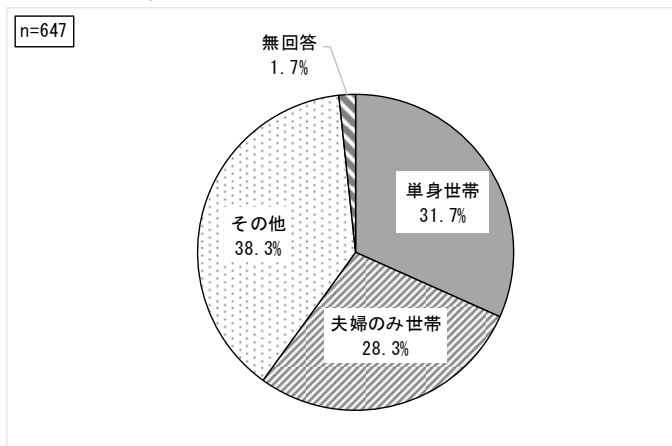
	回答数	%
全体	647	100.0
1 40代	2	0.3
2 50代	19	2.9
3 60代	28	4.3
4 70代	106	16.4
5 80歳以上	392	60.6
6 わからない	1	0.2
- 無回答	1	0.2



問1：あなたの世帯類型は次のうちどれですか。 (SA)

「その他」を除いて、「単身世帯」が最も多いです。

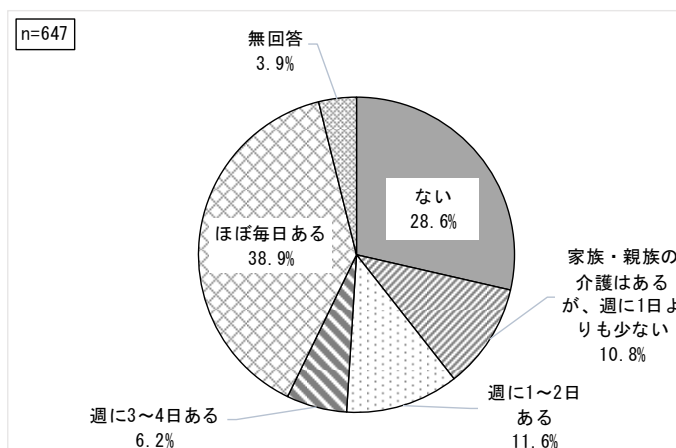
	回答数	%
全体	647	100.0
1 単身世帯	205	31.7
2 夫婦のみ世帯	183	28.3
3 その他	248	38.3
- 無回答	11	1.7



問2：ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。同居していない子どもや親族等からの介護も入れてお答えください。 (SA)

「ほぼ毎日ある」が約4割です。

	回答数	%
全体	647	100.0
1 ない	185	28.6
2 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない	70	10.8
3 週に1~2日ある	75	11.6
4 週に3~4日ある	40	6.2
5 ほぼ毎日ある	252	38.9
- 無回答	25	3.9



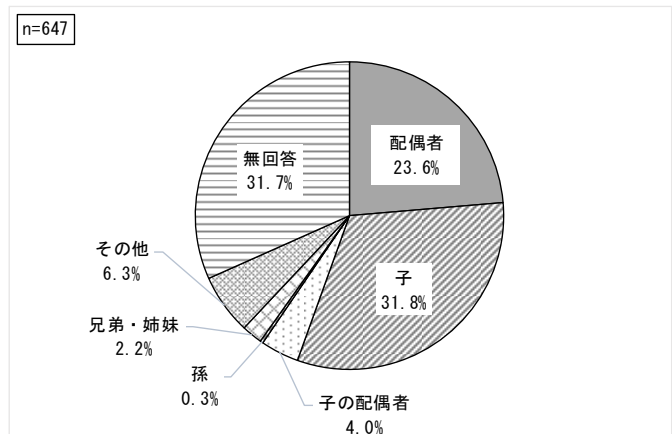


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (2) 在宅介護実態調査

問3：主な介護者の方はどなたですか。 (SA)

「子」が最も多く、次いで「配偶者」です。

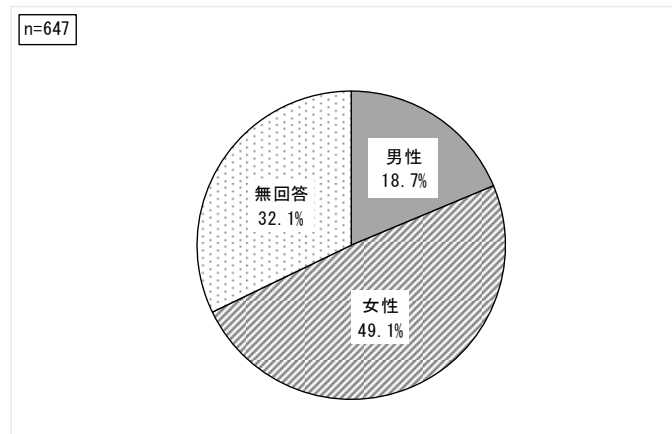
	回答数	%
全体	647	100.0
1 配偶者	153	23.6
2 子	206	31.8
3 子の配偶者	26	4.0
4 孫	2	0.3
5 兄弟・姉妹	14	2.2
6 その他	41	6.3
- 無回答	205	31.7



問4：主な介護者の方の性別はどちらですか。 (SA)

「女性」が約半数です。

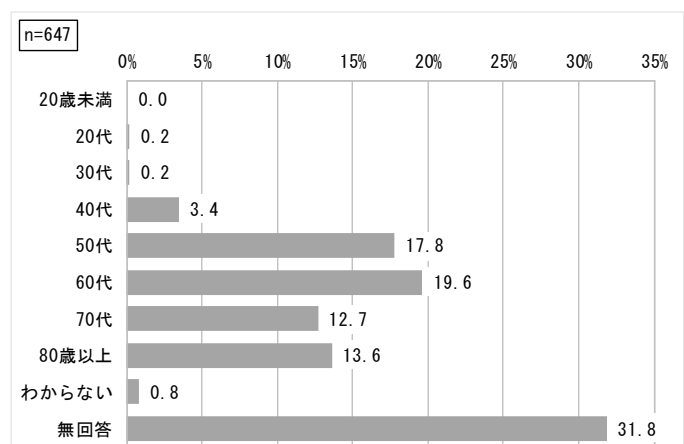
	回答数	%
全体	647	100.0
1 男性	121	18.7
2 女性	318	49.1
- 無回答	208	32.1



問5：主な介護者の方の年齢は次のどれですか。 ※令和元年12月1日現在の年齢でお答えください。 (SA)

「60代」が最も多く、次いで「50代」であり、年齢層が高い傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	647	100.0
1 20歳未満	0	0.0
2 20代	1	0.2
3 30代	1	0.2
4 40代	22	3.4
5 50代	115	17.8
6 60代	127	19.6
7 70代	82	12.7
8 80歳以上	88	13.6
9 わからない	5	0.8
- 無回答	206	31.8

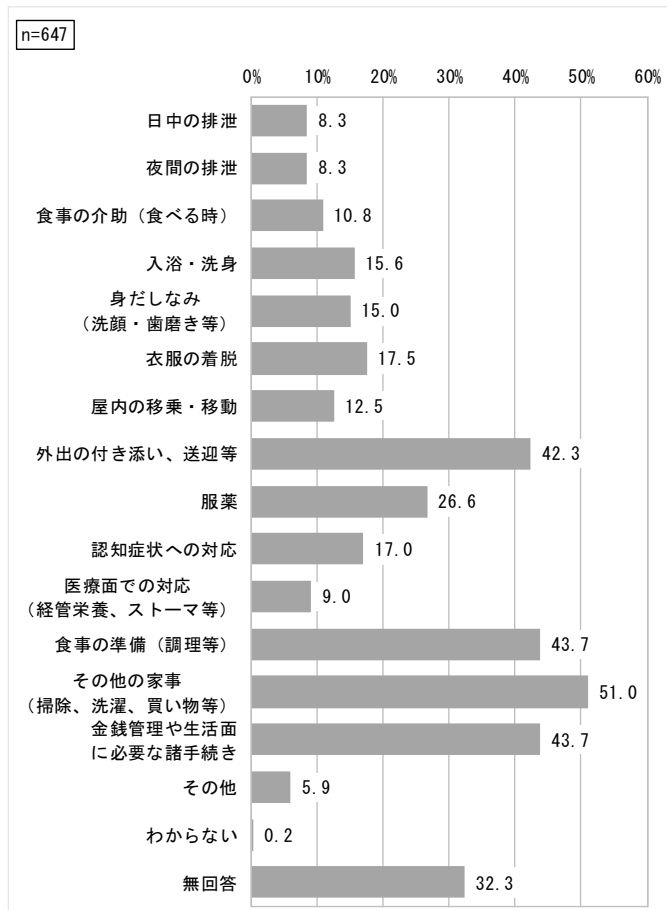


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (2) 在宅介護実態調査

問6：現在、主な介護者の方が行っている介護等は次のどれですか。 (MA)

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が最も多く、次いで「食事の準備（調理等）」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」であり、家事等日常生活の介護が多い傾向が見受けられます。

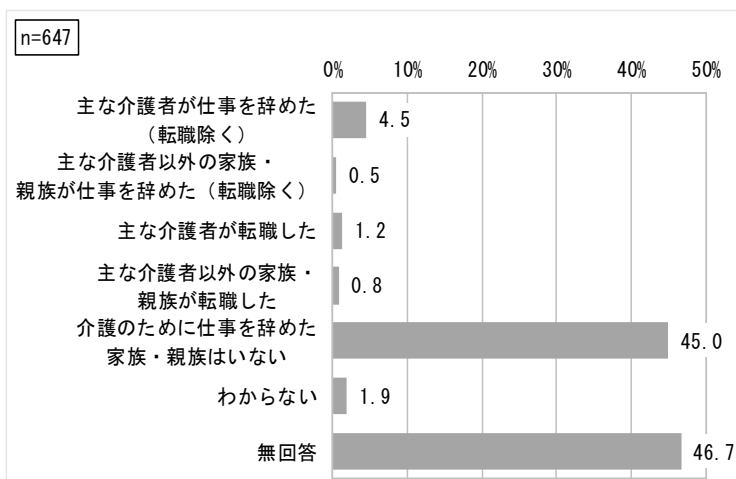
	回答数	%
全体	647	100.0
1 日中の排泄	54	8.3
2 夜間の排泄	54	8.3
3 食事の介助（食べる時）	70	10.8
4 入浴・洗身	101	15.6
5 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	97	15.0
6 衣服の着脱	113	17.5
7 屋内の移乗・移動	81	12.5
8 外出の付き添い、送迎等	274	42.3
9 服薬	172	26.6
10 認知症状への対応	110	17.0
11 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	58	9.0
12 食事の準備（調理等）	283	43.7
13 その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	330	51.0
14 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	283	43.7
15 その他	38	5.9
16 わからない	1	0.2
- 無回答	209	32.3



問7：ご家族やご親族の中で、あて名ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。現在働いているかどうかや現在の勤務形態は問いません。 (MA)

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が5割程度です。

	回答数	%
全体	647	100.0
1 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）	29	4.5
2 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）	3	0.5
3 主な介護者が転職した	8	1.2
4 主な介護者以外の家族・親族が転職した	5	0.8
5 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	291	45.0
6 わからない	12	1.9
- 無回答	302	46.7

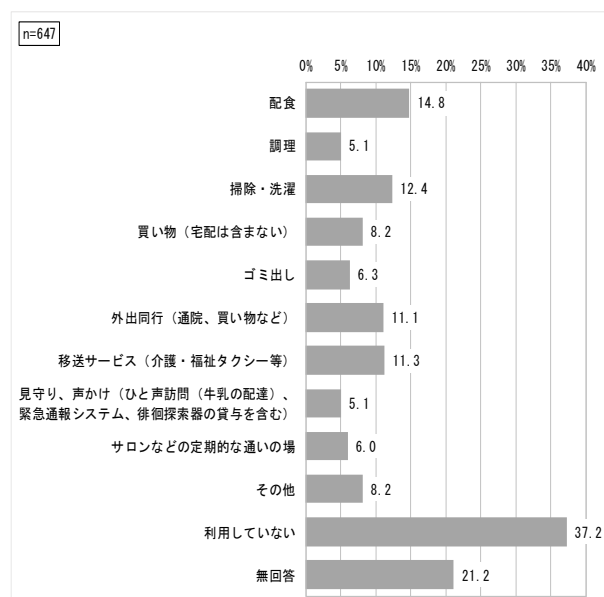


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (2) 在宅介護実態調査

問8：現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスはどれですか。  
(MA)

「利用していない」が最も多く、次いで「配食」であり、利用していない方が多い傾向が見受けられます。

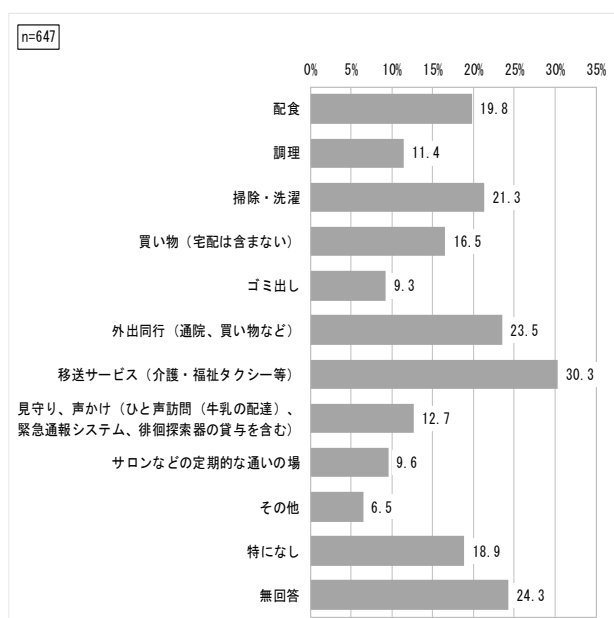
	回答数	%
全体	647	100.0
1 配食	96	14.8
2 調理	33	5.1
3 掃除・洗濯	80	12.4
4 買い物（宅配は含まない）	53	8.2
5 ゴミ出し	41	6.3
6 外出同行（通院、買い物など）	72	11.1
7 移送サービス（介護・福祉タクシー等）	73	11.3
8 見守り、声かけ（ひと声訪問（牛乳の配達）、緊急通報システム、徘徊探索器の貸与を含む）	33	5.1
9 サロンなどの定期的な通いの場	39	6.0
10 その他	53	8.2
11 利用していない	241	37.2
- 無回答	137	21.2



問9：今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）はどれですか。（MA）

「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」であり、日常生活の移動を必要とする傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	647	100.0
1 配食	128	19.8
2 調理	74	11.4
3 掃除・洗濯	138	21.3
4 買い物（宅配は含まない）	107	16.5
5 ゴミ出し	60	9.3
6 外出同行（通院、買い物など）	152	23.5
7 移送サービス（介護・福祉タクシー等）	196	30.3
8 見守り、声かけ（ひと声訪問（牛乳の配達）、緊急通報システム、徘徊探索器の貸与を含む）	82	12.7
9 サロンなどの定期的な通いの場	62	9.6
10 その他	42	6.5
11 特になし	122	18.9
- 無回答	157	24.3

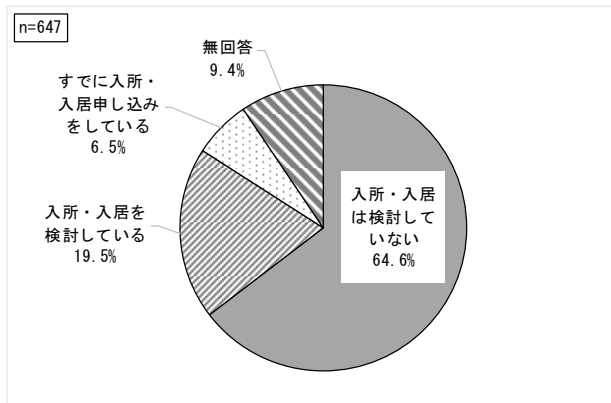


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (2) 在宅介護実態調査

問 10：現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。 (SA)

「入所・入居は検討していない」が6割程度です。

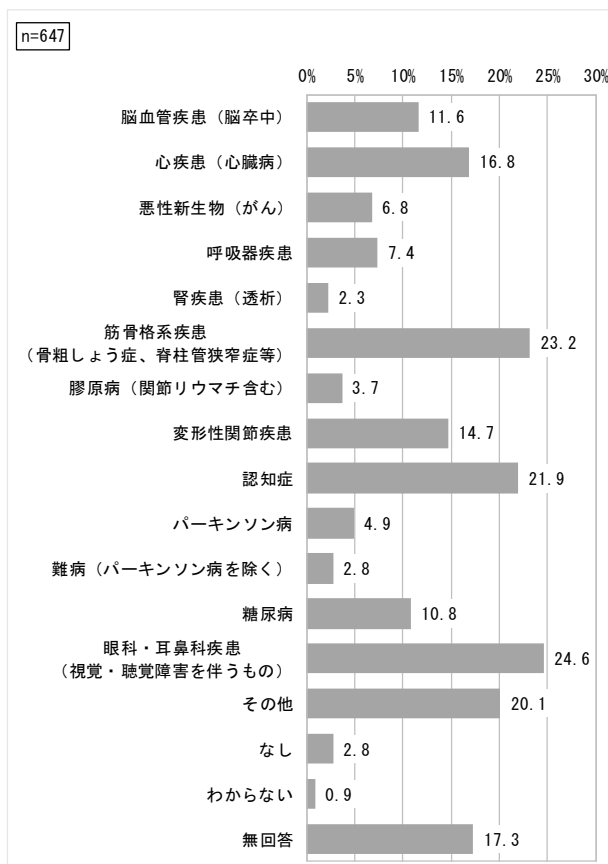
		回答数	%
全体		647	100.0
1	入所・入居は検討していない	418	64.6
2	入所・入居を検討している	126	19.5
3	すでに入所・入居申し込みをしている	42	6.5
-	無回答	61	9.4



問 11：あて名ご本人が現在抱えている傷病は次のどれですか。 (MA)

「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が2割程度です。

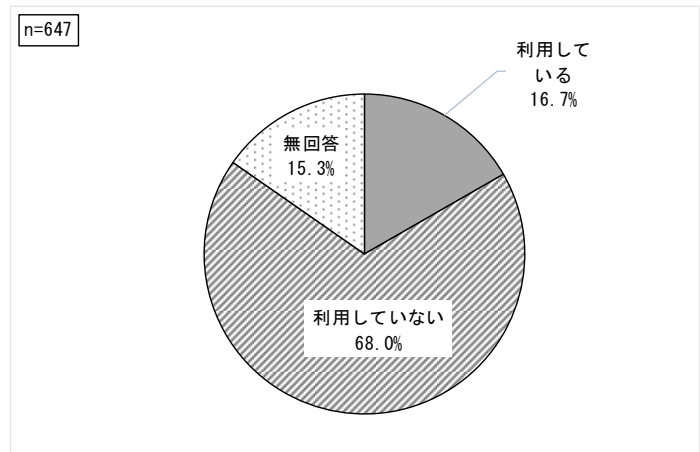
		回答数	%
全体		647	100.0
1	脳血管疾患（脳卒中）	75	11.6
2	心疾患（心臓病）	109	16.8
3	悪性新生物（がん）	44	6.8
4	呼吸器疾患	48	7.4
5	腎疾患（透析）	15	2.3
6	筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）	150	23.2
7	膠原病（関節リウマチ含む）	24	3.7
8	変形性関節疾患	95	14.7
9	認知症	142	21.9
10	パーキンソン病	32	4.9
11	難病（パーキンソン病を除く）	18	2.8
12	糖尿病	70	10.8
13	眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）	159	24.6
14	その他	130	20.1
15	なし	18	2.8
16	わからない	6	0.9
-	無回答	112	17.3



問 12：あて名ご本人は、現在、訪問診療を利用していますか。 (SA)

「利用していない」が約7割です。

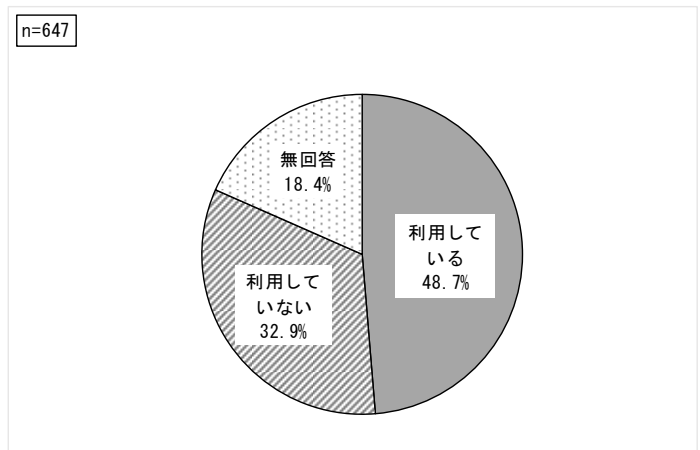
		回答数	%
全体		647	100.0
1	利用している	108	16.7
2	利用していない	440	68.0
-	無回答	99	15.3



問 13：現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用していますか。 (SA)

「利用している」が約5割です。

		回答数	%
全体		647	100.0
1	利用している	315	48.7
2	利用していない	213	32.9
-	無回答	119	18.4

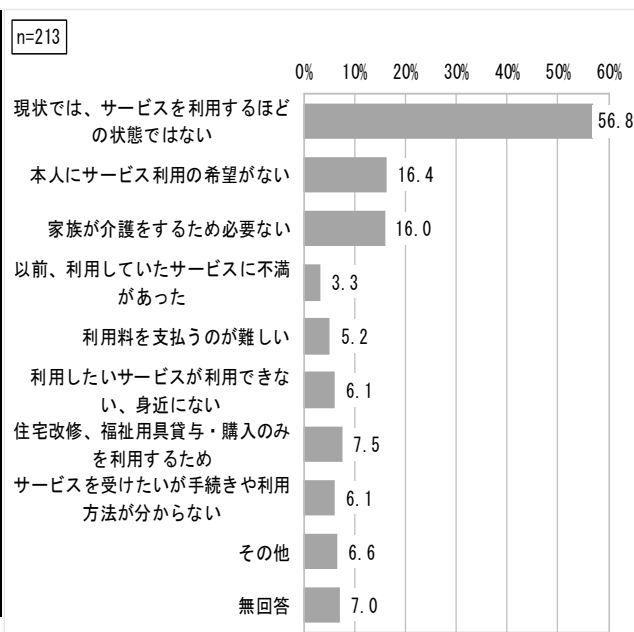


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (2) 在宅介護実態調査

問 14：【問 13 で「2.利用していない」と回答の方】介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。 (MA)

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が約 6 割であり、健康状態が比較的良好な方が多い傾向が見受けられます。

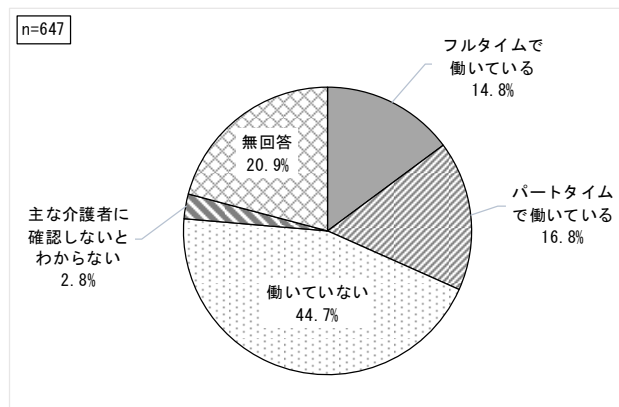
	回答数	%
全体	213	100.0
1 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	121	56.8
2 本人にサービス利用の希望がない	35	16.4
3 家族が介護をするため必要ない	34	16.0
4 以前、利用していたサービスに不満があった	7	3.3
5 利用料を支払うのが難しい	11	5.2
6 利用したいサービスが利用できない、身近にない	13	6.1
7 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	16	7.5
8 サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	13	6.1
9 その他	14	6.6
- 無回答	15	7.0



問 15：主な介護者の方の現在の勤務形態についてご回答ください。 (SA)

「働いていない」が 4 割程度です。

	回答数	%
全体	647	100.0
1 フルタイムで働いている	96	14.8
2 パートタイムで働いている	109	16.8
3 働いていない	289	44.7
4 主な介護者に確認しないとわからない	18	2.8
- 無回答	135	20.9

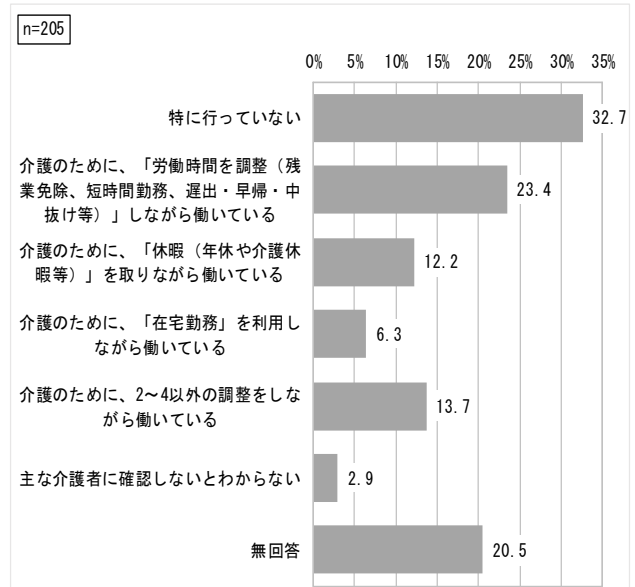


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (2) 在宅介護実態調査

問 16 : 【問 15 で「1.フルタイムで働いている」、「2.パートタイムで働いている」と回答の方】 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。 (MA)

「特に行っていない」が最も多く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら働いている」であり、働き方に大きな影響はないが一定の調整をしている傾向が見受けられます。

		回答数	%
全体		205	100.0
1	特に行っていない	67	32.7
2	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら働いている	48	23.4
3	介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら働いている	25	12.2
4	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら働いている	13	6.3
5	介護のために、2~4以外の調整をしながら働いている	28	13.7
6	主な介護者に確認しないとわからない	6	2.9
-	無回答	42	20.5

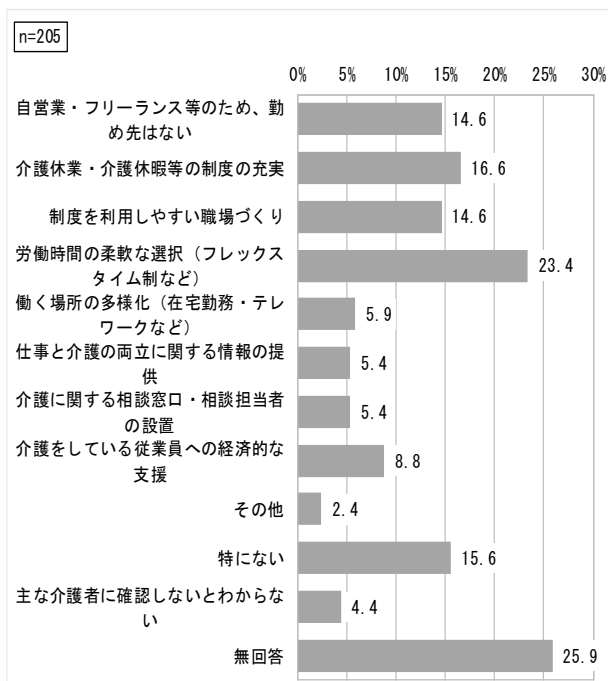


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (2) 在宅介護実態調査

問 17:【問 15 で「1.フルタイムで働いている」、「2.パートタイムで働いている」と回答の方】主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3 つまで選択) (MA)

「労働時間の柔軟な選択 (フレックスタイム制など)」が最も多く、次いで「介護休業・介護休暇等の制度の充実」であり、労働時間の調整を重視する傾向が見受けられます。

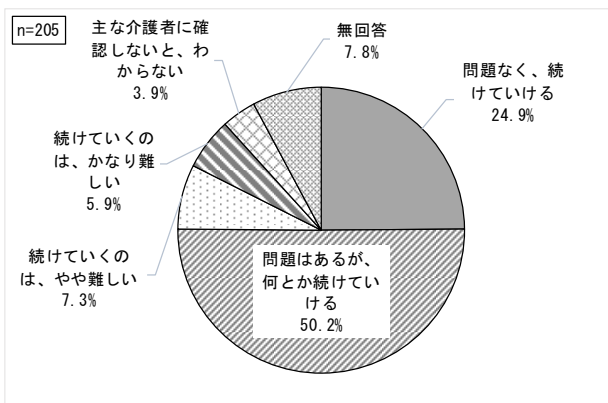
	回答数	%
全体	205	100.0
1 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	30	14.6
2 介護休業・介護休暇等の制度の充実	34	16.6
3 制度を利用しやすい職場づくり	30	14.6
4 労働時間の柔軟な選択 (フレックスタイム制など)	48	23.4
5 働く場所の多様化 (在宅勤務・テレワークなど)	12	5.9
6 仕事と介護の両立に関する情報の提供	11	5.4
7 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	11	5.4
8 介護をしている従業員への経済的な支援	18	8.8
9 その他	5	2.4
10 特にない	32	15.6
11 主な介護者に確認しないとわからない	9	4.4
- 無回答	53	25.9



問 18:【問 15 で「1.フルタイムで働いている」、「2.パートタイムで働いている」と回答の方】主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(SA)

「問題はあるが、何とか続けていける」が最も多く、次いで「問題なく、続けていける」であり、介護を続けている傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	205	100.0
1 問題なく、続けていける	51	24.9
2 問題はあるが、何とか続けていける	103	50.2
3 続けていくのは、やや難しい	15	7.3
4 続けていくのは、かなり難しい	12	5.9
5 主な介護者に確認しないと、わからない	8	3.9
- 無回答	16	7.8



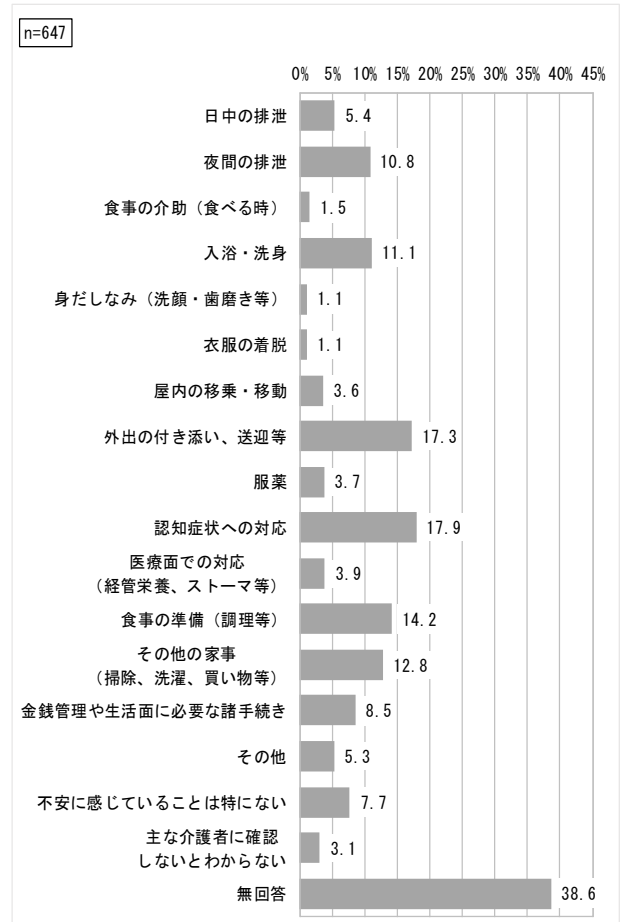


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (2) 在宅介護実態調査

問 19：現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等についてご回答ください。現状で行っているか否かは問いません。(3つまで選択) (MA)

「認知症状への対応」が最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」であり、認知機能や外出移動に不安を感じる傾向が見受けられます。

		回答数	%
全体		647	100.0
1	日中の排泄	35	5.4
2	夜間の排泄	70	10.8
3	食事の介助(食べる時)	10	1.5
4	入浴・洗身	72	11.1
5	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	7	1.1
6	衣服の着脱	7	1.1
7	屋内の移乗・移動	23	3.6
8	外出の付き添い、送迎等	112	17.3
9	服薬	24	3.7
10	認知症状への対応	116	17.9
11	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	25	3.9
12	食事の準備(調理等)	92	14.2
13	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	83	12.8
14	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	55	8.5
15	その他	34	5.3
16	不安に感じていることは特にない	50	7.7
17	主な介護者に確認しないとわからない	20	3.1
-	無回答	250	38.6



その他(自由回答)の主な記載内容(注)

- 介護者自身の体調や健康面に不安がある。介護者が病気などで急に介護出来なくなった場合にどうしたらよいか。
- 有料老人ホームも看とりについての説明は不十分である。現在、入居者希望は多く、スタッフの応募者が0という状況で、こわい。
- 介護が何年続くかわからない中、経済面で不安を感じる。極力負担の割合を平等にしてもらいたい。
- 認知症の家族との意思の疎通がうまくいっているか。日時や曜日の認識が不十分。認知度の進行に合わせた介護など。認知症の振興への不安もある。
- 介護者が外出した時の介護
- 介護負担(時間)、特に訪問看護、介護療士、風呂屋)一日に多数の出入り 受入れ対応工数 ②医療、経管栄養に伴なう備品及び栄養材の補充管理
- 1人暮らしで倒れた時の手続に心配有り。
- 個人情報のために本人がわからないのにどんどん書類が本人に届くし、本人以外は何も情報が入らない事が多い。介護者にも情報共有できるシステムが必要
- 歩行の為に押車を借りて歩行に不自由してないので助けは無用
- 多様にわたる
- 送迎の移動の早さ時間等
- 入所までの待機期間が長い(特養が少ない)
- 夜中の看護者がいないので家族がやるしかない 夜の介護が大変です。ヘルパーがいない
- 体調を崩した時、すぐに助けてもらえない。
- 足が丈夫なのでもどれなくなった時(出歩くので)が困る。
- 介護者の私が病気になった時に困るなどと思います。
- 一日中じっとしている。
- 介護者も高齢、病気になったらたおれたらと父の事は不安いっぱい。
- 病気によって違ってくると思います
- 介護者にも相当のストレスは溜ります 安価に1泊、2泊の宿泊サービスは必要と思います 政府中在宅介護の方向を進めようとしている様ですがそういう訳ならば更なる家族へのケアが必要と思われれます
- 働きに行きたいが行けない。
- 精神的に不安定

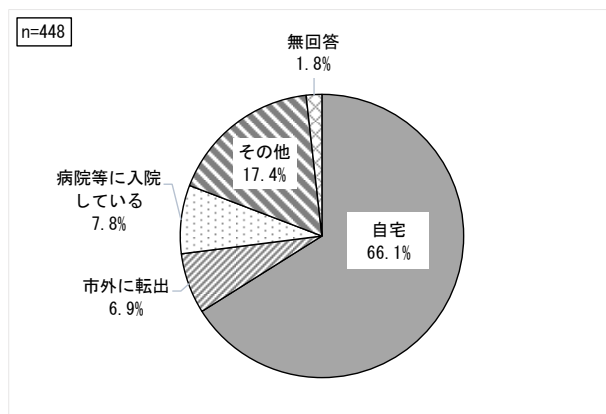
(注) 主な意見として回答を抜粋し、原文のまま掲載しています。

(3) 介護保険サービス利用意向調査

S1：あなたは現在どちらにいらっしゃいますか。 (SA)

「自宅」が6割程度です。

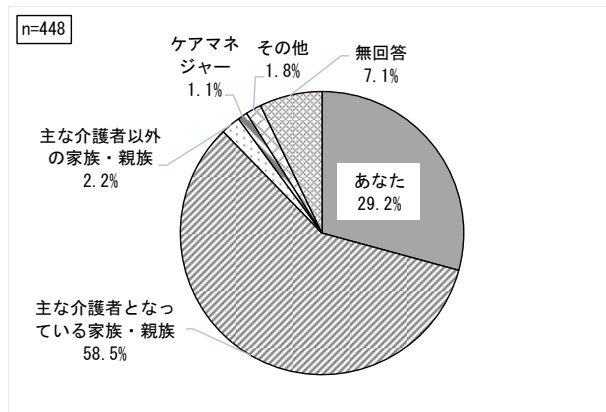
	回答数	%
全体	448	100.0
1 自宅	296	66.1
2 市外に転出	31	6.9
3 病院等に入院している	35	7.8
4 その他	78	17.4
- 無回答	8	1.8



S2：この調査票はどなたがご記入されますか。 (SA)

「主な介護者となっている家族・親族」が約6割であり、ご本人の記入が約3割です。

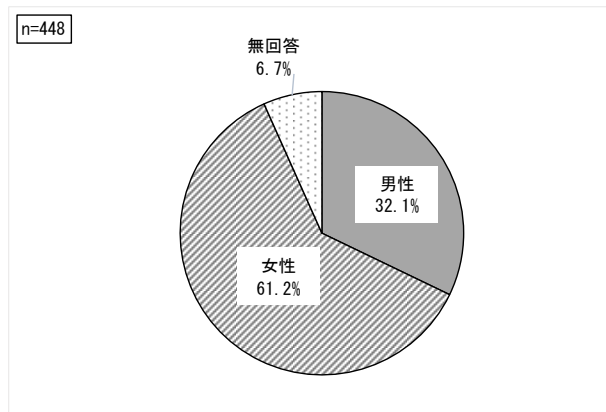
	回答数	%
全体	448	100.0
1 あなた	131	29.2
2 主な介護者となっている家族・親族	262	58.5
3 主な介護者以外の家族・親族	10	2.2
4 ケアマネジャー	5	1.1
5 その他	8	1.8
- 無回答	32	7.1



F1：あなたの性別はどちらですか。 (SA)

「女性」が6割程度です。

	回答数	%
全体	448	100.0
1 男性	144	32.1
2 女性	274	61.2
- 無回答	30	6.7

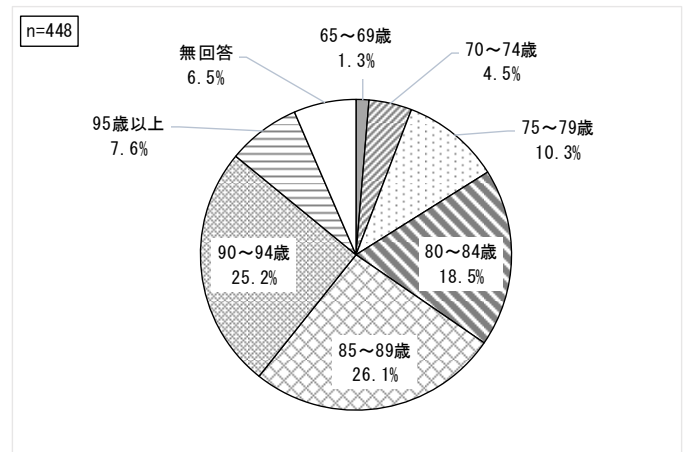


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (3) 介護保険サービス利用意向調査

F2：あなたの年齢は次のどれですか。※令和元年12月1日現在の年齢でお答えください。  
(SA)

「85～89歳」が最も多く、次いで「90～94歳」であり、後期高齢者でも年齢層の高い方が多い傾向が見受けられます。

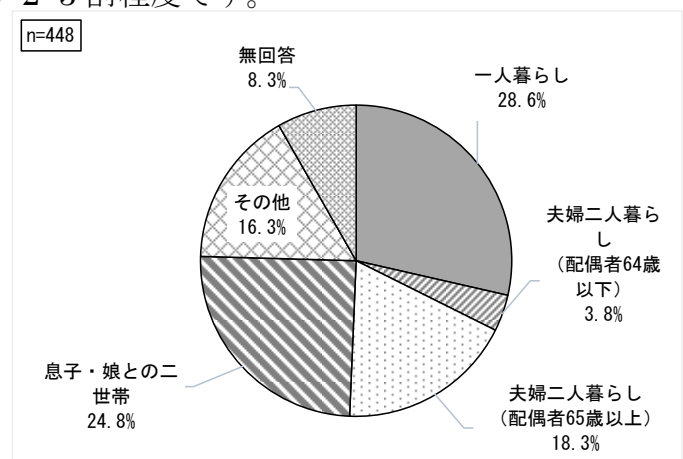
	回答数	%
全体	448	100.0
1 65～69歳	6	1.3
2 70～74歳	20	4.5
3 75～79歳	46	10.3
4 80～84歳	83	18.5
5 85～89歳	117	26.1
6 90～94歳	113	25.2
7 95歳以上	34	7.6
- 無回答	29	6.5



F3：あなたの家族構成をお教えてください。(SA)

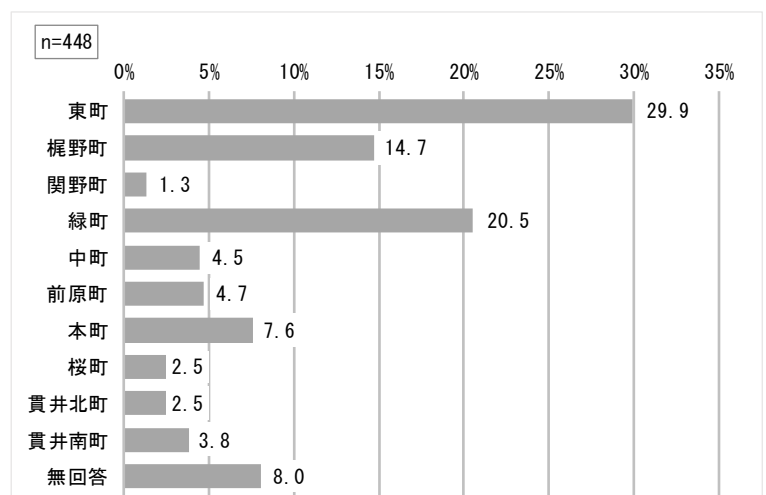
「一人暮らし」「息子・娘との二世帯」が2～3割程度です。

	回答数	%
全体	448	100.0
1 一人暮らし	128	28.6
2 夫婦二人暮らし (配偶者64歳以下)	17	3.8
3 夫婦二人暮らし (配偶者65歳以上)	82	18.3
4 息子・娘との二世帯	111	24.8
5 その他	73	16.3
- 無回答	37	8.3



F4-1：あなたはどちらにお住まいですか。また、丁目をご記入ください。／町 (SA)

	回答数	%
全体	448	100.0
1 東町	134	29.9
2 梶野町	66	14.7
3 関野町	6	1.3
4 緑町	92	20.5
5 中町	20	4.5
6 前原町	21	4.7
7 本町	34	7.6
8 桜町	11	2.5
9 貫井北町	11	2.5
10 貫井南町	17	3.8
- 無回答	36	8.0

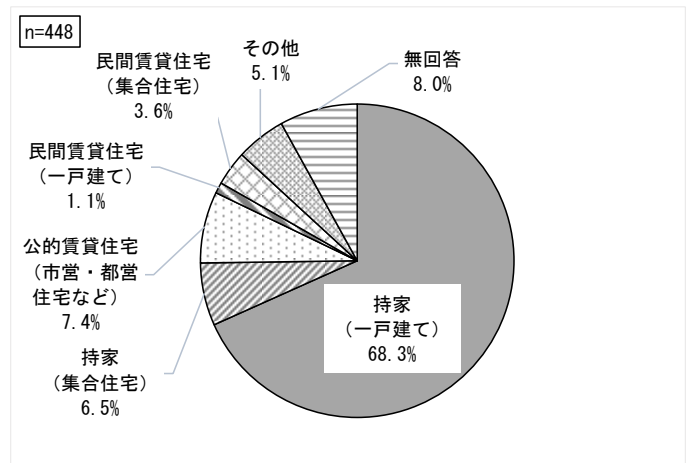


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (3) 介護保険サービス利用意向調査

F5：あなたのお住まいは次のうちどれですか。（SA）

「持家（一戸建て）」が約7割です。

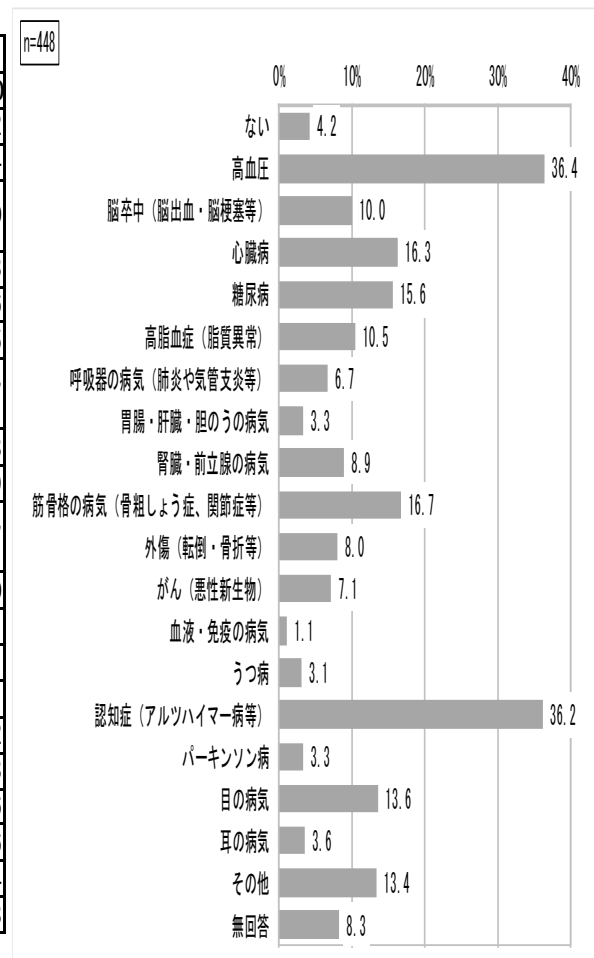
	回答数	%
全体	448	100.0
1 持家（一戸建て）	306	68.3
2 持家（集合住宅）	29	6.5
3 公的賃貸住宅（市営・都営住宅など）	33	7.4
4 民間賃貸住宅（一戸建て）	5	1.1
5 民間賃貸住宅（集合住宅）	16	3.6
6 その他	23	5.1
- 無回答	36	8.0



問1：あなたは、現在治療中、または、後遺症のある病気はありますか。（MA）

「高血圧」が最も多く、次いで「認知症（アルツハイマー病等）」であり、生活習慣病の方が多い傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	448	100.0
1 ない	19	4.2
2 高血圧	163	36.4
3 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	45	10.0
4 心臓病	73	16.3
5 糖尿病	70	15.6
6 高脂血症（脂質異常）	47	10.5
7 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	30	6.7
8 胃腸・肝臓・胆のうの病気	15	3.3
9 腎臓・前立腺の病気	40	8.9
10 筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）	75	16.7
11 外傷（転倒・骨折等）	36	8.0
12 がん（悪性新生物）	32	7.1
13 血液・免疫の病気	5	1.1
14 うつ病	14	3.1
15 認知症（アルツハイマー病等）	162	36.2
16 パーキンソン病	15	3.3
17 目の病気	61	13.6
18 耳の病気	16	3.6
19 その他	60	13.4
- 無回答	37	8.3

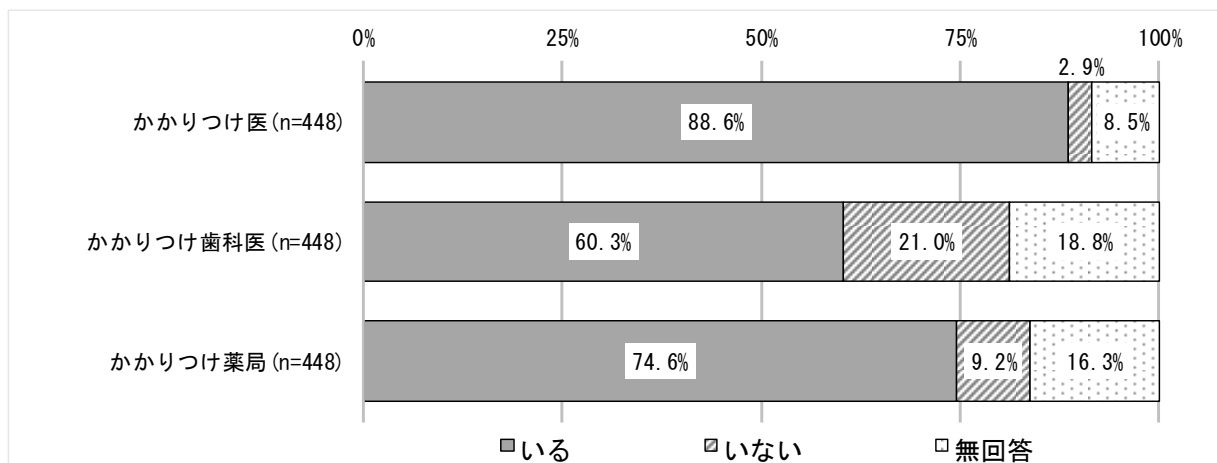


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (3) 介護保険サービス利用意向調査

問2：あなたには、「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」はいますか。また、「かかりつけ薬局」はありますか。（SAマトリクス）

全項目で「いる」が多く、かかりつけの体制が充実している傾向が見受けられます。

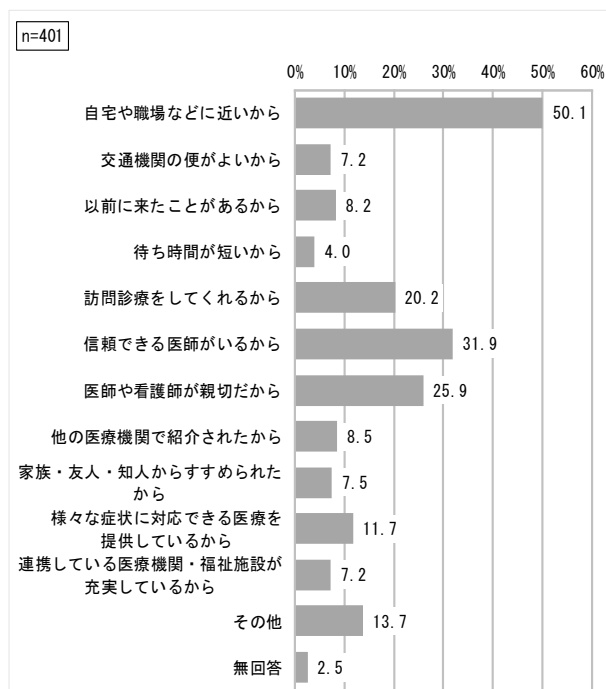
			全体	1	2	-
				いる	いない	無回答
問 2.1	かかりつけ医	回答数	448	397	13	38
		%	100.0	88.6	2.9	8.5
問 2.2	かかりつけ歯科医	回答数	448	270	94	84
		%	100.0	60.3	21.0	18.8
問 2.3	かかりつけ薬局	回答数	448	334	41	73
		%	100.0	74.6	9.2	16.3



問2-1：【問2.1 または問2.2で「いる」と回答の方】その医療機関をかかりつけに選んだ理由は何ですか。（MA）

「自宅や職場などに近いから」が半数となっています。

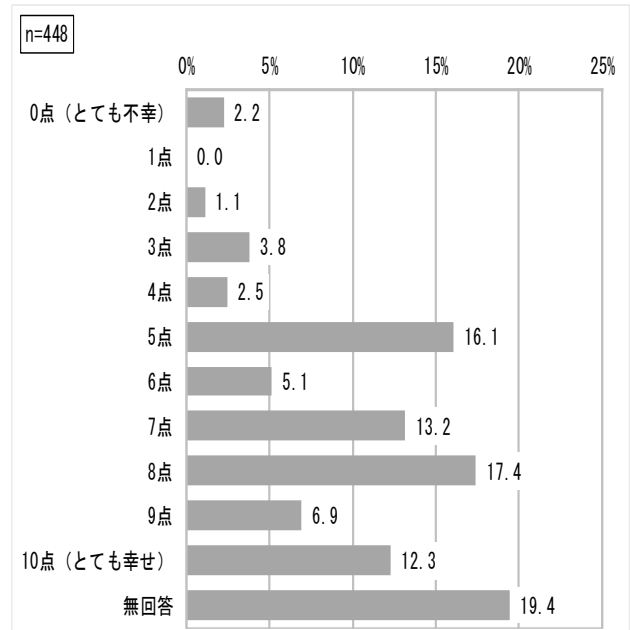
		回答数	%
全体		401	100.0
1	自宅や職場などに近いから	201	50.1
2	交通機関の便がよいから	29	7.2
3	以前に来たことがあるから	33	8.2
4	待ち時間が短いから	16	4.0
5	訪問診療をしてくれるから	81	20.2
6	信頼できる医師がいるから	128	31.9
7	医師や看護師が親切だから	104	25.9
8	他の医療機関で紹介されたから	34	8.5
9	家族・友人・知人からすすめられたから	30	7.5
10	様々な症状に対応できる医療を提供しているから	47	11.7
11	連携している医療機関・福祉施設が充実しているから	29	7.2
12	その他	55	13.7
-	無回答	10	2.5



問3：あなたは、現在どの程度幸せですか。 (SA)

「8点」が最も多く、次いで「5点」であり、幸福度が高い傾向が見受けられます。

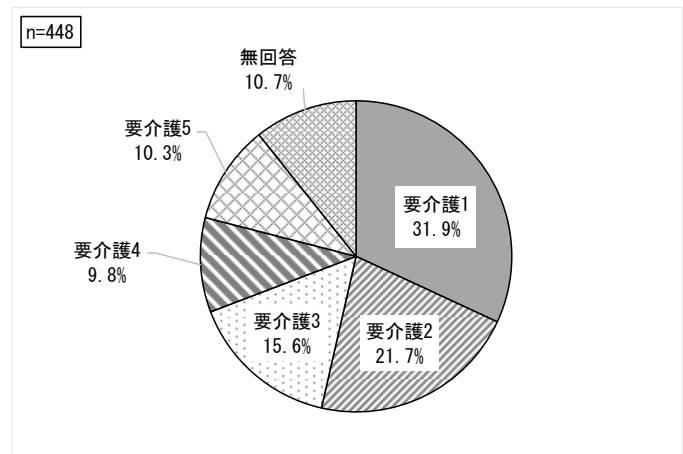
		回答数	%
全体	(加重値)	448	100.0
0	0点 (とても不幸)	(0)	10 2.2
1	1点	(1)	0 0.0
2	2点	(2)	5 1.1
3	3点	(3)	17 3.8
4	4点	(4)	11 2.5
5	5点	(5)	72 16.1
6	6点	(6)	23 5.1
7	7点	(7)	59 13.2
8	8点	(8)	78 17.4
9	9点	(9)	31 6.9
10	10点 (とても幸せ)	(10)	55 12.3
-	無回答	-	87 19.4
- 平均値			6.84
- 標準偏差			2.35



問4：あなたの要介護度は次のうちどれですか。 (SA)

「要介護1」が最も多く、次いで「要介護2」です。

		回答数	%
全体		448	100.0
1	要介護1	143	31.9
2	要介護2	97	21.7
3	要介護3	70	15.6
4	要介護4	44	9.8
5	要介護5	46	10.3
-	無回答	48	10.7

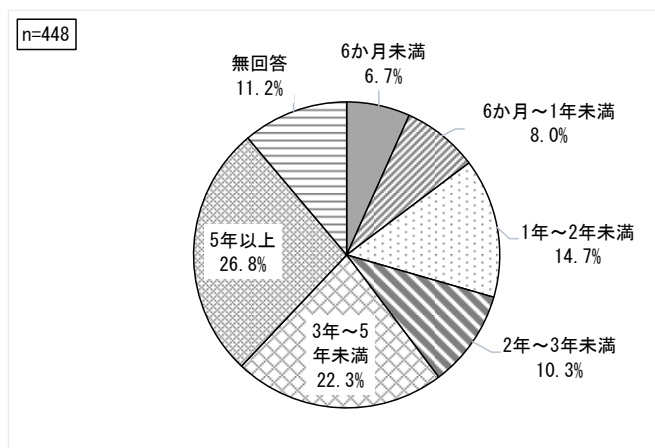


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (3) 介護保険サービス利用意向調査

問5：最初の要介護の認定を受けてから、どの程度の期間が経過していますか。 (SA)

「5年以上」が最も多く、次いで「3年～5年未満」であり、長い期間が経過している傾向が見受けられます。

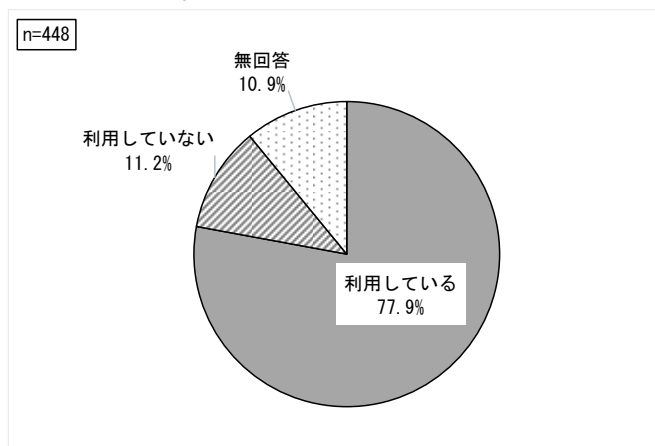
	回答数	%
全体	448	100.0
1 6か月未満	30	6.7
2 6か月～1年未満	36	8.0
3 1年～2年未満	66	14.7
4 2年～3年未満	46	10.3
5 3年～5年未満	100	22.3
6 5年以上	120	26.8
- 無回答	50	11.2



問6：あなたは、介護保険サービスを利用されていますか。 (SA)

介護保険サービスを利用していない方が1割程度います。

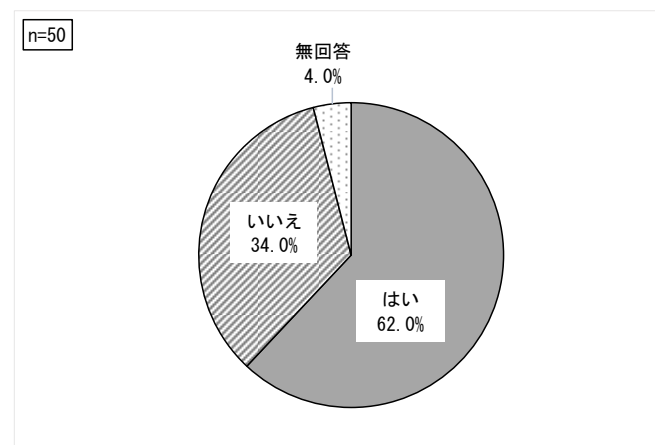
	回答数	%
全体	448	100.0
1 利用している	349	77.9
2 利用していない	50	11.2
- 無回答	49	10.9



問6-1：【問6で「利用していない」と回答の方】介護保険サービスを必要とする時は、申請時に遡ってサービス利用することができることを知っていますか。 (SA)

申請時に遡ってサービス利用することができることを知らない方が3割程度います。

	回答数	%
全体	50	100.0
1 はい	31	62.0
2 いいえ	17	34.0
- 無回答	2	4.0



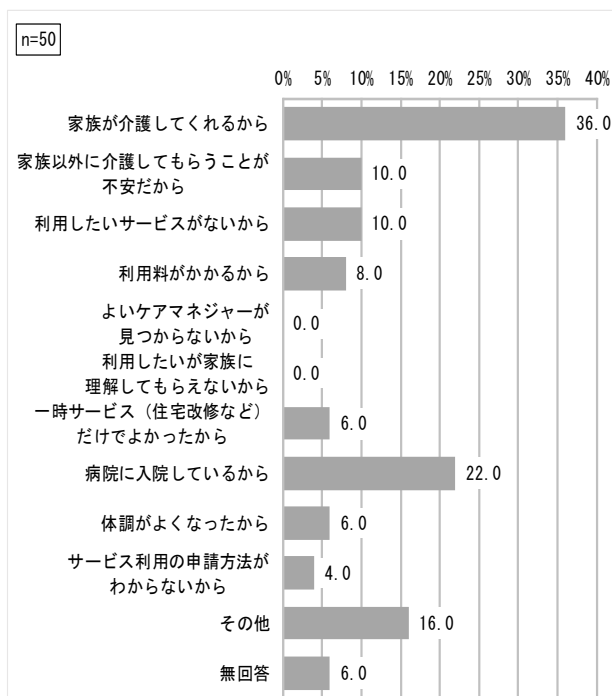


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (3) 介護保険サービス利用意向調査

問 6-2: 【問 6 で「利用していない」と回答の方】介護保険サービスを利用しない理由は何ですか。 (MA)

「家族が介護してくれるから」が最も多く、次いで「病院に入院しているから」であり、介護サービス以外で介護を受けている状態である傾向が見受けられます。

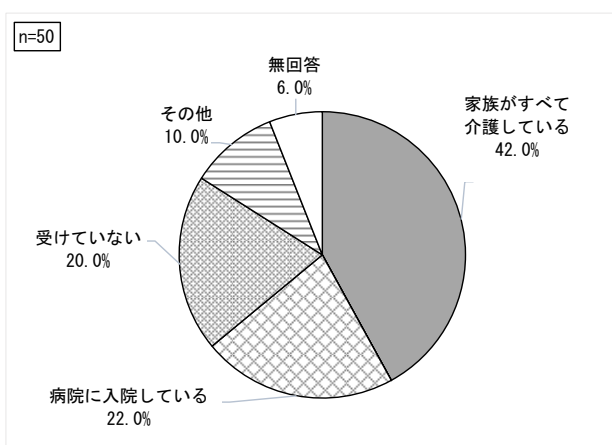
	回答数	%
全体	50	100.0
1 家族が介護してくれるから	18	36.0
2 家族以外に介護してもらうことが不安だから	5	10.0
3 利用したいサービスがないから	5	10.0
4 利用料がかかるから	4	8.0
5 よいケアマネジャーが見つからないから	0	0.0
6 利用したいが家族に理解してもらえないから	0	0.0
7 一時サービス（住宅改修など）だけでよかったから	3	6.0
8 病院に入院しているから	11	22.0
9 体調がよくなったから	3	6.0
10 サービス利用の申請方法がわからないから	2	4.0
11 その他	8	16.0
- 無回答	3	6.0



問 6-3: 【問 6 で「利用していない」と回答の方】あなたは、現在どのような方法で介護を受けていますか。 (SA)

「家族がすべて介護している」が最も多く、次いで「病院に入院している」であり、家庭や病院で介護を受けている傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	50	100.0
1 家族がすべて介護している	21	42.0
2 在宅で民間の有償サービスを利用している	0	0.0
3 在宅で市の保健福祉サービスを利用している	0	0.0
4 在宅でボランティア等によるサービスを利用している	0	0.0
5 病院に入院している	11	22.0
6 受けていない	10	20.0
7 その他	5	10.0
- 無回答	3	6.0

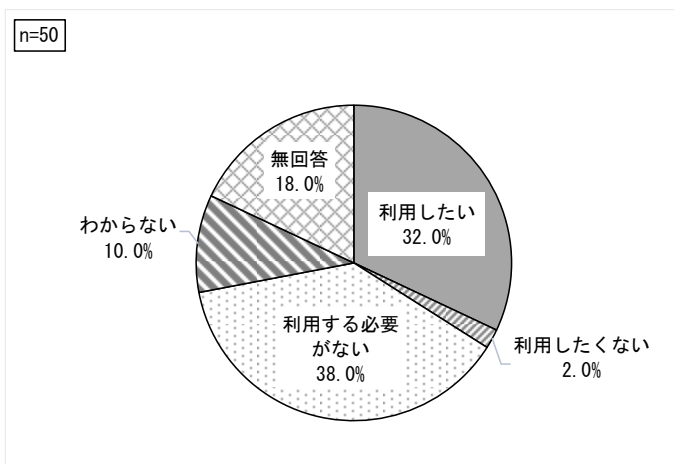


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (3) 介護保険サービス利用意向調査

問 6-4:【問 6 で「利用していない」と回答の方】あなたは介護保険サービスを利用したいと思っていますか。 (SA)

「利用する必要がない」と「利用したい」が 3~4 割程度であり、利用を希望する方がある程度存在する傾向が見受けられます。

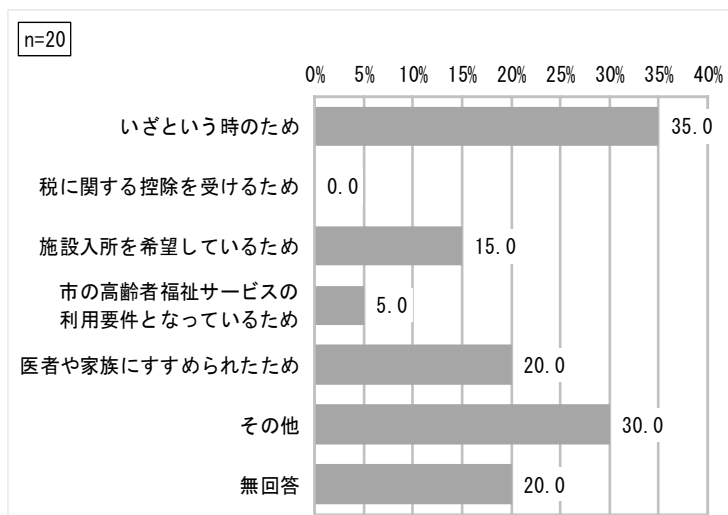
		回答数	%
全体		50	100.0
1	利用したい	16	32.0
2	利用したくない	1	2.0
3	利用する必要がない	19	38.0
4	わからない	5	10.0
-	無回答	9	18.0



問 6-5:【問 6-4 で「利用したくない」、「利用する必要がない」と回答の方】介護保険サービスを利用する予定がないのに要介護認定を受けている理由は何ですか。 (MA)

「いざという時のため」が最も多く、次いで「医者や家族にすすめられたため」です。

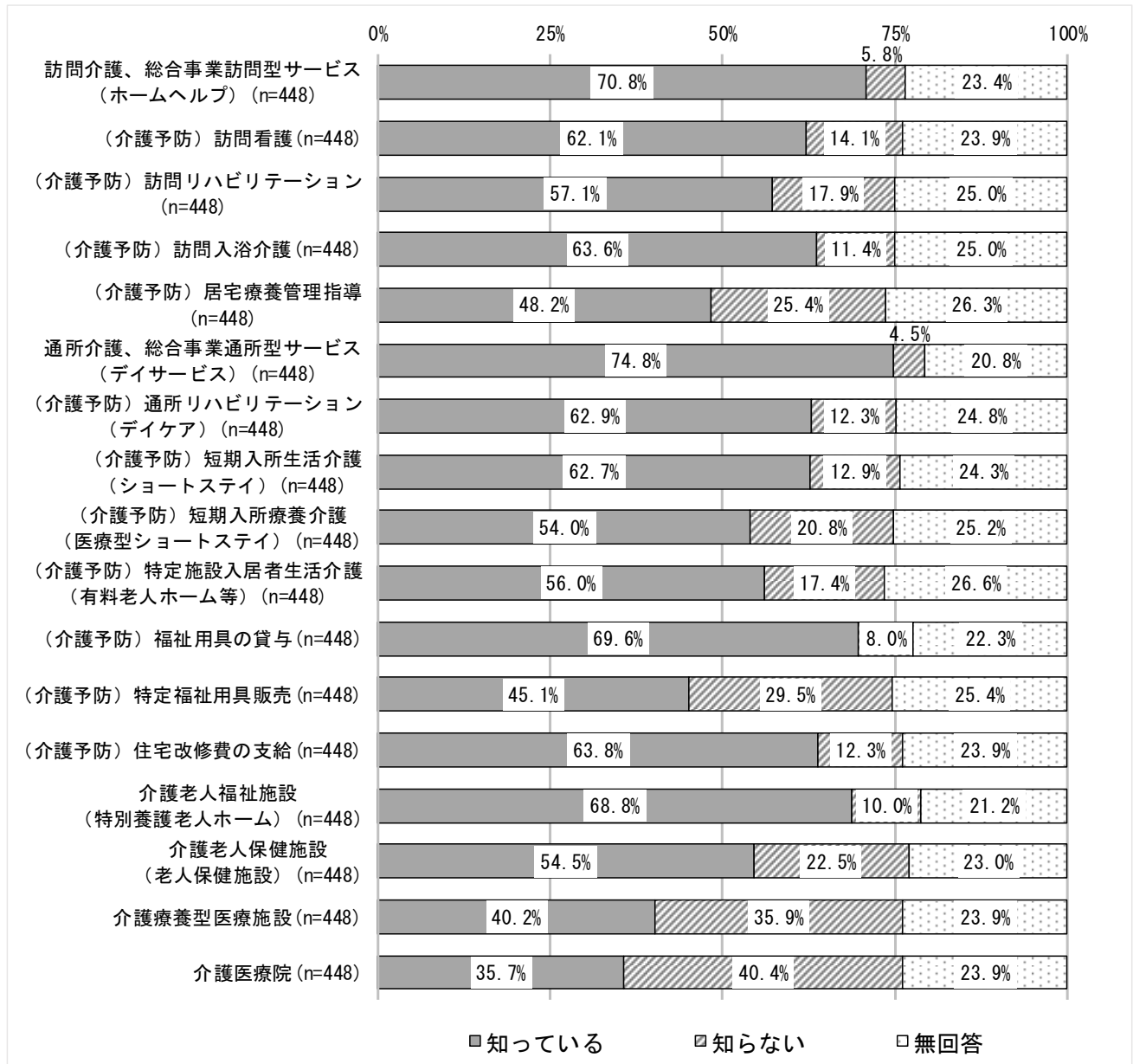
		回答数	%
全体		20	100.0
1	いざという時のため	7	35.0
2	税に関する控除を受けるため	0	0.0
3	施設入所を希望しているため	3	15.0
4	市の高齢者福祉サービスの利用要件となっているため	1	5.0
5	医者や家族にすすめられたため	4	20.0
6	その他	6	30.0
-	無回答	4	20.0



## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (3) 介護保険サービス利用意向調査

問 7-1: 介護保険サービスでは以下のようなサービスを行っています。これらのサービスの認知度、今後の利用意向についておたずねします。／認知度 (SAマトリクス)

「介護医療院」を除いた全項目において、「知っている」が多く、介護保険サービスの認知度は高い傾向が見受けられます。



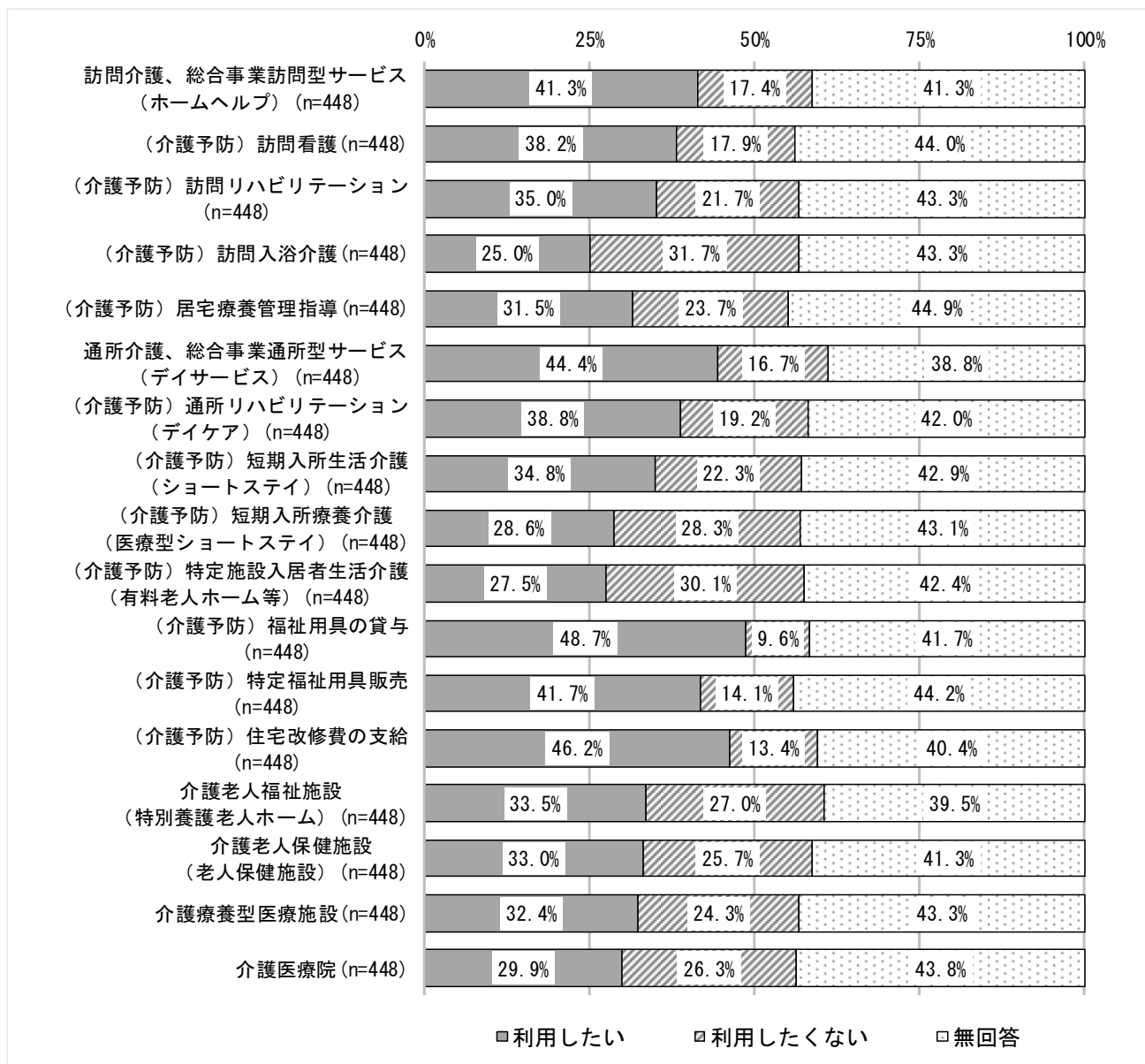
第2章 調査の結果 4 単純集計 (3) 介護保険サービス利用意向調査

			全体	1	2	-
				知っている	知らない	無回答
問7-1.1	訪問介護、総合事業訪問型サービス (ホームヘルプ)	回答数 %	448 100.0	317 70.8	26 5.8	105 23.4
問7-1.2	(介護予防)訪問看護	回答数 %	448 100.0	278 62.1	63 14.1	107 23.9
問7-1.3	(介護予防)訪問リハビリテーション	回答数 %	448 100.0	256 57.1	80 17.9	112 25.0
問7-1.4	(介護予防)訪問入浴介護	回答数 %	448 100.0	285 63.6	51 11.4	112 25.0
問7-1.5	(介護予防)居宅療養管理指導	回答数 %	448 100.0	216 48.2	114 25.4	118 26.3
問7-1.6	通所介護、総合事業通所型サービス (デイサービス)	回答数 %	448 100.0	335 74.8	20 4.5	93 20.8
問7-1.7	(介護予防)通所リハビリテーション (デイケア)	回答数 %	448 100.0	282 62.9	55 12.3	111 24.8
問7-1.8	(介護予防)短期入所生活介護 (ショートステイ)	回答数 %	448 100.0	281 62.7	58 12.9	109 24.3
問7-1.9	(介護予防)短期入所療養介護 (医療型ショートステイ)	回答数 %	448 100.0	242 54.0	93 20.8	113 25.2
問7-1.10	(介護予防)特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム等)	回答数 %	448 100.0	251 56.0	78 17.4	119 26.6
問7-1.11	(介護予防)福祉用具の貸与	回答数 %	448 100.0	312 69.6	36 8.0	100 22.3
問7-1.12	(介護予防)特定福祉用具販売	回答数 %	448 100.0	202 45.1	132 29.5	114 25.4
問7-1.13	(介護予防)住宅改修費の支給	回答数 %	448 100.0	286 63.8	55 12.3	107 23.9
問7-1.14	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	回答数 %	448 100.0	308 68.8	45 10.0	95 21.2
問7-1.15	介護老人保健施設(老人保健施設)	回答数 %	448 100.0	244 54.5	101 22.5	103 23.0
問7-1.16	介護療養型医療施設	回答数 %	448 100.0	180 40.2	161 35.9	107 23.9
問7-1.17	介護医療院	回答数 %	448 100.0	160 35.7	181 40.4	107 23.9

## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (3) 介護保険サービス利用意向調査

問 7-2: 介護保険サービスでは以下のようなサービスを行っています。これらのサービスの認知度、今後の利用意向についておたずねします。／利用意向 (SAマトリクス)

「(介護予防)訪問入浴介護」「(介護予防)特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム等)」を除いた全項目において、「利用したい」が多く、介護保険サービスの利用意向は高い傾向が見受けられます。



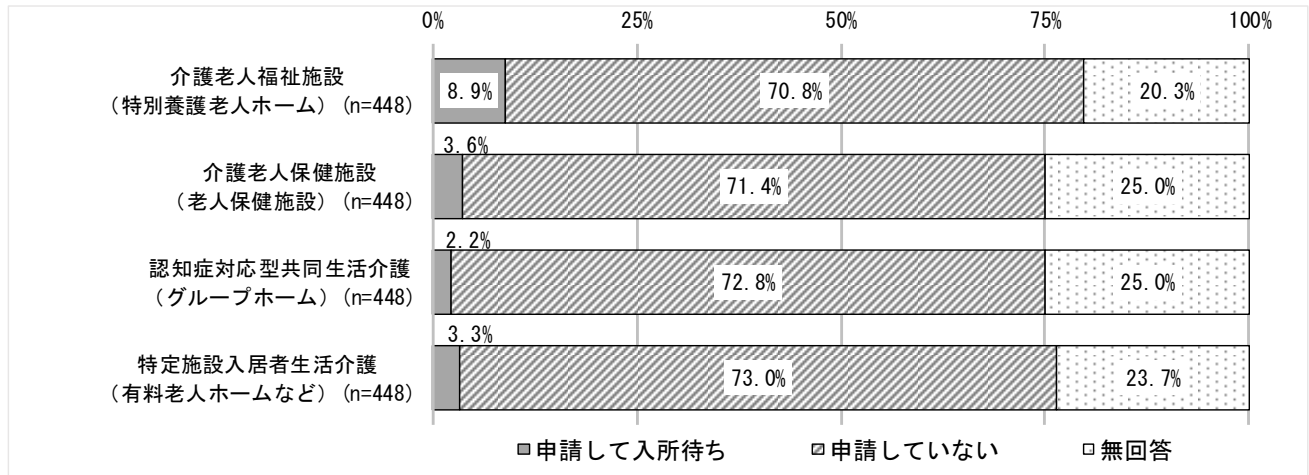
第2章 調査の結果 4 単純集計 (3) 介護保険サービス利用意向調査

			全体	1	2	-
				利用したい	利用したくない	無回答
問7-2.1	訪問介護、総合事業訪問型サービス (ホームヘルプ)	回答数 %	448 100.0	185 41.3	78 17.4	185 41.3
問7-2.2	(介護予防) 訪問看護	回答数 %	448 100.0	171 38.2	80 17.9	197 44.0
問7-2.3	(介護予防) 訪問リハビリテーション	回答数 %	448 100.0	157 35.0	97 21.7	194 43.3
問7-2.4	(介護予防) 訪問入浴介護	回答数 %	448 100.0	112 25.0	142 31.7	194 43.3
問7-2.5	(介護予防) 居宅療養管理指導	回答数 %	448 100.0	141 31.5	106 23.7	201 44.9
問7-2.6	通所介護、総合事業通所型サービス (デイサービス)	回答数 %	448 100.0	199 44.4	75 16.7	174 38.8
問7-2.7	(介護予防) 通所リハビリテーション (デイケア)	回答数 %	448 100.0	174 38.8	86 19.2	188 42.0
問7-2.8	(介護予防) 短期入所生活介護 (ショートステイ)	回答数 %	448 100.0	156 34.8	100 22.3	192 42.9
問7-2.9	(介護予防) 短期入所療養介護 (医療型ショートステイ)	回答数 %	448 100.0	128 28.6	127 28.3	193 43.1
問7-2.10	(介護予防) 特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム等)	回答数 %	448 100.0	123 27.5	135 30.1	190 42.4
問7-2.11	(介護予防) 福祉用具の貸与	回答数 %	448 100.0	218 48.7	43 9.6	187 41.7
問7-2.12	(介護予防) 特定福祉用具販売	回答数 %	448 100.0	187 41.7	63 14.1	198 44.2
問7-2.13	(介護予防) 住宅改修費の支給	回答数 %	448 100.0	207 46.2	60 13.4	181 40.4
問7-2.14	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	回答数 %	448 100.0	150 33.5	121 27.0	177 39.5
問7-2.15	介護老人保健施設 (老人保健施設)	回答数 %	448 100.0	148 33.0	115 25.7	185 41.3
問7-2.16	介護療養型医療施設	回答数 %	448 100.0	145 32.4	109 24.3	194 43.3
問7-2.17	介護医療院	回答数 %	448 100.0	134 29.9	118 26.3	196 43.8

## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (3) 介護保険サービス利用意向調査

問8：あなたは、次のサービスについて入所申請はしていますか。（SAマトリクス）

全項目において、「申請していない」が多く、サービス入所の必要性が低い傾向が見受けられます。

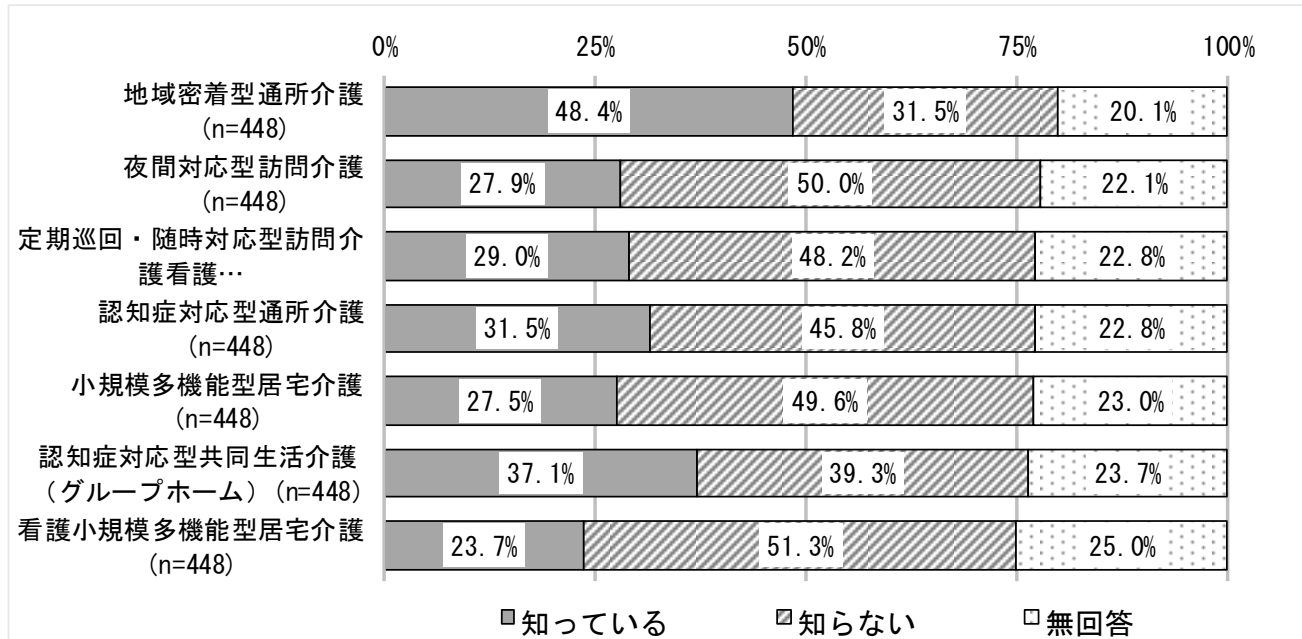


		全体	1 申請して 入所待ち	2 申請してい ない	- 無回答
問 8.1	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	回答数 448	40	317	91
		% 100.0	8.9	70.8	20.3
問 8.2	介護老人保健施設 (老人保健施設)	回答数 448	16	320	112
		% 100.0	3.6	71.4	25.0
問 8.3	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	回答数 448	10	326	112
		% 100.0	2.2	72.8	25.0
問 8.4	特定施設入居者生活介護 (有料老人ホームなど)	回答数 448	15	327	106
		% 100.0	3.3	73.0	23.7

## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (3) 介護保険サービス利用意向調査

問 9-1: 次のような地域密着型サービスを知っていますか。また、利用したいと思いますか。  
 / 認知度 (SA マトリクス)

「地域密着型通所介護」を除いた全項目において、「知らない」が多く、地域密着型サービスの認知度は低い傾向が見受けられます。



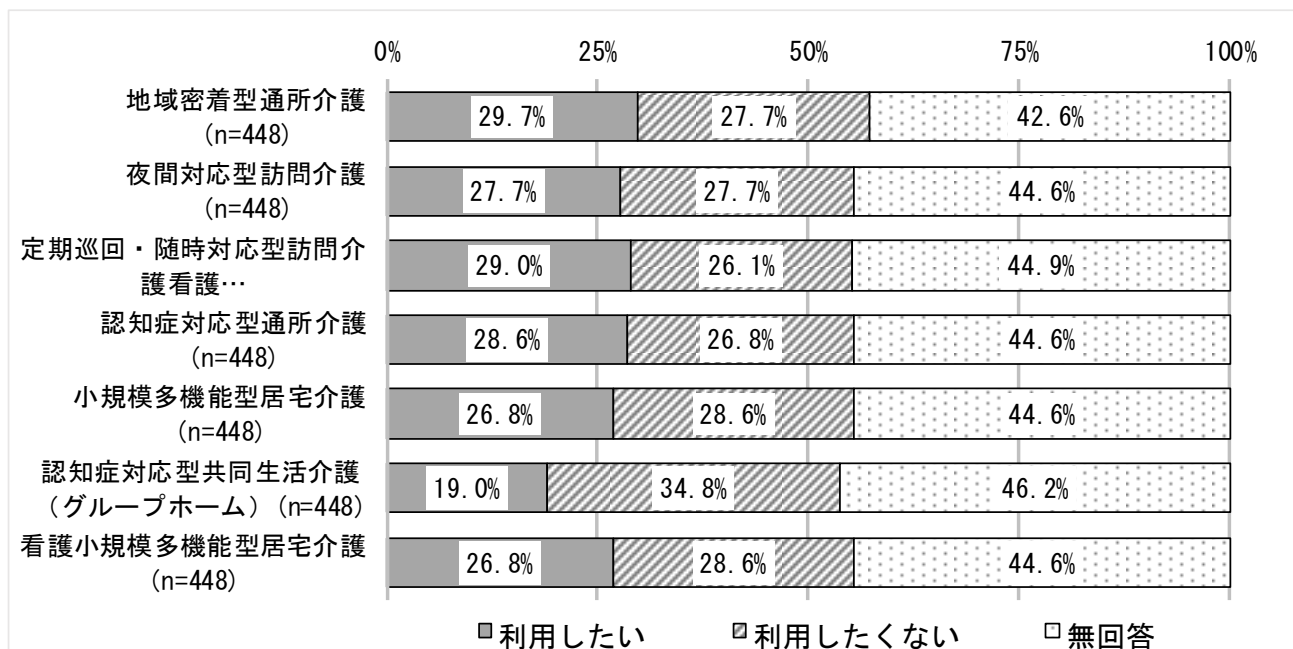
			全体	1 知っている	2 知らない	- 無回答
問 9-1.1	地域密着型通所介護	回答数 %	448 100.0	217 48.4	141 31.5	90 20.1
問 9-1.2	夜間対応型訪問介護	回答数 %	448 100.0	125 27.9	224 50.0	99 22.1
問 9-1.3	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	回答数 %	448 100.0	130 29.0	216 48.2	102 22.8
問 9-1.4	認知症対応型通所介護	回答数 %	448 100.0	141 31.5	205 45.8	102 22.8
問 9-1.5	小規模多機能型居宅介護	回答数 %	448 100.0	123 27.5	222 49.6	103 23.0
問 9-1.6	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	回答数 %	448 100.0	166 37.1	176 39.3	106 23.7
問 9-1.7	看護小規模多機能型居宅介護	回答数 %	448 100.0	106 23.7	230 51.3	112 25.0



## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (3) 介護保険サービス利用意向調査

問 9-2: 次のような地域密着型サービスを知っていますか。また、利用したいと思いますか。  
 / 利用意向 (SA マトリクス)

「地域密着型通所介護」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「認知症対応型通所介護」は「利用したい」が多く、「小規模多機能型居宅介護」「認知症対応型共同生活介護(グループホーム)」「看護小規模多機能型居宅介護」は「利用したくない」が多く、「夜間対応型訪問介護」は同等です。

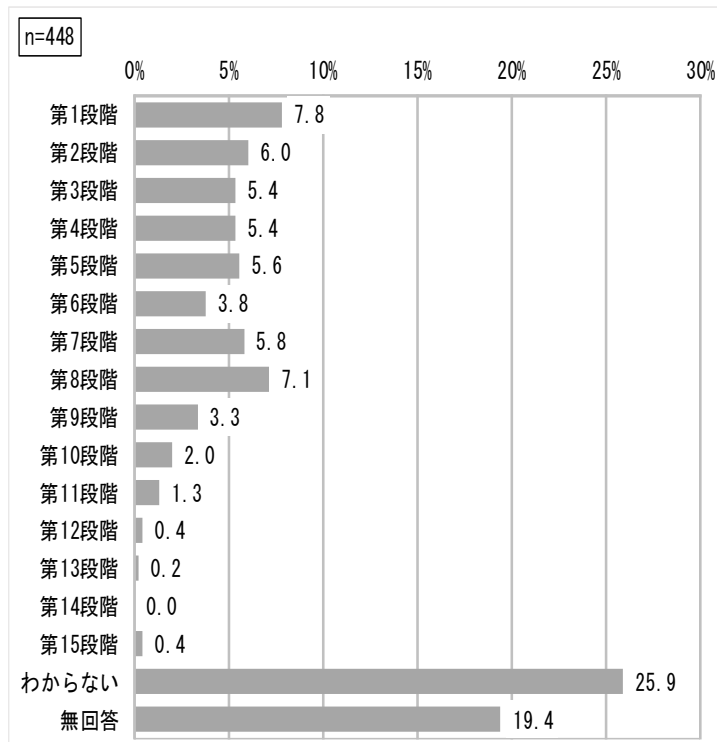


			全体	1 利用したい	2 利用したくない	- 無回答
問 9-2.1	地域密着型通所介護	回答数	448	133	124	191
		%	100.0	29.7	27.7	42.6
問 9-2.2	夜間対応型訪問介護	回答数	448	124	124	200
		%	100.0	27.7	27.7	44.6
問 9-2.3	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	回答数	448	130	117	201
		%	100.0	29.0	26.1	44.9
問 9-2.4	認知症対応型通所介護	回答数	448	128	120	200
		%	100.0	28.6	26.8	44.6
問 9-2.5	小規模多機能型居宅介護	回答数	448	120	128	200
		%	100.0	26.8	28.6	44.6
問 9-2.6	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	回答数	448	85	156	207
		%	100.0	19.0	34.8	46.2
問 9-2.7	看護小規模多機能型居宅介護	回答数	448	120	128	200
		%	100.0	26.8	28.6	44.6

## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (3) 介護保険サービス利用意向調査

問 10：あなたの介護保険料の保険段階は次の1～16のうちどれですか。 (SA)

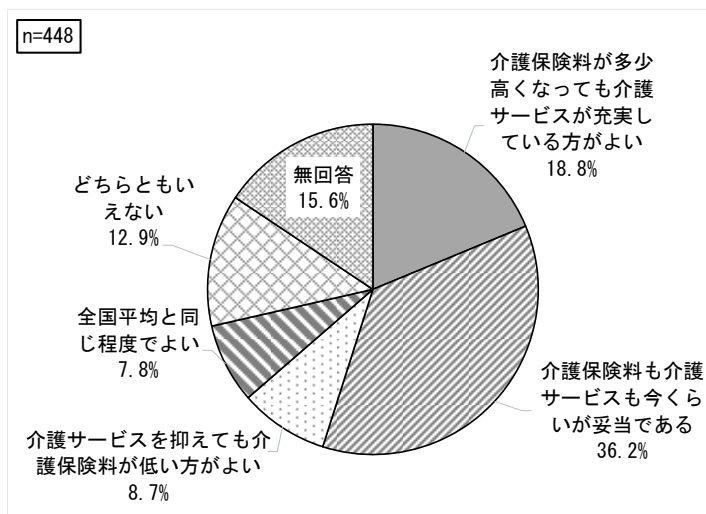
		回答数	%
全体		448	100.0
1	第1段階	35	7.8
2	第2段階	27	6.0
3	第3段階	24	5.4
4	第4段階	24	5.4
5	第5段階	25	5.6
6	第6段階	17	3.8
7	第7段階	26	5.8
8	第8段階	32	7.1
9	第9段階	15	3.3
10	第10段階	9	2.0
11	第11段階	6	1.3
12	第12段階	2	0.4
13	第13段階	1	0.2
14	第14段階	0	0.0
15	第15段階	2	0.4
16	わからない	116	25.9
-	無回答	87	19.4



問 11：今後の介護保険サービスと介護保険料について、あなたの考えに最も近いものは次のうちどれですか。 (SA)

「介護保険料も介護サービスも今くらいが妥当である」が最も多く、次いで「介護保険料が多少高くなっても介護サービスが充実している方がよい」であり、比較的サービスの充実を希望する傾向が見受けられます。

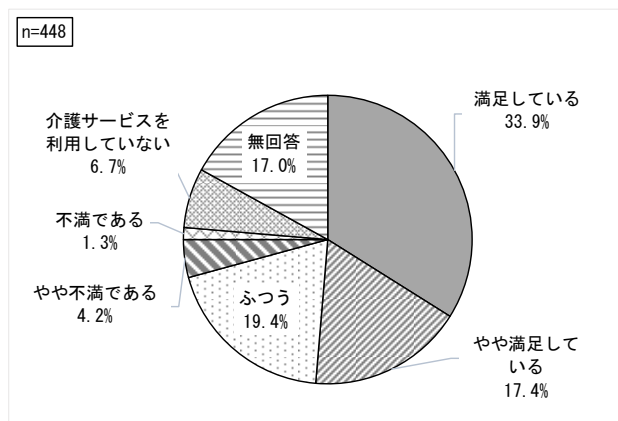
		回答数	%
全体		448	100.0
1	介護保険料が多少高くなっても介護サービスが充実している方がよい	84	18.8
2	介護保険料も介護サービスも今くらいが妥当である	162	36.2
3	介護サービスを抑えても介護保険料が低い方がよい	39	8.7
4	全国平均と同じ程度でよい	35	7.8
5	どちらともいえない	58	12.9
-	無回答	70	15.6



問 12：あなたは、現在のケアプランに満足していますか。 (SA)

「満足している」が最も多く、次いで「ふつう」であり、比較的満足している方が多い傾向が見受けられます。

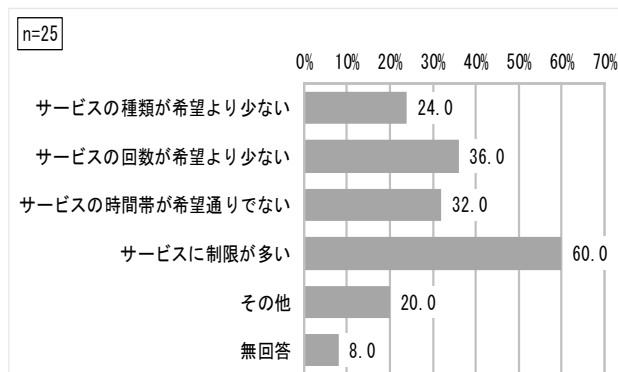
	回答数	%
全体	448	100.0
1 満足している	152	33.9
2 やや満足している	78	17.4
3 ふつう	87	19.4
4 やや不満である	19	4.2
5 不満である	6	1.3
6 介護サービスを利用していない	30	6.7
- 無回答	76	17.0



問 12-1：【問 12 で「やや不満である」、「不満である」と回答の方】 ご不満の内容はどのようなものですか。 (MA)

「サービスに制限が多い」が最も多く、次いで「サービスの回数が希望より少ない」であり、制限や回数に不満がある傾向が見受けられます。

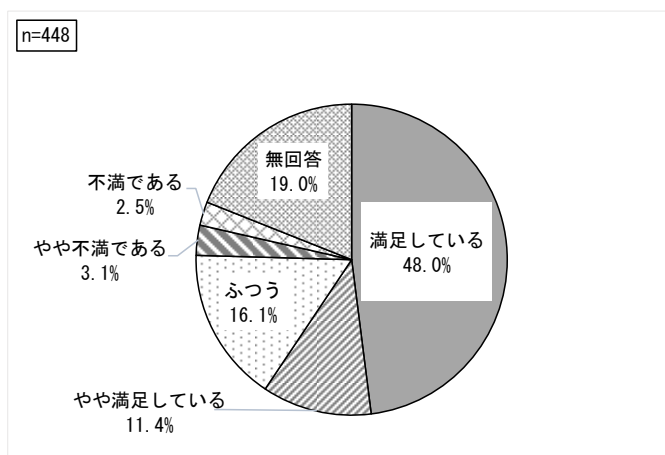
	回答数	%
全体	25	100.0
1 サービスの種類が希望より少ない	6	24.0
2 サービスの回数が希望より少ない	9	36.0
3 サービスの時間帯が希望通りでない	8	32.0
4 サービスに制限が多い	15	60.0
5 その他	5	20.0
- 無回答	2	8.0



問 13：あなたは、ケアマネジャーに満足していますか。 (SA)

「満足している」が最も多く、次いで「ふつう」であり、比較的満足している方が多い傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	448	100.0
1 満足している	215	48.0
2 やや満足している	51	11.4
3 ふつう	72	16.1
4 やや不満である	14	3.1
5 不満である	11	2.5
- 無回答	85	19.0

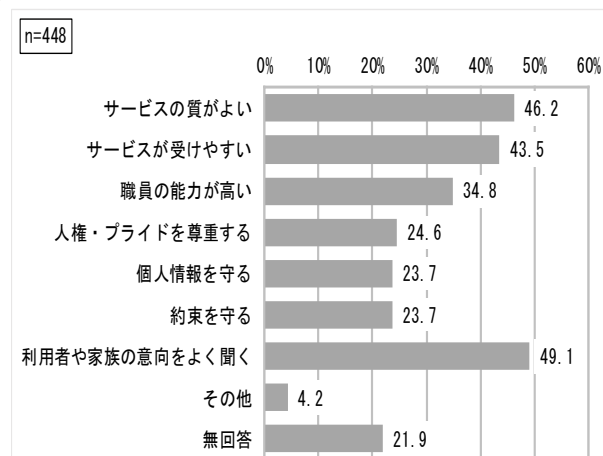


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (3) 介護保険サービス利用意向調査

問 14：介護サービス事業者を評価する点はどんなことですか。 (MA)

「利用者や家族の意向をよく聞く」が最も多く、次いで「サービスの質がよい」であり、質の高さを評価している傾向が見受けられます。

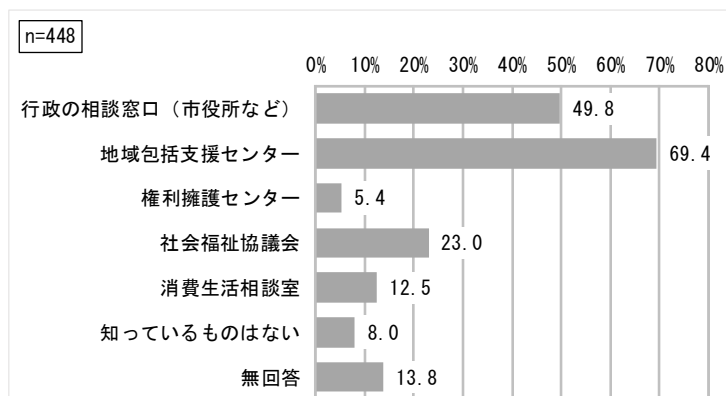
	回答数	%
全体	448	100.0
1 サービスの質がよい	207	46.2
2 サービスが受けやすい	195	43.5
3 職員の能力が高い	156	34.8
4 人権・プライドを尊重する	110	24.6
5 個人情報を守る	106	23.7
6 約束を守る	106	23.7
7 利用者や家族の意向をよく聞く	220	49.1
8 その他	19	4.2
- 無回答	98	21.9



問 15：高齢者の権利や生活を守るための相談窓口として以下のようなものがありますが、あなたの知っているものはありますか。 (MA)

「地域包括支援センター」が最も多く、次いで「行政の相談窓口（市役所など）」であり、地域の相談体制の認知度が高い傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	448	100.0
1 行政の相談窓口 (市役所など)	223	49.8
2 地域包括支援センター	311	69.4
3 権利擁護センター	24	5.4
4 社会福祉協議会	103	23.0
5 消費生活相談室	56	12.5
6 知っているものはない	36	8.0
- 無回答	62	13.8

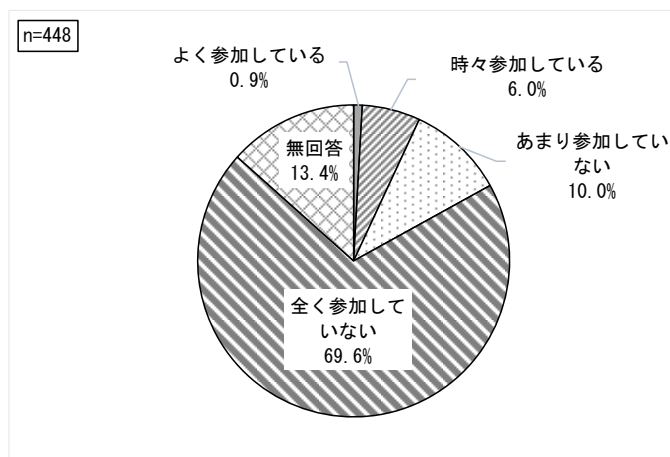


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (3) 介護保険サービス利用意向調査

問 16：あなたは、地域活動やボランティア活動、お住まいの地域の行事にどの程度参加していますか。 (SA)

「全く参加していない」が最も多く、次いで「あまり参加していない」であり、参加頻度が低い傾向が見受けられます。

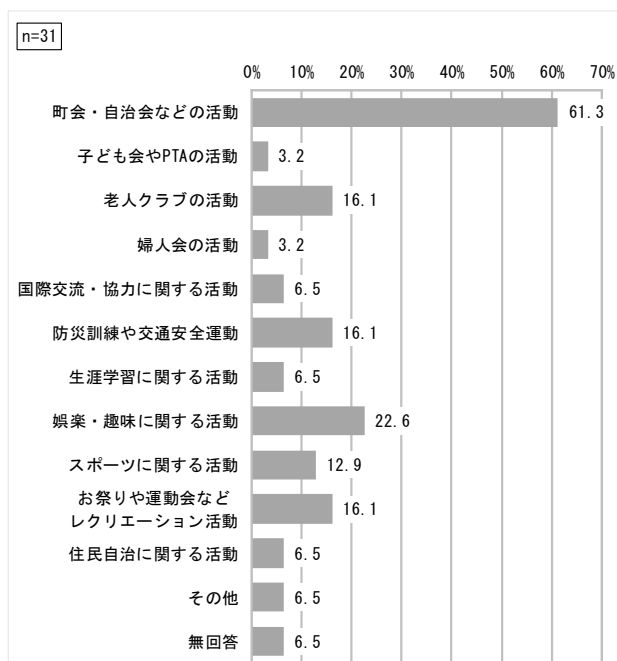
	回答数	%
全体	448	100.0
1 よく参加している	4	0.9
2 時々参加している	27	6.0
3 あまり参加していない	45	10.0
4 全く参加していない	312	69.6
- 無回答	60	13.4



問 16-1：【問 16 で「よく参加している」、「時々参加している」と回答の方】どのような活動や行事に参加していますか。 (MA)

「町会・自治会などの活動」が最も多く、次いで「娯楽・趣味に関する活動」であり、地域活動や生きがい関連の活動の参加頻度が高い傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	31	100.0
1 町会・自治会などの活動	19	61.3
2 子ども会やPTAの活動	1	3.2
3 老人クラブの活動	5	16.1
4 婦人会の活動	1	3.2
5 国際交流・協力に関する活動	2	6.5
6 防災訓練や交通安全運動	5	16.1
7 生涯学習に関する活動	2	6.5
8 娯楽・趣味に関する活動	7	22.6
9 スポーツに関する活動	4	12.9
10 お祭りや運動会などレクリエーション活動	5	16.1
11 住民自治に関する活動	2	6.5
12 その他	2	6.5
- 無回答	2	6.5

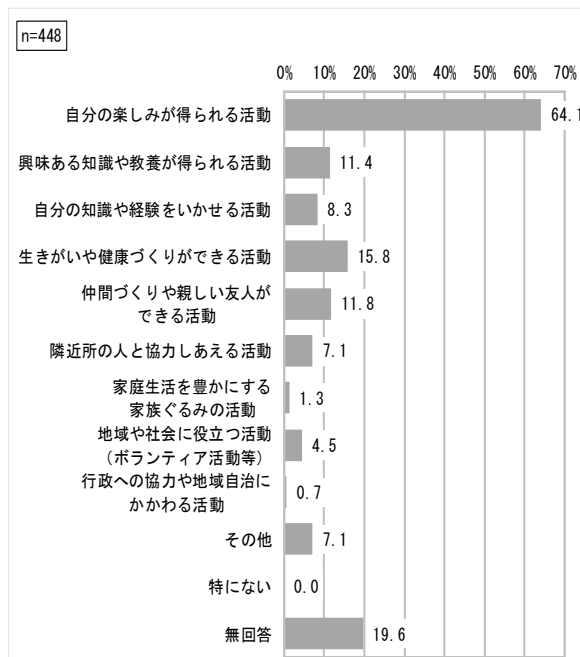


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (3) 介護保険サービス利用意向調査

問 17：あなたが今後、お住まいの地域で活動する場合、どのような活動に参加したいと思いますか。 (MA)

「自分の楽しみが得られる活動」が最も多く、次いで「生きがいや健康づくりができる活動」であり、生きがい関連の活動に参加したい傾向が見受けられます。

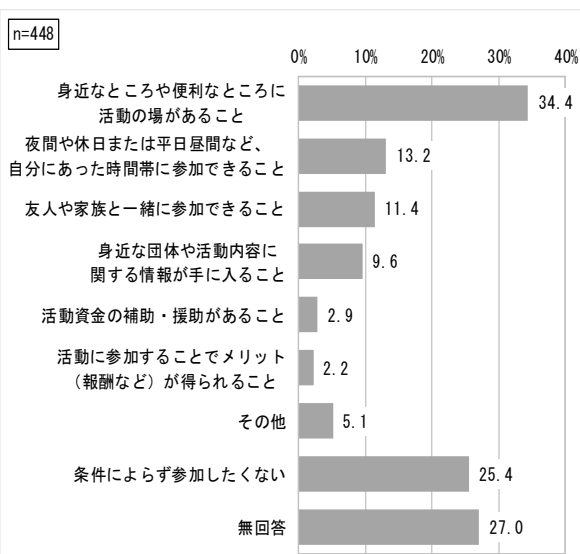
	回答数	%
全体	448	100.0
1 自分の楽しみが得られる活動	287	64.1
2 興味ある知識や教養が得られる活動	51	11.4
3 自分の知識や経験をいかせる活動	37	8.3
4 生きがいや健康づくりができる活動	71	15.8
5 仲間づくりや親しい友人ができる活動	53	11.8
6 隣近所の人と協力しあえる活動	32	7.1
7 家庭生活を豊かにする家族ぐるみの活動	6	1.3
8 地域や社会に役立つ活動 (ボランティア活動等)	20	4.5
9 行政への協力や地域自治にかかわる活動	3	0.7
10 その他	32	7.1
11 特になし	0	0.0
- 無回答	88	19.6



問 18：あなたは、お住まいの地域で活動する場合、どのような環境や条件が必要だと思いますか。 (3つまで選択) (MA)

「身近なところや便利なところに活動の場があること」が最も多く、次いで「条件によらず参加したくない」であり、活動しやすい環境を重視する傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	448	100.0
1 身近なところや便利なところに活動の場があること	154	34.4
2 夜間や休日または平日昼間など、自分にあった時間帯に参加できること	59	13.2
3 友人や家族と一緒に参加できること	51	11.4
4 身近な団体や活動内容に関する情報が手に入ること	43	9.6
5 活動資金の補助・援助があること	13	2.9
6 活動に参加することでメリット (報酬など) が得られること	10	2.2
7 その他	23	5.1
8 条件によらず参加したくない	114	25.4
- 無回答	121	27.0

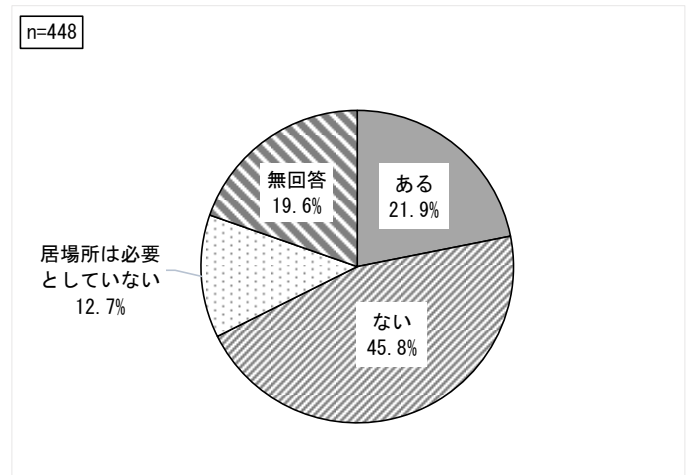


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (3) 介護保険サービス利用意向調査

問 19：あなたは、お住まいの地域の中で、自宅以外の居場所（定期的に顔を出したり、仲間たちで集まる場所）はありますか。（SA）

「ない」が5割程度であり、居場所がない傾向です。

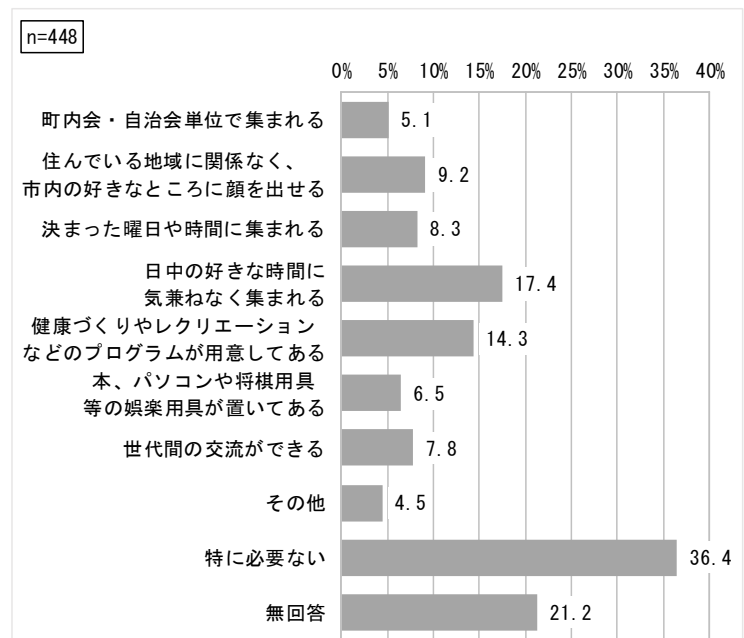
	回答数	%
全体	448	100.0
1 ある	98	21.9
2 ない	205	45.8
3 居場所は必要としていない	57	12.7
- 無回答	88	19.6



問 20：地域の中でどのような居場所があれば利用したいと思いますか。（MA）

「特に必要ない」が最も多く、次いで「日中の好きな時間に気兼ねなく集まれる」であり、利用しやすさを重視する傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	448	100.0
1 町内会・自治会単位で集まれる	23	5.1
2 住んでいる地域に関係なく、市内の好きなところに顔を出せる	41	9.2
3 決まった曜日や時間に集まれる	37	8.3
4 日中の好きな時間に気兼ねなく集まれる	78	17.4
5 健康づくりやレクリエーションなどのプログラムが用意してある	64	14.3
6 本、パソコンや将棋用具等の娯楽用具が置いてある	29	6.5
7 世代間の交流ができる	35	7.8
8 その他	20	4.5
9 特に必要ない	163	36.4
- 無回答	95	21.2

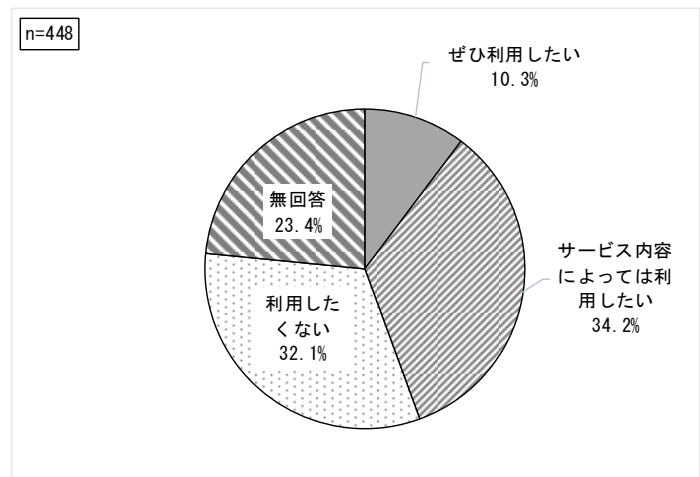


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (3) 介護保険サービス利用意向調査

問 21：元気高齢者の方等がサービス提供の担い手となる生活支援サービスがあった場合、利用したいと思いますか。（SA）

「ぜひ利用したい」「サービス内容によっては利用したい」が4割程度であり、「利用したくない」が3割程度です。

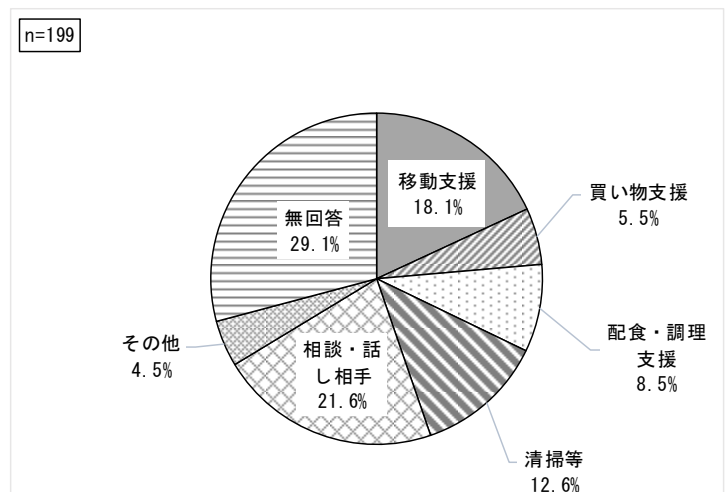
	回答数	%
全体	448	100.0
1 ぜひ利用したい	46	10.3
2 サービス内容によっては利用したい	153	34.2
3 利用したくない	144	32.1
- 無回答	105	23.4



問 21-1：【問 21 で「ぜひ利用したい」、「サービス内容によっては利用したい」と回答の方】どのようなサービスであれば、利用したいですか。（SA）

「相談・話し相手」が最も多く、次いで「移動支援」であり、身の回りの支援を希望する傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	199	100.0
1 移動支援	36	18.1
2 買い物支援	11	5.5
3 配食・調理支援	17	8.5
4 清掃等	25	12.6
5 相談・話し相手	43	21.6
6 その他	9	4.5
- 無回答	58	29.1



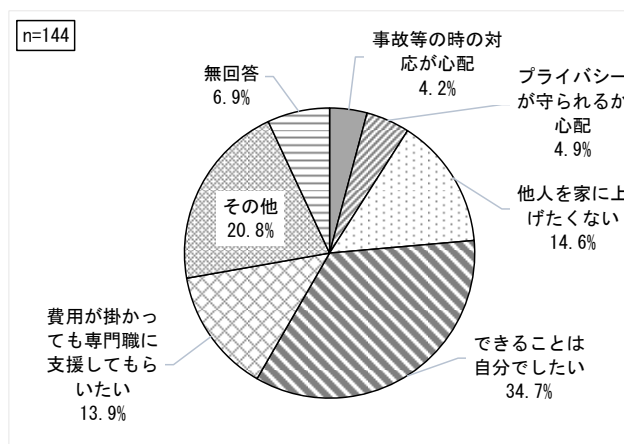


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (3) 介護保険サービス利用意向調査

問 21-2：【問 21 で「利用したくない」と回答の方】利用したくないと回答した場合、利用したくない理由はなんですか。（SA）

「できることは自分でしたい」が3割程度であり、支援を必要としていない傾向が見受けられます。

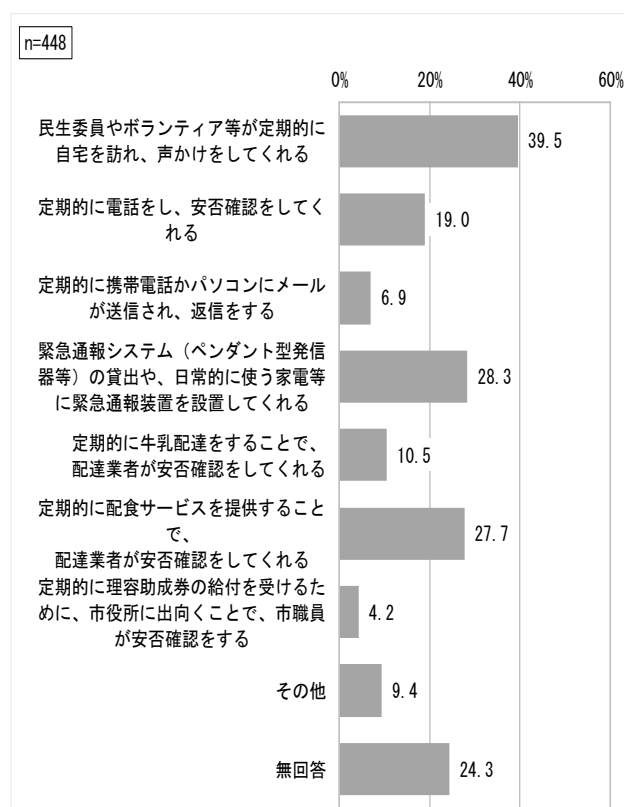
	回答数	%
全体	144	100.0
1 事故等の時の対応が心配	6	4.2
2 プライバシーが守られるか心配	7	4.9
3 他人を家に上げたくない	21	14.6
4 できることは自分でしたい	50	34.7
5 費用が掛かってでも専門職に支援してもらいたい	20	13.9
6 その他	30	20.8
- 無回答	10	6.9



問 22：もし、あなたがひとり暮らしになった場合（現在ひとり暮らしの方は現時点での意向として）、どのような「見守り支援」を利用したいと思いませんか。（MA）

「民生委員やボランティア等が定期的に自宅を訪れ、声かけをしてくれる」が最も多く、次いで「緊急通報システム（ペンダント型発信器等）の貸出や、日常的に使う家電等に緊急通報装置を設置してくれる」であり、見守り体制の充実を希望する傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	448	100.0
1 民生委員やボランティア等が定期的に自宅を訪れ、声かけをしてくれる	177	39.5
2 定期的に電話をし、安否確認をしてくれる	85	19.0
3 定期的に携帯電話かパソコンにメールが送信され、返信をする	31	6.9
4 緊急通報システム（ペンダント型発信器等）の貸出や、日常的に使う家電等に緊急通報装置を設置してくれる	127	28.3
5 定期的に牛乳配達をすることで、配達業者が安否確認をしてくれる	47	10.5
6 定期的に配食サービスを提供することで、配達業者が安否確認をしてくれる	124	27.7
7 定期的に理容助成券の給付を受けるために、市役所に出向くことで、市職員が安否確認をする	19	4.2
8 その他	42	9.4
- 無回答	109	24.3

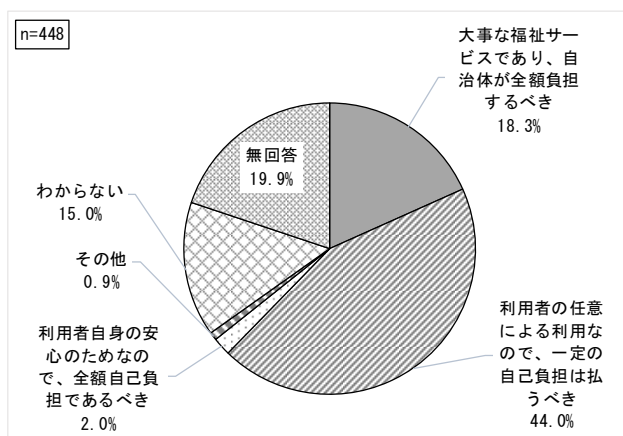


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (3) 介護保険サービス利用意向調査

問 23：ひとり暮らしの高齢者を対象とする「見守り支援」について、利用と負担の関係はどうかあるべきだと思いますか。（SA）

「利用者の任意による利用なので、一定の自己負担は払うべき」が4割程度です。

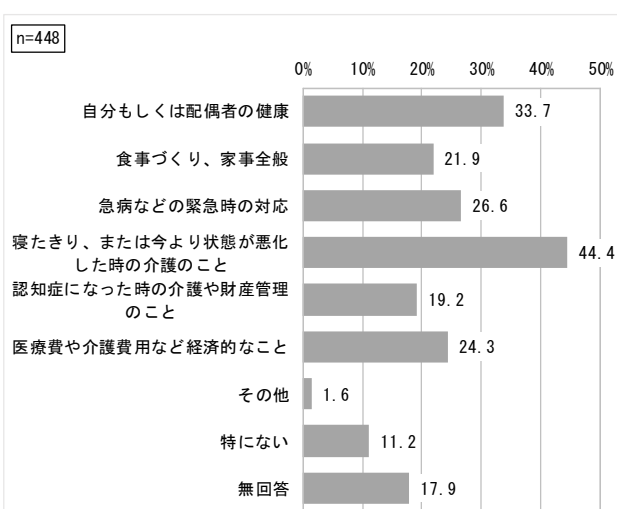
	回答数	%
全体	448	100.0
1 大事な福祉サービスであり、自治体が全額負担すべき	82	18.3
2 利用者の任意による利用なので、一定の自己負担は払うべき	197	44.0
3 利用者自身の安心のためなので、全額自己負担であるべき	9	2.0
4 その他	4	0.9
5 わからない	67	15.0
- 無回答	89	19.9



問 24：あなたは、自分や家族のことについて現在不安に感じていることがありますか。（MA）

「寝たきり、または今より状態が悪化した時の介護のこと」が最も多く、次いで「自分もしくは配偶者の健康」であり、健康状態を不安に感じている傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	448	100.0
1 自分もしくは配偶者の健康	151	33.7
2 食事づくり、家事全般	98	21.9
3 急病などの緊急時の対応	119	26.6
4 寝たきり、または今より状態が悪化した時の介護のこと	199	44.4
5 認知症になった時の介護や財産管理のこと	86	19.2
6 医療費や介護費用など経済的なこと	109	24.3
7 その他	7	1.6
8 特にない	50	11.2
- 無回答	80	17.9

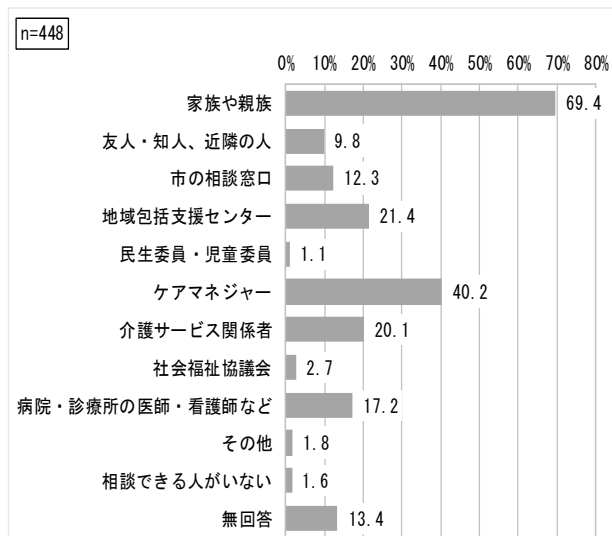


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (3) 介護保険サービス利用意向調査

問 25：あなたは、暮らしの問題や福祉について困りごとがあったとき、どこに（誰に）相談しますか。（MA）

「家族や親族」が最も多く、次いで「ケアマネジャー」であり、介護支援を担当とする相手に相談する傾向が見受けられます。

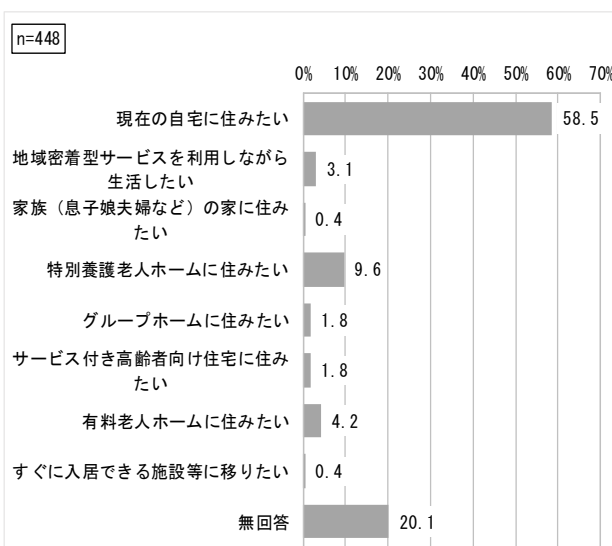
	回答数	%
全体	448	100.0
1 家族や親族	311	69.4
2 友人・知人、近隣の人	44	9.8
3 市の相談窓口	55	12.3
4 地域包括支援センター	96	21.4
5 民生委員・児童委員	5	1.1
6 ケアマネジャー	180	40.2
7 介護サービス関係者	90	20.1
8 社会福祉協議会	12	2.7
9 病院・診療所の医師・看護師など	77	17.2
10 その他	8	1.8
11 相談できる人がいない	7	1.6
- 無回答	60	13.4



問 26：今後、暮らす場所として希望している住まいはどこですか。（SA）

「現在の自宅に住みたい」が約6割です。

	回答数	%
全体	448	100.0
1 現在の自宅に住みたい	262	58.5
2 地域密着型サービスを利用しながら生活したい	14	3.1
3 家族（息子娘夫婦など）の家に住みたい	2	0.4
4 特別養護老人ホームに住みたい	43	9.6
5 グループホームに住みたい	8	1.8
6 サービス付き高齢者向け住宅に住みたい	8	1.8
7 有料老人ホームに住みたい	19	4.2
8 すぐに入居できる施設等に移りたい	2	0.4
- 無回答	90	20.1

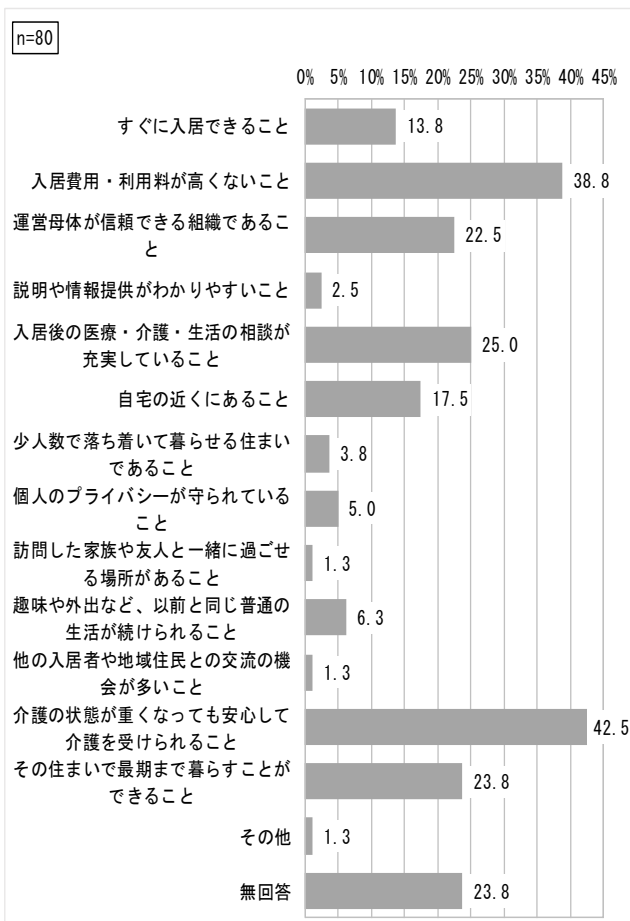


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (3) 介護保険サービス利用意向調査

問 26-1：【問 26 で「特別養護老人ホームに住みたい」～「すぐに入居できる施設等に移りたい」と回答の方】希望した住まい等についてどのような条件があれば今後選びたいですか。  
(3 つまで選択) (MA)

「介護の状態が重くなっても安心して介護を受けられること」が最も多く、次いで「入居費用・利用料が高くないこと」であり、住まいの利用のしやすさを重視する傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	80	100.0
1 すぐに入居できること	11	13.8
2 入居費用・利用料が高くないこと	31	38.8
3 運営母体が信頼できる組織であること	18	22.5
4 説明や情報提供がわかりやすいこと	2	2.5
5 入居後の医療・介護・生活の相談が充実していること	20	25.0
6 自宅の近くにあること	14	17.5
7 少人数で落ち着いて暮らせる住まいであること	3	3.8
8 個人のプライバシーが守られていること	4	5.0
9 訪問した家族や友人と一緒に過ごせる場所があること	1	1.3
10 趣味や外出など、以前と同じ普通の生活が続けられること	5	6.3
11 他の入居者や地域住民との交流の機会が多いこと	1	1.3
12 介護の状態が重くなっても安心して介護を受けられること	34	42.5
13 その住まいで最期まで暮らすことができること	19	23.8
14 その他	1	1.3
- 無回答	19	23.8

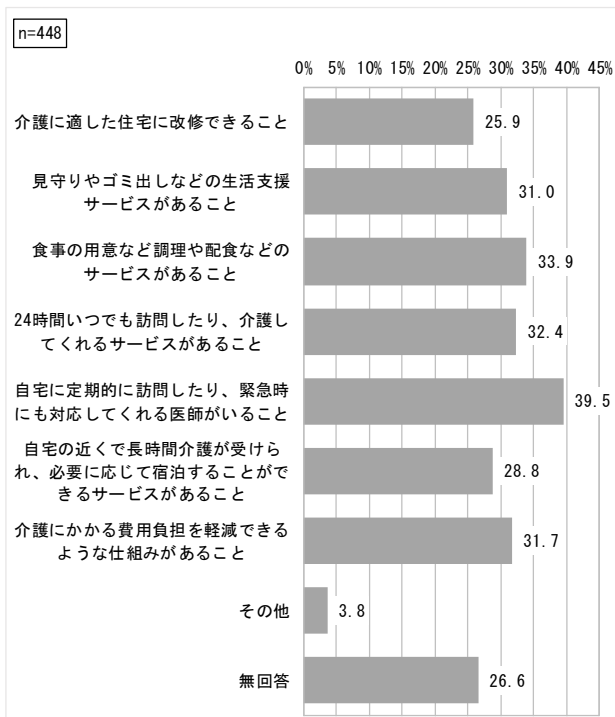


第2章 調査の結果 4 単純集計 (3) 介護保険サービス利用意向調査

問 27：在宅生活を続けるためにはどのような条件があればよいと思いますか。 (MA)

「自宅に定期的に訪問したり、緊急時にも対応してくれる医師がいること」が最も多く、次いで「食事の用意など調理や配食などのサービスがあること」であり、日常生活の支援を重視する傾向が見受けられます。

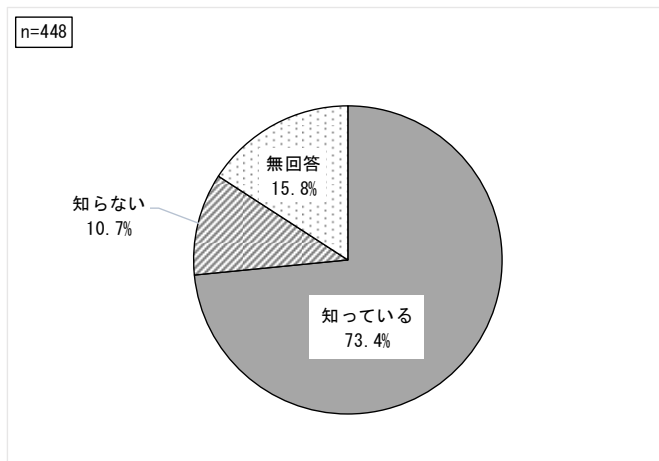
	回答数	%
全体	448	100.0
1 介護に適した住宅に改修できること	116	25.9
2 見守りやゴミ出しなどの生活支援サービスがあること	139	31.0
3 食事の用意など調理や配食などのサービスがあること	152	33.9
4 24時間いつでも訪問したり、介護してくれるサービスがあること	145	32.4
5 自宅に定期的に訪問したり、緊急時にも対応してくれる医師がいること	177	39.5
6 自宅の近くで長時間介護が受けられ、必要に応じて宿泊することができるサービスがあること	129	28.8
7 介護にかかる費用負担を軽減できるような仕組みがあること	142	31.7
8 その他	17	3.8
- 無回答	119	26.6



問 28：あなたは、小金井市の地域包括支援センターを知っていますか。 (SA)

地域包括支援センターを知らない方が1割程度います。

	回答数	%
全体	448	100.0
1 知っている	329	73.4
2 知らない	48	10.7
- 無回答	71	15.8



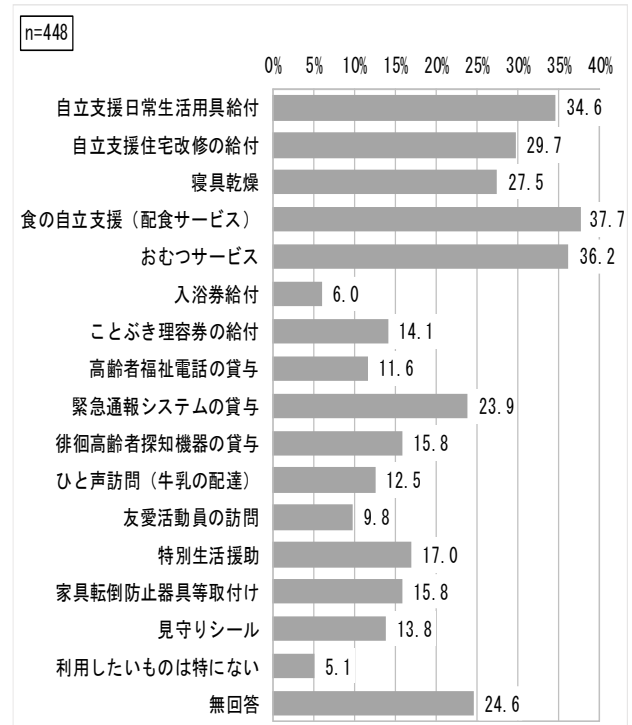
## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (3) 介護保険サービス利用意向調査

問 29：市では介護保険以外にも、さまざまな高齢者保健福祉サービスを行っています。今後、介護が必要となったとき、以下のようなサービスを利用したいと思いますか。

(MA)

「食の自立支援（配食サービス）」が最も多く、次いで「おむつサービス」であり、日常生活の支援を重視する傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	448	100.0
1 自立支援日常生活用具給付	155	34.6
2 自立支援住宅改修の給付	133	29.7
3 寝具乾燥	123	27.5
4 食の自立支援（配食サービス）	169	37.7
5 おむつサービス	162	36.2
6 入浴券給付	27	6.0
7 ことぶき理容券の給付	63	14.1
8 高齢者福祉電話の貸与	52	11.6
9 緊急通報システムの貸与	107	23.9
10 徘徊高齢者探知機器の貸与	71	15.8
11 ひと声訪問（牛乳の配達）	56	12.5
12 友愛活動員の訪問	44	9.8
13 特別生活援助	76	17.0
14 家具転倒防止器具等取付け	71	15.8
15 見守りシール	62	13.8
16 利用したいものは特にない	23	5.1
- 無回答	110	24.6

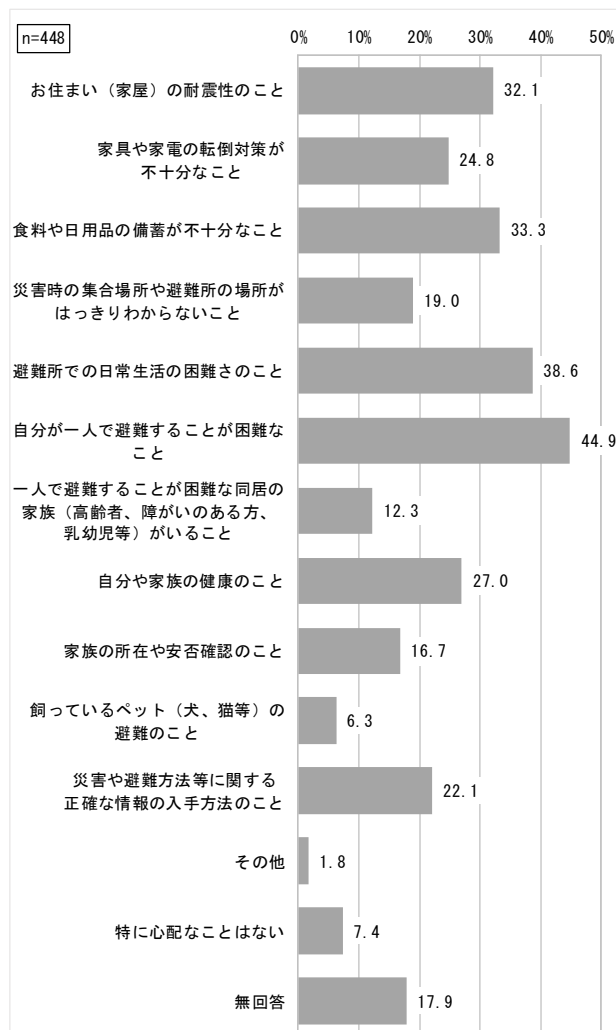


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (3) 介護保険サービス利用意向調査

問 30：あなたは、災害などの発生を考えた時、どのような不安や心配ごとがありますか。  
(MA)

「自分が一人で避難することが困難なこと」が最も多く、次いで「避難所での日常生活の困難さのこと」であり、避難や避難所に関する不安を多く抱えていることが見受けられます。

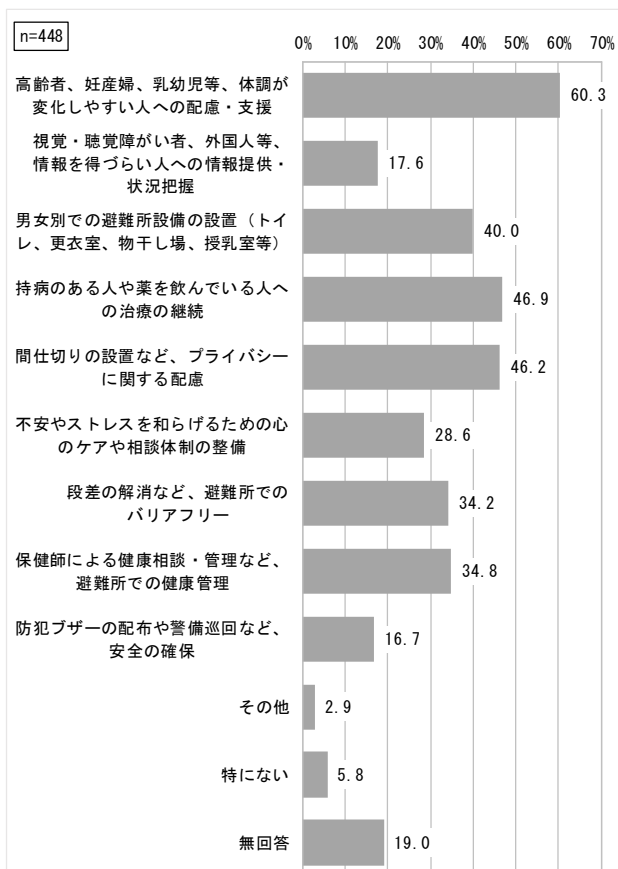
	回答数	%
全体	448	100.0
1 お住まい（家屋）の耐震性のこと	144	32.1
2 家具や家電の転倒対策が不十分なこと	111	24.8
3 食料や日用品の備蓄が不十分なこと	149	33.3
4 災害時の集合場所や避難所の場所がはっきりわからないこと	85	19.0
5 避難所での日常生活の困難さのこと	173	38.6
6 自分が一人で避難することが困難なこと	201	44.9
7 一人で避難することが困難な同居の家族（高齢者、障がいのある方、乳幼児等）がいること	55	12.3
8 自分や家族の健康のこと	121	27.0
9 家族の所在や安否確認のこと	75	16.7
10 飼っているペット（犬、猫等）の避難のこと	28	6.3
11 災害や避難方法等に関する正確な情報の入手方法のこと	99	22.1
12 その他	8	1.8
13 特に心配なことはない	33	7.4
- 無回答	80	17.9



問 31：災害が起きた時、避難所で配慮してほしいことは何ですか。（MA）

「高齢者、妊産婦、乳幼児等、体調が変化しやすい人への配慮・支援」が最も多く、次いで「持病のある人や薬を飲んでいる人への治療の継続」であり、体調不良者等への支援を求めています。

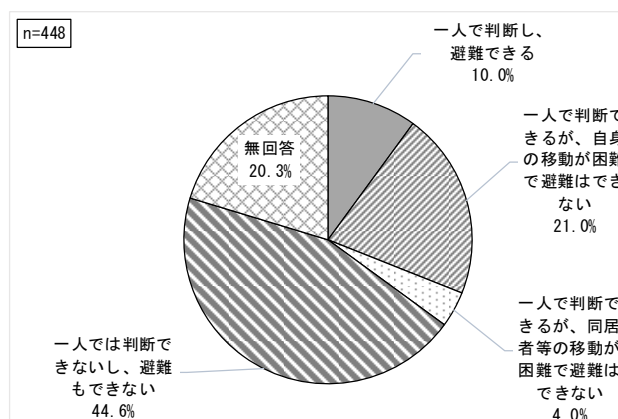
		回答数	%
全体		448	100.0
1	高齢者、妊産婦、乳幼児等、体調が変化しやすい人への配慮・支援	270	60.3
2	視覚・聴覚障がい者、外国人等、情報を得づらい人への情報提供・状況把握	79	17.6
3	男女別での避難所設備の設置（トイレ、更衣室、物干し場、授乳室等）	179	40.0
4	持病のある人や薬を飲んでいる人への治療の継続	210	46.9
5	間仕切りの設置など、プライバシーに関する配慮	207	46.2
6	不安やストレスを和らげるための心のケアや相談体制の整備	128	28.6
7	段差の解消など、避難所でのバリアフリー	153	34.2
8	保健師による健康相談・管理など、避難所での健康管理	156	34.8
9	防犯ブザーの配布や警備巡回など、安全の確保	75	16.7
10	その他	13	2.9
11	特にない	26	5.8
-	無回答	85	19.0



問 32：災害時に一人で避難できますか。（SA）

「一人では判断できないし、避難もできない」が最も多く、次いで「一人で判断できるが、自身の移動が困難で避難はできない」であり、一人で避難できない傾向が見受けられます。

		回答数	%
全体		448	100.0
1	一人で判断し、避難できる	45	10.0
2	一人で判断できるが、自身の移動が困難で避難はできない	94	21.0
3	一人で判断できるが、同居者等の移動が困難で避難はできない	18	4.0
4	一人では判断できないし、避難もできない	200	44.6
-	無回答	91	20.3



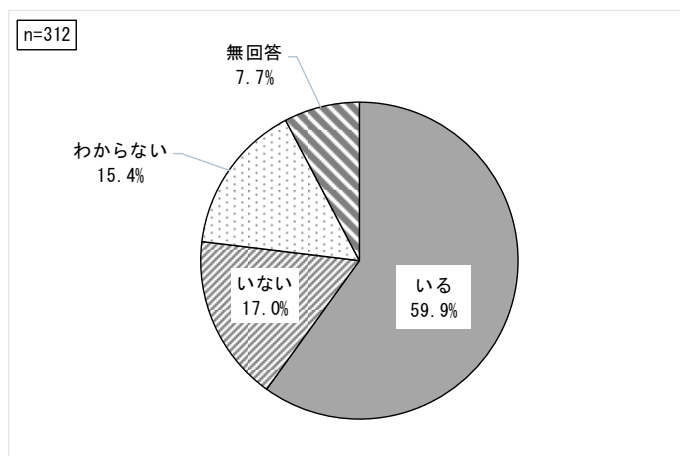


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (3) 介護保険サービス利用意向調査

問 32-1：【問 32 で「一人で判断できるが、自身の移動が困難で避難はできない」～「一人では判断できないし、避難もできない」と回答の方】災害時に避難する際に、手助けを頼める人はいますか。 (SA)

手助けを頼める人がいない方は2割程度です。

		回答数	%
全体		312	100.0
1	いる	187	59.9
2	いない	53	17.0
3	わからない	48	15.4
-	無回答	24	7.7

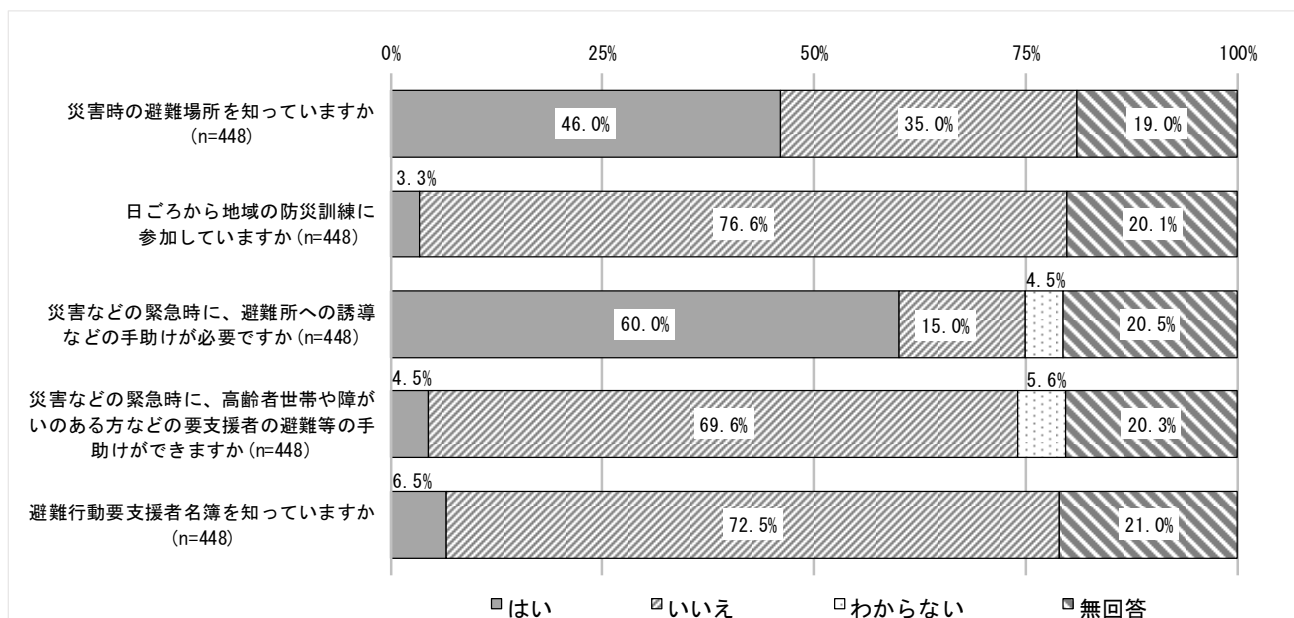


問 33：防災や災害時への取組みについてうかがいます。 (SA マトリクス)

「災害時の避難場所を知っていますか」「災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要ですか」は「はい」が多く、「日ごろから地域の防災訓練に参加していますか」「災害などの緊急時に、高齢者世帯や障がいのある方などの要支援者の避難等の手助けができますか」「避難行動要支援者名簿を知っていますか」は「いいえ」が多いです。手助けを必要とする方が多い傾向が見受けられます。

			全体	1	2	3	-
				はい	いいえ	わからない	無回答
1	災害時の避難場所を知っていますか	回答数 %	448 100.0	206 46.0	157 35.0	0 0.0	85 19.0
2	日ごろから地域の防災訓練に参加していますか	回答数 %	448 100.0	15 3.3	343 76.6	0 0.0	90 20.1
3	災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要ですか	回答数 %	448 100.0	269 60.0	67 15.0	20 4.5	92 20.5
4	災害などの緊急時に、高齢者世帯や障がいのある方などの要支援者の避難等の手助けができますか	回答数 %	448 100.0	20 4.5	312 69.6	25 5.6	91 20.3
5	避難行動要支援者名簿を知っていますか	回答数 %	448 100.0	29 6.5	325 72.5	0 0.0	94 21.0

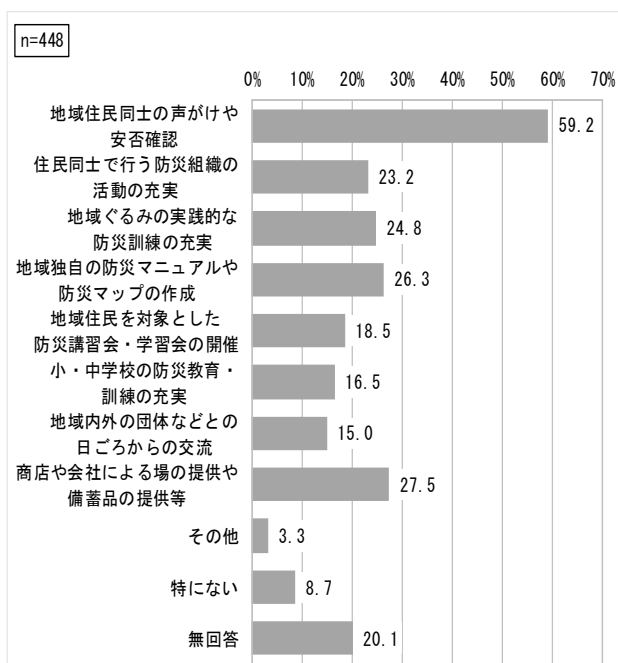
## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (3) 介護保険サービス利用意向調査



問 34: 災害に備えて、市民や企業等が協働して取り組むと良いものはどれですか。 (MA)

「地域住民同士の声かけや安否確認」が最も多く、次いで「商店や会社による場の提供や備蓄品の提供等」であり、身の回りの体制の充実を希望する傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	448	100.0
1 地域住民同士の声かけや安否確認	265	59.2
2 住民同士で行う防災組織の活動の充実	104	23.2
3 地域ぐるみの実践的な防災訓練の充実	111	24.8
4 地域独自の防災マニュアルや防災マップの作成	118	26.3
5 地域住民を対象とした防災講習会・学習会の開催	83	18.5
6 小・中学校の防災教育・訓練の充実	74	16.5
7 地域内外の団体などとの日ごろからの交流	67	15.0
8 商店や会社による場の提供や備蓄品の提供等	123	27.5
9 その他	15	3.3
10 特にない	39	8.7
- 無回答	90	20.1

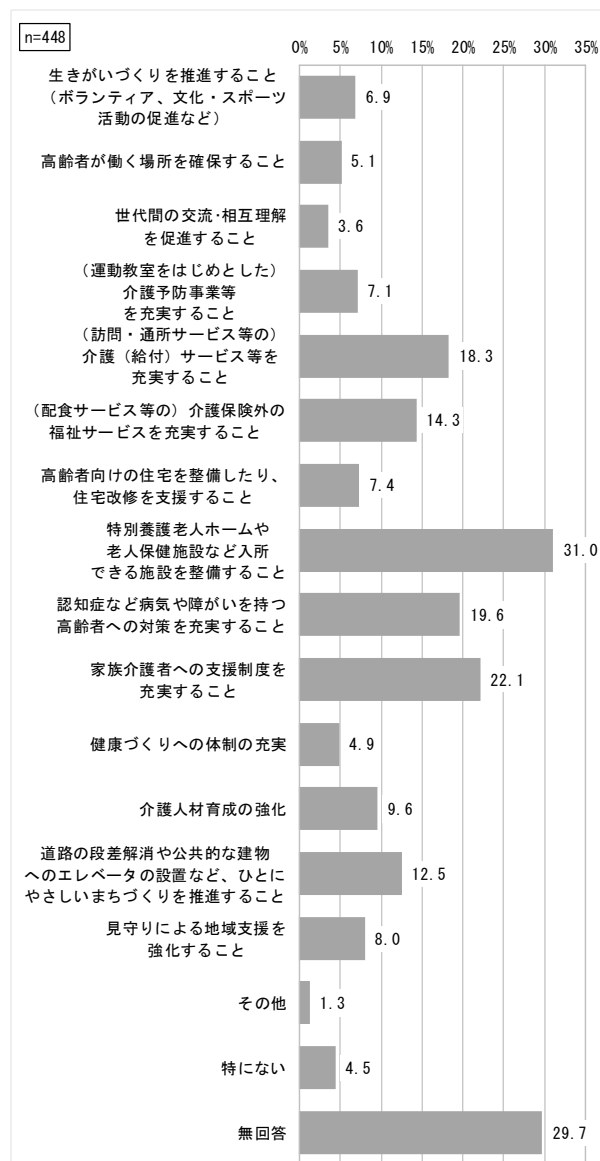


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (3) 介護保険サービス利用意向調査

問 35：今後、市が取り組む保健福祉サービスとして、次のうちどれを優先して充実すべきだとお考えですか。(3つまで選択) (MA)

「特別養護老人ホームや老人保健施設など入所できる施設を整備すること」が最も多く、次いで「家族介護者への支援制度を充実すること」であり、施設設備や支援制度の充実を望む傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	448	100.0
1 生きがいを推進すること（ボランティア、文化・スポーツ活動の促進など）	31	6.9
2 高齢者が働く場所を確保すること	23	5.1
3 世代間の交流・相互理解を促進すること	16	3.6
4 (運動教室をはじめとした) 介護予防事業等を充実すること	32	7.1
5 (訪問・通所サービス等の) 介護(給付) サービス等を充実すること	82	18.3
6 (配食サービス等の) 介護保険外の福祉サービスを充実すること	64	14.3
7 高齢者向けの住宅を整備したり、住宅改修を支援すること	33	7.4
8 特別養護老人ホームや老人保健施設など入所できる施設を整備すること	139	31.0
9 認知症など病気や障がいを持つ高齢者への対策を充実すること	88	19.6
10 家族介護者への支援制度を充実すること	99	22.1
11 健康づくりへの体制の充実	22	4.9
12 介護人材育成の強化	43	9.6
13 道路の段差解消や公共的な建物へのエレベータの設置など、ひとにやさしいまちづくりを推進すること	56	12.5
14 見守りによる地域支援を強化すること	36	8.0
15 その他	6	1.3
16 特にない	20	4.5
- 無回答	133	29.7

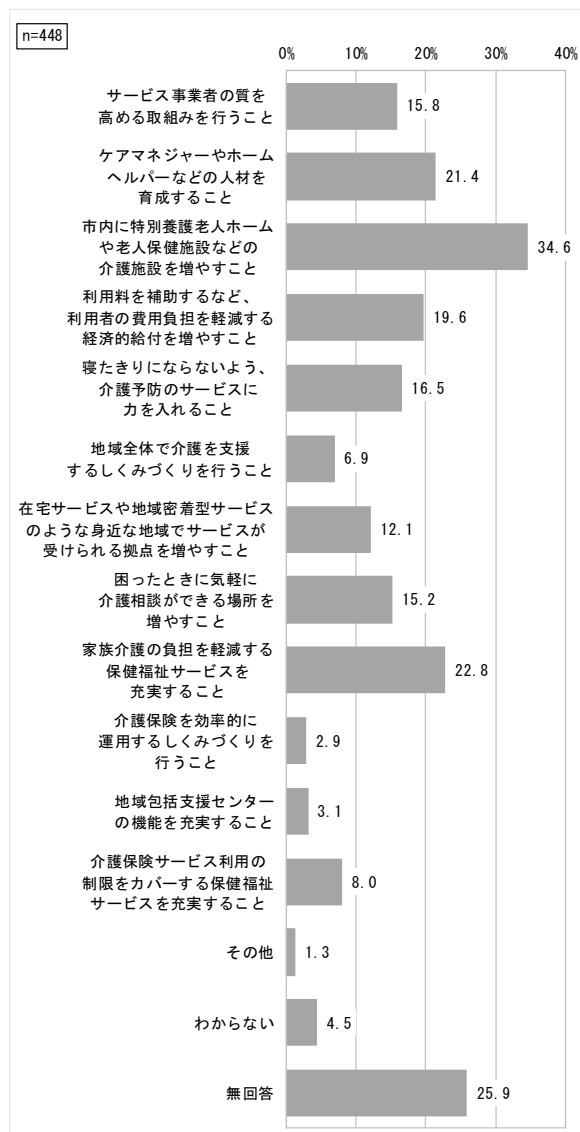


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (3) 介護保険サービス利用意向調査

問 36：「介護保険制度」全体をよりよくするための環境整備として、市が力を入れるべきことは次のうちどれだと思いますか。(3つまで選択) (MA)

「市内に特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護施設を増やすこと」が最も多く、次いで「家族介護者への支援制度を充実すること」であり、施設や支援制度の充実を希望する傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	448	100.0
1 サービス事業者の質を高める取組みを行うこと	71	15.8
2 ケアマネジャーやホームヘルパーなどの人材を育成すること	96	21.4
3 市内に特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護施設を増やすこと	155	34.6
4 利用料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減する経済的給付を増やすこと	88	19.6
5 寝たきりにならないよう、介護予防のサービスに力を入れること	74	16.5
6 地域全体で介護を支援するしくみづくりを行うこと	31	6.9
7 在宅サービスや地域密着型サービスのような身近な地域でサービスが受けられる拠点を増やすこと	54	12.1
8 困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やすこと	68	15.2
9 家族介護の負担を軽減する保健福祉サービスを充実すること	102	22.8
10 介護保険を効率的に運用するしくみづくりを行うこと	13	2.9
11 地域包括支援センターの機能を充実すること	14	3.1
12 介護保険サービス利用の制限をカバーする保健福祉サービスを充実すること	36	8.0
13 その他	6	1.3
14 わからない	20	4.5
- 無回答	116	25.9

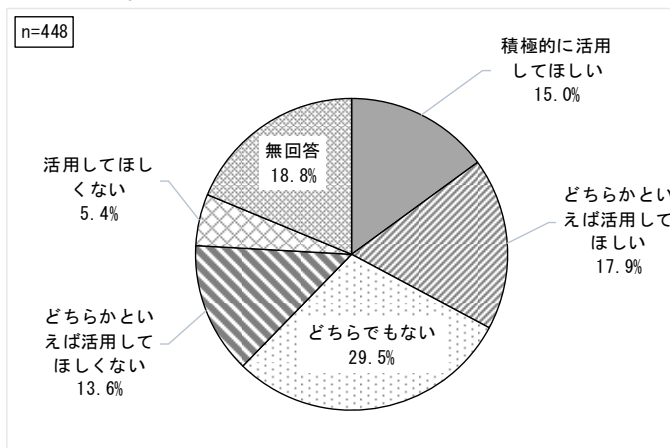


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (3) 介護保険サービス利用意向調査

問 37：介護保険サービスで外国人材の活用が検討されていますが、あなたはどのようにお考えでしょうか。（SA）

「どちらでもない」が最も多く、次いで「どちらかといえば活用してほしい」であり、外国人の活用を比較的希望する傾向が見受けられます。

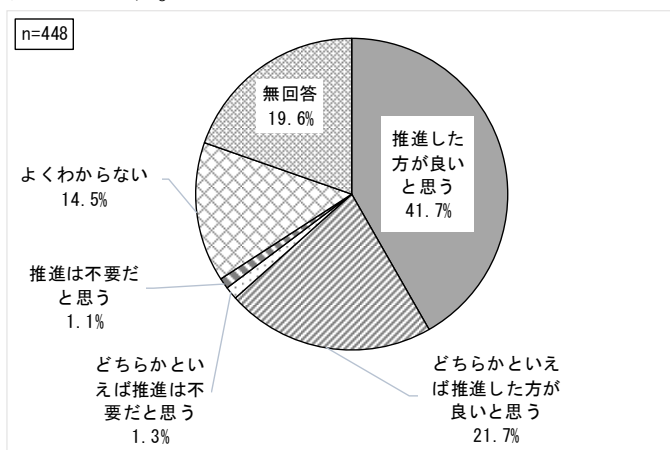
	回答数	%
全体	448	100.0
1 積極的に活用してほしい	67	15.0
2 どちらかといえば活用してほしい	80	17.9
3 どちらでもない	132	29.5
4 どちらかといえば活用してほしくない	61	13.6
5 活用してほしくない	24	5.4
- 無回答	84	18.8



問 38：自立支援・介護予防・重度化防止の取り組みの推進がうたわれていますが、あなたはどのように思いますか。（SA）

「推進した方が良いと思う」が最も多く、次いで「どちらかといえば推進した方が良いと思う」であり、推進を希望する傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	448	100.0
1 推進した方が良いと思う	187	41.7
2 どちらかといえば推進した方が良いと思う	97	21.7
3 どちらかといえば推進は不要だと思う	6	1.3
4 推進は不要だと思う	5	1.1
5 よくわからない	65	14.5
- 無回答	88	19.6

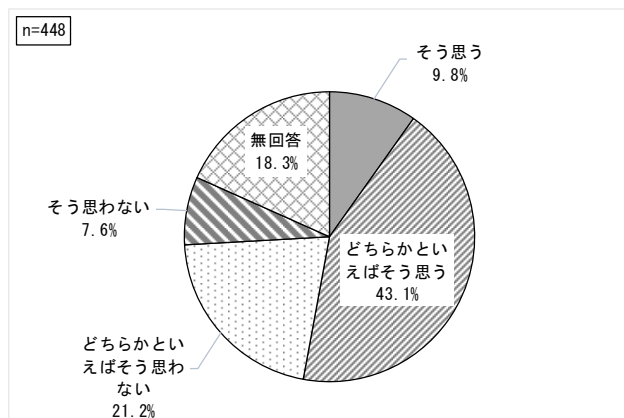


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (3) 介護保険サービス利用意向調査

問 39：小金井市では、「誰もが安心して暮らせる思いやりのあるまち」の実現をめざしています。あなたは、小金井市は「誰もが安心して暮らせる思いやりのあるまち」だと思いますか。（SA）

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が5割程度であり、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」が約3割です。

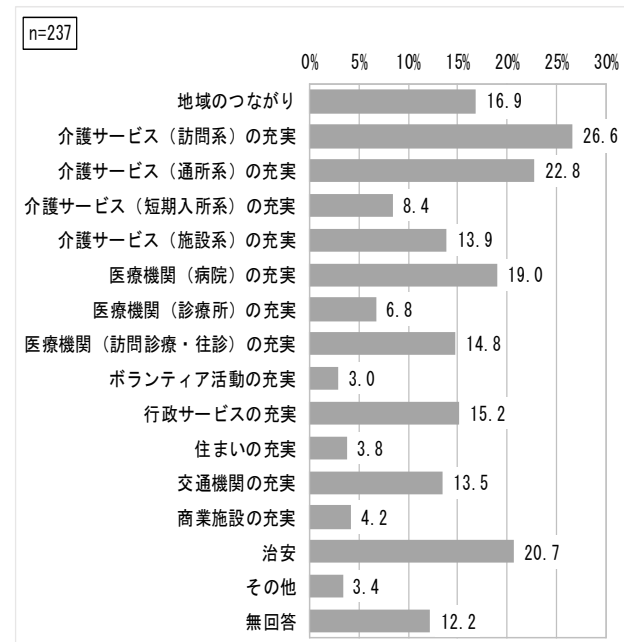
	回答数	%
全体	448	100.0
1 そう思う	44	9.8
2 どちらかといえばそう思う	193	43.1
3 どちらかといえばそう思わない	95	21.2
4 そう思わない	34	7.6
- 無回答	82	18.3



問 40-1：【問 39 で「そう思う」～「どちらかといえばそう思う」と回答の方】その理由は何ですか。（3 つまで選択）（MA）

「介護サービス（訪問系）の充実」が最も多く、次いで「介護サービス（通所系）の充実」であり、サービスの充実を重視する傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	237	100.0
1 地域のつながり	40	16.9
2 介護サービス（訪問系）の充実	63	26.6
3 介護サービス（通所系）の充実	54	22.8
4 介護サービス（短期入所系）の充実	20	8.4
5 介護サービス（施設系）の充実	33	13.9
6 医療機関（病院）の充実	45	19.0
7 医療機関（診療所）の充実	16	6.8
8 医療機関（訪問診療・往診）の充実	35	14.8
9 ボランティア活動の充実	7	3.0
10 行政サービスの充実	36	15.2
11 住まいの充実	9	3.8
12 交通機関の充実	32	13.5
13 商業施設の充実	10	4.2
14 治安	49	20.7
15 その他	8	3.4
- 無回答	29	12.2

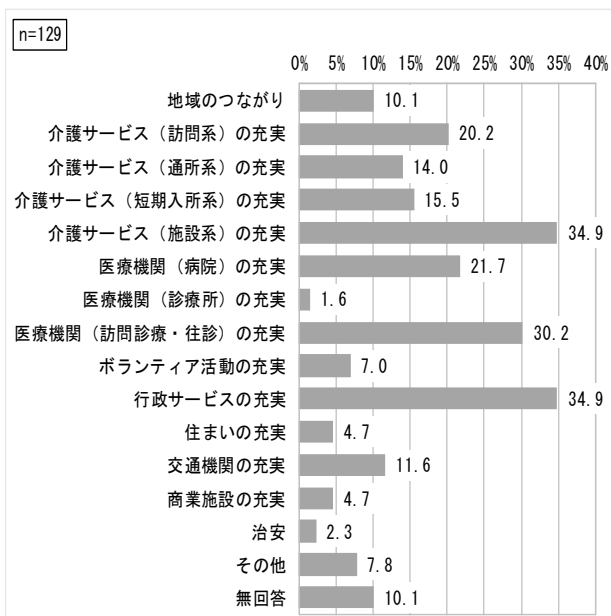


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (3) 介護保険サービス利用意向調査

問 40-2：【問 39 で「どちらかといえばそう思わない」～「そう思わない」と回答の方】どの項目が改善したら、「そう思う」ようになりますか。(3 つまで選択) (MA)

「介護サービス（施設系）の充実」「行政サービスの充実」であり、介護や行政サービスの充実の改善を重視する傾向が見受けられます。

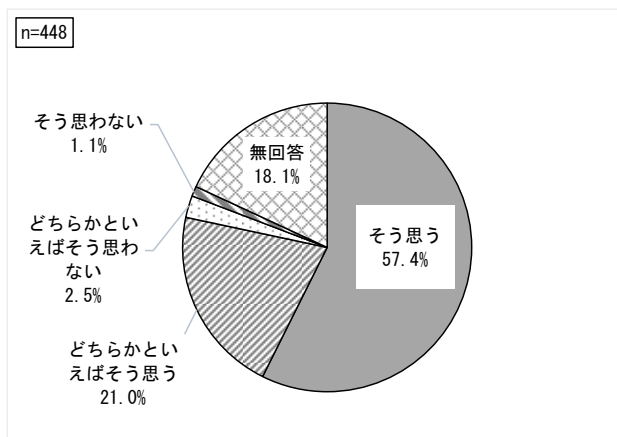
	回答数	%
全体	129	100.0
1 地域のつながり	13	10.1
2 介護サービス（訪問系）の充実	26	20.2
3 介護サービス（通所系）の充実	18	14.0
4 介護サービス（短期入所系）の充実	20	15.5
5 介護サービス（施設系）の充実	45	34.9
6 医療機関（病院）の充実	28	21.7
7 医療機関（診療所）の充実	2	1.6
8 医療機関（訪問診療・往診）の充実	39	30.2
9 ボランティア活動の充実	9	7.0
10 行政サービスの充実	45	34.9
11 住まいの充実	6	4.7
12 交通機関の充実	15	11.6
13 商業施設の充実	6	4.7
14 治安	3	2.3
15 その他	10	7.8
- 無回答	13	10.1



問 41：あなたは、今後も小金井市に住み続けたいと思いますか。 (SA)

「そう思う」が最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」であり、住み続けたい傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	448	100.0
1 そう思う	257	57.4
2 どちらかといえばそう思う	94	21.0
3 どちらかといえばそう思わない	11	2.5
4 そう思わない	5	1.1
- 無回答	81	18.1



問 42：高齢者支援施策について、小金井市へのご意見・ご要望や知りたい情報がありましたら、ご自由にお書きください。(注)

- デイケア、デイサービスの質の向上（リクリエーションを含めサービスの内容の改善）→身体は不自由ではあるが頭ははっきりしている高齢者がもっと積極的に行きたく（利用したくなる）様なサービスが与えられる施設が増えることを希望。施設の雰囲気（建物等）を清潔、明るく、高級感を感じさせる様な工夫があると嬉しい。
- 被高齢者や施策がどの程度か？市報等で分かるようにしてほしい。（すでに分っているなら何でそれを知る事ができるでしょうか）記入者も近い将来お世話になるであろうことを想定して、色々心構えをしておきたいです。この施策に従事する人員に十分なのでしょうか、無理がなく、しかも十分な支援が受けられることを願います。従事者の方々の健康を願っています。
- 特養をもっと増やして欲しい。
- 関東大地震が共に来たら足腰の悪い者は、避難する事も大変ですので、自宅のいる事になってしまうと思うのです。そんなお年寄りがいても市は何を出来るのでしょうか？
- 人的な又財政上の制約があると思うが、今後も高齢者の援助を期待している。
- 利用料及び入居料の負担軽減をして頂きたい。
- 「一人暮らし老人」夜間緊急通報、災害時ヒナン援助必要です。
- 施設（東小金井駅周辺）に造って頂きたい。
- ケアマネから当市では所得制限があり「おむつ」補助が受けられないと言われました。他市（府中市、国分寺等）は、補助を行っていると聞いています。リハパン・パット等1ヶ月1人1～2万円かかります。補助制度をお願いします。
- 高齢者支援のため月一度の自宅で訪問看護を受けている方が利用者とのコミュニケーションがとれていないこともあります。書類作成のために時間をさいたり世間話して終ったりで本人の意志や日頃の行動などよみとれないで居す。職員の研修も必要です。
- ヘルパー、ワーカーさん。低収入の為、離職や1万円でもお給料の高い施設へ移ったりと定着していないようです。これらの働き手の人が幸せを感じるような取り組みをして頂けたら、老人も助かるし有難いと思います。
- 電動車椅子等、認知機能は正常でも外出できない老人達が一人で外に出られる方法を考えてほしい。介護者で免許を持たない中高年が、同居老人を世話する為だけの電動車のような物の免許を考えてほしい。車椅子、電気車椅子を折々に簡単にリースしてもらえればと思う。相応の負担額で手続を簡潔に←介護家族より

(注) 主な意見として回答を抜粋し、原文のまま掲載しています。

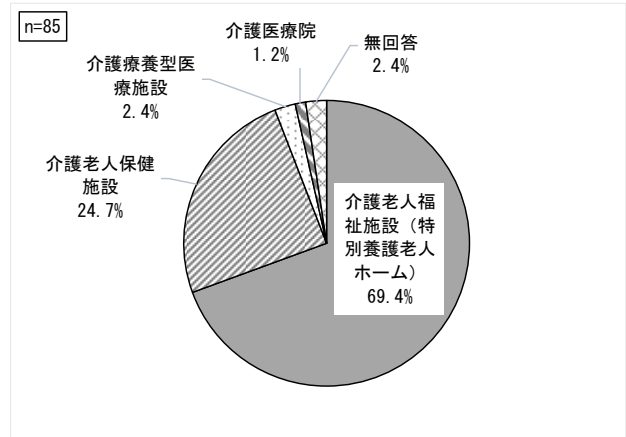


(4) 施設サービス利用者調査

S1：入所されている施設の種類について、あてはまる番号に○をつけてください。  
(SA)

「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が約7割です。

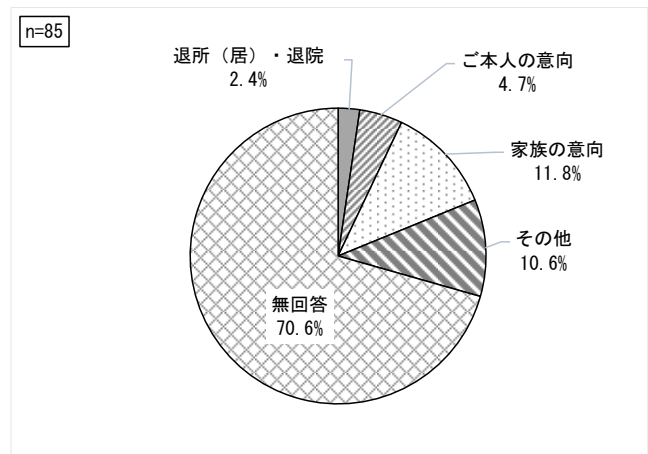
	回答数	%
全体	85	100.0
1 介護老人福祉施設 （特別養護老人ホーム）	59	69.4
2 介護老人保健施設	21	24.7
3 介護療養型医療施設	2	2.4
4 介護医療院	1	1.2
- 無回答	2	2.4



S2：あなたやご家族が何らかの事情により回答できない場合は、その理由にあてはまる番号に○をつけて、ご返送ください。（SA）

「家族の意向」が1割程度です。

	回答数	%
全体	85	100.0
1 退所（居）・退院	2	2.4
2 ご本人の意向	4	4.7
3 家族の意向	10	11.8
4 その他	9	10.6
- 無回答	60	70.6

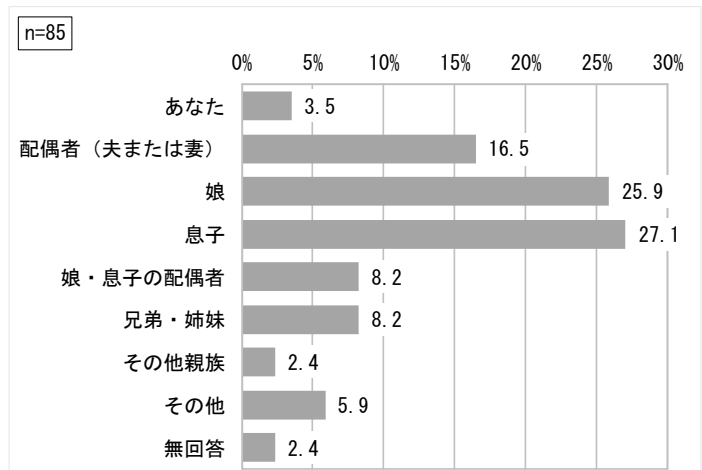


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (4) 施設サービス利用者調査

S3：この調査票はどなたがご記入されますか。 (SA)

「息子」「娘」が3割程度です。

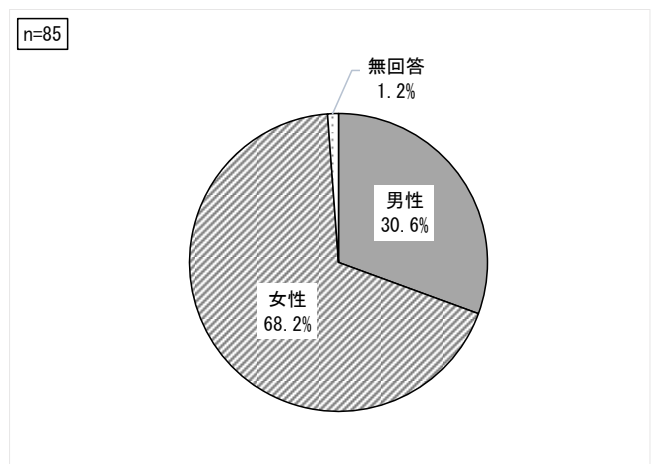
	回答数	%
全体	85	100.0
1 あなた	3	3.5
2 配偶者（夫または妻）	14	16.5
3 娘	22	25.9
4 息子	23	27.1
5 娘・息子の配偶者	7	8.2
6 兄弟・姉妹	7	8.2
7 その他親族	2	2.4
8 その他	5	5.9
- 無回答	2	2.4



F1：あなたの性別はどちらですか。 (SA)

「女性」が約7割です。

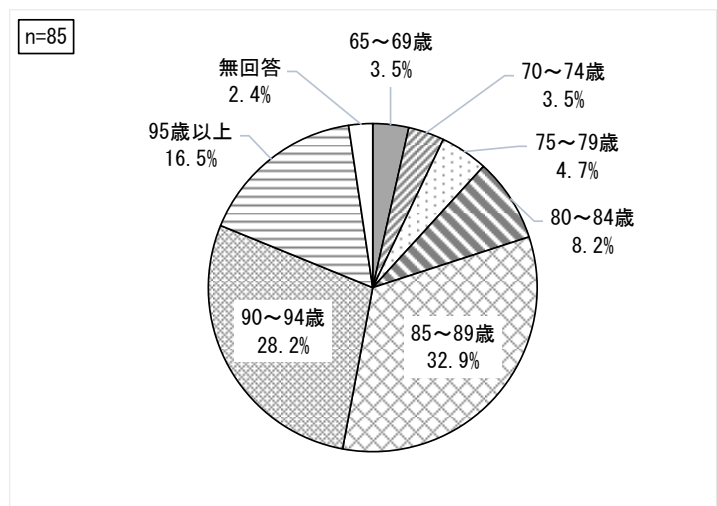
	回答数	%
全体	85	100.0
1 男性	26	30.6
2 女性	58	68.2
- 無回答	1	1.2



F2：現在のあなたの年齢は次のどれですか。 ※令和元年12月1日現在の年齢でお答えください。 (SA)

「85～89歳」が最も多く、次いで「90～94歳」であり、後期高齢者でも年齢層が高い方が多い傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	85	100.0
1 65～69歳	3	3.5
2 70～74歳	3	3.5
3 75～79歳	4	4.7
4 80～84歳	7	8.2
5 85～89歳	28	32.9
6 90～94歳	24	28.2
7 95歳以上	14	16.5
- 無回答	2	2.4

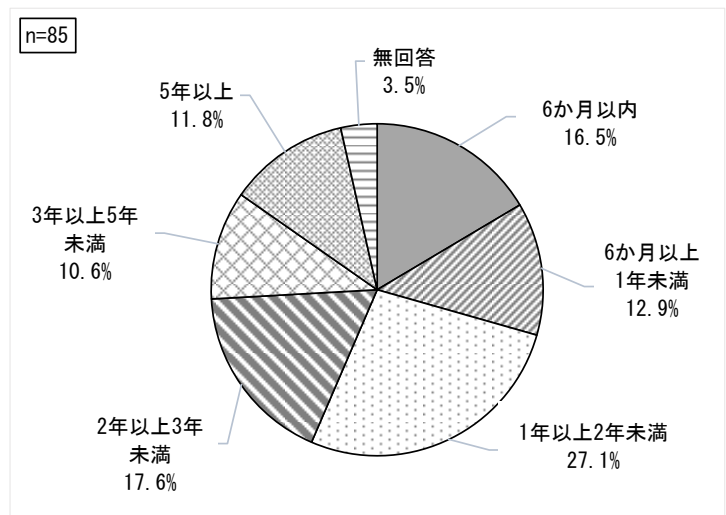


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (4) 施設サービス利用者調査

F3：施設に入所されてどのくらいですか。 (SA)

「1年以上2年未満」が最も多く、次いで「2年以上3年未満」であり、入所して1～3年の方が多く傾向が見受けられます。

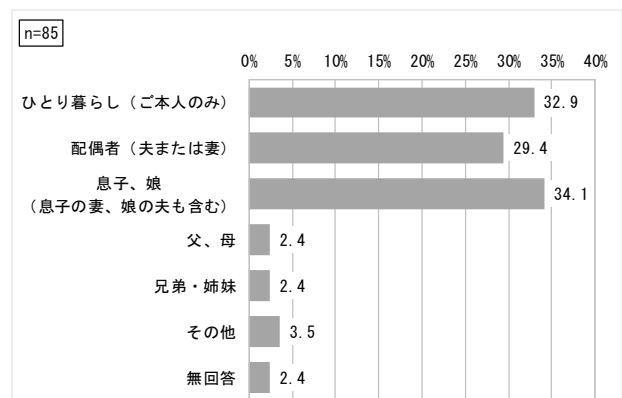
	回答数	%
全体	85	100.0
1 6か月以内	14	16.5
2 6か月以上1年未満	11	12.9
3 1年以上2年未満	23	27.1
4 2年以上3年未満	15	17.6
5 3年以上5年未満	9	10.6
6 5年以上	10	11.8
- 無回答	3	3.5



F4：入所する前に同居していた方はどなたですか。 (MA)

「息子、娘（息子の妻、娘の夫も含む）」が最も多く、次いで「ひとり暮らし（ご本人のみ）」です。

	回答数	%
全体	85	100.0
1 ひとり暮らし（ご本人のみ）	28	32.9
2 配偶者（夫または妻）	25	29.4
3 息子、娘 （息子の妻、娘の夫も含む）	29	34.1
4 父、母	2	2.4
5 兄弟・姉妹	2	2.4
6 その他	3	3.5
- 無回答	2	2.4

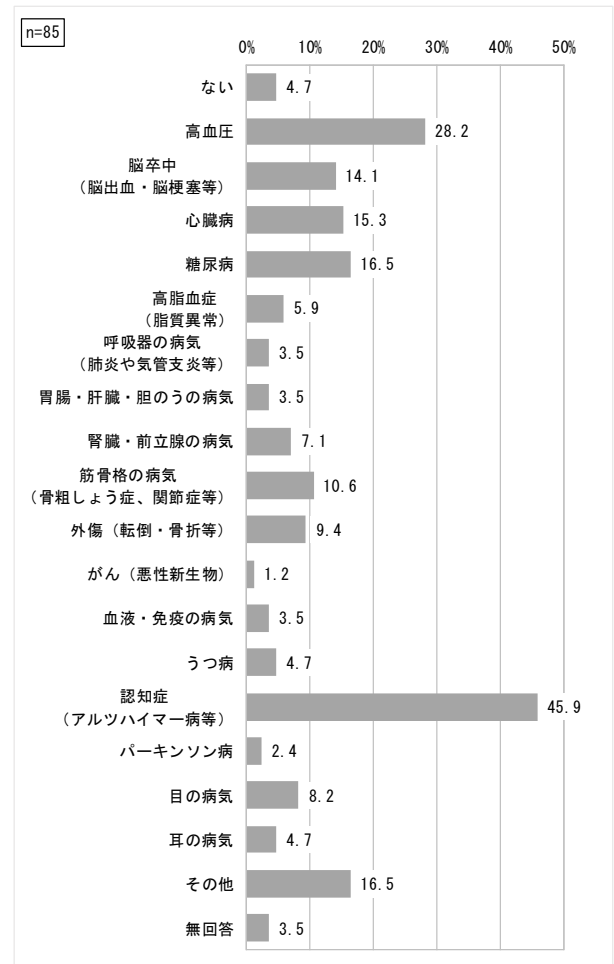


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (4) 施設サービス利用者調査

問1：あなたは、現在治療中、または、後遺症のある病気はありますか。 (MA)

「認知症（アルツハイマー病等）」が最も多く、次いで「高血圧」であり、生活習慣病の方が多く傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	85	100.0
1 ない	4	4.7
2 高血圧	24	28.2
3 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	12	14.1
4 心臓病	13	15.3
5 糖尿病	14	16.5
6 高脂血症（脂質異常）	5	5.9
7 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等）	3	3.5
8 胃腸・肝臓・胆のうの病気	3	3.5
9 腎臓・前立腺の病気	6	7.1
10 筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）	9	10.6
11 外傷（転倒・骨折等）	8	9.4
12 がん（悪性新生物）	1	1.2
13 血液・免疫の病気	3	3.5
14 うつ病	4	4.7
15 認知症（アルツハイマー病等）	39	45.9
16 パーキンソン病	2	2.4
17 目の病気	7	8.2
18 耳の病気	4	4.7
19 その他	14	16.5
- 無回答	3	3.5

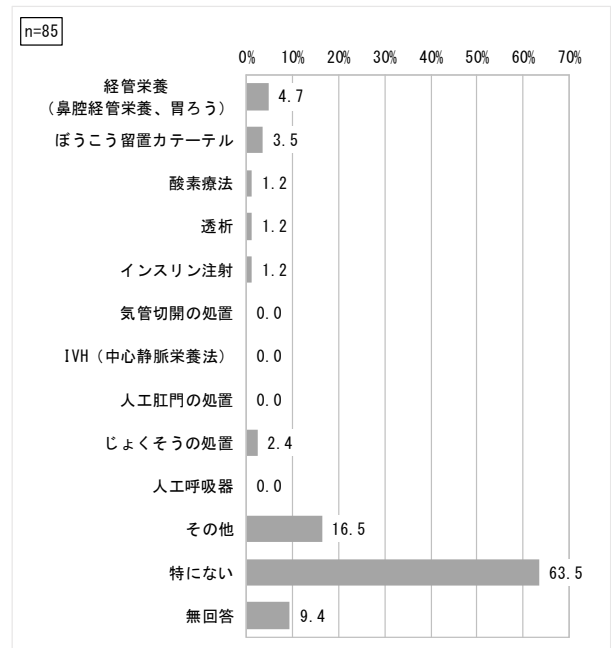


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (4) 施設サービス利用者調査

問2：現在受けている医療処置等は次のうちどれにあたりますか。 (MA)

「特にない」が6割程度です。

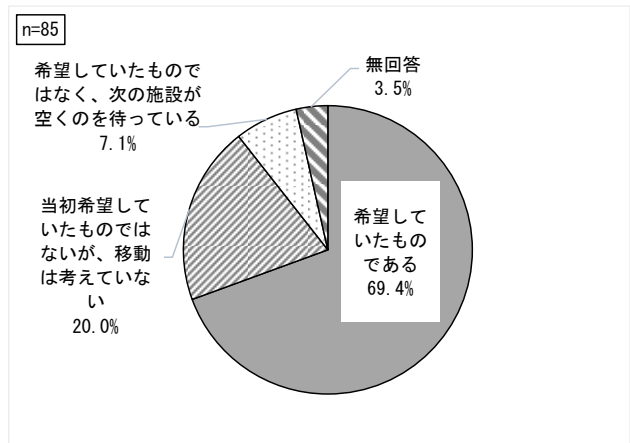
		回答数	%
全体		85	100.0
1	経管栄養 (鼻腔経管栄養、胃ろう)	4	4.7
2	ぼうこう留置カテーテル	3	3.5
3	酸素療法	1	1.2
4	透析	1	1.2
5	インスリン注射	1	1.2
6	気管切開の処置	0	0.0
7	IVH (中心静脈栄養法)	0	0.0
8	人工肛門の処置	0	0.0
9	じょくそうの処置	2	2.4
10	人工呼吸器	0	0.0
11	その他	14	16.5
12	特にない	54	63.5
-	無回答	8	9.4



問3：現在入所している施設の種類は、希望していたものですか。 (SA)

「希望していたものである」が約7割です。

		回答数	%
全体		85	100.0
1	希望していたものである	59	69.4
2	当初希望していたものではないが、移動は考えていない	17	20.0
3	希望していたものではなく、次の施設が空くのを待っている	6	7.1
-	無回答	3	3.5

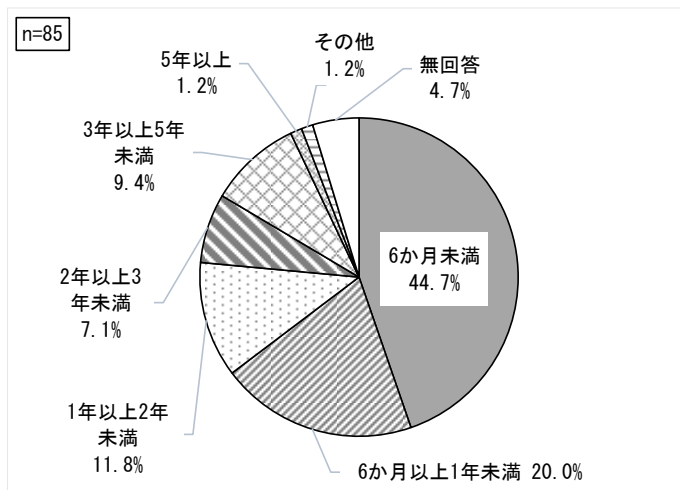


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (4) 施設サービス利用者調査

問4：あなたが、現在の施設への入所が必要になってから（または希望してから）、現在施設に入所されるまでの期間はどれくらいでしたか。（SA）

「6か月未満」が最も多く、次いで「6か月以上1年未満」であり、約半年前後の期間である傾向が見受けられます。

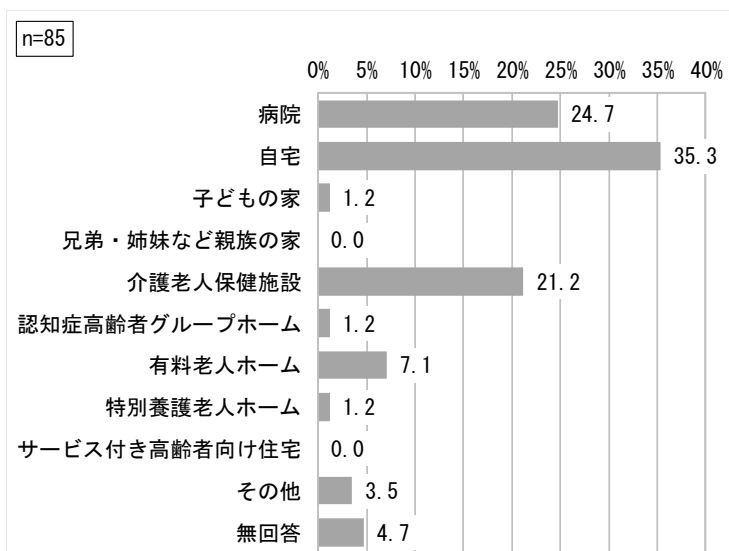
	回答数	%
全体	85	100.0
1 6か月未満	38	44.7
2 6か月以上1年未満	17	20.0
3 1年以上2年未満	10	11.8
4 2年以上3年未満	6	7.1
5 3年以上5年未満	8	9.4
6 5年以上	1	1.2
7 その他	1	1.2
- 無回答	4	4.7



問5：現在の施設に入所される直前の住まい・施設はどこでしたか。（SA）

「自宅」が最も多く、次いで「病院」であり、介護を受けている傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	85	100.0
1 病院	21	24.7
2 自宅	30	35.3
3 子どもの家	1	1.2
4 兄弟・姉妹など親族の家	0	0.0
5 介護老人保健施設	18	21.2
6 認知症高齢者グループホーム	1	1.2
7 有料老人ホーム	6	7.1
8 特別養護老人ホーム	1	1.2
9 サービス付き高齢者向け住宅	0	0.0
10 その他	3	3.5
- 無回答	4	4.7

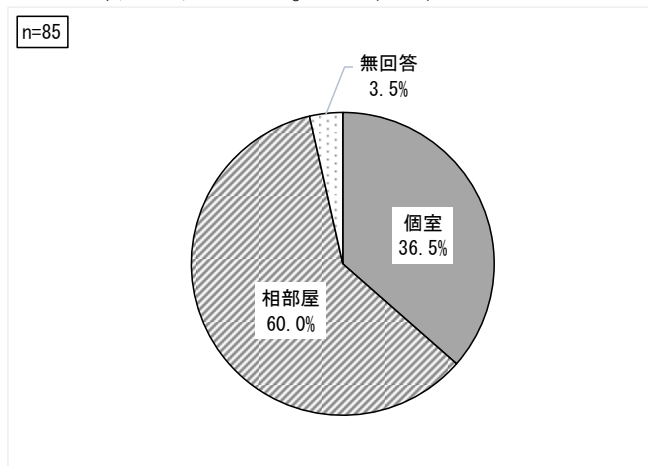


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (4) 施設サービス利用者調査

問 6：現在入所中のあなたの部屋の種類についてお答えください。 (SA)

「相部屋」が6割です。

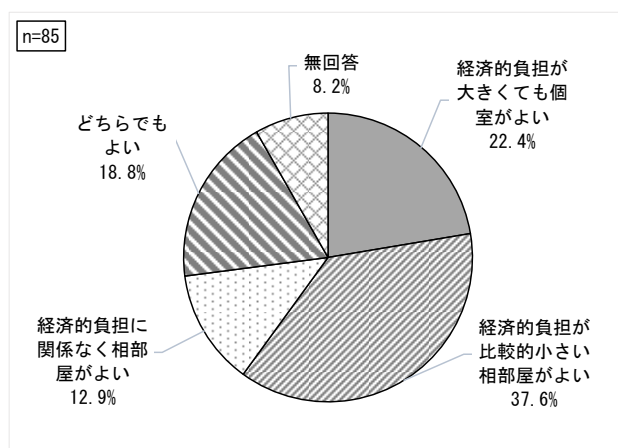
	回答数	%
全体	85	100.0
1 個室	31	36.5
2 相部屋	51	60.0
- 無回答	3	3.5



問 7：あなたは今後、どのような部屋で生活したいですか。 (SA)

「経済的負担が比較的小さい相部屋がよい」が約4割です。

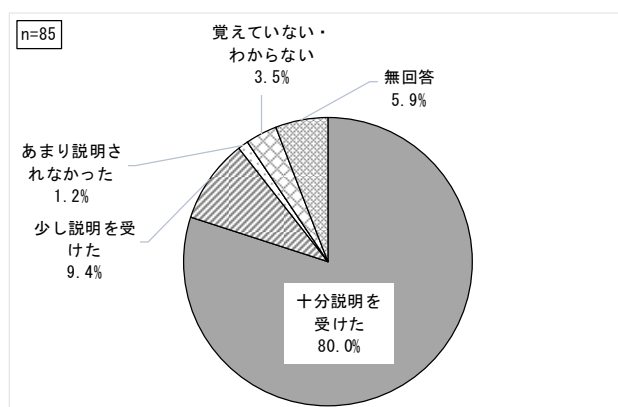
	回答数	%
全体	85	100.0
1 経済的負担が大きくても個室がよい	19	22.4
2 経済的負担が比較的小さい相部屋がよい	32	37.6
3 経済的負担に関係なく相部屋がよい	11	12.9
4 どちらでもよい	16	18.8
- 無回答	7	8.2



問 8：入所されるときに施設の運営方針や費用などの重要事項について、説明が行われましたか。 (SA)

「十分説明を受けた」が8割です。

	回答数	%
全体	85	100.0
1 十分説明を受けた	68	80.0
2 少し説明を受けた	8	9.4
3 あまり説明されなかった	1	1.2
4 説明されなかった	0	0.0
5 覚えていない・わからない	3	3.5
- 無回答	5	5.9

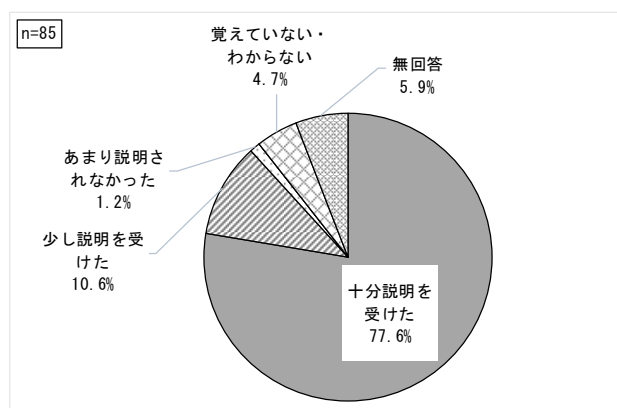


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (4) 施設サービス利用者調査

問9：生活するために必要になるサービスなどについて、詳しく説明が行われましたか。  
(SA)

「十分説明を受けた」が8割程度です。

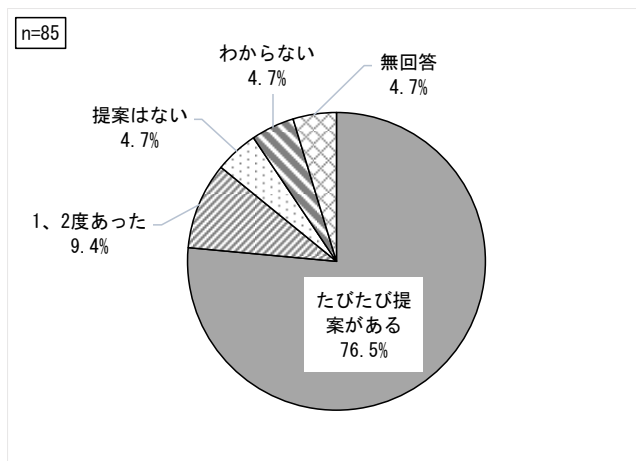
	回答数	%
全体	85	100.0
1 十分説明を受けた	66	77.6
2 少し説明を受けた	9	10.6
3 あまり説明されなかった	1	1.2
4 説明されなかった	0	0.0
5 覚えていない・わからない	4	4.7
- 無回答	5	5.9



問10：施設から、ご本人の体の状況に応じたサービスの提案がありますか。 (SA)

「たびたび提案がある」が8割程度です。

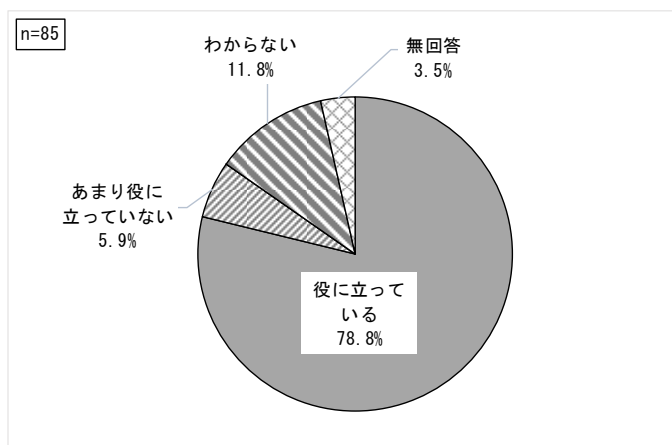
	回答数	%
全体	85	100.0
1 たびたび提案がある	65	76.5
2 1、2度あった	8	9.4
3 提案はない	4	4.7
4 わからない	4	4.7
- 無回答	4	4.7



問11：施設でのサービスは、ご本人の体の状況の維持や改善に役に立っていると思いますか。  
(SA)

「役に立っている」が約8割です。

	回答数	%
全体	85	100.0
1 役に立っている	67	78.8
2 あまり役に立っていない	5	5.9
3 役に立っていない	0	0.0
4 わからない	10	11.8
- 無回答	3	3.5



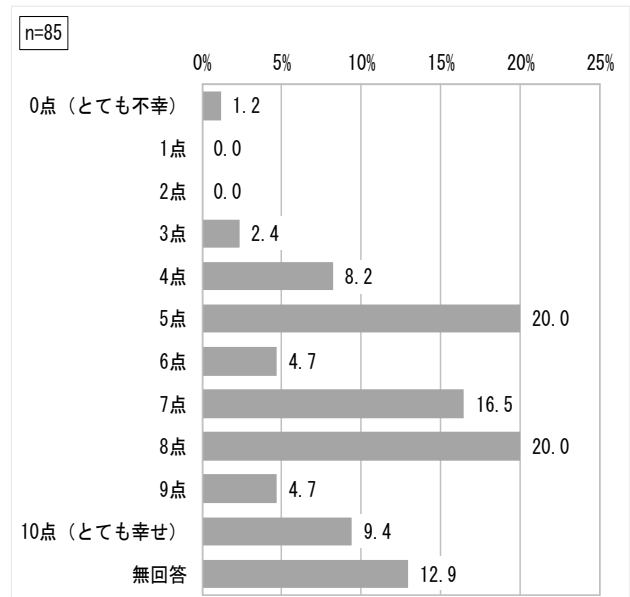


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (4) 施設サービス利用者調査

問 12：あなたは、現在どの程度幸せですか。 (SA)

「8点」「5点」が最も多く、幸福度が高い傾向が見受けられます。

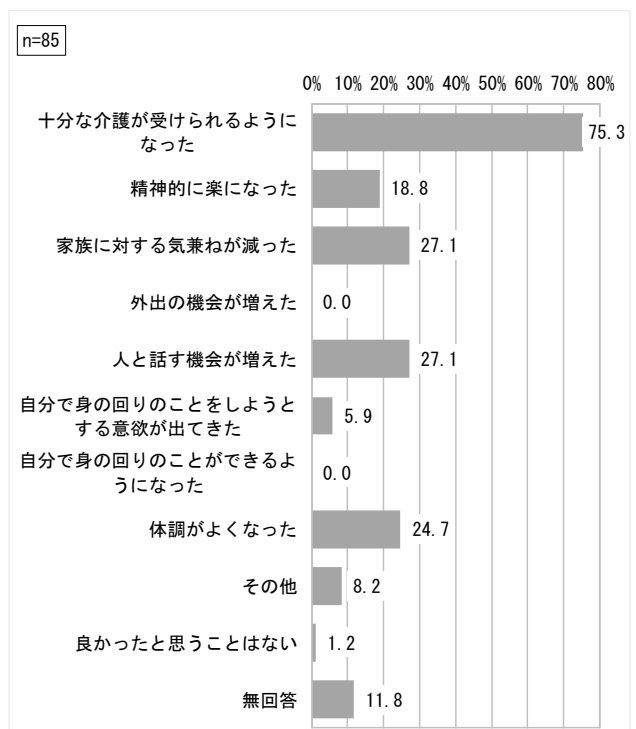
		加重値	回答数	%
全体			85	100.0
0	0点 (とても不幸)	(0)	1	1.2
1	1点	(1)	0	0.0
2	2点	(2)	0	0.0
3	3点	(3)	2	2.4
4	4点	(4)	7	8.2
5	5点	(5)	17	20.0
6	6点	(6)	4	4.7
7	7点	(7)	14	16.5
8	8点	(8)	17	20.0
9	9点	(9)	4	4.7
10	10点 (とても幸せ)	(10)	8	9.4
-	無回答		11	12.9
- 平均値			6.66	
- 標準偏差			2.07	



問 13：あなたが現在の施設に入所して良かったと思うことは何ですか。 (MA)

「十分な介護が受けられるようになった」が8割程度です。

		回答数	%
全体		85	100.0
1	十分な介護が受けられるようになった	64	75.3
2	精神的に楽になった	16	18.8
3	家族に対する気兼ねが減った	23	27.1
4	外出の機会が増えた	0	0.0
5	人と話す機会が増えた	23	27.1
6	自分で身の回りのことをしようとする意欲が出てきた	5	5.9
7	自分で身の回りのことができるようになった	0	0.0
8	体調がよくなった	21	24.7
9	その他	7	8.2
10	良かったと思うことはない	1	1.2
-	無回答	10	11.8

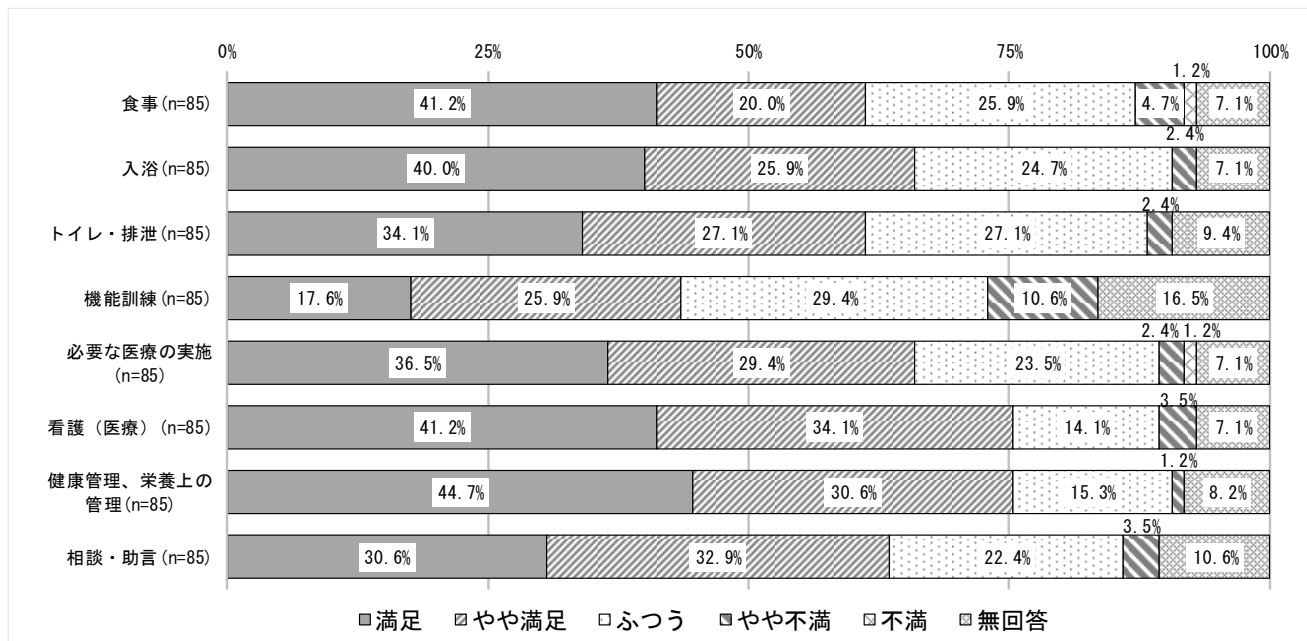


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (4) 施設サービス利用者調査

問 14：サービスの満足度についておたずねします。利用しているサービスには満足していますか。（SAマトリクス）

「機能訓練」「相談・助言」を除いた全項目において「満足」であり、利用しているサービスに満足している傾向が見受けられます。

			全体	1	2	3	4	5	-
				満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
問 14.1	食事	回答数 %	85 100.0	35 41.2	17 20.0	22 25.9	4 4.7	1 1.2	6 7.1
問 14.2	入浴	回答数 %	85 100.0	34 40.0	22 25.9	21 24.7	2 2.4	0 0.0	6 7.1
問 14.3	トイレ・排泄	回答数 %	85 100.0	29 34.1	23 27.1	23 27.1	2 2.4	0 0.0	8 9.4
問 14.4	機能訓練	回答数 %	85 100.0	15 17.6	22 25.9	25 29.4	9 10.6	0 0.0	14 16.5
問 14.5	必要な医療の実施	回答数 %	85 100.0	31 36.5	25 29.4	20 23.5	2 2.4	1 1.2	6 7.1
問 14.6	看護（医療）	回答数 %	85 100.0	35 41.2	29 34.1	12 14.1	3 3.5	0 0.0	6 7.1
問 14.7	健康管理、栄養上の管理	回答数 %	85 100.0	38 44.7	26 30.6	13 15.3	1 1.2	0 0.0	7 8.2
問 14.8	相談・助言	回答数 %	85 100.0	26 30.6	28 32.9	19 22.4	3 3.5	0 0.0	9 10.6

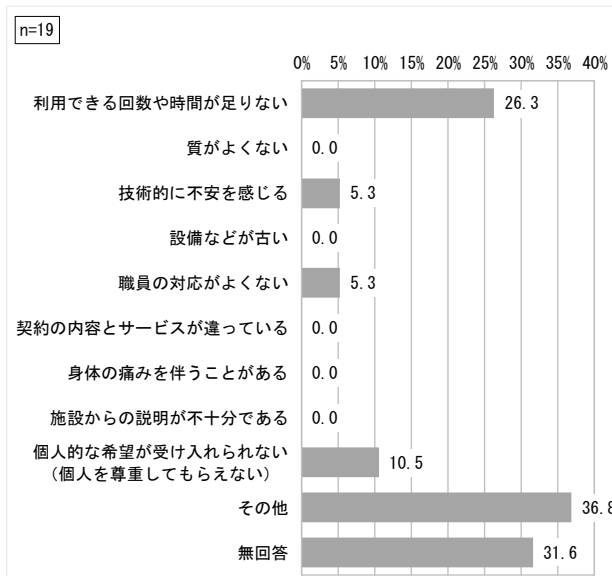


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (4) 施設サービス利用者調査

問 14-1:【問 14 のいずれかで「4」、「5」と回答の方】ご不満である理由は何ですか。(MA)

「利用できる回数や時間が足りない」が最も多く、次いで「個人的な希望が受け入れられない（個人を尊重してもらえない）」であり、利用制限や個人的意見が理由である傾向が見受けられます。

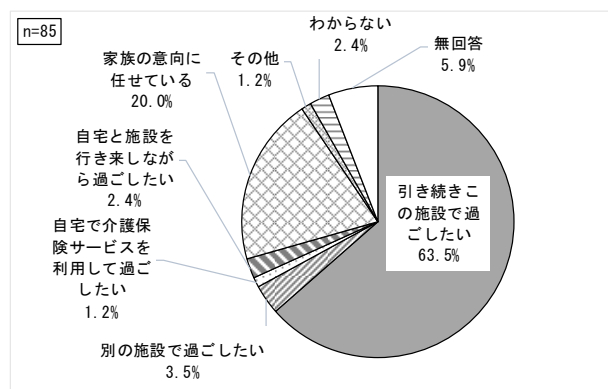
	回答数	%
全体	19	100.0
1 利用できる回数や時間が足りない	5	26.3
2 質がよくない	0	0.0
3 技術的に不安を感じる	1	5.3
4 設備などが古い	0	0.0
5 職員の対応がよくない	1	5.3
6 契約の内容とサービスが違っている	0	0.0
7 身体の痛みを伴うことがある	0	0.0
8 施設からの説明が不十分である	0	0.0
9 個人的な希望が受け入れられない (個人を尊重してもらえない)	2	10.5
10 その他	7	36.8
- 無回答	6	31.6



問 15: 今後、あなたは、どこで生活するのが良いと考えていますか。(SA)

「引き続きこの施設で過ごしたい」が6割程度です。

	回答数	%
全体	85	100.0
1 引き続きこの施設で過ごしたい	54	63.5
2 別の施設で過ごしたい	3	3.5
3 自宅で介護保険サービスを利用して過ごしたい	1	1.2
4 自宅と施設を行き来しながら過ごしたい	2	2.4
5 家族の意向に任せている	17	20.0
6 その他	1	1.2
7 わからない	2	2.4
- 無回答	5	5.9

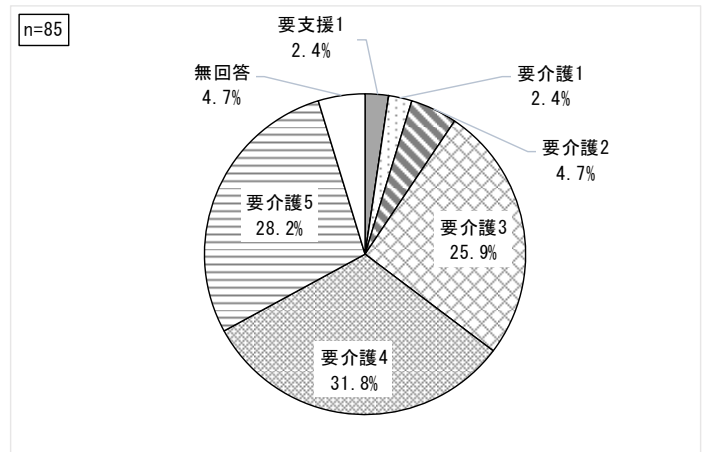


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (4) 施設サービス利用者調査

問 16：あなたの要介護度は次のうちどれですか。 (SA)

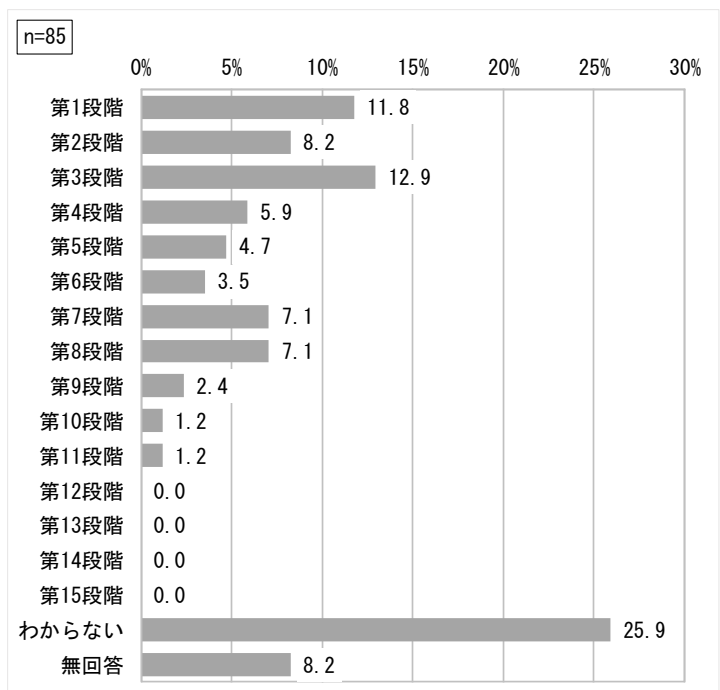
「要介護 4」が最も多く、次いで「要介護 5」であり、必要な介護の度合いが大きい傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	85	100.0
1 要支援1	2	2.4
2 要支援2	0	0.0
3 要介護1	2	2.4
4 要介護2	4	4.7
5 要介護3	22	25.9
6 要介護4	27	31.8
7 要介護5	24	28.2
- 無回答	4	4.7



問 17：あなたの介護保険料の保険段階は次の 1～16 のうちどれですか。 (SA)

	回答数	%
全体	85	100.0
1 第1段階	10	11.8
2 第2段階	7	8.2
3 第3段階	11	12.9
4 第4段階	5	5.9
5 第5段階	4	4.7
6 第6段階	3	3.5
7 第7段階	6	7.1
8 第8段階	6	7.1
9 第9段階	2	2.4
10 第10段階	1	1.2
11 第11段階	1	1.2
12 第12段階	0	0.0
13 第13段階	0	0.0
14 第14段階	0	0.0
15 第15段階	0	0.0
16 わからない	22	25.9
- 無回答	7	8.2

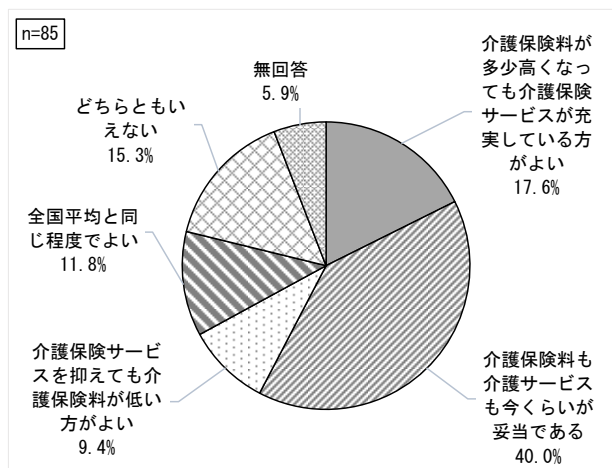


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (4) 施設サービス利用者調査

問 18：今後の介護保険サービスと介護保険料について、あなたの考えに最も近いものは次のうちどれですか。（SA）

「介護保険料も介護サービスも今くらいが妥当である」が4割です。

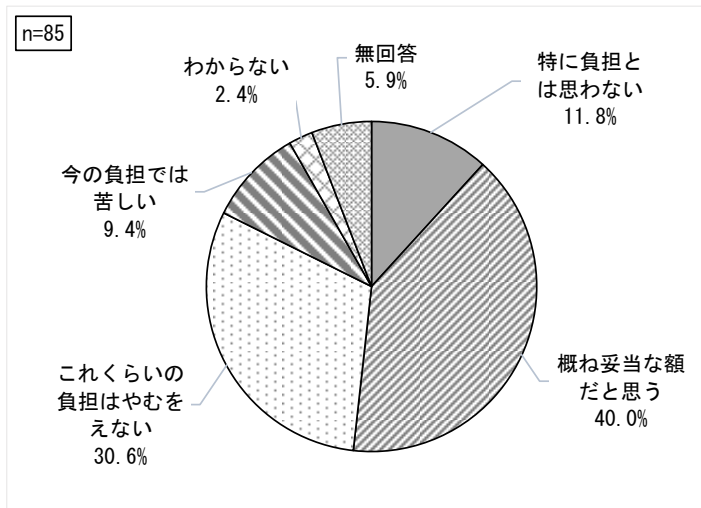
		回答数	%
全体		85	100.0
1	介護保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい	15	17.6
2	介護保険料も介護サービスも今くらいが妥当である	34	40.0
3	介護保険サービスを抑えても介護保険料が低い方がよい	8	9.4
4	全国平均と同じ程度でよい	10	11.8
5	どちらともいえない	13	15.3
-	無回答	5	5.9



問 19：施設利用料月額（限度額）に応じて利用料を負担されていますが、どのようにお考えですか。（SA）

「概ね妥当な額だと思う」が4割です。

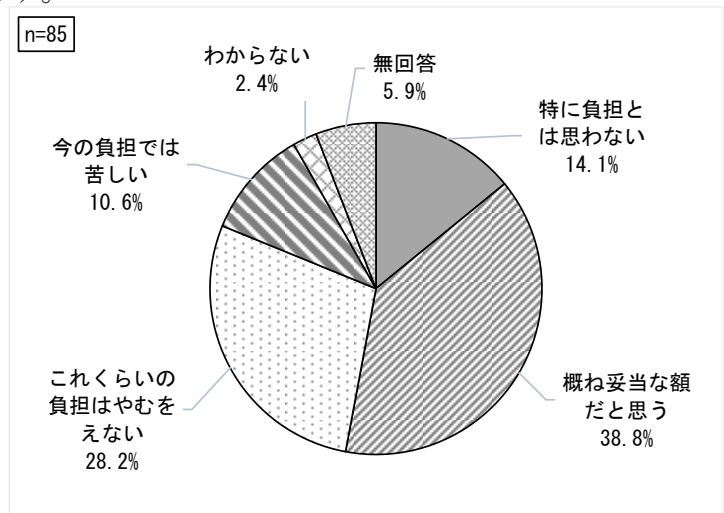
	回答数	%	
全体	85	100.0	
1	特に負担とは思わない	10	11.8
2	概ね妥当な額だと思う	34	40.0
3	これくらいの負担はやむをえない	26	30.6
4	今の負担では苦しい	8	9.4
5	わからない	2	2.4
-	無回答	5	5.9



問 20：居住費と食費の負担については、どのようにお考えですか。 (SA)

「概ね妥当な額だと思う」が約4割です。

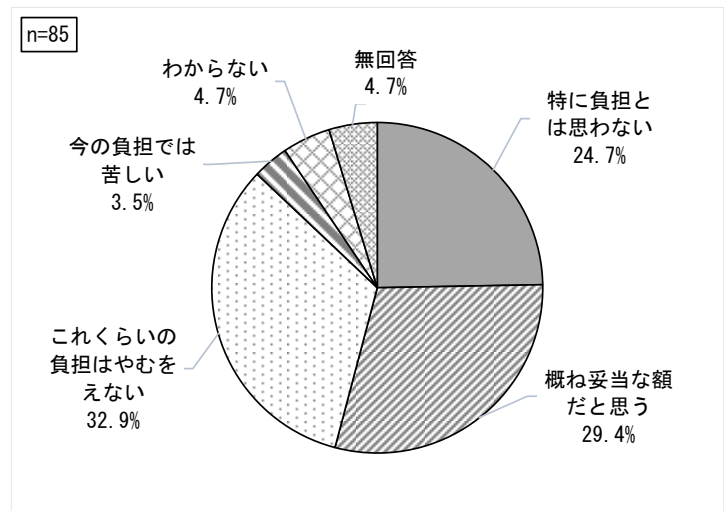
	回答数	%
全体	85	100.0
1 特に負担とは思わない	12	14.1
2 概ね妥当な額だと思う	33	38.8
3 これくらいの負担はやむをえない	24	28.2
4 今の負担では苦しい	9	10.6
5 わからない	2	2.4
- 無回答	5	5.9



問 21：利用料以外の日常生活費（消耗品など）の負担については、どのようにお考えですか。 (SA)

「これくらいの負担はやむをえない」が3割程度です。

	回答数	%
全体	85	100.0
1 特に負担とは思わない	21	24.7
2 概ね妥当な額だと思う	25	29.4
3 これくらいの負担はやむをえない	28	32.9
4 今の負担では苦しい	3	3.5
5 わからない	4	4.7
- 無回答	4	4.7

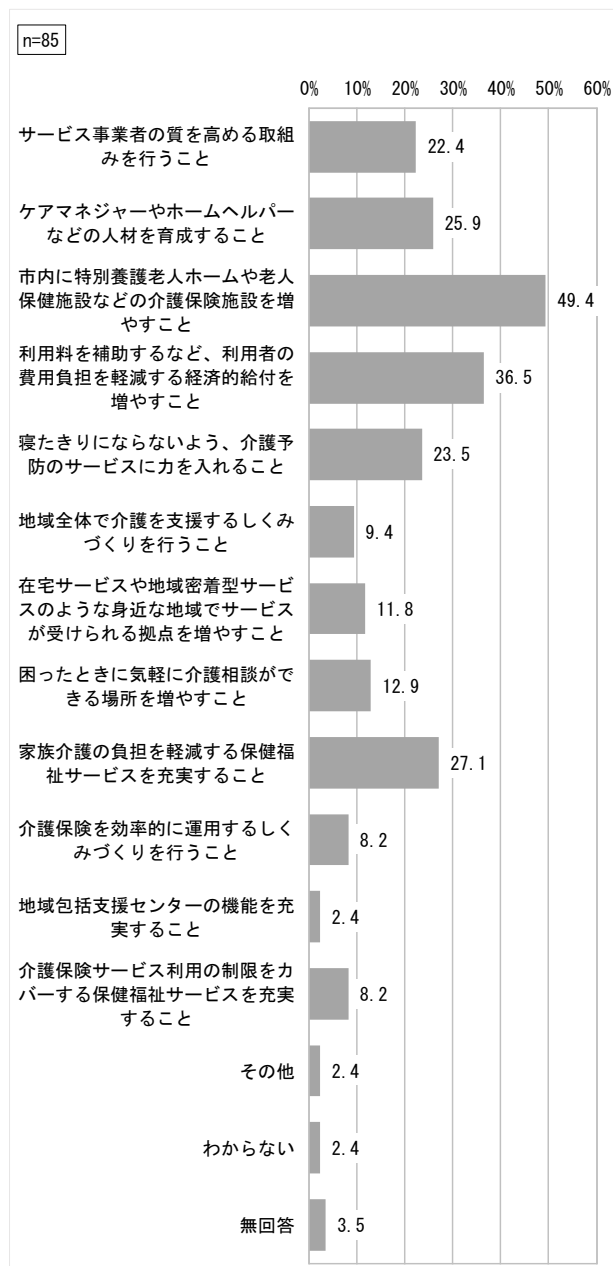


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (4) 施設サービス利用者調査

問 22：「介護保険制度」全体をよりよくするための環境整備として、市が力を入れるべきことは次のうちどれだと思いますか。(3つまで選択) (MA)

「市内に特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設を増やすこと」が最も多く、次いで「利用料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減する経済的給付を増やすこと」であり、施設の充実や経済支援を希望する傾向が見受けられます。

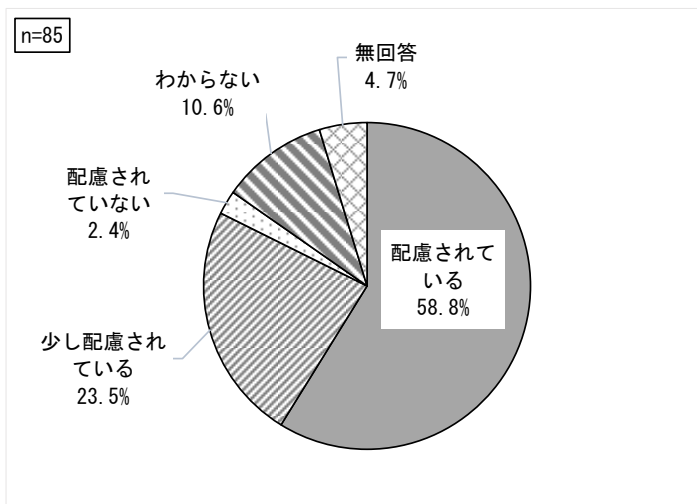
		回答数	%
全体		85	100.0
1	サービス事業者の質を高める取組みを行うこと	19	22.4
2	ケアマネジャーやホームヘルパーなどの人材を育成すること	22	25.9
3	市内に特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設を増やすこと	42	49.4
4	利用料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減する経済的給付を増やすこと	31	36.5
5	寝たきりにならないよう、介護予防のサービスに力を入れること	20	23.5
6	地域全体で介護を支援するしくみづくりを行うこと	8	9.4
7	在宅サービスや地域密着型サービスのような身近な地域でサービスが受けられる拠点を増やすこと	10	11.8
8	困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やすこと	11	12.9
9	家族介護の負担を軽減する保健福祉サービスを充実すること	23	27.1
10	介護保険を効率的に運用するしくみづくりを行うこと	7	8.2
11	地域包括支援センターの機能を充実すること	2	2.4
12	介護保険サービス利用の制限をカバーする保健福祉サービスを充実すること	7	8.2
13	その他	2	2.4
14	わからない	2	2.4
-	無回答	3	3.5



問 23：施設ではプライバシーへの配慮がなされていると思いますか。 (SA)

「配慮されている」が約6割です。

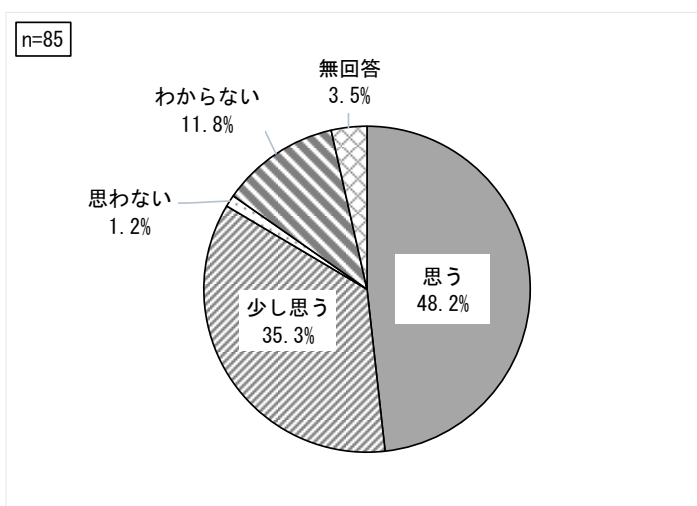
	回答数	%
全体	85	100.0
1 配慮されている	50	58.8
2 少し配慮されている	20	23.5
3 配慮されていない	2	2.4
4 わからない	9	10.6
- 無回答	4	4.7



問 24：施設ではご本人の気持ちや希望が尊重されていると思いますか。 (SA)

「思う」が約5割です。

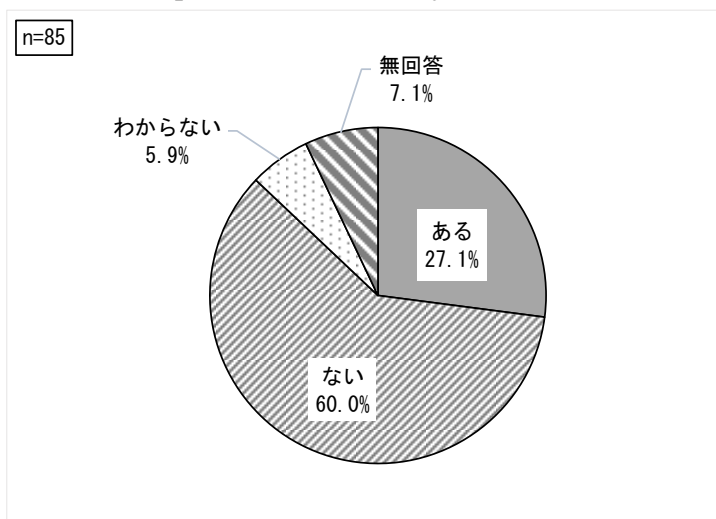
	回答数	%
全体	85	100.0
1 思う	41	48.2
2 少し思う	30	35.3
3 思わない	1	1.2
4 わからない	10	11.8
- 無回答	3	3.5



問 25：施設では、ベッドに柵をつける、車いすにベルトで固定するなど、ご本人のからだの動作の制限をすることがありますか。 (SA)

ご本人のからだの動作の制限をすることが「ある」が3割程度です。

	回答数	%
全体	85	100.0
1 ある	23	27.1
2 ない	51	60.0
3 わからない	5	5.9
- 無回答	6	7.1

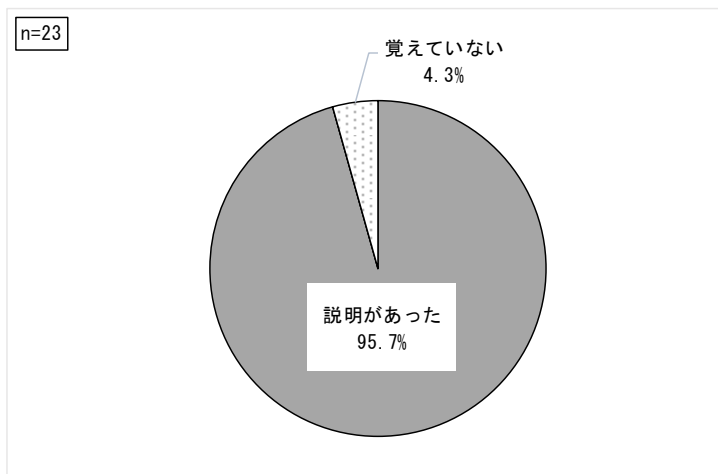




問 25-1: 【問 25 で「1.ある」と回答の方】 からだの動作の制限をすることについて、説明がありましたか。 (SA)

「説明があった」が最も多いです。

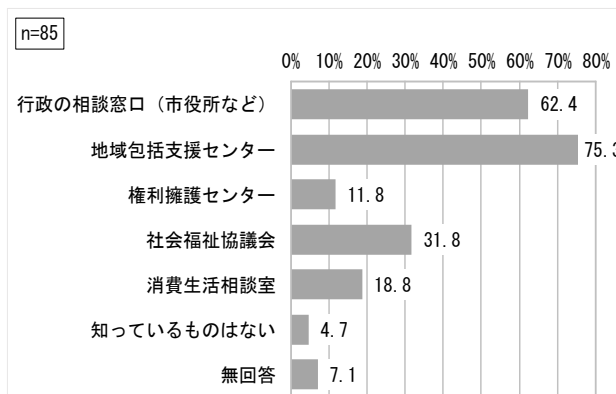
	回答数	%
全体	23	100.0
1 説明があった	22	95.7
2 説明はなかった	0	0.0
3 覚えていない	1	4.3



問 26: 高齢者の権利や生活を守るための相談窓口として以下のようなものがありますが、あなたの知っているものはありますか。 (MA)

「地域包括支援センター」が最も多く、次いで「行政の相談窓口 (市役所など)」であり、地域の相談窓口の認知度が高い傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	85	100.0
1 行政の相談窓口 (市役所など)	53	62.4
2 地域包括支援センター	64	75.3
3 権利擁護センター	10	11.8
4 社会福祉協議会	27	31.8
5 消費生活相談室	16	18.8
6 知っているものはない	4	4.7
- 無回答	6	7.1

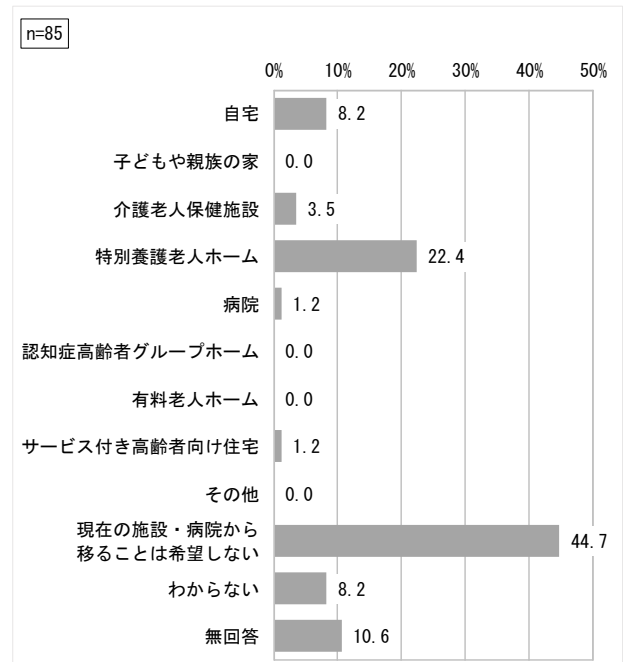


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (4) 施設サービス利用者調査

問 27：この施設・病院などを退所される場合に、次に移る所はどちらを希望しますか。  
(SA)

「現在の施設・病院から移ることは希望しない」が4割程度です。

	回答数	%
全体	85	100.0
1 自宅	7	8.2
2 子どもや親族の家	0	0.0
3 介護老人保健施設	3	3.5
4 特別養護老人ホーム	19	22.4
5 病院	1	1.2
6 認知症高齢者グループホーム	0	0.0
7 有料老人ホーム	0	0.0
8 サービス付き高齢者向け住宅	1	1.2
9 その他	0	0.0
10 現在の施設・病院から 移ることは希望しない	38	44.7
11 わからない	7	8.2
- 無回答	9	10.6

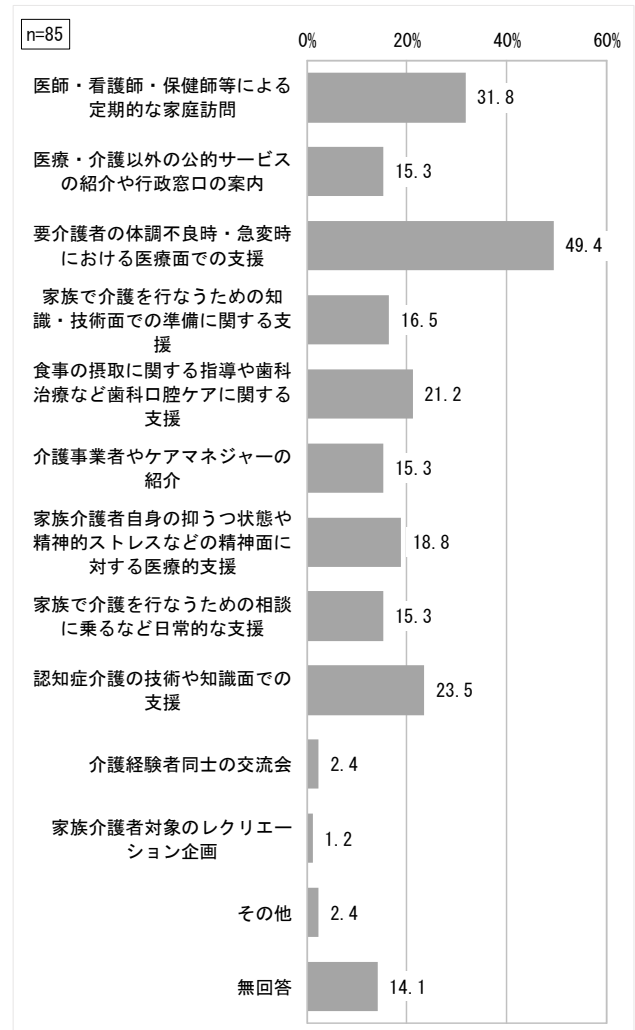


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (4) 施設サービス利用者調査

問 28：介護支援施策として必要なことは何だと思いますか。(3 つまで選択) (MA)

「要介護者の体調不良時・急変時における医療面での支援」が最も多く、次いで「医師・看護師・保健師等による定期的な家庭訪問」であり、健康状態を重視する傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	85	100.0
1 医師・看護師・保健師等による定期的な家庭訪問	27	31.8
2 医療・介護以外の公的サービスの紹介や行政窓口の案内	13	15.3
3 要介護者の体調不良時・急変時における医療面での支援	42	49.4
4 家族で介護を行なうための知識・技術面での準備に関する支援	14	16.5
5 食事の摂取に関する指導や歯科治療など歯科口腔ケアに関する支援	18	21.2
6 介護事業者やケアマネジャーの紹介	13	15.3
7 家族介護者自身の抑うつ状態や精神的ストレスなどの精神面に対する医療的支援	16	18.8
8 家族で介護を行なうための相談に乗るなど日常的な支援	13	15.3
9 認知症介護の技術や知識面での支援	20	23.5
10 介護経験者同士の交流会	2	2.4
11 家族介護者対象のレクリエーション企画	1	1.2
12 その他	2	2.4
- 無回答	12	14.1

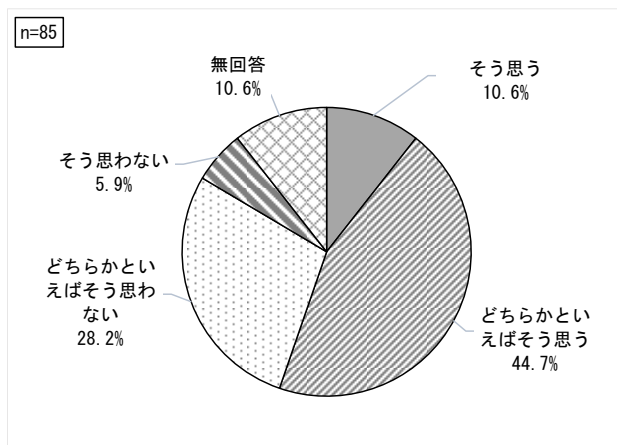


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (4) 施設サービス利用者調査

問 29：小金井市では、「誰もが安心して暮らせる思いやりのあるまち」の実現をめざしています。あなたは、小金井市は「誰もが安心して暮らせる思いやりのあるまち」だと思いますか。（SA）

「どちらかといえばそう思う」「そう思う」が5割程度であり、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」が3割程度です。

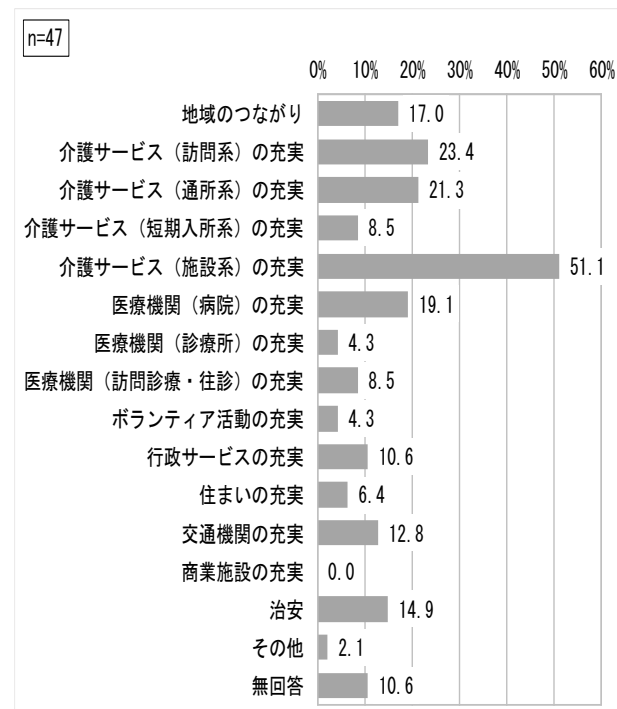
	回答数	%
全体	85	100.0
1 そう思う	9	10.6
2 どちらかといえばそう思う	38	44.7
3 どちらかといえばそう思わない	24	28.2
4 そう思わない	5	5.9
- 無回答	9	10.6



問 30-1：【問 29 で「1.そう思う」～「2.どちらかといえばそう思う」と回答の方】その理由は何ですか。（3つまで選択）（MA）

「介護サービス（施設系）の充実」が最も多く、次いで「介護サービス（訪問系）の充実」であり、介護サービスが充実している傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	47	100.0
1 地域のつながり	8	17.0
2 介護サービス（訪問系）の充実	11	23.4
3 介護サービス（通所系）の充実	10	21.3
4 介護サービス（短期入所系）の充実	4	8.5
5 介護サービス（施設系）の充実	24	51.1
6 医療機関（病院）の充実	9	19.1
7 医療機関（診療所）の充実	2	4.3
8 医療機関（訪問診療・往診）の充実	4	8.5
9 ボランティア活動の充実	2	4.3
10 行政サービスの充実	5	10.6
11 住まいの充実	3	6.4
12 交通機関の充実	6	12.8
13 商業施設の充実	0	0.0
14 治安	7	14.9
15 その他	1	2.1
- 無回答	5	10.6

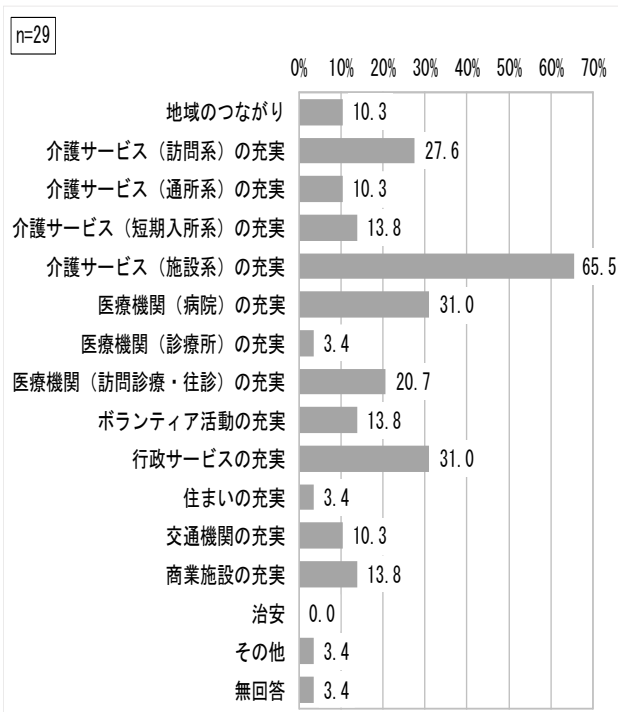


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (4) 施設サービス利用者調査

問 30-2：【問 29 で「3.どちらかといえばそう思わない」～「4.そう思わない」と回答の方】どの項目が改善したら、「そう思う」ようになりますか。(3つまで選択) (MA)

「介護サービス（施設系）の充実」が最も多く、次いで「医療機関（病院）の充実」、「行政サービスの充実」であり、介護サービスや医療機関、行政サービスの改善を望む方が多く、「誰もが安心して暮らせる思いやりのあるまち」として介護サービスの充実が重視されている傾向が見受けられます。

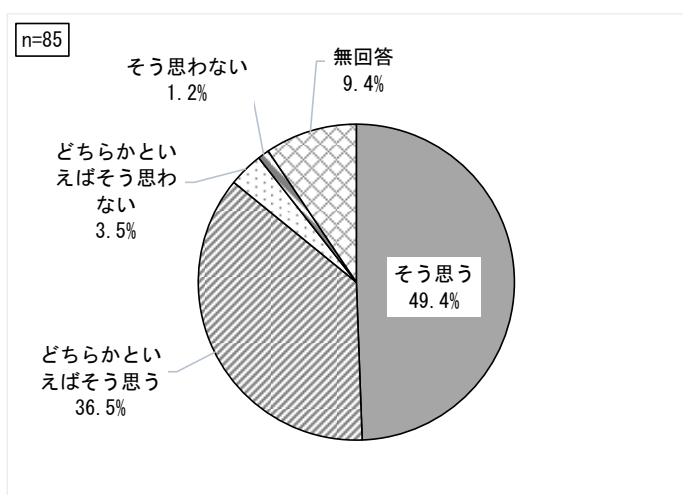
	回答数	%
全体	29	100.0
1 地域のつながり	3	10.3
2 介護サービス（訪問系）の充実	8	27.6
3 介護サービス（通所系）の充実	3	10.3
4 介護サービス（短期入所系）の充実	4	13.8
5 介護サービス（施設系）の充実	19	65.5
6 医療機関（病院）の充実	9	31.0
7 医療機関（診療所）の充実	1	3.4
8 医療機関（訪問診療・往診）の充実	6	20.7
9 ボランティア活動の充実	4	13.8
10 行政サービスの充実	9	31.0
11 住まいの充実	1	3.4
12 交通機関の充実	3	10.3
13 商業施設の充実	4	13.8
14 治安	0	0.0
15 その他	1	3.4
- 無回答	1	3.4



問 31：あなたは、今後も小金井市に住み続けたいと思いますか。 (SA)

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が9割程度であり、住み続けたい傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	85	100.0
1 そう思う	42	49.4
2 どちらかといえばそう思う	31	36.5
3 どちらかといえばそう思わない	3	3.5
4 そう思わない	1	1.2
- 無回答	8	9.4



問 32：高齢者支援施策について、小金井市へのご意見・ご要望や知りたい情報などがありましたら、ご自由にお書きください。(注)

- 医療保険料負担割が1割から2割になることが検討されているので、介護保険料なども高くなると、とても厳しい。介護職の方々の人手不足、賃金が低いことなど、介護の質向上には、資金が必要とも思う。国、都からの努力で、補助できるといいですね。
- 妻の認知症になって12年、今では食事もとれず1月から入院、今では近くの大病院に長期入院中。費用の増大です。他の方も同じと思う私は妻をと思毎日です。高齢者が多くなる今で大切にしよう。
- 東小金井駅前の整備事業に関連し、駅前に大型・高性能のゴミ焼却場を設置し、その熱で介護施設、スポーツジム、プール等、併設する施設のエネルギーをまかなう。ケアマネジャー、ホームヘルパーなどの人材育成とともに、ハードの整備にも、いっそう力を入れてもらいたい。
- 特別養老老人ホームは今後もっと必要になると思います。積極的に増やしてほしい。
- “病院”、“地・包・支・センター”、“デイサービス”、“ショートステイ”、“老人ホーム”を密に近距離で配置し、市を4分割した各々のエリアにこのサイクルを4ヶ所配備出来ればかなりの御老人が(及びその御家族)助かると思います。
- 本人は、小金井に住み続けたいと思っていますが、施設(特養)の順番待ちが大変で、比較的すぐ入所できそうな川口市の特養に入所致しました。もう少し施設数を増やして頂けたら嬉しいです。また、現在の年金制度では、夫婦二人で特養入所(一緒の所)は、経済的にも入所基準的にもハードルが高いです。超高齢であっても、夫婦二人一緒に暮らせる体制(施設入所も含めて)を整えて頂きたく思います。さらに、高齢者で自由に外出できない方は、いつも孤独感と淋しさを感じています。一緒に同店している家族も介護費用捻出の為、なかなかゆっくり話し相手になる時間が持てないのが現状です。ボランティアでの話し相手が増えればとても助かります。(施設(施設の介護担当者でもなかなか個人一人一人とゆっくり話す時間はないと思います。)までは訪問して頂ければ幸いです。)
- 高齢者支援施策とは別だが、死んだ主人に対してまだ納税さいそくがくるのはなっとくいかない。
- 自宅介護は家族の働く機会を失わせる。地域経済にとってもマイナス。希望者に可能な限り提供できる長期医療施設、特養を市内市外に作るべき。
- 1人暮らしや老人だけの世帯の見回りを充実させていただきたい。低所得の人でも利用できる施設等あったら安心できます。

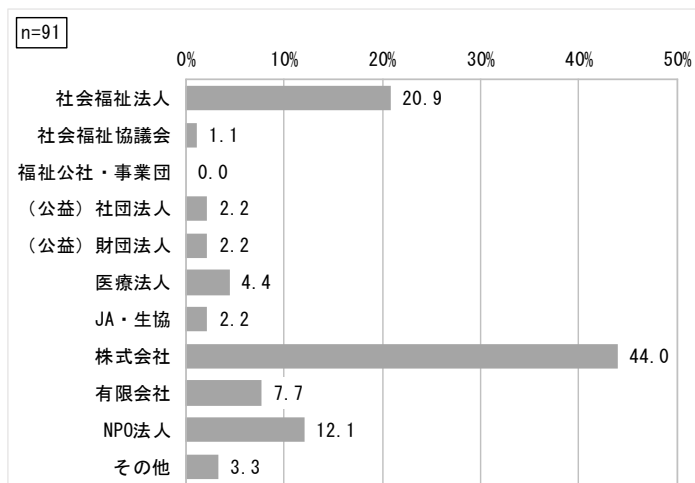
(注) 主な意見として回答を抜粋し、原文のまま掲載しています。

(5) 事業者調査

問 2-1：活動状況についてお教えてください。／組織形態 (SA)

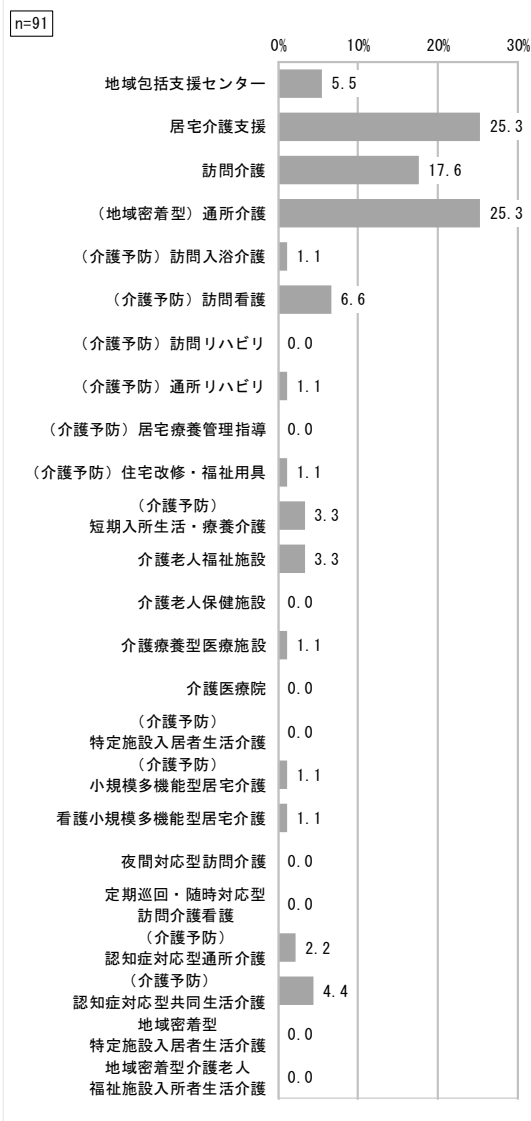
「株式会社」が4割を超えており、次いで「社会福祉法人」です。

	回答数	%
全体	91	100.0
1 社会福祉法人	19	20.9
2 社会福祉協議会	1	1.1
3 福祉公社・事業団	0	0.0
4 (公益) 社団法人	2	2.2
5 (公益) 財団法人	2	2.2
6 医療法人	4	4.4
7 JA・生協	2	2.2
8 株式会社	40	44.0
9 有限会社	7	7.7
10 NPO 法人	11	12.1
11 その他	3	3.3



問 2-2：活動状況についてお教えてください。／貴事業所の種類 (SA)

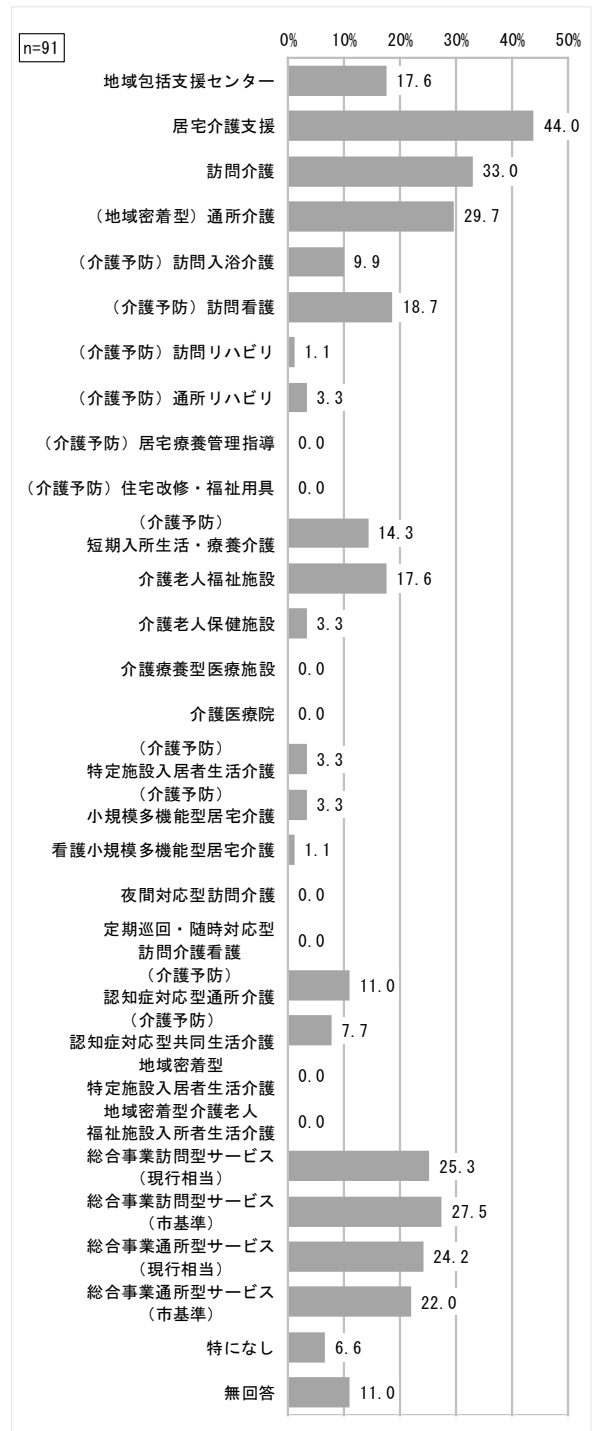
	回答数	%
全体	91	100.0
1 地域包括支援センター	5	5.5
2 居宅介護支援	23	25.3
3 訪問介護	16	17.6
4 (地域密着型) 通所介護	23	25.3
5 (介護予防) 訪問入浴介護	1	1.1
6 (介護予防) 訪問看護	6	6.6
7 (介護予防) 訪問リハビリ	0	0.0
8 (介護予防) 通所リハビリ	1	1.1
9 (介護予防) 居宅療養管理指導	0	0.0
10 (介護予防) 住宅改修・福祉用具	1	1.1
11 (介護予防) 短期入所生活・療養介護	3	3.3
12 介護老人福祉施設	3	3.3
13 介護老人保健施設	0	0.0
14 介護療養型医療施設	1	1.1
15 介護医療院	0	0.0
16 (介護予防) 特定施設入居者生活介護	0	0.0
17 (介護予防) 小規模多機能型居宅介護	1	1.1
18 看護小規模多機能型居宅介護	1	1.1
19 夜間対応型訪問介護	0	0.0
20 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	0.0
21 (介護予防) 認知症対応型通所介護	2	2.2
22 (介護予防) 認知症対応型共同生活介護	4	4.4
23 地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0.0
24 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0	0.0



第2章 調査の結果 4 単純集計 (5) 事業者調査

問 2-3：活動状況について教えてください。／併設する事業所の種類 (MA)

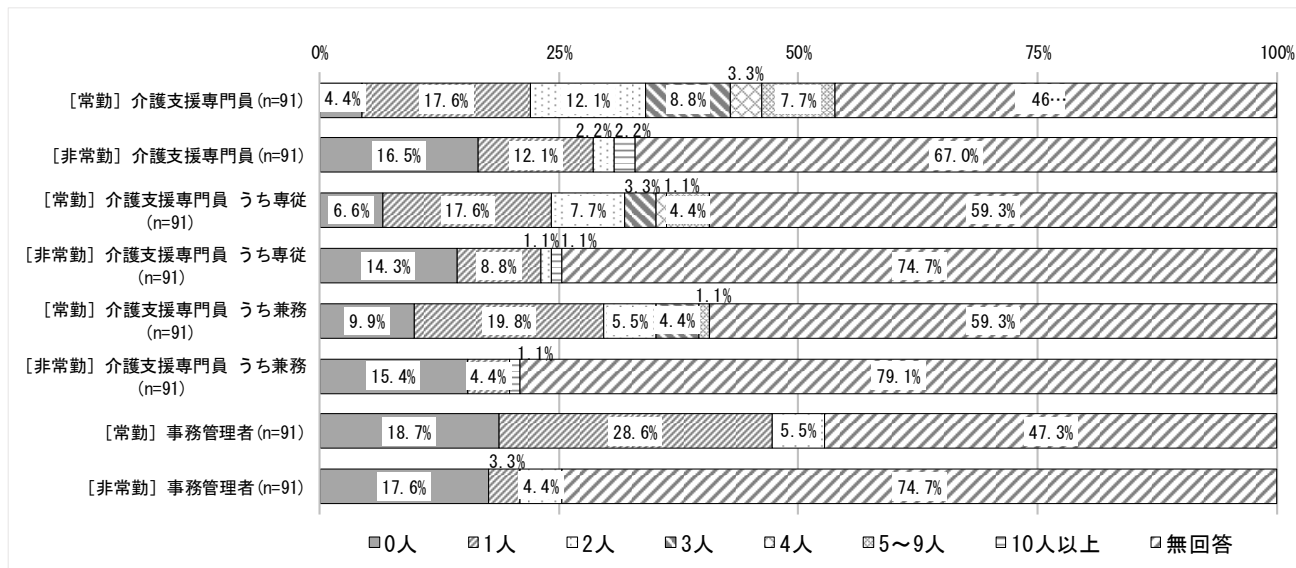
	回答数	%
全体	91	100.0
1 地域包括支援センター	16	17.6
2 居宅介護支援	40	44.0
3 訪問介護	30	33.0
4 (地域密着型) 通所介護	27	29.7
5 (介護予防) 訪問入浴介護	9	9.9
6 (介護予防) 訪問看護	17	18.7
7 (介護予防) 訪問リハビリ	1	1.1
8 (介護予防) 通所リハビリ	3	3.3
9 (介護予防) 居宅療養管理指導	0	0.0
10 (介護予防) 住宅改修・福祉用具	0	0.0
11 (介護予防) 短期入所生活・療養介護	13	14.3
12 介護老人福祉施設	16	17.6
13 介護老人保健施設	3	3.3
14 介護療養型医療施設	0	0.0
15 介護医療院	0	0.0
16 (介護予防) 特定施設入居者生活介護	3	3.3
17 (介護予防) 小規模多機能型居宅介護	3	3.3
18 看護小規模多機能型居宅介護	1	1.1
19 夜間対応型訪問介護	0	0.0
20 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	0.0
21 (介護予防) 認知症対応型通所介護	10	11.0
22 (介護予防) 認知症対応型共同生活介護	7	7.7
23 地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0.0
24 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0	0.0
25 総合事業訪問型サービス (現行相当)	23	25.3
26 総合事業訪問型サービス (市基準)	25	27.5
27 総合事業通所型サービス (現行相当)	22	24.2
28 総合事業通所型サービス (市基準)	20	22.0
29 特になし	6	6.6
- 無回答	10	11.0





## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (5) 事業者調査

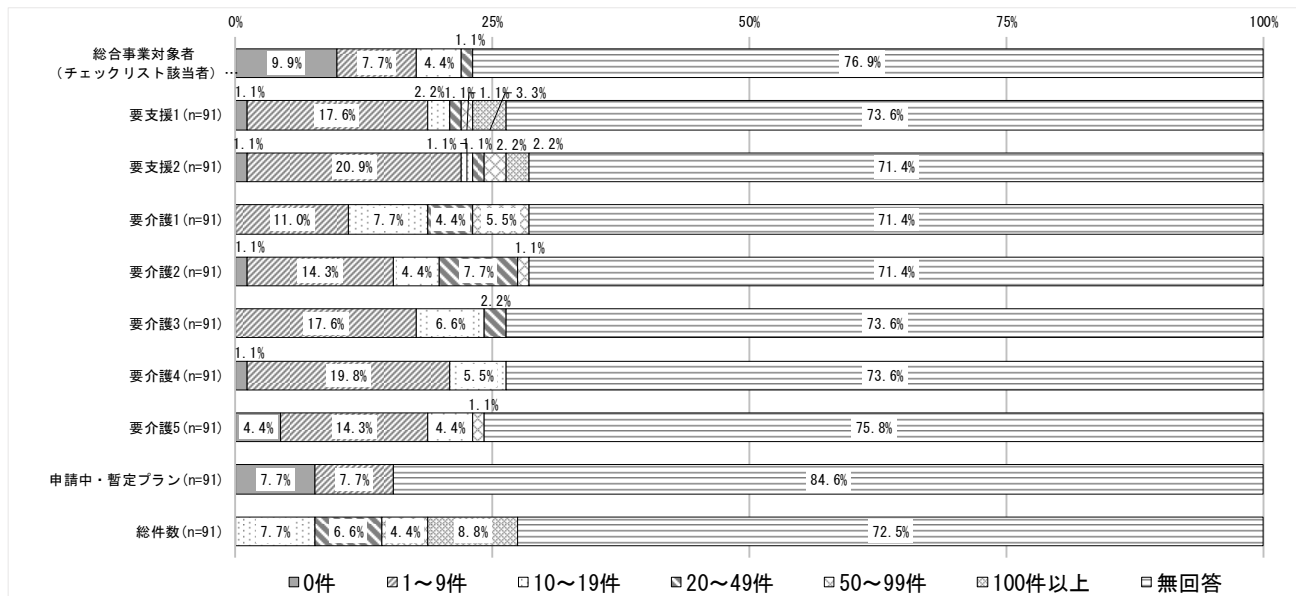
問 2-4：活動状況についてお教えてください。／職員・スタッフの人数 ※非常勤は常勤換算でご回答ください [\_\_人] (数値マトリクス)



問	職種	回答数	%	人数							平均値	標準偏差	最小値	最大値	
				0人	1人	2人	3人	4人	5~9人	10人以上					
問 2-4.1	[常勤] 介護支援専門員	91	100.0	4	16	11	8	3	7	0	42	2.33	1.75	0.00	7.00
問 2-4.2	[非常勤] 介護支援専門員	91	100.0	15	11	2	0	0	0	2	61	1.43	3.32	0.00	16.00
問 2-4.3	[常勤] 介護支援専門員 うち専従	91	100.0	6	16	7	3	1	4	0	54	1.78	1.70	0.00	7.00
問 2-4.4	[非常勤] 介護支援専門員 うち専従	91	100.0	13	8	1	0	0	0	1	68	0.88	2.08	0.00	10.00
問 2-4.5	[常勤] 介護支援専門員 うち兼務	91	100.0	9	18	5	4	0	1	0	54	1.22	1.11	0.00	5.00
問 2-4.6	[非常勤] 介護支援専門員 うち兼務	91	100.0	14	4	0	0	0	0	1	72	1.05	3.64	0.00	16.00
問 2-4.7	[常勤] 事務管理者	91	100.0	17	26	5	0	0	0	0	43	0.75	0.64	0.00	2.00
問 2-4.8	[非常勤] 事務管理者	91	100.0	16	3	4	0	0	0	0	68	0.48	0.79	0.00	2.00

## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (5) 事業者調査

問3：【問2-2=2 | 問2-3=2】令和元年10月に小金井市の要支援・要介護認定者、総合事業対象者（チェックリスト該当者）に対し作成したケアプランの給付管理件数は何件でしたか。[\_\_件] （数値マトリクス）



	全体	0	1	10	20	50	100	-	平均値	標準偏差	最小値	最大値
		0件	1~9件	10~19件	20~49件	50~99件	100件以上	無回答				
問3.1 総合事業対象者 (チェックリスト該当者)	回答数 91 % 100.0	9 9.9	7 7.7	4 4.4	1 1.1	0 0.0	0 0.0	70 76.9	4.05	7.13	0.00	28.00
問3.2 要支援1	回答数 91 % 100.0	1 1.1	16 17.6	2 2.2	1 1.1	1 1.1	3 3.3	67 73.6	24.42	44.96	0.00	141.00
問3.3 要支援2	回答数 91 % 100.0	1 1.1	19 20.9	1 1.1	1 1.1	2 2.2	2 2.2	65 71.4	21.15	39.93	0.00	141.00
問3.4 要介護1	回答数 91 % 100.0	0 0.0	10 11.0	7 7.7	4 4.4	5 5.5	0 0.0	65 71.4	23.54	22.33	2.00	71.00
問3.5 要介護2	回答数 91 % 100.0	1 1.1	13 14.3	4 4.4	7 7.7	1 1.1	0 0.0	65 71.4	13.92	13.84	0.00	52.00
問3.6 要介護3	回答数 91 % 100.0	0 0.0	16 17.6	6 6.6	2 2.2	0 0.0	0 0.0	67 73.6	8.17	7.73	1.00	34.00
問3.7 要介護4	回答数 91 % 100.0	1 1.1	18 19.8	5 5.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	67 73.6	5.25	5.12	0.00	18.00
問3.8 要介護5	回答数 91 % 100.0	4 4.4	13 14.3	4 4.4	0 0.0	1 1.1	0 0.0	69 75.8	6.82	13.03	0.00	62.00
問3.9 申請中・暫定プラン	回答数 91 % 100.0	7 7.7	7 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	77 84.6	0.64	0.74	0.00	2.00
問3.10 総件数	回答数 91 % 100.0	0 0.0	0 0.0	7 7.7	6 6.6	4 4.4	8 8.8	66 72.5	82.36	83.94	14.00	297.00

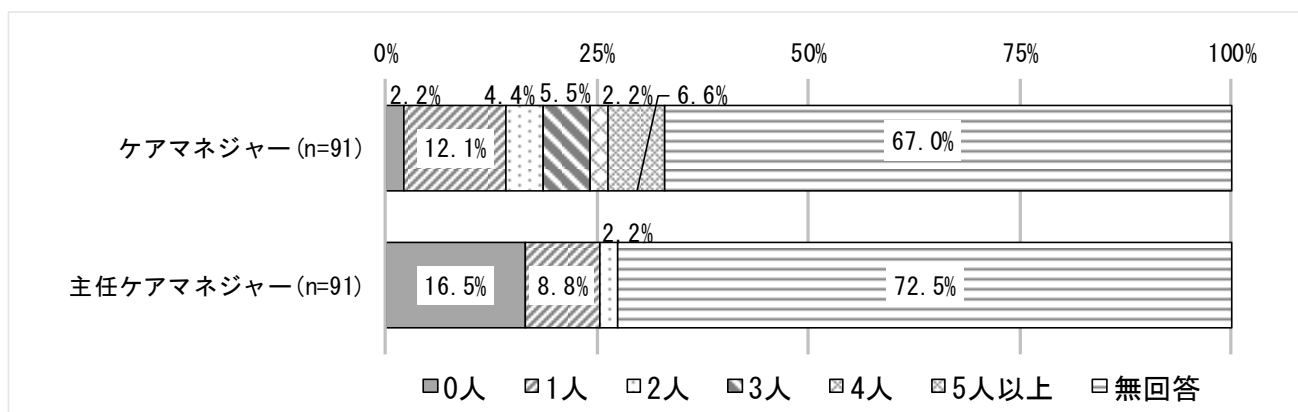
## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (5) 事業者調査

問4：【問2-2=2 | 問2-3=2】貴事業所の中で、小金井市を中心に活動しているケアマネジャーは何人いますか。そのうち主任ケアマネジャーは何人いますか。〔\_\_人〕

(数値マトリクス)

1事業所あたり平均2.5人となっています。

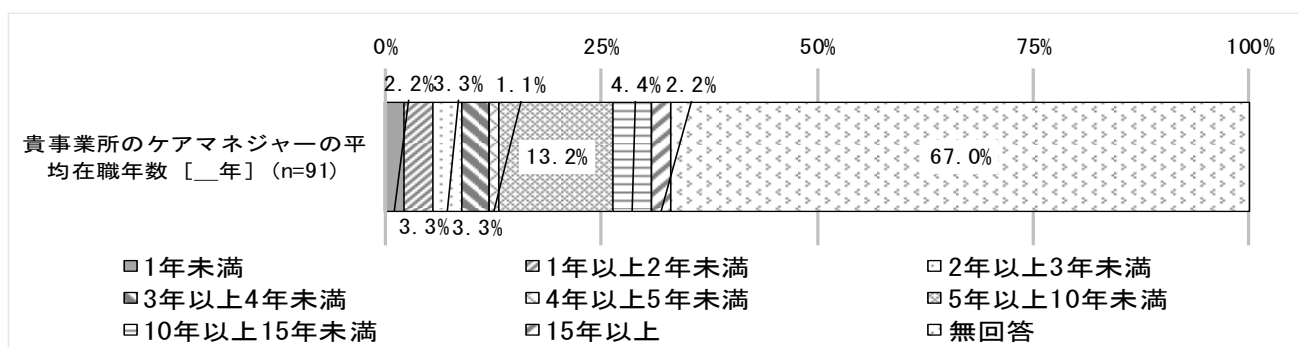
			全体	0	0.1	2	3	4	5	-	平均値	標準偏差	最小値	最大値
				0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答				
問4.1	ケアマネジャー	回答数	91	2	11	4	5	2	6	61				
		%	100.0	2.2	12.1	4.4	5.5	2.2	6.6	67.0	2.47	1.80	0.00	6.00
問4.2	主任ケアマネジャー	回答数	91	15	8	2	0	0	0	66				
		%	100.0	16.5	8.8	2.2	0.0	0.0	0.0	72.5	0.48	0.65	0.00	2.00



問5：【問2-2=2 | 問2-3=2】ケアマネジャーの在職年数及び昨年1年間の離職者（退職者・転職者）数と離職率、その理由を記入してください。(数値マトリクス)

平均在職年数は4.6年となっています。

			全体	0	1	2	3	4	5	10	15	-	平均値	標準偏差	最小値	最大値	
				1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上4年未満	4年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上	無回答					
問5.1	平均在職年数	回答数	91	2	3	3	3	1	12	4	2	61					91
		%	100.0	2.2	3.3	3.3	3.3	1.1	13.2	4.4	2.2	67.0	4.57	0.25	19.00	100.0	

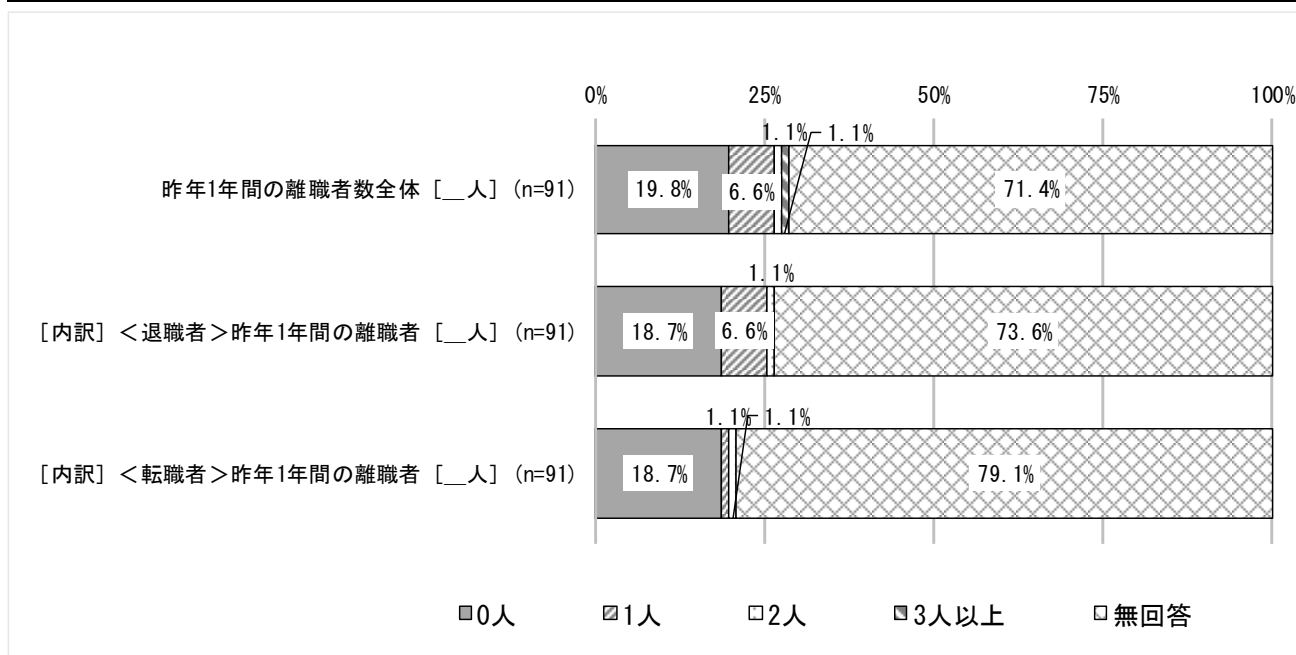


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (5) 事業者調査

問5：【問2-2=2 | 問2-3=2】ケアマネジャーの在職年数及び昨年1年間の離職者（退職者・転職者）数と離職率、その理由を記入してください。（数値マトリクス）

離職者は平均0.4人となっており、転職よりも退職が多い傾向です。

			全体	0	1	2	3	-	平均値	標準偏差	最小値	最大値
				0人	1人	2人	3人以上	無回答				
問5.2	昨年1年間の離職者数全体 [人]	回答数	91	18	6	1	1	65				
		%	100.0	19.8	6.6	1.1	1.1	71.4	0.42	0.76	0.00	3.00
問5.4	[内訳] <退職者> 昨年1年間の離職者 [人]	回答数	91	17	6	1	0	67				
		%	100.0	18.7	6.6	1.1	0.0	73.6	0.33	0.56	0.00	2.00
問5.6	[内訳] <転職者> 昨年1年間の離職者 [人]	回答数	91	17	1	1	0	72				
		%	100.0	18.7	1.1	1.1	0.0	79.1	0.16	0.50	0.00	2.00

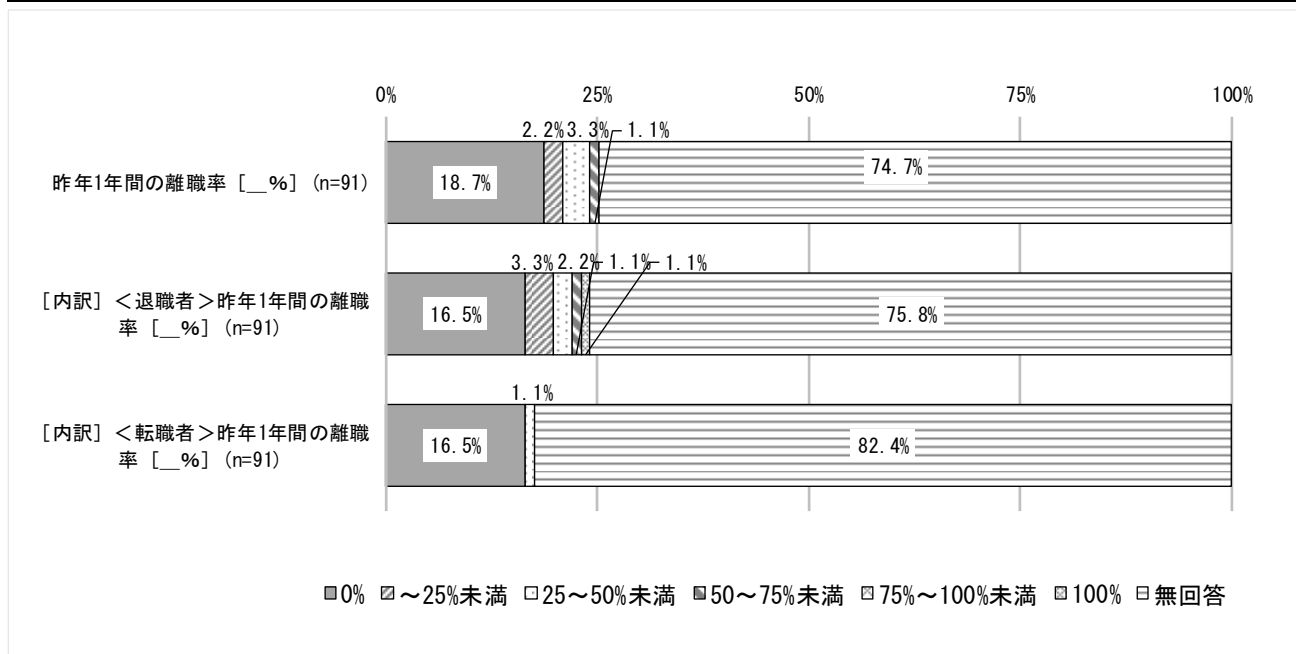


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (5) 事業者調査

問5：【問2-2=2 | 問2-3=2】ケアマネジャーの在職年数及び昨年1年間の離職者（退職者・転職者）数と離職率、その理由を記入してください。（数値マトリクス）

離職率が50%を超えている事業者が1つあります。

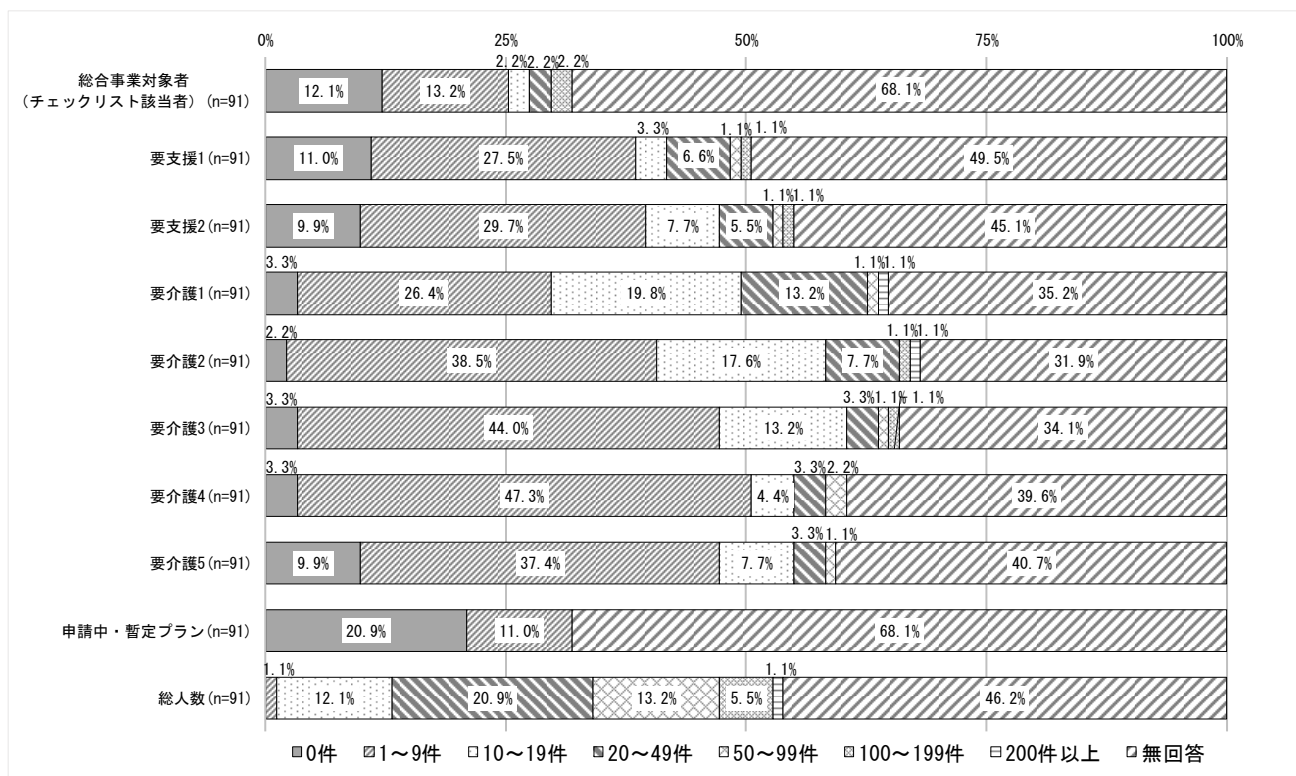
			全体	0	1	25	50	75	100	-	平均値	標準偏差	最小値	最大値
				0%	~25%未満	25~50%未満	50~75%未満	75~100%未満	100%	無回答				
問5.3	昨年1年間の離職率 [__%]	回答数	91	17	2	3	1	0	0	68				
		%	100.0	18.7	2.2	3.3	1.1	0.0	0.0	74.7	6.49	14.87	0.00	50.00
問5.5	[内訳] <退職者>昨年1年間の離職率 [__%]	回答数	91	15	3	2	1	0	1	69				
		%	100.0	16.5	3.3	2.2	1.1	0.0	1.1	75.8	9.96	24.05	0.00	100.00
問5.7	[内訳] <転職者>昨年1年間の離職率 [__%]	回答数	91	15	0	1	0	0	0	75				
		%	100.0	16.5	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	82.4	1.88	7.50	0.00	30.00



## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (5) 事業者調査

問6：令和元年10月の小金井市内の利用者の総人数は何人でしたか。問2の主な事業所の種類でお答えになった事業についてお答えください。[\_\_人] (数値マトリクス)

利用者の平均は64.2人となっています。

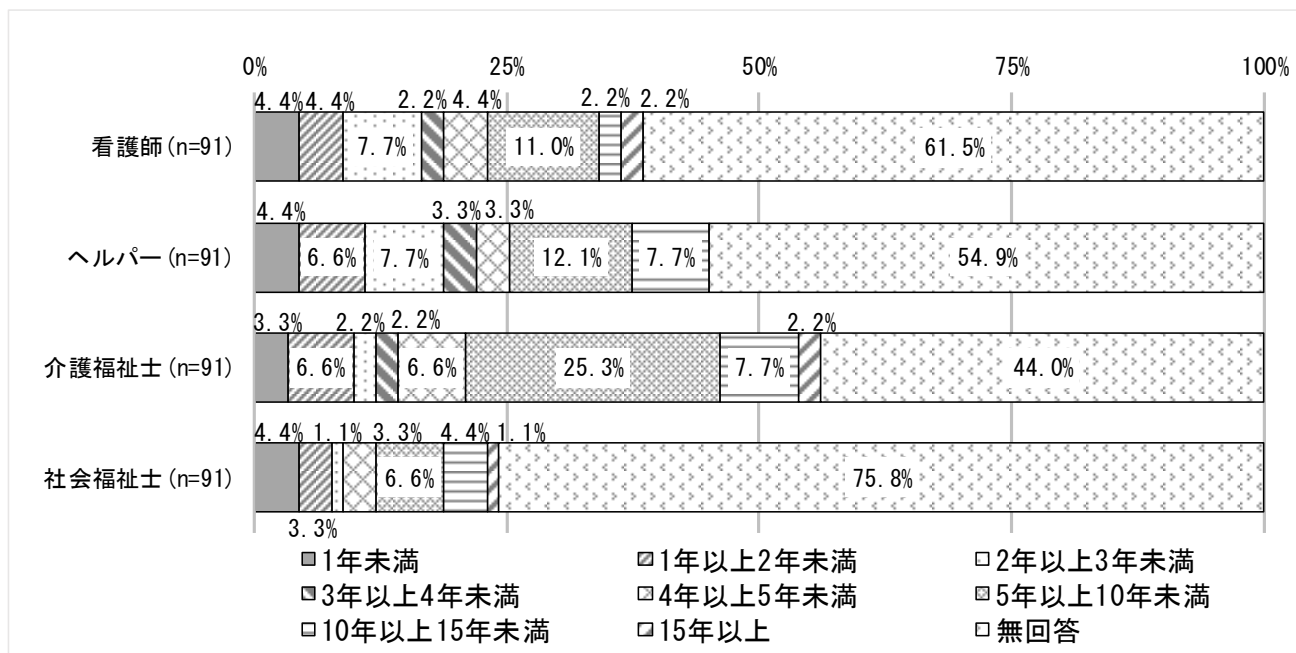


		全体	0	1	10	20	50	100	200	-	平均値	標準偏差	最小値	最大値
			0件	1~9件	10~19件	20~49件	50~99件	100~199件	200件以上	無回答				
1	総合事業対象者 (チェックリスト該当者)	回答数 91	11	12	2	2	0	2	0	62	13.24	32.48	0.00	130.00
		% 100.0	12.1	13.2	2.2	2.2	0.0	2.2	0.0	68.1				
2	要支援1	回答数 91	10	25	3	6	1	1	0	45	10.74	19.67	0.00	106.00
		% 100.0	11.0	27.5	3.3	6.6	1.1	1.1	0.0	49.5				
3	要支援2	回答数 91	9	27	7	5	1	1	0	41	10.68	19.90	0.00	112.00
		% 100.0	9.9	29.7	7.7	5.5	1.1	1.1	0.0	45.1				
4	要介護1	回答数 91	3	24	18	12	1	0	1	32	17.19	30.08	0.00	223.00
		% 100.0	3.3	26.4	19.8	13.2	1.1	0.0	1.1	35.2				
5	要介護2	回答数 91	2	35	16	7	0	1	1	29	14.85	34.33	0.00	248.00
		% 100.0	2.2	38.5	17.6	7.7	0.0	1.1	1.1	31.9				
6	要介護3	回答数 91	3	40	12	3	1	1	0	31	9.90	18.74	0.00	124.00
		% 100.0	3.3	44.0	13.2	3.3	1.1	1.1	0.0	34.1				
7	要介護4	回答数 91	3	43	4	3	2	0	0	36	8.27	16.56	0.00	93.00
		% 100.0	3.3	47.3	4.4	3.3	2.2	0.0	0.0	39.6				
8	要介護5	回答数 91	9	34	7	3	1	0	0	37	6.43	11.06	0.00	62.00
		% 100.0	9.9	37.4	7.7	3.3	1.1	0.0	0.0	40.7				
9	申請中・暫定プラン	回答数 91	19	10	0	0	0	0	0	62	0.66	1.01	0.00	3.00
		% 100.0	20.9	11.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	68.1				
10	総人数	回答数 91	0	1	11	19	12	5	1	42	64.22	101.18	5.00	709.00
		% 100.0	0.0	1.1	12.1	20.9	13.2	5.5	1.1	46.2				

## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (5) 事業者調査

問7(1)：貴事業所の職員の平均在職年数は何年ですか。[\_\_年] (数値マトリクス)

平均在職年数は、看護師で4.5年、ヘルパーで4.7年、介護福祉士で6.2年、社会福祉士で5.4年となっています。

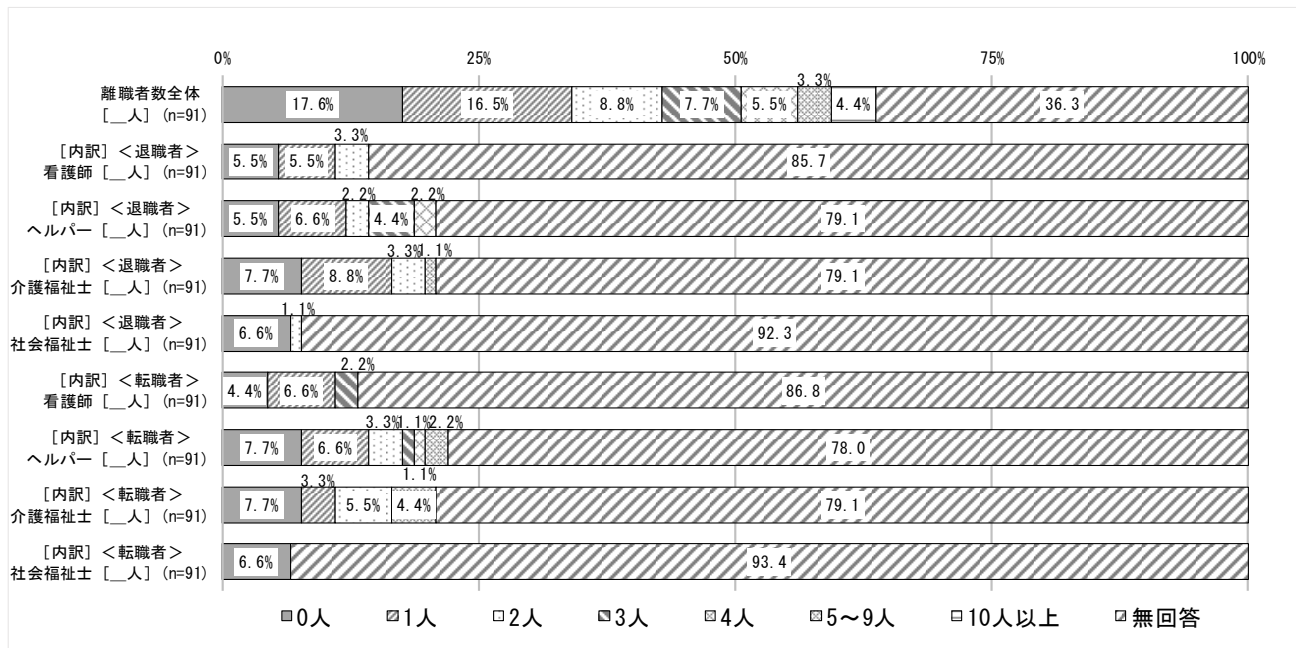


		全体	0	1	2	3	4	5	10	15	-	平均値	標準偏差	最小値	最大値
			1年未満	1年以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上4年未満	4年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上	無回答				
1 看護師	回答数	91	4	4	7	2	4	10	2	2	56				
	%	100.0	4.4	4.4	7.7	2.2	4.4	11.0	2.2	2.2	61.5	4.54	3.92	0.00	15.00
2 ヘルパー	回答数	91	4	6	7	3	3	11	7	0	50				
	%	100.0	4.4	6.6	7.7	3.3	3.3	12.1	7.7	0.0	54.9	4.65	3.62	0.00	13.25
3 介護福祉士	回答数	91	3	6	2	2	6	23	7	2	40				
	%	100.0	3.3	6.6	2.2	2.2	6.6	25.3	7.7	2.2	44.0	6.22	4.06	0.00	18.00
4 社会福祉士	回答数	91	4	3	1	0	3	6	4	1	69				
	%	100.0	4.4	3.3	1.1	0.0	3.3	6.6	4.4	1.1	75.8	5.38	4.45	0.00	15.00

## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (5) 事業者調査

問7 (2) : 昨年1年間の離職者数及び離職率 (数値マトリクス)

平均で2.5人の離職者がいます。



	全体	0	1	2	3	4	5	10	-	平均値	標準偏差	最小値	最大値
		0人	1人	2人	3人	4人	5~9人	10人以上	無回答				
1 離職者数全体 [人]	回答数 91	16	15	8	7	5	3	4	33				
	% 100.0	17.6	16.5	8.8	7.7	5.5	3.3	4.4	36.3	2.52	3.70	0.00	18.00
3 [内訳] <退職者> 看護師 [人]	回答数 91	5	5	3	0	0	0	0	78				
	% 100.0	5.5	5.5	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	85.7	0.85	0.80	0.00	2.00
4 [内訳] <退職者> ヘルパー [人]	回答数 91	5	6	2	4	2	0	0	72				
	% 100.0	5.5	6.6	2.2	4.4	2.2	0.0	0.0	79.1	1.58	1.39	0.00	4.00
5 [内訳] <退職者> 介護福祉士 [人]	回答数 91	7	8	3	0	0	1	0	72				
	% 100.0	7.7	8.8	3.3	0.0	0.0	1.1	0.0	79.1	1.00	1.20	0.00	5.00
6 [内訳] <退職者> 社会福祉士 [人]	回答数 91	6	0	1	0	0	0	0	84				
	% 100.0	6.6	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	92.3	0.29	0.76	0.00	2.00
7 [内訳] <転職者> 看護師 [人]	回答数 91	4	6	0	2	0	0	0	79				
	% 100.0	4.4	6.6	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	86.8	1.00	1.04	0.00	3.00
8 [内訳] <転職者> ヘルパー [人]	回答数 91	7	6	3	1	1	2	0	71				
	% 100.0	7.7	6.6	3.3	1.1	1.1	2.2	0.0	78.0	1.85	2.68	0.00	9.00
9 [内訳] <転職者> 介護福祉士 [人]	回答数 91	7	3	5	0	0	4	0	72				
	% 100.0	7.7	3.3	5.5	0.0	0.0	4.4	0.0	79.1	2.05	2.50	0.00	7.00
10 [内訳] <転職者> 社会福祉士 [人]	回答数 91	6	0	0	0	0	0	0	85				
	% 100.0	6.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	93.4	0.00	0.00	0.00	0.00

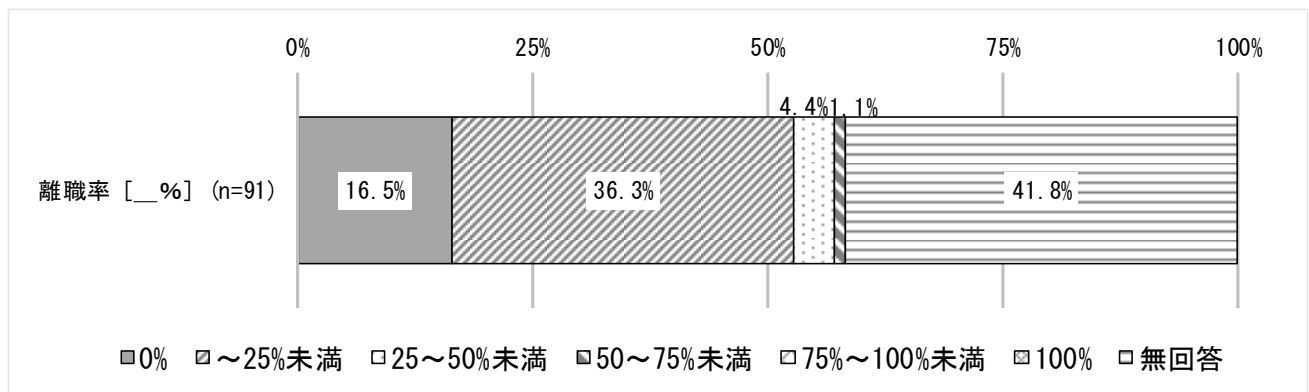


第 2 章 調査の結果 4 単純集計 (5) 事業者調査

問 7 (2) : 昨年 1 年間の離職者数及び離職率 (数値マトリクス)

離職率が 50%を超えている事業所が 1 つあります。

		全体	0	1	25	50	75	100	-	平均値	標準偏差	最小値	最大値
			0%	~25%未満	25~50%未満	50~75%未満	75%~100%未満	100%	無回答				
問 7 (2) .2	離職率 [__%]	回答数	91	15	33	4	1	0	0	38			
		%	100.0	16.5	36.3	4.4	1.1	0.0	0.0	41.8	7.55	11.10	0.00

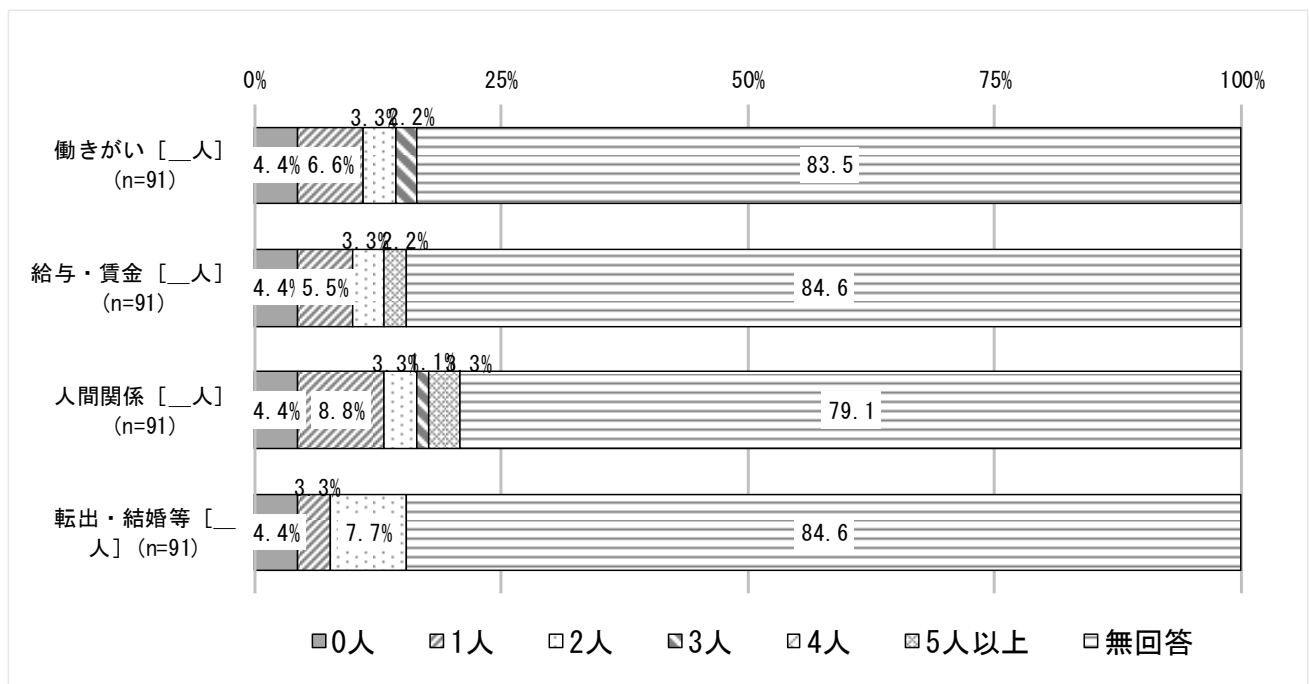


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (5) 事業者調査

問7(3)：離職の理由（主な理由）（数値マトリクス）

「給与・賃金」や「人間関係」を理由に離職される方が多くなっています。

			全体	0	1	2	3	4	5	-	平均値	標準偏差	最小値	最大値
			0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答					
1	働きがい [__人]	回答数 %	91 100.0	4 4.4	6 6.6	3 3.3	2 2.2	0 0.0	0 0.0	76 83.5	1.20	1.01	0.00	3.00
2	給与・賃金 [__人]	回答数 %	91 100.0	4 4.4	5 5.5	3 3.3	0 0.0	0 0.0	2 2.2	77 84.6	2.07	3.02	0.00	9.00
3	人間関係 [__人]	回答数 %	91 100.0	4 4.4	8 8.8	3 3.3	1 1.1	0 0.0	3 3.3	72 79.1	2.11	2.71	0.00	9.00
4	転出・結婚等 [__人]	回答数 %	91 100.0	4 4.4	3 3.3	7 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	77 84.6	1.21	0.89	0.00	2.00

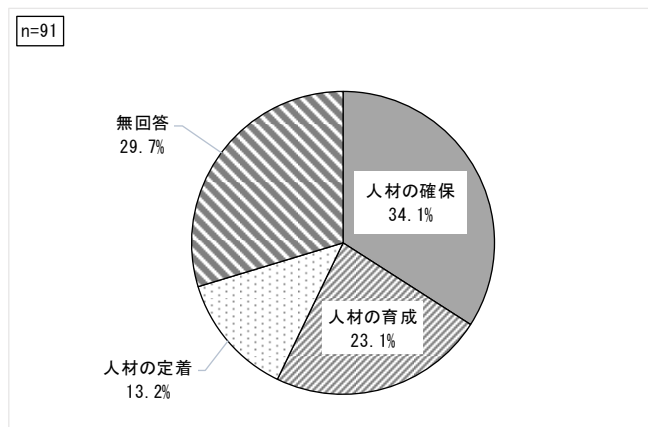


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (5) 事業者調査

問8：人材対策で力を入れる必要があるものは何かありますか。(SA)

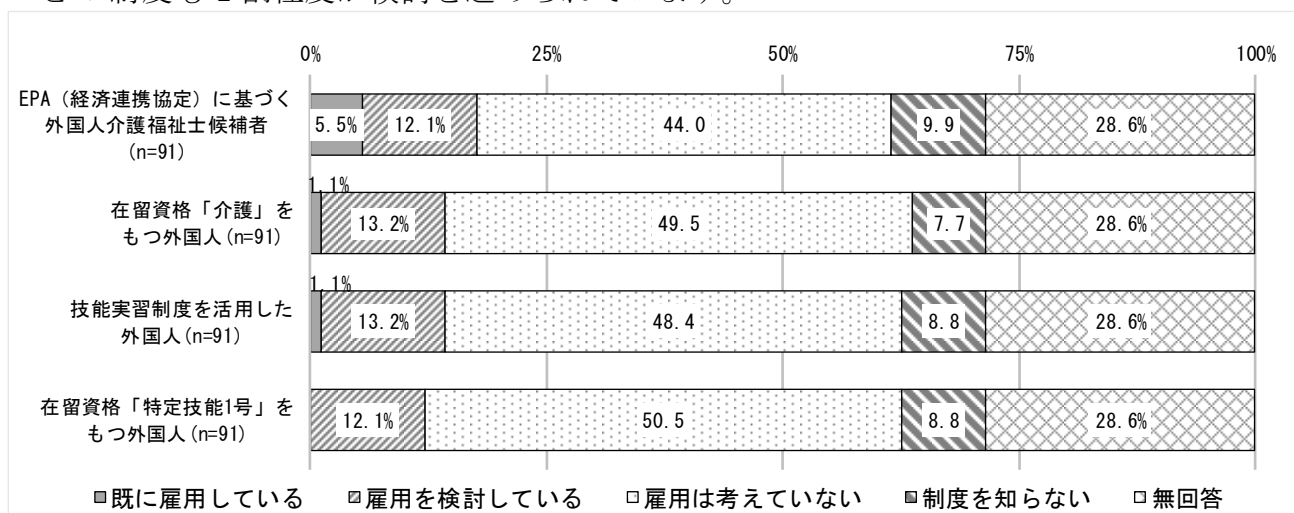
「人材の確保」に最も力を入れる必要があると認識されています。

	回答数	%
全体	91	100.0
1 人材の確保	31	34.1
2 人材の育成	21	23.1
3 人材の定着	12	13.2
- 無回答	27	29.7



問9：外国人材活用について制度別にどのように考えていますか。(SAマトリクス)

どの制度も1割程度が検討を進められています。



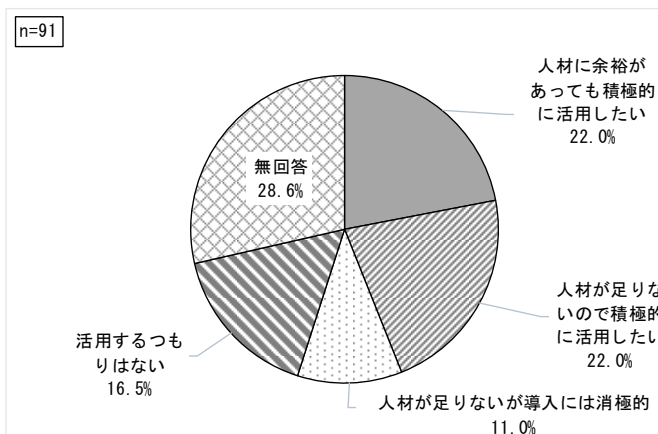
	回答数	%	1 2 3 4 -				
			既に雇用している	雇用を検討している	雇用は考えていない	制度を知らない	無回答
1 EPA (経済連携協定) に基づく外国人介護福祉士候補者	91	100.0	5	11	40	9	26
2 在留資格「介護」をもつ外国人	91	100.0	1	12	45	7	26
3 技能実習制度を活用した外国人	91	100.0	1	12	44	8	26
4 在留資格「特定技能1号」をもつ外国人	91	100.0	0	11	46	8	26

## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (5) 事業者調査

問 10：市では認定サブスタッフ・生活支援ヘルパー・介護支援ボランティアポイント事業への元気高齢者の参加を進めています。元気高齢者の活用について、どのように考えていますか。（SA）

積極的に活用を検討している事業所が4割程度あります。

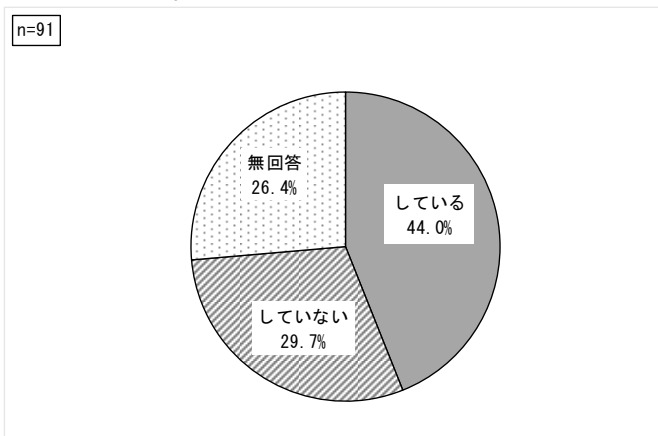
	回答数	%
全体	91	100.0
1 人材に余裕があっても積極的に活用したい	20	22.0
2 人材が足りないので積極的に活用したい	20	22.0
3 人材が足りないが導入には消極的	10	11.0
4 活用するつもりはない	15	16.5
- 無回答	26	28.6



問 11：貴事業所では、介護保険以外のサービスを提供していますか。提供している場合は、具体的なサービス内容を記入してください。（SA）

4割程度が介護保険以外のサービスも提供しています。

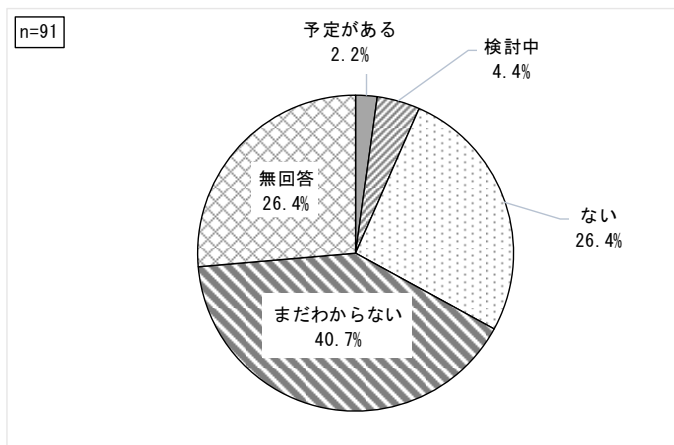
	回答数	%
全体	91	100.0
1 している	40	44.0
2 していない	27	29.7
- 無回答	24	26.4



問 12：今後は介護保険外サービスの実施、またはその事業について拡充の予定がありますか。（SA）

検討を進めている事業所は1割に満たない状況です。

	回答数	%
全体	91	100.0
1 予定がある	2	2.2
2 検討中	4	4.4
3 ない	24	26.4
4 まだわからない	37	40.7
- 無回答	24	26.4

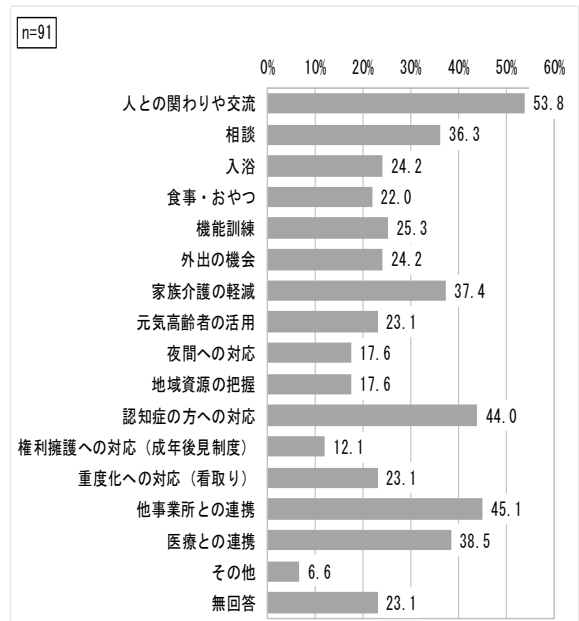


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (5) 事業者調査

問 13：現在、貴事業所で力を入れていることは何ですか。 (MA)

「人との関わりや交流」が最も多く、次いで「他事業所との連携」、「認知症の方への対応」に力を入れています。

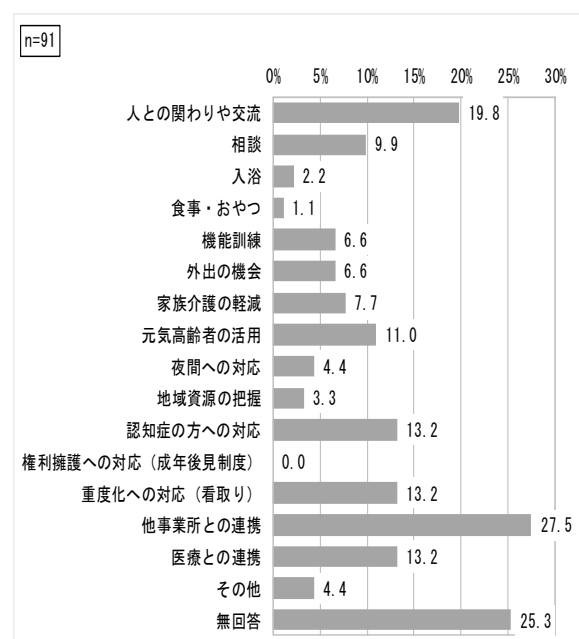
	回答数	%
全体	91	100.0
1 人との関わりや交流	49	53.8
2 相談	33	36.3
3 入浴	22	24.2
4 食事・おやつ	20	22.0
5 機能訓練	23	25.3
6 外出の機会	22	24.2
7 家族介護の軽減	34	37.4
8 元気高齢者の活用	21	23.1
9 夜間への対応	16	17.6
10 地域資源の把握	16	17.6
11 認知症の方への対応	40	44.0
12 権利擁護への対応（成年後見制度）	11	12.1
13 重度化への対応（看取り）	21	23.1
14 他事業所との連携	41	45.1
15 医療との連携	35	38.5
16 その他	6	6.6
- 無回答	21	23.1



問 14：これから貴事業所が特に力を入れたいことを教えてください。 (MA)

「他事業所との連携」が最も多く、次いで「人との関わりや交流」、に力を入れたいと考えられています。

	回答数	%
全体	91	100.0
1 人との関わりや交流	18	19.8
2 相談	9	9.9
3 入浴	2	2.2
4 食事・おやつ	1	1.1
5 機能訓練	6	6.6
6 外出の機会	6	6.6
7 家族介護の軽減	7	7.7
8 元気高齢者の活用	10	11.0
9 夜間への対応	4	4.4
10 地域資源の把握	3	3.3
11 認知症の方への対応	12	13.2
12 権利擁護への対応（成年後見制度）	0	0.0
13 重度化への対応（看取り）	12	13.2
14 他事業所との連携	25	27.5
15 医療との連携	12	13.2
16 その他	4	4.4
- 無回答	23	25.3

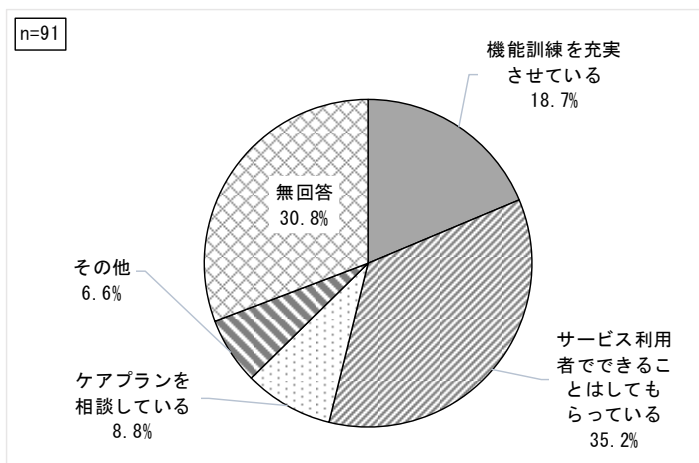


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (5) 事業者調査

問 15：自立支援・介護予防・重度化防止について、どのようなことに取り組んでいますか。  
(SA)

「サービス利用者でできることはしてもらっている」が3割を超えています。

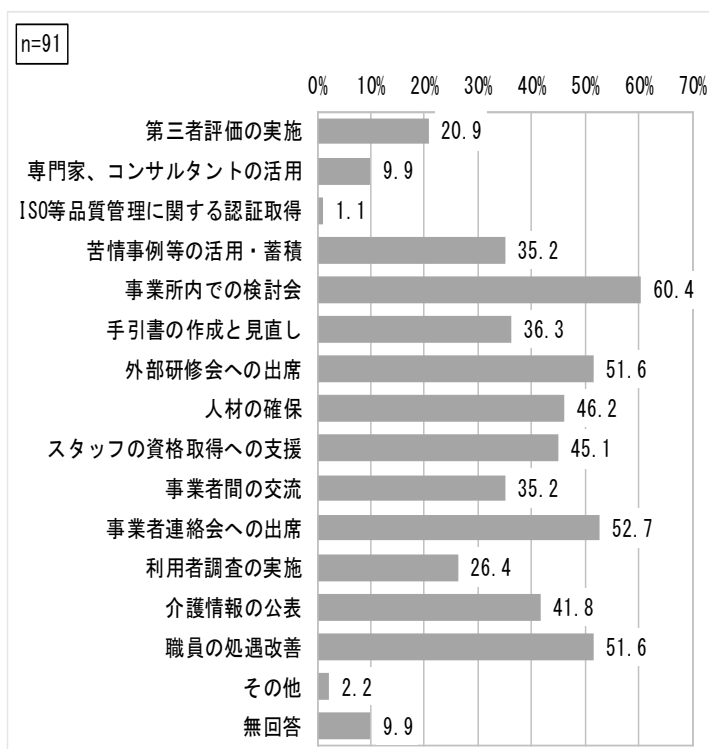
	回答数	%
全体	91	100.0
1 機能訓練を充実させている	17	18.7
2 サービス利用者でできることはしてもらっている	32	35.2
3 ケアプランを相談している	8	8.8
4 その他	6	6.6
- 無回答	28	30.8



問 16：現在、貴事業所では質の向上に対する取組みをどのように行っていますか。  
(MA)

「第三者評価の実施」をしているのは2割程度で、「事業所内での検討会」で進めているのが6割程度です。

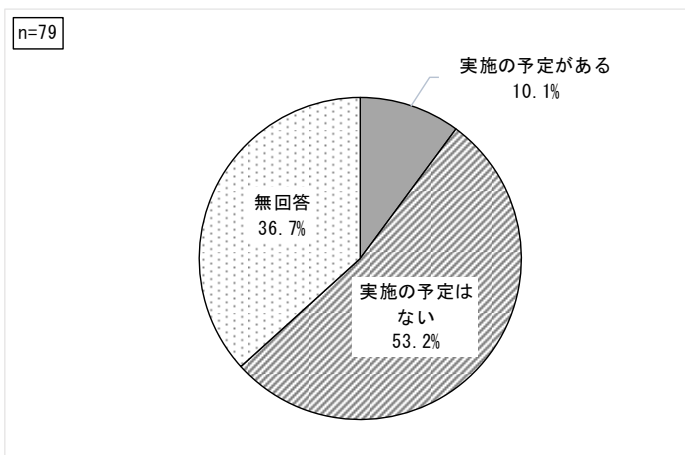
	回答数	%
全体	91	100.0
1 第三者評価の実施	19	20.9
2 専門家、コンサルタントの活用	9	9.9
3 ISO等品質管理に関する認証取得	1	1.1
4 苦情事例等の活用・蓄積	32	35.2
5 事業所内での検討会	55	60.4
6 手引書の作成と見直し	33	36.3
7 外部研修会への出席	47	51.6
8 人材の確保	42	46.2
9 スタッフの資格取得への支援	41	45.1
10 事業者間の交流	32	35.2
11 事業者連絡会への出席	48	52.7
12 利用者調査の実施	24	26.4
13 介護情報の公表	38	41.8
14 職員の処遇改善	47	51.6
15 その他	2	2.2
- 無回答	9	9.9



問 17:【問 16 で「2.専門家、コンサルタントの活用」～「15.その他」と回答の方】  
今後、第三者評価を実施する予定はありますか。 (SA)

半数以上が「実施の予定はない」と回答しています。

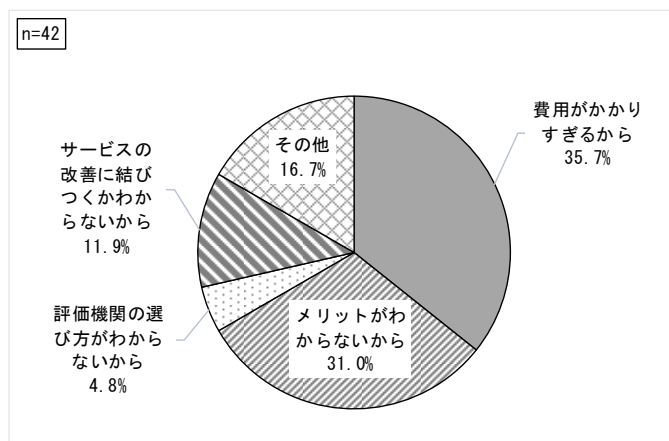
	回答数	%
全体	79	100.0
1 実施の予定がある	8	10.1
2 実施の予定はない	42	53.2
- 無回答	29	36.7



問 17-1:【問 17 で「2.実施の予定はない」と回答の方】その主な理由は次のうちどれですか。  
(SA)

「費用がかかりすぎるから」との回答が 3 割を超えています。

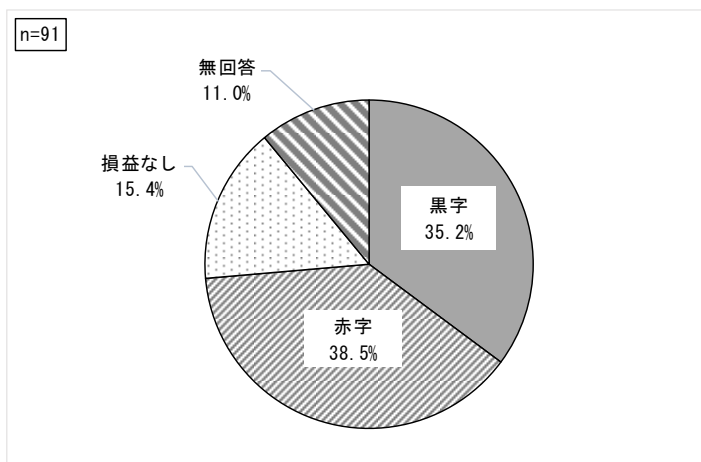
	回答数	%
全体	42	100.0
1 費用がかかりすぎるから	15	35.7
2 メリットがわからないから	13	31.0
3 評価機関の選び方がわからないから	2	4.8
4 サービスの改善に結びつくかわからないから	5	11.9
5 その他	7	16.7



問 18: 直前の決算年度の事業の採算はいかがでしたか。差し支えなければお答えください。  
(SA)

「黒字」、「赤字」とともに 4 割に満たない程度です。

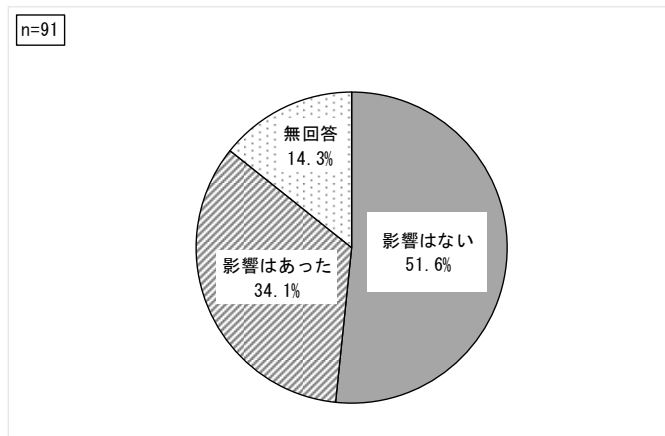
	回答数	%
全体	91	100.0
1 黒字	32	35.2
2 赤字	35	38.5
3 損益なし	14	15.4
- 無回答	10	11.0



問 19：平成 30 年度の介護報酬変更による運営上の影響はいかがでしたか。 (SA)

半数以上は「影響はない」と回答しています。

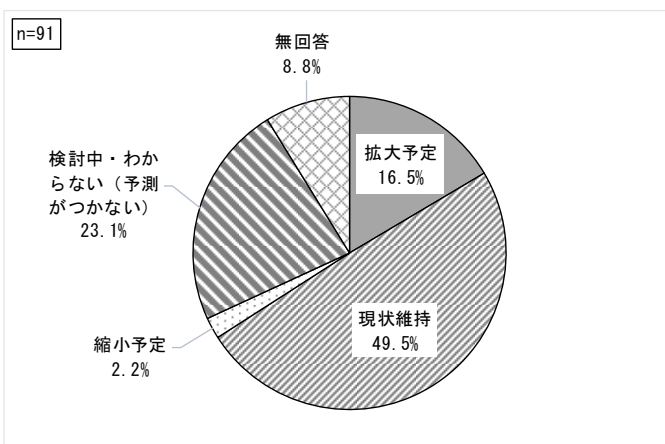
	回答数	%
全体	91	100.0
1 影響はない	47	51.6
2 影響があった	31	34.1
- 無回答	13	14.3



問 20：貴事業所では、今後 3 年のうちに介護保険サービスの事業規模についてどのように考えますか。 (SA)

「現状維持」が半数程度で、拡大を検討している事業所が 2 割弱あります。

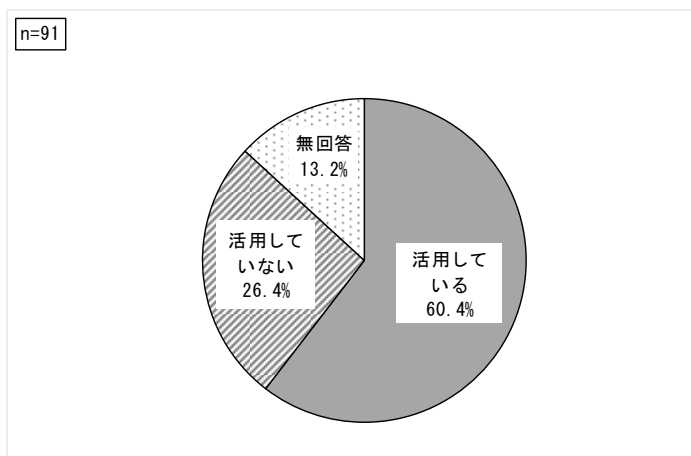
	回答数	%
全体	91	100.0
1 拡大予定	15	16.5
2 現状維持	45	49.5
3 縮小予定	2	2.2
4 検討中・わからない (予測がつかない)	21	23.1
- 無回答	8	8.8



問 21：貴事業所では、介護職員処遇改善加算は活用していますか。 (SA)

6 割程度は「活用している」と回答しています。

	回答数	%
全体	91	100.0
1 活用している	55	60.4
2 活用していない	24	26.4
- 無回答	12	13.2



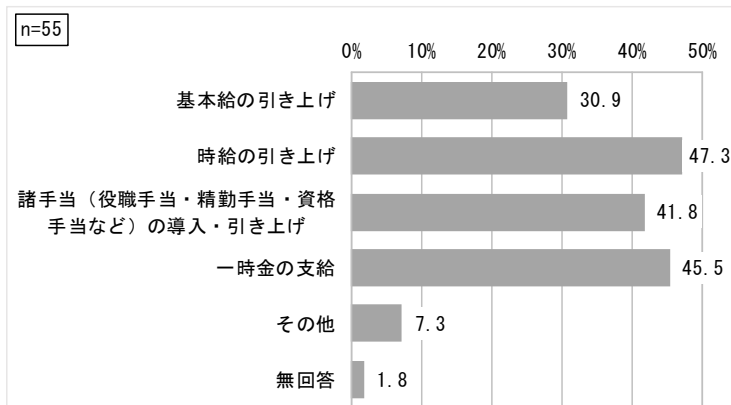


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (5) 事業者調査

問 21-1:【問 21 で「1.活用している」と回答の方】介護職員処遇改善加算をどのようなことに使用していますか。また、選んだ選択肢について金額もご記入ください。 (MA)

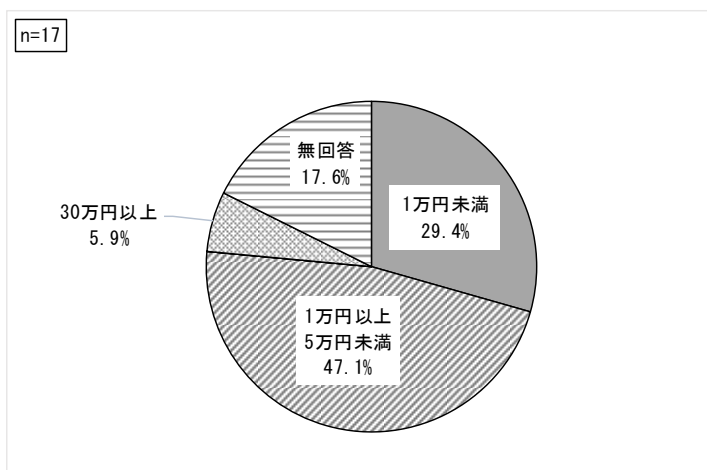
「時給の引き上げ」との回答が最も多く、次いで「一時金の支給」となっています。

		回答数	%
全体		55	100.0
1	基本給の引き上げ	17	30.9
2	時給の引き上げ	26	47.3
3	諸手当（役職手当・精勤手当・資格手当など）の導入・引き上げ	23	41.8
4	一時金の支給	25	45.5
5	その他	4	7.3
-	無回答	1	1.8



問 21-1\_1N: 介護職員処遇改善加算をどのようなことに使用していますか。また、選んだ選択肢について金額もご記入ください。／基本給の引き上げ 平均 [\_\_円/月] (N)

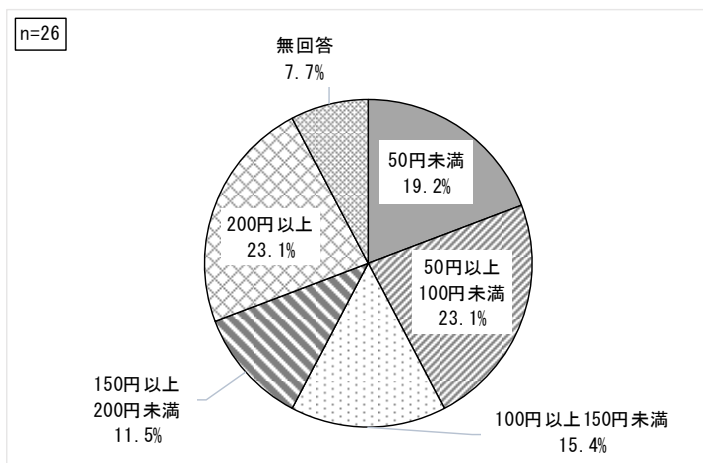
		回答数	%
全体		17	100.0
0	1万円未満	5	29.4
10000	1万円以上 5万円未満	8	47.1
50000	5万円以上 10万円未満	0	0.0
100000	10万円以上 20万円未満	0	0.0
200000	20万円以上 30万円未満	0	0.0
300000	30万円以上	1	5.9
-	無回答	3	17.6
-	平均値	40211.43	
-	標準偏差	98603.08	
-	最小値	2000.00	
-	最大値	380000.00	



## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (5) 事業者調査

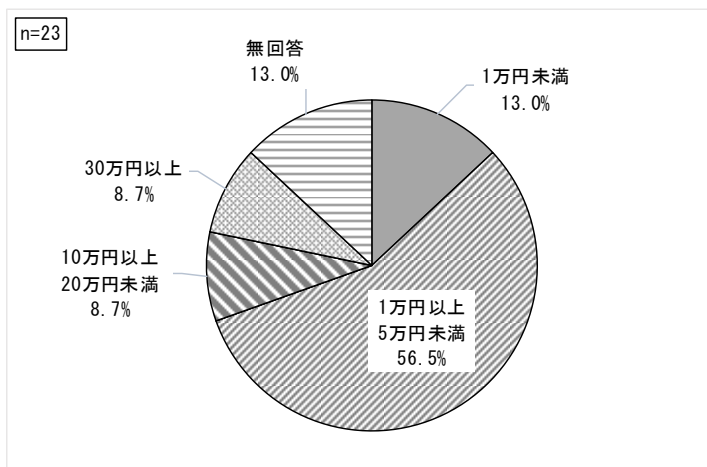
問 21-1\_2N：介護職員処遇改善加算をどのようなことに使用していますか。また、選んだ選択肢について金額もご記入ください。／時給の引き上げ 平均 [\_\_円/時] (N)

		回答数	%
全体		26	100.0
0	50円未満	5	19.2
50	50円以上 100円未満	6	23.1
100	100円以上 150円未満	4	15.4
150	150円以上 200円未満	3	11.5
200	200円以上	6	23.1
-	無回答	2	7.7
- 平均値		106.46	
- 標準偏差		75.88	
- 最小値		10.00	
- 最大値		250.00	



問 21-1\_3N：介護職員処遇改善加算をどのようなことに使用していますか。また、選んだ選択肢について金額もご記入ください。／諸手当（役職手当・精勤手当・資格手当など）の導入・引き上げ 平均 [\_\_円/年] (N)

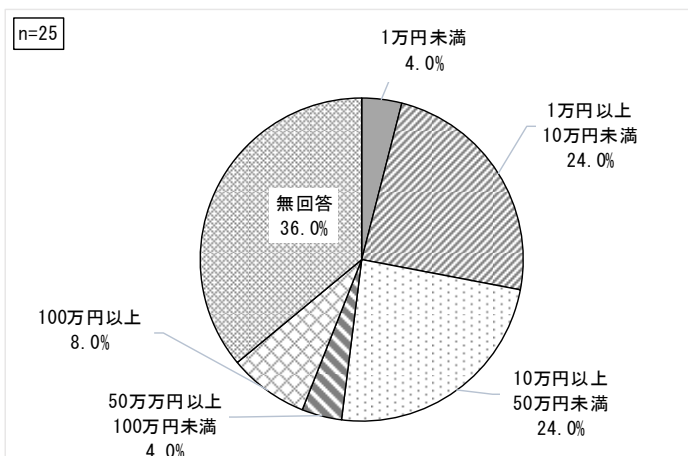
		回答数	%
全体		23	100.0
0	1万円未満	3	13.0
10000	1万円以上5万円未満	13	56.5
50000	5万円以上10万円未満	0	0.0
100000	10万円以上20万円未満	2	8.7
200000	20万円以上30万円未満	0	0.0
300000	30万円以上	2	8.7
-	無回答	3	13.0
- 平均値		76432.55	
- 標準偏差		125984.91	
- 最小値		3000.00	
- 最大値		420000.00	



## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (5) 事業者調査

問 21-1\_4N：介護職員処遇改善加算をどのようなことに使用していますか。また、選んだ選択肢について金額もご記入ください。／一時金の支給 平均 [\_\_円/年] (N)

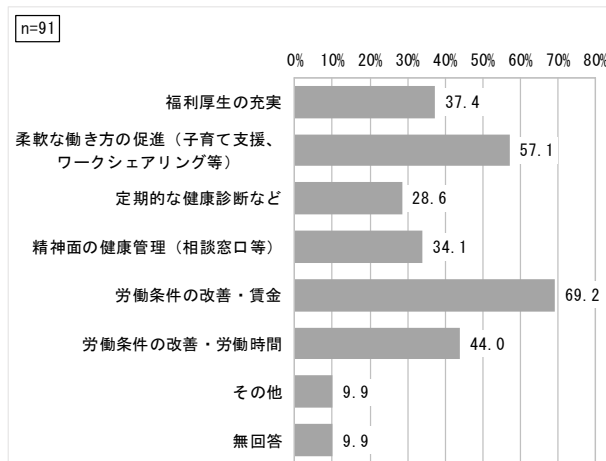
		回答数	%
全体		25	100.0
0	1万円未満	1	4.0
10000	1万円以上 10万円未満	6	24.0
100000	10万円以上 50万円未満	6	24.0
500000	50万円以上 100万円未満	1	4.0
1000000	100万円以上	2	8.0
-	無回答	9	36.0
-	平均値	317745.81	
-	標準偏差	512817.89	
-	最小値	8000.00	
-	最大値	1911600.00	



問 22：労働環境整備のためにどのような取り組みが必要だと思いますか。 (MA)

賃金の改善が最も多いです。

		回答数	%
全体		91	100.0
1	福利厚生の充実	34	37.4
2	柔軟な働き方の促進（子育て支援、ワークシェアリング等）	52	57.1
3	定期的な健康診断など	26	28.6
4	精神面の健康管理（相談窓口等）	31	34.1
5	労働条件の改善・賃金	63	69.2
6	労働条件の改善・労働時間	40	44.0
7	その他	9	9.9
-	無回答	9	9.9

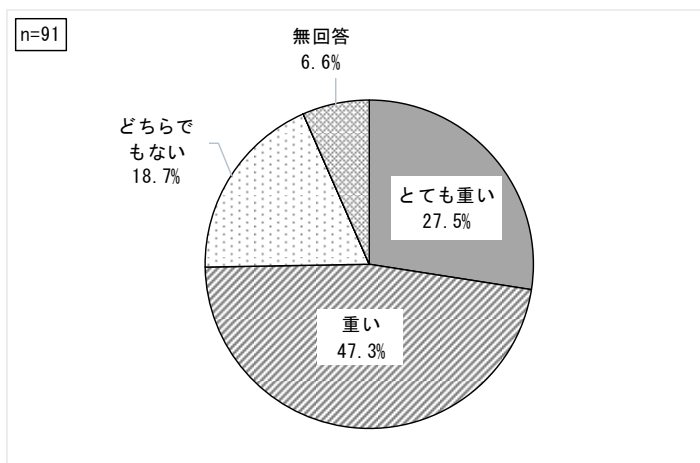


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (5) 事業者調査

問 23：事務作業の負担感はどの程度ですか。 (SA)

負担を感じている方が7割以上となっています。

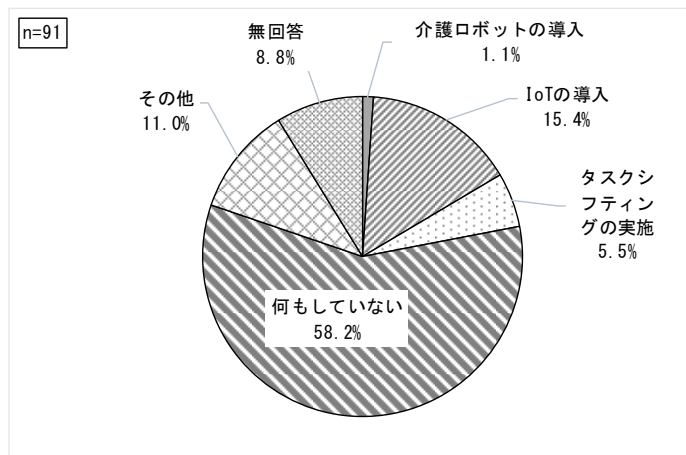
	回答数	%
全体	91	100.0
1 とても重い	25	27.5
2 重い	43	47.3
3 どちらでもない	17	18.7
4 軽い	0	0.0
5 とても軽い	0	0.0
- 無回答	6	6.6



問 24：生産性向上（労働時間短縮）のためにどのようなことに取り組まれていますか。 (SA)

半数以上が「何もしていない」と回答しています。

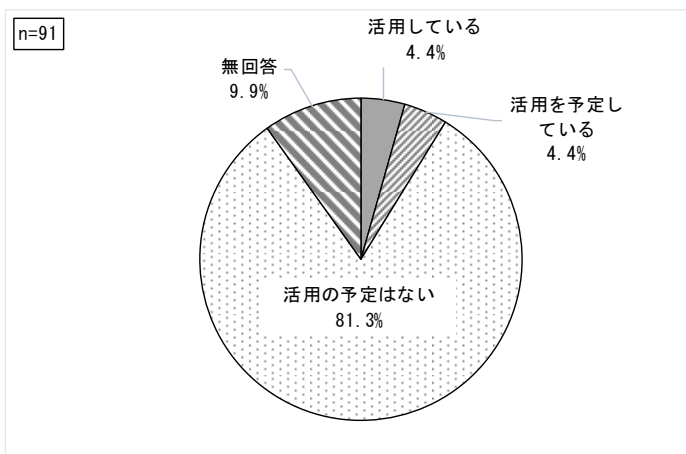
	回答数	%
全体	91	100.0
1 介護ロボットの導入	1	1.1
2 IoTの導入	14	15.4
3 タスクシフティングの実施	5	5.5
4 何もしていない	53	58.2
5 その他	10	11.0
- 無回答	8	8.8



問 25：介護ロボットの導入について、活用の予定がありますか。 (SA)

「活用の予定はない」が8割を超えています。1割程度で実際に活用していたり、検討が進められています。

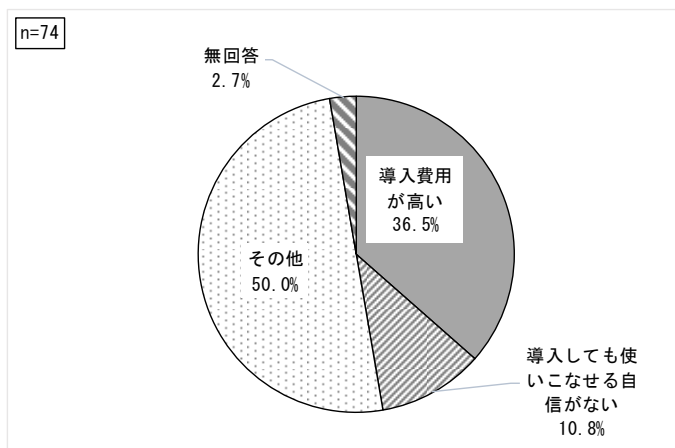
	回答数	%
全体	91	100.0
1 活用している	4	4.4
2 活用を予定している	4	4.4
3 活用の予定はない	74	81.3
- 無回答	9	9.9



問 25-1：【問 25 で「3.活用の予定はない」と回答の方】活用の予定はない理由は何ですか。  
(SA)

「導入費用が高い」ことを理由に挙げている事業所が 4 割近くあります。

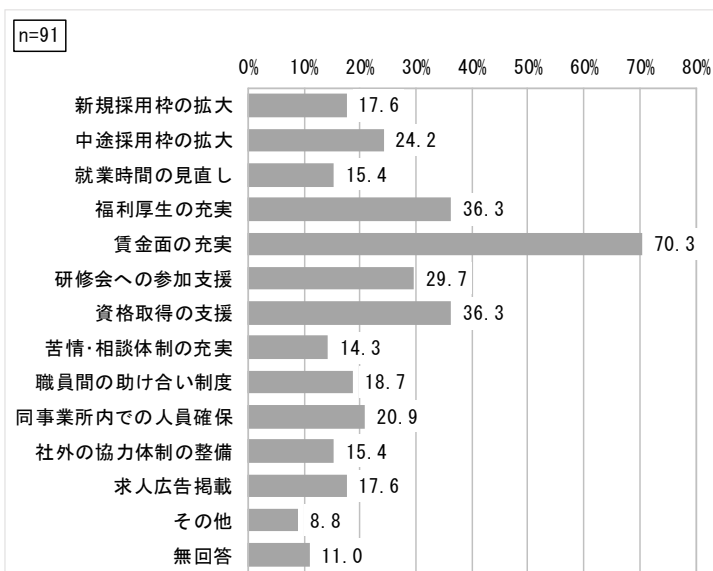
	回答数	%
全体	74	100.0
1 導入費用が高い	27	36.5
2 導入しても使いこなせる自信がない	8	10.8
3 その他	37	50.0
- 無回答	2	2.7



問 26：人材確保のため今後どのような取組みが必要だと思いますか。 (MA)

「賃金面の充実」が必要と考えている事業所が 7 割程度あります。

	回答数	%
全体	91	100.0
1 新規採用枠の拡大	16	17.6
2 中途採用枠の拡大	22	24.2
3 就業時間の見直し	14	15.4
4 福利厚生の充実	33	36.3
5 賃金面の充実	64	70.3
6 研修会への参加支援	27	29.7
7 資格取得の支援	33	36.3
8 苦情・相談体制の充実	13	14.3
9 職員間の助け合い制度	17	18.7
10 同事業所内での人員確保	19	20.9
11 社外の協力体制の整備	14	15.4
12 求人広告掲載	16	17.6
13 その他	8	8.8
- 無回答	10	11.0

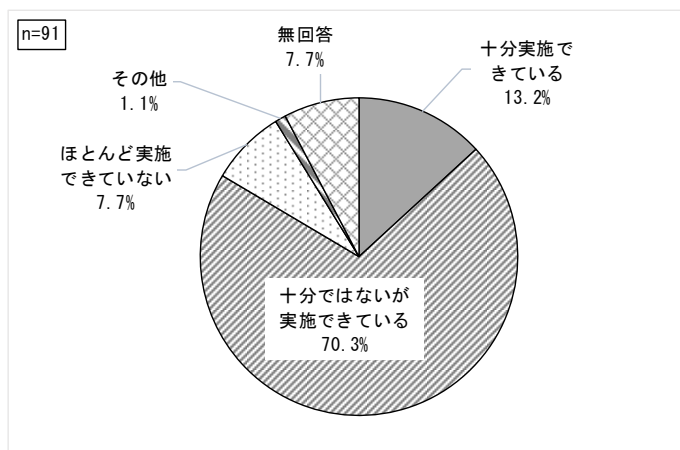


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (5) 事業者調査

問 27：事業所内での講習会・研修は十分実施できていると思いますか。できていない場合は理由を具体的にお書きください。（SA）

「十分実施できている」のは1割程度で、7割は「十分ではないが実施できている」と回答しています。

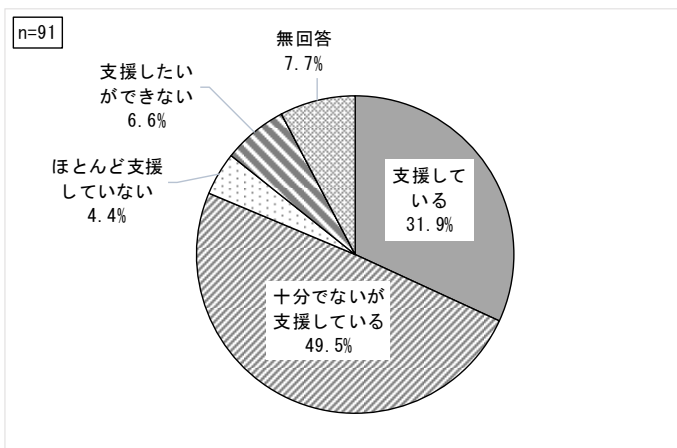
		回答数	%
全体		91	100.0
1	十分実施できている	12	13.2
2	十分ではないが実施できている	64	70.3
3	ほとんど実施できていない	7	7.7
4	その他	1	1.1
-	無回答	7	7.7



問 28：外部の研修や事例検討、勉強会について職員が積極的に参加できるよう支援していますか。できていない場合は理由を具体的にお書きください。（SA）

「支援している」との回答が3割程度で、「十分ではないが支援している」との回答が半数程度となっています。

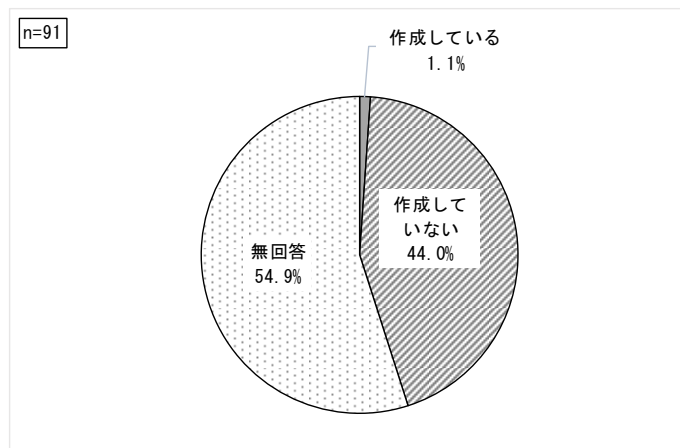
		回答数	%
全体		91	100.0
1	支援している	29	31.9
2	十分でないが支援している	45	49.5
3	ほとんど支援していない	4	4.4
4	支援したいができない	6	6.6
5	その他	0	0.0
-	無回答	7	7.7



問 29：貴事業所では、「キャリアパス」を作成していますか。（SA）

作成していると回答した事業者は1つのみです。

		回答数	%
全体		91	100.0
1	作成している	1	1.1
2	作成していない	40	44.0
-	無回答	50	54.9

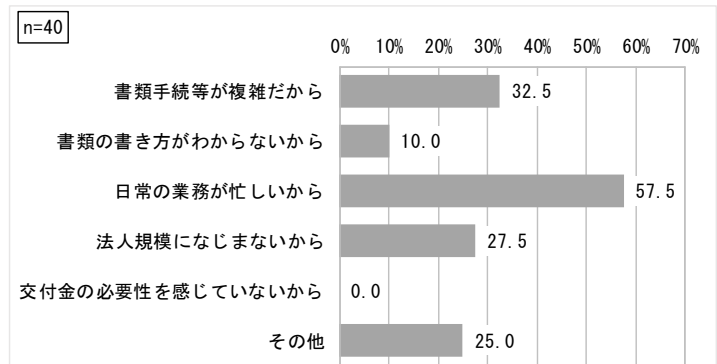


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (5) 事業者調査

問 29-1:【問 29 で「2.作成していない」と回答の方】作成していない理由として、どのようなことがありますか。 (MA)

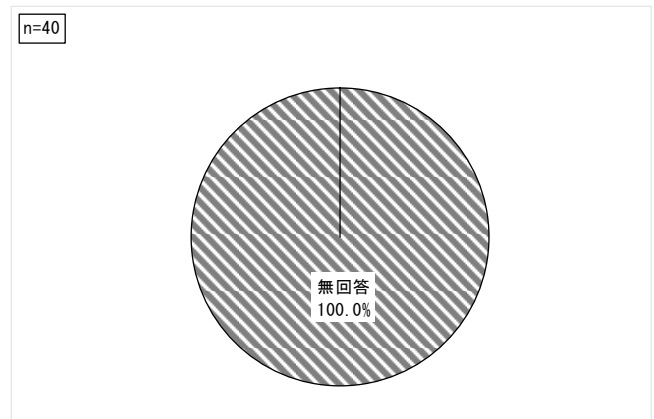
日常の業務に忙殺されて、作成できていないことが見受けられます。

	回答数	%
全体	40	100.0
1 書類手続等が複雑だから	13	32.5
2 書類の書き方がわからないから	4	10.0
3 日常の業務が忙しいから	23	57.5
4 法人規模になじまないから	11	27.5
5 交付金の必要性を感じていないから	0	0.0
6 その他	10	25.0



問 29-2:【問 29 で「2.作成していない」と回答の方】今後、「キャリアパス」を作成する予定はありますか。 (SA)

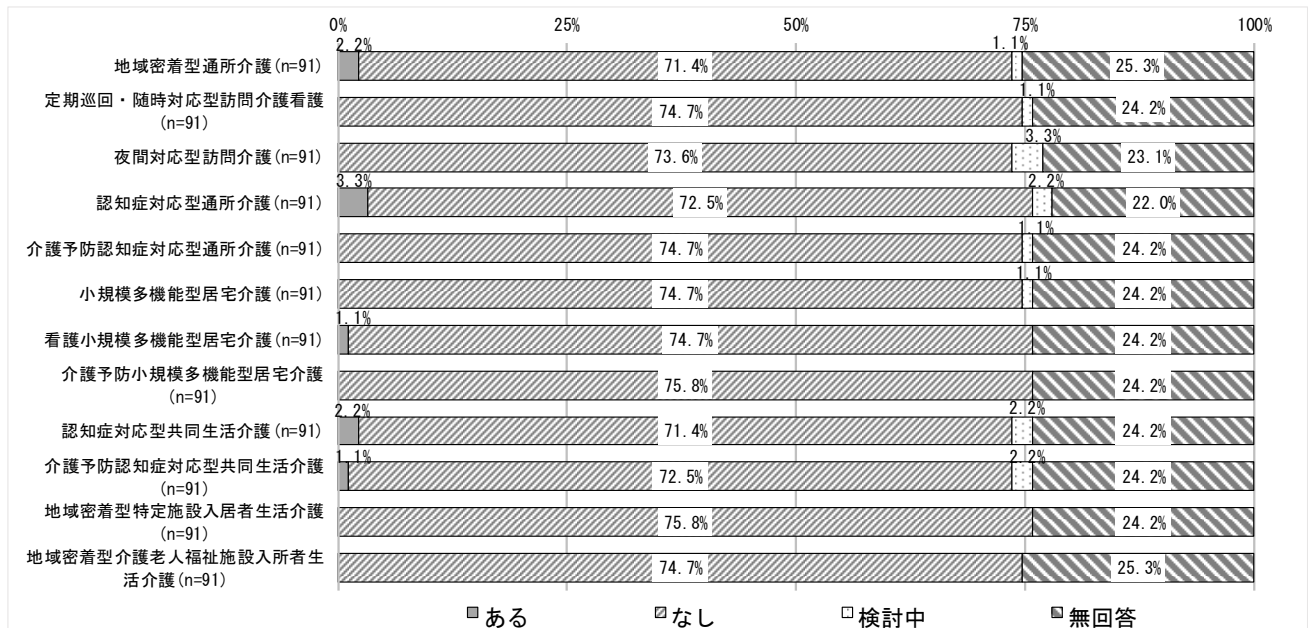
	回答数	%
全体	40	100.0
1 作成する予定である	0	0.0
2 作成する予定はない	0	0.0
3 わからない	0	0.0
- 無回答	40	100.0



## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (5) 事業者調査

問 30：今後、参入予定の地域密着型サービス事業がありましたら教えてください。  
(SAマトリクス)

「地域密着型通所介護」「認知症対応型通所介護」「看護小規模多機能型居宅介護」「認知症対応型共同生活介護」で参入予定があります。



		全体	1	2	3	-
			ある	なし	検討中	無回答
1	地域密着型通所介護	回答数 91	2	65	1	23
		% 100.0	2.2	71.4	1.1	25.3
2	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	回答数 91	0	68	1	22
		% 100.0	0.0	74.7	1.1	24.2
3	夜間対応型訪問介護	回答数 91	0	67	3	21
		% 100.0	0.0	73.6	3.3	23.1
4	認知症対応型通所介護	回答数 91	3	66	2	20
		% 100.0	3.3	72.5	2.2	22.0
5	介護予防認知症対応型通所介護	回答数 91	0	68	1	22
		% 100.0	0.0	74.7	1.1	24.2
6	小規模多機能型居宅介護	回答数 91	0	68	1	22
		% 100.0	0.0	74.7	1.1	24.2
7	看護小規模多機能型居宅介護	回答数 91	1	68	0	22
		% 100.0	1.1	74.7	0.0	24.2
8	介護予防小規模多機能型居宅介護	回答数 91	0	69	0	22
		% 100.0	0.0	75.8	0.0	24.2
9	認知症対応型共同生活介護	回答数 91	2	65	2	22
		% 100.0	2.2	71.4	2.2	24.2
10	介護予防認知症対応型共同生活介護	回答数 91	1	66	2	22
		% 100.0	1.1	72.5	2.2	24.2
11	地域密着型特定施設入居者生活介護	回答数 91	0	69	0	22
		% 100.0	0.0	75.8	0.0	24.2
12	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	回答数 91	0	68	0	23
		% 100.0	0.0	74.7	0.0	25.3

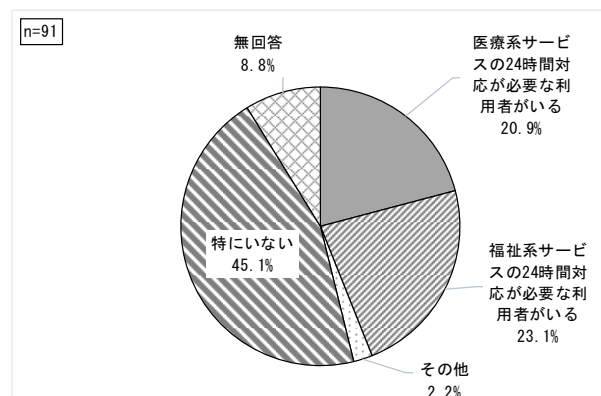


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (5) 事業者調査

問 31：貴事業所のサービス利用者の中に、24 時間の見守りや巡回が必要な方はいらっしゃいますか。 (SA)

半数近くで 24 時間の見守りや巡回が必要な方がいると回答されています。

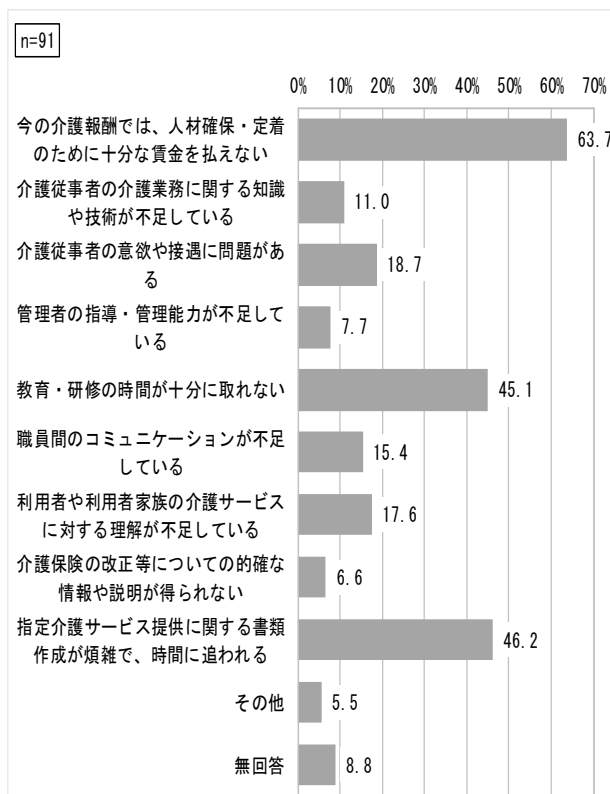
	回答数	%
全体	91	100.0
1 医療系サービスの24時間対応が必要な利用者がある	19	20.9
2 福祉系サービスの24時間対応が必要な利用者がある	21	23.1
3 その他	2	2.2
4 特にいない	41	45.1
- 無回答	8	8.8



問 32：貴事業所の運営上の課題は何ですか。(3 つまで選択) (MA)

賃金に関する課題が最も多く、次いで書類業務で時間の確保が出来ていないことを課題に感じている事業所が多くなっています。

	回答数	%
全体	91	100.0
1 今の介護報酬では、人材確保・定着のために十分な賃金を払えない	58	63.7
2 介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している	10	11.0
3 介護従事者の意欲や接遇に問題がある	17	18.7
4 管理者の指導・管理能力が不足している	7	7.7
5 教育・研修の時間が十分に取れない	41	45.1
6 職員間のコミュニケーションが不足している	14	15.4
7 利用者や利用者家族の介護サービスに対する理解が不足している	16	17.6
8 介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない	6	6.6
9 指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われる	42	46.2
10 その他	5	5.5
- 無回答	8	8.8

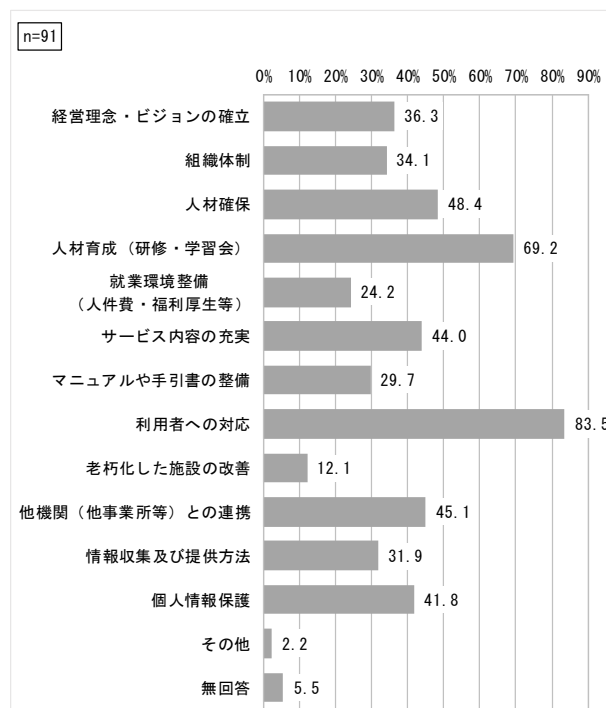


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (5) 事業者調査

問 33：日ごろサービスを提供していくうえで、法令順守（コンプライアンス）は前提として、利用者からの信頼を得るためには何が大切とお考えですか。（MA）

「利用者への対応」を重視している事業所が最も多く、次いで「人材育成」となっています。

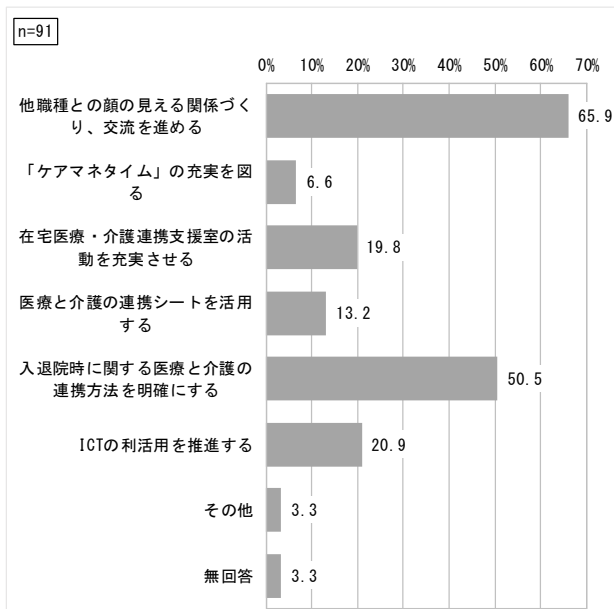
	回答数	%
全体	91	100.0
1 経営理念・ビジョンの確立	33	36.3
2 組織体制	31	34.1
3 人材確保	44	48.4
4 人材育成（研修・学習会）	63	69.2
5 就業環境整備（人件費・福利厚生等）	22	24.2
6 サービス内容の充実	40	44.0
7 マニュアルや手引書の整備	27	29.7
8 利用者への対応	76	83.5
9 老朽化した施設の改善	11	12.1
10 他機関（他事業所等）との連携	41	45.1
11 情報収集及び提供方法	29	31.9
12 個人情報保護	38	41.8
13 その他	2	2.2
- 無回答	5	5.5



問 34 (1)：2025年に向けて地域包括ケアシステムの構築が求められていますが、その中で医療・介護の連携が進むために、どのようなことが必要だとお考えですか。／連携の仕組みづくり（2つまで選択）（MA）

「他職種との顔の見える関係づくり、交流を進める」との回答が6割を超えています。

	回答数	%
全体	91	100.0
1 他職種との顔の見える関係づくり、交流を進める	60	65.9
2 「ケアマネタイム」の充実を図る	6	6.6
3 在宅医療・介護連携支援室の活動を充実させる	18	19.8
4 医療と介護の連携シートを活用する	12	13.2
5 入退院時に関する医療と介護の連携方法を明確にする	46	50.5
6 ICTの利活用を推進する	19	20.9
7 その他	3	3.3
- 無回答	3	3.3

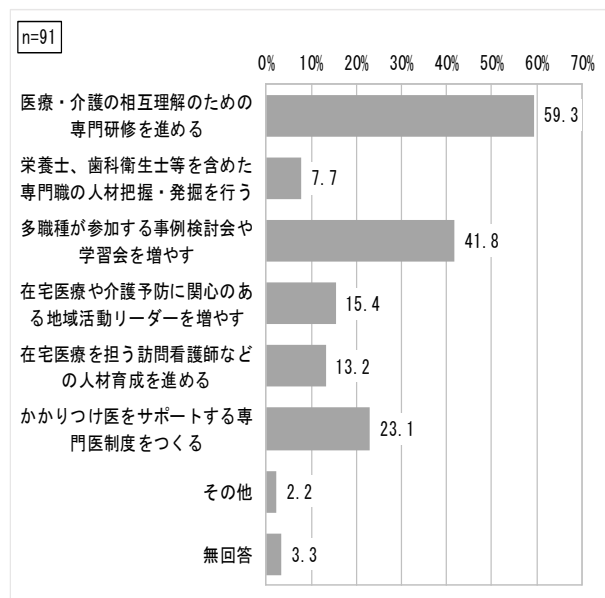


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (5) 事業者調査

問 34 (2) : 2025 年に向けて地域包括ケアシステムの構築が求められていますが、その中で医療・介護の連携が進むために、どのようなことが必要だとお考えですか。／地域の人材育成 (2 つまで選択) (MA)

「医療・介護の相互理解のための専門研修を進める」が 6 割近くとなっています。

		回答数	%
全体		91	100.0
1	医療・介護の相互理解のための専門研修を進める	54	59.3
2	栄養士、歯科衛生士等を含めた専門職の人材把握・発掘を行う	7	7.7
3	多職種が参加する事例検討会や学習会を増やす	38	41.8
4	在宅医療や介護予防に関心のある地域活動リーダーを増やす	14	15.4
5	在宅医療を担う訪問看護師などの人材育成を進める	12	13.2
6	かかりつけ医をサポートする専門医制度をつくる	21	23.1
7	その他	2	2.2
-	無回答	3	3.3

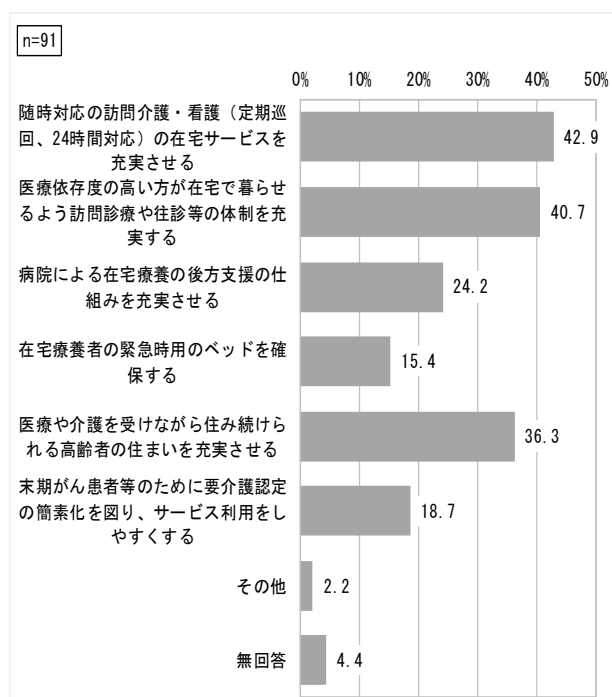


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (5) 事業者調査

問 34 (3) : 2025 年に向けて地域包括ケアシステムの構築が求められていますが、その中で医療・介護の連携が進むために、どのようなことが必要だとお考えですか。／サービス・基盤整備 (2 つまで選択) (MA)

「随時対応の訪問介護・看護 (定期巡回、24 時間対応) の在宅サービスを充実させる」「医療依存度の高い方が在宅で暮らせるよう訪問診療や往診等の体制を充実する」がそれぞれ 4 割程度と多くなっています。

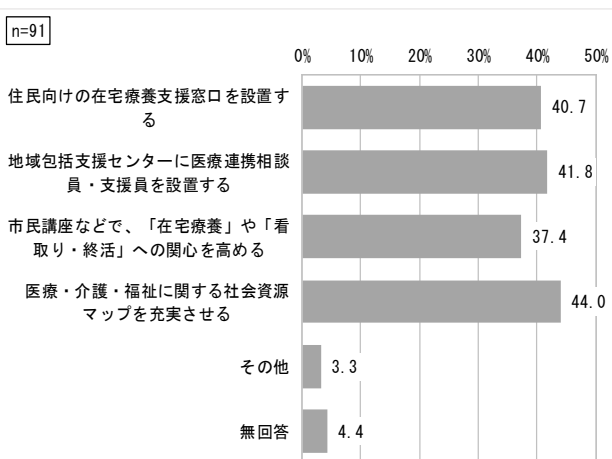
		回答数	%
全体		91	100.0
1	随時対応の訪問介護・看護 (定期巡回、24 時間対応) の在宅サービスを充実させる	39	42.9
2	医療依存度の高い方が在宅で暮らせるよう訪問診療や往診等の体制を充実する	37	40.7
3	病院による在宅療養の後方支援の仕組みを充実させる	22	24.2
4	在宅療養者の緊急時用のベッドを確保する	14	15.4
5	医療や介護を受けながら住み続けられる高齢者の住まいを充実させる	33	36.3
6	末期がん患者等のために要介護認定の簡素化を図り、サービス利用をしやすいとする	17	18.7
7	その他	2	2.2
-	無回答	4	4.4



問 34 (4) : 2025 年に向けて地域包括ケアシステムの構築が求められていますが、その中で医療・介護の連携が進むために、どのようなことが必要だとお考えですか。／相談支援・情報提供 (2 つまで選択) (MA)

それぞれの回答が 4 割程度とほぼ横並びの結果となっています。

		回答数	%
全体		91	100.0
1	住民向けの在宅療養支援窓口を設置する	37	40.7
2	地域包括支援センターに医療連携相談員・支援員を設置する	38	41.8
3	市民講座などで、「在宅療養」や「看取り・終活」への関心を高める	34	37.4
4	医療・介護・福祉に関する社会資源マップを充実させる	40	44.0
5	その他	3	3.3
-	無回答	4	4.4

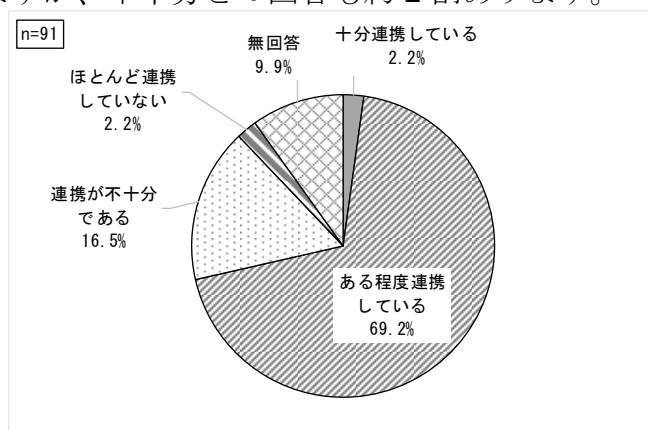


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (5) 事業者調査

問 35：小金井市民の在宅療養者への医療・介護は、サービス担当者会議などを通じて連携していると思いますか。（SA）

約7割は「連携している」と回答していますが、不十分との回答も約2割あります。

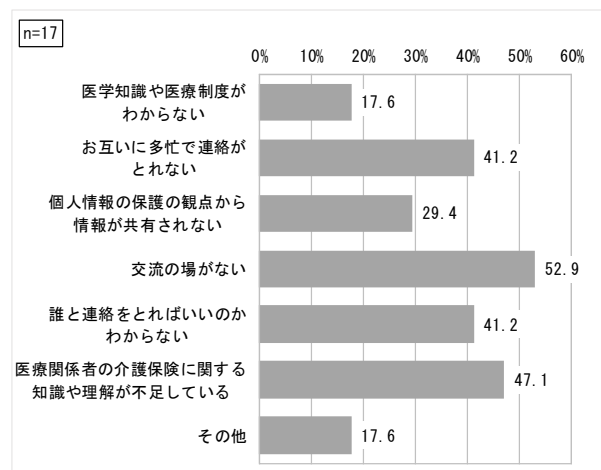
	回答数	%
全体	91	100.0
1 十分連携している	2	2.2
2 ある程度連携している	63	69.2
3 連携が不十分である	15	16.5
4 ほとんど連携していない	2	2.2
- 無回答	9	9.9



問 35-1：【問 35 で「3.連携が不十分である」、「4.ほとんど連携していない」と回答の方】そのように考える理由は何ですか。（MA）

半数以上が「交流の場がない」ことを理由として挙げています。

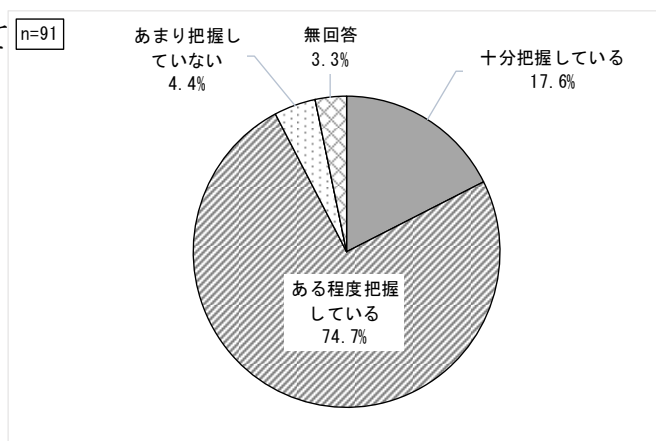
	回答数	%
全体	17	100.0
1 医学知識や医療制度がわからない	3	17.6
2 お互いに多忙で連絡がとれない	7	41.2
3 個人情報の保護の観点から情報が共有されない	5	29.4
4 交流の場がない	9	52.9
5 誰と連絡をとればいいのかわからない	7	41.2
6 医療関係者の介護保険に関する知識や理解が不足している	8	47.1
7 その他	3	17.6



問 36：貴事業所では、サービス利用者の医学的な情報を十分把握していますか。（SA）

1割未満ではありますが「あまり把握していない」との回答があります。

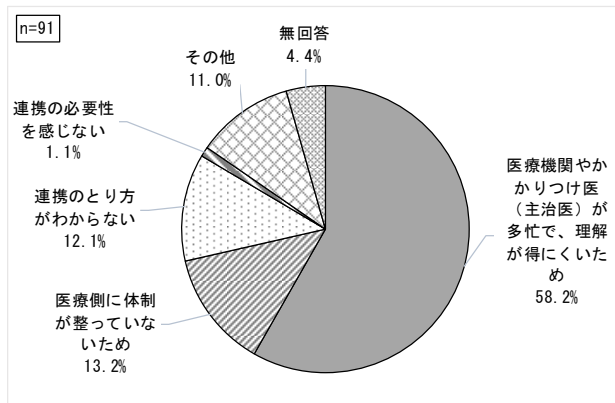
	回答数	%
全体	91	100.0
1 十分把握している	16	17.6
2 ある程度把握している	68	74.7
3 あまり把握していない	4	4.4
4 ほとんど把握していない	0	0.0
- 無回答	3	3.3



## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (5) 事業者調査

問 37：一般に医療機関やかかりつけ医（主治医）などとの連携がとりにくいと言われていますが、その主な理由をどのようにお考えですか。（SA）

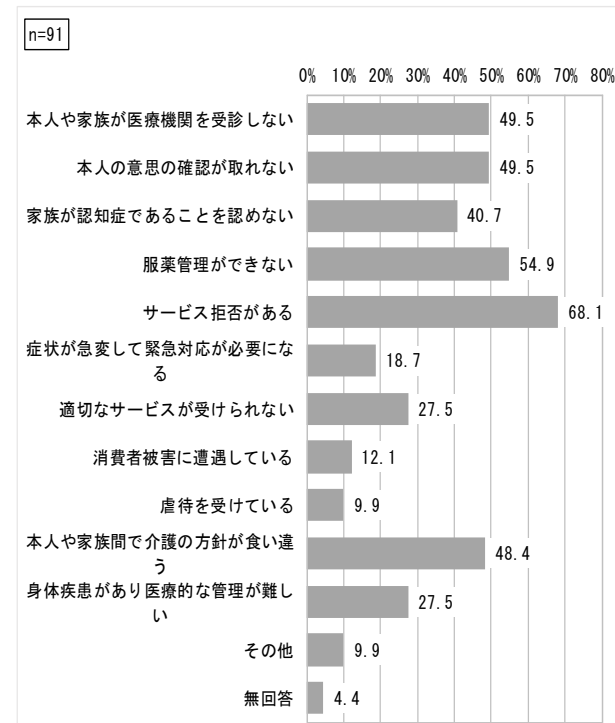
		回答数	%
全体		91	100.0
1	医療機関やかかりつけ医（主治医）が多忙で、理解が得にくいため	53	58.2
2	医療側に体制が整っていないため	12	13.2
3	連携のとり方がわからない	11	12.1
4	連携の必要性を感じない	1	1.1
5	その他	10	11.0
-	無回答	4	4.4



問 38：認知症の利用者の状況で、実際に大変だったのは次のどれですか。（MA）

「サービス拒否がある」ことが最も多いです。

		回答数	%
全体		91	100.0
1	本人や家族が医療機関を受診しない	45	49.5
2	本人の意思の確認が取れない	45	49.5
3	家族が認知症であることを認めない	37	40.7
4	服薬管理ができない	50	54.9
5	サービス拒否がある	62	68.1
6	症状が急変して緊急対応が必要になる	17	18.7
7	適切なサービスが受けられない	25	27.5
8	消費者被害に遭遇している	11	12.1
9	虐待を受けている	9	9.9
10	本人や家族間で介護の方針が食い違う	44	48.4
11	身体疾患があり医療的な管理が難しい	25	27.5
12	その他	9	9.9
-	無回答	4	4.4

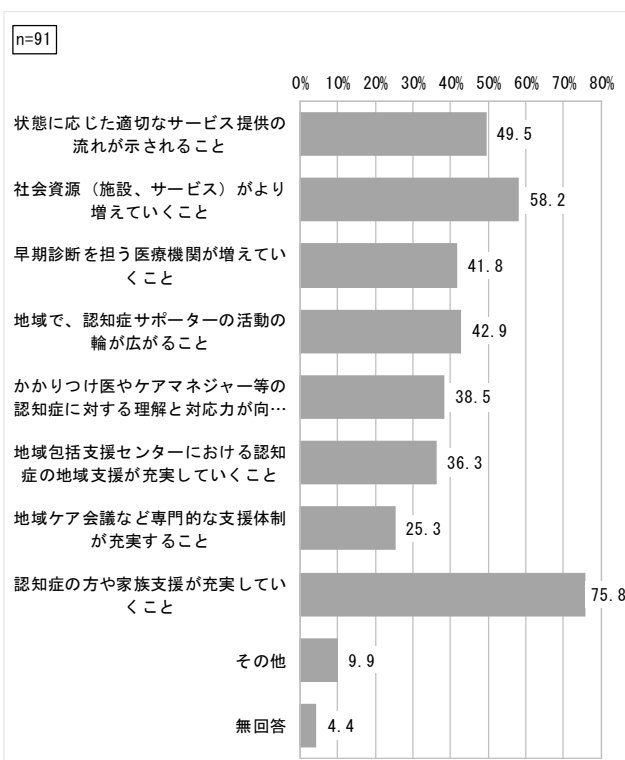


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (5) 事業者調査

問 39：これから、認知症の方の支援にあたり必要になると思うのは次のどれですか。  
(MA)

「認知症の方や家族支援が充実していくこと」が最も多く、次いで「社会資源（施設、サービス）がより増えていくこと」との回答が多くなっています。

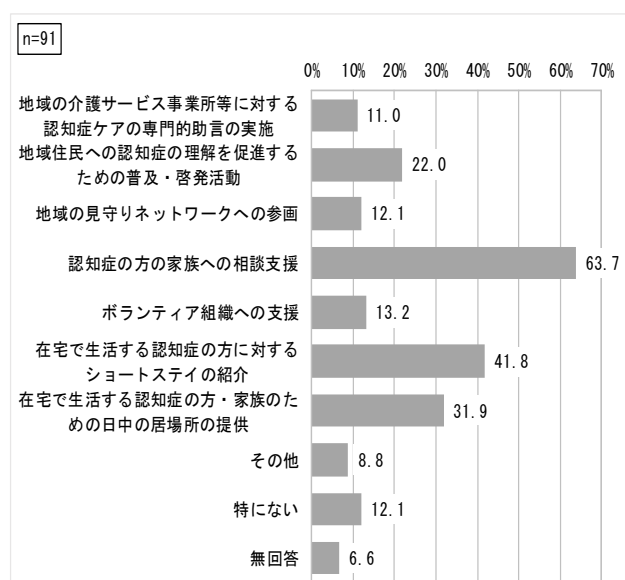
		回答数	%
全体		91	100.0
1	状態に応じた適切なサービス提供の流れが示されること	45	49.5
2	社会資源（施設、サービス）がより増えていくこと	53	58.2
3	早期診断を担う医療機関が増えていくこと	38	41.8
4	地域で、認知症サポーターの活動の輪が広がること	39	42.9
5	かかりつけ医やケアマネジャー等の認知症に対する理解と対応力が向上すること	35	38.5
6	地域包括支援センターにおける認知症の地域支援が充実していくこと	33	36.3
7	地域ケア会議など専門的な支援体制が充実すること	23	25.3
8	認知症の方や家族支援が充実していくこと	69	75.8
9	その他	9	9.9
-	無回答	4	4.4



問 40：貴事業所では、認知症の方へのケアに関する地域の拠点としてどのような機能を担っていますか。（MA）

半数以上の事業所が相談支援の役割を担っています。

		回答数	%
全体		91	100.0
1	地域の介護サービス事業所等に対する認知症ケアの専門的助言の実施	10	11.0
2	地域住民への認知症の理解を促進するための普及・啓発活動	20	22.0
3	地域の見守りネットワークへの参画	11	12.1
4	認知症の方の家族への相談支援	58	63.7
5	ボランティア組織への支援	12	13.2
6	在宅で生活する認知症の方に対するショートステイの紹介	38	41.8
7	在宅で生活する認知症の方・家族のための日中の居場所の提供	29	31.9
8	その他	8	8.8
9	特にない	11	12.1
-	無回答	6	6.6

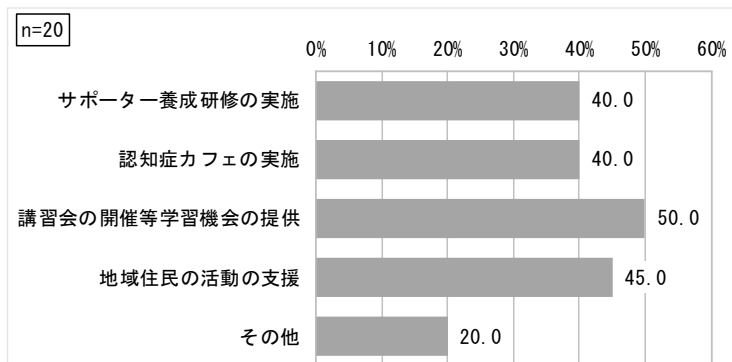


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (5) 事業者調査

問 40\_2：【問 40 で「2.地域住民への認知症の理解を促進するための普及・啓発活動」と回答の方】貴事業所では、認知症の方へのケアに関する地域の拠点としてどのような機能を担っていますか。／地域住民への認知症の理解を促進するための普及・啓発活動 具体的に (MA)

研修等の実施を考えている事業所が多くなっています。

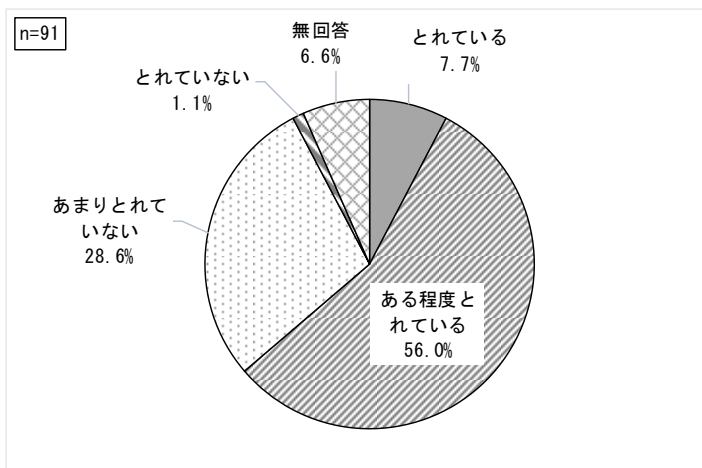
	回答数	%
全体	20	100.0
1 サポーター養成研修の実施	8	40.0
2 認知症カフェの実施	8	40.0
3 講習会の開催等学習機会の提供	10	50.0
4 地域住民の活動の支援	9	45.0
5 その他	4	20.0



問 41：貴事業所では、認知症の方の支援にあたっては、かかりつけ医との連携はとれていると思いますか。 (SA)

半数以上は連携がとれていると回答していますが、あまりとれていないとの回答も3割程度あります。

	回答数	%
全体	91	100.0
1 とれている	7	7.7
2 ある程度とれている	51	56.0
3 あまりとれていない	26	28.6
4 とれていない	1	1.1
- 無回答	6	6.6



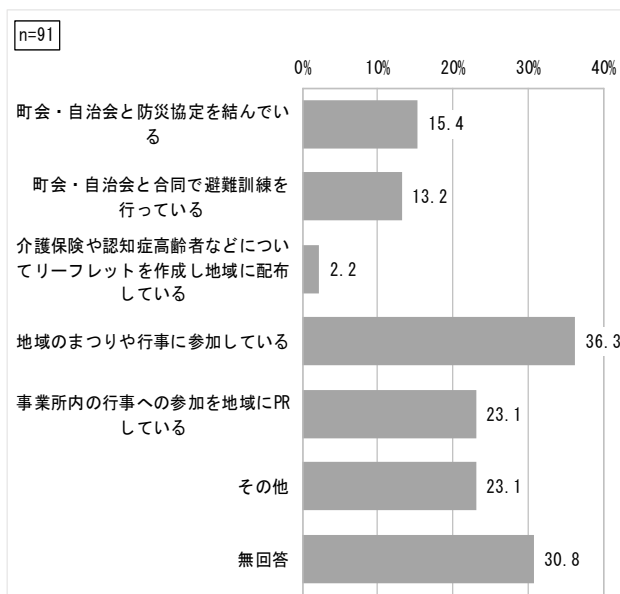


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (5) 事業者調査

問 42：貴事業所では災害時に備えてどの程度、地域と連携していますか。 (MA)

「地域のまつりや行事に参加している」との回答が4割近くあり、普段から顔の見える関係づくりを通じて連携していることがうかがえます。

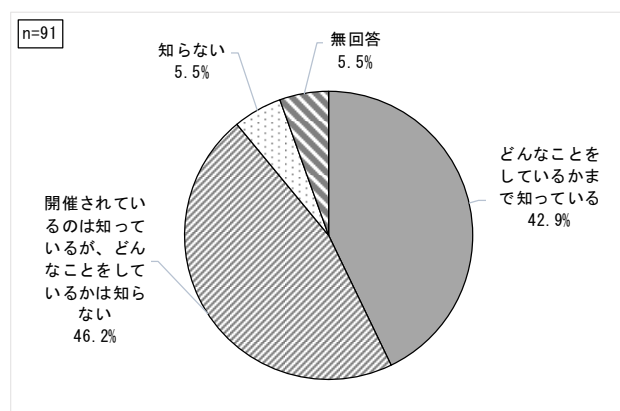
	回答数	%
全体	91	100.0
1 町会・自治会と防災協定を結んでいる	14	15.4
2 町会・自治会と合同で避難訓練を行っている	12	13.2
3 介護保険や認知症高齢者などについてリーフレットを作成し地域に配布している	2	2.2
4 地域のまつりや行事に参加している	33	36.3
5 事業所内の行事への参加を地域にPRしている	21	23.1
6 その他	21	23.1
- 無回答	28	30.8



問 43：地域ケア会議について、知っていますか。 (SA)

開催については9割が知っていますが、半数近くはどんなことが行われているか分からない状態です。

	回答数	%
全体	91	100.0
1 どんなことをしているかまで知っている	39	42.9
2 開催されているのは知っているが、どんなことをしているかは知らない	42	46.2
3 知らない	5	5.5
- 無回答	5	5.5

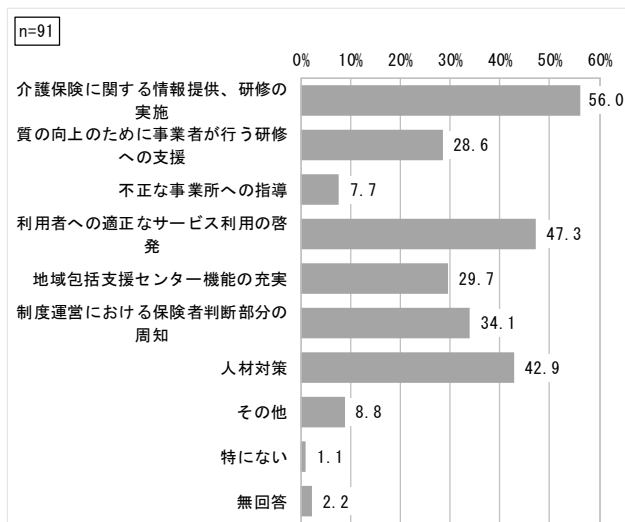


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (5) 事業者調査

問 44：今後、保険者としての小金井市に対し、事業者として望むことは次のうちどれですか。(3つまで選択) (MA)

「介護保険に関する情報提供、研修の実施」が最も多いです。

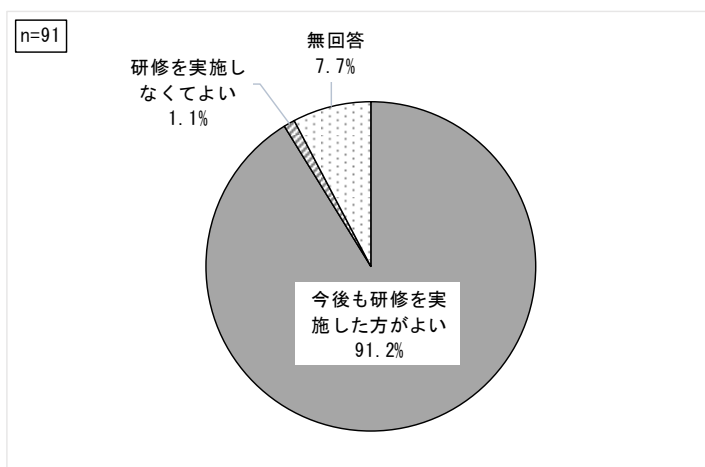
	回答数	%
全体	91	100.0
1 介護保険に関する情報提供、研修の実施	51	56.0
2 質の向上のために事業者が行う研修への支援	26	28.6
3 不正な事業所への指導	7	7.7
4 利用者への適正なサービス利用の啓発	43	47.3
5 地域包括支援センター機能の充実	27	29.7
6 制度運営における保険者判断部分の周知	31	34.1
7 人材対策	39	42.9
8 その他	8	8.8
9 特にない	1	1.1
- 無回答	2	2.2



問 45：現在、市において、介護職員初任者研修を実施することとしています。今後の研修について伺います。(SA)

9割が今後も継続した実施を希望しています。

	回答数	%
全体	91	100.0
1 今後も研修を実施した方がよい	83	91.2
2 研修を実施しなくてよい	1	1.1
- 無回答	7	7.7

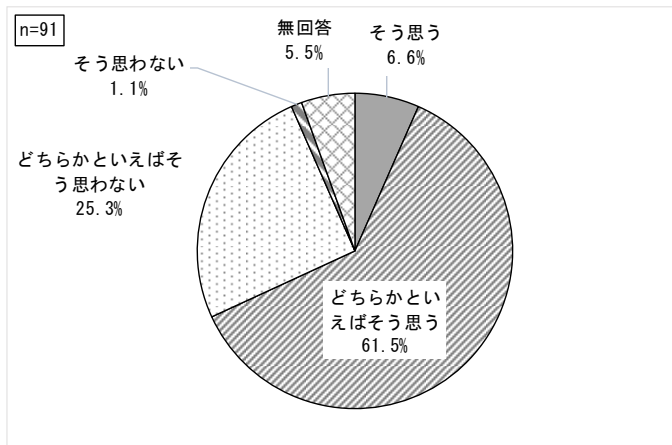


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (5) 事業者調査

問 46：小金井市では、「誰もが安心して暮らせる思いやりのあるまち」の実現をめざしています。あなたは、小金井市は「誰もが安心して暮らせる思いやりのあるまち」だと思いますか。 (SA)

7割程度が「どちらかといえばそう思う」「そう思う」と回答していますが、3割程度で「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」と回答しています

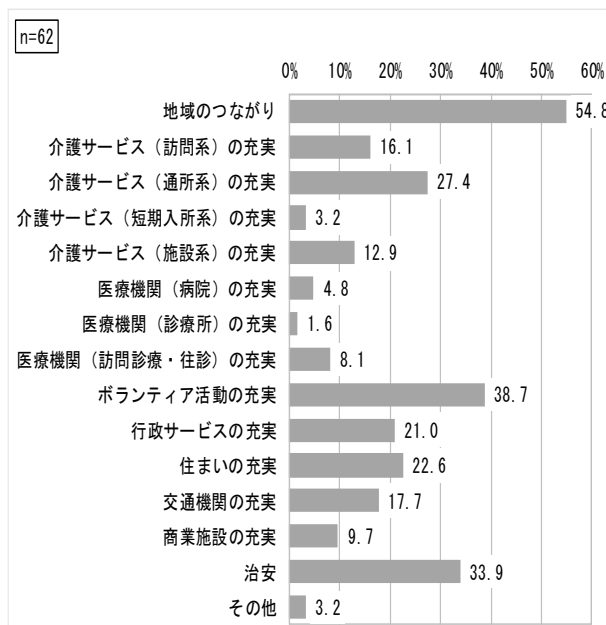
	回答数	%
全体	91	100.0
1 そう思う	6	6.6
2 どちらかといえばそう思う	56	61.5
3 どちらかといえばそう思わない	23	25.3
4 そう思わない	1	1.1
- 無回答	5	5.5



問 47-1：【問 46 で「1.そう思う」～「2.どちらかといえばそう思う」と回答の方】その理由は何ですか。(3 つまで選択) (MA)

半数以上が「地域のつながり」と回答しています。

	回答数	%
全体	62	100.0
1 地域のつながり	34	54.8
2 介護サービス（訪問系）の充実	10	16.1
3 介護サービス（通所系）の充実	17	27.4
4 介護サービス（短期入所系）の充実	2	3.2
5 介護サービス（施設系）の充実	8	12.9
6 医療機関（病院）の充実	3	4.8
7 医療機関（診療所）の充実	1	1.6
8 医療機関（訪問診療・往診）の充実	5	8.1
9 ボランティア活動の充実	24	38.7
10 行政サービスの充実	13	21.0
11 住まいの充実	14	22.6
12 交通機関の充実	11	17.7
13 商業施設の充実	6	9.7
14 治安	21	33.9
15 その他	2	3.2

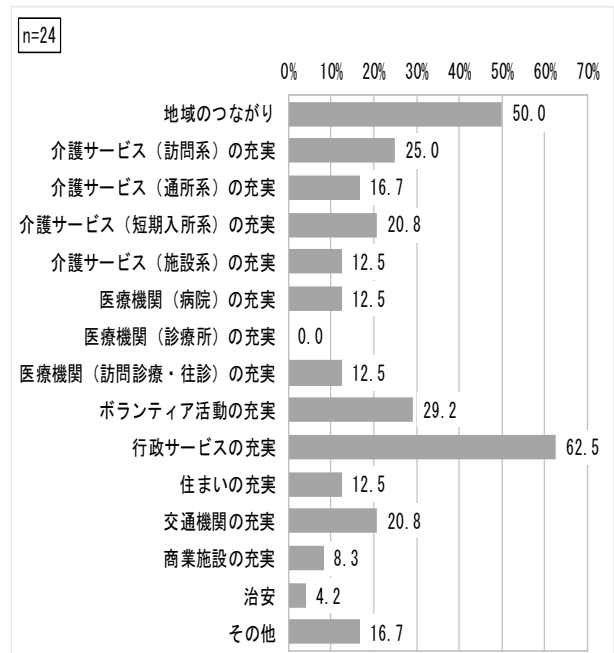


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (5) 事業者調査

問 47-2:【問 46 で「3.どちらかといえばそう思わない」～「4.そう思わない」と回答の方】どの項目が改善したら、「そう思う」ようになりますか。(3つまで選択) (MA)

半数以上が「行政サービスの充実」と回答しています。

	回答数	%
全体	24	100.0
1 地域のつながり	12	50.0
2 介護サービス（訪問系）の充実	6	25.0
3 介護サービス（通所系）の充実	4	16.7
4 介護サービス（短期入所系）の充実	5	20.8
5 介護サービス（施設系）の充実	3	12.5
6 医療機関（病院）の充実	3	12.5
7 医療機関（診療所）の充実	0	0.0
8 医療機関（訪問診療・往診）の充実	3	12.5
9 ボランティア活動の充実	7	29.2
10 行政サービスの充実	15	62.5
11 住まいの充実	3	12.5
12 交通機関の充実	5	20.8
13 商業施設の充実	2	8.3
14 治安	1	4.2
15 その他	4	16.7



問 48：高齢者施策について、小金井市へのご意見・ご要望や知りたい情報などがありましたら、ご自由にお書きください。(注)

- 訪問介護事業者はとにかく人員不足が深刻です。ついては、今年度、次年度と実施を再開していただくことが出来ました、介護職員初任者研修の定期的な開催を引き続きお願いしたいと考えます。生活支援ヘルパーも結構なのですが、直接のケアにつながる初任者研修受講者の増加は喫緊の課題であると考えています。何卒よろしくお願い申し上げます。
- 介護保険サービスを提供する側とサービスを受ける側（利用者）の両方にとって、公的なサービスの充実により、支援が必要な方に必要なサービスが提供できることを望みます。
- 特養が不足していると思われる。
- 介護認定は無いが、社会との繋がりが欲しい人達のサロンの場を提供してほしい。空き家か独居の広いお宅の利用・・・とか
- 全国の状況からみると小金井市は恵まれている方なのではと思いますが、あまり特色はないのかなとも感じます。入院や入所など困った時に対応できる環境（誰が依頼しても対応してくれる）は、もう少し充実されるとありがたいです。また、元気なうちに家族間で「今後について」活発に話ができる市であってほしいです。
- 小金井市は、行政のイニシアチヴには課題の大きい市と周辺市と比較して感じる。しかし、その分、市民活動が盛んで様々な団体や個人が活躍しており、自主性のある市民性は小金井市の宝である。とはいえ、在宅介護の基本方針として「在宅で看取る」「それを支える」という強い意思を行政から感じ取ることができないことは非常に残念な実態である。なぜなら、その結果、元気なころは住み慣れた地域で最期まで生きたいと思い、表明していても、実際はケアマネジャーや家族によって容易に施設送りにされている状況が散見されるからだ。これが安心して最期まで暮らせる町づくりを標榜している小金井市として看過できるのだろうか。小金井市行政は、もう少しケアマネジメントの実態を把握し、本来あるべき市制方針に従いケアマネジメントのあり方を修正させるべきだ。
- 小金井南側、坂下の方からはやはり交通の便の悪さが聞かれます。特にココバスミニのルート近くにお住まいの方からは、「10名しか乗れないから待っていても乗れる保証がない」との言葉も良く聞かれております。ココバスミニに乗れない場合は無理をして歩いて行くか、タクシーを呼んで駅の方まで行かれているようです。坂下から駅の方までのルートが何かあればと思います。

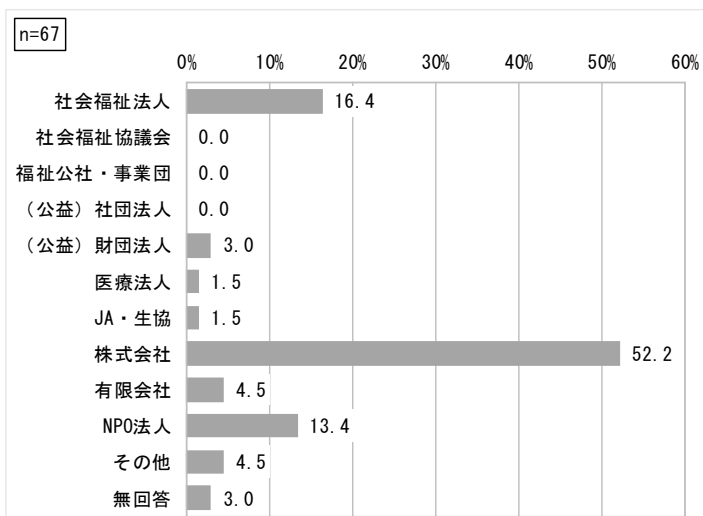
(注) 主な意見として回答を抜粋し、原文のまま掲載しています。

(6) ケアマネジャー調査

問1：あなたの所属事業所の組織体はどれに当てはまりますか。 (SA)

「株式会社」が5割以上です。

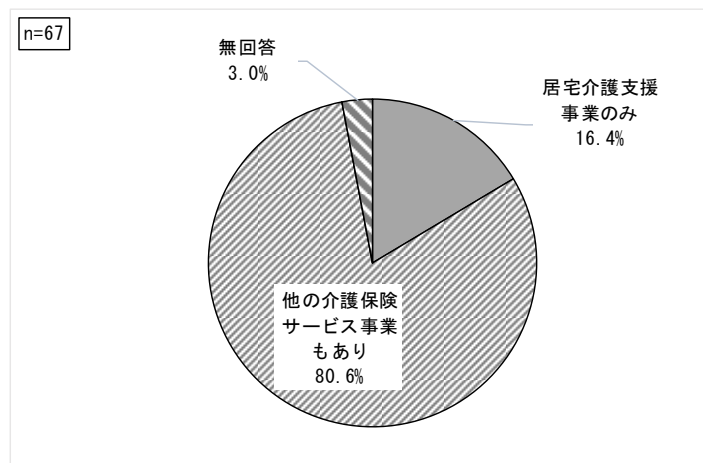
	回答数	%
全体	67	100.0
1 社会福祉法人	11	16.4
2 社会福祉協議会	0	0.0
3 福祉公社・事業団	0	0.0
4 (公益) 社団法人	0	0.0
5 (公益) 財団法人	2	3.0
6 医療法人	1	1.5
7 JA・生協	1	1.5
8 株式会社	35	52.2
9 有限会社	3	4.5
10 NPO 法人	9	13.4
11 その他	3	4.5
- 無回答	2	3.0



問2：あなたの所属事業所の組織形態は次のどれに当てはまりますか。 (SA)

「他の介護保険サービス事業もあり」が8割程度です。

	回答数	%
全体	67	100.0
1 居宅介護支援事業のみ	11	16.4
2 他の介護保険サービス事業もあり	54	80.6
3 その他	0	0.0
- 無回答	2	3.0

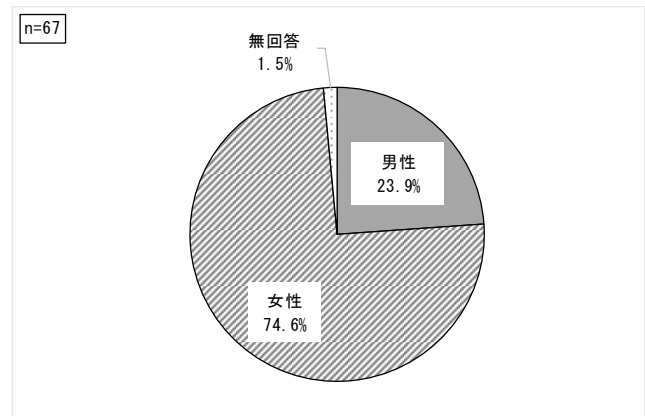


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (6) ケアマネジャー調査

問3：あなたの性別はどちらですか。 (SA)

「女性」が7割程度です。

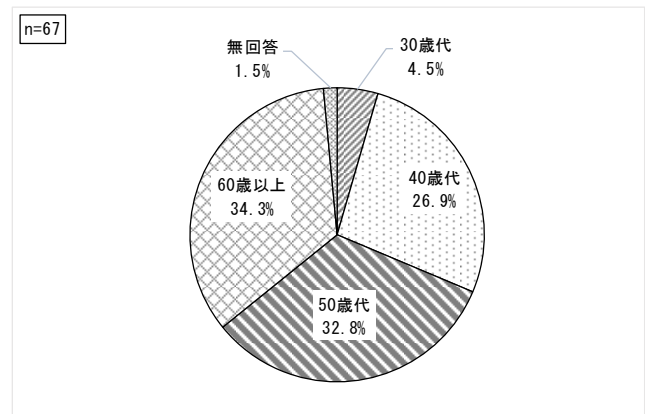
	回答数	%
全体	67	100.0
1 男性	16	23.9
2 女性	50	74.6
- 無回答	1	1.5



問4：現在のあなたの年齢は次のどれですか。 ※令和元年12月1日現在の年齢でお答えください。 (SA)

「60歳以上」が最も多く、次いで「50歳代」であり、年齢層が高い傾向です。

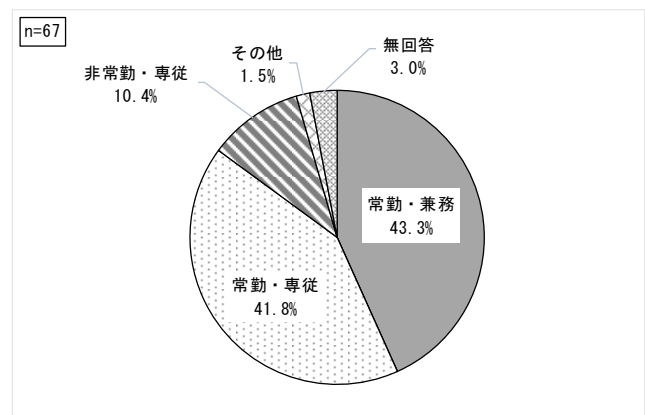
	回答数	%
全体	67	100.0
1 20歳代	0	0.0
2 30歳代	3	4.5
3 40歳代	18	26.9
4 50歳代	22	32.8
5 60歳以上	23	34.3
- 無回答	1	1.5



問5：あなたの勤務形態はどれですか。 (SA)

「常勤・兼務」が最も多く、次いで「常勤・専従」であり、常勤が多い傾向です。

	回答数	%
全体	67	100.0
1 常勤・兼務	29	43.3
2 非常勤・兼務	0	0.0
3 常勤・専従	28	41.8
4 非常勤・専従	7	10.4
5 その他	1	1.5
- 無回答	2	3.0

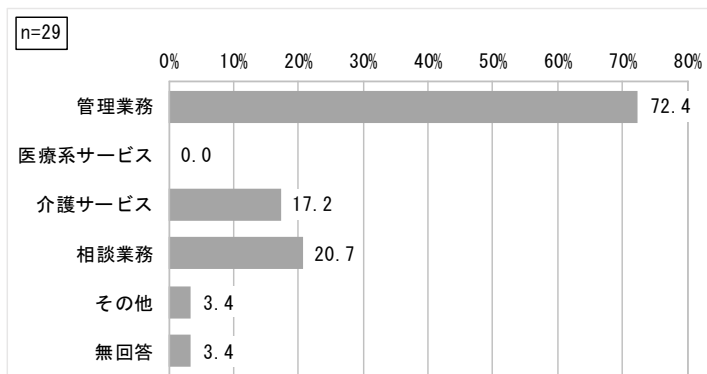


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (6) ケアマネジャー調査

問5-1:【問5で「1.常勤・兼務」、「2.非常勤・兼務」と回答の方】あなたは、どのような業務を兼務していますか。 (MA)

「管理業務」が7割程度です。

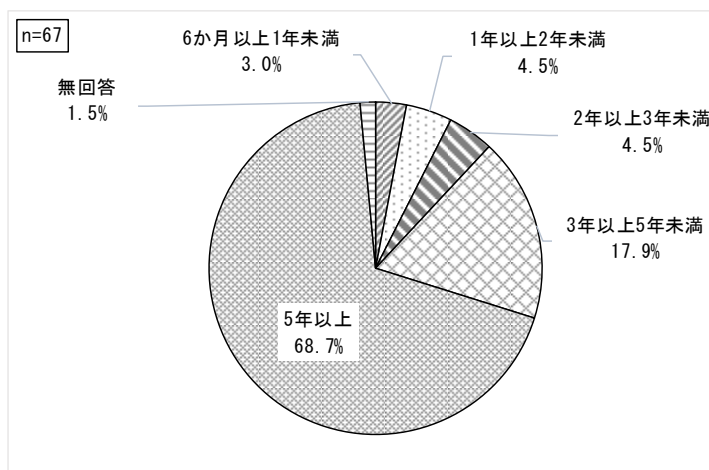
	回答数	%
全体	29	100.0
1 管理業務	21	72.4
2 医療系サービス	0	0.0
3 介護サービス	5	17.2
4 相談業務	6	20.7
5 その他	1	3.4
- 無回答	1	3.4



問6: あなたは、ケアマネジャー業務に従事してどのくらいの経験がありますか。転職などを行っている場合は、前職などを含めた合計期間でお答えください。 (SA)

「5年以上」が約7割です。

	回答数	%
全体	67	100.0
1 6か月未満	0	0.0
2 6か月以上1年未満	2	3.0
3 1年以上2年未満	3	4.5
4 2年以上3年未満	3	4.5
5 3年以上5年未満	12	17.9
6 5年以上	46	68.7
- 無回答	1	1.5



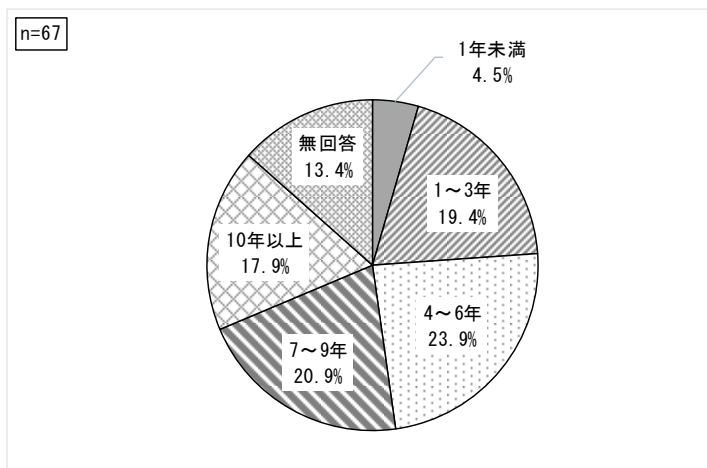


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (6) ケアマネジャー調査

問 6SQ：あなたは、ケアマネジャー業務に従事してどのくらいの経験がありますか。  
 /うち、小金井市での経験年数 [\_\_年] (N)

「4～6年」が最も多く、次いで「7～9年」であり、経験が長い傾向です。

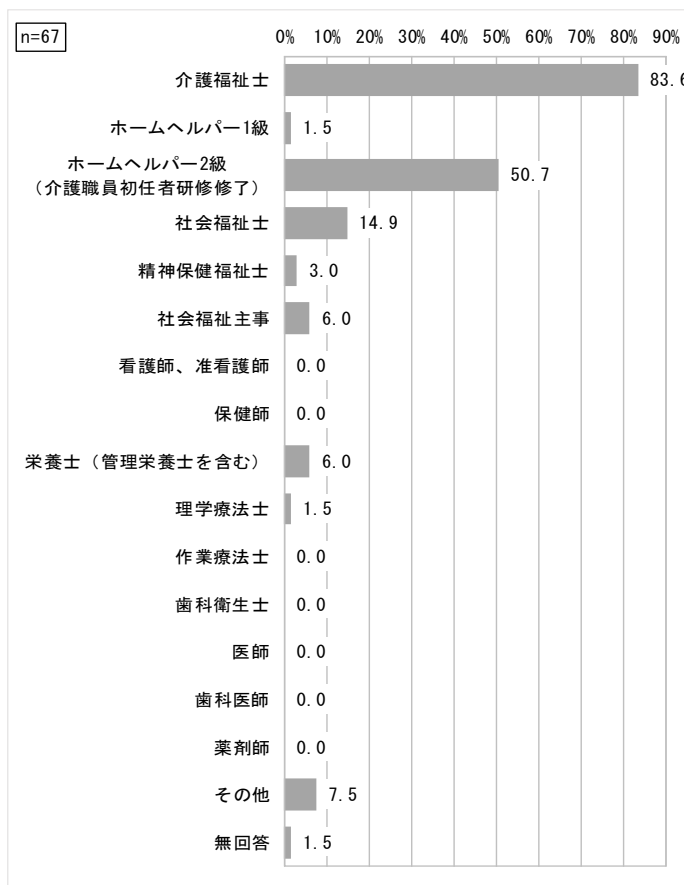
	回答数	%
全体	67	100.0
0 1年未満	3	4.5
1 1～3年	13	19.4
4 4～6年	16	23.9
7 7～9年	14	20.9
10 10年以上	12	17.9
- 無回答	9	13.4
- 平均値		6.41
- 標準偏差		4.11
- 最小値		0.00
- 最大値		17.00



問 7：あなたは、介護支援専門員以外にどのような保健医療福祉関係の資格をお持ちですか。  
 (MA)

「介護福祉士」が最も多く、次いで「ホームヘルパー2級（介護職員初任者研修修了）」であり、介護関係の資格を持っている傾向です。

	回答数	%
全体	67	100.0
1 介護福祉士	56	83.6
2 ホームヘルパー1級	1	1.5
3 ホームヘルパー2級（介護職員初任者研修修了）	34	50.7
4 社会福祉士	10	14.9
5 精神保健福祉士	2	3.0
6 社会福祉主事	4	6.0
7 看護師、准看護師	0	0.0
8 保健師	0	0.0
9 栄養士（管理栄養士を含む）	4	6.0
10 理学療法士	1	1.5
11 作業療法士	0	0.0
12 歯科衛生士	0	0.0
13 医師	0	0.0
14 歯科医師	0	0.0
15 薬剤師	0	0.0
16 その他	5	7.5
- 無回答	1	1.5

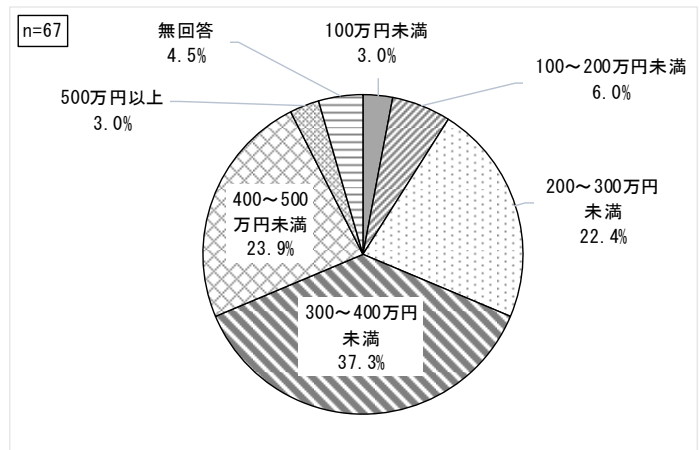


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (6) ケアマネジャー調査

問 8：あなたの年収はおおよそどのくらいですか。 (SA)

「300～400万円未満」が最も多く、次いで「400～500万円未満」です。

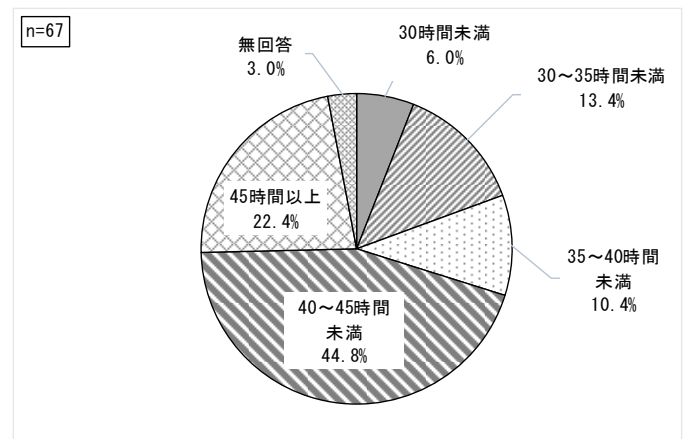
		回答数	%
全体		67	100.0
1	100万円未満	2	3.0
2	100～200万円未満	4	6.0
3	200～300万円未満	15	22.4
4	300～400万円未満	25	37.3
5	400～500万円未満	16	23.9
6	500万円以上	2	3.0
-	無回答	3	4.5



問 9：あなたの一週間の実際の勤務時間はどのくらいですか。 (SA)

「40～45時間未満」が最も多く、次いで「45時間以上」であり、勤務時間が長い傾向です。

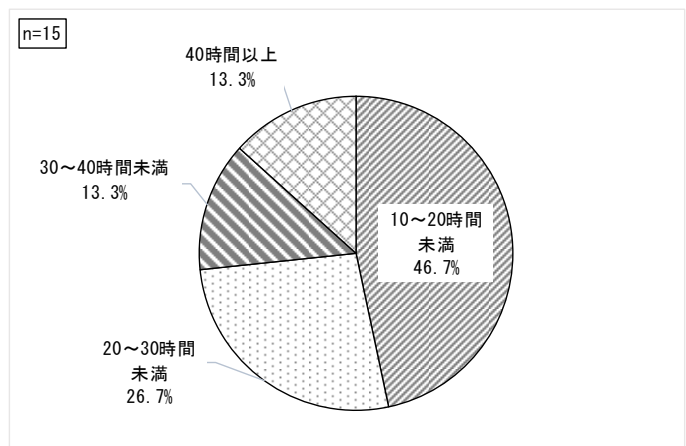
		回答数	%
全体		67	100.0
1	30時間未満	4	6.0
2	30～35時間未満	9	13.4
3	35～40時間未満	7	10.4
4	40～45時間未満	30	44.8
5	45時間以上	15	22.4
-	無回答	2	3.0



問 9-1：【問9で「5.45時間以上」と回答の方】1か月の超過勤務時間はどのくらいですか。 (SA)

「10～20時間未満」が4割以上です。

		回答数	%
全体		15	100.0
1	10時間未満	0	0.0
2	10～20時間未満	7	46.7
3	20～30時間未満	4	26.7
4	30～40時間未満	2	13.3
5	40時間以上	2	13.3

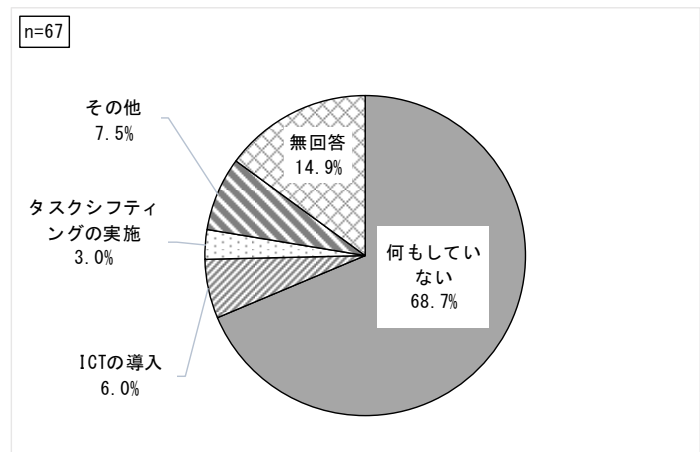


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (6) ケアマネジャー調査

問 9-2：生産性向上（労働時間短縮）のためにどのようなことに取り組まれていますか。（SA）

「何もしていない」が約7割です。

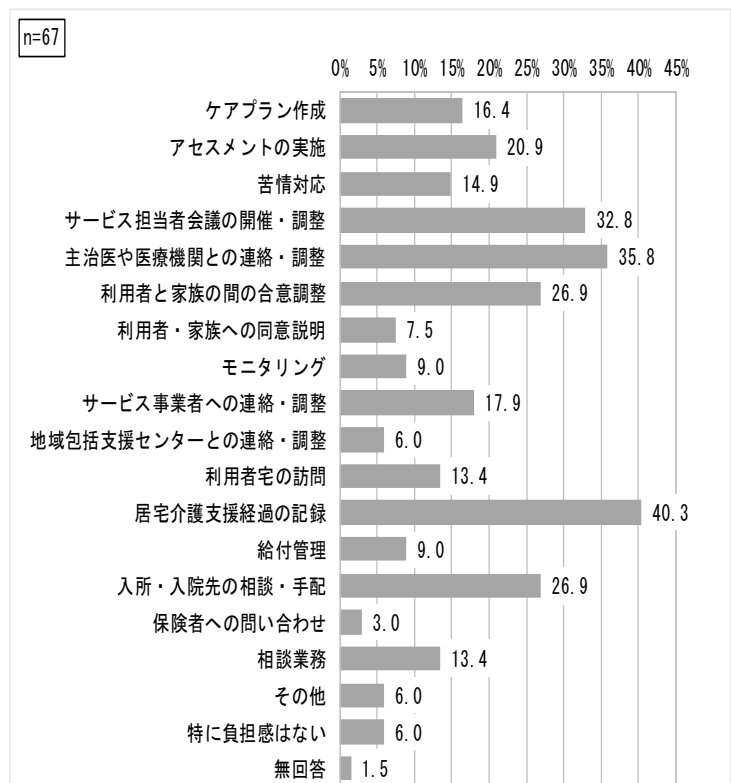
	回答数	%
全体	67	100.0
1 何もしていない	46	68.7
2 ICTの導入	4	6.0
3 タスクシフティングの実施	2	3.0
4 その他	5	7.5
- 無回答	10	14.9



問 10：どのような業務に負担感がありますか。（MA）

「居宅介護支援経過の記録」が最も多く、次いで「主治医や医療機関との連絡・調整」であり、事務業務や連絡手続きに負担感がある傾向です。

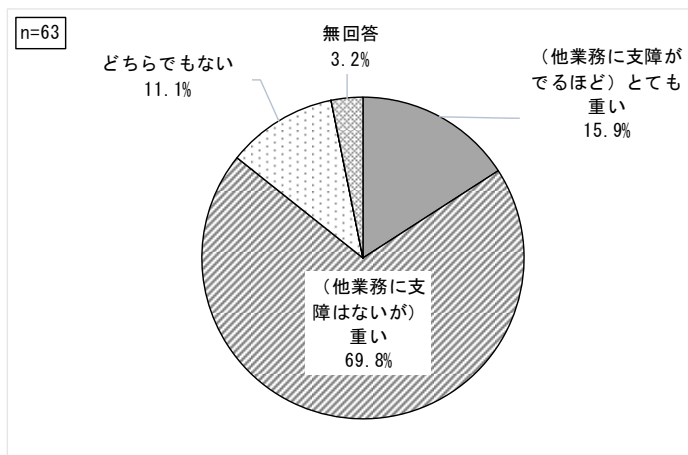
	回答数	%
全体	67	100.0
1 ケアプラン作成	11	16.4
2 アセスメントの実施	14	20.9
3 苦情対応	10	14.9
4 サービス担当者会議の開催・調整	22	32.8
5 主治医や医療機関との連絡・調整	24	35.8
6 利用者や家族との合意調整	18	26.9
7 利用者・家族への同意説明	5	7.5
8 モニタリング	6	9.0
9 サービス事業者への連絡・調整	12	17.9
10 地域包括支援センターとの連絡・調整	4	6.0
11 利用者宅の訪問	9	13.4
12 居宅介護支援経過の記録	27	40.3
13 給付管理	6	9.0
14 入所・入院先の相談・手配	18	26.9
15 保険者への問い合わせ	2	3.0
16 相談業務	9	13.4
17 その他	4	6.0
18 特に負担感はない	4	6.0
- 無回答	1	1.5



問 10-1:【問 10 で「18.特に負担感はない」と回答していない方】事務作業の負担感ほどの程度ですか。 (SA)

「(他業務に支障はないが) 重い」が約 7 割です。

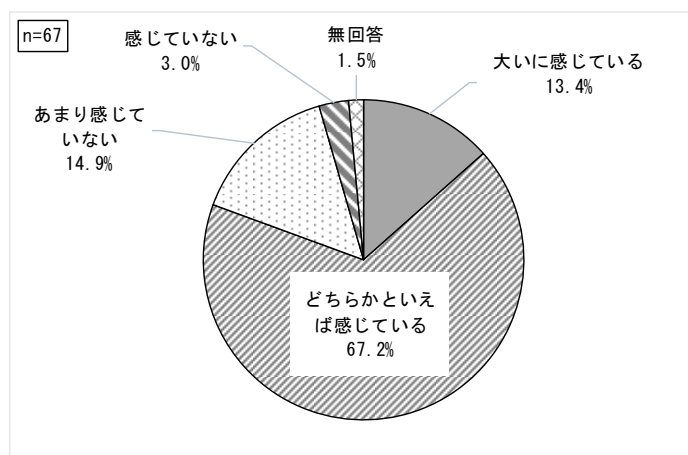
	回答数	%
全体	63	100.0
1 (他業務に支障がでるほど) ととても重い	10	15.9
2 (他業務に支障はないが) 重い	44	69.8
3 どちらでもない	7	11.1
4 軽い	0	0.0
5 とても軽い	0	0.0
- 無回答	2	3.2



問 11: ケアマネジャーの仕事に働きがいを感じていますか。 (SA)

働きがいを感じていない方が約 1 割います。

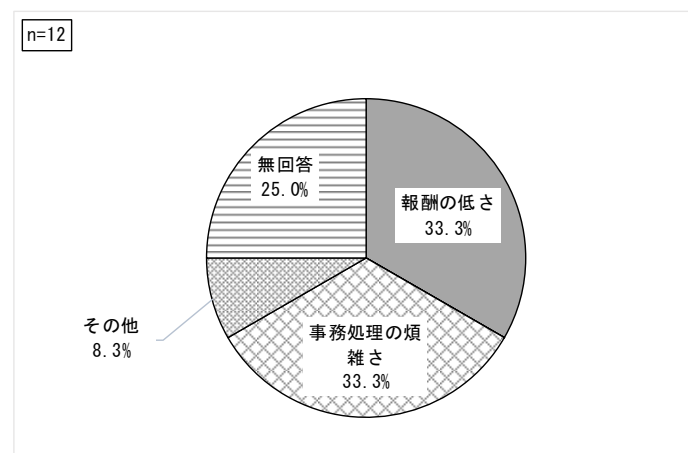
	回答数	%
全体	67	100.0
1 大いに感じている	9	13.4
2 どちらかといえば感じている	45	67.2
3 あまり感じていない	10	14.9
4 感じていない	2	3.0
- 無回答	1	1.5



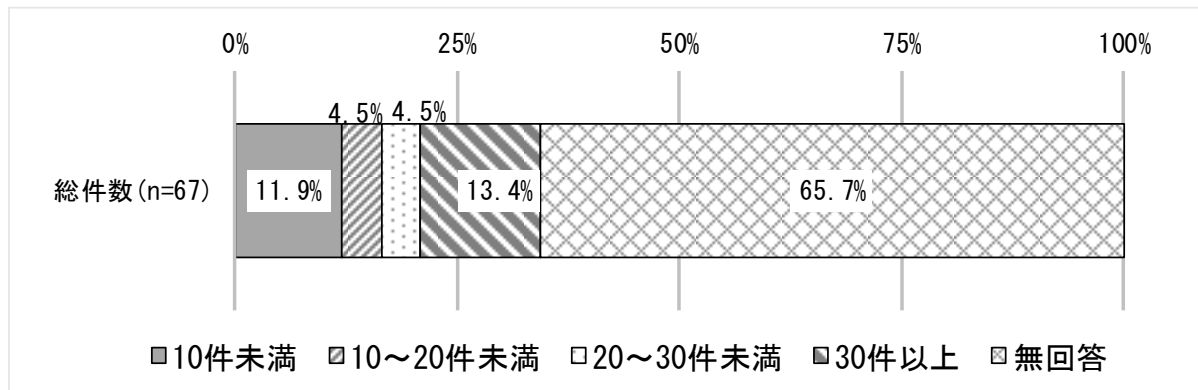
問 11-1:【問 11 で「3.あまり感じていない」、「4.感じていない」と回答の方】一番の理由は何ですか。 (SA)

「報酬の低さ」「事務処理の煩雑さ」が一番の理由であり、経済面や業務内容に働きがいを感じていない傾向です。

	回答数	%
全体	12	100.0
1 報酬の低さ	4	33.3
2 労働時間の長さ	0	0.0
3 職場の人間関係	0	0.0
4 人手不足	0	0.0
5 事務処理の煩雑さ	4	33.3
6 その他	1	8.3
- 無回答	3	25.0



問 12：あなたが令和元年10月に小金井市の要支援・要介護認定者、総合事業対象者（チェックリスト該当者）に対し作成したケアプランの給付管理件数は何件でしたか。  
[\_\_件] （数値マトリクス）

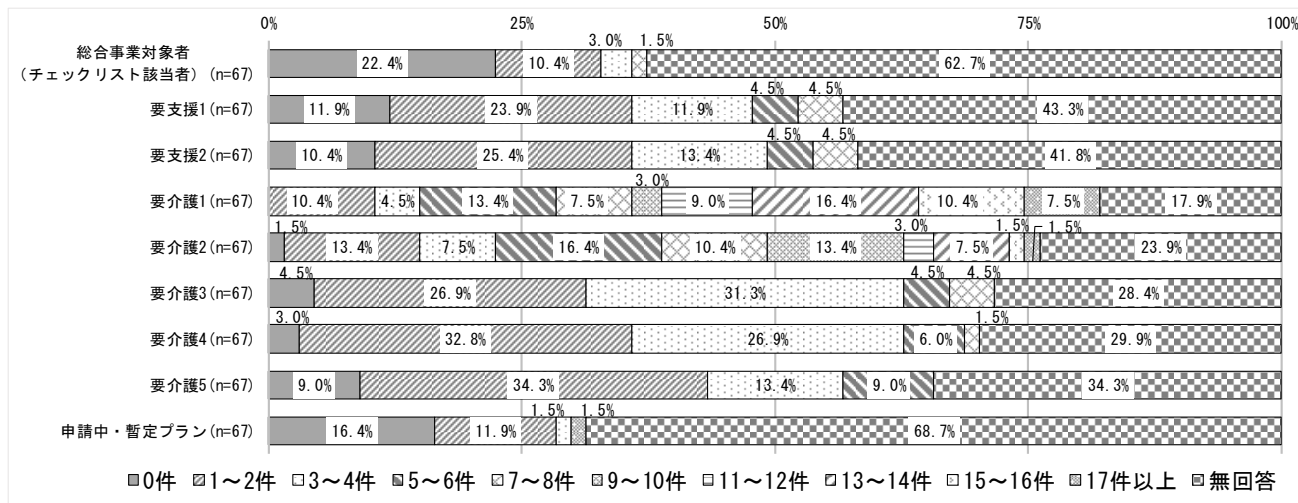


			全体	0	10	20	30	-	平均値	標準偏差	最小値	最大値
			回答数	10件未満	10～20件未満	20～30件未満	30件以上	無回答				
問 12.1	総件数	回答数 %	67 100.0	8 11.9	3 4.5	3 4.5	9 13.4	44 65.7	19.39	14.45	0.00	41.00

## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (6) ケアマネジャー調査

問 12：あなたが令和元年 10 月に小金井市の要支援・要介護認定者、総合事業対象者（チェックリスト該当者）に対し作成したケアプランの給付管理件数は何件でしたか。  
[\_\_件] （数値マトリクス）

最も多い平均給付管理件数は「要介護 2」9.9 件であり、次いで「要介護 1」7.1 件です。

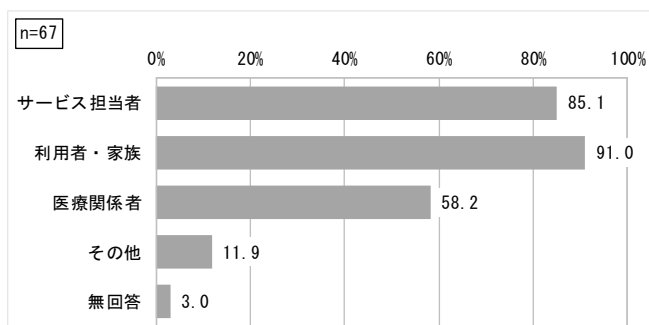


	全体	0	1	3	5	7	9	11	13	15	17	-	平均値	標準偏差	最小値	最大値
		0件	1~2件	3~4件	5~6件	7~8件	9~10件	11~12件	13~14件	15~16件	17件以上	無回答				
問 12.2 総合事業対象者 (チェックリスト該当者)	67	15	7	2	0	1	0	0	0	0	0	42				
問 12.3 要支援1	67	8	16	8	3	3	0	0	0	0	0	29	2.21	2.16	0.00	8.00
問 12.4 要支援2	67	7	17	9	3	3	0	0	0	0	0	28	2.49	2.23	0.00	8.00
問 12.5 要介護1	67	0	7	3	9	5	2	6	11	7	5	12	9.89	5.34	1.00	19.00
問 12.6 要介護2	67	1	9	5	11	7	9	2	5	1	1	16	7.12	5.01	0.00	28.00
問 12.7 要介護3	67	3	18	21	3	3	0	0	0	0	0	19	2.96	1.80	0.00	8.00
問 12.8 要介護4	67	2	22	18	4	1	0	0	0	0	0	20	2.53	1.59	0.00	8.00
問 12.9 要介護5	67	6	23	9	6	0	0	0	0	0	0	23	2.09	1.65	0.00	6.00
問 12.10 申請中・暫定プラン	67	11	8	1	0	0	0	0	0	0	1	46	2.29	7.54	0.00	35.00

問 13：ケアプランの作成にかかわる人はどなたですか。 (MA)

「利用者・家族」が最も多く、次いで「サービス担当者」であり、利用者・家族やサービス担当者がケアプランの作成に積極的にかかわる傾向です。

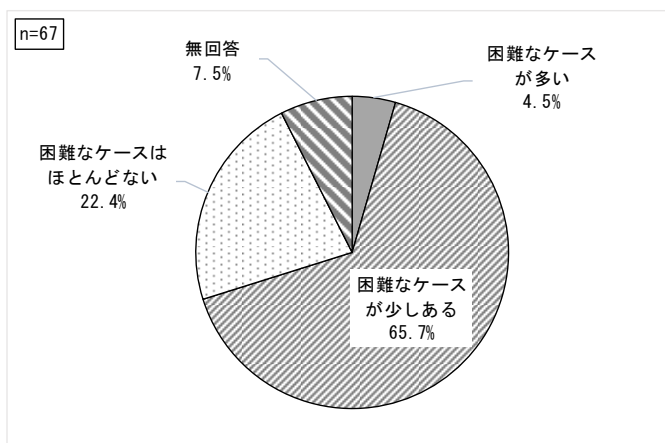
	回答数	%
全体	67	100.0
1 サービス担当者	57	85.1
2 利用者・家族	61	91.0
3 医療関係者	39	58.2
4 その他	8	11.9
- 無回答	2	3.0



問 14：ケアプランの作成が困難だったケースはどの程度ありますか。 (SA)

「困難なケースが少しある」が7割程度です。

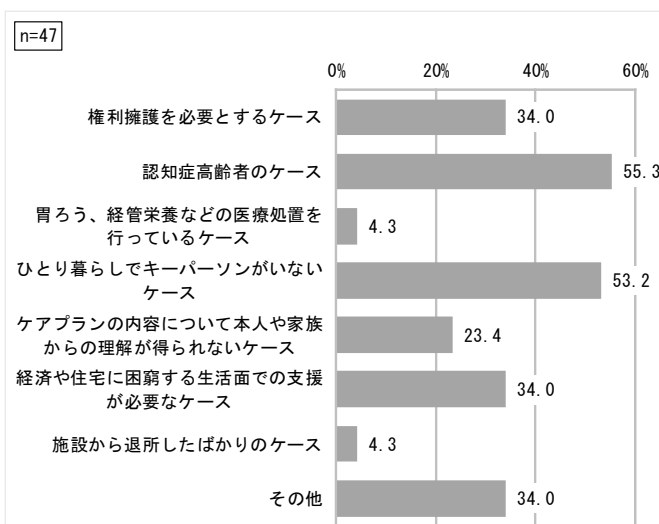
	回答数	%
全体	67	100.0
1 困難なケースが多い	3	4.5
2 困難なケースが少しある	44	65.7
3 困難なケースはほとんどない	15	22.4
- 無回答	5	7.5



問 14-1：【問 14 で「1.困難なケースが多い」、「2.困難なケースが少しある」と回答の方】困難だったのは、どのようなケースですか。 (MA)

「認知症高齢者のケース」が最も多く、次いで「ひとり暮らしでキーパーソンがいないケース」であり、ケアプラン作成の代理人を必要とする傾向です。

	回答数	%
全体	47	100.0
1 権利擁護を必要とするケース	16	34.0
2 認知症高齢者のケース	26	55.3
3 胃ろう、経管栄養などの医療処置を行っているケース	2	4.3
4 ひとり暮らしでキーパーソンがいないケース	25	53.2
5 ケアプランの内容について本人や家族からの理解が得られないケース	11	23.4
6 経済や住宅に困窮する生活面での支援が必要なケース	16	34.0
7 施設から退所したばかりのケース	2	4.3
8 その他	16	34.0

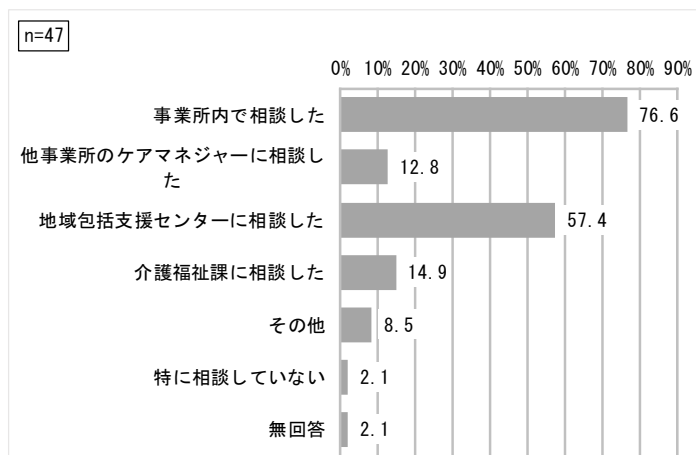


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (6) ケアマネジャー調査

問 14-2：【問 14 で「1.困難なケースが多い」、「2.困難なケースが少しある」と回答の方】  
困難だったケースについて、あなたはどこかに相談しましたか。 (MA)

「事業所内で相談した」が最も多く、次いで「地域包括支援センターに相談した」であり、内部や地域の相談窓口相談する傾向です。

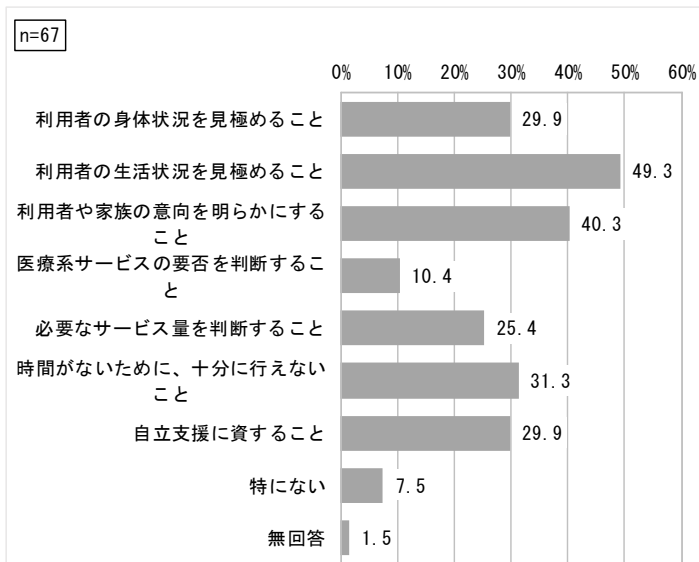
	回答数	%
全体	47	100.0
1 事業所内で相談した	36	76.6
2 他事業所のケアマネジャーに相談した	6	12.8
3 地域包括支援センターに相談した	27	57.4
4 介護福祉課に相談した	7	14.9
5 その他	4	8.5
6 特に相談していない	1	2.1
- 無回答	1	2.1



問 15：アセスメントを実施する際に難しいと感じることは何ですか。 (MA)

「利用者の生活状況を見極めること」が最も多く、次いで「利用者や家族の意向を明らかにすること」であり、生活状況や意向の明確化が難しい傾向です。

	回答数	%
全体	67	100.0
1 利用者の身体状況を見極めること	20	29.9
2 利用者の生活状況を見極めること	33	49.3
3 利用者や家族の意向を明らかにすること	27	40.3
4 医療系サービスの可否を判断すること	7	10.4
5 必要なサービス量を判断すること	17	25.4
6 時間がないために、十分に行えないこと	21	31.3
7 自立支援に資すること	20	29.9
8 特にない	5	7.5
- 無回答	1	1.5

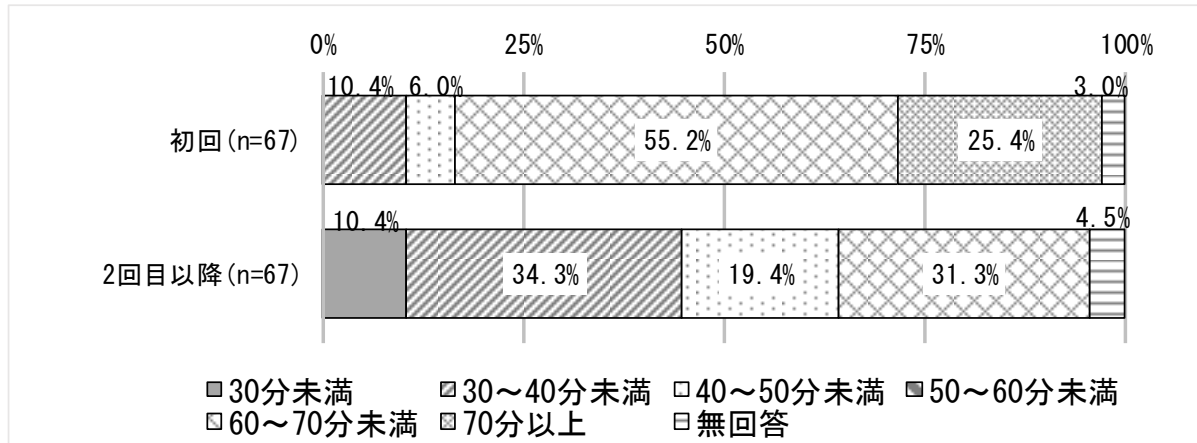




第2章 調査の結果 4 単純集計 (6) ケアマネジャー調査

問 16：1 回当たりのモニタリング、アセスメントに要する平均時間はどのくらいですか。  
 / 平均 [\_\_分] (数値マトリクス)

初回の平均時間は 64.1 分であり、2 回目以降の平均時間は 40.9 分です。

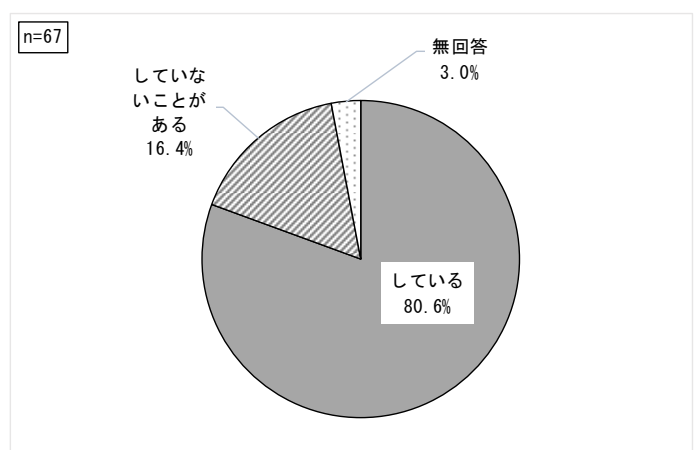


	全体	0	30	40	50	60	70	-	平均値	標準偏差	最小値	最大値
		30分未満	30~40分未満	40~50分未満	50~60分未満	60~70分未満	70分以上	無回答				
問 16.1 初回	67	0	7	4	0	37	17	2				
	%	0.0	10.4	6.0	0.0	55.2	25.4	3.0	64.08	21.36	30.00	150.00
問 16.2 2回目以降	67	7	23	13	0	21	0	3				
	%	10.4	34.3	19.4	0.0	31.3	0.0	4.5	40.86	15.13	10.00	60.00

問 17：全てのケースについてサービス担当者会議を実施していますか。 (SA)

「している」が最も多いです。

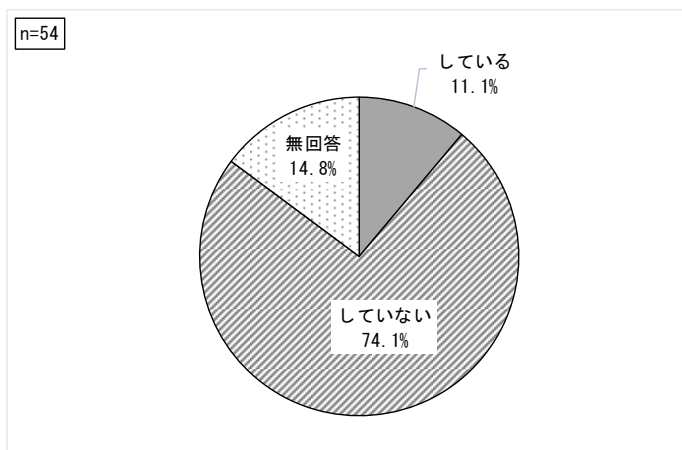
	回答数	%
全体	67	100.0
1 している	54	80.6
2 していないことがある	11	16.4
- 無回答	2	3.0



問 17-1① : 【問 17 で「1.している」と回答の方】 サービス担当者会議にかかりつけ医は参加していますか。 (SA)

「していない」が7割程度です。

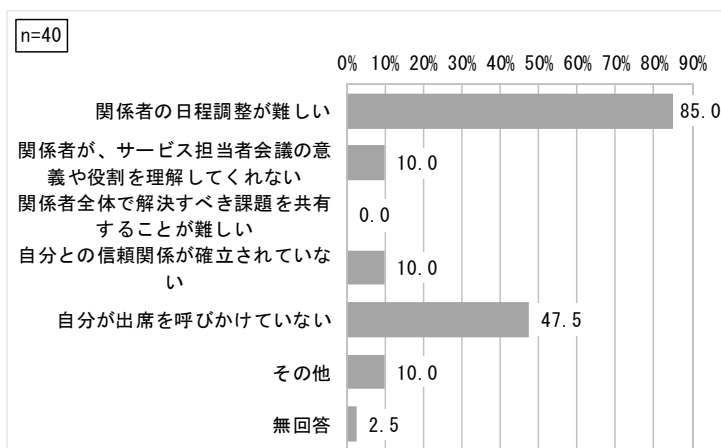
	回答数	%
全体	54	100.0
1 している	6	11.1
2 していないことがある	40	74.1
- 無回答	8	14.8



問 17-1①\_2 : 【問 17-1① で「2.していない」と回答の方】 サービス担当者会議にかかりつけ医は参加していますか。 / 参加しない理由は何ですか。 (MA)

「関係者の日程調整が難しい」が最も多く、次いで「自分が出席を呼びかけていない」であり、日程調整が困難であったり出席依頼をしていない傾向です。

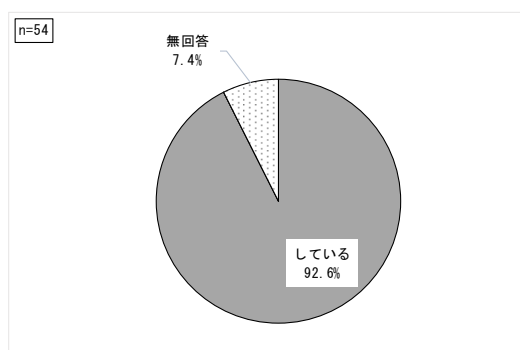
	回答数	%
全体	40	100.0
1 関係者の日程調整が難しい	34	85.0
2 関係者が、サービス担当者会議の意義や役割を理解してくれない	4	10.0
3 関係者全体で解決すべき課題を共有することが難しい	0	0.0
4 自分との信頼関係が確立されていない	4	10.0
5 自分が出席を呼びかけていない	19	47.5
6 その他	4	10.0
- 無回答	1	2.5



問 17-1①\_2:【問 17-1①で「2.していない」と回答の方】サービス担当者会議にかかりつけ医は参加していますか。／参加しない理由は何ですか。 (MA)

「している」が約9割です。

	回答数	%
全体	54	100.0
1 している	50	92.6
2 していない	0	0.0
- 無回答	4	7.4



問 17-1②\_2:【問 17-1②で「2.していない」と回答の方】サービス担当者会議に利用者家族は参加していますか。／参加しない理由は何ですか。 (MA)

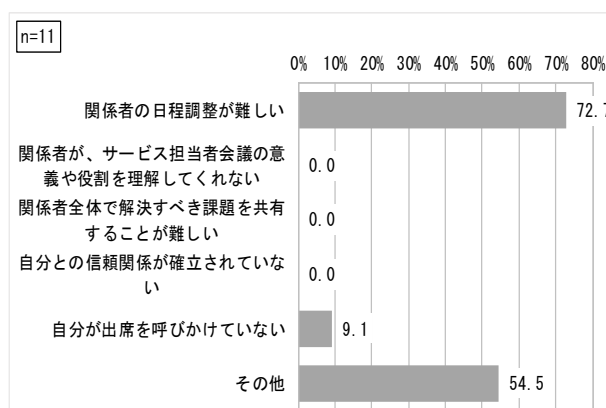
問 17-1②で「2.していない」との回答が0だったため回答なし

	回答数	%
全体	0	100.0
1 関係者の日程調整が難しい	0	0.0
2 関係者が、サービス担当者会議の意義や役割を理解してくれない	0	0.0
3 関係者全体で解決すべき課題を共有することが難しい	0	0.0
4 自分との信頼関係が確立されていない	0	0.0
5 自分が出席を呼びかけていない	0	0.0
6 その他	0	0.0

問 17-2:【問 17で「2.していないことがある」と回答の方】サービス担当者会議を開催できない理由は何ですか。 (MA)

「関係者の日程調整が難しい」が7割程度であり、日程を合わせることに困難である傾向です。

	回答数	%
全体	11	100.0
1 関係者の日程調整が難しい	8	72.7
2 関係者が、サービス担当者会議の意義や役割を理解してくれない	0	0.0
3 関係者全体で解決すべき課題を共有することが難しい	0	0.0
4 自分との信頼関係が確立されていない	0	0.0
5 自分が出席を呼びかけていない	1	9.1
6 その他	6	54.5

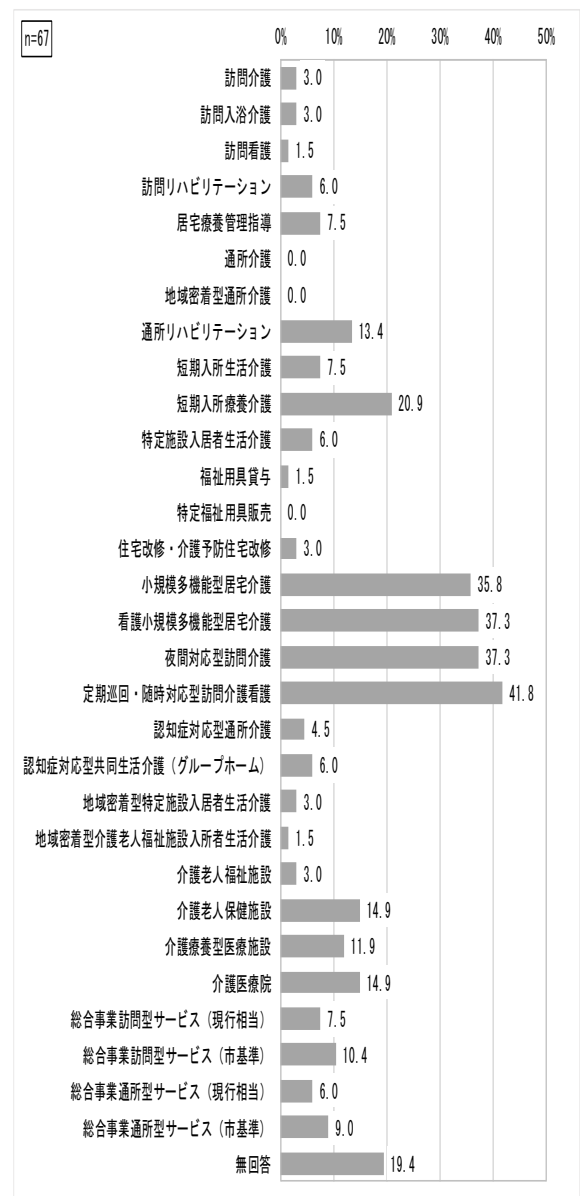


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (6) ケアマネジャー調査

問 18：ケアプランを作成するにあたって、利用しにくいと感じているサービスは何ですか。  
(MA)

「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が最も多く、次いで「看護小規模多機能型居宅介護」「夜間対応型訪問介護」です。

	回答数	%
全体	67	100.0
1 訪問介護	2	3.0
2 訪問入浴介護	2	3.0
3 訪問看護	1	1.5
4 訪問リハビリテーション	4	6.0
5 居宅療養管理指導	5	7.5
6 通所介護	0	0.0
7 地域密着型通所介護	0	0.0
8 通所リハビリテーション	9	13.4
9 短期入所生活介護	5	7.5
10 短期入所療養介護	14	20.9
11 特定施設入居者生活介護	4	6.0
12 福祉用具貸与	1	1.5
13 特定福祉用具販売	0	0.0
14 住宅改修・介護予防住宅改修	2	3.0
15 小規模多機能型居宅介護	24	35.8
16 看護小規模多機能型居宅介護	25	37.3
17 夜間対応型訪問介護	25	37.3
18 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	28	41.8
19 認知症対応型通所介護	3	4.5
20 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	4	6.0
21 地域密着型特定施設入居者生活介護	2	3.0
22 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	1.5
23 介護老人福祉施設	2	3.0
24 介護老人保健施設	10	14.9
25 介護療養型医療施設	8	11.9
26 介護医療院	10	14.9
27 総合事業訪問型サービス（現行相当）	5	7.5
28 総合事業訪問型サービス（市基準）	7	10.4
29 総合事業通所型サービス（現行相当）	4	6.0
30 総合事業通所型サービス（市基準）	6	9.0
- 無回答	13	19.4

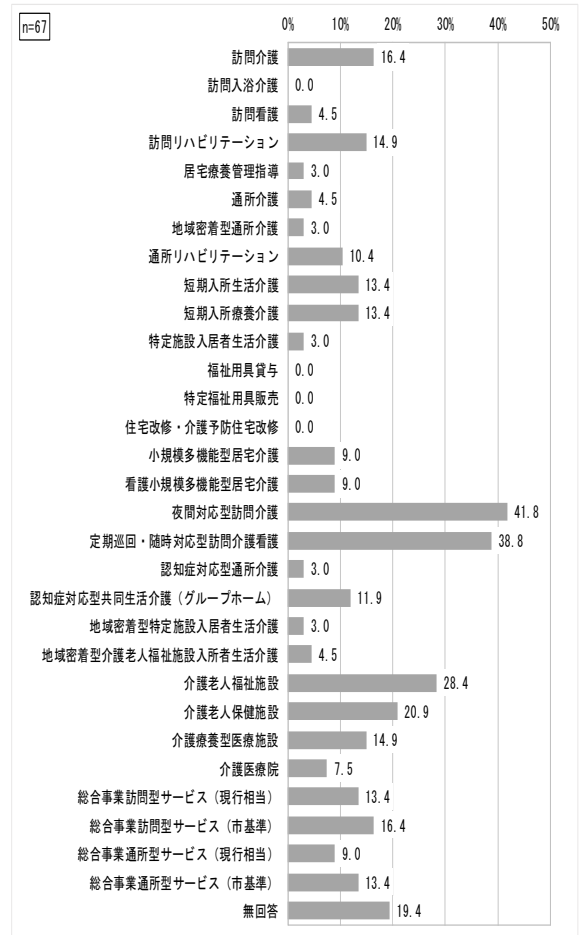


第2章 調査の結果 4 単純集計 (6) ケアマネジャー調査

問 19：量的に不足していると感じるサービスは何ですか。 (MA)

「夜間対応型訪問介護」が最も多く、次いで「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」です。

	回答数	%
全体	67	100.0
1 訪問介護	11	16.4
2 訪問入浴介護	0	0.0
3 訪問看護	3	4.5
4 訪問リハビリテーション	10	14.9
5 居宅療養管理指導	2	3.0
6 通所介護	3	4.5
7 地域密着型通所介護	2	3.0
8 通所リハビリテーション	7	10.4
9 短期入所生活介護	9	13.4
10 短期入所療養介護	9	13.4
11 特定施設入居者生活介護	2	3.0
12 福祉用具貸与	0	0.0
13 特定福祉用具販売	0	0.0
14 住宅改修・介護予防住宅改修	0	0.0
15 小規模多機能型居宅介護	6	9.0
16 看護小規模多機能型居宅介護	6	9.0
17 夜間対応型訪問介護	28	41.8
18 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	26	38.8
19 認知症対応型通所介護	2	3.0
20 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	8	11.9
21 地域密着型特定施設入居者生活介護	2	3.0
22 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	3	4.5
23 介護老人福祉施設	19	28.4
24 介護老人保健施設	14	20.9
25 介護療養型医療施設	10	14.9
26 介護医療院	5	7.5
27 総合事業訪問型サービス（現行相当）	9	13.4
28 総合事業訪問型サービス（市基準）	11	16.4
29 総合事業通所型サービス（現行相当）	6	9.0
30 総合事業通所型サービス（市基準）	9	13.4
- 無回答	13	19.4

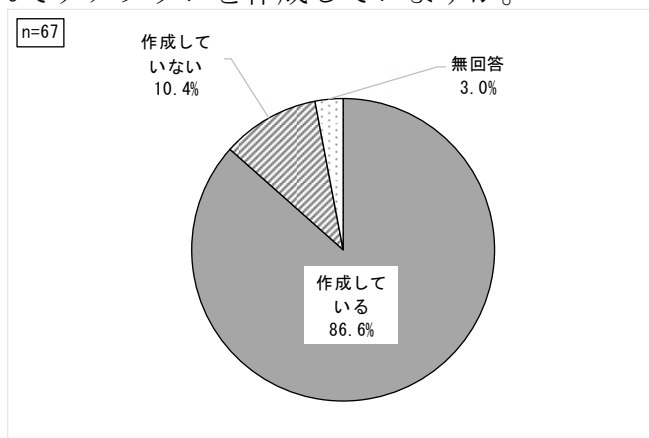


問 20：介護保険以外のサービス等を組み入れてケアプランを作成していますか。

(SA)

作成していない方が 1 割程度います。

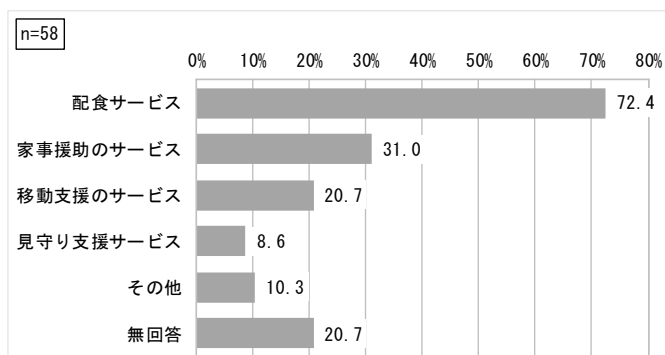
	回答数	%
全体	67	100.0
1 作成している	58	86.6
2 作成していない	7	10.4
- 無回答	2	3.0



問 20-1-1：【問 20 で「1.作成している」と回答の方】ケアプランを作成する際に検討したことがあるのはどのようなサービスですか。／フォーマルサービス (MA)

「配食サービス」が最も多く、次いで「家事援助のサービス」であり、家事や食事の支援を検討する傾向です。

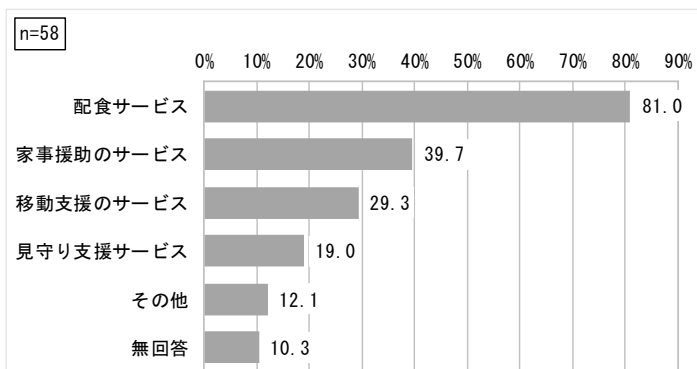
	回答数	%
全体	58	100.0
1 配食サービス	42	72.4
2 家事援助のサービス	18	31.0
3 移動支援のサービス	12	20.7
4 見守り支援サービス	5	8.6
5 その他	6	10.3
- 無回答	12	20.7



問 20-1-2：【問 20 で「1.作成している」と回答の方】ケアプランを作成する際に検討したことがあるのはどのようなサービスですか。／インフォーマルなサービス (MA)

「配食サービス」が最も多く、次いで「家事援助のサービス」であり、フォーマル・インフォーマル共に家事や食事の支援を検討する傾向です。

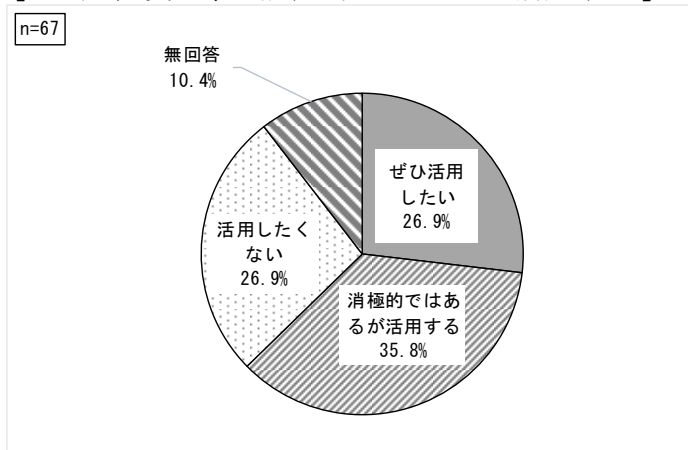
	回答数	%
全体	58	100.0
1 配食サービス	47	81.0
2 家事援助のサービス	23	39.7
3 移動支援のサービス	17	29.3
4 見守り支援サービス	11	19.0
5 その他	7	12.1
- 無回答	6	10.3



問 21：AI でのケアプラン作成について、どう思いますか。 (SA)

「ぜひ活用したい」と「活用したくない」が同程度で、「消極的ではあるが活用する」が4割程度です。

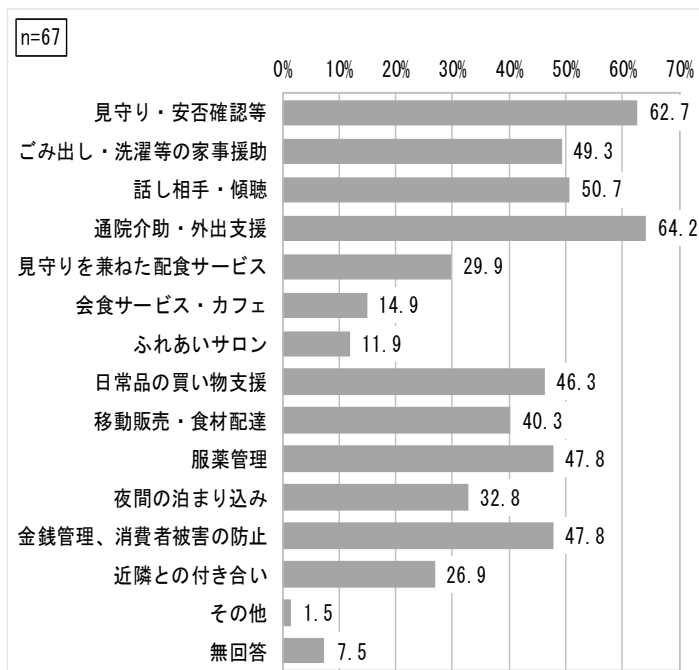
	回答数	%
全体	67	100.0
1 ぜひ活用したい	18	26.9
2 消極的ではあるが活用する	24	35.8
3 活用したくない	18	26.9
- 無回答	7	10.4



問 22：高齢者の在宅生活を支えるために、これから充実が必要だと思う「活動」や「生活支援」は次のどれだと思いますか。 (MA)

「通院介助・外出支援」が最も多く、次いで「見守り・安否確認等」であり、外出や見守り支援の充実が必要だと考えている傾向が見受けられます。

	回答数	%
全体	67	100.0
1 見守り・安否確認等	42	62.7
2 ごみ出し・洗濯等の家事援助	33	49.3
3 話し相手・傾聴	34	50.7
4 通院介助・外出支援	43	64.2
5 見守りを兼ねた配食サービス	20	29.9
6 会食サービス・カフェ	10	14.9
7 ふれあいサロン	8	11.9
8 日常品の買い物支援	31	46.3
9 移動販売・食材配達	27	40.3
10 服薬管理	32	47.8
11 夜間の泊まり込み	22	32.8
12 金銭管理、消費者被害の防止	32	47.8
13 近隣との付き合い	18	26.9
14 その他	1	1.5
- 無回答	5	7.5

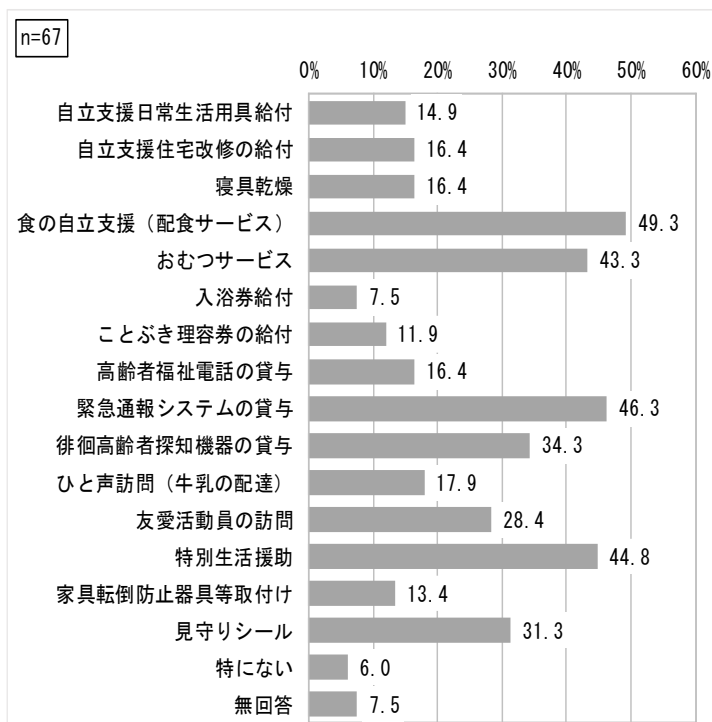


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (6) ケアマネジャー調査

問 23：現在、小金井市では以下のような高齢者保健福祉サービスを実施していますが、今後一層の充実が必要と思うサービスは次のどれですか。（MA）

「食の自立支援（配食サービス）」が最も多く、次いで「特別生活援助」であり、食事や生活援助の充実が必要だと考えている傾向が見受けられます。

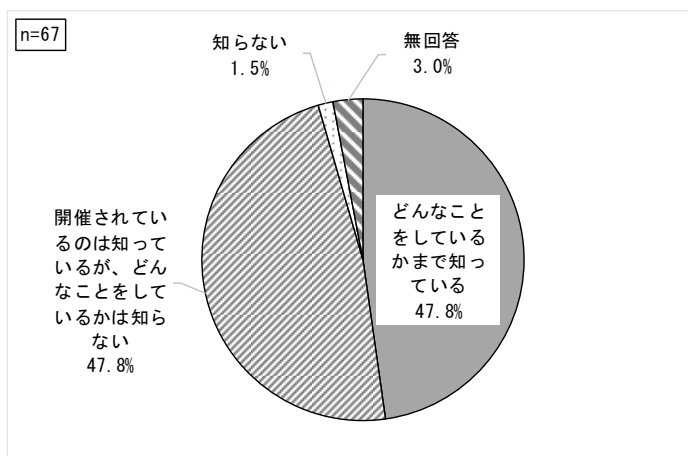
	回答数	%
全体	67	100.0
1 自立支援日常生活用具給付	10	14.9
2 自立支援住宅改修の給付	11	16.4
3 寝具乾燥	11	16.4
4 食の自立支援（配食サービス）	33	49.3
5 おむつサービス	29	43.3
6 入浴券給付	5	7.5
7 ことぶき理容券の給付	8	11.9
8 高齢者福祉電話の貸与	11	16.4
9 緊急通報システムの貸与	31	46.3
10 徘徊高齢者探知機器の貸与	23	34.3
11 ひと声訪問（牛乳の配達）	12	17.9
12 友愛活動員の訪問	19	28.4
13 特別生活援助	30	44.8
14 家具転倒防止器具等取付け	9	13.4
15 見守りシール	21	31.3
16 特にない	4	6.0
- 無回答	5	7.5



問 24：地域ケア会議について、知っていますか。（SA）

「どんなことをしているかまで知っている」と「開催されているのは知っているが、どんなことをしているかは知らない」が同程度であり、地域ケア会議の一定の認知度がある傾向です。

	回答数	%
全体	67	100.0
1 どんなことをしているかまで知っている	32	47.8
2 開催されているのは知っているが、どんなことをしているかは知らない	32	47.8
3 知らない	1	1.5
- 無回答	2	3.0



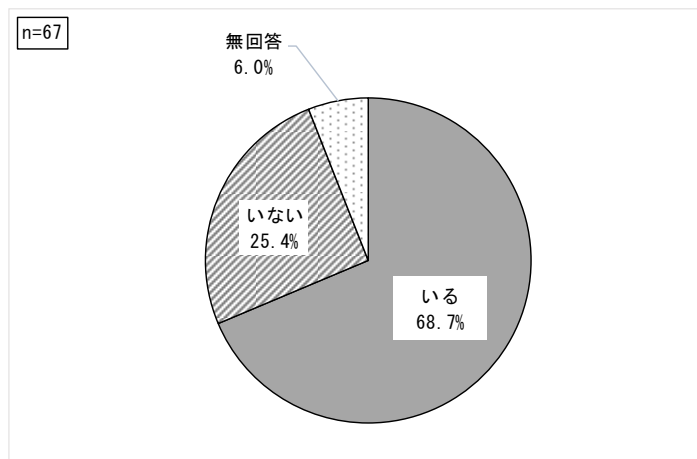


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (6) ケアマネジャー調査

問 25：令和元年 10 月時点であなたがサービスを提供している利用者の中に、往診が必要と思われる方はいますか。（SA）

「いる」が約 7 割です。

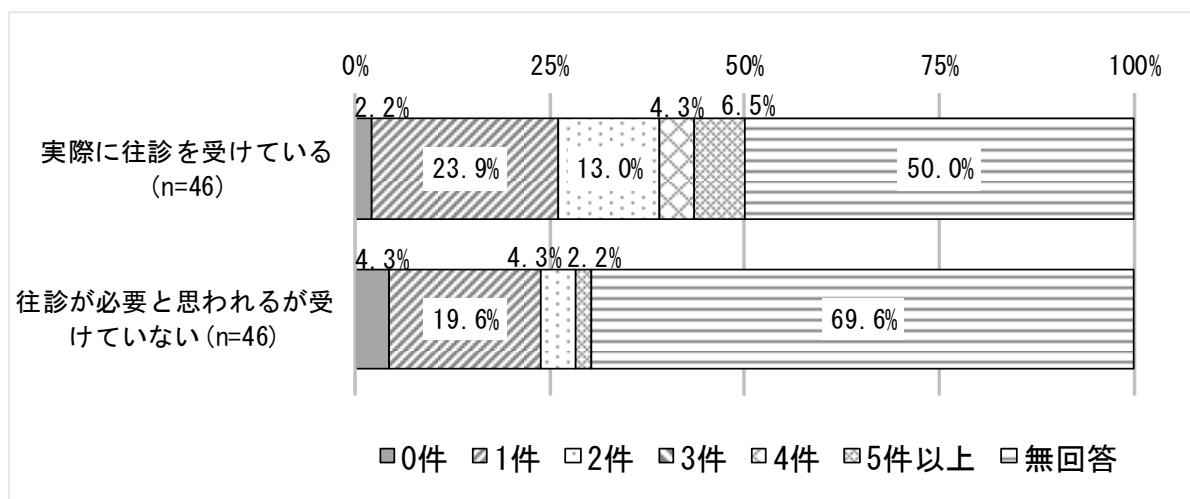
	回答数	%
全体	67	100.0
1 いる	46	68.7
2 いない	17	25.4
無回答	4	6.0



問 25\_1：【問 25 で「1.いる」と回答の方】令和元年 10 月時点であなたがサービスを提供している利用者の中に、往診が必要と思われる方はいますか。

／いる [\_\_人] （数値マトリクス）

実際に往診を受けている平均人数は 2.9 人であり、往診が必要と思われるが受けていない平均人数は 1.3 人です。

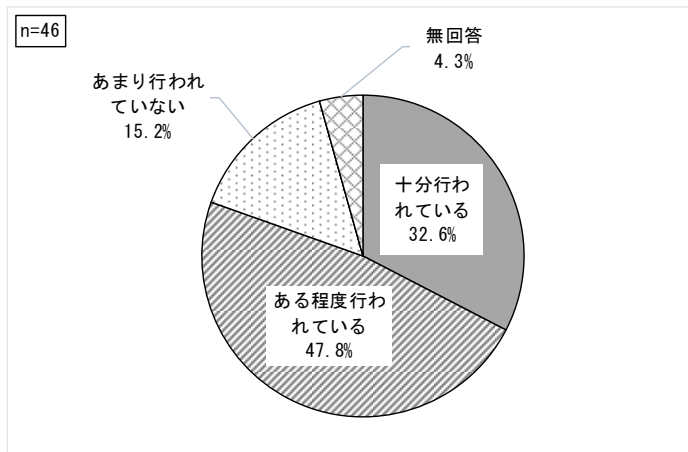


	全体	0	1	2	3	4	5	-	平均値	標準偏差	最小値	最大値
		0件	1件	2件	3件	4件	5件以上	無回答				
問 25_1 実際に往診を受けている	46	1	11	6	0	2	3	23				
	100.0	2.2	23.9	13.0	0.0	4.3	6.5	50.0	2.91	5.04	0.00	25.00
問 25_2 往診が必要と思われるが受けていない	46	2	9	2	0	0	1	32				
	100.0	4.3	19.6	4.3	0.0	0.0	2.2	69.6	1.29	1.20	0.00	5.00

問 25-1:【問 25 で「1.いる」と回答の方】あなたは、必要な方に往診が十分行われていると思いますか。 (SA)

「ある程度行われている」が最も多く、次いで「十分行われている」であり、一定の往診が行われている傾向です。

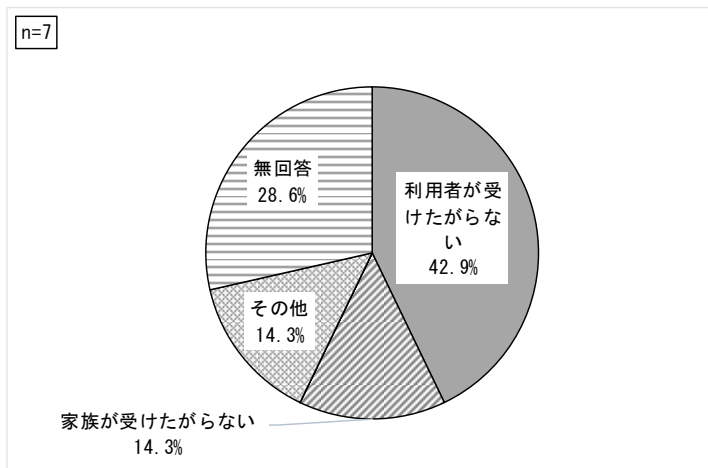
		回答数	%
全体		46	100.0
1	十分行われている	15	32.6
2	ある程度行われている	22	47.8
3	あまり行われていない	7	15.2
4	全く行われていない	0	0.0
-	無回答	2	4.3



問 25-2:【問 25-1 で「3.あまり行われていない」、「4.全く行われていない」と回答の方】必要なのに実施していないのはなぜですか。 (SA)

「利用者が受けたがらない」が最も多く、次いで「家族が受けたがらない」であり、往診に抵抗がある傾向です。

		回答数	%
全体		7	100.0
1	利用者が受けたがらない	3	42.9
2	家族が受けたがらない	1	14.3
3	対応してくれる医療機関等が見つからない	0	0.0
4	かかりつけ医が不要と判断している	0	0.0
5	かかりつけ医がいない	0	0.0
6	その他	1	14.3
-	無回答	2	28.6

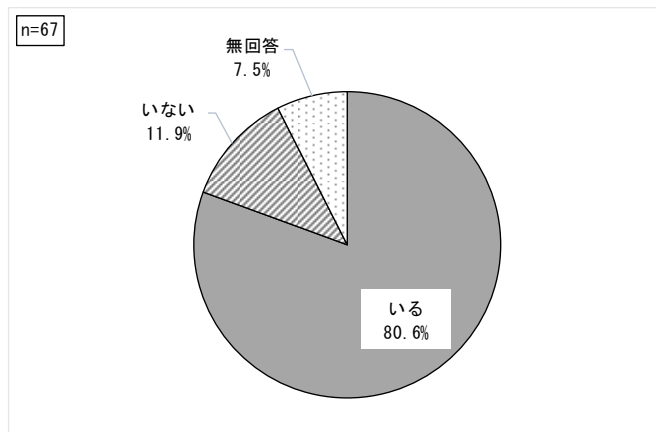


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (6) ケアマネジャー調査

問 26：令和元年 10 月時点であなたがサービスを提供している利用者の中に、訪問診療が必要と思われる方はいますか。（SA）

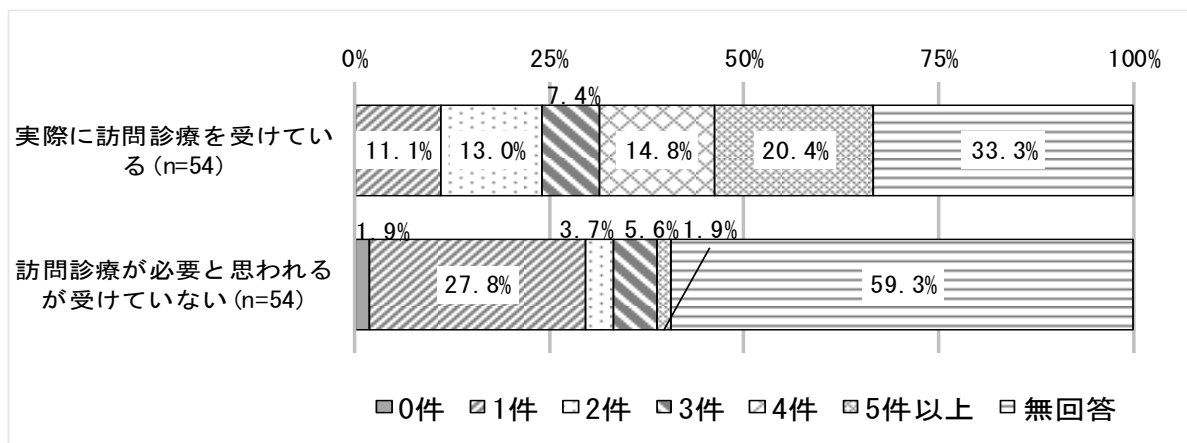
「いる」が 8 割程度です。

		回答数	%
全体		67	100.0
1	いる	54	80.6
2	いない	8	11.9
-	無回答	5	7.5



問 26\_1：【問 26 で「1.いる」と回答の方】令和元年 10 月時点であなたがサービスを提供している利用者の中に、訪問診療が必要と思われる方はいますか。／いる [\_\_人]（数値マトリクス）

実際に往診を受けている平均人数は 4.3 人であり、往診が必要と思われるが受けていない平均人数は 1.5 人です。

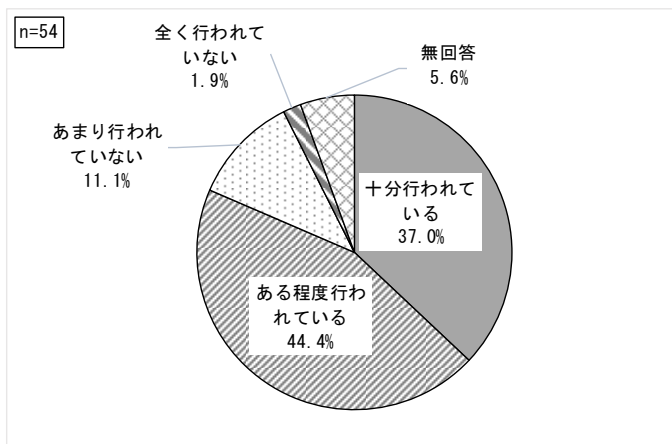


			全体	0	1	2	3	4	5	-	平均値	標準偏差	最小値	最大値
				0件	1件	2件	3件	4件	5件以上	無回答				
問 26_1.1	実際に訪問診療を受けている	回答数	54	0	6	7	4	8	11	18				
		%	100.0	0.0	11.1	13.0	7.4	14.8	20.4	33.3	4.31	4.18	1.00	25.00
問 26_1.2	訪問診療が必要と思われるが受けていない	回答数	54	1	15	2	3	0	1	32				
		%	100.0	1.9	27.8	3.7	5.6	0.0	1.9	59.3	1.50	1.10	0.00	5.00

問 26-1:【問 26 で「1.いる」と回答の方】あなたは、必要な方に訪問診療が十分行われていると思いますか。 (SA)

「ある程度行われている」が最も多く、次いで「十分行われている」であり、一定の訪問診療が行われている傾向です。

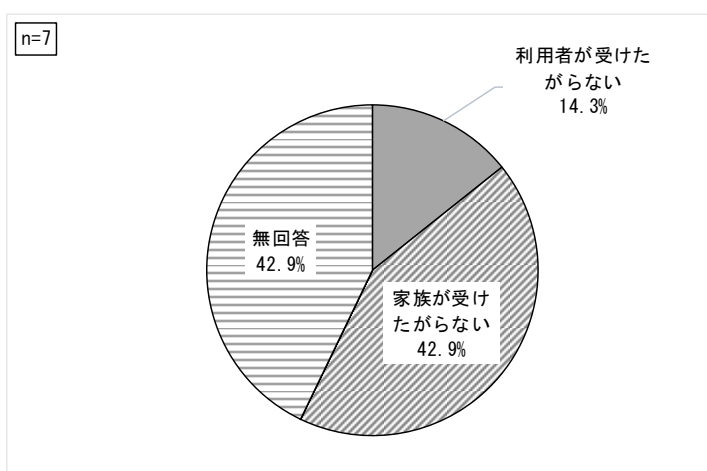
		回答数	%
全体		54	100.0
1	十分行われている	20	37.0
2	ある程度行われている	24	44.4
3	あまり行われていない	6	11.1
4	全く行われていない	1	1.9
-	無回答	3	5.6



問 26-2:【問 26-1 で「3.あまり行われていない」、「4.全く行われていない」と回答の方】必要なのに実施していないのはなぜですか。 (SA)

「家族が受けがらない」が最も多く、次いで「利用者が受けがらない」であり、訪問診療に抵抗がある傾向です。

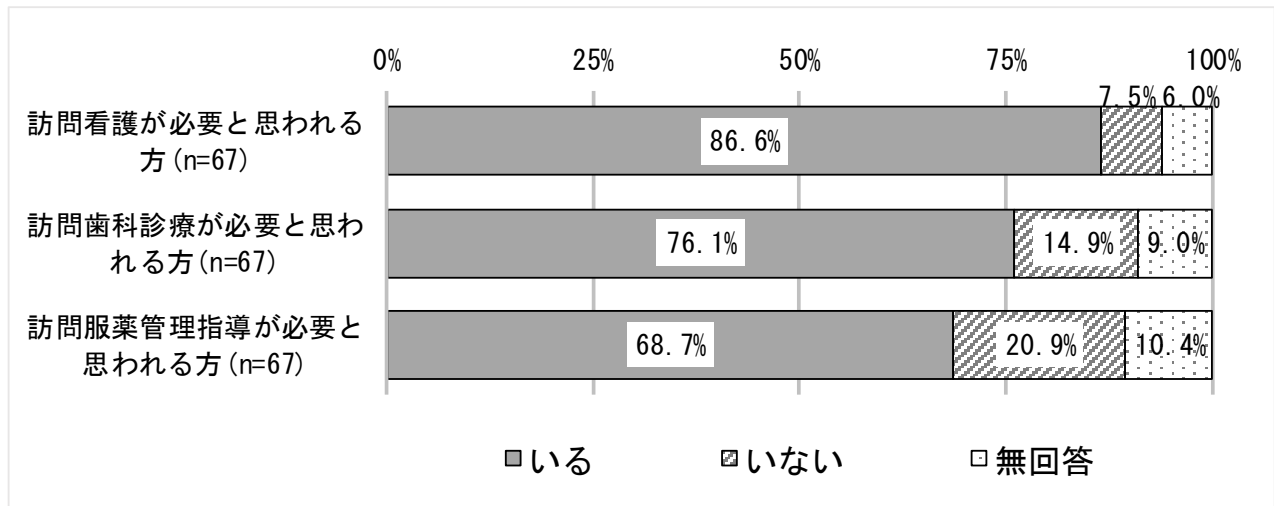
		回答数	%
全体		7	100.0
1	利用者が受けがらない	1	14.3
2	家族が受けがらない	3	42.9
3	対応してくれる医療機関等が見つからない	0	0.0
4	かかりつけ医が不要と判断している	0	0.0
5	かかりつけ医がいない	0	0.0
6	その他	0	0.0
-	無回答	3	42.9



## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (6) ケアマネジャー調査

問 27：令和元年10月時点であなたがサービスを提供している利用者の中に、訪問看護や訪問歯科診療、訪問服薬管理指導が必要と思われる方はいますか。（SAマトリクス）

全項目において「いる」が多く、必要と思われる方がいる傾向です。

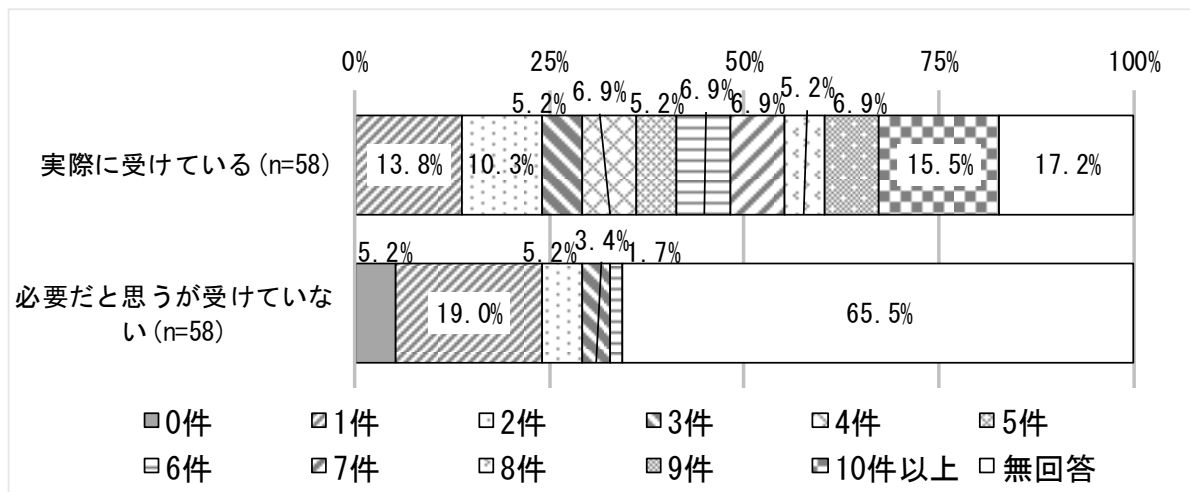


			全体	1	2	-
				いる	いない	無回答
問 27.1	訪問看護が必要と思われる方	回答数	67	58	5	4
		%	100.0	86.6	7.5	6.0
問 27.2	訪問歯科診療が必要と思われる方	回答数	67	51	10	6
		%	100.0	76.1	14.9	9.0
問 27.3	訪問服薬管理指導が必要と思われる方	回答数	67	46	14	7
		%	100.0	68.7	20.9	10.4

## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (6) ケアマネジャー調査

問 27.1\_1:【問 27.1 で「1.いる」と回答の方】令和元年10月時点であなたがサービスを提供している利用者の中に、訪問看護や訪問歯科診療、訪問服薬管理指導が必要と思われる方はいますか。／訪問看護が必要と思われる方 いる [\_\_人] (数値マトリクス)

実際に受けている平均人数は5.6人であり、必要だと思うが受けていない平均人数は1.5人です。

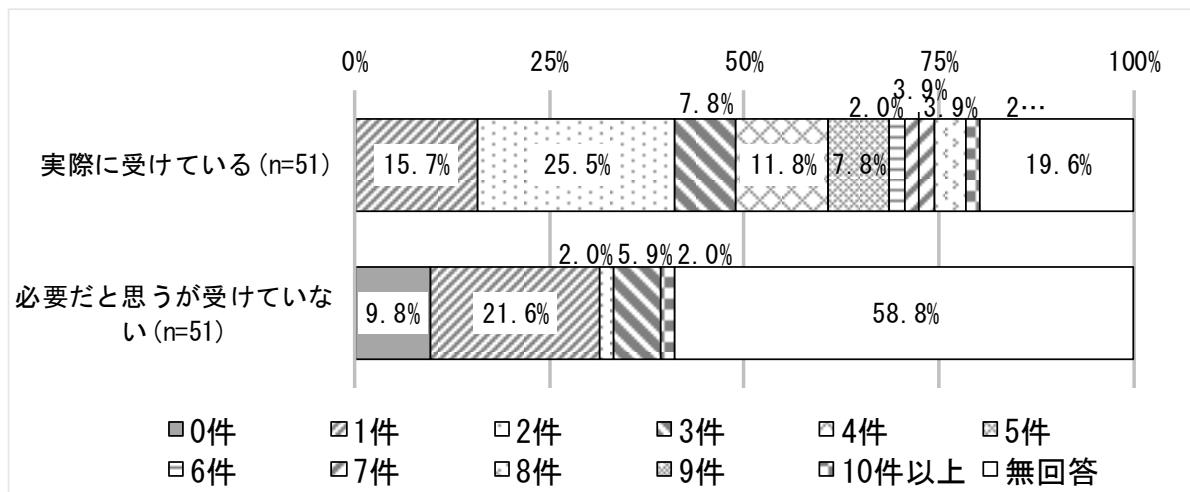


	全体	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	-	平均値	標準偏差	最小値	最大値
		0件	1件	2件	3件	4件	5件	6件	7件	8件	9件	10件以上	無回答				
問27.1_1 実際に訪問診療を受けている	58	0	8	6	3	4	3	4	4	3	4	9	10				
	100.0	0.0	13.8	10.3	5.2	6.9	5.2	6.9	6.9	5.2	6.9	15.5	17.2	5.58	3.55	1.00	13.00
問27.1_2 訪問診療が必要と思われるが受けていない	58	3	11	3	2	0	0	1	0	0	0	0	38				
	100.0	5.2	19.0	5.2	3.4	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	65.5	1.45	1.36	0.00	6.00

## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (6) ケアマネジャー調査

問 27.2\_1:【問 27.2 で「1.いる」と回答の方】令和元年10月時点であなたがサービスを提供している利用者の中に、訪問看護や訪問歯科診療、訪問服薬管理指導が必要と思われる方はいますか。／訪問歯科診療が必要と思われる方 いる [\_\_人] (数値マトリクス)

実際に受けている平均人数は3.3人であり、必要だと思うが受けていない平均人数は2.0人です。

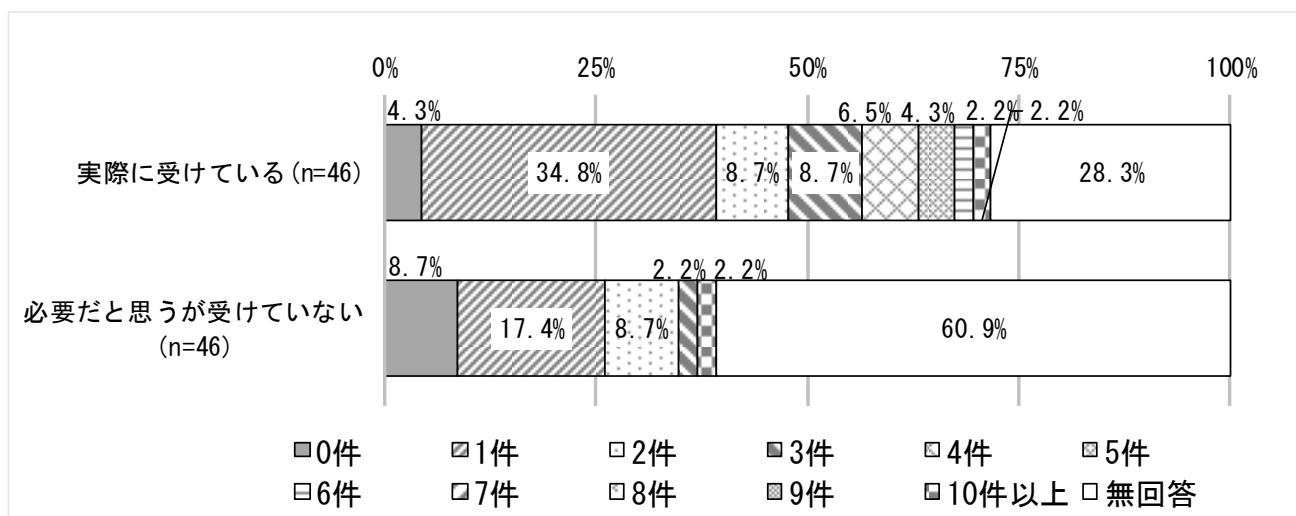


			全体	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	-	平均値	標準偏差	最小値	最大値
				0件	1件	2件	3件	4件	5件	6件	7件	8件	9件	10件以上	無回答				
問27.2_1.1	実際に受けている	回答数	51	0	8	13	4	6	4	1	2	2	0	1	10				
		%	100.0	0.0	15.7	25.5	7.8	11.8	7.8	2.0	3.9	3.9	0.0	2.0	19.6	3.32	2.25	1.00	10.00
問27.2_1.2	必要だと思うが受けていない	回答数	51	5	11	1	3	0	0	0	0	0	0	1	30				
		%	100.0	9.8	21.6	2.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	58.8	2.00	4.23	0.00	20.00

## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (6) ケアマネジャー調査

問 27.3\_1:【問 27.3 で「1.いる」と回答の方】令和元年10月時点であなたがサービスを提供している利用者の中に、訪問看護や訪問歯科診療、訪問服薬管理指導が必要と思われる方はいますか。／訪問服薬管理指導が必要と思われる方 いる [ ]人 (数値マトリクス)

実際に受けている平均人数は2.2人であり、必要だと思いが受けていない平均人数は1.9人です。



			全体	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	-	平均値	標準偏差	最小値	最大値
				0件	1件	2件	3件	4件	5件	6件	7件	8件	9件	10件以上	無回答				
問27.3_1.1	実際に受けている	回答数	46	2	16	4	4	3	2	1	0	0	0	1	13				
		%	100.0	4.3	34.8	8.7	8.7	6.5	4.3	2.2	0.0	0.0	0.0	2.2	28.3	2.24	2.06	0.00	10.00
問27.3_1.2	必要だと思いが受けていない	回答数	46	4	8	4	1	0	0	0	0	0	0	1	28				
		%	100.0	8.7	17.4	8.7	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	60.9	1.89	3.38	0.00	15.00

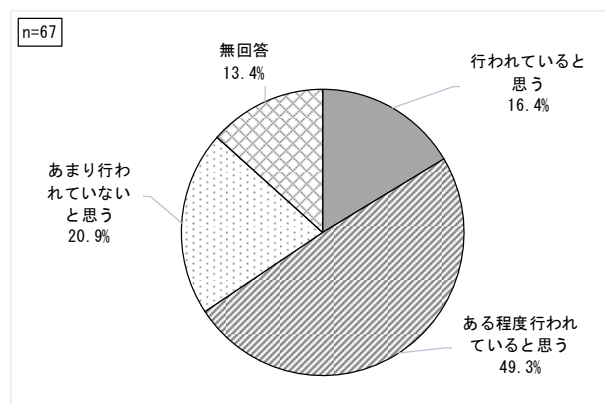


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (6) ケアマネジャー調査

問 28：専門職の立場からみて、市内で在宅療養している高齢者の急変時に医療機関へのスムーズな移行が行われていると思いますか。 (SA)

「ある程度行われていると思う」が約5割です。

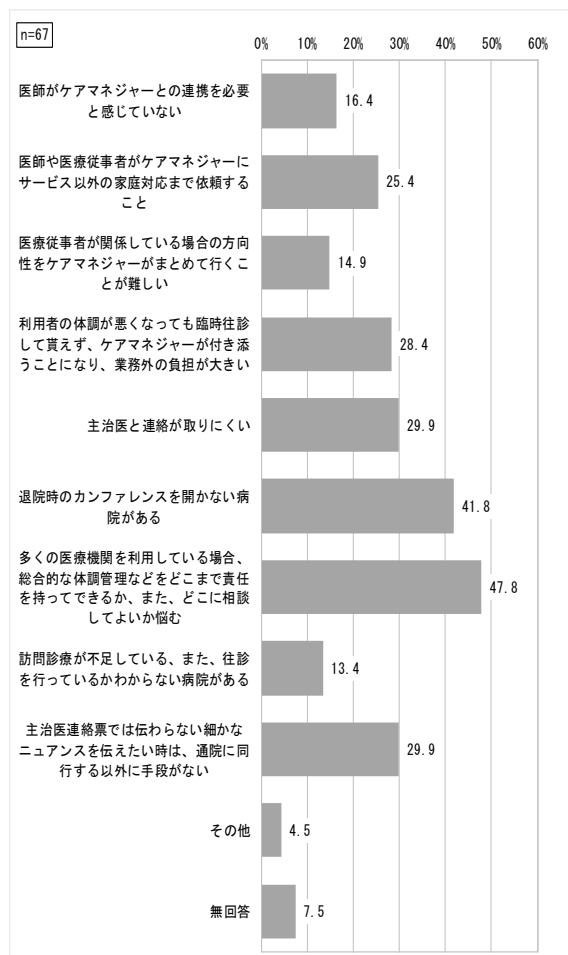
	回答数	%
全体	67	100.0
1 行われていると思う	11	16.4
2 ある程度行われていると思う	33	49.3
3 あまり行われていないと思う	14	20.9
4 まったく行われていないと思う	0	0.0
- 無回答	9	13.4



問 29：医療と在宅ケアの関係で苦労していることは何ですか。 (MA)

「多くの医療機関を利用している場合、総合的な体調管理などをどこまで責任を持ってできるか、また、どこに相談してよいか悩む」が最も多く、次いで「退院時のカンファレンスを開かない病院がある」であり、相談窓口や退院支援に苦労している傾向です。

	回答数	%
全体	67	100.0
1 医師がケアマネジャーとの連携を必要と感じていない	11	16.4
2 医師や医療従事者がケアマネジャーにサービス以外の家庭対応まで依頼すること	17	25.4
3 医療従事者が関係している場合の方向性をケアマネジャーがまとめて行くことが難しい	10	14.9
4 利用者の体調が悪くても臨時往診して貰えず、ケアマネジャーが付き添うことになり、業務外の負担が大きい	19	28.4
5 主治医と連絡が取りにくい	20	29.9
6 退院時のカンファレンスを開かない病院がある	28	41.8
7 多くの医療機関を利用している場合、総合的な体調管理などをどこまで責任を持ってできるか、また、どこに相談してよいか悩む	32	47.8
8 訪問診療が不足している、また、往診を行っているかわからない病院がある	9	13.4
9 主治医連絡票では伝わらない細かいニュアンスを伝えたい時は、通院に同行する以外に手段がない	20	29.9
10 その他	3	4.5
- 無回答	5	7.5

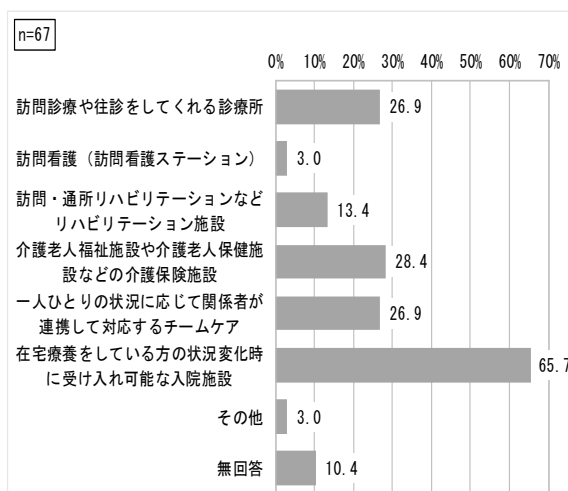


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (6) ケアマネジャー調査

問 30：高齢者の在宅医療を進めていくうえで不足している機能はどのようなことだとお考えですか。 (MA)

「在宅療養をしている方の状況変化時に受け入れ可能な入院施設」が約7割であり、施設の受け入れ体制を重視している傾向です。

	回答数	%
全体	67	100.0
1 訪問診療や往診をしてくれる診療所	18	26.9
2 訪問看護（訪問看護ステーション）	2	3.0
3 訪問・通所リハビリテーションなど リハビリテーション施設	9	13.4
4 介護老人福祉施設や介護老人保健施設 などの介護保険施設	19	28.4
5 一人ひとりの状況に応じて関係者が 連携して対応するチームケア	18	26.9
6 在宅療養をしている方の状況変化時 に受け入れ可能な入院施設	44	65.7
7 その他	2	3.0
- 無回答	7	10.4

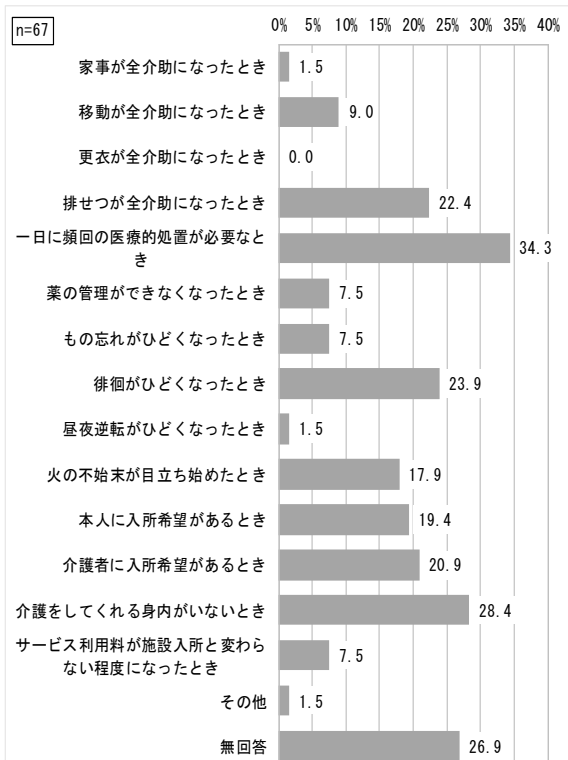


問 31：在宅介護の限界、施設入所を意識する要因は何だとお考えですか。

(3つまで選択) (MA)

「一日に頻回の医療的処置が必要なとき」が最も多く、次いで「介護をしてくれる身内がないとき」であり、介護者を必要とする傾向です。

	回答数	%
全体	67	100.0
1 家事が全介助になったとき	1	1.5
2 移動が全介助になったとき	6	9.0
3 更衣が全介助になったとき	0	0.0
4 排せつが全介助になったとき	15	22.4
5 一日に頻回の医療的処置が必要なとき	23	34.3
6 薬の管理ができなくなったとき	5	7.5
7 もの忘れがひどくなったとき	5	7.5
8 徘徊がひどくなったとき	16	23.9
9 昼夜逆転がひどくなったとき	1	1.5
10 火の不始末が目立ち始めたとき	12	17.9
11 本人に入所希望があるとき	13	19.4
12 介護者に入所希望があるとき	14	20.9
13 介護をしてくれる身内がないとき	19	28.4
14 サービス利用料が施設入所と変わらない程度になったとき	5	7.5
15 その他	1	1.5
- 無回答	18	26.9

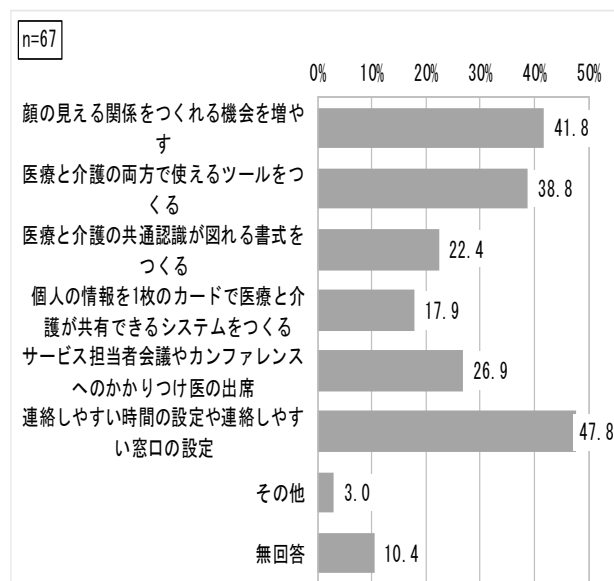


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (6) ケアマネジャー調査

問 32：医療と介護の連携を図るうえでの情報の共有化をどのように進めればよいと思いますか。(3つまで選択) (MA)

「連絡しやすい時間の設定や連絡しやすい窓口の設定」が最も多く、次いで「顔の見える関係をつくれる機会を増やす」であり、柔軟な連絡手段を重視する傾向です。

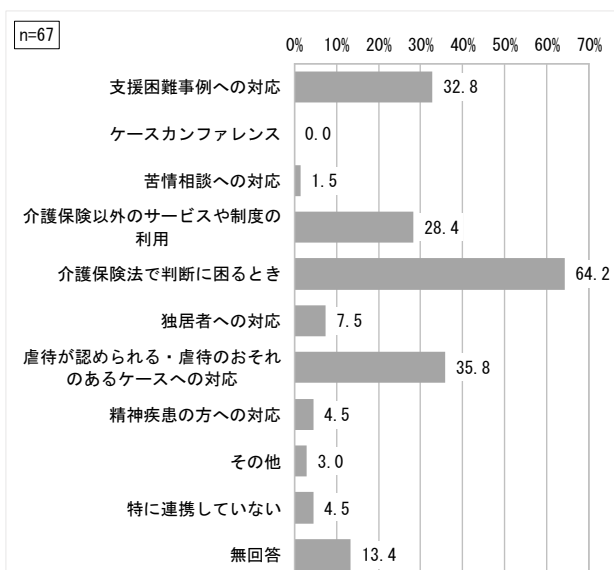
		回答数	%
全体		67	100.0
1	顔の見える関係をつくれる機会を増やす	28	41.8
2	医療と介護の両方で使えるツールをつくる	26	38.8
3	医療と介護の共通認識が図れる書式をつくる	15	22.4
4	個人の情報を1枚のカードで医療と介護が共有できるシステムをつくる	12	17.9
5	サービス担当者会議やカンファレンスへのかかりつけ医の出席	18	26.9
6	連絡しやすい時間の設定や連絡しやすい窓口の設定	32	47.8
7	その他	2	3.0
-	無回答	7	10.4



問 33：市の担当者と連携するときにはどのような場合ですか。(3つまで選択) (MA)

「介護保険法で判断に困るとき」が最も多く、次いで「虐待が認められる・虐待のおそれのあるケースへの対応」であり、意思決定や相談の際に連携する傾向です。

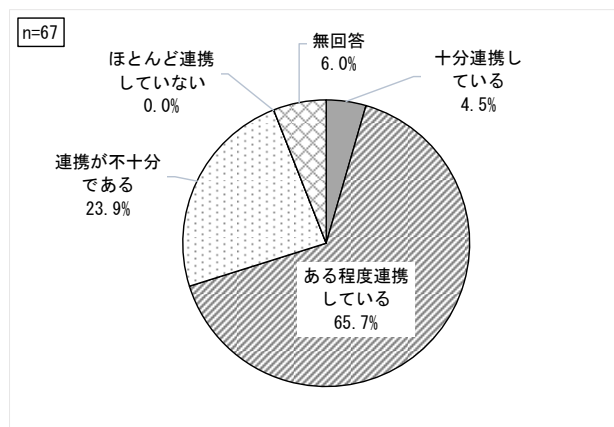
		回答数	%
全体		67	100.0
1	支援困難事例への対応	22	32.8
2	ケースカンファレンス	0	0.0
3	苦情相談への対応	1	1.5
4	介護保険以外のサービスや制度の利用	19	28.4
5	介護保険法で判断に困るとき	43	64.2
6	独居者への対応	5	7.5
7	虐待が認められる・虐待のおそれのあるケースへの対応	24	35.8
8	精神疾患の方への対応	3	4.5
9	その他	2	3.0
10	特に連携していない	3	4.5
-	無回答	9	13.4



問 34：在宅療養者への医療・介護は、サービス担当者会議などを通じて連携していると思いますか。(SA)

「ある程度連携している」が7割程度です。

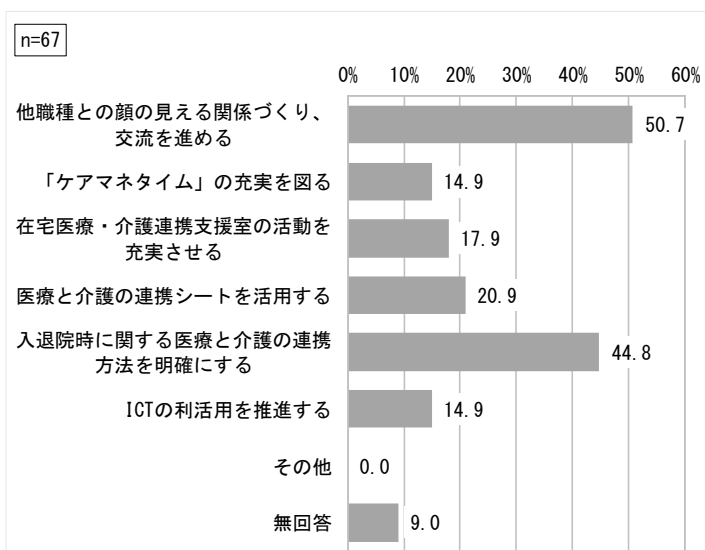
	回答数	%
全体	67	100.0
1 十分連携している	3	4.5
2 ある程度連携している	44	65.7
3 連携が不十分である	16	23.9
4 ほとんど連携していない	0	0.0
- 無回答	4	6.0



問 35 (1)：2025年に向けて地域包括ケアシステムの構築が求められていますが、その中で医療・介護の連携が進むために、どのようなことが必要だとお考えですか。  
／連携の仕組みづくり (2つまで選択) (MA)

「他職種との顔の見える関係づくり、交流を進める」が最も多く、次いで「入退院時に関する医療と介護の連携方法を明確にする」であり、連携の円滑化や連携方法の明確化を必要とする傾向です。

	回答数	%
全体	67	100.0
1 他職種との顔の見える関係づくり、交流を進める	34	50.7
2 「ケアマネタイム」の充実を図る	10	14.9
3 在宅医療・介護連携支援室の活動を充実させる	12	17.9
4 医療と介護の連携シートを活用する	14	20.9
5 入退院時に関する医療と介護の連携方法を明確にする	30	44.8
6 ICTの利活用を推進する	10	14.9
7 その他	0	0.0
- 無回答	6	9.0



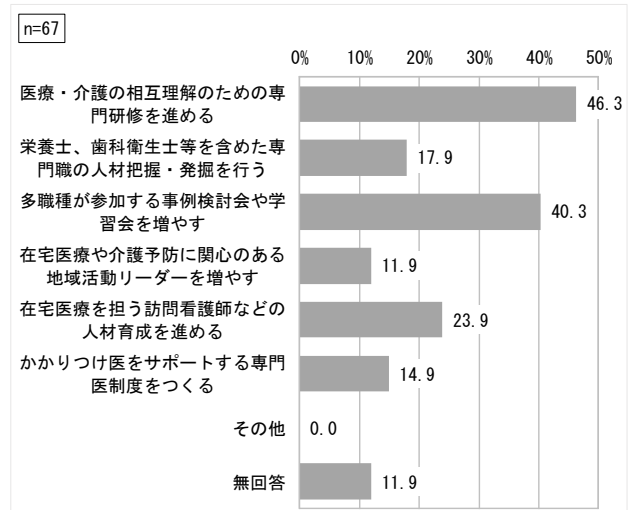
## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (6) ケアマネジャー調査

問 35 (2) : 2025 年に向けて地域包括ケアシステムの構築が求められていますが、その中で医療・介護の連携が進むために、どのようなことが必要だとお考えですか。

／地域の人材育成 (2 つまで選択) (MA)

「医療・介護の相互理解のための専門研修を進める」が最も多く、次いで「多職種が参加する事例検討会や学習会を増やす」であり、研修や学習機会を必要とする傾向です。

	回答数	%
全体	67	100.0
1 医療・介護の相互理解のための専門研修を進める	31	46.3
2 栄養士、歯科衛生士等を含めた専門職の人材把握・発掘を行う	12	17.9
3 多職種が参加する事例検討会や学習会を増やす	27	40.3
4 在宅医療や介護予防に関心のある地域活動リーダーを増やす	8	11.9
5 在宅医療を担う訪問看護師などの人材育成を進める	16	23.9
6 かかりつけ医をサポートする専門医制度をつくる	10	14.9
7 その他	0	0.0
- 無回答	8	11.9



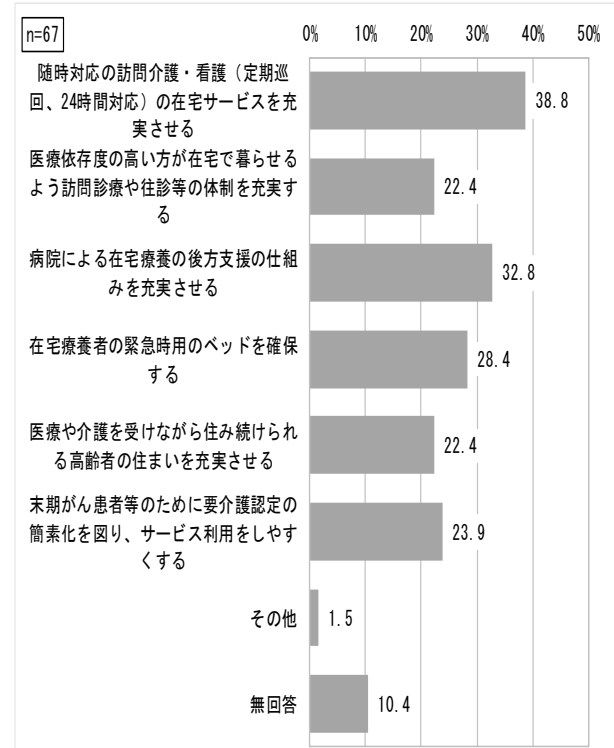
## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (6) ケアマネジャー調査

問 35 (3) : 2025 年に向けて地域包括ケアシステムの構築が求められていますが、その中で医療・介護の連携が進むために、どのようなことが必要だとお考えですか。

／サービス・基盤整備 (2 つまで選択) (MA)

「随時対応の訪問介護・看護 (定期巡回、24 時間対応) の在宅サービスを充実させる」が最も多く、次いで「病院による在宅療養の後方支援の仕組みを充実させる」です。

	回答数	%
全体	67	100.0
1 随時対応の訪問介護・看護 (定期巡回、24 時間対応) の在宅サービスを充実させる	26	38.8
2 医療依存度の高い方が在宅で暮らせるよう訪問診療や往診等の体制を充実する	15	22.4
3 病院による在宅療養の後方支援の仕組みを充実させる	22	32.8
4 在宅療養者の緊急時用のベッドを確保する	19	28.4
5 医療や介護を受けながら住み続けられる高齢者の住まいを充実させる	15	22.4
6 末期がん患者等のために要介護認定の簡素化を図り、サービス利用をしやすいにする	16	23.9
7 その他	1	1.5
- 無回答	7	10.4



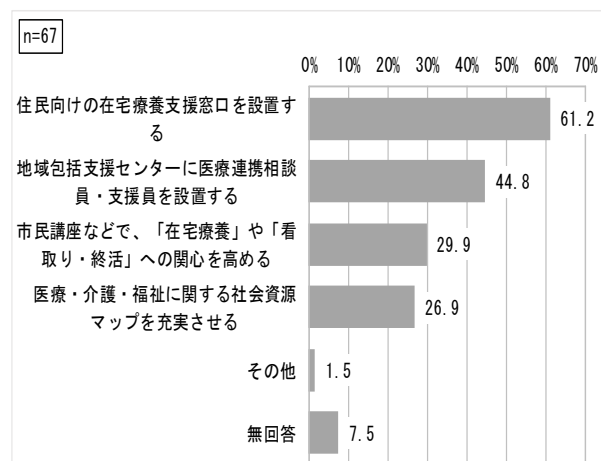
## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (6) ケアマネジャー調査

問 35 (4) : 2025 年に向けて地域包括ケアシステムの構築が求められていますが、その中で医療・介護の連携が進むために、どのようなことが必要だとお考えですか。

／相談支援・情報提供 (2 つまで選択) (MA)

「住民向けの在宅療養支援窓口を設置する」が最も多く、次いで「地域包括支援センターに医療連携相談員・支援員を設置する」であり、相談体制の充実を必要とする傾向です。

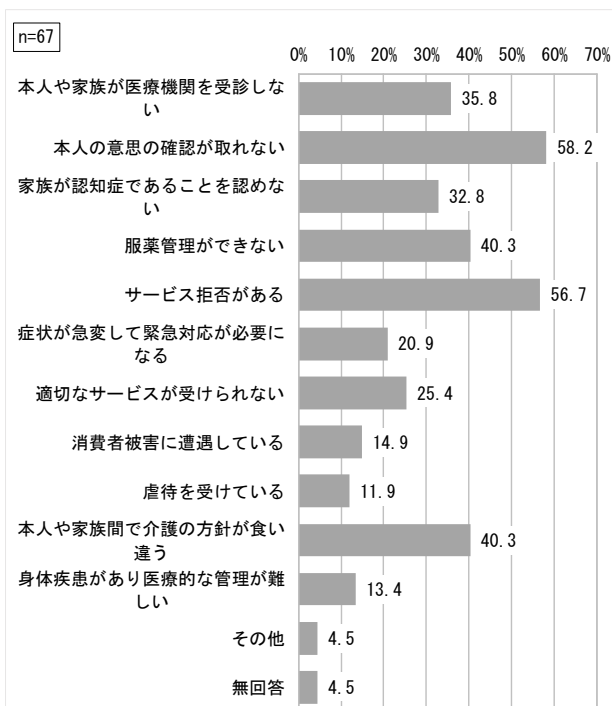
	回答数	%
全体	67	100.0
1 住民向けの在宅療養支援窓口を設置する	41	61.2
2 地域包括支援センターに医療連携相談員・支援員を設置する	30	44.8
3 市民講座などで、「在宅療養」や「看取り・終活」への関心を高める	20	29.9
4 医療・介護・福祉に関する社会資源マップを充実させる	18	26.9
5 その他	1	1.5
- 無回答	5	7.5



問 36 : 担当する認知症の方の状況で、実際に大変だったのは次のどれですか。 (MA)

「本人の意思の確認が取れない」が最も多く、次いで「サービス拒否がある」であり、本人の抵抗がある傾向です。

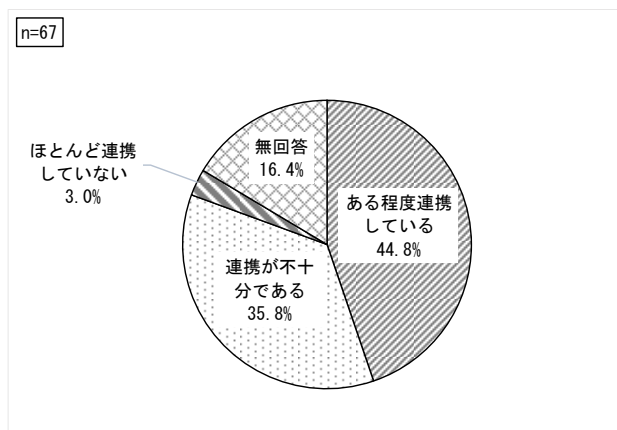
	回答数	%
全体	67	100.0
1 本人や家族が医療機関を受診しない	24	35.8
2 本人の意思の確認が取れない	39	58.2
3 家族が認知症であることを認めない	22	32.8
4 服薬管理ができない	27	40.3
5 サービス拒否がある	38	56.7
6 症状が急変して緊急対応が必要になる	14	20.9
7 適切なサービスが受けられない	17	25.4
8 消費者被害に遭遇している	10	14.9
9 虐待を受けている	8	11.9
10 本人や家族間で介護の方針が食い違う	27	40.3
11 身体疾患があり医療的な管理が難しい	9	13.4
12 その他	3	4.5
- 無回答	3	4.5



問 37：認知症の方の支援にあたっては、かかりつけ医と十分連携していると思いますか。  
(SA)

「ある程度連携している」が約4割であり、「連携が不十分である」も約4割です。

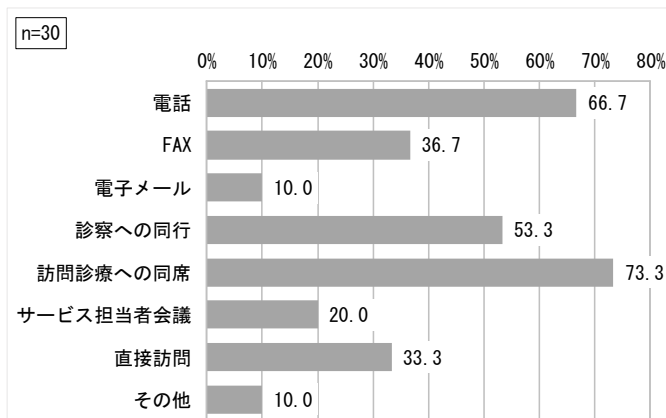
	回答数	%
全体	67	100.0
1 十分連携している	0	0.0
2 ある程度連携している	30	44.8
3 連携が不十分である	24	35.8
4 ほとんど連携していない	2	3.0
- 無回答	11	16.4



問 37-1：【問 37 で「1.十分連携している」、「2.ある程度連携している」と回答の方】医療機関やかかりつけ医との情報交換方法は何か。(MA)

「訪問診療への同席」が最も多く、次いで「電話」です。

	回答数	%
全体	30	100.0
1 電話	20	66.7
2 FAX	11	36.7
3 電子メール	3	10.0
4 診察への同行	16	53.3
5 訪問診療への同席	22	73.3
6 サービス担当者会議	6	20.0
7 直接訪問	10	33.3
8 その他	3	10.0



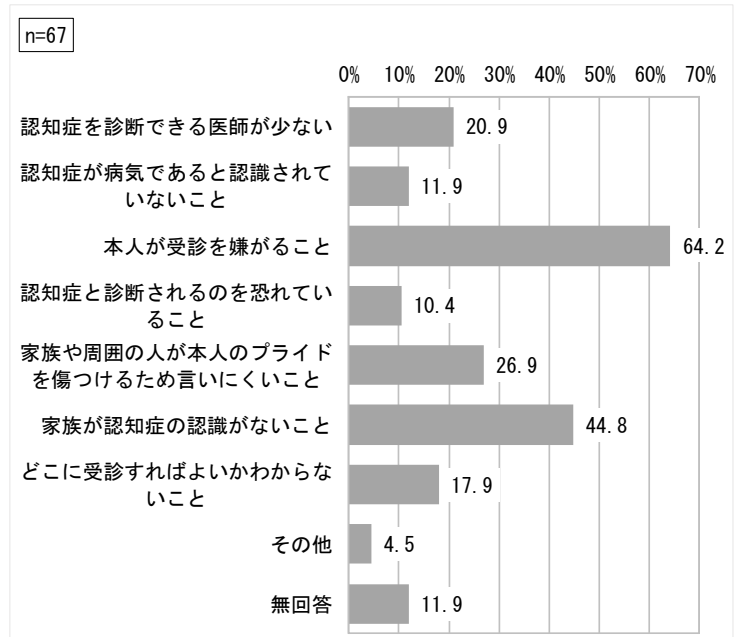


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (6) ケアマネジャー調査

問 38：認知症の早期受診が進まない原因は、次のどれだと思いますか。(3つまで選択)  
(MA)

「本人が受診を嫌がること」が最も多く、次いで「家族が認知症の認識がないこと」であり、本人の抵抗があることや認識がないことが影響しています。

	回答数	%
全体	67	100.0
1 認知症を診断できる医師が少ない	14	20.9
2 認知症が病気であると認識されていないこと	8	11.9
3 本人が受診を嫌がること	43	64.2
4 認知症と診断されるのを恐れていること	7	10.4
5 家族や周囲の人が本人のプライドを傷つけるため言いにくいこと	18	26.9
6 家族が認知症の認識がないこと	30	44.8
7 どこに受診すればよいかわからないこと	12	17.9
8 その他	3	4.5
- 無回答	8	11.9

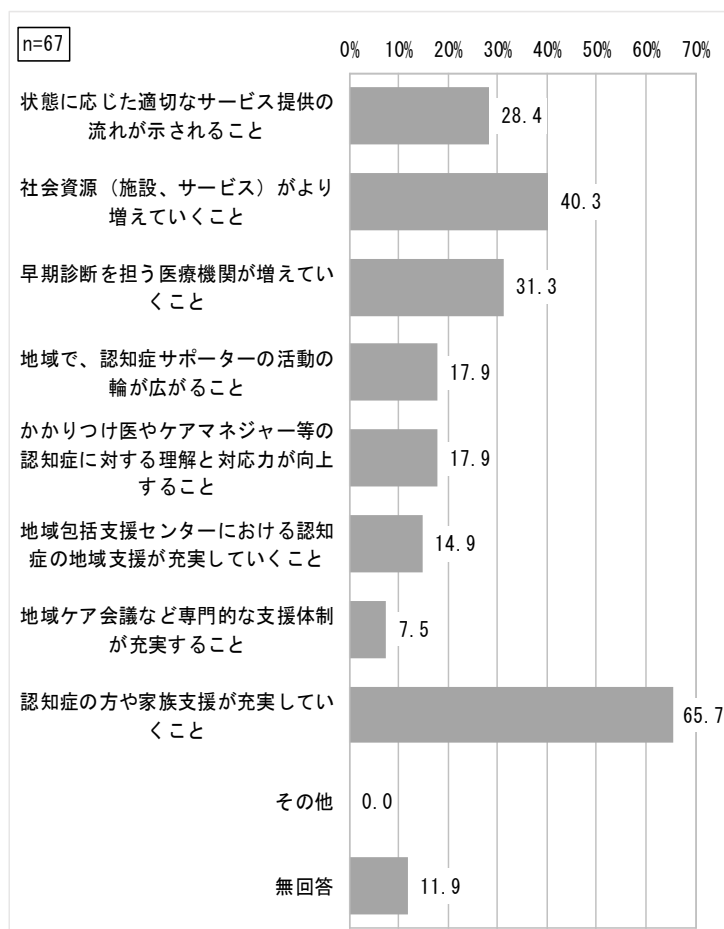


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (6) ケアマネジャー調査

問 39：これから、認知症の方の支援にあたり必要になると思うのは次のどれですか。  
(3 つまで選択) (MA)

「認知症の方や家族支援が充実していくこと」が最も多く、次いで「社会資源（施設、サービス）がより増えていくこと」であり、支援や資源の充実を必要とする傾向です。

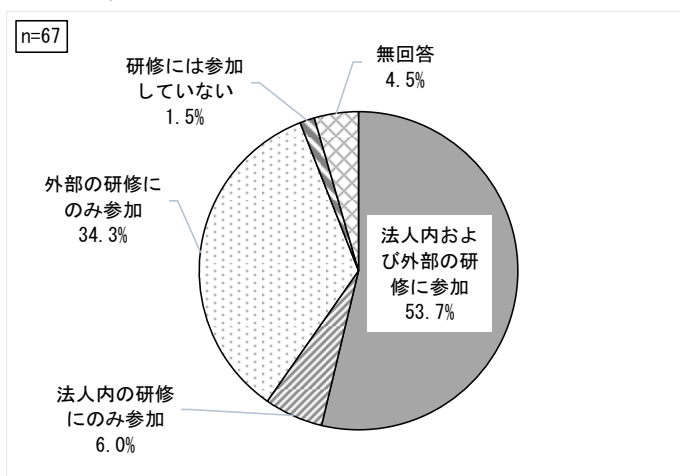
		回答数	%
全体		67	100.0
1	状態に応じた適切なサービス提供の流れが示されること	19	28.4
2	社会資源（施設、サービス）がより増えていくこと	27	40.3
3	早期診断を担う医療機関が増えていくこと	21	31.3
4	地域で、認知症サポーターの活動の輪が広がること	12	17.9
5	かかりつけ医やケアマネジャー等の認知症に対する理解と対応力が向上すること	12	17.9
6	地域包括支援センターにおける認知症の地域支援が充実していくこと	10	14.9
7	地域ケア会議など専門的な支援体制が充実すること	5	7.5
8	認知症の方や家族支援が充実していくこと	44	65.7
9	その他	0	0.0
-	無回答	8	11.9



問 40：サービスの質の向上に向けた研修に参加していますか。 (SA)

「法人内および外部の研修に参加」が最も多く、次いで「外部の研修にのみ参加」であり、内部及び外部の研修に参加している傾向です。

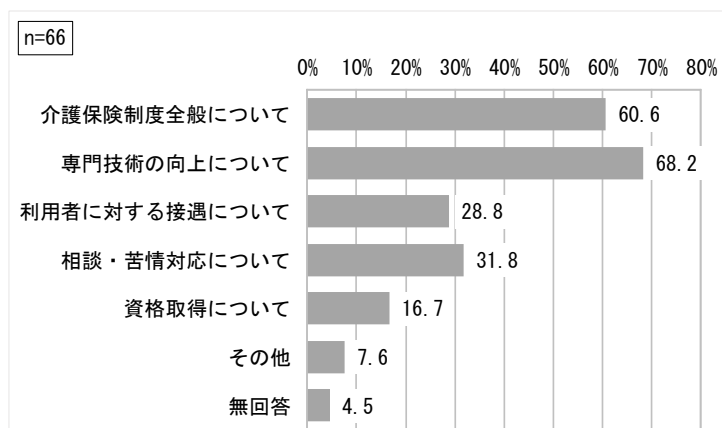
	回答数	%
全体	67	100.0
1 法人内および外部の研修に参加	36	53.7
2 法人内の研修にのみ参加	4	6.0
3 外部の研修にのみ参加	23	34.3
4 研修には参加していない	1	1.5
- 無回答	3	4.5



問 41：【問 40 で「4.研修には参加していない」と回答していない方】参加した研修の内容にはどのようなものがありますか。 (MA)

「専門技術の向上について」が最も多く、次いで「介護保険制度全般について」であり、技術の向上や制度の理解に関心がある傾向です。

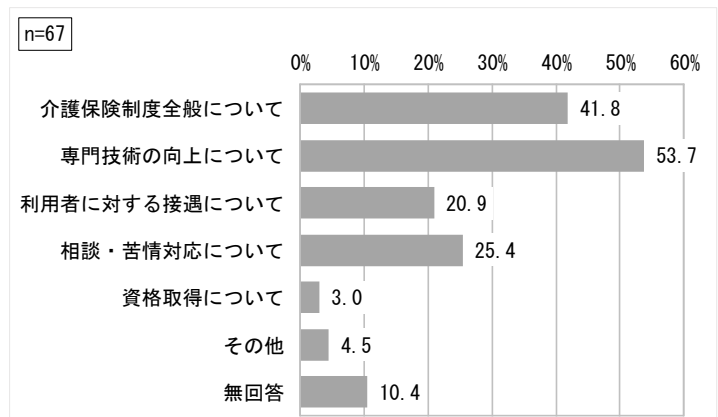
	回答数	%
全体	66	100.0
1 介護保険制度全般について	40	60.6
2 専門技術の向上について	45	68.2
3 利用者に対する接遇について	19	28.8
4 相談・苦情対応について	21	31.8
5 資格取得について	11	16.7
6 その他	5	7.6
- 無回答	3	4.5



問 42：研修で取り上げてほしい内容にはどのようなものがありますか。 (MA)

「専門技術の向上について」が最も多く、次いで「介護保険制度全般について」であり、技術の向上や制度の理解に関心がある傾向です。

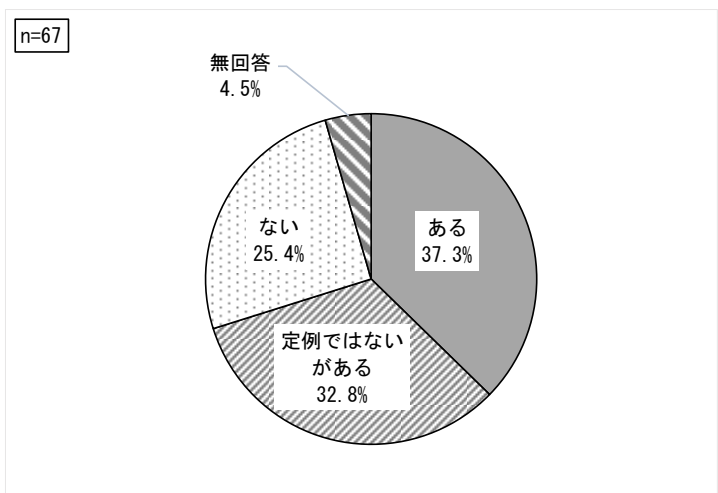
	回答数	%
全体	67	100.0
1 介護保険制度全般について	28	41.8
2 専門技術の向上について	36	53.7
3 利用者に対する接遇について	14	20.9
4 相談・苦情対応について	17	25.4
5 資格取得について	2	3.0
6 その他	3	4.5
- 無回答	7	10.4



問 43：事業所内では、定例的な研修や勉強会はありますか。 (SA)

「ある」と「定例ではないがある」が同程度であり、3割程度の事業所が研修や勉強会がないです。

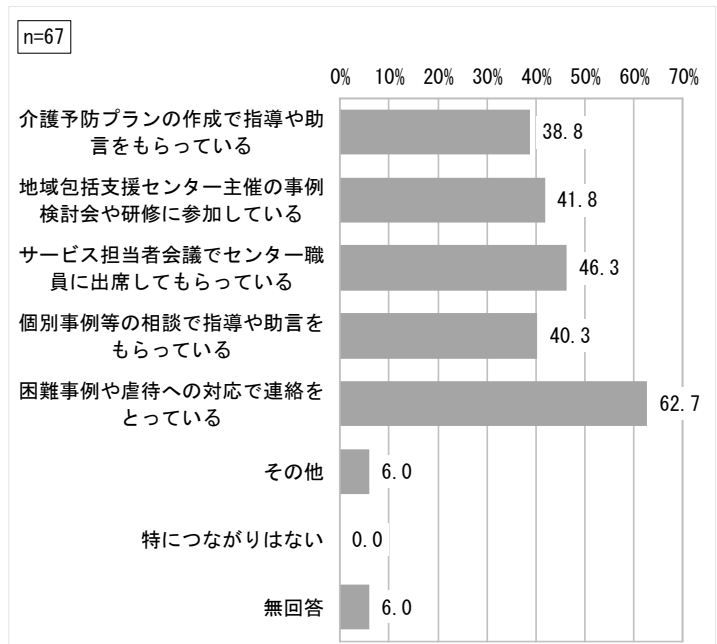
	回答数	%
全体	67	100.0
1 ある	25	37.3
2 定例ではないがある	22	32.8
3 ない	17	25.4
- 無回答	3	4.5



問 44：地域包括支援センターとのつながりはありますか。 (MA)

「困難事例や虐待への対応で連絡をとっている」が最も多く、次いで「サービス担当者会議でセンター職員に出席してもらっている」であり、積極的に連携している傾向です。

	回答数	%
全体	67	100.0
1 介護予防プランの作成で指導や助言をもらっている	26	38.8
2 地域包括支援センター主催の事例検討会や研修に参加している	28	41.8
3 サービス担当者会議でセンター職員に出席してもらっている	31	46.3
4 個別事例等の相談で指導や助言をもらっている	27	40.3
5 困難事例や虐待への対応で連絡をとっている	42	62.7
6 その他	4	6.0
7 特につながりはない	0	0.0
- 無回答	4	6.0

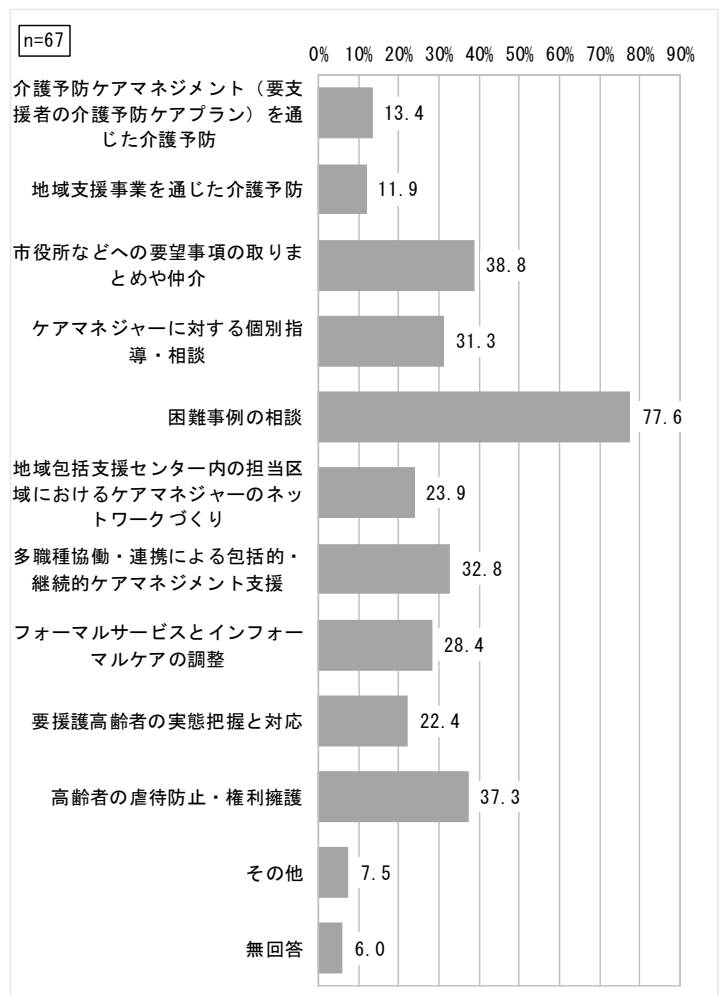


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (6) ケアマネジャー調査

問 45：今後、地域包括支援センターへ期待することは何ですか。（MA）

「困難事例の相談」が約8割であり、困難事例の対応を期待する傾向です。

	回答数	%
全体	67	100.0
1 介護予防ケアマネジメント（要支援者の介護予防ケアプラン）を通じた介護予防	9	13.4
2 地域支援事業を通じた介護予防	8	11.9
3 市役所などへの要望事項の取りまとめや仲介	26	38.8
4 ケアマネジャーに対する個別指導・相談	21	31.3
5 困難事例の相談	52	77.6
6 地域包括支援センター内の担当区域におけるケアマネジャーのネットワークづくり	16	23.9
7 多職種協働・連携による包括的・継続的ケアマネジメント支援	22	32.8
8 フォーマルサービスとインフォーマルケアの調整	19	28.4
9 要介護高齢者の実態把握と対応	15	22.4
10 高齢者の虐待防止・権利擁護	25	37.3
11 その他	5	7.5
- 無回答	4	6.0

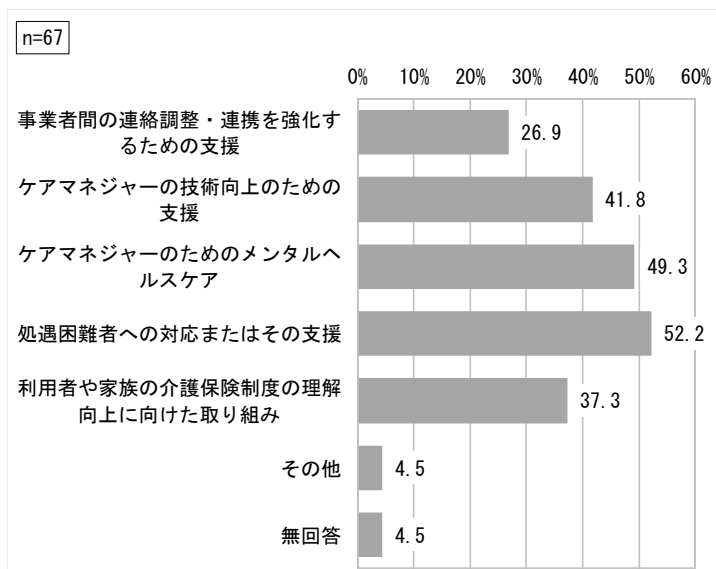


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (6) ケアマネジャー調査

問 46：ケアマネジャーに求められる中立性・独立性を確保するために、どのような支援が必要だと思いますか。（MA）

「処遇困難者への対応またはその支援」が最も多く、次いで「ケアマネジャーのためのメンタルヘルスケア」であり、利用者及びケアマネジャーの双方に支援を必要とする傾向です。

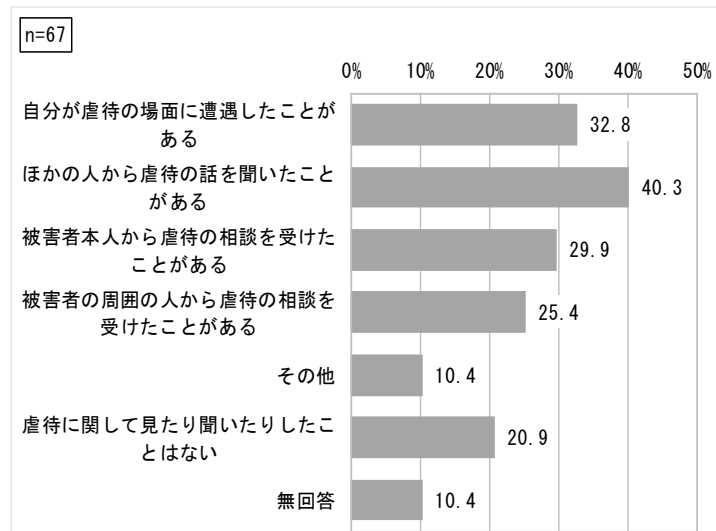
	回答数	%
全体	67	100.0
1 事業者間の連絡調整・連携を強化するための支援	18	26.9
2 ケアマネジャーの技術向上のための支援	28	41.8
3 ケアマネジャーのためのメンタルヘルスケア	33	49.3
4 処遇困難者への対応またはその支援	35	52.2
5 利用者や家族の介護保険制度の理解向上に向けた取り組み	25	37.3
6 その他	3	4.5
- 無回答	3	4.5



問 47：これまでに、業務を通じて高齢者虐待が疑われるような場面に遭遇したり、虐待に関する話や相談を受けたことはありますか。また、そのような経験がある場合は件数についても記入してください。（MA）

「ほかの人から虐待の話聞いたことがある」が最も多く、次いで「自分が虐待の場面に遭遇したことがある」であり、虐待に関する経験がある傾向です。

	回答数	%
全体	67	100.0
1 自分が虐待の場面に遭遇したことがある	22	32.8
2 ほかの人から虐待の話聞いたことがある	27	40.3
3 被害者本人から虐待の相談を受けたことがある	20	29.9
4 被害者の周囲の人から虐待の相談を受けたことがある	17	25.4
5 その他	7	10.4
6 虐待に関して見たり聞いたりしたことはない	14	20.9
- 無回答	7	10.4



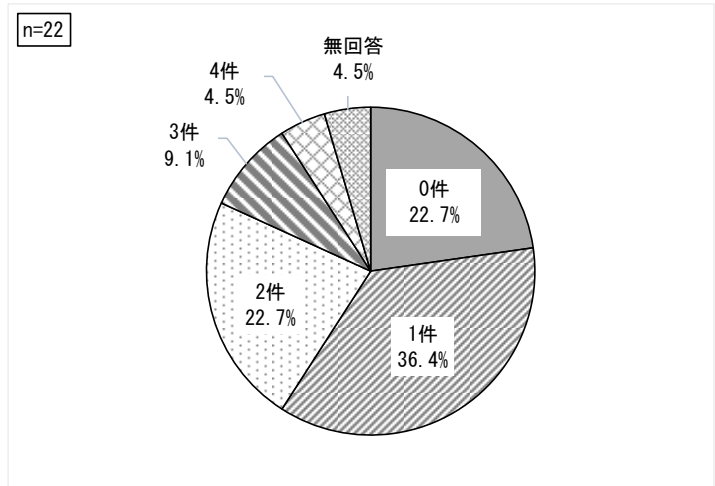
## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (6) ケアマネジャー調査

問 47\_1N：これまでに、業務を通じて高齢者虐待が疑われるような場面に遭遇したり、虐待に関する話や相談を受けたことはありますか。また、そのような経験がある場合は件数についても記入してください。

／自分が虐待の場面に遭遇したことがある [\_\_件] (N)

平均件数は 1.3 人です。

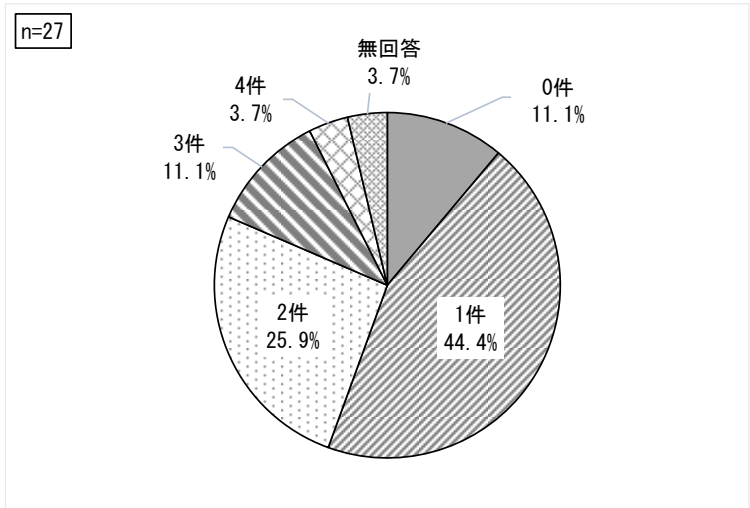
	回答数	%
全体	22	100.0
0 0件	5	22.7
1 1件	8	36.4
2 2件	5	22.7
3 3件	2	9.1
4 4件	1	4.5
- 無回答	1	4.5
- 平均値		1.33
- 標準偏差		1.11
- 最小値		0.00
- 最大値		4.00



問 47\_2N：これまでに、業務を通じて高齢者虐待が疑われるような場面に遭遇したり、虐待に関する話や相談を受けたことはありますか。また、そのような経験がある場合は件数についても記入してください。／ほかの人から虐待の話を聞いたことがある [\_\_件] (N)

平均件数は 1.5 人です。

	回答数	%
全体	27	100.0
0 0件	3	11.1
1 1件	12	44.4
2 2件	7	25.9
3 3件	3	11.1
4 4件	1	3.7
- 無回答	1	3.7
- 平均値		1.50
- 標準偏差		0.99
- 最小値		0.00
- 最大値		4.00



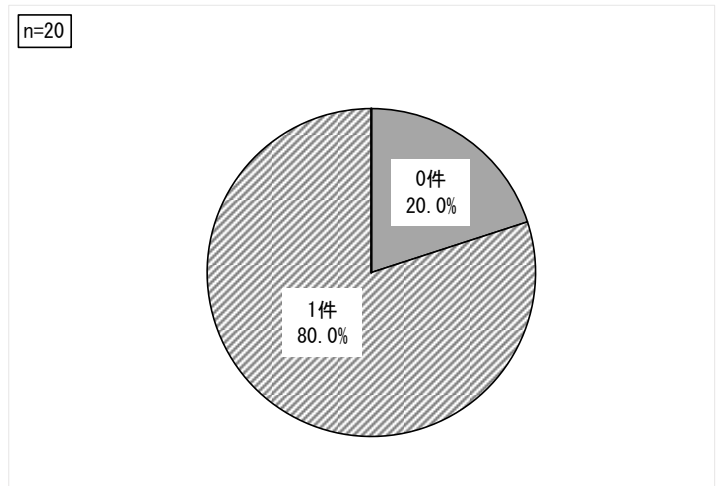


第2章 調査の結果 4 単純集計 (6) ケアマネジャー調査

問 47\_3N：これまでに、業務を通じて高齢者虐待が疑われるような場面に遭遇したり、虐待に関する話や相談を受けたことはありますか。また、そのような経験がある場合は件数についても記入してください。／被害者本人から虐待の相談を受けたことがある [\_\_件] (N)

平均件数は 0.8 人です。

		回答数	%
全体		20	100.0
0	0 件	4	20.0
1	1 件	16	80.0
2	2 件	0	0.0
3	3 件	0	0.0
4	4 件	0	0.0
- 平均値		0.80	
- 標準偏差		0.41	
- 最小値		0.00	
- 最大値		1.00	

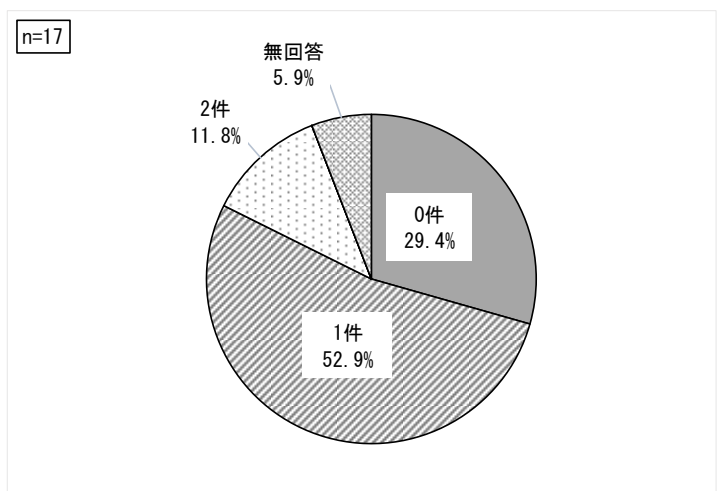


問 47\_4N：これまでに、業務を通じて高齢者虐待が疑われるような場面に遭遇したり、虐待に関する話や相談を受けたことはありますか。また、そのような経験がある場合は件数についても記入してください。

／被害者の周囲の人から虐待の相談を受けたことがある [\_\_件] (N)

平均件数は 0.8 人です。

		回答数	%
全体		17	100.0
0	0 件	5	29.4
1	1 件	9	52.9
2	2 件	2	11.8
3	3 件	0	0.0
4	4 件	0	0.0
- 無回答		1	5.9
- 平均値		0.81	
- 標準偏差		0.66	
- 最小値		0.00	
- 最大値		2.00	

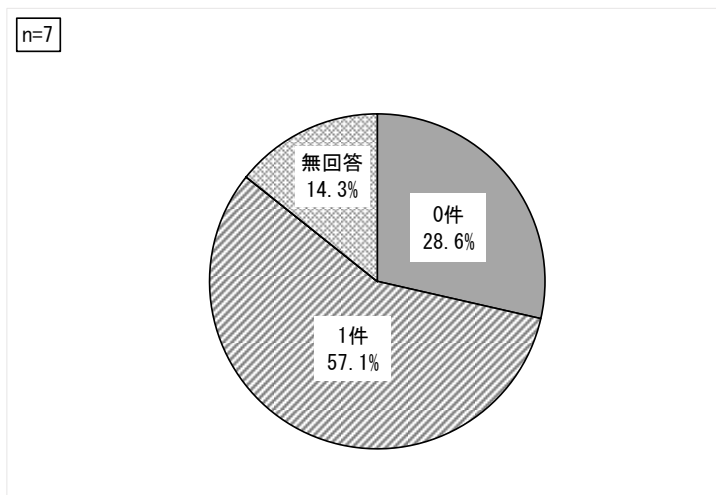


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (6) ケアマネジャー調査

問 47\_5N1：これまでに、業務を通じて高齢者虐待が疑われるような場面に遭遇したり、虐待に関する話や相談を受けたことはありますか。また、そのような経験がある場合は件数についても記入してください。／その他 [\_\_件] (N)

平均件数は 0.7 人です。

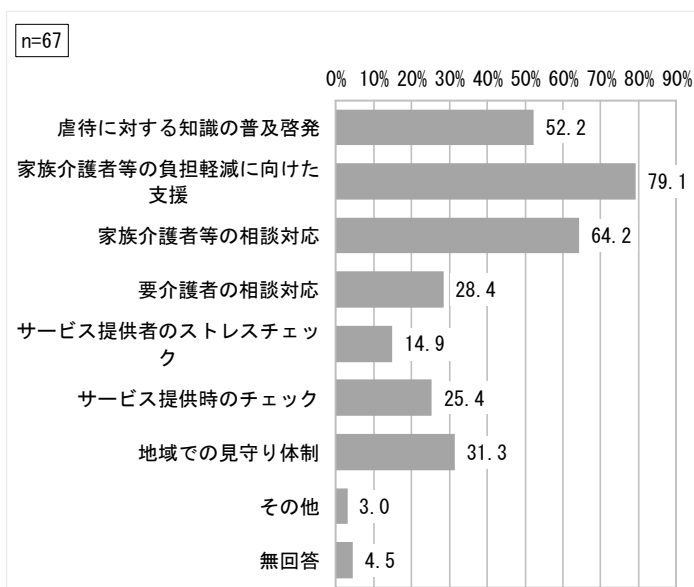
	回答数	%
全体	7	100.0
0 0件	2	28.6
1 1件	4	57.1
2 2件	0	0.0
3 3件	0	0.0
4 4件	0	0.0
- 無回答	1	14.3
- 平均値		0.67
- 標準偏差		0.52
- 最小値		0.00
- 最大値		1.00



問 48：専門職の立場からみて、高齢者虐待を未然に防ぐために必要なことは何だとお考えですか。(MA)

「家族介護者等の負担軽減に向けた支援」が最も多く、次いで「家族介護者等の相談対応」であり、介護者の支援や相談体制の充実を必要とする傾向です。

	回答数	%
全体	67	100.0
1 虐待に対する知識の普及啓発	35	52.2
2 家族介護者等の負担軽減に向けた支援	53	79.1
3 家族介護者等の相談対応	43	64.2
4 要介護者の相談対応	19	28.4
5 サービス提供者のストレスチェック	10	14.9
6 サービス提供時のチェック	17	25.4
7 地域での見守り体制	21	31.3
8 その他	2	3.0
- 無回答	3	4.5

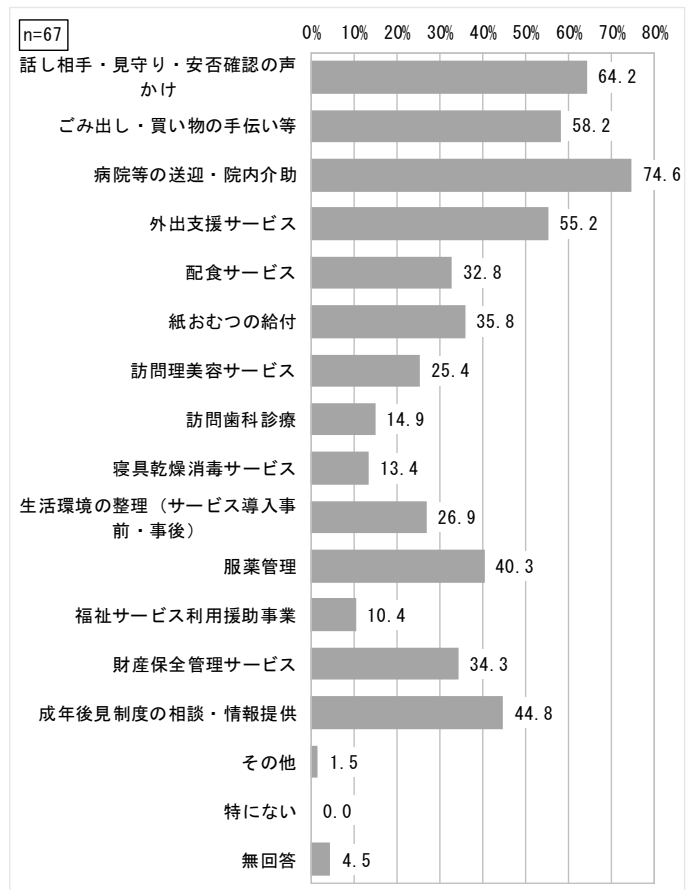


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (6) ケアマネジャー調査

問 49：今後、介護保険以外のサービスで必要かつ充実すべきサービスとして、どのようなものが考えられますか。 (MA)

「病院等の送迎・院内介助」が最も多く、次いで「話し相手・見守り・安否確認の声かけ」であり、支援や相談体制の充実を必要とする傾向です。

	回答数	%
全体	67	100.0
1 話し相手・見守り・安否確認の声かけ	43	64.2
2 ごみ出し・買い物の手伝い等	39	58.2
3 病院等の送迎・院内介助	50	74.6
4 外出支援サービス	37	55.2
5 配食サービス	22	32.8
6 紙おむつの給付	24	35.8
7 訪問理美容サービス	17	25.4
8 訪問歯科診療	10	14.9
9 寝具乾燥消毒サービス	9	13.4
10 生活環境の整理（サービス導入事前・事後）	18	26.9
11 服薬管理	27	40.3
12 福祉サービス利用援助事業	7	10.4
13 財産保全管理サービス	23	34.3
14 成年後見制度の相談・情報提供	30	44.8
15 その他	1	1.5
16 特にない	0	0.0
- 無回答	3	4.5

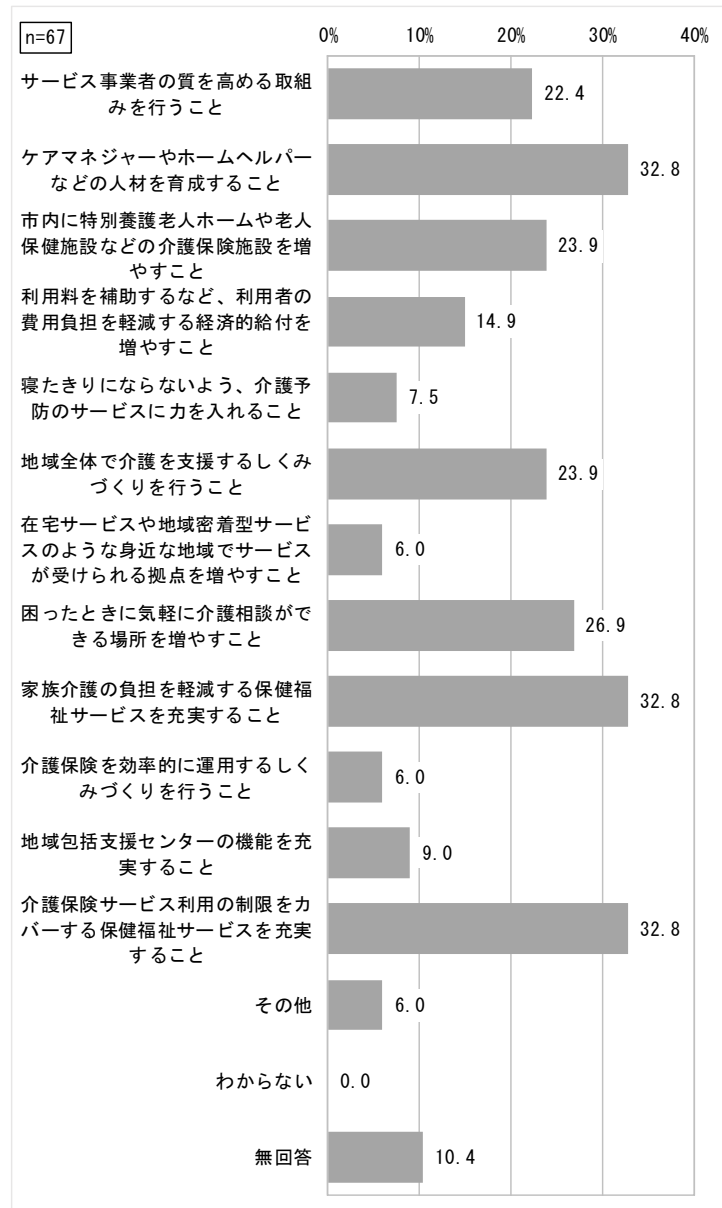


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (6) ケアマネジャー調査

問 50：「介護保険制度」全体をよりよくするための環境整備として、市が力を入れるべきことは次のうちどれだと思いますか。(3つまで選択) (MA)

「ケアマネジャーやホームヘルパーなどの人材を育成すること」、「家族介護の負担を軽減する保健福祉サービスを充実すること」、「介護保険サービス利用の制限をカバーする保健福祉サービスを充実すること」が同程度であり、人材やサービスの充実を望む傾向です。

		回答数	%
全体		67	100.0
1	サービス事業者の質を高める取組みを行うこと	15	22.4
2	ケアマネジャーやホームヘルパーなどの人材を育成すること	22	32.8
3	市内に特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設を増やすこと	16	23.9
4	利用料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減する経済的給付を増やすこと	10	14.9
5	寝たきりにならないよう、介護予防のサービスに力を入れること	5	7.5
6	地域全体で介護を支援するしくみづくりを行うこと	16	23.9
7	在宅サービスや地域密着型サービスのような身近な地域でサービスが受けられる拠点を増やすこと	4	6.0
8	困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やすこと	18	26.9
9	家族介護の負担を軽減する保健福祉サービスを充実すること	22	32.8
10	介護保険を効率的に運用するしくみづくりを行うこと	4	6.0
11	地域包括支援センターの機能を充実すること	6	9.0
12	介護保険サービス利用の制限をカバーする保健福祉サービスを充実すること	22	32.8
13	その他	4	6.0
14	わからない	0	0.0
-	無回答	7	10.4

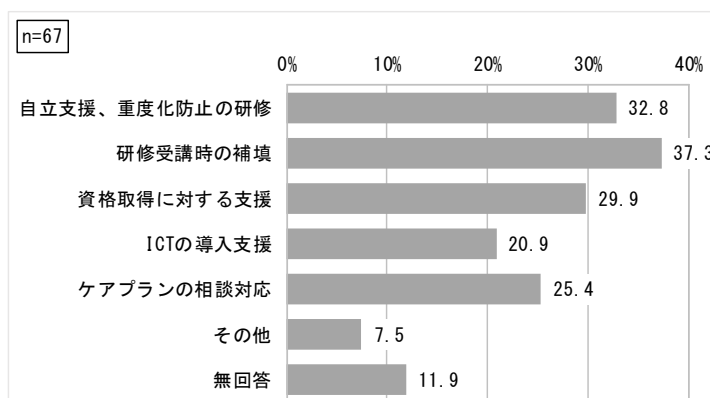


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (6) ケアマネジャー調査

問 51：「介護保険制度」全体をよりよくするための環境整備として、市が力を入れるべきことは次のうちどれだと思いますか。(3つまで選択) (MA)

「研修受講時の補填」が最も多く、次いで「自立支援、重度化防止の研修」であり、研修の充実を望む傾向です。

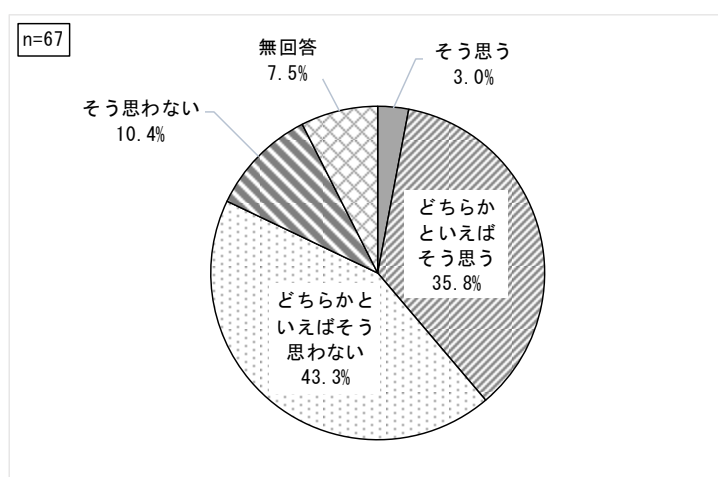
	回答数	%
全体	67	100.0
1 自立支援、重度化防止の研修	22	32.8
2 研修受講時の補填	25	37.3
3 資格取得に対する支援	20	29.9
4 ICTの導入支援	14	20.9
5 ケアプランの相談対応	17	25.4
6 その他	5	7.5
- 無回答	8	11.9



問 52：小金井市では、「誰もが安心して暮らせる思いやりのあるまち」の実現をめざしています。あなたは、小金井市は「誰もが安心して暮らせる思いやりのあるまち」だと思いますか。(SA)

「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」が5割程度であり、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」が4割程度です。

	回答数	%
全体	67	100.0
1 そう思う	2	3.0
2 どちらかといえばそう思う	24	35.8
3 どちらかといえばそう思わない	29	43.3
4 そう思わない	7	10.4
- 無回答	5	7.5

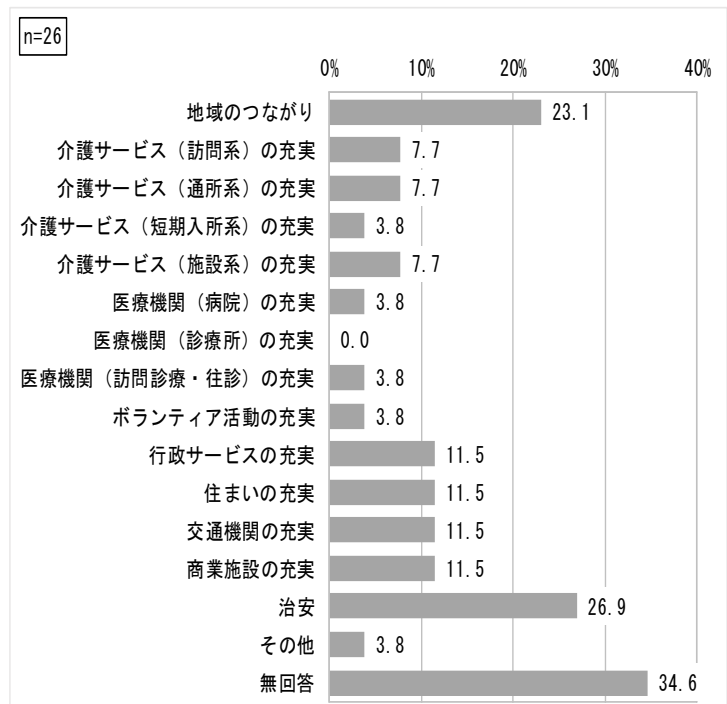


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (6) ケアマネジャー調査

問 53-1:【問 52 で「1.そう思う」、「2.どちらかといえばそう思う」と回答の方】その理由はなんですか (3 つまで選択) (MA)

「治安」が最も多く、次いで「地域のつながり」であり、安全性や地域連携を理由とする傾向です。

	回答数	%
全体	26	100.0
1 地域のつながり	6	23.1
2 介護サービス（訪問系）の充実	2	7.7
3 介護サービス（通所系）の充実	2	7.7
4 介護サービス（短期入所系）の充実	1	3.8
5 介護サービス（施設系）の充実	2	7.7
6 医療機関（病院）の充実	1	3.8
7 医療機関（診療所）の充実	0	0.0
8 医療機関（訪問診療・往診）の充実	1	3.8
9 ボランティア活動の充実	1	3.8
10 行政サービスの充実	3	11.5
11 住まいの充実	3	11.5
12 交通機関の充実	3	11.5
13 商業施設の充実	3	11.5
14 治安	7	26.9
15 その他	1	3.8
- 無回答	9	34.6

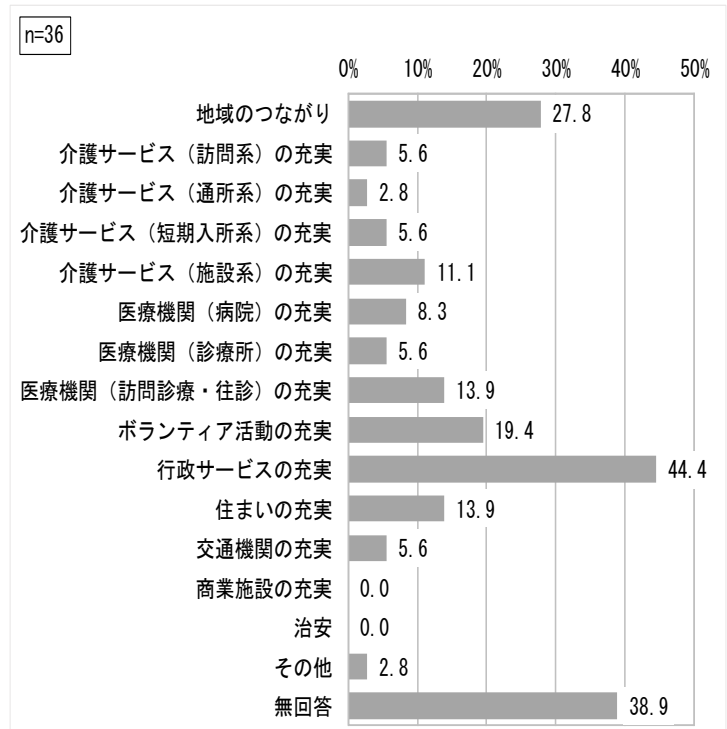


## 第2章 調査の結果 4 単純集計 (6) ケアマネジャー調査

問 53-2：【問 52 で「3.どちらかといえばそう思わない」、「4.そう思わない」と回答の方】  
どの項目が改善したら、「そう思う」ようになりますか。(3つまで選択) (MA)

「行政サービスの充実」が最も多く、次いで「地域のつながり」であり、行政サービスや地域連携の充実化を望む傾向です。

	回答数	%
全体	36	100.0
1 地域のつながり	10	27.8
2 介護サービス（訪問系）の充実	2	5.6
3 介護サービス（通所系）の充実	1	2.8
4 介護サービス（短期入所系）の充実	2	5.6
5 介護サービス（施設系）の充実	4	11.1
6 医療機関（病院）の充実	3	8.3
7 医療機関（診療所）の充実	2	5.6
8 医療機関（訪問診療・往診）の充実	5	13.9
9 ボランティア活動の充実	7	19.4
10 行政サービスの充実	16	44.4
11 住まいの充実	5	13.9
12 交通機関の充実	2	5.6
13 商業施設の充実	0	0.0
14 治安	0	0.0
15 その他	1	2.8
- 無回答	14	38.9



問 54：高齢者支援施策について、小金井市へのご意見・ご要望や知りたい情報などがありましたら、ご自由にお書きください。(注)

- ヘルパーさんが増えず減っている。高齢のヘルパーさんに頼っている。定期巡回も人件費等の諸事情で閉鎖との事。夜間対応型もすぐには利用出来ないと言われ待たされる。人手も利用出来るサービスも足りておらず、何でも屋的に雑用をケアマネがやらざるを得ない場面も多々あり。将来在宅が無理な人があふれ、ケアマネという資格も消滅してしまうのでは？と他のケアマネ達共も話し合っています。
- 本来は国に言うべき話かもしれませんが、介護給付費の自然増は、高齢者人口の増大によるものはあるかと思う。しかし、居宅介護支援事業所の独立性と公平性が担保されていない状況が、制度開設以来続いている。居宅介護支援事業所が独立性と公平性を本当に担保させるためには、訪問介護事業所のケアマネと言った併設の居宅介護支援事業所があまりに多い。これによりケアマネはサービス提供事業所の営業マン的役割を担わされている現実が今でもある。これを少しでも解消して行くことが、ひいては介護給付費の削減にもつながるのではないかと思っている。
- 徘徊される方を市内の人たちでカバーする仕組みを警察と共に作ってほしい。
- 包括支援センターの対応がエリアによって異なる為、ケアマネとして戸惑う事がある。高齢者の総合相談として親身になって対応してくれると思い紹介する事もあるので、是非、統一した対応をお願いしたい。(例：居宅相談があっても冊子渡して自分で探すように言う、高齢夫婦や遠方の親族は大変) また、連携をしっかりと取った支援につながる様にお互いの立場や役割を理解し思いやる心を持った対応にしないと、対象者に不安や不満を感じる支援となる事が懸念される。行政、包括、居宅としっかりと歩みよりお互い尊重しつつ同じゴールに向かい(困り事)同じ温度でチームケアが出来る様に意識して取り組んで欲しい。こちらも頑張ります。
- 防災マップ、事業者一覧がのった冊子など最近なくなったときいています。パソコンで調べてほしいと言われたご家族がいて、高齢者にパソコンはできないだろうと不親切とおっしゃっていました。高齢者にとって紙媒体(冊子)は必要と思います。その逆にはなりますが、契約等は書類が多すぎて名前を何回もかいたりするのを苦にされる方が大勢います。また市からの書類は難しすぎて理解できないと言われる方がほとんどです。その辺りがわかりやすくなれば良いなと思います。
- 市民が気軽に情報を収集できるステーションの様な場所が多数あれば良いと思う。

(注) 主な意見として回答を抜粋し、原文のまま掲載しています。



## 第 3 章 參考資料

1 介護予防・日常生活圏域二一ス調査

「小倉市介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画」策定のための  
アンケート調査 ご協力をお願い

市民の皆様には、日頃より高齢者福祉行政にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。  
小倉市では、高齢者の方が健康で住み慣れた地域で安心して住み続けることができる仕組みづくりをめざす指針となる「小倉市介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画」(以下「事業計画」という。)の策定を行うためのアンケート調査を実施することとしました。

このアンケート調査は、一般高齢者、要支援認定者、総合事業対象者の方の中から無作為に選ばせていただき、ご意見やご要望をお伺いし、事業計画策定の参考にさせていただきます。

これからの小倉市の高齢者保健福祉施策や、介護保険サービスを検討するうえで重要な調査ですので、ご多忙の折、大変恐縮ではございますが、趣旨をご理解のうえ、調査にご協力いただけますようお願い申し上げます。

なお、このアンケート調査に際しましては、プライバシーの保護に万全を期しております。

本アンケート調査の結果は、市のホームページにて令和2年5月以降に掲載予定です。

令和元年11月

ご記入にあたってのお願い

○この調査票には、お名前・ご住所をご記入しないでください。

○封筒のあて名ご本人について、ご記入をお願いします。調査票の設問中の「あなた」とは、封筒のあて名の方をさします。回答はできる限り、あて名ご本人がご記入ください。

なお、あて名ご本人おひとりでの回答がむずかしい場合は、ご家族や周りの方がお手伝いいただくか、あて名ご本人の意見を聞いたうえで代わりにご記入ください。

○お答えは、あてはまる回答の番号に○をつけてください。○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。

○「その他」に○をつけられた方は、( ) 内に具体的にその内容をご記入ください。

○本調査の結果は、統計的に処理いたしますので、お答えいただいた方にご迷惑をおかけするようないかなることは一切ございません。思いのままをお答えいただけますようお願い申し上げます。

○ご記入いただいた調査票は、令和元年12月25日(水)までに、同封の封筒に入れて(印手を貼らずに)投函してください。ご協力の程よろしくようお願い申し上げます。

【調査に関するお問い合わせ先】

小倉市 福祉保健部 介護福祉課

電話：042-387-9822 (直通) FAX：042-384-2524



個人情報取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりです。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記同意とさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、効果的な高齢者保健福祉・介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、計画策定の目的以外には利用いたしません。また、当該情報については、小倉市において適切に管理いたします。
- 計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

はじめに、調査の回答者についておたずねします

◆あなたは現在どちらにいらっしゃいますか。(1つに○)

- 1. 自宅
- 2. 市外へ転出
- 3. 病院等に入院している
- 4. その他【具体的に：】

「2. 市外へ転出」に回答された方は、ここまでの記入で結構です。調査票を返信用封筒に入れ、ご返送ください。ご協力ありがとうございました。

◆この調査票はどなたがご記入されますか。(1つに○)

- 1. あなた
- 2. 家族や親族
- 3. 地域の協力者
- 4. その他【具体的に：】

あなたのことをおたずねします

F1 あなたの性別はどちらですか。(1つに○)

- 1. 男性
- 2. 女性

F2 あなたの年齢は次のどれですか。(1つに○)

※ 令和元年12月1日現在の年齢でお答えください。

- 1. 65～69歳
- 2. 70～74歳
- 3. 75～79歳
- 4. 80～84歳
- 5. 85～89歳
- 6. 90～94歳
- 7. 95歳以上

F3 あなたはどちらにお住まいですか。

また、丁目を〔 〕にご記入ください。(1つに○)

- 1. 東町〔 〕丁目
- 2. 梶野町〔 〕丁目
- 3. 岡野町〔 〕丁目
- 4. 緑町〔 〕丁目
- 5. 中町〔 〕丁目
- 6. 前原町〔 〕丁目
- 7. 本町〔 〕丁目
- 8. 桜町〔 〕丁目
- 9. 貫井北町〔 〕丁目
- 10. 貫井南町〔 〕丁目

日常生活についておたずねします

問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) あなたの家族構成をお教えください。(1つに○)

- 1. 一人暮らし
- 2. 夫婦二人暮らし(配偶者65歳以上)
- 3. 夫婦二人暮らし(配偶者64歳以下)
- 4. 息子・娘との二世帯
- 5. その他【具体的に：】

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つに○)

- 1. 介護・介助は必要ない
- 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
- 3. 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つに○)

- 1. 大変苦しい
- 2. やや苦しい
- 3. ぶつう
- 4. ややゆとりがある
- 5. 大変ゆとりがある

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。(1つに○)

- 1. できるし、している
- 2. できるけどしていない
- 3. できない

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つに○)

- 1. できるし、している
- 2. できるけどしていない
- 3. できない

(3) 15分位続けて歩いていきますか。(1つに○)

- 1. できるし、している
- 2. できるけどしていない
- 3. できない

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つに○)

- 1. 何度もある
- 2. 1度ある
- 3. ない

(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(1つに○)

- 1. とても不安である
- 2. やや不安である
- 3. あまり不安でない
- 4. 不安でない

問4 毎日の生活について

- (1) 物忘れが多いと感じますか。(1つに○)
1. はい 2. いいえ
- (2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか。(1つに○)
1. はい 2. いいえ
- (3) 今日が何月何日かわからない時がありますか。(1つに○)
1. はい 2. いいえ
- (4) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。(1つに○)
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
- (5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つに○)
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
- (6) 自分で食事の用意をしていますか。(1つに○)
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
- (7) 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つに○)
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
- (8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つに○)
1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
- (9) 友人の家を訪ねていますか。(1つに○)
1. はい 2. いいえ
- (10) 家族や友人の相談にのっていますか。(1つに○)
1. はい 2. いいえ

(6) 週に1回以上は外出していますか。(1つに○)

1. ほとんど外出しない 3. 週2~4回 4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つに○)

1. とも減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない

問3 食べることにについて

(1) 身長・体重

身長   cm 体重   kg

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(3) お茶や汁物等でもせることがありますか。(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(4) 口の渇きが気になりますか。(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(5) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。(1つに○)  
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用  
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

(6) この半年間で2~3kg以上の体重減少はありましたか。(1つに○)

1. はい 2. いいえ

(7) どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(1つに○)

1. 毎日ある 4. 年に何度かある  
2. 週に何度かある 5. ほとんどない  
3. 月に何度かある

問5 地域での活動について

- (1) 以下のような会・グループ等にとどのくらいの頻度で参加していますか。  
(①から⑧についてそれぞれ1つに○)

	週4回以上	週2回～3回	週1回	月に1～3回	年に1回	参加していません
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ さくら体操やサロン等の通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 取入のある仕事	1	2	3	4	5	6

- (2) 地域住民の有志によって、健康づくりの活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つに○)

1. 是非参加したい	2. 参加してもよい	3. 参加したくない	4. 既に参加している
------------	------------	------------	-------------

- (3) 地域住民の有志によって、健康づくりの活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(1つに○)

1. 是非参加したい	2. 参加してもよい	3. 参加したくない	4. 既に参加している
------------	------------	------------	-------------

問6 たすけあいについて(あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお聞かせ下さい)

- (1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はどなたですか。(いくつでも○)

1. 配偶者	5. 近隣
2. 同居の子ども	6. 友人
3. 別居の子ども	7. その他(具体的に: )
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	8. そのような人はいない

- (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はどなたですか。(いくつでも○)

1. 配偶者	5. 近隣
2. 同居の子ども	6. 友人
3. 別居の子ども	7. その他(具体的に: )
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	8. そのような人はいない

- (3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。(いくつでも○)

1. 配偶者	5. 近隣
2. 同居の子ども	6. 友人
3. 別居の子ども	7. その他(具体的に: )
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	8. そのような人はいない

- (4) 反対に、看病や世話をしてあげる人はどなたですか。(いくつでも○)

1. 配偶者	5. 近隣
2. 同居の子ども	6. 友人
3. 別居の子ども	7. その他(具体的に: )
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	8. そのような人はいない

問7 健康について

- (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つに○)

1. とてもよい	3. あまりよくない
2. まあよい	4. よくない

- (2) あなたは、現在のどの程度幸せですか。(当てはまる点数1つに○)  
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

とても不幸	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	とても幸せ
-------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-------

- (3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つに○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

- (4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つに○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

- (5) タバコは吸っていますか。(1つに○)

1. ほぼ毎日吸っている	3. 吸っていたがやめた
2. 時々吸っている	4. もともと吸っていない

問9 住まいについて

(6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも○)

1. ない	11. 外傷 (転倒・骨折等)
2. 高血圧	12. がん (悪性新生物)
3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	13. 血液・免疫の病気
4. 心臓病	14. うつ病
5. 糖尿病	15. 認知症(アルツハイマー病等)
6. 高脂血症 (脂質異常)	16. パーキンソン病
7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	17. 目の病気
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	18. 耳の病気
9. 腎臓・前立腺の病気	19. その他
10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)	[ 具体的に: ]

問8 認知症について

(1) あなたは、「認知症」にどの程度関心がありますか。(1つに○)

1. とても関心がある	4. まったく関心がない
2. まあまあ関心がある	5. 初めて聞いた
3. あまり関心がない	

(2) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つに○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(3) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つに○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

(4) もし、自分が認知症になったらときに、認知症の対策として必要だと思うことはなんですか。(3つまで○)

1. 認知症に関する知識を得る機会	6. 自宅でも安心して生活できる訪問支援
2. 地域住民の理解・サポート	7. 認知症の方が安心して入所できる施設や住まい
3. 認知症のことを相談できる窓口	8. その他
4. 認知症の方同士での交流の場	[ 具体的に: ]
5. 家族介護者同士の情報交換や交流の場	9. 特にない

問9 住まいについて

(1) あなたのお住まいは次のうちどれですか。(1つに○)

1. 持家 (一戸建て)	4. 民間賃貸住宅 (一戸建て)
2. 持家 (集合住宅)	5. 民間賃貸住宅 (集合住宅)
3. 公的賃貸住宅 (市営・都営住宅など)	6. その他 [具体的に: ]

(2) 今後、暮らす場所として希望している住まいはどこですか。(1つに○)

1. 現在の自宅に住みたい	} (4) へ
2. 地域密着型サービス(※)を利用しながら生活したい	
3. 家族 (息子娘夫婦など) の家に住みたい	} (3) へ
4. 特別介護老人ホームに住みたい	
5. グループホーム(※)に住みたい	
6. サービス付き高齢者向け住宅(※)に住みたい	
7. 有料老人ホーム(※)に住みたい	
8. すぐに入居できる施設等に移りたい	

※ 地域密着型サービス: 出来る限り住み慣れた地域での生活が継続できるように創設されたサービス体系 (24時間対応の訪問介護・看護や、1事業者で通い訪問、宿泊を提供できるサービスなど、在宅生活をより支援するサービス体系)

グループホーム: 認知症高齢者の方を対象に少人数で共同生活をする施設  
 サービス付き高齢者向け住宅: 単身高齢者の方が状況把握・生活相談サービスを受けながら居住できる賃貸等の住宅  
 有料老人ホーム: 主に要介護者の方が介護、家事、日常生活支援、機能訓練等のサービスを受けながら居住する施設。介護付や住宅型と呼ばれるタイプがある。

(3) (2) で「4. 特別介護老人ホームに住みたい」～「8. すぐに入居できる施設等に移りたい」と回答した方にお応えします。希望した住まい等についてどのような条件を重視したいですか。(3つまで○)

1. すぐに入居できること	14. その他 [具体的に: ]
2. 入居費用・利用料が高くないこと	
3. 運営母体が信頼できる組織であること	
4. 説明や情報提供がわかりやすいこと	
5. 入居後の医療・介護・生活の相談が充実していること	
6. 自宅の近くにあること	
7. 少人数で暮らして暮らせる住まいであること	
8. 個人のプライバシーが守られていること	
9. 訪問した家族や友人と一緒に過ごせる場所があること	
10. 趣味や外出など、以前と同じ普通の生活が続けられること	
11. 他の入居者や地域住民との交流の機会が多いこと	
12. 介護の負担が重くなくとも安心して介護を受けられること	
13. その住まいで最期まで暮らすことができること	

問12 高齢者保健福祉サービス（介護保険外）等について

- (1) 市では、介護保険以外にも、様々な高齢者保健福祉サービスを行っています。今後、介護が必要となったとき、以下のようサービスを利用したいと思いますが、（いくつでも〇）
1. 自立支援日常生活用具給付（虚弱な高齢者の方に、入浴補助用具・手すり等の日常生活用具を給付する）
  2. 自立支援住宅改修の給付（身体的理由により住宅設備改修が必要と認められる虚弱な方に、浴槽や洗面台の交換、便器の洋式化など改修に要する費用を給付する）
  3. 寝具乾燥
  4. 食の自立支援（配食サービス）
  5. おむつサービス（在宅でおむつが必要な方を介護している家族の方に、紙おむつ、尿取りパット等を配達する）
  6. 入浴券給付（ひとり暮らし等で自宅に風呂設備のない方に入浴券を配布する）
  7. ことぶき理容券の給付（市内の協力で調髪、洗髪等に利用できる割引券を配布する）
  8. 高齢者福祉電話の貸与（ひとり暮らし等の方に、安否確認、孤独感解消のため電話を貸与する）
  9. 緊急通報システムの貸与（慢性疾患などにより、常時注意を要するひとり暮らし等の方に貸与する）
  10. 徘徊高齢者探知機器の貸与（高齢者が徘徊してもすぐに見つけられるよう、発信器を貸与する）
  11. ひと声訪問（牛乳の配達）（牛乳等の配達により、ひとり暮らしの方等の安否確認を行う）
  12. 女愛活動員の訪問（女愛活動員がひとり暮らしの方や日中独居の方を訪問、電話による話し相手になる）
  13. 特別生活援助
  14. 家具転倒防止器具等取付け（65歳以上の世帯の方等に、災害から生命及び財産を守るため、家具の転倒防止器具等を取り付ける）
  15. 見守りシール（徘徊等の可能性のある高齢者を対象に、個人情報をおさずに家族等へ連絡がとれる10が記載されたシールを提供する）
  16. 利用したいものは特になし

問10 地域包括支援センターについて  
(1) あたは、小金井市の地域包括支援センターを知っていますか。(1つに〇)

1. 知っている
2. 知らない

※ 地域包括支援センターは、高齢者の生活を総合的に支えていくための拠点です。住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるように、介護・福祉・健康・医療などさまざまな面から、高齢者やその家族を支えています。高齢者本人や家族、地域住民、ケアマネジャーなどから受けた悩みや相談を、適切な機関と連携して解決に努めています。

- 小金井きた地域包括支援センター（電話042-388-2440）  
[担当地域：梶野町、岡野町、緑町、本町2～3丁目、桜町1・3丁目]
- 小金井ひがし地域包括支援センター（電話042-386-6514）  
[担当地域：東町、中町、本町1丁目]
- 小金井みなみ地域包括支援センター（電話042-388-8100）  
[担当地域：前原町、本町6丁目、費井南町]
- 小金井にし地域包括支援センター（電話042-386-7373）  
[担当地域：本町4～5丁目、桜町2丁目、費井北町]

問11 高齢者の権利について

(1) 高齢者の権利や生活を守るための相談窓口として以下のようなものがありますが、あなたの知っているものはありますか。(いくつでも〇)

1. 行政の相談窓口（市役所など）
2. 地域包括支援センター
3. 権利擁護センター
4. 社会福祉協議会
5. 消費生活相談室
6. 知っているものはない

問12 高齢者保健福祉サービス（介護保険外）等について

(1) 市では、介護保険以外にも、様々な高齢者保健福祉サービスを行っています。今後、介護が必要となったとき、以下のようサービスを利用したいと思いますが、（いくつでも〇）

1. 自立支援日常生活用具給付（虚弱な高齢者の方に、入浴補助用具・手すり等の日常生活用具を給付する）
2. 自立支援住宅改修の給付（身体的理由により住宅設備改修が必要と認められる虚弱な方に、浴槽や洗面台の交換、便器の洋式化など改修に要する費用を給付する）
3. 寝具乾燥
4. 食の自立支援（配食サービス）
5. おむつサービス（在宅でおむつが必要な方を介護している家族の方に、紙おむつ、尿取りパット等を配達する）
6. 入浴券給付（ひとり暮らし等で自宅に風呂設備のない方に入浴券を配布する）
7. ことぶき理容券の給付（市内の協力で調髪、洗髪等に利用できる割引券を配布する）
8. 高齢者福祉電話の貸与（ひとり暮らし等の方に、安否確認、孤独感解消のため電話を貸与する）
9. 緊急通報システムの貸与（慢性疾患などにより、常時注意を要するひとり暮らし等の方に貸与する）
10. 徘徊高齢者探知機器の貸与（高齢者が徘徊してもすぐに見つけられるよう、発信器を貸与する）
11. ひと声訪問（牛乳の配達）（牛乳等の配達により、ひとり暮らしの方等の安否確認を行う）
12. 女愛活動員の訪問（女愛活動員がひとり暮らしの方や日中独居の方を訪問、電話による話し相手になる）
13. 特別生活援助
14. 家具転倒防止器具等取付け（65歳以上の世帯の方等に、災害から生命及び財産を守るため、家具の転倒防止器具等を取り付ける）
15. 見守りシール（徘徊等の可能性のある高齢者を対象に、個人情報をおさずに家族等へ連絡がとれる10が記載されたシールを提供する）
16. 利用したいものは特になし

※ サービスの利用に関しては、介護保険の要介護度や、市民税非課税世帯などの利用条件があるものもあります。また、一部利用者負担がある場合があります。

(2) 自立支援住宅改修の制度を知っていますか。(1つに○)

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

※ 自立支援住宅改修は、既存の設備が身体的理由で利用できない場合、一定の自己負担の上、改修する制度です。  
 ・設備給付：浴槽交換、流し・洗面台交換、便器の洋式化（認定結果が非該当）  
 ・予防給付：手すり取付け、床段差解消、床材変更、便器の洋式化（認定結果が非該当）

(3) 今後、必要に応じて自立支援住宅改修の制度を利用したいと思いますか。(1つに○)

1. 利用したいと思う	2. 利用したいと思わない
-------------	---------------

(4) 要支援1・2の認定を受けている方におたずねします。総合事業（訪問型サービス・通所型サービス）は、更新の際に要支援認定を受けなくてもチェックリストを受けただけで利用できますが知っていますか。(1つに○)

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

(5) 総合事業(※)を利用したことがありますか。また、利用したことがある方は、事業の満足度はいかがでしたか。(1つに○)

1. 利用したことがある	【利用した後の満足度】
2. 利用しなかった	1. 利用してよかった → 13へ
3. 事業を知らない	2. どちらでもない → 13へ
4. 利用しない方がよかった	3. 利用しない方がよかった

※ 総合事業（介護予防・生活支援サービス）：平成28年度より開始された、要支援1・2及びチェックリストによる総合事業対象者に対して提供される訪問型サービスと通所型サービスのこと。従来相当のサービスと保険者が独自の基準で設定したサービスがある。

問13 地域生活について

(1) あなたは、地域活動やボランティア活動、お住まいの地域の行事にどの程度参加していますか。(1つに○)

1. よく参加している	→ (2)へ	3. あまり参加していない	→ (3)へ
2. 時々参加している	→ (2)へ	4. 全く参加していない	→ (3)へ

(2) (1)で「1.よく参加している」または「2.時々参加している」と答えた方におたずねします。どのような活動や行事に参加していますか。(いくつでも○)

1. 町会・自治会などの活動	8. 娯楽・趣味に関する活動
2. 子ども会やPTAの活動	9. スポーツに関する活動
3. 老人クラブの活動	10. お祭りや運動会などレクリエーション活動
4. 婦人会の活動	11. 住民自治に関する活動
5. 国際交流・協力に関する活動	12. その他
6. 防災訓練や交通安全運動	【具体的に：
7. 生涯学習に関する活動	】

・介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 11-

(3) あなたが今後、お住まいの地域で活動する場合、どのような活動に参加したいと思いますか。(いくつでも○)

1. 自分の楽しみが得られる活動	7. 家庭生活を豊かにする家族ぐるみの活動
2. 興味ある知識や教養が得られる活動	8. 地域や社会に役立つ活動（ボランティア活動等）
3. 自分の知識や経験をいかせる活動	9. 行政への協力や地域自治にかかわる活動
4. 生きがいや健康づくりができる活動	10. その他
5. 仲間づくりや親しい友人ができる活動	【具体的に：
6. 隣近所の人と協力しあえる活動	11. 特になし

(4) あなたは、お住まいの地域で活動する場合、どのような環境や条件が必要だと思いますか。(3つまで○)

1. 身近なところや便利などところに活動の場があること
2. 夜間や休日または平日昼間など、自分にあった時間帯に参加できること
3. 友人や家族と一緒に参加できること
4. 身近な団体や活動内容に関する情報が手に入ること
5. 活動資金の補助・援助があること
6. 活動に参加することでメリット（報酬など）が得られること
7. その他【具体的に：
8. 条件によらず参加したくない

(5) あなたは隣近所の人とはどの程度お付き合いをしていますか。(1つに○)

1. 多くの人と親しく付き合っている	3. たまに挨拶や立ち話をする程度である
2. 特定の人は親しくしている	4. ほとんど付き合いはない

(6) あなたは、お住まいの地域の中で、自宅以外の居場所(定期的に顔を出したり、仲間たちで集まる場所)はありますか。(1つに○)

1. ある	2. ない	3. 居場所は必要としていない
-------	-------	-----------------

(7) 地域の中でどのような居場所があれば利用したいと思いますか。(いくつでも○)

1. 町会・自治会単位で集まれる居場所
2. 住んでいる地域に関係なく、市内の好きなところに顔を出せる居場所
3. 決まった曜日や時間に集まれる居場所
4. 日中の好きな時間に気兼ねなく集まれる居場所
5. 健康づくりやレクリエーションなどのプログラムが用意してある居場所
6. 本、パソコンや特許用具等の娯楽用具が置いてある居場所
7. 世代間の交流ができる居場所
8. その他【具体的に：
9. 居場所は特に必要ない

・介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 12-



(12) ひとり暮らしの高齢者を対象とする「見守り支援」について、利用と負担の関  
係はどうあるべきだと考えますか。(1つに○)

1. 大事な福祉サービスであり、自治体が全額負担するべき
2. 利用者の任意による利用なので、一定の自己負担は払うべき
3. 利用者自身の安心のためなので、全額自己負担であるべき
4. その他〔具体的に：〕
5. わからない

(13) ご自身が病氣などで長期を迎えたとしたらどこで迎えたいですか。(1つに○)

1. 自宅	4. その他
2. 病院などの医療施設	〔具体的に：〕
3. 特別養護老人ホームなどの介護保険施設	5. 特に希望はない

(14) ご自身の看取りについて、誰かに相談したことはありますか。(いくつでも○)

1. 相談したことはない	4. 医師	7. 地域包括支援センター
2. 家族、親戚	5. 看護師等の医療職	8. 行政
3. 友人、知人	6. ケアマネジャー等の介護職	9. その他〔〕

(15) あなたは、自分や家族のことについて現在不安に感じることがありますか。  
(いくつでも○)

1. 自分もしくは配偶者の健康
2. 食事づくり、家事全般
3. 急病などの緊急時の対応
4. 寝たきり、または今より状態が悪化した時の介護のこと
5. 認知症になった時の介護や財産管理のこと
6. 医療費や介護費用など経済的なこと
7. その他〔具体的に：〕
8. 特にない

(16) あなたは、暮らしの問題や福祉について困りごとがあったとき、どこに(誰に)  
相談しますか。(いくつでも○)

1. 家族や親戚	7. 介護サービス関係者
2. 友人・知人、近隣の人	8. 社会福祉協議会
3. 市の相談窓口	9. 病院・診療所の医師・看護師など
4. 地域包括支援センター	10. その他〔具体的に：〕
5. 民生委員・児童委員	11. 相談できる人がいない
6. ケアマネジャー	

(8) 元高齢者の方等がサービス提供の担い手となる生活支援サービスがあった場  
合、利用したいと思えますか。(1つに○)

1. ぜひ利用したい	→ (9) へ
2. サービス内容によっては利用したい	→ (10) へ
3. 利用したくない	

(9)(8)で「1. ぜひ利用したい」または「2. サービス内容によっては利用したい」  
と答えた方におたずねします。どのようなサービスであれば、利用したいですか。  
(いくつでも○)

1. 移動支援	4. 清掃等
2. 買い物支援	5. 相談・話し相手
3. 配食・調理支援	6. その他〔具体的に：〕

(10)(8)で「3. 利用したくない」と答えた方におたずねします。利用したくない  
理由はなんでしょうか。(いくつでも○)

1. 事故等の時の対応が心配
2. プライバシーが守られるか心配
3. 他人を家に上げたくない
4. できることは自分でしたい
5. 費用が掛かっても専門職に支援してもらいたい
6. その他〔具体的に：〕

(11) もし、あなたがひとり暮らしになった場合(現在ひとり暮らしの方は現時点で  
の意向として)、どのような「見守り支援」を利用したいと思えますか。  
(いくつでも○)

1. 民生委員やボランティア等が定期的に自宅を訪れ、声かけをしてくれる
2. 定期的に電話をし、安否確認をしてくれる
3. 定期的に携帯電話がパソコンにメールが送信され、返信をする
4. 緊急通報システム(ペンダント型発信器等)の貸出や、日常的に使う家電等に緊急通報装置を設置してくれる
5. 定期的に牛乳配達をすることで、配達業者が安否確認をしてくれる
6. 定期的に配食サービスを提供することで、配達業者が安否確認をしてくれる
7. 定期的に理容助成券の給付を受けるために、市役所に出向くことで、市職員が安否確認をする
8. その他〔具体的に：〕

問14 就労意向について

(1) あなたは現在、収入のある仕事についていますか。(1つに○)

1. シルバー人材センターの仕事をしている	} 問15へ
2. シルバー人材センター以外の仕事についている	
3. 仕事をしたいが、からだの具合が悪いので働いていない	
4. 仕事をしたいが、仕事がないので働いていない	
5. 仕事をやる意思がないので、働いていない	
6. その他〔具体的に： 〕	

(2)(1)で「1. シルバー人材センターの仕事をしている」～「4. 仕事をしたいが、仕事がないので働いていない」に答えた方におたずねします。あなたは今後、どのような方たちで働きたいと考えていますか。(1つに○)

1. 自分の知識や技能をいかして、収入の多い仕事をしたい	}
2. 自分の知識や技能をいかした仕事ができれば、収入は少なくともよい	
3. 地域に貢献できる仕事ができれば、収入は少なくともよい	
4. 自分の知識や技能をいかした活動ができれば、収入は少なくともよい	
5. 地域に貢献できる仕事ができれば、収入は少なくともよい	
6. その他〔具体的に： 〕	

問15 保険料について

(1) あなたの介護保険料の保険段階は次の1～16のうちどれですか。(1つに○)

意欲	保険料段階	該当する方	年額 (月額)
1.	第1段階	生活保護を受けている方、世帯全員が市民税非課税で、老齢福祉年金を受けている方、世帯全員が市民税非課税で、「課税年金収入額＋合計所得金額」が80万円以下の方	24,300円 (2,030円)
2.	第2段階	世帯全員が市民税非課税で、「課税年金収入額＋合計所得金額」が80万円超120万円以下の方	34,000円 (2,840円)
3.	第3段階	世帯全員が市民税非課税で、「課税年金収入額＋合計所得金額」が120万円超の方	46,900円 (3,910円)
4.	第4段階	本人が市民税非課税で、「課税年金収入額＋合計所得金額」が80万円以下の方、及び世帯に市民税課税者がいる方	56,700円 (4,725円)
5.	第5段階	本人が市民税非課税で、世帯に市民税課税者がいる方、及び第4段階以外の方	64,800円 (5,400円)
6.	第6段階	本人が市民税課税で合計所得金額が120万円未満の方	76,100円 (6,345円)
7.	第7段階	本人が市民税課税で合計所得金額が120万円以上200万円未満の方	82,000円 (6,885円)
8.	第8段階	本人が市民税課税で合計所得金額が200万円以上300万円未満の方	93,900円 (7,820円)
9.	第9段階	本人が市民税課税で合計所得金額が300万円以上350万円未満の方	97,200円 (8,100円)
10.	第10段階	本人が市民税課税で合計所得金額が350万円以上500万円未満の方	103,600円 (8,640円)
11.	第11段階	本人が市民税課税で合計所得金額が500万円以上750万円未満の方	113,400円 (9,450円)
12.	第12段階	本人が市民税課税で合計所得金額が750万円以上1,000万円未満の方	129,600円 (10,800円)
13.	第13段階	本人が市民税課税で合計所得金額が1,000万円以上1,500万円未満の方	139,300円 (11,610円)
14.	第14段階	本人が市民税課税で合計所得金額が1,500万円以上2,000万円未満の方	149,000円 (12,420円)
15.	第15段階	本人が市民税課税で合計所得金額が2,000万円以上の方	158,700円 (13,230円)
16.	わからない		

※ お手元に介護保険料納入通知書があればご確認ください。ない場合等、ご自身の保険料段階が不明な場合は「16. わからない」に○をしてください。

(2) 今後の介護保険サービスと介護保険料について、あなたの考えに最も近いものは次のうちどれですか。(1つに○)

1. 介護保険料が多少高くなっても介護サービスが充実している方がよい
2. 介護保険料も介護サービスも今くらいが妥当である
3. 介護サービスを抑えても介護保険料が低い方がよい
4. 全国平均と同じ程度でよい
5. どちらともいえない

※ 全国平均：月額5,869円 小金井市：月額5,400円

問16 災害対応について  
 (1) あなたは、災害などの発生を考えた時、どのような不安や心配ことがありますか。(いくつでも)

1. お住まい(家屋)の耐震性のこと	
2. 家具や家電の転倒対策が不十分なこと	
3. 食料や日用品の備蓄が不十分なこと	
4. 災害時の集合場所や避難所の場所がはつきりわからないこと	
5. 避難所での日常生活の困難さのこと	
6. 自分が一人で避難することが困難なこと	
7. 一人で避難することが困難な同居の家族(高齢者、障がいのある方、乳幼児等)がいること	
8. 自分や家族の健康のこと	
9. 家族の所在や安否確認のこと	
10. 飼っているペット(犬、猫等)の避難のこと	
11. 災害や避難方法等に関する正確な情報の入手方法のこと	
12. その他【具体的に：】	
13. 特に心配なことはない	

(2) 災害が起きた時、避難所で配慮してほしいことは何ですか。(いくつでも)

1. 高齢者、妊産婦、乳幼児等、体調が変化しやすい人への配慮・支援	
2. 視覚・聴覚障がい者、外国人等、情報を得づらい人への情報提供・状況把握	
3. 男女別での避難所設備の設置(トイレ、更衣室、物干し場、授乳室等)	
4. 持病のある人や薬を飲んでいる人への治療の継続	
5. 間仕切りの設置など、プライバシーに関する配慮	
6. 不安やストレスを和らげるためのケアや相談体制の整備	
7. 段差の解消など、避難所でのバリアフリー	
8. 保健師による健康相談・管理など、避難所での健康管理	
9. 防犯ブザーの配布や警備巡回など、安全の確保	
10. その他【具体的に：】	
11. 特にない	

(3) 災害時に一人で避難できますか。(1つに○)

1. 一人で判断し、避難できる → (5)へ	
2. 一人で判断できるが、自身の移動が困難で避難はできない →	
3. 一人で判断できるが、同居者等の移動が困難で避難はできない →	
4. 一人で判断できないし、避難もできない → (4)へ	

(4) (3)で「2. 一人で判断できるが、避難はできない」～「4. 一人で判断できないし、避難もできない」と答えた方におたずねします。災害時に避難する際に、手助けを頼める人はいいますか。(1つに○)

1. いる	2. いない	3. わからない
-------	--------	----------

(5) 防災や災害時への取組みについてうかがいます。(①から⑤についてそれぞれ1つに○)

	はい	いいえ	わからない
①災害時の避難場所を知っていますか	1	2	
②日ごろから地域の防災訓練に参加していますか	1	2	
③災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要ですか	1	2	3
④災害などの緊急時に、高齢者世帯や障がいのある方などの要支援者の避難等の手助けができますか	1	2	3
⑤避難行動要支援者名簿(※)を知っていますか	1	2	

※ 災害時に一人で避難することが困難で、支援が必要な方をあらかじめ市に登録し、本人同意のもと、市の関係部署、警察、消防等と情報を共有する名簿のことです。

(6) 災害に備えて、市民や企業等が協働して取り組みたいものはどれですか。(いくつでも)

1. 地域住民同士の声かけや安否確認	
2. 住民同士で行う防災組織の活動の充実	
3. 地域ぐるみの実践的な防災訓練の充実	
4. 地域独自の防災マニュアルや防災マップの作成	
5. 地域民を対象とした防災講習会・学習会の開催	
6. 小・中学校の防災教育・訓練の充実	
7. 地域内外の団体などとの日ごろからの交流	
8. 商店や会社による場の提供や備蓄品の提供等	
9. その他【具体的に：】	
10. 特にない	

問17 その他・市への要望について

(1) 今後、市が取り組む保健福祉サービスとして、次のうちどれを優先して充実させたいとお考えですか。(3つまで○)

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生きがいづくりを推進すること(ボランティア、文化・スポーツ活動の促進など)</li> <li>2. 高齢者が働く場所を確保すること</li> <li>3. 世代間の交流・相互理解を促進すること</li> <li>4. (運動教室をはじめとした)介護予防事業等を充実すること</li> <li>5. (訪問・通所サービス等の)介護(給付)サービス等を充実すること</li> <li>6. (配食サービス等の)介護保険外の福祉サービスを充実すること</li> <li>7. 高齢者向けの住宅を整備したり、住宅改修を支援すること</li> <li>8. 特別養護老人ホームや老人保健施設など入所できる施設を整備すること</li> <li>9. 認知症など病気がいを持つ高齢者への対策を充実すること</li> <li>10. 家族介護者への支援制度を充実すること</li> <li>11. 健康づくりへの体制の充実</li> <li>12. 介護人材育成の強化</li> <li>13. 道路の段差解消や公共的な建物へのエレベーターの設置など、ひとにやさしいまちづくりを推進すること</li> <li>14. 見守りによる地域支援を強化すること</li> <li>15. その他(具体的に： )</li> <li>16. 特になし</li> </ol> |
|--|

(2) 介護保険サービスで外国人材の活用が検討されていますが、あなたはどのようにお考えでしょうか。(1つに○)

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 積極的に活用してほしい</li> <li>2. どちらかといえば活用してほしい</li> <li>3. どちらかといえば活用してほしくない</li> <li>4. 活用してほしくない</li> </ol> |
|--|

(3) 自立支援・介護予防・重度化防止の取り組みの推進がうたわれていますが、あなたはどのようにお考えですか。(1つに○)

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 推進した方がよいと思う</li> <li>2. どちらかといえば推進した方がよいと思う</li> <li>3. どちらかといえば推進は不要だと思う</li> <li>4. 推進は不要だと思う</li> <li>5. よくわからない</li> </ol> |
|--|

(4) 小金井市では、「誰もが安心して暮らせる思いやりのあるまち」の実現をめざしています。あなたは、小金井市は「誰もが安心して暮らせる思いやりのあるまち」だと思いますか。(1つに○)

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. そう思う</li> <li>2. どちらかといえばそう思う</li> <li>3. どちらかといえばそう思わない</li> <li>4. そう思わない</li> </ol> |
|--|

(5) (4)で「1. そう思う」、「2. どちらかといえばそう思う」と回答された方はその理由を、「3. どちらかといえばそう思わない」、「4. そう思わない」と回答された方はどの項目が改善したら、「そう思う」ようになりますか。(3つまで○)

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域をつながり</li> <li>2. 介護サービス(訪問系)の充実</li> <li>3. 介護サービス(通所系)の充実</li> <li>4. 介護サービス(短期入所系)の充実</li> <li>5. 介護サービス(施設系)の充実</li> <li>6. 医療機関(病院)の充実</li> <li>7. 医療機関(診療所)の充実</li> <li>8. 医療機関(訪問診療・往診)の充実</li> <li>9. ボランティア活動の充実</li> <li>10. 行政サービスの充実</li> <li>11. 住まいの充実</li> <li>12. 交通機関の充実</li> <li>13. 商業施設の充実</li> <li>14. 治安</li> <li>15. その他</li> <li>(具体的に： )</li> </ol> |
|--|

(6) あなたは、今後も小金井市に住み続けたいと思えますか。(1つに○)

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. そう思う</li> <li>2. どちらかといえばそう思う</li> <li>3. どちらかといえばそう思わない</li> <li>4. そう思わない</li> </ol> |
|--|

(7) 高齢者保健福祉施策や介護保険制度について、知りたい情報や制度はどのようなものですか。(いくつでも○)

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護保険制度について</li> <li>2. 介護保険料について</li> <li>3. 利用できる介護サービスについて</li> <li>4. 地域支援事業について</li> <li>5. 介護と関係する窓口について</li> <li>6. その他(具体的に： )</li> </ol> |
|--|

(8) 高齢者支援施策について、小金井市へのご意見・ご要望や知りたい情報がありましたら、ご自由にお書きください。

——ご協力ありがとうございました——

2 在宅介護実態調査

「小金井市介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画」策定のための  
アンケート調査 ご協力をお願いします

市民の皆様には、日頃より高齢者福祉行政にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

小金井市では、高齢者の方が健康で住み慣れた地域で安心して住み続けることができる仕組みづくりをめざす指針となる「小金井市介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画」（以下「事業計画」という。）の策定を行うためのアンケート調査を実施することとしました。

このアンケート調査は、要支援・要介護認定を受けている方で、更新申請・区分変更に伴う認定調査対象者の方の中から無作為に選ばせていただき、ご意見やご要望をお伺いするものです。また、あて名のご本人を主に介護されている方のご意見やご要望についても伺いし、事業計画策定の参考にさせていただきます。

これからの小金井市の高齢者保健福祉施策や、介護保険サービスを検討するうえで重要な調査ですので、ご多忙の折、大変恐縮ではございますが、趣旨をご理解のうえ、調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、このアンケート調査に際しましては、プライバシーの保護に万全を期しております。

本アンケート調査の結果は、市のホームページにて令和2年5月以降に掲載予定です。

令和元年11月

ご記入にあたってのお願い

○この調査票には、**お名前・ご住所をご記入しないでください。**

○**封筒のあて名ご本人**について、ご記入をお願いします。調査票の設問中の「あなた」とは、封筒のあて名の方をさします。回答はできる限り、あて名ご本人が記入してください。

なお、あて名ご本人おひとりでの回答がむずかしい場合は、ご家族や周りの方がお手伝いいただくか、あて名ご本人の意見を聞いたうえで代わりに記入してください。

○お答えは、あてはまる回答の**番号に○**をつけてください。○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。

○「その他」に○をつけられた方は、( ) 内に具体的にその内容をご記入ください。

○本調査の結果は、統計的に処理いたしますので、お答えいただいた方にご迷惑をおかけするようないことは一切ございません。思いのままをお答えいただけますようお願い申し上げます。

○ご記入いただいた調査票は、**令和元年12月25日(水)**までに、同封の封筒に入れて（切手を貼らずに）投函してください。ご協力の程よろしくようお願い申し上げます。

【調査に関するお問い合わせ先】

小金井市 福祉保健部 介護福祉課

電話：042-387-9822（直通） FAX：042-384-2524



個人情報取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりです。  
なお、本調査票のご返送をもちまして、下記同意とさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、効果的な高齢者保健福祉・介護保険政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、計画策定の目的以外には利用いたしません。また、当該情報については、小金井市において適切に管理いたします。
- 計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、表紙の右下の番号を基に、あなたのサービス利用の情報等とあわせ、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。  
(名前や住所など個人が識別される情報の登録は一切いたしません)

はじめに、調査の回答者についておたずねします

◆あなたは現在どちらにいらっしゃいますか。(1つに○)

- 1. (2, 3以外の) 自宅
- 2. サービス付き高齢者向け住宅  
(特定施設入居者生活介護ではない)
- 3. 住宅型有料老人ホーム
- 4. その他  
[具体的に： ]
- 5. 病院等に入院している
- 6. 市外に転出

「5. 病院等に入院している」と「6. 市外に転出」に回答された方は、ここまでの記入で結構です。調査票を返信用封筒に入れ、ご返送ください。ご協力ありがとうございました。

◆この調査票はどなたがご記入されますか。(1つに○)

- 1. あて名ご本人
- 2. 主な介護者となっている家族・親族
- 3. 主な介護者以外の家族・親族
- 4. あて名ご本人のケアマネジャー
- 5. その他 [具体的に： ]

F1 あなたの性別はどちらですか。(1つに○)

- 1. 男性
- 2. 女性

F2 あなたの年齢は次のどれですか。(1つに○)

- ※ 令和元年12月1日現在の年齢でお答えください。
- 1. 40代
  - 2. 50代
  - 3. 60代
  - 4. 70代
  - 5. 80歳以上
  - 6. わからない

本人の介護の概況についておたずねします

問1 あなたの世帯類型は次のうちどれですか。(1つに○)

- 1. 単身世帯
- 2. 夫婦のみ世帯
- 3. その他

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。同居していない子どもや親族等からの介護も入れてお答えください。(1つに○)

- 1. な い
  - 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない
  - 3. 週に1～2日ある
  - 4. 週に3～4日ある
  - 5. ほぼ毎日ある
- 問3へ

問3 主な介護者の方はどなたですか。(1つに○)

- 1. 配偶者
- 2. 子
- 3. 子の配偶者
- 4. 孫
- 5. 兄弟・姉妹
- 6. その他 [具体的に： ]

問4 主な介護者の方の性別はどちらですか。(1つに○)

- 1. 男性
- 2. 女性

問5 主な介護者の方の年齢は次のどれですか。(1つに○)

- ※ 令和元年12月1日現在の年齢でお答えください。
- 1. 20歳未満
  - 2. 20代
  - 3. 30代
  - 4. 40代
  - 5. 50代
  - 6. 60代
  - 7. 70代
  - 8. 80歳以上
  - 9. わからない

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等は次のどれですか。(いくつでも○)

- |                |                         |
|----------------|-------------------------|
| 1. 日中の排泄       | 9. 服薬                   |
| 2. 夜間の排泄       | 10. 認知症への対応             |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等) |
| 4. 入浴・洗身       | 12. 食事の準備(調理等)          |
| 5. 身だしなみ       | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)  |
| 6. 衣服の着脱       | 14. 金銭管理や生活面に必要な手続き     |
| 7. 屋内の移乗・移動    | 15. その他(具体的に: )         |
| 8. 外出の付き添い、送迎等 | 16. わからない               |

問7 ご家族やご親族の中で、あてご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。現在働いているかどうかや現在の勤務形態は問いません。(いくつでも○)

- |                               |
|-------------------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)         |
| 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く) |
| 3. 主な介護者が転職した                 |
| 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した         |
| 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない      |
| 6. わからない                      |
- ※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

問8 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスはどれですか。(いくつでも○)

- |                   |   |
|-------------------|---|
| 1. 配食             | 7. 移送サービス(介護・福祉タクシ一等)                         |
| 2. 調理             | 8. 見守り、声かけ(ひと声訪問(牛乳の配達)、緊急通報システム、徘徊探察器の貸与を含む) |
| 3. 掃除・洗濯          | 9. サロンなどの定期的な通いの場                             |
| 4. 買い物(宅配は含まない)   | 10. その他(具体的に: )                               |
| 5. ゴミ出し           | 11. 利用していない                                   |
| 6. 外出同行(通院、買い物など) |   |
- ※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)はどれですか。(いくつでも○)

- |                   |   |
|-------------------|---|
| 1. 配食             | 7. 移送サービス(介護・福祉タクシ一等)                         |
| 2. 調理             | 8. 見守り、声かけ(ひと声訪問(牛乳の配達)、緊急通報システム、徘徊探察器の貸与を含む) |
| 3. 掃除・洗濯          | 9. サロンなどの定期的な通いの場                             |
| 4. 買い物(宅配は含まない)   | 10. その他(具体的に: )                               |
| 5. ゴミ出し           | 11. 特になし                                      |
| 6. 外出同行(通院、買い物など) |   |
- ※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問10 現時点での、施設等(※)への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(1つに○)

- |                      |
|----------------------|
| 1. 入所・入居を検討していない     |
| 2. 入所・入居を検討している      |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている |
- ※ 施設等とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問11 あてご本人が現在抱えている傷病は次のどれですか。(いくつでも○)

- |                           |                      |
|---------------------------|----------------------|
| 1. 脳血管疾患(脳卒中)             | 10. パーキンソン病          |
| 2. 心疾患(心臓病)               | 11. 難病(ハーパーキンソン病を除く) |
| 3. 悪性新生物(がん)              | 12. 糖尿病              |
| 4. 呼吸器疾患                  | 13. 眼科・耳鼻科疾患         |
| 5. 腎疾患(透析)                | (視覚・聴覚障害を伴うもの)       |
| 6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、骨柱管狭窄症等) | 14. その他              |
| 7. 膠原病(関節リウマチ含む)          | [具体的に: ]             |
| 8. 変形性関節疾患                | 15. なし               |
| 9. 認知症                    | 16. わからない            |

問12 あてご本人は、現在、訪問診療を利用していますか。(1つに○)

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|
- ※ 訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

問13 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか。(1つに○)

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 1. 利用している → 問15へ | 2. 利用していない → 問14へ |
|------------------|-------------------|

問14 問13で「2. 利用していない」と答えた方におうかがいします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(いくつでも○)

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない</li> <li>2. 本人にサービス利用の希望がない</li> <li>3. 家族が介護をするため必要ない</li> <li>4. 以前、利用していたサービスに不満があった</li> <li>5. 利用料を支払うのが難しい</li> <li>6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない</li> <li>7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため</li> <li>8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない</li> <li>9. その他〔具体的に： 〕</li> </ol>
---

**主な介護者の状況についておたずねします**

※ 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入(調査票の該当する番号に○)をお願い致します。

問15 主な介護者の方の現在の勤務形態についてご回答ください。(1つに○)

1. フルタイムで働いている	→	問16へ
2. パートタイム(※)で働いている	→	問19へ
3. 働いていない	→	
4. 主な介護者に確認しないとわからない	→	

※ パートタイムとは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問16 問15で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と答えた方におたずねします。

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(いくつでも○)

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 特に行っていない</li> <li>2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、選出・早帰・中抜け等)」しながら働いている</li> <li>3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら働いている</li> <li>4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら働いている</li> <li>5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら働いている</li> <li>6. 主な介護者に確認しないとわからない</li> </ol>
---

問17 問15で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と答えた方におたずねします。

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(3つまで○)

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない</li> <li>2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実</li> <li>3. 制度を利用しやすい職場づくり</li> <li>4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)</li> <li>5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)</li> <li>6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供</li> <li>7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置</li> <li>8. 介護をしている従業員への経済的な支援</li> <li>9. その他〔具体的に： 〕</li> <li>10. 特にない</li> <li>11. 主な介護者に確認しないとわからない</li> </ol>
---

問18 問15で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と答えた方におたずねします。

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(1つに○)

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 問題なく、続けていける</li> <li>2. 問題はあるが、何とか続けていける</li> <li>3. 続けていくのは、やや難しい</li> <li>4. 続けていくのは、かなり難しい</li> <li>5. 主な介護者に確認しないとわからない</li> </ol>
--

問19 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等についてご回答ください。現状で行っているか否かは問いません。(3つまで○)

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日中の排泄</li> <li>2. 夜間の排泄</li> <li>3. 食事の介助(食べる時)</li> <li>4. 入浴・洗身</li> <li>5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)</li> <li>6. 衣服の着脱</li> <li>7. 屋内の移乗・移動</li> <li>8. 外出の付き添い、送迎等</li> <li>9. 服薬</li> <li>10. 認知症状への対応</li> <li>11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)</li> <li>12. 食事の準備(調理等)</li> <li>13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)</li> <li>14. 金融管理や生活面に必要な諸手続き</li> <li>15. その他〔具体的に： 〕</li> <li>16. 不安に感じていることは特にない</li> <li>17. 主な介護者に確認しないとわからない</li> </ol>
---

——ご協力ありがとうございました——



3 介護保険サービス利用意向調査

「小金井市介護保険・高齢者福祉福祉総合事業計画」策定のための  
アンケート調査 ご協力をお願いします

市民の皆様には、日頃より高齢者福祉行政にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

小金井市では、高齢者の方が健康で住み慣れた地域で安心して住み続けることができる仕組みづくりをめざす指針となる「小金井市介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画」(以下「事業計画」という。)の策定を行うためのアンケート調査を実施することとしました。

このアンケート調査は、介護保険の要介護認定を受けられた方の中から無作為に選ばせていただき、ご意見やご要望をお伺いし、事業計画策定の参考にさせていただきます。

これからの小金井市の高齢者福祉施策や、介護保険サービスを検討するうえで重要な調査ですので、ご多忙の折、大変恐縮ではございますが、趣意をご理解のうえ、調査にご協力いただけますようお願い申し上げます。

なお、このアンケート調査に際しましては、プライバシーの保護に万全を期しております。

本アンケート調査の結果は、市のホームページにて令和2年5月以降に掲載予定です。

令和元年11月

ご記入にあたってのお願い

○この調査票には、**お名前・ご住所をご記入しないでください。**

○**封筒のあて名ご本人**について、ご記入をお願いいたします。調査票の設問中の「あなた」とは、**封筒のあて名の方**をさします。回答はできる限り、あて名ご本人が記入してください。

なお、あて名ご本人おひとりでの回答がむずかしい場合は、ご家族や周りの方がお手伝いいただくか、あて名ご本人の意見を聞いたうえで代わりに記入してください。

○お答えは、あてはまる回答の**番号に○**をつけてください。○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。

○「その他」に○をつけられた方は、( )内に具体的にその内容をご記入ください。

○本調査の結果は、統計的に処理いたしますので、お答えいただいた方にご迷惑をおかけするようなことは一切ございません。思いのままをお答えいただけますようお願い申し上げます。

○ご記入いただいた調査票は、**令和元年12月25日(水)**までに、同封の封筒に入れ、**て(印手を貼らずに)**投函してください。ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

【調査に関するお問い合わせ先】

小金井市 福祉保健部 介護福祉課

電話：042-387-9822 (直通) FAX：042-384-2524



はじめに、調査の回答者についておたずねします

◆ **あなたは現在どちらにいらっしゃいますか。(1つに○)**

- 1. 自宅
- 2. 市外に転出
- 3. 病院等に入院している
- 4. その他(具体的に: )

「2. 市外に転出」に回答された方は、ここまでの記入で結構です。調査票を返信用封筒に入れ、ご返送ください。ご協力ありがとうございました。

◆ **この調査票はどなたがご記入されますか。(1つに○)**

- 1. あなた
- 2. 主な介護者となっている家族・親族
- 3. 主な介護者以外の家族・親族
- 4. ケアマネジャー
- 5. その他(具体的に: )

あなたのことをおたずねします

F1 **あなたの性別はどちらですか。(1つに○)**

- 1. 男性
- 2. 女性

F2 **あなたの年齢は次のどれですか。(1つに○)**

※ 令和元年12月1日現在の年齢でお答えください。

- 1. 65～69歳
- 2. 70～74歳
- 3. 75～79歳
- 4. 80～84歳
- 5. 85～89歳
- 6. 90～94歳
- 7. 95歳以上

F3 **あなたの家族構成をお教えください。(1つに○)**

- 1. 一人暮らし
- 2. 夫婦二人暮らし(配偶者64歳以下)
- 3. 夫婦二人暮らし(配偶者65歳以上)
- 4. 息子・娘との二世帯
- 5. その他(具体的に: )

問2-1 問2で④かかりつけ医、②かかりつけ歯科医が「1.いる」と答えた方におたずねします。その医療機関をかかりつけに選んだ理由は何か。(いくつでも)

1. 自宅や職場などに近いから
2. 交通機関の便がよいから
3. 以前にきたことがあるから
4. 待ち時間が短いから
5. 訪問診療をしてくれるから
6. 信頼できる医師がいるから
7. 医師や看護師が親切だから
8. 他の医療機関で紹介されたから
9. 家族・友人・知人からすすめられたから
10. 様々な症状に対応できる医師を提携しているから
11. 連携している医療機関・福祉施設が充実しているから
12. その他【具体的に：\_\_\_\_\_】

問3 あなたは、現在のどの程度幸せですか。(当てはまる点数1つに○)  
 (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

とても不幸	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	とても幸せ
-------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-------

介護保険サービスの利用についておたずねします

問4 あなたの要介護度は次のうちどれですか。(1つに○)

※ 現在の要介護度でお答えください。更新申請などの理由で、結果が出ていない方は、わかっている介護度でお答えください。

1. 要介護 1	3. 要介護 3	5. 要介護 5
2. 要介護 2	4. 要介護 4	

問5 最初の要介護の認定を受けてから、どの程度の期間が経過していますか。(1つに○)

1. 6か月未満	3. 1年～2年未満	5. 3年～5年未満
2. 6か月～1年未満	4. 2年～3年未満	6. 5年以上

問6 あなたは、介護保険サービスを利用されていますか。(1つに○)

1. 利用している	問7へ	2. 利用していない	問6-1へ
-----------	-----	------------	-------

問6-1 問6で「2. 利用していない」とお答えの方におたずねします。  
 介護保険サービスが必要とする時は、申請時に遡ってサービス利用することができることを知っていますか。(1つに○)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

介護保険サービス利用意向調査-3-

F4 あなたはどちらにお住まいですか。  
 また、丁目を〔 〕にご記入ください。(1つに○)

1. 東町	〔 〕丁目	6. 前原町	〔 〕丁目
2. 梶野町	〔 〕丁目	7. 本町	〔 〕丁目
3. 関野町	〔 〕丁目	8. 桜町	〔 〕丁目
4. 緑町	〔 〕丁目	9. 箕井北町	〔 〕丁目
5. 中町	〔 〕丁目	10. 箕井南町	〔 〕丁目

F5 あなたのお住まいは次のうちどれですか。(1つに○)

1. 持家(一戸建て)	4. 民間賃貸住宅(一戸建て)
2. 持家(集合住宅)	5. 民間賃貸住宅(集合住宅)
3. 公的賃貸住宅(市営・都営住宅など)	6. その他(具体的に：_____)

医療の状況等についておたずねします

問1 あなたは、現在治療中、または、後遺症のある病気はありますか。  
 (いくつでも○)

1. ない	11. 外傷(転倒・骨折等)
2. 高血圧	12. がん(悪性新生物)
3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	13. 血液・免疫の病気
4. 心臓病	14. うつ病
5. 糖尿病	15. 認知症(アルツハイマー病等)
6. 高脂血症(脂質異常)	16. パーキンソン病
7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	17. 目の病気
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	18. 耳の病気
9. 腎臓・前立腺の病気	19. その他
10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	〔具体的に：_____〕

問2 あなたには、「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」はありますか。また、「かかりつけ薬局」はありますか。(①から③についてそれぞれ1つに○)

	いる	いない
① かかりつけ医	1	2
② かかりつけ歯科医	1	2
③ かかりつけ薬局	1	2

介護保険サービス利用意向調査-2-

問6-2 問6で「2. 利用していない」とお答えの方におうかがいします。介護保険サービスを利用しない理由は何ですか。(いくつでも)

1. 家族が介護してくれるから
2. 家族以外に介護してもらうことが不安だから
3. 利用したいサービスがないから  
〔希望するサービスを具体的に：〕
4. 利用料がかかるから
5. よいケアマネジャーが見つからないから
6. 利用したいが家族に理解してもらえないから
7. 一時サービス(住宅改修など)だけでよかったから
8. 病院に入院しているから
9. 体調がよくなったから
10. サービス利用の申請方法がわからないから
11. その他〔具体的に：〕

問6-3 問6で「2. 利用していない」とお答えの方におうかがいします。あなたは、現在どのような方法で介護を受けていますか。(1つに○)

1. 家族がすべて介護している
2. 在宅で民間の有償サービスを利用している
3. 在宅で市の保健福祉サービスを利用している
4. 在宅でボランティア等によるサービスを利用している
5. 病院に入院している
6. 受けていない
7. その他〔具体的に：〕

問6-4 問6で「2. 利用していない」とお答えの方におうかがいします。あなたは介護保険サービスを利用したいと思っていますか。(1つに○)

1. 利用したいー問7へ
2. 利用したくないー問6-5へ
3. 利用する必要があるー問6-5へ
4. わからないー問7へ

問6-5 問6-4で「2. 利用したくない」「3. 利用する必要がある」とお答えの方に「おたずねします。介護保険サービスを利用する予定がないのに要介護認定を受けている理由は何ですか。(いくつでも)」

1. いざという時のため
2. 税に関する控除を受けるため
3. 施設入所を希望しているため
4. 市の高齢者福祉サービス(※)の利用要件となっているため
5. 医者や家族にすすめられたため
6. その他〔具体的に：〕

※ 日常生活用具の給付(一本杖、シルバーカー)、自立支援住宅改修、おむつの給付、配食サービス

介護保険サービス利用意向調査④

介護保険についておたずねします

問7 介護保険サービスでは以下のようなサービスを行っています。これらのサービスの認知度、今後の利用意向についておたずねします。(①から⑬について「認知度」「利用意向」それぞれ1つに○)

サービス名	認知度		利用意向	
	知っている	知らない	利用したい	利用しない
① 訪問介護、総合事業訪問型サービス(ホームヘルプ)	1	2	1	2
② (介護予防)訪問看護	1	2	1	2
③ (介護予防)訪問リハビリテーション	1	2	1	2
④ (介護予防)訪問入浴介護	1	2	1	2
⑤ (介護予防)居宅療養管理指導	1	2	1	2
⑥ 通所介護、総合事業通所型サービス(デイサービス)	1	2	1	2
⑦ 通所リハビリテーション(デイケア)	1	2	1	2
⑧ (介護予防)短期入所生活介護(ショートステイ)	1	2	1	2
⑨ (介護予防)短期入所療養介護(医療型ショートステイ)	1	2	1	2
⑩ (介護予防)特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム等)	1	2	1	2
⑪ (介護予防)福祉用具の貸付	1	2	1	2
⑫ (介護予防)特定福祉用具販売	1	2	1	2
⑬ (介護予防)住宅改修費の支給	1	2	1	2

在宅サービス

介護保険サービス利用意向調査⑤

サービス名	認知度		利用意向	
	知っている	知らない	利用したい	利用しない
① 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	1	2	1	2
② 介護老人保健施設(特別養護老人ホーム)	1	2	1	2
③ 介護老人保健施設(老人保健施設)	1	2	1	2
④ 介護療養型医療施設	1	2	1	2
⑤ 介護医療院	1	2	1	2

問8 あなたは、次のサービスについて入所申請はしていますか。(①から④についてそれぞれ1つに○)

サービス名	入所申請の有無	
	申請して入所待ち	申請していない
① 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	1	2
② 介護老人保健施設(老人保健施設)	1	2
③ 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	1	2
④ 特定施設入居者生活介護(有料老人ホームなど)	1	2

問9 次のような地域密着型サービス(※)を知っていますか。また、利用したいと思えますか。(①から④について「認知度」「利用意向」それぞれ1つに○)

※ 地域密着型サービスは、出来る限り住み慣れた地域での生活が継続できるように創設されたサービス体系です。

サービス名	認知度		利用意向	
	知っている	知らない	利用したい	利用しない
① 地域密着型通所介護	1	2	1	2
② 夜間対応型訪問介護	1	2	1	2
③ 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	2	1	2
④ 認知症対応型通所介護	1	2	1	2
⑤ 小規模多機能型居宅介護	1	2	1	2

介護保険サービス利用意向調査 6-

サービス名	認知度		利用意向	
	知っている	知らない	利用したい	利用しない
⑥ 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	1	2	1	2
⑦ 小規模多機能型居宅介護	1	2	1	2

問10 あなたの介護保険料の保険段階は次の1~16のうちどれですか。(1つに○)

保険料段階	該当する方	年額(月額)
1. 第1段階	生活保護を受けている方、世帯全員が市民税非課税で、老齢福祉年金を受けている方、世帯全員が市民税非課税で、「課税年金収入額+合計所得金額」が80万円以下の方	24,300円(2,030円)
2. 第2段階	世帯全員が市民税非課税で、「課税年金収入額+合計所得金額」が80万円超120万円以下の方	34,000円(2,840円)
3. 第3段階	世帯全員が市民税非課税で、「課税年金収入額+合計所得金額」が120万円超の方	46,900円(3,910円)
4. 第4段階	本人が市民税非課税で、「課税年金収入額+合計所得金額」が80万円以下の方、及び世帯に市民税課税者がいる方	56,700円(4,725円)
5. 第5段階	本人が市民税非課税で、世帯に市民税課税者がいる方、及び第4段階以外の方	64,800円(5,400円)
6. 第6段階	本人が市民税課税で合計所得金額が120万円未満の方	76,100円(6,345円)
7. 第7段階	本人が市民税課税で合計所得金額が120万円以上200万円未満の方	82,600円(6,885円)
8. 第8段階	本人が市民税課税で合計所得金額が200万円以上300万円未満の方	93,900円(7,830円)
9. 第9段階	本人が市民税課税で合計所得金額が300万円以上350万円未満の方	97,200円(8,100円)
10. 第10段階	本人が市民税課税で合計所得金額が350万円以上500万円未満の方	103,600円(8,640円)
11. 第11段階	本人が市民税課税で合計所得金額が500万円以上750万円未満の方	113,400円(9,450円)
12. 第12段階	本人が市民税課税で合計所得金額が750万円以上1,000万円未満の方	129,600円(10,800円)
13. 第13段階	本人が市民税課税で合計所得金額が1,000万円以上1,500万円未満の方	139,300円(11,610円)
14. 第14段階	本人が市民税課税で合計所得金額が1,500万円以上2,000万円未満の方	149,000円(12,420円)
15. 第15段階	本人が市民税課税で合計所得金額が2,000万円以上の方	158,700円(13,230円)
16. わからない		

※ お手元にて介護保険料納入通知書があればご確認ください。ない場合等、ご自身の保険料段階が不明な場合は「16. わからない」に○をしてください。

介護保険サービス利用意向調査 7-

問11 今後の介護保険サービスと介護保険料について、あなたの考えに最も近いものは次のうちどれですか。(1つに○)

1. 介護保険料が多少高くなっても介護サービスが充実している方がよい
2. 介護保険料も介護サービスも今くらいが妥当である
3. 介護サービスを抑えても介護保険料が低い方がよい
4. 全国平均と同じ程度でよい
5. どっちともいえない

※ 全国平均：月額5,869円 小金井市：月額5,400円

**ケアプランやサービスのあり方についておたずねします**

問12 あなたは、現在のケアプランに満足していますか。(1つに○)

1. 満足している → 問13へ
2. やや満足している → 問13へ
3. 不満である → 問12-1へ
4. やや不満である → 問12-1へ
5. 不満である → 問12-1へ
6. 介護サービスを利用していない → 問15へ
7. 分からない → 問13へ

問12-1 問12で「4. やや不満である」または「5. 不満である」と答えた方におたずねします。

ご不満の内容はどのようなものですか。(いくつでも○)

1. サービスの種類が希望より少ない
2. サービスの回数が希望より少ない
3. サービスの時間帯が希望通りでない
4. サービスに制限が多い
5. その他 [具体的に： ]

問13 あなたは、ケアマネジャーに満足していますか。(1つに○)

1. 満足している
2. やや満足している
3. 不満である
4. やや不満である
5. 不満である

問14 介護サービス事業者を評価する点はどんなことですか。(いくつでも○)

1. サービスの質がよい
2. サービスが受けやすい
3. 職員の能力が高い
4. 人権・プライバシーを尊重する
5. 個人情報を守る
6. 約束を守る
7. 利用者や家族の意向をよく聞く
8. その他 [具体的に： ]

**高齢者の権利についておたずねします**

問15 高齢者の権利や生活を守るための相談窓口として以下のようなものがあります。あなたが、あなたの知っているものはありますか。(いくつでも○)

1. 行政の相談窓口 (市役所など)
2. 地域包括支援センター
3. 権利擁護センター
4. 社会福祉協議会
5. 消費生活相談室
6. 知っているものはない

介護保険サービス利用意向調査 8

**地域生活についておたずねします**

問16 あなたは、地域活動やボランティア活動、お住まいの地域の行事などの程度参加していますか。(1つに○)

1. よく参加している → 問16-1へ
2. 時々参加している → 問16-1へ
3. あまり参加していない → 問17へ
4. 全く参加していない → 問17へ

問16-1 問16で「1. よく参加している」または「2. 時々参加している」と答えた方におたずねします。

どのような活動や行事に参加していますか。(いくつでも○)

1. 町会・自治会などの活動
2. 子ども会やPTAの活動
3. 老人クラブの活動
4. 婦人会の活動
5. 国際交流・協力に関する活動
6. 防災訓練や交通安全運動
7. 生涯学習に関する活動
8. 娯楽・趣味に関する活動
9. スポーツに関する活動
10. お祭りや運動会などレクリエーション活動
11. 住民自治に関する活動
12. その他 [具体的に： ]

問17 あなたは、お住まいの地域で活動する場合、どのような活動に参加したいと思えますか。(いくつでも○)

1. 自分の楽しみが得られる活動
2. 興味ある知識や教養が得られる活動
3. 自分の知識や経験をいかせる活動
4. 生きがいや健康づくりができる活動
5. 仲間づくりや親しい友人ができる活動
6. 隣近所の人と協力しあえる活動
7. 家庭生活を豊かにする家族ぐるみの活動
8. 地域や社会に役立つ活動 (ボランティア活動等)
9. 行政への協力や地域自治にかかわる活動
10. その他
11. 具体的に： ]

問18 あなたは、お住まいの地域で活動する場合、どのような環境や条件が必要だと思いますか。(3つまで○)

1. 身近なところや便利なところに活動の場があること
2. 夜間や休日または平日昼間など、自分にあった時間帯に参加できること
3. 友人や家族と一緒に参加できること
4. 身近な団体や活動内容に関する情報が手に入る
5. 活動資金の補助・援助があること
6. 活動に参加することでメリット (報酬など) が得られること
7. その他 [具体的に： ]
8. 条件によらず参加したくない

問19 あなたは、お住まいの地域の中で、自宅以外の居場所 (定期的に顔を出した、仲間たちで集まる場所) はありますか。(1つに○)

1. ある
2. ない
3. 居場所は必要としていない

介護保険サービス利用意向調査 9

問20 地域の中でどのような居場所があれば利用したいと思いますか。(いくつでも)

1. 町内会・自治会単位で集まれる 2. 住んでいる地域に関係なく、市内の好きなところに顔を出せる 3. 決まった曜日や時間に集まれる 4. 日中の好きな時間に気兼ねなく集まれる 5. 健康づくりやレクリエーションなどのプログラムが用意してある 6. 本、パソコンや書籍用具等の娯楽用具が置いてある 7. 世代間の交流ができる 8. その他(具体的に： 9. 特に必要ない
--

問21 元高齢者の方等がサービス提供の担い手となる生活支援サービスがあった場合、利用したいと思いますか。(1つに○)

1. ぜひ利用したい →問21-1へ 2. サービス内容によっては利用したい →問21-1へ 3. 利用したくない →問21-2へ
---

問21-1 問21で「1. ぜひ利用したい」または「2. サービス内容によっては利用したい」と答えられた方に質問します。

どのようなサービスであれば、利用したいですか。(1つに○)

1. 移動支援 2. 買い物支援 3. 配食・調理支援 4. 清掃等 5. 相談・話し相手 6. その他(具体的に： )
--

問21-2 問21で「3. 利用したくない」と答えられた方に質問します。

利用したくないと回答した場合、利用したくない理由はなんですか。(1つに○)

1. 事故等の時の対応が心配 2. プライバシーが守られるか心配 3. 他人を家になげたくない 4. できることは自分でしたい 5. 費用が掛かっても専門職に支援してもらいたい 6. その他(具体的に： )
---

問22 もし、あなたがひとり暮らしになった場合(現在ひとり暮らしの方は現時点での意向として)、どのような「見守り支援」を利用したいと思いますか。(いくつでも)

1. 民生委員やボランティア等が定期的に自宅を訪れ、声かけをしてくれる 2. 定期的に電話をし、安否確認をしてくれる 3. 定期的に携帯電話がパソコンにメールが送信され、返信をする 4. 緊急通報システム(ペンダント型発信器等)の貸出や、日常的に使う家電等に緊急通報装置を設置してくれる 5. 定期的に牛乳配達をすることで、配達業者が安否確認をしてくれる 6. 定期的に配食サービスを提供することで、配達業者が安否確認をしてくれる 7. 定期的に理容師の給付を受けるために、市役所に出向くことで、市職員が安否確認をする 8. その他(具体的に： )
--

-介護保険サービス利用意向調査 10-

問23 ひとり暮らしの高齢者を対象とする「見守り支援」について、利用と負担の関係はどうあるべきだと思いますか。(1つに○)

1. 大事な福祉サービスであり、自治体が全額負担すべき 2. 利用者の任意による利用なので、一定の自己負担は払うべき 3. 利用者自身の安心のためなので、全額自己負担であるべき 4. その他(具体的に： 5. わからない
--

問24 あなたは、自分や家族のことについて現在不安に感じていることがありますか。(いくつでも)

1. 自分もしくは配偶者の健康 2. 食事づくり、家事全般 3. 急病などの緊急時の対応 4. 寝たきり、または今より状態が悪化した時の介護のこと 5. 認知症になった時の介護や財産管理のこと 6. 医療費や介護費用など経済的なこと 7. その他(具体的に： 8. 特にない
--

問25 あなたは、暮らしの問題や福祉について困りごとがあったとき、どこに(誰に)相談しますか。(いくつでも)

1. 家族や親族 2. 友人・知人、近隣の人 3. 市の相談窓口 4. 地域包括支援センター 5. 民生委員・児童委員 6. ケアマネジャー 7. 介護サービス関係者 8. 社会福祉協議会 9. 病院・診療所の医師・看護師など 10. その他(具体的に： 11. 相談できる人がいない
--

-介護保険サービス利用意向調査 11-

住まいについておたずねします

問26 今後、暮らす場所として希望している住まいはどこですか。(1つに○)

1. 現在の自宅に住みたい
2. 地域密着型サービス(※)を利用しながら生活したい
3. 家族(息子娘夫婦など)の家に住みたい
4. 特別養護老人ホームに住みたい
5. グループホーム(※)に住みたい
6. サービス付き高齢者向け住宅(※)に住みたい
7. 有料老人ホーム(※)に住みたい
8. すぐに入居できる施設等に移りたい

※ 地域密着型サービス：出来る限り住み慣れた地域での生活を継続できるように創設されたサービス体系 (21時間対応の訪問介護・看護や、1事業者で通いと訪問、宿泊を提供できるサービスなど、在宅生活をより支援するサービス体系)

グループホーム：認知高齢者の方を対象に少人数で共同生活をする施設  
 サービス付き高齢者向け住宅：単身高齢者の方が状況把握・生活相談サービスを受けながら居住できる賃貸等の住宅  
 有料老人ホーム：主に要介護者の方が介護、家事、日常生活支援、機能訓練等のサービスを受けながら居住する施設。介護付や住宅型と呼ばれるタイプがある。

問26-1 問26で「4. 特別養護老人ホームに住みたい」～「8. すぐに入居できる施設等に移りたい」と答えた方におたずねします。希望した住まい等についてどのような条件があれば今後選びたいですか。(3つまで○)

1. すぐに入居できること
2. 入居費用・利用料が高くないこと
3. 運営母体が信頼できる組織であること
4. 説明や情報提供がわかりやすいこと
5. 入居後の医療・介護・生活の相談が充実していること
6. 自宅の近くにあること
7. 少人数で暮らしていること
8. 個人のプライバシーが守られていること
9. 訪問した家族や友人と一緒に過ごせる場所があること
10. 趣味や外出など、以前と同じ普通の生活が続けられること
11. 他の入居者や地域住民との交流の機会が多いこと
12. 介護の負担が重くなくとも安心して介護を受けられること
13. その住まいで最期まで暮らすことができること
14. その他(具体的に：)

介護施設サービス利用意向調査 12-

問27 在宅生活を続けるためにどのような条件があればよいと思いますか。(いくつでも○)

1. 介護に適した住宅に改修できること
2. 見守りやゴミ出しなどの生活支援サービスがあること
3. 食事の用意や調理や配食などのサービスがあること
4. 24時間いつでも訪問したり、介護してくれるサービスがあること
5. 自宅に定期的に訪問したり、緊急時にも対応してくれる医師がいること
6. 自宅の近くで長時間介護を受けられ、必要に応じて宿泊することができサービスがあること
7. 介護にかかっている費用負担を軽減できるような仕組みがあること
8. その他(具体的に：)

地域包括支援センターについておたずねします

問28 あなたは、小金井市の地域包括支援センターを知っていますか。(1つに○)

1. 知っている
2. 知らない

※ 地域包括支援センターは、高齢者の生活を総合的に支えていくための拠点です。住み慣れた地域で安心して暮らすように、介護・福祉・健康・医療などさまざまな面から、高齢者やその家族を支えています。高齢者本人や家族、地域住民、ケアマネジャーなどから受けた悩みや相談を、適切な機関と連携して解決に努めています。

- 小金井きた地域包括支援センター (電話 042-388-2440)  
 [担当地域：梶野町、関野町、緑町、本町2～3丁目、桜町1・3丁目]
- 小金井ひがし地域包括支援センター (電話 042-386-6514)  
 [担当地域：東町、中町、本町1丁目]
- 小金井みなみ地域包括支援センター (電話 042-388-8400)  
 [担当地域：前原町、本町6丁目、貫井南町]
- 小金井にし地域包括支援センター (電話 042-386-7373)  
 [担当地域：本町4～5丁目、桜町2丁目、貫井北町]

介護施設サービス利用意向調査 13-

高齢者保健福祉サービス（介護保険外）についておたずねします

問29 市では介護保険以外にも、さまざまな高齢者保健福祉サービスを行っています。今後、介護が必要となったとき、以下のようなサービスを利用したいと思いませんか。（いくつでも〇）

1. 自立支援日常生活用具給付（虚弱な高齢者の方に、入浴補助用具・手すり等の日常生活用具を給付する）
2. 自立支援住宅改修の給付（身体的理由により住宅設備改修が必要と認められる虚弱な方に、浴槽や洗面台の交換、便器の様式化など改修に要する費用を給付する）
3. 寝具乾燥（寝具類等の衛生管理が困難な方の寝具類を月1回、車で回収し、乾燥する）
4. 食の自立支援（配食サービス）（調理が困難な方、食事の自己管理が困難な方等に、夕食を配達する）
5. おむつサービス（在宅でおむつが必要な方を介護している家族の方に紙おむつ、尿取りパット等を配達する）
6. 入浴券給付（ひとり暮らし等の人で自宅に風呂設備のない方に入浴券を配布する）
7. ことぶき理容券の給付（市内の協力店で調髪、洗髪等に利用できる割引券を配布する）
8. 高齢者福祉電話の貸与（ひとり暮らし等の方に、安否確認、孤独感解消のため電話を貸与する）
9. 緊急通報システムの貸与（慢性疾患などにより、常時注意を要するひとり暮らし等の方に貸与する）
10. 徘徊高齢者探知機器の貸与（高齢者が徘徊しなくてもすぐに見つけられるよう、発信器を貸与する）
11. ひと声訪問（牛乳の配達）（牛乳等の配達により、ひとり暮らしの方等の安否確認を行う）
12. 友愛活動員の訪問（友愛活動員がひとり暮らしの方や日中独居の方を訪問、電話による話し相手になる）
13. 特別生活援助（ひとり暮らしの虚弱な方等に、大掃除等のサービスを提供する）
14. 家具転倒防止器具等取付け（65歳以上の世帯の方に、災害から生命及び財産を守るため、家具の転倒防止器具等を取り付ける）
15. 見守りシール（徘徊等の可能性のある高齢者を対象に、個人情報をおさずに家族等へ連絡がとれるIDが記載されたシールを提供する）
16. 利用したいものは特になし

※ サービスの利用に当たっては、介護保険の要介護度や、介護保険の要介護度や、市民税・非課税世帯などの利用条件があるものもあります。また、一部利用者が負担がある場合があります。

-介護保険サービス利用意向調査 14-

災害時のことについておたずねします

問30 あなたは、災害などの発生を考えた時、どのような不安や心配ことがありますか。（いくつでも〇）

1. お住まい（家屋）の耐震性のこと
2. 家具や家電の転倒対策が不十分なこと
3. 食料や日用品の備蓄が不十分なこと
4. 災害時の集合場所や避難場所がはつきりわからないこと
5. 避難所での日常生活の困難さのこと
6. 自分が一人で避難することが困難なこと
7. 一人で避難することが困難な同居の家族（高齢者、障がいのある方、乳幼児等）がいること
8. 自分や家族の健康のこと
9. 家族の所在や安否確認のこと
10. 飼っているペット（犬、猫等）の避難のこと
11. 災害や避難方法等に関する正確な情報の入手方法のこと
12. その他（具体的に：）
13. 特に心配なことはない

問31 災害が起きた時、避難所で配慮してほしいことは何ですか。（いくつでも〇）

1. 高齢者、妊産婦、乳幼児等、体調が変化しやすい人への配慮・支援
2. 視覚・聴覚障がい者、外国人等、情報を得づらいう人への情報提供・状況把握
3. 男女別での避難所設備の設置（トイレ、更衣室、物干し場、授乳室等）
4. 持病のある人や薬を飲んでいない人への治療の継続
5. 問仕切りの設置など、プライバシーに関する配慮
6. 不安やストレスを和らげるための心のケアや相談体制の整備
7. 段差の解消など、避難所でのバリアフリー
8. 保健師による健康相談・管理など、避難所での健康管理
9. 防犯ブザーの配布や警備巡回など、安全の確保
10. その他（具体的に：）
11. 特にない

問32 災害時に一人で避難できますか。（1つに〇）

1. 一人で判断し、避難できる 一問 33へ
2. 一人で判断できるが、自身の移動が困難で避難はできない
3. 一人で判断できるが、同居者等の移動が困難で避難はできない
4. 一人では判断できないし、避難もできない

問 32-1 問 32 で「2. 一人で判断できるが、避難はできない」～「4. 一人で判断できないし、避難もできない」と答えた方におたずねします。災害時に避難する際に、手助けを頼める人はいますか。（1つに〇）

1. いる
2. いない
3. わからない

-介護保険サービス利用意向調査 15-



問33 防災や災害時への取組みについてうかがいます。(①から⑥についてそれぞれ1つに○)

	はい	いいえ	わからない
①災害時の避難場所を知っていますか	1	2	
②日ごろから地域の防災訓練に参加していますか	1	2	
③災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要ですか	1	2	3
④災害などの緊急時に、高齢者世帯や障がいのある方などの要支援者の避難等の手助けが出来ますか	1	2	3
⑤避難行動要支援者名簿(※)を知っていますか	1	2	

※ 災害時に一人で避難することが困難で、支援が必要な方をあらかじめ市に登録し、本人同意のもと、市の関係部署、警察、消防等と情報を共有する名簿のことです。

問34 災害に備えて、市民や企業等が協働して取り組むと良いものはどれですか。(いくつでも○)

1. 地域住民同士の声かけや安否確認
2. 住民同士で行う防災組織の活動の充実
3. 地域ぐるみの実践的な防災訓練の充実
4. 地域独自の防災マニュアルや防災マップの作成
5. 地域住民を対象とした防災講習会・学習会の開催
6. 小・中学校の防災教育・訓練の充実
7. 地域内外の団体などの日ごろからの交流
8. 商店や会社による場の提供や備蓄品の提供等
9. その他〔具体的に： 〕
10. 特にない

その他・市への要望についておたずねします

問35 今後、市が取り組む保健福祉サービスとして、次のうちどれを優先して充実すべきだとお考えですか。(3つまで○)

1. 生きがいづくりを推進すること(ボランテイア、文化・スポーツ活動の促進など)
2. 高齢者が働く場所を確保すること
3. 世代間の交流・相互理解を促進すること
4. (運動教室をはじめとした)介護予防事業等を充実すること
5. (訪問・通所サービス等の)介護(給付)サービス等を充実すること
6. (配食サービス等の)介護保険外の福祉サービスを充実すること
7. 高齢者向けの住宅を整備したり、住宅改修を支援すること
8. 特別養護老人ホームや老人保健施設など入所できる施設を整備すること
9. 認知症など病気や障がいを持つ高齢者への対策を充実すること
10. 家族介護者への支援制度を充実すること
11. 健康づくりへの体制の充実
12. 介護人材育成の強化
13. 道路の段差解消や公共的な建物へのエレベータの設置など、ひとにやさしいまちづくりを推進すること
14. 見守りによる地域支援を強化すること
15. その他〔具体的に： 〕
16. 特にない

問36 「介護保険制度」全体をよりよくするための環境整備として、市が力を入れるべきことは次のうちどれだと思えますか。(3つまで○)

1. サービス事業者の質を高める取組みを行うこと
2. ケアマネジャーやホームヘルパーなどの人材を育成すること
3. 市内に特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護施設を増やすこと
4. 利用料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減する経済的給付を増やすこと
5. 寝たきりにならないよう、介護予防のサービスに力を入れること
6. 地域全体で介護を支援するしくみづくりを行うこと
7. 在宅サービスや地域密着型サービスのような身近な地域でサービスが受けられる拠点を増やすこと
8. 困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やすこと
9. 家族介護の負担を軽減する保健福祉サービスを充実すること
10. 介護保険を効率的に運用するしくみづくりを行うこと
11. 地域包括支援センターの機能を充実すること
12. 介護保険サービスの利用の制限をカバーする保健福祉サービスを充実すること
13. その他〔具体的に： 〕
14. わからない

問37 介護保険サービスで外国人材の活用が検討されていますが、あなたはどのようなお考えでしょうか。(1つに○)

- |                    |                      |
|--------------------|----------------------|
| 1. 積極的に活用してほしい     | 4. どちらかといえば活用してほしくない |
| 2. どちらかといえば活用してほしい | 5. 活用してほしくない         |
| 3. どちらでもない         |                      |

問38 自立支援・介護予防・重度化防止の取り組みの推進がうたわれていますが、あなたはどのように思いますか。(1つに○)

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. 推進した方がよいと思う         | 4. 推進は不要だと思う |
| 2. どちらかといえば推進した方がよいと思う | 5. よくわからぬ    |
| 3. どちらかといえば推進は不要だと思う   |              |

問39 小金井市では、「誰もが安心して暮らせる思いやりのあるまち」の実現をめざしています。あなたは、小金井市は「誰もが安心して暮らせる思いやりのあるまち」と思いますか。(1つに○)

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う         | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そう思わない         |

問40 問39で「1. そう思う」、「2. どちらかといえばそう思う」と回答された方はその理由を、「3. どちらかといえばそう思わない」、「4. そう思わない」と回答された方はどの項目が改善したら、「そう思う」ようになりますか。(3つまで○)

- |                     |                |
|---------------------|----------------|
| 1. 地域のつながり          | 9. ボランティア活動の充実 |
| 2. 介護サービス（訪問系）の充実   | 10. 行政サービスの充実  |
| 3. 介護サービス（通所系）の充実   | 11. 住まいの充実     |
| 4. 介護サービス（短期入所系）の充実 | 12. 交通機関の充実    |
| 5. 介護サービス（施設系）の充実   | 13. 商業施設の充実    |
| 6. 医療機関（病院）の充実      | 14. 治安         |
| 7. 医療機関（診療所）の充実     | 15. その他        |
| 8. 医療機関（訪問診療・往診）の充実 | [具体的に： ]       |

問41 あなたは、今後も小金井市に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1. そう思う         | 3. どちらかといえばそう思わない |
| 2. どちらかといえばそう思う | 4. そう思わない         |

問42 高齢者支援施策について、小金井市へのご意見・ご要望や知りたい情報がありましたら、ご自由にお書きください。

——ご協力ありがとうございました——

4 施設サービス利用者調査

「小金井市介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画」策定のための  
アンケート調査 ご協力のおお願い

市民の皆様には、日頃より高齢者福祉行政にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

小金井市では、高齢者の方が健康で住み慣れた地域で安心して住み続けることができる仕組みづくりをめざす指針となる「小金井市介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画」（以下「事業計画」という。）の策定を行うためのアンケート調査を実施することとしました。

このアンケート調査は、介護保険の施設サービスを受けている方の中から無作為に選ばせていただき、ご意見やご要望をお伺いし、事業計画策定の参考にさせていただきます。

これからの小金井市の高齢者保健福祉施設や、介護保険サービスを検討するうえで重要な調査ですので、ご多忙の折、大変恐縮ではございますが、趣旨をご理解のうえ、調査にご協力いただけますようお願い申し上げます。

なお、このアンケート調査に際しましては、プライバシーの保護に万全を期しております。

本アンケート調査の結果は、市のホームページにて令和2年5月以降に掲載予定です。  
令和元年11月

ご記入にあたってのお願い

○この調査票には、お名前・ご住所をご記入しないでください。

○封筒のあて名ご本人について、ご記入をお願いいたします。調査票の設問中の「あなた」とは、利員のあて名の方をさします。回答はできる限り、あて名ご本人が記入してください。  
なお、あて名ご本人おひとりでの回答がむずかしい場合は、ご家族や周りの方がお手伝いいただくか、あて名ご本人の意見を聞いたうえで代わりに記入してください。

○お答えは、あてはまる回答の番号に○をつけてください。○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。

○「その他」に○をつけられた方は、( ) 内に具体的にその内容をご記入ください。

○本調査の結果は、統計的に処理いたしますので、お答えいただいた方にご迷惑をおかけするようなことは一切ございません。思いのままをお答えいただけますようお願い申し上げます。

○ご記入いただいた調査票は、令和元年12月25日(水)までに、同封の封筒に入れて（切手を貼らずに）投函してください。ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

【調査に関するお問い合わせ先】

小金井市 福祉保健課 介護福祉課

電話：042-387-9822（直通） FAX：042-384-2524



はじめに、調査の回答者についておたずねします

- ◆ 入所されている施設の種類のついて、あてはまる番号に○をつけてください。(1つに○)

1. 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)
2. 介護老人保健施設
3. 介護療養型医療施設
4. 介護医療院

- ◆ あなたやご家族が何らかの事情により回答できない場合は、その理由にあてはまる番号に○をつけて、ご返送ください。(1つに○)

1. 退所 (退)・退院
2. ご本人の意向
3. 家族の意向
4. その他 (具体的に： )

- ◆ この調査票はどなたがご記入されますか。(1つに○)

1. あなた
2. 配偶者 (夫または妻)
3. 娘
4. 息子
5. 娘・息子の配偶者
6. 兄弟・姉妹
7. その他親族
8. その他 (具体的に： )

あなたのことをおたずねします

※ あなたがおひとりでの回答が難しい場合は、ご本人の立場に立ってご家族が記入してください。

- F1 あなたの性別はどちらですか。(1つに○)

1. 男性
2. 女性

- F2 現在のあなたの年齢は次のどれですか。(1つに○)

※ 令和元年12月1日現在の年齢でお答えください。

1. 65～69歳
2. 70～74歳
3. 75～79歳
4. 80～84歳
5. 85～89歳
6. 90～94歳
7. 95歳以上

- F3 施設に入所されてどのくらいですか。(1つに○)

1. 6か月以内
2. 6か月以上1年未満
3. 1年以上2年未満
4. 2年以上3年未満
5. 3年以上5年未満
6. 5年以上

・施設サービス利用者調査1・

F4 入所する前に同居(※)していた方はどなたですか。(いくつでも○)

※ 2世帯住宅は同居としてお答えください。  
 ※ 配偶者の親族を含めてお答えください。

1. ひとり暮らし(ご本人のみ) 4. 父・母  
 2. 配偶者(夫または妻) 5. 兄弟・姉妹  
 3. 息子・娘(息子の妻、娘の夫も含む) 6. その他(具体的に: )

医療の状況についておたずねします

問1 あなたは、現在治療中、または、後遺症のある病気はありますか。(いくつでも○)

1. ない  
 2. 高血圧  
 3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)  
 4. 心臓病  
 5. 糖尿病  
 6. 高脂血症(脂質異常)  
 7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)  
 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気  
 9. 腎臓・前立腺の病気  
 10. 筋骨体の病気(骨粗しょう症、関節症等)  
 11. 外傷(転倒・骨折等)  
 12. がん(悪性新生物)  
 13. 血液・免疫の病気  
 14. うつ病  
 15. 認知症(アルツハイマー病等)  
 16. パーキンソン病  
 17. 目の病気  
 18. 耳の病気  
 19. その他(具体的に: )

問2 現在受けている医療処置等は次のうちどれに当たりますか。(いくつでも○)

1. 経管栄養(鼻腔経管栄養、胃ろう) 7. IVH(中心静脈栄養法)  
 2. ぼうこう留置カテーテル 8. 人工肛門の処置  
 3. 酸素療法 9. じょくそうの処置  
 4. 透析 10. 人工呼吸器  
 5. インスリン注射 11. その他(具体的に: )  
 6. 気管切開の処置 12. 特にない

現在の施設に入所されるまでのごことについておたずねします

問3 現在入所している施設の種類の、希望していたものですか。(1つに○)  
 1. 希望していたものである  
 2. 当初希望していたものではないが、移動は考えていない  
 3. 希望していたものではなく、次の施設が空くのを待っている

問4 あなたが、現在の施設への入所が必要になってから(または希望してから)、現在の施設に入所されるまでの期間はどれくらいでしたか。(1つに○)

1. 6か月未満 5. 3年以上5年未満  
 2. 6か月以上1年未満 6. 5年以上  
 3. 1年以上2年未満 7. その他(具体的に: )  
 4. 2年以上3年未満

問5 現在の施設に入所される直前の住まい・施設はどこでしたか。(1つに○)

1. 病院 6. 認知症高齢者グループホーム  
 2. 自宅 7. 有料老人ホーム  
 3. 子どもの家 8. 特別養護老人ホーム  
 4. 兄弟・姉妹など親族の家 9. サービス付き高齢者向け住宅  
 5. 介護老人保健施設 10. その他(具体的に: )

施設での生活やサービスについておたずねします

問6 現在入所中のあなたの部屋の種類についてお答えください。(1つに○)  
 1. 個室 2. 相部屋

問7 あなたは今後、どのような部屋で生活したいですか。(1つに○)

1. 経済的負担が大きくても個室がよい 3. 経済的負担に関係なく相部屋がよい  
 2. 経済的負担が比較的小さい相部屋がよい 4. どちらでもよい

問8 入所されるときに施設の運営方針や費用などの重要事項について、説明が行われましたか。(1つに○)

1. 十分説明を受けた 3. あまり説明されなかった 5. 覚えていない・わからない  
 2. 少し説明を受けた 4. 説明されなかった

問9 生活するために必要になるサービスなどについて、詳しく説明が行われましたか。(1つに○)

1. 十分説明を受けた 3. あまり説明されなかった 5. 覚えていない・わからない  
 2. 少し説明を受けた 4. 説明されなかった

問10 施設から、ご本人の状況に応じたサービスの提案がありますか。(1つに○)

1. たびたび提案がある 3. 提案はない  
 2. 1、2度あった 4. わからない

問11 施設でのサービスは、ご本人の体の状況の維持や改善に役に立っていると思いますか。(1つに○)

1. 役に立っている	3. 役に立っていない
2. あまり役に立っていない	4. わからない

問12 あなたは、現在どの程度幸せですか。(当てはまる点数1つに○)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

とても不幸	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	とても幸せ
-------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-------

問13 あなたが現在の施設に入所して良かったと思うことは何ですか。(いくつでも○)

1. 十分な介護が受けられるようになった 2. 精神的に楽になった 3. 家族に対する気兼ねが減った 4. 外出の機会が増えた 5. 人と話す機会が増えた 6. 自分で身の回りのことをしようとする意欲が出てきた 7. 自分で身の回りのことができるようになった 8. 体調がよくなった 9. その他(具体的に： 10. 良かったと思うことはない	]
--	---

問14-1 問14で「やや不満」または「不満」と答えたサービスがある方におたずねします。ご不満である理由は何ですか。(いくつでも○)

1. 質がよくない	7. 身体の痛みを伴うことがある
2. 利用できる回数や時間が足りない	8. 施設からの説明が不十分である
3. 技術的に不安を感じる	9. 個人的な希望が受け入れられない (個人を尊重してもらえない)
4. 設備などが古い	10. その他
5. 職員の対応がよくない	6. 契約の内容とサービスが違っている (具体的に： ]

問15 今後、あなたは、どこで生活するのが良いと考えていますか。(1つに○)

1. 引き続きこの施設で過ごしたい	5. 家族の意向に任せている
2. 別の施設で過ごしたい	6. その他
3. 自宅で介護保険サービスを利用して過ごしたい (具体的に： ]	7. わからない
4. 自宅と施設を行き来しながら過ごしたい	

問14 サービスの満足度についておたずねします。利用しているサービスには満足して  
いますか。(①から⑧についてそれぞれ1つに○)

	満足度				
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満
① 食事	1	2	3	4	5
② 入浴	1	2	3	4	5
③ トイレ・排泄	1	2	3	4	5
④ 機能訓練	1	2	3	4	5
⑤ 必要な医療の実施	1	2	3	4	5
⑥ 看護(医師)	1	2	3	4	5
⑦ 健康管理、栄養上の管理	1	2	3	4	5
⑧ 相談・助言	1	2	3	4	5

介護保険についておたずねします

問16 あなたの要介護度は次のうちどれですか。(1つに○)

- 1. 要支援1
- 2. 要支援2
- 3. 要介護1
- 4. 要介護2
- 5. 要介護3
- 6. 要介護4
- 7. 要介護5

※ 現在の要介護度でお答えください。更新申請などの理由で、結果が出ていない方は、わかっている介護度でお答えください。

問17 あなたの介護保険料の保険段階は次の1～16のうちどれですか。(1つに○)

書類	保険料段階	該当する方	年額 (月額)
1.	第1段階	生活保護を受けている方、世帯全員が市民税非課税で、老齢福祉年金を受けている方、世帯全員が市民税非課税で、「課税所得金額」が80万円以下の方	24,300円 (2,030円)
2.	第2段階	世帯全員が市民税非課税で、「課税所得金額」が80万円超120万円以下の方	34,000円 (2,840円)
3.	第3段階	世帯全員が市民税非課税で、「課税所得金額」が120万円超の方	46,900円 (3,910円)
4.	第4段階	本人が市民税非課税で、「課税所得金額」が80万円以下の方、及び世帯に市民税課税者がいる方	56,700円 (4,725円)
5.	第5段階	本人が市民税非課税で、世帯に市民税課税者がいる方、及び第4段階以外の方	64,800円 (5,400円)
6.	第6段階	本人が市民税課税で合計所得金額が120万円未満の方	76,100円 (6,345円)
7.	第7段階	本人が市民税課税で合計所得金額が120万円以上200万円未満の方	82,600円 (6,885円)
8.	第8段階	本人が市民税課税で合計所得金額が200万円以上300万円未満の方	93,900円 (7,830円)
9.	第9段階	本人が市民税課税で合計所得金額が300万円以上350万円未満の方	97,200円 (8,100円)
10.	第10段階	本人が市民税課税で合計所得金額が350万円以上500万円未満の方	103,600円 (8,640円)
11.	第11段階	本人が市民税課税で合計所得金額が500万円以上750万円未満の方	113,400円 (9,450円)
12.	第12段階	本人が市民税課税で合計所得金額が750万円以上1,000万円未満の方	129,600円 (10,800円)
13.	第13段階	本人が市民税課税で合計所得金額が1,000万円以上1,500万円未満の方	139,300円 (11,610円)
14.	第14段階	本人が市民税課税で合計所得金額が1,500万円以上2,000万円未満の方	149,000円 (12,420円)
15.	第15段階	本人が市民税課税で合計所得金額が2,000万円以上の方	158,700円 (13,230円)
16.	わからない		

※ お手元に介護保険料納入通知書があればご確認ください。ない場合等、ご自身の保険料段階が不明な場合は「16. わからない」に○をしてください。

・施設サービス利用者調査6

問18 今後の介護保険サービスと介護保険料について、あなたの考えに最も近いものは次のうちどれですか。(1つに○)

- 1. 介護保険料が多少高くなっても介護保険サービスが充実している方がよい
- 2. 介護保険料も介護サービスも今くらいが妥当である
- 3. 介護保険サービスを抑えても介護保険料が低い方がよい
- 4. 全国平均と同じ程度でよい
- 5. どちらともいえない

※ 全国平均：月額5,869円 小金井市：月額5,400円

問19 施設利用料月額(限度額)に際して利用料を負担されていますが、どのようにお考えですか。(1つに○)

- 1. 特に負担とは思わない
- 2. 概ね妥当な額だと思う
- 3. これくらい負担はやむをえない
- 4. 今の負担では苦しい
- 5. わからない

問20 居住費と食費の負担については、どのようにお考えですか。(1つに○)

- 1. 特に負担とは思わない
- 2. 概ね妥当な額だと思う
- 3. これくらい負担はやむをえない
- 4. 今の負担では苦しい
- 5. わからない

問21 利用料以外の日常生活費(消耗品など)の負担については、どのようにお考えですか。(1つに○)

- 1. 特に負担とは思わない
- 2. 概ね妥当な額だと思う
- 3. これくらい負担はやむをえない
- 4. 今の負担では苦しい
- 5. わからない

問22 「介護保険制度」全体をよりよくするための環境整備として、市が力を入れるべきことは次のうちどれだと思いますか。(3つまで○)

- 1. サービス事業者の質を高める取組みを行うこと
- 2. ケアマネジャーやホームヘルパーなどの人材を育成すること
- 3. 市内に特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設を増やすこと
- 4. 利用料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減する経済的給付を増やすこと
- 5. 寝たきりにならないよう、介護予防のサービスに力を入れること
- 6. 地域全体で介護を支援するしくみづくりを行うこと
- 7. 在宅サービスや地域密着型サービスのような身近な地域でサービスが受けられる拠点を増やすこと
- 8. 困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やすこと
- 9. 家族介護の負担を軽減する保健福祉サービスを実施すること
- 10. 介護保険を効率的に運用するしくみづくりを行うこと
- 11. 地域包括支援センターの機能を充実すること
- 12. 介護保険サービス利用の制限をカバーする保健福祉サービスを実施すること
- 13. その他(具体的に： )
- 14. わからない

・施設サービス利用者調査7

高齢者の権利についておたずねします

問23 施設ではプライバシーへの配慮がなされていると思いますか。(1つに○)

- 1. 配慮されている
- 2. 少し配慮されている
- 3. 配慮されていない
- 4. わからない

問24 施設ではご本人の気持ちや希望が尊重されていると思いますか。(1つに○)

- 1. 思う
- 2. 少し思う
- 3. 思わない
- 4. わからない

問25 施設では、ベッドに柵をつける、車いすにベルトで固定するなど、ご本人のからだの動作の制限をすることがありますか。(1つに○)

- 1. ある → 問25-1へ
- 2. ない → 問26へ
- 3. わからない → 問26へ

問25-1 問25で「1. ある」と答えた方におたずねします。からだの動作の制限をすることについて、説明がありましたか。(1つに○)

- 1. 説明があった
- 2. 説明はなかった
- 3. 覚えていない

問26 高齢者の権利や生活を守るための相談窓口として以下のようなものがありますか、あなたの知っているものはありますか。(いくつでも○)

- 1. 行政の相談窓口(市役所など)
- 2. 地域包括支援センター
- 3. 権利擁護センター
- 4. 社会福祉協議会
- 5. 消費生活相談室
- 6. 知っているものはない

その他・市への要望についておたずねします

問27 この施設・病院などを退所される場合に、次に移る所はどちらを希望しますか。(1つに○)

- 1. 自宅
- 2. 子どもや福祉の家
- 3. 介護老人保健施設
- 4. 特別養護老人ホーム
- 5. 病院
- 6. 認知症高齢者グループホーム
- 7. 有料老人ホーム
- 8. サービス付き高齢者向け住宅
- 9. その他〔具体的に： 〕
- 10. 現在の施設・病院から移ることは希望しない
- 11. わからない

問28 介護支援施策として必要なことは何だと思いますか。(3つまで○)

- 1. 医師・看護師・保健師等による定期的な家庭訪問
- 2. 医療・介護以外の公的サービスの紹介や行政窓口の案内
- 3. 要介護者の体調不良時・急変時における医療面での支援
- 4. 家族で介護を行なうための知識・技術面での準備に関する支援
- 5. 食事の摂取に関する指導や歯科口腔ケアに関する支援
- 6. 介護事業者やケアマネジャーの紹介
- 7. 家族介護者自身の抑うつ状態や精神的ストレスなどの精神面に対する医療的支援
- 8. 家族で介護を行なうための相談に乗るなど日常的な支援
- 9. 認知症介護の技術や知識面での支援
- 10. 介護経験者同士の交流会
- 11. 家族介護者対象のレクリエーション企画
- 12. その他〔具体的に： 〕

問29 小金井市では、「誰もが安心して暮らせる思いやりのあるまち」の実現をめざしています。あなたは、小金井市は「誰もが安心して暮らせる思いやりのあるまち」と思えますか。(1つに○)

- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらかといえばそう思わない
- 4. そう思わない

問30 問29で「1. そう思う」、「2. どちらかといえばそう思う」と回答された方はその理由を、「3. どちらかといえばそう思わない」、「4. そう思わない」と回答された方はどの項目が改善したら、「そう思う」ようになりますか。(3つまで○)

- 1. 地域つながり
- 2. 介護サービス(訪問系)の充実
- 3. 介護サービス(通所系)の充実
- 4. 介護サービス(短期入所系)の充実
- 5. 介護サービス(施設系)の充実
- 6. 医療機関(病院)の充実
- 7. 医療機関(診療所)の充実
- 8. 医療機関(訪問診療・往診)の充実
- 9. ボランティア活動の充実
- 10. 行政サービスの充実
- 11. 住まいの充実
- 12. 交通機関の充実
- 13. 商業施設の充実
- 14. 治安
- 15. その他〔具体的に： 〕

問31 あなたは、今後も小金井市に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

- 1. そう思う
- 2. どちらかといえばそう思う
- 3. どちらかといえばそう思わない
- 4. そう思わない

問32 高齢者支援施策について、小金井市へのご意見・ご要望や知りたい情報などがありましたら、ご自由にお書きください。

——ご協力ありがとうございました——





職員・スタッフの人数 ※非常勤は常勤換算でこ回答ください	介護支援専門員	専従	常 勤					非常勤
	うち 事務管理者	専従	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳

年齢階級別職員数の状況	回答欄															
	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65歳以上	総件数	総合事業対象者(チェックリスト該当者)	件	件					
医師	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中・暫定プラン
看護師・保健師	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤								
その他医療系専門職 (薬剤師・栄養士・PT/OT/ST等)	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤								
介護福祉士	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤								
その他介護職員	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤								
その他事務職員	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤								
(再掲) 介護支援専門員	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤								

職員の資格取得の状況	常 勤					非常勤
	社会福祉士	人	人	人	人	人
介護福祉士	人	人	人	人	人	人
医師	人	人	人	人	人	人
保健師・看護師	人	人	人	人	人	人
管理栄養士・栄養士	人	人	人	人	人	人
薬剤師	人	人	人	人	人	人
理学療法士	人	人	人	人	人	人
作業療法士	人	人	人	人	人	人
言語聴覚士	人	人	人	人	人	人
歯科衛生士	人	人	人	人	人	人
あん摩マッサージ指圧師・鍼灸師	人	人	人	人	人	人
ホームヘルパー	人	人	人	人	人	人
1級	人	人	人	人	人	人
2級(介護職員初任者研修了)	人	人	人	人	人	人
3級	人	人	人	人	人	人

※ 居宅介護支援事業者以外は、問6へお進みください。  
居宅介護支援事業者は、問3、問4、問5にお進みください。

居宅介護支援事業者におたずねします

問3 令和元年10月に小金井市の要支援・要介護認定者、総合事業対象者(チェックリスト該当者)に対し作成したケアプランの給付管理件数は何件でしたか。

総件数	件	件	件	件	件	件	件	件	件
総合事業対象者(チェックリスト該当者)	件	件	件	件	件	件	件	件	件
要支援1	件	件	件	件	件	件	件	件	件
要支援2	件	件	件	件	件	件	件	件	件
要介護1	件	件	件	件	件	件	件	件	件
要介護2	件	件	件	件	件	件	件	件	件
要介護3	件	件	件	件	件	件	件	件	件
要介護4	件	件	件	件	件	件	件	件	件
要介護5	件	件	件	件	件	件	件	件	件
申請中・暫定プラン	件	件	件	件	件	件	件	件	件

問4 貴事業所の中で、小金井市を中心に活動しているケアマネジャーは何人いますか。  
そのうち主任ケアマネジャーは何人いますか。(数字を記入)

ケアマネジャー:	人	(主任ケアマネジャー:)	人
----------	---	--------------	---

問5 ケアマネジャーの在職年数及び昨年1年間の離職者(退職者・転職者)数と離職率、その理由を記入してください。

1. 貴事業所のケアマネジャーの平均在職年数:( )年)	人	・離職率( )%
2. 昨年1年間の離職者数及び離職率:離職者数全体( )人	人	・離職率( )%
■内訳		
① 退職者( )人	・離職率( )%	[理由: ]
② 転職者( )人	・離職率( )%	[理由: ]

※ 離職者には非常勤も含まれます。離職率は在籍ケアマネジャーを母数とします。  
※ 「退職」とは、専業主婦、主夫となる場合のほか他産業への転職を含みます。  
※ 「転職」とは、他の介護保険事業者へ移行することです。

サービス提供事業者におたずねします

問6 令和元年10月の小金井市内の利用者の総人数は何人でしたか。

問2の主な事業所の種類でお答えになった事業についてお答えください。

回答欄		(人数を記入)
総人数	人	
要支援1	人	
要支援2	人	
要介護1	人	
要介護2	人	
要介護3	人	
要介護4	人	
要介護5	人	
申請中・暫定プラン	人	

問7 昨年1年間の職員の離職状況(退職や転職)をお教えてください。

※ 「退職」とは、専業主婦、主夫となる場合のほか他産業への転職を含みます。  
 ※ 「転職」とは、他の介護保険事業者へ移行することです。  
 ※ 離職者には非常勤も含みます。離職率は在籍職員数を母数とします。

(1) 貴事業所の職員の平均在職年数は何年ですか。

1. 看護師 ( ) 年	3. 介護福祉士 ( ) 年
2. ヘルパー ( ) 年	4. 社会福祉士 ( ) 年

(2) 昨年1年間の離職者数及び離職率

離職者数全体 ( ) 人	離職率 ( ) %	
■内訳		
<退職者>	① 看護師 ( ) 人	③ 介護福祉士 ( ) 人
	② ヘルパー ( ) 人	④ 社会福祉士 ( ) 人
<転職者>	① 看護師 ( ) 人	③ 介護福祉士 ( ) 人
	② ヘルパー ( ) 人	④ 社会福祉士 ( ) 人

(3) 離職の理由(主な理由)

1. 働きがい ( ) 人	4. 転出・結婚等 ( ) 人
2. 給与・賃金 ( ) 人	5. その他 ( ) 人
3. 人間関係 ( ) 人	

問8 人材対策で力を入れる必要があるものは何がありますか。(1つに○)

1. 人材の確保	2. 人材の育成	3. 人材の定着
----------	----------	----------

問9 外国人材活用について制度別にどのように考えていますか。(それぞれ1つに○)

EPA(経済連携協定)に基づく外国人介護福祉士候補者	1. 既に雇用している	3. 雇用は考えていない
在留資格「介護」をもつ外国人	2. 雇用を検討している	4. 制度を知らない
技能実習制度を活用した外国人	2. 雇用を検討している	3. 雇用は考えていない
在留資格「特定技能1号」をもつ外国人	1. 既に雇用している	4. 制度を知らない
	2. 雇用を検討している	3. 雇用は考えていない
	3. 雇用を検討している	4. 制度を知らない

問10 市では認定サブスタッフ・生活支援ヘルパー・介護支援ボランティアポイント事業への元気高齢者の参加を進めています。元気高齢者の活用について、どのように考えていますか。(1つに○)

1. 人材に余裕があっても積極的に活用したい	3. 人材が足りないが導入には消極的
2. 人材が足りないので積極的に活用したい	4. 活用するつもりはない

問11 貴事業所では、介護保険以外のサービスを提供していますか。提供している場合は、具体的なサービス内容を記入してください。(1つに○)

1. している	具体的に: [ ]
2. していない	

問12 今後は介護保険外サービスの実施、またはその事業について拡充の予定がありますか。(1つに○)

1. 予定がある	具体的に: [ ]
2. 検討中	
3. ない	
4. まだわからない	

問13 現在、貴事業所で力を入れていることは何ですか。(いくつでも○)

1. 入との関わりや交流	9. 夜間への対応
2. 相談	10. 地域資源の把握
3. 入浴	11. 認知症の方への対応
4. 食事・おやつ	12. 権利擁護への対応(成年後見制度)
5. 機能訓練	13. 重度化への対応(看取り)
6. 外出の機会	14. 他事業所との連携
7. 家族介護の軽減	15. 医療との連携
8. 元気高齢者の活用	16. その他(具体的に: [ ])

問14 これから貴事業所が特に力を入れたいことを教えてください。(1つに○)

- |              |                      |
|--------------|----------------------|
| 1. 人との関わりや交流 | 9. 夜間への対応            |
| 2. 相談        | 10. 地域資源の把握          |
| 3. 入浴        | 11. 認知症の方への対応        |
| 4. 食事・おやつ    | 12. 権利擁護への対応(成年後見制度) |
| 5. 機能訓練      | 13. 重度化への対応(看取り)     |
| 6. 外出の機会     | 14. 他事業所との連携         |
| 7. 家族介護の軽減   | 15. 医療との連携           |
| 8. 元気高齢者の活用  | 16. その他【具体的に: _____】 |

問15 自立支援・介護予防・重度化防止について、どのようなことに取り組んでいますか。(1つに○)

- |                           |                     |
|---------------------------|---------------------|
| 1. 機能訓練を充実させている           | 3. ケアプランを相談している     |
| 2. サービス利用者でできることはしてもらっている | 4. その他【具体的に: _____】 |

サービスの向上に向けた取り組みをおたずねします

問16 現在、貴事業所では質の向上に対する取り組みをどのように行っていますか。(いくつでも○)

- |                      |        |
|----------------------|--------|
| 1. 第三者評価の実施          | → 問18へ |
| 2. 専門家、エンサルトの活用      |        |
| 3. ISO等品質管理に関する認証取得  |        |
| 4. 苦情事例等の活用・蓄積       |        |
| 5. 事業所内での検討会         |        |
| 6. 手引きの作成と見直し        |        |
| 7. 外部研修会への出席         |        |
| 8. 人材の確保             |        |
| 9. スタッフの資格取得への支援     |        |
| 10. 事業者間の交流          |        |
| 11. 事業者連絡会への出席       |        |
| 12. 利用者調査の実施         |        |
| 13. 介護情報の公表          |        |
| 14. 職員の処遇改善          |        |
| 15. その他【具体的に: _____】 |        |

問17 問16で「2. 専門家、エンサルトの活用」～「15. その他」に回答した事業所におたずねします。今後、第三者評価を実施する予定はありますか。(1つに○)

- |             |          |
|-------------|----------|
| 1. 実施の予定がある | → 問18へ   |
| 2. 実施の予定はない | → 問17-1へ |

問17-1 問17で「2. 実施の予定はない」と答えた事業所におたずねします。その主な理由は次のうちどれですか。(1つに○)

- |                         |
|-------------------------|
| 1. 費用がかかりすぎるから          |
| 2. メリットがわからないから         |
| 3. 評価機関の選び方がわからないから     |
| 4. サービスの改善に結びつかかわからないから |
| 5. その他【具体的に: _____】     |

事業運営についておたずねします

問18 直前の決算年度の事業の採算はいかがでしたか。差し支えなければお答えください。(1つに○)

- |       |       |         |
|-------|-------|---------|
| 1. 黒字 | 2. 赤字 | 3. 損益なし |
|-------|-------|---------|

問19 平成30年度の介護報酬変更による運営上の影響はいかがでしたか。また、選んだ選択肢についての具体的な理由(影響がなかった理由、あった理由)をお書きください。(1つに○)

- |           |  |
|-----------|--|
| 1. 影響はない  |  |
| 2. 影響があった |  |

問20 貴事業所では、今後3年のうちに介護保険サービスの事業規模についてどのよう考えますか。(1つに○)

- |         |                       |
|---------|-----------------------|
| 1. 拡大予定 | 3. 縮小予定               |
| 2. 現状維持 | 4. 検討中・わからない(予測がつかない) |

問21 貴事業所では、介護職員処遇改善加算は活用していますか。(1つに○)

- |            |          |
|------------|----------|
| 1. 活用している  | → 問21-1へ |
| 2. 活用していない | → 問22へ   |

問21-1 問21で「1. 活用している」と答えた事業所におたずねします。  
介護職員処遇改善加算をどのようなことに使用していますか。また、  
選んだ選択肢について金額もご記入ください。(いくつでも)

1. 基本給の引き上げ (平均)	円/月
2. 時給の引き上げ (平均)	円/時
3. 諸手当 (役職手当・精勤手当・資格手当などの) 導入・引き上げ (平均)	円/年
4. 一時金の支給 (平均)	円/年
5. その他 [具体的に:]	

問22 労働環境整備のためにとのような取組みが必要だと思えますか。(いくつでも)

1. 福利厚生充実	5. 労働条件の改善・賃金
2. 柔軟な働き方の促進 (子育て支援、ワークシェアリング等)	6. 労働条件の改善・労働時間
3. 定期的な健康診断など (具体的に:]	7. その他
4. 精神面の健康管理 (相談窓口等)	

問23 事務作業の負担感はどの程度ですか。(1つに○)

1. とても重い	4. 軽い
2. 重い	5. とても軽い
3. どちらでもない	

問24 生産性向上 (労働時間短縮) のためにどのようなことに取り組まれていますか。  
(1つに○)

1. 介護ロボットの導入	4. 何もしていない
2. IoTの導入	5. その他 [
3. タスクシフティングの実施	]

問25 介護ロボットの導入について、活用の予定がありますか。(1つに○)

1. 活用している	] → 問26へ ] → 問25-1へ
2. 活用を予定している	
3. 活用の予定はない	

問25-1 活用の予定はない理由は何ですか。(1つに○)

1. 導入費用が高い	
2. 導入しても使いこなせる自信がない	
3. その他 [具体的に:]	

問26 人材確保のため今後どのような取組みが必要だと思えますか。(いくつでも)

1. 新規採用枠の拡大	] ] ] ] ] ] ] ] ] ] ] ]
2. 中途採用枠の拡大 (具体的に:]	
3. 就業時間内の人員確保	
4. 福利厚生の充実	
5. 賃金面の充実	
6. 研修会への参加支援	
7. 資格取得の支援 (具体的に:]	
8. 苦情・相談体制の充実	
9. 職員間の助け合い制度 (具体的に:]	
10. 同事業所内での人員確保	
11. 社外の協力体制の整備	
12. 求人広告掲載	
13. その他	

問27 事業所内での講習会・研修は十分実施できていると思えますか。できていない場合は理由を具体的に書きください。(1つに○)

1. 十分実施できている	
2. 十分ではないが実施できている	
3. ほとんど実施できていない [理由:]	
4. その他 [具体的に:]	

問28 外部の研修や事例検討、勉強会について職員が積極的に参加できるような支援して  
いますか。できていない場合は理由を具体的に書きください。(1つに○)

1. 支援している	2. 十分でないが支援している
3. ほとんど支援していない [理由:]	
4. 支援したいができない [理由:]	
5. その他 [具体的に:]	

問29 貴事業所では、「キャリアパス」を作成していますか。(1つに○)

1. 作成している → 問30へ	2. 作成していない → 問29-1へ
------------------	---------------------

問29-1 問29で「2. 作成していない」と答えた事業所におたずねします。  
作成していない理由として、どのようなことがありますか。  
(いくつでも)

1. 書類手続等が複雑だから	4. 法人規模になじまないから
2. 書類の書き方がわからないから	5. 交付金の必要性を感じていないから
3. 日常の業務が忙しいから	6. その他 [
	]

問29-2 問29で「2. 作成していない」と答えた事業所におたずねします。  
今後、「キャリアパス」を作成する予定はありますか。(1つに○)

1. 作成する予定である	2. 作成する予定はない	3. わからない
--------------	--------------	----------

問30 今後、参入予定の地域密着型サービス事業がありましたらお教えください。  
 (①から⑫についてそれぞれ1つに○)

	ある	なし	検討中
①地域密着型通所介護	1	2	3
②定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	2	3
③夜間対応型訪問介護	1	2	3
④認知症対応型通所介護	1	2	3
⑤介護予防認知症対応型通所介護	1	2	3
⑥小規模多機能型居宅介護	1	2	3
⑦看護小規模多機能型居宅介護	1	2	3
⑧介護予防小規模多機能型居宅介護	1	2	3
⑨認知症対応型共同生活介護	1	2	3
⑩介護予防認知症対応型共同生活介護	1	2	3
⑪地域密着型特定施設入居者生活介護	1	2	3
⑫地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	1	2	3

問31 貴事業所のサービス利用者の中に、24時間の見守りや巡回が必要な方は  
 いらっしゃいますか。(1つに○)

1. 医療系サービスの24時間対応が必要な利用者がいる  
 2. 福祉系サービスの24時間対応が必要な利用者がいる  
 3. その他 [具体的に：  
 4. 特にいない ]

問32 貴事業所の運営上の課題は何ですか。(3つまで○)

1. 今の介護報酬では、人材確保・定着のために十分な賃金を払えない  
 2. 介護従事者の介護業務に関する知識や技術が不足している  
 3. 介護従事者の意欲や稼働に問題がある  
 4. 管理者の指導・管理能力が不足している  
 5. 教育・研修の時間が十分に取れない  
 6. 職員間のコミュニケーションが不足している  
 7. 利用者や利用者家族の介護サービスに対する理解が不足している  
 8. 介護保険の改正等についての的確な情報や説明が得られない  
 9. 指定介護サービス提供に関する書類作成が煩雑で、時間に追われる  
 10. その他 [具体的に：  
 ]

問33 日ごろサービスを提供していくうえで、法令順守(コンプライアンス)は前提として、利用者からの信頼を得るためには何か大切とお考えですか。(いくつでも○)

1. 経営理念・ビジョンの確立  
 2. 組織体制  
 3. 人材確保  
 4. 人材育成(研修・学習会)  
 5. 就業環境整備(人件費・福利厚生等)  
 6. サービス内容の充実  
 7. マニュアルや手引書の整備 [具体的に：  
 ]

8. 利用者への対応  
 9. 老朽化した施設の改善  
 10. 他機関(他事業所等)との連携  
 11. 情報収集及び提供方法  
 12. 個人情報保護  
 13. その他 [具体的に：  
 ]

**医療と介護の連携についておたずねします**

問34 2025年に向けて地域包括ケアシステムの構築が求められています。その中で医療・介護の連携が進むために、どのようなことが必要だとお考えですか。

((1)から(4)についてそれぞれ2つまで○)

(1) 連携の仕組みづくり(2つまで○)

1. 他職種との顔の見える関係づくり、交流を進める  
 2. 「ケアマネタイム」の充実を図る  
 3. 在宅医療・介護連携支援室の活動を充実させる  
 4. 医療と介護の連携シートを活用する  
 5. 入院時に関する医療と介護の連携方法を明確にする  
 6. ICTの活用を推進する  
 7. その他 [具体的に：  
 ]

(2) 地域の人材育成(2つまで○)

1. 医療・介護の相互理解のための専門研修を進める  
 2. 栄養士、歯科衛生士等を含めた専門職の人材把握・発掘を行う  
 3. 多職種が参加する事例検討会や学習会を増やす  
 4. 在宅医療や介護予防に関心のある地域活動リーダーを増やす  
 5. 在宅医療を担う訪問看護師などの人材育成を進める  
 6. かかりつけ医をサポートする専門医制度をつくる  
 7. その他 [具体的に：  
 ]

(3) サービス・基盤整備(2つまで○)

1. 随時対応の訪問介護・看護(定期巡回、24時間対応)の在宅サービスを充実させる  
 2. 医療依存度の高い方が在宅で暮らせるよう訪問診療や住診等の体制を充実させる  
 3. 病院による在宅療養の後方支援の仕組みを充実させる  
 4. 在宅療養者の緊急時用のベッドを確保する  
 5. 医療や介護を交えながら住み続けられる高齢者の住まいを充実させる  
 6. 末期がん患者等のために要介護認定の簡素化を図り、サービス利用をしやすくする  
 7. その他 [具体的に：  
 ]

認知症の介護支援についておたずねします (いくつでも○)

問38 認知症の利用者の状況で、実際に大変だったのは次のどれですか。

- 1. 本人や家族が医療機関を受診しない
- 2. 本人の意思の確認が取れない
- 3. 家族が認知症であることを認めない
- 4. 服薬管理ができない
- 5. サービス拒否がある
- 6. 症状が急変して緊急対応が必要になる
- 7. 適切なサービスが受けられない
- 8. 消費者被害に遭遇している
- 9. 虐待を受けている
- 10. 本人や家族間で介護の方針が食い違う
- 11. 身体疾患があり医療的な管理が難しい
- 12. その他 [具体的に: ]

問39 これから、認知症の方の支援にあたり必要になると思うのは次のどれですか。(いくつでも○)

- 1. 状態に応じた適切なサービス提供の流れが示されること
- 2. 社会資源(施設、サービス)がより増えていくこと
- 3. 早期診断を担う医療機関が増えていくこと
- 4. 地域で、認知症歩行者等の活動の輪が広がること
- 5. かかりつけ医やケアマネジャー等の認知症に対する理解と対応力が向上すること
- 6. 地域包括支援センターにおける認知症の地域支援が充実していくこと
- 7. 地域ケア会議など専門的な支援体制が充実すること
- 8. 認知症の会や家族支援が充実していくこと
- 9. その他 [具体的に: ]

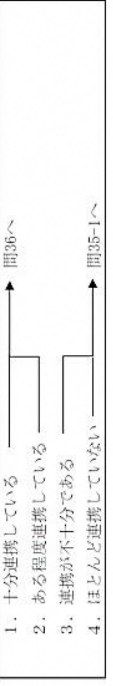
問40 貴事業所では、認知症の方へのケアに関する地域の拠点としてどのような機能を担っていますか。(いくつでも○)

- 1. 地域の介護サービス事業所等に対する認知症ケアの専門的助言の実施
- 2. 地域住民への認知症の理解を促進するための普及・啓発活動
- ⇒ 【具体的に(いくつでも○)】
- ①サポーター養成研修の実施
- ②認知症カフェの実施
- ③講習会の開催等学習機会の提供
- ④地域住民の活動の支援
- ⑤その他 [具体的に: ]
- 3. 地域の見守りネットワークへの参画
- 4. 認知症の方の家族への相談支援
- 5. ボランティア組織への支援
- 6. 在宅で生活する認知症の方に対するショートステイの紹介
- 7. 在宅で生活する認知症の方・家族のための日中の居場所の提供
- 8. その他 [具体的に: ]
- 9. 特になし

(4) 相談支援・情報提供 (2つまで○)

- 1. 住民向けの在宅療養支援窓口を設置する
- 2. 地域包括支援センターに医療連携相談員・支援員を設置する
- 3. 市民講座などで、「在宅療養」や「看取り・終活」への関心を高める
- 4. 医療・介護・福祉に関する社会資源マップを充実させる
- 5. その他 [具体的に: ]

問35 小井市民の在宅療養者への医療・介護は、サービス担当者会議などを通じて連携していると思いますか。(1つに○)



問35-1 問35で「3. 連携が不十分である」または「4. ほとんど連携していない」と答えた事業所におたずねします。(いくつでも○)

- 1. 医学知識や医療制度がわからない
- 2. お互いに多忙で連絡がとれない
- 3. 個人情報保護の観点から情報が共有されない
- 4. 交流の場がない
- 5. 誰と連絡をとればいいのかわからない
- 6. 医療関係者の介護保険に関する知識や理解が不足している
- 7. その他 [具体的に: ]

問36 貴事業所では、サービス利用者の医学的な情報を十分把握していますか。(1つに○)

- 1. 十分把握している
- 2. ある程度把握している
- 3. あまり把握していない
- 4. ほとんど把握していない

問37 一般に医療機関やかかりつけ医(主治医)などとの連携がとりにくいと言われていますが、その主な理由をどのようにお考えですか。(1つに○)

- 1. 医療機関やかかりつけ医(主治医)が多忙で、理解が得にくいため
- 2. 医療側に体制が整っていないため
- 3. 連携のとり方がわからない
- 4. 連携の必要性を感じない
- 5. その他 [具体的に: ]

問41 貴事業所では、認知症の方の支援にあたっては、かかりつけ医との連携はどれくらいだと思いますか。(1つに○)

1. とれている
2. ある程度とれている
3. あまりとれていない
4. とれていない

災害時の体制についておたずねします

問42 貴事業所では災害時に備えてどの程度、地域と連携していますか。(いくつでも○)

1. 町会・自治会と防災協定を結んでいる
2. 町会・自治会と合同で避難訓練を行っている
3. 介護保険や認知症高齢者などについてリーフレットを作成し地域に配布している
4. 地域のまつりや行事に参加している
5. 事業所内の行事への参加を地域にPRしている
6. その他(具体的に: )

その他・市への要望についておたずねします

問43 地域ケア会議について、知っていますか。(1つに○)

1. どんなことをしているかまで知っている
2. 開催されているのは知っているが、どんなことをしているかは知らない
3. 知らない

問44 今後、保険者としての小金井市に対し、事業者として望むことは次のうちどれですか。(3つまで○)

1. 介護保険に関する情報提供、研修の実施
2. 質の向上のために事業者が行う研修への支援
3. 不正な事業所への指導
4. 利用者への適正なサービス利用の啓発
5. 地域包括支援センター機能の充実
6. 制度運営における保険者判断部分の周知
7. 人材対策
8. その他(具体的に: )
9. 特にない

問45 現在、市において、介護職員初任者研修を実施することとしていますが、今後の研修について伺います。(1つに○)

1. 今後も研修を実施した方がよい
2. 研修を実施しなくてよい(理由: )

問46 小金井市では、「誰もが安心して暮らせる思いやりのあるまち」の実現をめざしています。あなたは、小金井市は「誰もが安心して暮らせる思いやりのあるまち」と思えますか。(1つに○)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問47 問46で「1. そう思う」、「2. どちらかといえばそう思う」と回答された方はその理由を、「3. どちらかといえばそう思わない」、「4. そう思わない」と回答された方はどの項目が改善したら、「そう思う」ようになりますか。(3つまで○)

1. 地域のつながり
  2. 介護サービス(訪問系)の充実
  3. 介護サービス(通所系)の充実
  4. 介護サービス(短期入所系)の充実
  5. 介護サービス(施設系)の充実
  6. 医療機関(病院)の充実
  7. 医療機関(診療所)の充実
  8. 医療機関(訪問診療・往診)の充実
  9. ボランティア活動の充実
  10. 行政サービスの充実
  11. 住まいの充実
  12. 交通機関の充実
  13. 商業施設の充実
  14. 治安
  15. その他
- (具体的に: )

問48 高齢者施策について、小金井市へのご意見・ご要望や知りたい情報などがありましたら、ご自由にお書きください。

——ご協力ありがとうございました——



6 ケアマネジャー調査

「小金井市介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画」策定のためのアンケート調査 ご協力をお願いします

ケアマネジャーの皆様には、日頃より高齢者福祉行政にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

小金井市では、高齢者の方が健康で住み慣れた地域で安心して住み続けることができる仕組みづくりをめざす指針となる「小金井市介護保険・高齢者保健福祉総合事業計画」(以下「事業計画」という。)の策定を行うためのアンケート調査を実施することとしました。

このアンケート調査は、居宅介護支援事業所のケアマネジャーの皆様を対象として、介護保険の現場のご意見や要望、福祉施策に対する提案などをお伺いするもので、事業計画策定の参考にさせていただきます。

これからの小金井市の高齢者保健福祉施策や、介護保険サービスを検討するうえでの重要な調査ですので、ご多忙の折、大変恐縮ではございますが、趣旨をご理解のうえ、調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

なお、このアンケート調査に際しましては、プライバシーの保護に万全を期しております。

本アンケート調査の結果は、市のホームページにて令和2年5月以降に掲載予定です。

令和元年 11月

ご記入にあたってのお願い

○この調査票には、**お名前・ご住所をご記入しないでください。**

○お答えは、あてはまる回答の**番号に○**をつけてください。○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。

○「その他」に○をつけられた方は、( )内に具体的にその内容をご記入ください。

○本調査の結果は、統計的に処理いたしますので、お答えいただいた方にご迷惑をおかけするようないことは一切ございません。思いのままをお答えいただきますようお願い申し上げます。

○ご記入いただいた調査票は、**令和元年12月25日(水)**までに、同封の封筒に入れ(切手をお貼らずに)投函してください。ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。



【調査に関するお問い合わせ先】

小金井市 福祉保健部 介護福祉課

電話：042-387-9822 (直通) FAX：042-384-2524

あなたについておたずねします

問1 あなたの所属事業所の組織体はどれに当てはまりますか。(1つに○)

- 1. 社会福祉法人
- 2. 社会福祉協議会
- 3. 福祉公社・事業団
- 4. (公益) 社団法人
- 5. (公益) 財団法人
- 6. 医療法人
- 7. JA・生協
- 8. 株式会社
- 9. 有限会社
- 10. NPO法人
- 11. その他(具体的に： )

問2 あなたの所属事業所の組織形態は次のどれに当てはまりますか。(1つに○)

- 1. 居宅介護支援事業のみ
- 2. 他の介護保険サービス事業もあり
- 3. その他(具体的に： )

問3 あなたの性別はどちらですか。(1つに○)

- 1. 男性
- 2. 女性

問4 現在のあなたの年齢は次のどれですか。(1つに○)

※ 令和元年12月1日現在の年齢でお答えください。

- 1. 20歳代
- 2. 30歳代
- 3. 40歳代
- 4. 50歳代
- 5. 60歳以上

勤務形態についておたずねします

問5 あなたの勤務形態はどれですか。(1つに○)

- 1. 常勤・兼務 → 問5-1へ
- 2. 非常勤・兼務 → 問5-1へ
- 3. 常勤・専従 → 問6へ
- 4. 非常勤・専従 → 問6へ
- 5. その他(具体的に： )

問5-1 問5で「1. 常勤・兼務」または「2. 非常勤・兼務」と答えた方におたずねします。あなたは、どのような業務を兼務していますか。(いくつでも○)

- 1. 管理業務
- 2. 医療系サービス
- 3. 介護サービス
- 4. 相談業務
- 5. その他(具体的に： )

問6 あなたは、ケアマネジャー業務に従事してどのくらいの経験がありますか。転職などをしている場合は、前職などを含めた合計期間でお答えください。(1つに○)

- |              |             |
|--------------|-------------|
| 1. 6か月未満     | 4. 2年以上3年未満 |
| 2. 6か月以上1年未満 | 5. 3年以上5年未満 |
| 3. 1年以上2年未満  | 6. 5年以上     |

⇒うち、小倉市での経験年数  年

問7 あなたは、介護支援専門員以外にどのような保健医療福祉関係の資格をお持ちですか。(いくつでも○)

- |                               |                  |
|-------------------------------|------------------|
| 1. 介護福祉士                      | 9. 栄養士(管理栄養士を含む) |
| 2. ホームヘルパー1級                  | 10. 理学療法士        |
| 3. ホームヘルパー2級<br>(介護職員初任者研修修了) | 11. 作業療法士        |
| 4. 社会福祉士                      | 12. 歯科衛生士        |
| 5. 精神保健福祉士                    | 13. 医師           |
| 6. 社会福祉主事                     | 14. 歯科医師         |
| 7. 看護師、准看護師                   | 15. 薬剤師          |
| 8. 保健師                        | 16. その他(具体的に: )  |

問8 あなたの年収はおおよそどのくらいですか。(1つに○)

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. 100万円未満     | 4. 300～400万円未満 |
| 2. 100～200万円未満 | 5. 400～500万円未満 |
| 3. 200～300万円未満 | 6. 500万円以上     |

問9 あなたの1週間の実際の勤務時間はどのくらいですか。(1つに○)

- |              |         |              |         |
|--------------|---------|--------------|---------|
| 1. 30時間未満    | → 問9-2へ | 4. 40～45時間未満 | → 問9-2へ |
| 2. 30～35時間未満 | → 問9-2へ | 5. 45時間以上    | → 問9-1へ |
| 3. 35～40時間未満 | → 問9-2へ |              |         |

問9-1 問9で「5. 45時間以上」と答えた方におたずねします。

1か月の超過勤務時間はどのくらいですか。(1つに○)

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. 10時間未満    | 4. 30～40時間未満 |
| 2. 10～20時間未満 | 5. 40時間以上    |
| 3. 20～30時間未満 |              |

問9-2 生産性向上(労働時間短縮)のためにどのようなことに取り組みられていますか。(1つに○)

- |            |                |
|------------|----------------|
| 1. 何もしていない | 3. タスクシフトの実施   |
| 2. ICTの導入  | 4. その他(具体的に: ) |

問10 どのような業務に負担感がありますか。(いくつでも○)

- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| 1. ケアプラン作成            | 11. 利用者宅の訪問         |
| 2. アセスメントの実施          | 12. 居宅介護支援経過の記録     |
| 3. 苦情対応               | 13. 給付管理            |
| 4. サービス担当者会議の開催・調整    | 14. 入所・入院先の相談・手配    |
| 5. 主治医や医療機関との連絡・調整    | 15. 保険者への問い合わせ      |
| 6. 利用者や家族の間の合意調整      | 16. 相談業務            |
| 7. 利用者・家族への同意説明       | 【特に負担感の強い内容など: ]    |
| 8. モニタリング             |                     |
| 9. サービス事業者への連絡・調整     | 17. その他(具体的に: )     |
| 10. 地域包括支援センターとの連絡・調整 | 18. 特に負担感はない → 問11へ |

問10-1 事務作業の負担感はどの程度ですか。(1つに○)

- |                       |          |
|-----------------------|----------|
| 1. (他業務に支障がでるほど)とても重い | 4. 軽い    |
| 2. (他業務に支障はないが)重い     | 5. とても軽い |
| 3. どちらでもない            |          |

問11 ケアマネジャーの仕事に働きがいを感じていますか。(1つに○)

- |                  |        |              |        |
|------------------|--------|--------------|--------|
| 1. 大いに感じている      | → 問12へ | 3. あまり感じていない | → 問11へ |
| 2. どちらかといえば感じている | → 問12へ | 4. 感じていない    |        |

問11-1 問11で「3. あまり感じていない」、「4. 感じていない」と答えた方におたずねします。一番の理由は何ですか。(1つに○)

- |            |                |
|------------|----------------|
| 1. 報酬の低さ   | 4. 人手不足        |
| 2. 労働時間の長さ | 5. 事務処理の煩雑さ    |
| 3. 職場の人間関係 | 6. その他(具体的に: ) |

ケアマネジメントの状況についておたずねします

問12 あなたが令和元年10月に小金井市の要支援・要介護認定者、総合事業対象者(チエックリスト該当者)に対し作成したケアプランの給付管理件数は何件でしたか。(件数記入)

回答欄	
総件数	件
総合事業対象者(チエックリスト該当者)	件
要支援1	件
要支援2	件
要介護1	件
要介護2	件
要介護3	件
要介護4	件
要介護5	件
申請中・暫定プラン	件

問13 ケアプランの作成にかかわる人はどなたですか。(いくつでも)

1. サービス担当者
2. 利用者・家族
3. 医療関係者
4. その他〔具体的に: 〕

問14 ケアプランの作成が困難だったケースはどの程度ありますか。(1つに〇)

1. 困難なケースが多い → 問14-1へ
2. 困難なケースが少しある → 問15へ
3. 困難なケースはほとんどない

問14-1 問14で「1. 困難なケースが多い」、「2. 困難なケースが少しある」と答えた方におたずねします。困難だったのは、どのようなケースですか。(いくつでも〇)

1. 権利擁護を必要とするケース
2. 認知症高齢者のケース
3. 胃ろう、経管栄養などの医療処置を行っているケース
4. ひとり暮らしでキーパーソンがいないケース
5. ケアプランの内容について本人や家族からの理解が得られないケース
6. 経済や住宅に困難する生活面での支援が必要なケース
7. 施設から退所したばかりのケース
8. その他〔具体的に: 〕

問14-2 問14で「1. 困難なケースが多い」、「2. 困難なケースが少しある」と答えた方におたずねします。困難だったケースについて、あなたはどこかに相談しましたか。(いくつでも〇)

1. 事業所内で相談した
2. 他事業所のケアマネジャーに相談した
3. 地域包括支援センターに相談した
4. 介護福祉課に相談した
5. その他〔具体的に: 〕
6. 特に相談していない

アセスメントの実施状況についておたずねします

問15 アセスメントを実施する際、難しいと感じることは何ですか。(いくつでも〇)

1. 利用者の身体状況を見極めること
2. 利用者の生活状況を見極めること
3. 利用者や家族の意向を明らかにすること
4. 医療系サービスの要否を判断すること
5. 必要なサービス量を判断すること
6. 時間がないうために、十分に行えないこと
7. 自立支援に資すること
8. 特になし

問16 1回当たりのモニタリング、アセスメントに要する平均時間はどのくらいですか。

初回	平均( )分
2回目以降	平均( )分

問17 全てのケースについてサービス担当者会議を実施していますか。(1つに〇)

1. している → 問17-1へ
2. していないことがある → 問17-2へ

問17-1 問17で「1. している」と答えた方におたずねします。

① サービス担当者会議にかかりつけ医は参加していますか。(1つに〇)

1. している
  2. していない → 下から理由を選択
- 参加しない理由は何ですか。(いくつでも〇)
1. 関係者の日程調整が難しい
  2. 関係者が、サービス担当者会議の意義や役割を理解してくれない
  3. 関係者全体で解決すべき課題を共有することが難しい
  4. 自分との信頼関係が確立されていない
  5. 自分が出席を呼びかけていない
  6. その他〔具体的に: 〕

②サービス担当者会議に利用者意識は参加していますか。(1つに○)

1. している	2. していない
参加しない理由は何ですか。(いくつでも○) 1. 関係者の日程調整が難しい 2. 関係者が、サービス担当者の意識や役割を理解してくれない 3. 関係者全体で解決すべき課題を共有することが難しい 4. 自分とどの信頼関係が確立されていない 5. 自分が出席を呼びかけていない 6. その他 [具体的に： ]	

問 17-2 問 17 で「2. していないことがある」と答えた方におたずねします。サービス担当者会議を開催できない理由は何ですか。(いくつでも○)

1. 関係者の日程調整が難しい 2. 関係者が、サービス担当者の意識や役割を理解してくれない 3. 関係者全体で解決すべき課題を共有することが難しい 4. 自分とどの信頼関係が確立されていない 5. 自分が出席を呼びかけていない 6. その他 [具体的に： ]
---

市内のサービス提供体制についておたずねします

問 18 ケアプランを作成するにあたって、利用しにくいと感じているサービスは何ですか。(いくつでも○)

1. 訪問介護 2. 訪問入浴介護 3. 訪問看護 4. 訪問リハビリテーション 5. 居宅栄養管理指導 6. 通所介護 7. 地域密着型通所介護 8. 通所リハビリテーション 9. 短期入所生活介護 10. 短期入所療養介護 11. 特定施設入居者生活介護 12. 福祉用具貸与 13. 特定福祉用具販売 14. 住宅改修・介護予防住宅改修 15. 小規模多機能型居宅介護	16. 看護小規模多機能型居宅介護 17. 夜間対応型訪問介護 18. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 19. 認知症対応型通所介護 20. 認知症対応型共同生活介護（グループホーム） 21. 地域密着型特定施設入居者生活介護 22. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 23. 介護老人福祉施設 24. 介護老人保健施設 25. 介護療養型医療施設 26. 介護医療院 27. 総合事業訪問型サービス（現行相当） 28. 総合事業訪問型サービス（市基特） 29. 総合事業通所型サービス（現行相当） 30. 総合事業通所型サービス（市基特）
---	---

-ケアマネジャー調査 6-

問 19 量的に不足していると感じるサービスは何ですか。(いくつでも○)

1. 訪問介護 2. 訪問入浴介護 3. 訪問看護 4. 訪問リハビリテーション 5. 居宅栄養管理指導 6. 通所介護 7. 地域密着型通所介護 8. 通所リハビリテーション 9. 短期入所生活介護 10. 短期入所療養介護 11. 特定施設入居者生活介護 12. 福祉用具貸与 13. 特定福祉用具販売 14. 住宅改修・介護予防住宅改修 15. 小規模多機能型居宅介護	16. 看護小規模多機能型居宅介護 17. 夜間対応型訪問介護 18. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 19. 認知症対応型通所介護 20. 認知症対応型共同生活介護（グループホーム） 21. 地域密着型特定施設入居者生活介護 22. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 23. 介護老人福祉施設 24. 介護老人保健施設 25. 介護療養型医療施設 26. 介護医療院 27. 総合事業訪問型サービス（現行相当） 28. 総合事業訪問型サービス（市基特） 29. 総合事業通所型サービス（現行相当） 30. 総合事業通所型サービス（市基特）
---	---

問 20 介護保険以外のサービス等を含めてケアプランを作成していますか。(1つに○)

1. 作成している 1問 20-1 ～	2. 作成していない 1問 21 ～
---------------------	--------------------

問 20-1 問 20 で「1.作成している」と答えた方におたずねします。ケアプランを作成する際に検討したことがあるのはどのようなサービスですか。(いくつでも○)

フォーマルサービス 行政等が制度に基づいて支援するサービス 1. 配食サービス 2. 家事援助のサービス 3. 移動支援のサービス 4. 見守り支援サービス 5. その他 [具体的に： ]	インフォーマルなサービス 制度外で支援しているサービス 1. 配食サービス 2. 家事援助のサービス 3. 移動支援のサービス 4. 見守り支援サービス 5. その他 [具体的に： ]
--	--

問 21 AI でのケアプラン作成について、どう思いますか。(1つに○)

1. ぜひ活用したい	2. 消極的ではあるが活用する	3. 活用したくない
------------	-----------------	------------

-ケアマネジャー調査 7-

問22 高齢者の在宅生活を支えるために、これから充実が必要だと思う「活動」や「生活支援」は次のどれだと思いますか。(いくつでも)

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 1. 見守り・安否確認等     | 8. 日用品の買い物支援      |
| 2. こみ出し・洗濯等の家事援助 | 9. 移動販売・食材配達      |
| 3. 話し相手・傾聴       | 10. 服薬管理          |
| 4. 通院介助・外出支援     | 11. 夜間の泊まり込み      |
| 5. 見守りを兼ねた配食サービス | 12. 金銭管理、消費者被害の防止 |
| 6. 会食サービス・カフェ    | 13. 近隣との付き合い      |
| 7. ふれあいサロン       | 14. その他〔具体的に：〕    |

問23 現在、小金井市では以下のような高齢者保健福祉サービスを実施していますが、今後一層の充実が必要と思うサービスは次のどれですか。(いくつでも)

- |  |
|--|
| 1. 自立支援日常生活用具給付<br>(虚弱な高齢者の方に、入浴補助用具・手すり等の日常生活用具を給付する)                           |
| 2. 自立支援住宅改修の給付<br>(身体的理由により住居設備改修が必要と認められる虚弱な方に、浴槽や洗面台の交換、便器の洋式化等、改修に要する費用を給付する) |
| 3. 寝具乾燥機<br>(寝具類等の衛生管理が困難な方の寝具類を月1回、車で回収し、乾燥する)                                  |
| 4. 食の自立支援(配食サービス)<br>(調理が困難な方、食事の自己管理が困難な方等に、夕食を配達する)                            |
| 5. おわつサービス<br>(在宅でおむつが必要なお方を介護している家族の方に、紙おむつ、尿取りパット等を配達する)                       |
| 6. 入浴券給付<br>(ひとり暮らし等で自宅で風呂設備のない方に無料入浴券を配布する)                                     |
| 7. ことばき理容券の給付<br>(市内の協力店で調髪、洗髪等に利用できる割引券を配布する)                                   |
| 8. 高齢者福祉電話の貸与<br>(ひとり暮らし等の方に、安否確認、孤独感解消のため電話を貸与する)                               |
| 9. 緊急通報システムの貸与<br>(慢性疾患などにより、常時注意を要するひとり暮らし等の方に貸与する)                             |
| 10. 徘徊高齢者探知機器の貸与<br>(高齢者が徘徊してもすぐに見つけられるよう、発信器を貸与する)                              |
| 11. ひど声訪問(牛乳の配達)<br>(牛乳等の配達により、ひとり暮らしの方等の安否確認を行う)                                |
| 12. 友愛活動員の訪問<br>(友愛活動員がひとり暮らしの方や日中独居の方を訪問、電話による話し相手になる)                          |
| 13. 特別生活援助<br>(ひとり暮らしの虚弱な方等に、大掃除等のサービスを提供する)                                     |
| 14. 家具転倒防止器具等取付け(65歳以上の世帯の方に、災害から生命及び財産を守るため、家具の転倒防止器具等を取り付ける)                   |
| 15. 見守りシール(徘徊等の可能性のある高齢者を対象に、個人情報をおまかせに家族等へ連絡がとれるIDが記載されたシールを提供する)               |
| 16. 特になし   |

※ サービスの利用に関しては、介護保険の要介護度や、市民税非課税世帯などの利用条件があるものもあります。また、一部利用者負担がある場合があります。

問24 地域ケア会議について、知っていますか。(1つに〇)

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1. 似たようなことをしているかまで知っている             |
| 2. 開催されているのは知っているが、どんなことをしているかは知らない |
| 3. 知らない                             |

**在宅医療の支援についておたずねします**

問25 令和元年10月時点であなたがサービスを提供している利用者の中に、往診が必要と思われる方はいますか。(1つに〇)(※患者さんの求めに応じて急変時に行う診察)

- |                        |               |
|------------------------|---------------|
| 1. いる 1問 25-1へ         | 2. いない 1問 26へ |
| →実際に往診を受けている〔 〕人       |               |
| →往診が必要と思われるが受けていない〔 〕人 |               |

問25-1 問25で「1. いる」とお答えの方におたずねします。あなたは、必要な方に往診が十分行われていると思いますか。(1つに〇)

- |               |         |               |           |
|---------------|---------|---------------|-----------|
| 1. 十分行われている   | → 問 26へ | 3. あまり行われていない | → 問 25-2へ |
| 2. ある程度行われている |         | 4. 全く行われていない  |           |

問25-2 問25-1で「3. あまり行われていない」および「4. 全く行われていない」とお答えの方におたずねします。必要なら実施してほしくないのはなぜですか。(1つに〇)

- |                        |                     |
|------------------------|---------------------|
| 1. 利用者が受けがたがない         | 4. かかりつけ医が不要と判断している |
| 2. 家族が受けがたがない          | 5. かかりつけ医がいない       |
| 3. 対応してくれる医療機関等が見つからない | 6. その他〔具体的に：〕       |

問26 令和元年10月時点であなたがサービスを提供している利用者の中に、訪問診療が必要と思われる方はいますか。(1つに〇)(※通院の困難な患者さん宅に訪問して行う診察)

- |                          |               |
|--------------------------|---------------|
| 1. いる 1問 26-1へ           | 2. いない 1問 27へ |
| →実際に訪問診療を受けている〔 〕人       |               |
| →訪問診療が必要と思われるが受けていない〔 〕人 |               |

問26-1 問26で「1. いる」とお答えの方におたずねします。あなたは、必要な方に訪問診療が十分行われていると思いますか。(1つに〇)

- |               |         |               |           |
|---------------|---------|---------------|-----------|
| 1. 十分行われている   | → 問 27へ | 3. あまり行われていない | → 問 26-2へ |
| 2. ある程度行われている |         | 4. 全く行われていない  |           |

問26-2 問26-1で「3. あまり行われていない」および「4. 全く行われていない」とお答えの方におたずねします。必要なら実施していないのはなぜですか。(1つに○)

1. 利用者が受けたがらない	4. かかりつけ医が必要と判断している
2. 家族が受けたがらない	5. かかりつけ医がいない
3. 対応してくれる医療機関等が見つかからない	6. その他 [具体的に: ]

問27 令和元年10月時点であなかがサービスを提供している利用者の中に、訪問看護や訪問歯科診療、訪問服薬管理指導が必要と思われる方はいますか。

①から③についてそれぞれ1つに○

①訪問看護が必要と思われる方	1. いる →実際に受けている [ ] 人 →必要だと思いが受けていない [ ] 人	2. いない
②訪問歯科診療が必要と思われる方	1. いる →実際に受けている [ ] 人 →必要だと思いが受けていない [ ] 人	2. いない
③訪問服薬管理指導が必要と思われる方	1. いる →実際に受けている [ ] 人 →必要だと思いが受けていない [ ] 人	2. いない

問28 専門職の立場からみて、市内で在宅療養している高齢者の急変時に医療機関へのスムーズな移行が行われていると思いますか。(1つに○)

1. 行われていると思う	3. あまり行われていないと思う
2. ある程度行われていると思う	4. まったく行われていないと思う

問29 医療と在宅ケアの関係で苦労していることは何ですか。(いくつでも○)

1. 医師がケアマネジャーとの連携を必要と感じていない
2. 医師や医療従事者がケアマネジャーにサービス以外の家庭対応まで依頼すること
3. 医療従事者が関係している場合の方向性をケアマネジャーがまとめて行くことが難しい
4. 利用者の体調が悪くなっても臨時往診して貰えず、ケアマネジャーが付き添うことになり、業務外の負担が大きいの
5. 主治医と連絡が取りにくい
6. 退院時のカンファレンスを開かない病院がある
7. 多くの医療機関を利用している場合、総合的な体調管理などをどこまで責任を持ってできるか、また、どこに相談してよいかが悩む
8. 訪問診療が不足している、また、往診を行っているかわからない病院がある
9. 主治医連絡票では伝わらない細かいニュアンスを伝えたい時は、通院に同行する以外に手段がない
10. その他 [具体的に: ]

問30 高齢者の在宅医療を進めていくうえで不足している機能はどのようなことだとお考えですか。(いくつでも○)

1. 訪問診療や往診をしてくれる診療所
2. 訪問看護(訪問看護ステーション)
3. 訪問・通所リハビリテーションなどリハビリテーション施設
4. 介護老人福祉施設や介護老人保健施設などの介護保険施設
5. 一人ひとりの状況に応じて関係者が連携して対応するチームケア
6. 在宅療養をしている方の状況変化時に受け入れ可能な入院施設
7. その他 [具体的に: ]

問31 在宅介護の限界、施設入所を薦める要因は何だとお考えですか。(3つまで○)

1. 家事が全介助になったとき	9. 昼夜逆転がひどくなったとき
2. 移動が全介助になったとき	10. 火の不始末が目立ち始めたとき
3. 更衣が全介助になったとき	11. 本人に入所希望があるとき
4. 排せつが全介助になったとき	12. 介護者に入所希望があるとき
5. 一日に頻回の医療的処置が必要なとき	13. 介護をしてくれる身内がいなくなる
6. 薬の管理ができなくなったとき	14. サービス利用料が施設入所と変わらない程度に
7. もの忘れがひどくなったとき	15. その他 [具体的に: ]
8. 徘徊がひどくなったとき	

医療・介護の連携についておたずねします

問32 医療と介護の連携を図るうえで情報の共有化をどのように進めればよいと思いますか。(3つまで○)

1. 顔の見える関係をつくれる機会を増やす
2. 医療と介護の両方で使えるツールをつくる
3. 医療と介護の共通認識が図れる書式をつくる
4. 個人の情報を1枚のカードで医療と介護が共有できるシステムをつくる
5. サービス担当者会議やカンファレンスへのかかりつけ医の出席
6. 連絡しやすい時間帯の設定や連絡しやすい窓口の設定
7. その他 [具体的に: ]

問33 市の担当者と連携するときはどのような場合ですか。(3つまで○)

1. 支援医療事例への対応	7. 虐待が認められる・虐待のおそれのあるケースへの対応
2. ケースカンファレンス	8. 精神疾患の方への対応
3. 苦情相談への対応	9. その他 [具体的に: ]
4. 介護保険以外のサービスや制度の利用	10. 特に連携していない
5. 介護保険法で判断因るとき	
6. 独居者への対応	

問34 在宅療養者への医療・介護は、サービス担当者会議などを通じて連携していると思いますか。(1つに○)

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 1. 十分連携している   | 3. 連携が不十分である   |
| 2. ある程度連携している | 4. ほとんど連携していない |

問35 2025年に向けて地域包括ケアシステムの構築が求められています。その中で医療・介護の連携が進むために、どのようなことが必要だとお考えですか。

- (1) から (4) についてそれぞれ2つまで○
- (1) 連携の仕組みづくり (2つまで○)
1. 職種との顔の見える関係づくり、交流を進める
  2. 「ケアマネタイム」の充実を図る
  3. 在宅医療・介護連携支援室の活動を充実させる
  4. 医療と介護の連携シートを活用する
  5. 入院時に関与する医療と介護の連携方法を明確にする
  6. ICTの活用を推進する
  7. その他 [具体的に: ]

- (2) 地域の人材育成 (2つまで○)
1. 医療・介護の相互理解のための専門研修を進める
  2. 栄養士、歯科衛生士等を含めた専門職の人材把握・発掘を行う
  3. 多職種が参加する事例検討会や学習会を増やす
  4. 在宅医療や介護予防に関心のある地域活動リーダーを増やす
  5. 在宅医療を担う訪問看護師などの人材育成を進める
  6. かかりつけ医をサポートする専門医制度をつくる
  7. その他 [具体的に: ]

- (3) サービス・基盤整備 (2つまで○)
1. 随時対応の訪問介護・看護 (定期巡回、24時間対応) の在宅サービスを充実させる
  2. 医療依存度の高い方が在宅で暮らせるよう訪問診療や往診等の体制を充実させる
  3. 病院による在宅療養の後方支援の仕組みを充実させる
  4. 在宅療養者の緊急時用のベッドを確保する
  5. 医療や介護を受けながら住み続けられる高齢者の住まいを充実させる
  6. 末期がん患者等のために要介護認定の簡素化を図り、サービス利用をしやすいとする
  7. その他 [具体的に: ]

- (4) 相談支援・情報提供 (2つまで○)
1. 住民向けの在宅療養支援窓口を設置する
  2. 地域包括支援センターに医療連携相談員・支援員を設置する
  3. 市民講座などで、「在宅療養」や「看取り・終活」への関心を高める
  4. 医療・介護・福祉に関する社会資源マップを充実させる
  5. その他 [具体的に: ]

認知症の介護支援についておたずねします

問36 担当する認知症の方の状況で、実際に大変だったのは次のどれですか。(いくつでも○)

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本人や家族が医療機関を受診しない</li> <li>2. 本人の意思の確認が取れない</li> <li>3. 家族が認知症であることを認めない</li> <li>4. 服薬管理ができない</li> <li>5. サービス拒否がある</li> <li>6. 症状が急変して緊急対応が必要になる</li> <li>7. 適切なサービスが受けられない</li> <li>8. 消費者被害に遭遇している</li> <li>9. 虐待を受けている</li> <li>10. 本人や家族間で介護の方針が食い違う</li> <li>11. 身体疾患があり医療的な管理が難しい</li> <li>12. その他 [具体的に: ]</li> </ol> |
|---|

問37 認知症の方の支援にあたっては、かかりつけ医と十分連携していると思いますか。(1つに○)

- |  |                                 |
|--|---------------------------------|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 十分連携している</li> <li>2. ある程度連携している</li> <li>3. 連携が不十分である</li> <li>4. ほとんど連携していない</li> </ol> | <p>問 37-1 →</p> <p>問 37-2 →</p> |
|--|---------------------------------|

問 37-1 問 37 で「1.十分連携している」「2.ある程度連携している」ど答え左方におたずねします。医療機関やかかりつけ医との情報交換方法は何ですか。(いくつでも○)

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電話</li> <li>2. FAX</li> <li>3. 電子メール</li> <li>4. 診察への同行</li> <li>5. 訪問診療への出席</li> <li>6. サービス担当者会議</li> <li>7. 直接訪問</li> <li>8. その他 [具体的に: ]</li> </ol> |
|---|

問38 認知症の早期受診が進まない原因は、次のどれだと思えますか。(3つまで○)

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 認知症を診断できる医師が少ない</li> <li>2. 認知症が病気であると認識されていないこと</li> <li>3. 本人が受診を嫌がること</li> <li>4. 認知症と診断されるのを恐れていること</li> <li>5. 家族や周囲の人が本人のプライドを傷つけるため言いにくいこと</li> <li>6. 家族が認知症の認識がないこと</li> <li>7. どこを受診すればよいかわからないこと</li> <li>8. その他 [具体的に: ]</li> </ol> |
|---|

問39 これから、認知症の方の支援にあたり必要になると思うのは次のどれですか。(3つまで○)

1. 状態に応じた適切なサービス提供の流れが示されること
2. 社会資源（施設、サービス）がより増えていくこと
3. 早期診断を担う医療機関が増えていくこと
4. 地域で、認知症サポーターの活動の輪が広がること
5. かかりつけ医やケアマネジャー等の認知症に対する理解と対応力が向上すること
6. 地域包括支援センターにおける認知症の地域支援が充実していくこと
7. 地域ケア会議など専門的な支援体制が充実すること
8. 認知症の方や家族支援が充実していくこと
9. その他（具体的に：）

**ケアマネジメントの質の向上についておたずねします**

問40 サービスの質の向上に向けた研修に参加していますか。(1つに○)

1. 法人内および外部の研修に参加 → 問41へ
2. 法人内の研修にのみ参加 → 問41へ
3. 外部の研修にのみ参加 → 問41へ
4. 研修には参加していない → 問42へ

問41 参加した研修の内容にはどのようなものがありますか。(いくつでも○)

1. 介護保険制度全般について
2. 専門技術の向上について
3. 利用者に対する接遇について
4. 相談・苦情対応について
5. 資格取得について
6. その他（具体的に：）

問42 研修で取り上げてほしい内容にはどのようなものがありますか。(いくつでも○)

1. 介護保険制度全般について
2. 専門技術の向上について
3. 利用者に対する接遇について
4. 相談・苦情対応について
5. 資格取得について
6. その他（具体的に：）

問43 事業所内では、定例的な研修や勉強会がありますか。(1つに○)

1. ある
2. 定例ではないがある
3. ない

問44 地域包括支援センターとのつながりはありますか。(いくつでも○)

1. 介護予防プログラムの作成で指導や助言をもらっている
2. 地域包括支援センター主催の事例検討会や研修に参加している
3. サービス担当者会議でセンター職員に出席してもらっている
4. 個別事例等の相談で指導や助言をもらっている
5. 困難事例や虐待への対応で連絡をとっている
6. その他（具体的に：）
7. 特にながりはなし

問45 今後、地域包括支援センターへ期待することは何ですか。(いくつでも○)

1. 介護予防ケアマネジメント（要支援者の介護予防ケアプラン）を通じた介護予防
2. 地域支援事業を通じた介護予防
3. 市役所などへの要望事項の取りまとめや仲介
4. ケアマネジャーに対する個別指導・相談
5. 困難事例の相談
6. 地域包括支援センター内の担当区域におけるケアマネジャーのネットワークづくり
7. 多職種協働・連携による包括的・継続的ケアマネジメント支援
8. フォーマルサービスとインフォーマルケアの調整
9. 要援護高齢者の実態把握と対応
10. 高齢者の虐待防止・権利擁護
11. その他（具体的に：）

問46 ケアマネジャーに求められる中立性・独立性を確保するために、どのような支援が必要だと思いますか。(いくつでも○)

1. 事業者間の連絡調整・連携を強化するための支援
2. ケアマネジャーの技術向上のための支援
3. ケアマネジャーのためのメンタルヘルズケア
4. 処遇困難者への対応またはその支援
5. 利用者や家族の介護保険制度の理解向上に向けた取り組み
6. その他（具体的に：）

**高齢者の虐待について**

問47 これまでに、業務を通じて高齢者虐待が疑われるような場面に遭遇したり、虐待に関する話や相談を受けたことはありますか。また、そのような経験がある場合は件数についても記入してください。(いくつでも○)

1. 自分が虐待の場面に遭遇したことがある [ ]件
2. ほかの本人から虐待の話聞いたことがある [ ]件
3. 被害者本人から虐待の相談を受けたことがある [ ]件
4. 被害者の周囲の人から虐待の相談を受けたことがある [ ]件
5. その他（具体的に：） [ ]件
6. 虐待に関わり見ていたり聞いたりしたことはない

問48 専門職の立場からみて、高齢者虐待を未然に防ぐために必要なことは何だとお考えですか。(いくつでも○)

1. 虐待に対する知識の普及啓発
2. 家族介護者等の負担軽減に向けた支援
3. 家族介護者等の相談対応
4. 要介護者の相談対応
5. サービス提供者のストレスチェック
6. サービス提供時のチェック
7. 地域での見守り体制
8. その他（具体的に：）



今後の介護サービス、高齢者福祉について

問49 今後、介護保険以外のサービスで必要かつ充実すべきサービスとして、どのようなものが考えられますか。(いくつでも)

1. 話し相手・見守り・安否確認の声かけ
2. ごみ出し・買い物の手伝い等
3. 病院等の送迎・院内介助
4. 外出支援サービス
5. 配食サービス
6. 紙おむつの給付
7. 訪問理美容サービス
8. 訪問歯科診療
9. 寝具乾燥消毒サービス
10. 生活環境の整理(サービス導入事前・事後)
11. 服薬管理
12. 福祉サービス利用援助事業
13. 財産保全管理サービス
14. 成年後見制度の相談・情報提供
15. その他(具体的に: )
16. 特になし

問50 「介護保険制度」全体をよりよくするための環境整備として、市が力を入れるべきことは次のうちどれだと思いますか。(3つまで)

1. サービス事業者の質を高める取組みを行うこと
2. ケアマネジャーやホームヘルパーなどの人材を育成すること
3. 市内に特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設を増やすこと
4. 利用料を補助するなど、利用者の費用負担を軽減する経済的給付を増やすこと
5. 寝たきりにならないよう、介護予防のサービスに力を入れること
6. 地域全体で介護を支援するしくみづくりを行うこと
7. 在宅サービスや地域密着型サービスのような身近な地域でサービスが受けられる拠点を増やすこと
8. 困ったときに気軽に介護相談ができる場所を増やすこと
9. 家族介護の負担を軽減する保健福祉サービスを充実すること
10. 介護保険を効率的に運用するしくみづくりを行うこと
11. 地域包括支援センターの機能を充実すること
12. 介護保険サービス利用の制限をカバールする保健福祉サービスを充実すること
13. その他(具体的に: )
14. わからない

その他・市への要望についてお聞きします

問51 今後、ケアマネジャーの人材育成等について、市に支援をしてほしいことはなんですか。(いくつでも)

1. 自立支援、重度化防止の研修
2. 研修受講時の補填
3. 資格取得に対する支援
4. ICTの導入支援
5. ケアプランの相談対応
6. その他(具体的に: )

問52 小金井市では、「誰もが安心して暮らせる思いやりのあるまち」の実現をめざしています。あなたは、小金井市は「誰もが安心して暮らせる思いやりのあるまち」と思えますか。(1つに〇)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえそう思わない
4. そう思わない

問53 問52で「1. そう思う」、「2. どちらかといえそう思う」と回答された方はその理由を、「3. どちらかといえそう思わない」、「4. そう思わない」と回答された方はどの項目が改善したら、「そう思う」ようになりますか。(3つまで)

1. 地域をつながり
2. 介護サービス(訪問系)の充実
3. 介護サービス(通所系)の充実
4. 介護サービス(短期入所系)の充実
5. 介護サービス(施設系)の充実
6. 医療機関(病院)の充実
7. 医療機関(診療所)の充実
8. 医療機関(訪問診療・往診)の充実
9. ボランティア活動の充実
10. 行政サービスの充実
11. 住まいの充実
12. 交通機関の充実
13. 商業施設の充実
14. 治安
15. その他
- (具体的に: )

問54 高齢者支援施策について、小金井市へのご意見・ご要望や知りたい情報などがありましたら、ご自由にお書きください。

——ご協力ありがとうございました——

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査におけるリスク判定表

リスクの区分	設問	質問項目	該当する選択肢
運動器の機能低下 (3 設問に該当)	問 2(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	3.できない
	問 2(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3.できない
	問 2(3)	15分位続けて歩いていますか	3.できない
	問 2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1.何度もある 2.1度ある
	問 2(5)	転倒に対する不安は大きいですか	1.とても不安である 2.やや不安である
転倒リスク (1 設問に該当)	問 2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1.何度もある 2.1度ある
閉じこもり傾向 (1 設問に該当)	問 2(6)	週に1回以上は外出していますか	1.ほとんど外出しない 2.週1回
低栄養状態 (2 設問に該当)	問 3(1)	身長・体重	BMIが18.5以下
	問 3(6)	この半年間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1.はい
口腔機能の低下 (2 設問に該当)	問 3(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1.はい
	問 3(3)	お茶や汁物等でむせることがありますか	1.はい
	問 3(4)	口の渇きが気になりますか	1.はい
認知機能の低下 (1 設問に該当)	問 4(1)	物忘れが多いと感じますか	1.はい
うつ傾向 (1 設問に該当)	問 7(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1.はい
	問 7(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1.はい